取扱説明書

FOMA® F883i

'07.7

ドコモ　W-CDMA方式

このたびは、「FOMA F883i」をご利用いただきまして、まことにありがとうございます。

ご利用の前に、あるいはご利用中に、この取扱説明書および電池パックなど機器に添付の個別取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。取扱説明書に不明な点がございましたら、裏面のお問い合わせ先までご連絡ください。
FOMA F883iは、あなたの有能なパートナーです。大切にお取り扱いの上、末長くご愛用ください。

FOMA端末のご使用にあたって

- FOMA端末は無線を利用しているため、トンネル・地下・建物の中など電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所およびサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが3本表示されている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れることがありますので、ご了承ください。
- 公共の場所、人の多い所や静かな所などでは、まわりの方の迷惑にならないようにご使用ください。
- FOMA端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、W-CDMA方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞きとれません。
- FOMA端末は、音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い所へ移動するなど、送信されてきたデジタル信号を正確に復元できない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- お客様ご自身で FOMA 端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。万一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- お客様はSSLをご自身の判断と責任においてご利用することを承諾するものとします。
  お客様によるSSLのご利用にあたり、ドコモおよび別掲の認証会社はお客様に対しSSLの安全性などに関し何ら保証を行うものではなく、万一何らかの損害が発生したとしても一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
  認証会社：日本ベリサイン株式会社、サイバートラスト株式会社、グローバルサイン株式会社
  　　　　　RSAセキュリティ株式会社、セコムトラストシステムズ株式会社
- このFOMA端末は、FOMAプラスエリアに対応しております。
- このFOMA端末は、ドコモの提供するFOMAネットワーク以外ではご使用になれません。
  The FOMA terminal can be used only via the FOMA network provided by DoCoMo.
- FOMA F883iは、バイリンガル機能には対応しておりません。

はじめてFOMA端末をお使いになる方へ

本FOMA端末が「はじめてのFOMA端末」という方は、まず、本書を以下の順序でお読みください。FOMA端末をお使いいただくための準備と基本的な操作を、ひととおりご理解いただくことができます。

1. 「安全上のご注意」を確認しましょう→P10
2. 電池パックを取り付けて、充電しましょう→P34、P35
3. 電源を入れて初期設定を行い、自分の電話番号を確認しましょう→P41、P46
4. 本体のボタンなどの役割を確認しましょう→P20
5. ディスプレイに表示されるマークの意味を確認しましょう→P22
6. メニューの操作方法を確認しましょう→P27
7. 電話のかけかた／受けかたを確認しましょう→P50、P62

本書についての最新情報は、ドコモのホームページよりダウンロードできます。
• 「取扱説明書（PDFファイル）」ダウンロード
http://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html
※ URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

本書の見かた

F883iの説明書は、『取扱説明書（本書）』と『かんたん操作ガイド』の2冊で構成されています。基本的な操作方法について知りたいときには、別冊の『かんたん操作ガイド』をご覧ください。

ここでは、本書の構成や説明方法について紹介します。

- 本書では、（マルチカーソルボタン）を押して機能や項目を選ぶ操作を「選択」と表記しています。
- 文字の入力方法は主にインライン入力（入力欄に文字を直接入力する方法）で説明しています。→P436

本書の引きかたについて

知りたい機能をすぐに探すことができるように、本書は次の検索方法を用意しています。

かんたん検索から　よく使う機能や知っていると便利な機能を、わかりやすい言葉で探します。▶ **P4**

メニュー一覧から　画面に表示されるメニューから探します。▶ **P454**

表紙インデックスから　表紙右はしのインデックスを使って探します。▶ **表紙**

P2～3で例をあげて説明しています。

目次から　目的別に章で分類された目次から探します。▶ **P6**

主な機能から　F883iの特徴的な機能や便利な機能から探します。▶ **P8**

索引から　機能名やキーワード、サービス名で探します。▶ **P526**

クイックマニュアルを利用する　本書から切り取って外出時などに利用できる簡易なマニュアルです。▶ **P534**

- この『FOMA F883i 取扱説明書』の本文中においては、「FOMA F883i」を「FOMA端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
- 本書で掲載している画面やイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- 本書では、画面を見やすくするために待受画面の設定を「表示なし」にした状態で記載しています。
- 本書ではメニュー項目を「リスト形式」にしている場合で説明しています。「タイル形式」に設定したときは、メニュー項目名が本書での記載と異なるものがありますが、操作するダイヤルボタンは同じです。

かんたん検索から探すとき

よく使う機能や知っていると便利な機能が、わかりやすい言葉で目的別に分類されています。

メニュー一覧から探すとき

FOMA端末の画面に表示されるメニューから探すことができます。

表紙インデックスから探すとき

インデックスを頼りに、表紙→章扉→機能の説明ページという順で探すことができます。

機能名
索引にはこの機能名を記載しています。

タイトル

機能の概要説明と補足
補足には、操作するときに気をつけることを記載しています。

操作に関する補足説明
各操作の補足的な説明を記載しています。

画面表示
基本的に操作後の画面を記載しています。

インデックス
章のタイトルと、各ページの項目や機能名を表示しています。章ごとに位置が変わります。

代表的な操作方法以外のショートカット操作

お買い上げ時の設定

お知らせ
知っていると便利な情報を記載しています。

次ページへ
操作手順やお知らせが次のページへ続く場合に記載しています。

伝言メモ

電話に出られないときに用件を録音します

伝言メモを設定しておくと、電話に出られないときに応答メッセージを再生し、相手の用件を録音します。

- 最大4件、1件につき約30秒間録音できます。
- 履歴表示制限中や個人情報表示制限中は、本機能を使用できません。→P158

伝言メモの設定

メニュー 152

お買い上げ時　停止する

1 待受画面で[留守]を1秒以上押す
伝言メモを設定した旨のメッセージが表示されます。

2 [決定]を押す
待受画面に戻ります。

- [終話]を押しても待受画面に戻ります。
- 伝言メモの設定中は待受画面に[伝言メモ]（黒）が表示されます。

■ 伝言メモを停止するとき
伝言メモ設定中に待受画面で[留守]を1秒以上▶[決定]を押す
伝言メモを停止した旨のメッセージが表示されます。

お知らせ

- 伝言メモが4件録音されると、待受画面に[伝言メモ]（赤）が表示されます。この場合、伝言メモを停止してもマークは消えず、新たに伝言メモを設定することもできません。不要な伝言メモを削除してから操作をやり直してください。→P83

伝言メモを設定したときは

- 伝言メモを設定していても電話を受けられます。

1 電話がかかってくる

伝言メモ応答中
携帯花子
090XXXXXXXX

呼出時間設定の設定に従って着信音が鳴った後、伝言メモ応答中の画面が表示され、相手には伝言メモ応答メッセージが流れます。

- FOMA端末を折り畳んでいるときは、背面ディスプレイに「伝言メモ起動中」が表示されます。

次ページへ

77

電話のかけかた／受けかた　伝言メモ

※ ページはイメージです。本文中のページとは異なります。

操作手順の表記方法

代表的な操作の方法をショートカット操作（→P29）で説明しています。また、操作手順の一部を簡略化して表記しています。

かんたん検索

よく使う機能や知っていると便利な機能を、わかりやすい言葉から調べたいときにご活用ください。

通話に便利な機能

電話に出られないとき

音・振動を変える

画面表示を変える

メールを使う

安心して使うために

音声呼出し・読み上げ機能

その他の機能

- その他の機能の検索方法については、「本書の見かた」を参照してください。→P1
- よく使う機能などの操作手順をクイックマニュアルとして案内しています。→P534

目次
CONTENTS

FOMA F883iの主な機能

FOMAは、第三世代移動通信システム（IMT-2000）の世界標準規格の1つとして認定されたW-CDMA方式をベースとしたドコモのサービス名称です。

ｉモード（有料） →P194

簡単なボタン操作でサイトやインターネットホームページに接続し、情報を閲覧できるオンラインサービスです。

ｉモードメール →P272

ｉモードをご契約の携帯電話はもちろん、パソコンなどとのメールのやりとりができます。

ｉモーション →P249

サイトやインターネットから映像や音をダウンロードして楽しむことができます。FOMA端末に保存したｉモーションを着信音や着信画像に設定できます（着モーション）。

ｉチャネル※ →P254

ニュースや天気などをグラフィカルな情報として受信できます。定期的に情報を受信し、最新の情報が待受画面にテロップとして流れたり、ｉチャネル対応ボタンを押すことで見られるチャネル一覧に表示されます。
さらにチャネル一覧でお好きなチャネルを選択することにより、リッチな詳細情報を取得できます。
また、ｉチャネルを申し込んだことがない場合、一定期間、サービス利用料無料でおためしサービスを利用できます。
※お申し込みが必要な有料サービスです。

ｉモーションメール →P281

サイトやインターネットから取得したｉモーションを、ｉモードメールに添付して手軽に送信することができます。

多彩なあんしん設定

個人情報表示制限と履歴表示制限 →P158

メールや電話帳データなどや、リダイヤルや着信履歴などを表示しないように設定することができます。
見られたくないデータや知られたくない発信・着信情報があるときに便利です。

迷惑メールなどの受信拒否 →P264

知らないアドレスからのメールや不要な勧誘メールなどを受信しないように設定することができます。シークレットコード登録やアドレス指定による受信拒否など、さまざまな迷惑メールへの対処方法があります。

豊富なネットワークサービス

- 留守番電話サービス（有料）※ →P422
- キャッチホン（有料）※ →P424
- 転送でんわサービス※ →P424

※お申し込みが必要です。

- SMS（ショートメッセージ） →P321
- デュアルネットワークサービス（有料）※ →P426

F883iならではの便利な機能

光ガイドとガイド機能

→P24、P62

電話がかかってくると、ボタンが明るく点滅して電話に出る方法をお知らせします。設定を確定するときなどに次に押すボタンがわかります。画面下に「ガイド」が表示されるメニューや機能名などは、その説明を読むことができます。

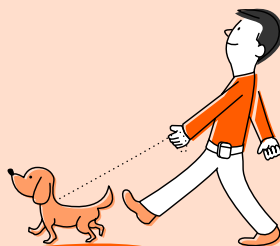
音声読み上げ

→P180

表示中の操作の説明、受信メールやサイトの内容を読み上げます。
FOMA端末を折り畳んでいるときに右側面の を1秒以上押せば、時刻を声でお知らせします。読み上げの声質や速さを変更して、聞きやすい読み上げ動作を設定することができます。

歩数計

→P403

FOMA端末を歩数計として利用し、歩いた距離、消費したカロリーなどを算出することができます。また、歩数計の情報を、毎日同じ時間帯、同じ宛先に自動的に送ることができます（歩数計自動送信メール）。

はっきりボイスとゆっくりボイス

→P51

相手の話す速度を調節する「ゆっくりボイス」と、騒音の中でも相手の声を明瞭にする「はっきりボイス」。電話の際に相手の声を聞き取りやすくする2つの機能を備えています。

音声認識

→P174、P179

名前や単語を音声登録して、電話帳や各機能を簡単に呼び出すことができます。

らくらく返信

→P316

メールを返信するときに、「らくらく返信」から本文を選ぶだけで、文字入力をすることなく簡単に要件を伝えることができます。
よく使う文章を「らくらく返信」の本文に登録しておくと便利です。

ワンタッチダイヤル

→P123

ディスプレイの下の数字ボタン（ワンタッチダイヤルボタン）を押すだけで、登録した相手に、簡単に電話をかけたりメールを作成したりすることができます。登録相手専用の着信音や着信画像を設定することも可能です。

簡単メール

→P267

画面の表示に従って操作すると、手軽にメールを作成できます。写真やビデオの添付も簡単です。さらに、伝えたいことをその場で録音し、メールに添付して送信することもできます（音声メール）。

安全上のご注意（必ずお守りください）

●ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は、大切に保管してください。
●ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

■ 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

表示	内容
⚠危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

■ 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

絵表示	内容
禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は次の6項目に分けて説明しています。

FOMA端末、電池パック、アダプタ（充電器含む）、FOMAカードの取り扱いについて（共通）

⚠危険

指示

FOMA端末に使用する電池パックおよびアダプタ（充電器含む）は、ドコモグループ各社が指定したものを使用してください。

指定品以外のものを使用した場合、FOMA端末や電池パック、その他の機器を漏液、発熱、破裂、発火、故障させる原因となります。
電池パック　F09
卓上ホルダ　F18
FOMA ACアダプタ 01／02
FOMA DCアダプタ 01／02
FOMA 乾電池アダプタ 01
FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01
FOMA海外兼用ACアダプタ 01
FOMA補助充電アダプタ 01
※ その他、互換性のある商品についてはドコモショップなどの窓口までお問い合わせください。

分解禁止

分解、改造をしないでください。また、ハンダ付けしないでください。

火災、けが、感電などの事故または故障の原因となります。また、電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止

火のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内などの高温の場所で使用、放置しないでください。

機器の変形、故障や、電池パックの漏液、発熱、破裂、発火、性能や寿命の低下の原因となります。また、ケースの一部が熱くなり、やけどの原因となることがあります。

濡らさないでください。
水濡れ禁止
水やペットの尿などの液体が入ると、発熱、感電、火災、故障、けがなどの原因となります。使用場所、取り扱いにご注意ください。

⚠警告

指示
ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に携帯電話の電源をお切りください。また充電もしないでください。ガスに引火する恐れがあります。

禁止
電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に、電池パック、FOMA端末、アダプタ（充電器含む）、FOMAカードを入れないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させたり、FOMA端末、アダプタ（充電器含む）、FOMAカードの発熱、発煙、発火や回路部品を破壊させる原因となります。

禁止
強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。

禁止
充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）が触れないようにしてください。また、内部に入れないようにしてください。
ショートによる火災や故障の原因となります。

指示
使用中、充電中、保管時に異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。
1. 電源プラグをコンセントやシガーライタソケットから抜く。
2. FOMA端末の電源を切る。
3. 電池パックをFOMA端末から取り外す。

そのまま使用すると発熱、破裂、発火または電池パックの漏液の原因となります。

⚠注意

指示
子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの内容を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご注意ください。
けがなどの原因となります。

禁止
ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な所には置かないでください。
落下して、けがや故障の原因となります。

指示
乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

禁止
湿気やほこりの多い所や高温になる所には、保管しないでください。
故障の原因となります。

指示
充電または動画再生、iモードの繰り返しや長時間連続使用などの場合においてFOMA端末や電池パック・アダプタ（充電器含む）の温度が高くなることがあります。
温度の高い部分に直接長時間触れると、お客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じるおそれがあります。
FOMA端末をアダプタ（充電器含む）に接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。

FOMA端末の取り扱いについて

⚠警告

指示
航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、FOMA端末の電源を切ってください。
電子機器や医用電気機器に影響を与える場合があります。
また、自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してから電源を切ってください。
医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。
また、航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。

指示
高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、FOMA端末の電源を切ってください。
電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。
※ ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

次ページへ

禁止

医用電気機器などを装着している場合は、胸ポケットや内ポケットなどへの装着はおやめください。
FOMA端末を医用電気機器などの近くで使用すると、医用電気機器などの故障の原因となるおそれがあります。

指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。
心臓に影響を与える可能性があります。

禁止

自動車などを運転中に使用しないでください。
2004年11月1日から、運転中の携帯電話の使用は罰則の対象となっております。車載ハンズフリー機器をご利用の場合でも、自動車を安全な場所に停車してからご利用ください。運転中は、公共モードまたは留守番電話サービスをご利用ください。

指示

スピーカーホン機能を動作させて通話する場合は、必ずFOMA端末を耳から離してください。
難聴になる可能性があります。

禁止

エアバックの近くのダッシュボードなど、エアバックの展開による影響が予想される所にFOMA端末を置かないでください。
エアバックが展開した場合、FOMA端末が本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

指示

屋外で使用中に、雷が鳴り出したら、すぐに電源を切って安全な所に移動してください。
落雷、感電の原因となります。

⚠注意

禁止

ストラップなどを持ってFOMA端末を振り回さないでください。
本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

指示

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

禁止

FOMAカード挿入口には、水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
火災、故障、感電の原因となります。

指示

自動車内で使用した場合、車種によっては、まれに車載電子機器に影響を与える場合があります。
安全走行を損なうおそれがありますので、その場合は使用しないでください。

禁止

磁気カードなどをFOMA端末に近づけたり、挟んだりしないでください。
キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

指示

FOMA端末を開閉する際は、指やストラップなどを挟まないようご注意ください。
けがなどの事故や破損の原因となります。

指示

誤ってディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、液体を口にしたり、吸い込んだり、皮膚につけたりしないでください。
液晶が目や口に入った場合は、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診療を受けてください。
また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。
失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。

指示

誤ってディスプレイを破損したときは、割れたガラスなどにご注意ください。
けがの原因となります。
ディスプレイの表面は、ガラス板上にプラスチックパネルを取り付け、ガラスが飛散しにくい構造になっていますが、万一、切断面などに触れますとけがをすることがあります。

電池パックの取り扱いについて

■ 電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。

表　示	電池の種類
Li-ion	リチウムイオン電池

⚠危険

指示

電池パック内部の液体が目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
失明の原因となります。

禁止

火の中に投下しないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

電池パックをFOMA端末に取り付けるときに、うまく取り付けできない場合は、無理に取り付けないでください。また、電池パックの向きを確かめてから取り付けてください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

警告

電池パック内部の液体が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちに使用をやめてきれいな水で十分に洗い流してください。
皮膚に傷害を起こす原因となります。

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめてください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

電池パックが漏液したり、異臭がするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。
漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

注意

禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。
発火、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなどの窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

オプション品（ACアダプタ、DCアダプタ、卓上ホルダ、車内ホルダ）の取り扱いについて

警告

コンセントやシガーライタソケットにつながれた状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。
火災、故障、感電、傷害の原因となります。

濡れた手でアダプタ（充電器含む）のコード、コンセントに触れないでください。
感電の原因となります。

ACアダプタや卓上ホルダは、風呂場などの湿気の多い所では使用しないでください。
感電の原因となります。

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントやシガーライタソケットから抜いてください。
感電、火災、故障の原因となります。

アダプタ（充電器含む）のコードや電源コードが傷んだら使用しないでください。
感電、発熱、火災の原因となります。

万一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライタソケットから電源プラグを抜いてください。
感電、発煙、火災の原因となります。

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、金属製ストラップなどの金属類を触れさせないように注意し、確実に差し込んでください。
感電、ショート、火災の原因となります。

指定の電源、電圧で使用してください。
誤った電圧で使用すると火災や故障の原因となります。海外で使用する場合は、海外で利用可能なACアダプタを使用してください。
ACアダプタ：AC100V
DCアダプタ
：DC12V・24V（マイナスアース車専用）
海外で利用可能なACアダプタ
：AC100～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

次ページへ

DCアダプタのヒューズが万一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。
指定外のヒューズを使用すると、火災、故障の原因となります。指定ヒューズに関しては、個別取扱説明書でご確認ください。

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。
火災の原因となります。

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
火災の原因となります。

充電中は、充電器および卓上ホルダを安定した場所に置いてください。また、充電器および卓上ホルダを布や布団でおおったり、包んだりしないでください。
FOMA端末が外れたり、熱がこもり、火災、故障の原因となります。

雷が鳴り出したら、FOMA端末、アダプタ（充電器含む）には触れないでください。
落雷、感電の原因となります。

電源プラグがコンセントから抜けない場合、無理に抜かないでください。
破損し、感電や故障の原因となります。

コンセントや配線器具の定格を超えた使用はしないでください。
タコ足配線などで定格を超えると、発熱、火災の原因となります。

車内ホルダは確実に取り付けてください。
急ブレーキなどで機器が外れると、事故や故障の原因となります。

お手入れの際は、コンセントやシガーライタソケットから抜いて行ってください。
感電の原因となります。

アダプタ（充電器含む）をコンセントやシガーライタソケットから抜く場合は、アダプタ（充電器含む）のコードや電源コードを引っ張らず、電源プラグを持って抜いてください。
コードを引っ張るとコードが傷つき、感電、火災の原因となります。

アダプタ（充電器含む）のコードや電源コードの上に重いものを載せたりしないでください。
感電、火災の原因となります。

濡れた電池パックを充電しないでください。
電池パックを発熱、発火、破裂させる原因となります。

FOMAカードの取り扱いについて

注意
FOMAカードを取り外す際は切断面などにご注意ください。
手や指を傷つける可能性があります。

医用電気機器近くでの取り扱いについて

■ **本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会）に準ずる。**

警告

満員電車の中など混雑した所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、FOMA端末の電源を切るようにしてください。
電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。
- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）にはFOMA端末を持ち込まないでください。
- 病棟内では、FOMA端末の電源を切ってください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、FOMA端末の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
- 自動的に電源が入る機能が設定されている場合は、設定を解除してから電源を切ってください。

指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、装着部からFOMA端末は22cm以上離して携行および使用してください。

電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。

電波により医用電気機器の動作に影響を与える場合があります。

取扱上の注意について

共通のお願い

●水をかけないでください。
- FOMA端末、電池パック、アダプタ（充電器含む）、FOMAカードは防水仕様にはなっておりません。風呂場など、湿気の多い所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身につけている場合、汗による湿気により内部が腐食し、故障の原因となります。
  調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証の対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、保証の対象外ですので修理を実施できる場合でも有償修理となります。

●お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
- FOMA端末のディスプレイは、カラー液晶画面を見やすくするため、特殊コーティングを施してある場合があります。お手入れの際に、乾いた布などで強くこすると、ディスプレイに傷がつく場合があります。お取り扱いには十分ご注意いただき、お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。また、ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになったり、コーティングがはがれたりすることがあります。
- アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。

●端子は時々乾いた綿棒で清掃してください。
- 端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。また、充電不十分の原因となりますので、汚れたときは、端子を乾いた布、綿棒などで拭いてください。

●エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。
- 急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。

●FOMA 端末に無理な力がかかるような所に置かないでください。
- 多くの物がつまった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりすると、液晶画面、内部基板などの破損、故障の原因となり、保証の対象外となります。

●FOMA端末、電池パック、アダプタ（充電器含む）、卓上ホルダに添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。

FOMA端末についてのお願い

●極端な高温、低温は避けてください。
- 温度は5℃～35℃、湿度は45％～85％の範囲でご使用ください。

●一般の電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、影響を与える場合がありますので、なるべく離れた所でご使用ください。

●お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
- 万一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

●ズボンやスカートの後ろポケットにFOMA端末を入れたまま、椅子などに座らないでください。また、かばんの底など無理な力がかかるような所には入れないでください。
- 故障、破損の原因となります。

●ストラップなどを挟んだまま、FOMA端末を折り畳まないでください。
- 故障、破損の原因となります。

●使用中や充電中、FOMA端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。

●FOMA 端末を異物のある机上などに置かないでください。
- 破損の原因となります。

●通常はイヤホンマイク端子キャップ、外部接続端子キャップをはめた状態でご使用ください。
- ほこり、水などが入り故障の原因となることがあります。

●ディスプレイは金属などでこすったり引っかいたりしないでください。
- 傷つくことがあります。

●ディスプレイ面やダイヤルボタンのある面に厚みのあるシールなどを貼らないでください。
- 故障、破損の原因となります。

電池パックについてのお願い

●電池パックは消耗品です。
- 使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。

次ページへ

●充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の所で行ってください。
●初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に必ず充電してください。
●電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。
●電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。
●直射日光が当たらず、風通しのよい涼しい所に保管してください。
・長時間使用しないときは、使い切った状態でFOMA端末またはアダプタ（充電器含む）から外し、電池パックを包装しているビニール袋などに入れて保管してください。
●電池パックの金属部分（端子）が汚れると、端末との接触が悪くなり電源が切れたりすることがあります。汚れたら乾いた布や綿棒などで拭いてからご使用ください。
●電池残量なしの状態で、電池パックを取り付けたままのFOMA端末を保管・放置しないでください。FOMA端末を長時間放置する場合は、電池パックを外してください。
●電池パックは、長期間使用しない場合でも6か月に1回は充電してください。
・電池パックの性能や寿命を低下させる原因となることがあります。

アダプタ（充電器含む）についてのお願い

●充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の所で行ってください。また、次のような所では、充電しないでください。
・湿気、ほこり、振動の多い所
・一般の電話機やテレビ、ラジオなどの近く
●充電中、アダプタ（充電器含む）が温かくなることがありますが、異常ではありませんのでそのままご使用ください。
●DCアダプタを使用して充電する場合は、車のエンジンを切ったまま使用しないでください。
・車のバッテリーを消耗させる原因となります。
●抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。
●強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。
・故障の原因となります。

FOMAカードについてのお願い

●FOMAカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないようにしてください。
●ご使用になる端末への挿入には必要以上の負荷をかけないようにしてください。
●使用中、FOMAカードが温かくなることがありますが、異常ではありませんのでそのままご使用ください。
●他のICカードリーダー／ライターなどにFOMAカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。
●IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
●お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
●お客様ご自身でFOMAカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
・万一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
●環境保全のため、不要になったFOMAカードはドコモショップなどの窓口にお持ちください。
●極端な高温・低温は避けてください。
●ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
・データの消失、故障の原因となります。
●FOMAカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
・故障の原因となります。
●FOMAカードを曲げたり、重いものを載せたりしないでください。
・故障の原因となります。
●FOMAカードにラベルやシールなどを貼った状態で、FOMA端末に取り付けないでください。
・故障の原因となります。

注意

●改造されたFOMA端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に抵触します。
FOMA端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として「技適マーク〒」がFOMA端末の銘板シールに表示されております。
FOMA端末のネジを外して内部の改造を行なった場合、技術基準適合証明などが無効となります。
技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。

商標について

本書に記載されている会社名や商品名は、各社の商標または登録商標です。

- 「FOMA」「mova」「iモーション」「iモード」「iモーションメール」「iショット」「iメロディ」「DoPa」「mopera」「mopera U」「WORLD CALL」「WORLD WING」「ショートメール」「着モーション」「デコメール」「iエリア」「iチャネル」「デュアルネットワーク」「FirstPass」「sigmarion」「セキュリティスキャン」「musea」「公共モード」「メッセージF」「パケ・ホーダイ」「OFFICEED」「IMCS」および「FOMA」ロゴ「i-mode」ロゴはNTTドコモの商標または登録商標です。
- 「Microsoft」、「Windows」は、米国「Microsoft Corporation」の米国およびその他の国における登録商標です。
- 「キャッチホン」は日本電信電話株式会社の登録商標です。
- フリーダイヤルサービス名称とフリーダイヤルロゴマークはNTTコミュニケーションズ株式会社の登録商標です。
- 本製品はインターネット機能として、株式会社ACCESSのNetFrontを搭載しています。NetFrontは日本国およびその他の国における株式会社ACCESSの商標または登録商標です。
  Copyright© 1996-2007 ACCESS CO., LTD.
- 本製品はAdobe Systems IncorporatedのFlash® Lite™ テクノロジーを搭載しています。
  Adobe、FlashおよびFlash LiteはAdobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の米国ならびにその他の国における商標または登録商標です。
  Copyright© 1995-2007 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.
- McAfee®、マカフィー®は米国法人McAfee, Inc.またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標です。
- AdobeおよびReaderはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他の国における登録商標です。
- QuickTimeは米国その他の国で登録された米国アップルコンピュータ社の登録商標です。
- 本製品は、日本語変換機能として、株式会社ジャストシステムのATOK＋APOTを搭載しています。
  「ATOK」「APOT(Advanced Prediction Optimization Technology)」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。
- 本機には、Symbian Software Ltd©1998-2007よりライセンス供与されたソフトウェアが含まれています。symbianおよびSymbian OSはSymbian Ltd.の商標です。
- その他、本取扱説明書に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

本書では各OS（日本語版）を次のように略して表記しています。

- Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemまたはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。
- Windows 2000は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating systemの略です。
- Windows XP、2000と併記する場合があります。

その他

- 本製品の一部分にIndependent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- 本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。
  - MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画やiモーション(以下、MPEG-4 Video)を記録する場合
  - 個人的かつ営利活動に従事していない消費者によって記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合
  - MPEG-LAよりライセンスをうけた提供者により提供されたMPEG-4 Videoを再生する場合

  プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。
- 下記一件または複数の米国特許またはそれに対応する他国の特許権に基づき、QUALCOMM社よりライセンスされています。
  Licensed by QUALCOMM Incorporated under one or more of the following United States Patents and/or their counterparts in other nations;

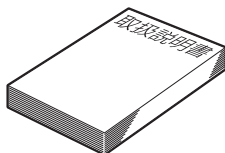
4,901,307	5,504,773	5,109,390
5,535,239	5,267,262	5,600,754
5,416,797	5,490,165	5,101,501
5,511,073	5,267,261	5,568,483
5,414,796	5,659,569	5,056,109
5,506,865	5,228,054	5,544,196
5,337,338	5,657,420	5,710,784
5,778,338		

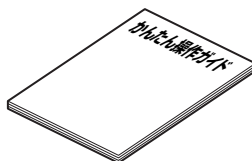
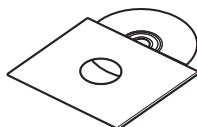
- 「待受画像（雲）」のデザインに関する著作権は株式会社日本デザインセンターが有しています。
- 「待受画像（海）」のデザインに関する著作権はホンマタカシ氏が有しています。
- 「待受画像（草）」のデザインに関する著作権は片桐飛鳥氏が有しています。
- 「待受画像（日常の静物）」のデザインに関する著作権は水谷嘉孝氏が有しています。

本体付属品および主なオプション品について

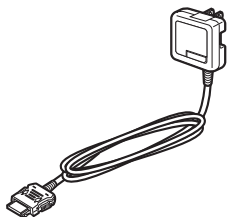
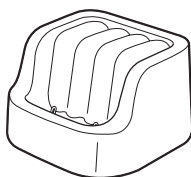
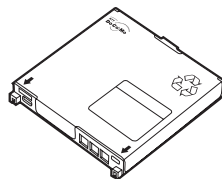
■ 本体付属品

FOMA F883i
（リアカバー F20、保証書含む）

FOMA F883i
取扱説明書（本書）

※ P534にクイックマニュアルを記載しています。

FOMA F883i
かんたん操作ガイド

FOMA F883i用
CD-ROM

※ PDF版「データ通信マニュアル」および「区点コード一覧」を収録しています。

■ 主なオプション品

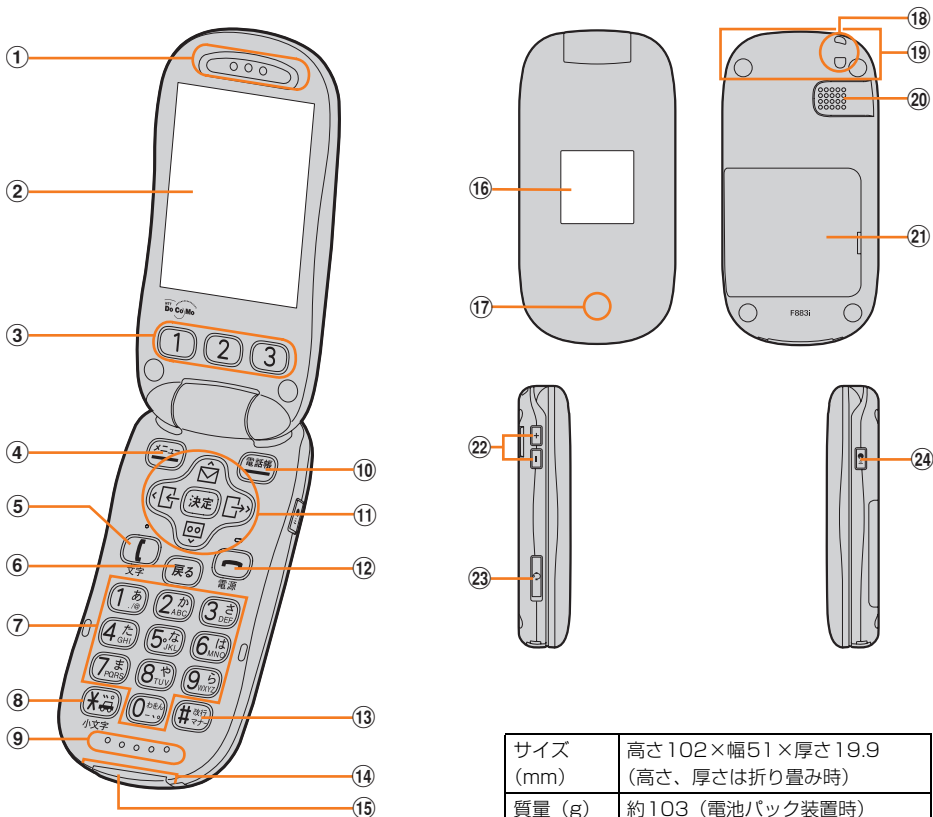
FOMA ACアダプタ 01／02
（保証書、取扱説明書付き）

卓上ホルダ F18
（取扱説明書付き）

電池パック F09
（取扱説明書付き）

その他のオプション品について→P492

ご使用前の確認

各部の名称と機能

ここでは、F883iの各部の名称と、ボタンに割り当てられている主な操作の説明をします。

● 操作の説明では、各ボタンをここで説明したイラストで表しています。

サイズ（mm）	高さ102×幅51×厚さ19.9（高さ、厚さは折り畳み時）
質量（g）	約103（電池パック装置時）

① **受話口**

相手の声がここから聞こえます。

② **ディスプレイ→P22**

③ **[1][2][3] ワンタッチダイヤルボタン1／2／3**

ワンタッチダイヤルを登録します。
1秒以上押すと、登録した相手に電話がかけられます。

④ **[メニュー] メニューボタン**

メニューの表示、ガイド行の左に表示される操作の実行に使います。
1秒以上押すと、ボイスメニューが使用できます。

⑤ **[開始] 開始／文字ボタン**

電話をかける／受ける、スピーカーホン機能の通話切り替え、留守番電話の伝言メッセージ再生、文字入力の入力モード切り替えに使います。

⑥ **[戻る] 戻るボタン**

文字の消去、1つ前の画面に戻るときに使用します。
1秒以上押すと、新着情報の表示を消去できます。

⑦ 0～9ダイヤルボタン

電話番号や文字の入力、メニュー項目の実行に使います。
0を1秒以上押すと、「+」が表示されます。

⑧ ＊／公共モード（ドライブモード）／小文字ボタン

「＊」や「゛」、「゜」の入力、大文字／小文字の切り替えに使います。
1秒以上押すと、公共モードの設定／解除ができます。

⑨ マイク

自分の声をここから伝えます。
※ マイクをふさぐと、相手にお客様の声が聞こえにくくなったり、音声が正常に録音されなくなったりする場合があります。

⑩ 電話帳ボタン

電話帳の表示、ガイド行の右に表示される操作の実行、スピーカーホン機能での通話切り替えに使います。
1秒以上押すと、電話帳の音声検索ができます。

⑪ マルチカーソルボタン

決定 決定ボタン

選択した操作の実行、お知らせ情報の表示、チャネル一覧の表示に使います。
1秒以上押すと、iモードメニューが表示されます。

メール／上ボタン

メールメニュー画面の表示、カーソルの上方向への移動、音量の調節、新着メール受信後の受信箱のメール一覧の表示に使います。
1秒以上押すと、メール作成画面が表示されます。

伝言メモ／下ボタン

伝言メモの再生／削除、カーソルの下方向への移動、音量の調節に使います。
1秒以上押すと、伝言メモの設定／解除ができます。

着信履歴／左ボタン

着信履歴の表示、カーソルの左方向への移動、画面の切り替えに使います。

リダイヤル／右ボタン

リダイヤルの表示、カーソルの右方向への移動、画面の切り替えに使います。

⑫ 終了／電源ボタン

通話や操作中の機能の終了、応答保留、シークレットモードの解除に使います。
2秒以上押すと、電源のON／OFFができます。

⑬ #／改行／マナーモードボタン

「#」の入力、改行に使います。
1秒以上押すと、マナーモードの設定／解除ができます。

⑭ 充電端子

⑮ 外部接続端子

FOMA ACアダプタ 01／02（別売）など、各種オプション品を接続します。→P37

⑯ 背面ディスプレイ→P24

⑰ ランプ

充電中は赤色で点灯、ソフトウェアダウンロード中は黄色で点滅します。電話の着信時やメールの受信時、スケジュールアラーム鳴動時などには、お使いのFOMA端末の色によって次の色で点滅します。

端末の色	ランプの色
ホワイト	白
ブラック／ピンク	赤
ゴールド	黄色

⑱ ストラップ取付口

⑲ FOMAアンテナ

アンテナは本体に内蔵されています。

⑳ スピーカー

着信音やスピーカーホン機能使用中の相手の声、音声読み上げの音声がここから聞こえます。

㉑ リアカバー

㉒ ＋－音量ボタン

背面ディスプレイの照明の点灯、受話音量・着信音量・読み上げ音量・メロディや動画／iモーションの再生音量・目覚まし音量などの調節に使います。

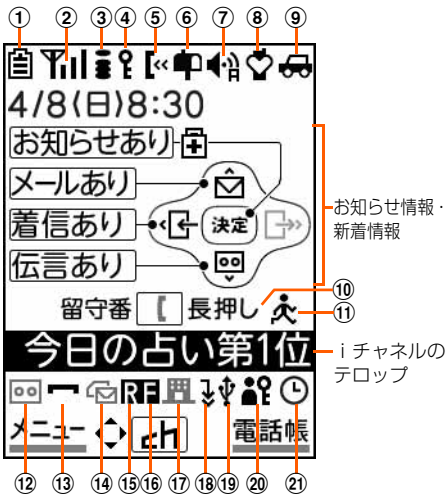
㉓ イヤホンマイク端子

平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などを接続します。→P413

㉔ 音声読み上げボタン

背面ディスプレイの表示切り替えと照明の点灯、ゆっくりボイスの設定、音声読み上げ、目覚まし音の停止、予定の通知の音声の停止、歩数表示の確認に使います。

ディスプレイの見かた

ここでは、ディスプレイに表示されるマークの説明をします。

① ：電池残量の表示→P39

② ／ 圏外 ：受信レベルの表示→P41

SELF：セルフモード中→P156

：パソコンを接続してデータ転送中→P434、P492

③ ：ｉモード中、接続中→P195

：SSLページ表示中→P196

／ ：パソコンを接続してパケット通信中／データ送受信中→P430

④ ：シークレットモード中→P157

⑤ ：通話中→P50

64K：64Kデータ通信中→P430

：音声読み上げ可能／音声読み上げ中→P180

⑥ ※1：ｉモードメール、SMS、メッセージR/Fの受信完了通知→P232、P293、P326

⑦ ※2、3 ：オートスピーカーホン機能の設定中→P65

通信中：ｉモード中→P195

取得中：ｉモーションデータ取得中→P249

漢かな／半角カナ／英字／数字／全角かな／全角カナ：入力モードの表示→P438

⑧ ※3 ：マナーモード中→P135

SV ：電話着信のバイブレータと着信音量の消音を同時に設定中→P70、P131

V ：電話着信のバイブレータを設定中→P131

S ：着信音量を消音に設定中→P70

：ｉモードメール、SMSの受信中→P293、P326

⑨ ※3 ：公共モード（ドライブモード）中→P74

：FOMAカードを読み込み中→P41

R ：メッセージRの受信中→P232

F ：メッセージFの受信中→P232

⑩ ※2 留守番 長押し：新着情報

／ ：圏内自動送信メールあり／圏内、歩数計自動送信失敗メールあり→P275、P409

iモード 決定 長押し※4：ｉモードの接続操作の表示→P195

⑪ ／ ：歩数計の使用設定中／歩数計の使用と歩数計自動送信メールを設定中→P405、P409

⑫ ※2 (赤)：伝言メモが満杯→P77

：未確認の伝言メモあり→P81

(黒)：伝言メモの設定中→P77

⑬ ：未確認の不在着信情報あり→P67

⑭ ※2 ：未読ｉモードメール、SMSが満杯で、FOMAカードにSMSが満杯→P294、P327

(赤)：未読ｉモードメール、SMSが満杯→P294、P327

：FOMAカードにSMSが満杯→P327

(黒)：未読ｉモードメール、SMSあり→P293、P326

⑮ R／R（黒／赤）：未読メッセージRあり／満杯→P232、P233

⑯ F／F（黒／赤）：未読メッセージFあり／満杯→P232、P233

⑰※2 （赤）：センターにｉモードメールとメッセージR/Fが満杯、またはいずれかが満杯で未受信あり→P233、P294

／／（すべて赤）：センターにｉモードメール、またはメッセージR/Fが満杯→P233、P294

（黒）：センターに未受信のｉモードメールとメッセージR/Fあり→P233、P294

／／（すべて黒）：センターに未受信のｉモードメール、メッセージR、メッセージFのいずれかがあり→P233、P294

⑱ ：ソフトウェア更新の予約中→P509

⑲ ：FOMA USB接続ケーブルでパソコンなどと接続中→P430、P492

⑳※2 ：個人情報表示制限中→P158

：ダイヤル発信制限中→P160

㉑ ：目覚まし設定中→P388

：通知する予定あり→P391

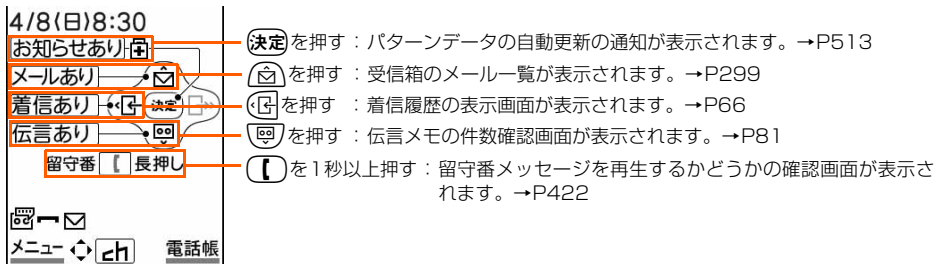
：目覚まし設定中に通知する予定あり→P388、P391

※1 待受画面に戻ると表示が消えます。
※2 現在優先度の高いものが1つ表示されます。優先度の高い順に上から掲載しています。
※3 待受画面以外では、時刻が表示されます。
※4 待受画像をお買い上げ時の画像または「表示なし」に設定したときのみ表示されます。

お知らせ情報・新着情報の表示

パターンデータの自動更新の通知があると、待受画面でお知らせ情報として表示します。また、メールの受信や不在着信の記録、伝言メモの録音、留守番電話サービスセンターに伝言メッセージの録音があると、待受画面で新着情報としてお知らせします。

4/8(日)8:30
お知らせあり
メールあり
着信あり
伝言あり
留守番 長押し
メニュー 電話帳

決定を押す：パターンデータの自動更新の通知が表示されます。→P513
を押す：受信箱のメール一覧が表示されます。→P299
を押す：着信履歴の表示画面が表示されます。→P66
を押す：伝言メモの件数確認画面が表示されます。→P81
を1秒以上押す：留守番メッセージを再生するかどうかの確認画面が表示されます。→P422

● 戻るを1秒以上：新着情報の表示を消します。
● FOMA端末を折り畳んでいるときは、背面ディスプレイに新着情報が表示されます。

ガイド行の表示

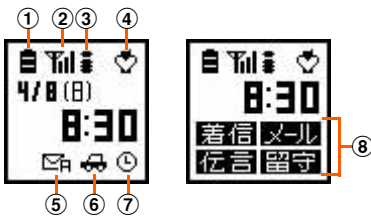
ガイド行には、(メニュー)、(決定)、(電話帳)を押して実行できる操作が表示されます（表示される操作は画面により異なります）。表示位置とボタンは、図のように対応しています。

本書では、ガイド行に表示される操作の説明を、対応するボタン（(メニュー)、(決定)、(電話帳)）を使って説明しています。

● ガイド行の◆は、マルチカーソルボタンの(上)(下)(左)(右)に対応しています。
● ガイド行の右側に「ガイド」と表示されるとき(電話帳)を押すと、機能の詳細を説明するガイド画面が表示されます。ガイド画面を終了するには、(電話帳)または(戻る)を押します。

背面ディスプレイの見かた

FOMA端末を折り畳んでいても、設定されている機能やさまざまな情報を確認できます。

表示されるマーク一覧

① ：電池残量の表示→P39
② ／ 圏外 ：受信レベルの表示→P41
SELF ：セルフモード中→P156
：パソコンを接続してデータ転送中→P434、P492
③ ：ｉモード中、接続中→P195
④ ：マナーモード中→P135
：音声読み上げ可能／音声読み上げ中→P180
⑤ ／ ：圏内自動送信メールあり／圏内、歩数計自動送信失敗メールあり→P275、P409
⑥ ：公共モード（ドライブモード）中→P74
⑦ ：目覚まし設定中→P388
：通知する予定あり→P391
：目覚まし設定中に通知する予定あり→P388、P391
⑧ 新着情報→P23
※ 他のマークより優先して表示されます。

主な表示

FOMA端末を折り畳んでいるときに、電話を着信した場合やメール受信中など、待受中から変化があると、状態を表示してお知らせします。主な表示内容は次のとおりです。

■ 電話の状態表示

＜電話がかかってきたとき＞

通話中や応答保留中、切断中などの状態が表示されます。

- 電話の受けかた→P62

※背面表示設定を「表示しない」に設定しているときは、電話がかかってきても相手の電話番号や名前は表示されません。→P138

■ 伝言メモの状態表示

応答中や録音中に表示されます。

- 伝言メモ→P77

■ ｉモードメールやSMS、メッセージR/Fの状態表示

＜ｉモードメール受信中のとき＞

受信中や問合せ中などの状態が表示されます。

- ｉモードメール受信→P293
- SMS受信→P326
- メッセージR/F受信→P232

■ 圏内自動送信や歩数計自動送信メールに失敗したとき

- 圏内自動送信→P275
- 歩数計自動送信メール→P409

■ 目覚まし時刻や予定を通知する日時になったとき

＜目覚まし時刻になったとき＞

- 目覚まし→P388
- 予定表→P390

●このほかにも、ｉモード問合せやSMS問合せ、メロディの再生、データ通信を行った場合にも状態表示されます。

表示の切り替え

背面ディスプレイの照明が点灯しているときに[スマイル]を押すと、押すたびに時計表示が切り替わります。消灯しているときは、[＋][－][スマイル]のいずれかを押すと点灯します。

<デジタル時計と通常歩行の歩数> <デジタル時計といきいき歩行の歩数> <デジタル時計大> <アナログ時計> <デジタル時計>

- 歩数計を「利用しない」に設定しているときは、デジタル時計と通常歩行の歩数、デジタル時計といきいき歩行の歩数は表示されず、デジタル時計→デジタル時計大→アナログ時計の順に表示されます。
- 切り替えた表示の設定は、電源を入れ直すか各種設定リセットを行うまで保持されます。
- デジタル時計の表示形式は、24時間形式または12時間形式に設定できます。→P143

お知らせ

- 背面ディスプレイに情報が表示されているときにFOMA端末を開くと、表示は消えます。
- FOMA端末を折り畳んでいるときに電話がかかってきたりメールを受信したりして背面ディスプレイの表示が自動的に切り替わった場合は、照明が自動的に点灯します。
- デジタル時計と通常歩行の歩数、デジタル時計といきいき歩行の歩数を表示しているときは、背面ディスプレイ下部のマークは表示されません。また、デジタル時計大、アナログ時計を表示しているときは、すべてのマークが表示されません。ただし、新着情報のマークが表示されるときはデジタル時計に切り替わり、マークが確認できます。新着情報を確認すると、元の時計表示に戻ります。
- 電話着信時の相手の情報やメロディ再生中の題名が、半角で9文字、全角で5文字を超える場合は、スクロールして表示されます。再びスクロール表示するときは、[スマイル]を押します。

メニュー操作のしかた

待受画面でメニューを押すと表示されるメニュー画面や、メールを押すと表示されるメールメニュー画面などから、各種機能を選択して実行します。機能を選択するには、マルチカーソルボタンを押して選択する方法と、各機能に対応したダイヤルボタンを押して選択する方法の2とおりがあります。

● メニュー画面から選択して実行できる機能については、「メニュー一覧」をご覧ください。→P454

マルチカーソルボタンでの機能選択

〈例〉「ボタンを押した時の音を設定する」を実行するとき

1 待受画面でメニューを押す

メニュー画面が表示されます。

カーソル：選択している機能の色が変わります。

次の階層のメニューがあることを示します。

表示中のメニュー画面に続きがある場合に表示されます。

続きを表示するときは、メール・電話帳を数回押してカーソルを移動するか、左・右を押して画面を切り替えます。

2 電話帳を押して「8 初めに行う設定」を選択▶決定を押す

「初めに行う設定」のメニュー画面が表示されます。

● メール：カーソルが上の機能に移動します。

● 電話帳：カーソルが下の機能に移動します。

3 電話帳を押して「6 ボタンを押した時の音を設定する」を選択▶決定を押す

ボタンを
押した時に音を
鳴らしますか？

1 鳴らす
2 鳴らさない

次ページへ

4 ［上］［下］を押して「1鳴らす」または「2鳴らさない」を選択▶［決定］を押す

ボタン確認音を設定した旨のメッセージが表示されます。

5 ［決定］を押す

メニュー画面に戻ります。

● ［終話］を押すと待受画面に戻ります。

タイル形式のメニューから機能を選択するとき

メニューの形式を「タイル形式」に設定したときは、待受画面で［メニュー］を押すと表示されるメニュー画面での操作方法が異なります。また、メニュー項目名が異なるものがあります。

● メニュー形式の選択とメニュー項目名について→P139

1 待受画面で［メニュー］を押す

メニュー画面が表示されます。

カーソル：選択している機能の色が変わり、拡大表示されます。

2 ［下］を押して「基本設定」を選択▶［決定］を押す

● ［上］：カーソルが上の機能に移動します。

● ［下］：カーソルが下の機能に移動します。

● ［左］：カーソルが左の機能に移動します。

● ［右］：カーソルが右の機能に移動します。

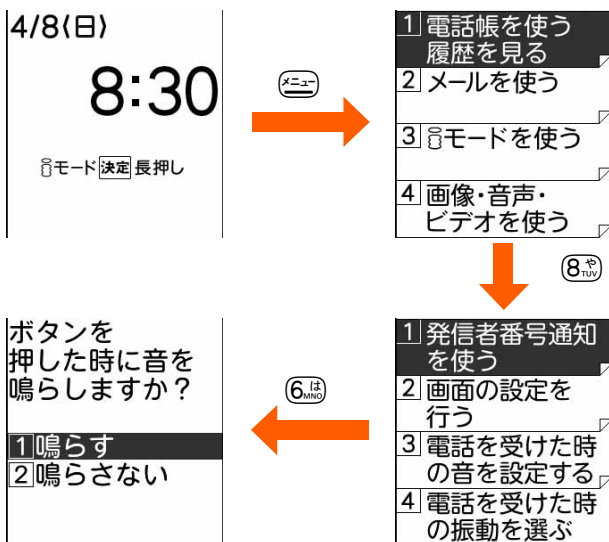
- 以降の操作は通常のメニューと同じです。

ダイヤルボタンでの機能選択<ショートカット操作>

各機能にはそれぞれ番号が割り当てられており、各機能の左側に表示されています。機能は、対応するダイヤルボタンを押して選択できます。これをショートカット操作といいます。
本書では、待受画面で(メニュー)を押してメニュー画面を表示し、該当するダイヤルボタンを順番に押すショートカット操作で、主に操作を説明しています。
メニューの形式を「タイル形式」に設定したときは、メニュー項目名が本書での記載と異なるものがありますが、操作するダイヤルボタンは同じです。

● メニュー形式の選択とメニュー項目名について→P139

〈例〉「ボタンを押した時の音を設定する」を実行するとき

1 **待受画面で(メニュー)▶「8初めに行う設定」▶「6ボタンを押した時の音を設定する」を押す**

2 **「1鳴らす」または「2鳴らさない」を押す**

3 **(決定)を押す**

メニュー画面に戻ります。

● (—)を押すと待受画面に戻ります。

待受画面や1つ前の画面に戻るには

機能を選択した後で、待受画面や1つ前の画面に戻るときは次のボタンを押します。

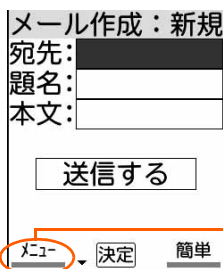
戻る：1つ前の画面に戻ります。

（終話）：待受画面に戻ります。

サブメニューからの機能選択

ガイド行の左側に メニュー が表示されているときは、（メニュー）を押してサブメニューを表示し、さまざまな操作ができます。

〈例〉メール作成画面のサブメニューを表示するとき

1 待受画面で（メール）を1秒以上押す

メール作成画面が表示されます。

● 簡単メール作成画面が表示されたときは、（電話帳）▶「1切替える」を押します。

ガイド行の左側に メニュー が表示されます。

2 （メニュー）を押す

1 送信する
2 保存する
3 署名付きで送信
4 添付データ
5 電話帳を呼出す
6 例文を使う
7 宛先を追加
8 宛先を削除
戻る 決定

サブメニューが表示されます。

● サブメニューは、操作する画面により異なります。

カーソル：選択している機能の色が変わります。

表示中のメニュー画面に続きがある場合に表示されます。
続きを表示するときは、（上）（下）を数回押してカーソルを移動するか、（左）（右）を押して画面を切り替えます。

3 （上）（下）を押して機能を選択▶（決定）を押す

機能が実行されます。

● 画面左はしに表示される番号に対応するダイヤルボタンを押しても選択できます。

● サブメニュー表示中に（メニュー）を押すと、サブメニューが閉じます。

お知らせ

● 各種ロック機能を設定している場合や、FOMAカードを取り付けていない場合などは、機能を選択すると実行できない理由などを表示します。サブメニューの場合は、実行できない機能の文字がグレーなどで薄く表示され、その機能は選択できません。

FOMAカードを使います

FOMAカードとは、電話番号などのお客様情報を記録できるカードです。FOMA端末に挿入して使用します。

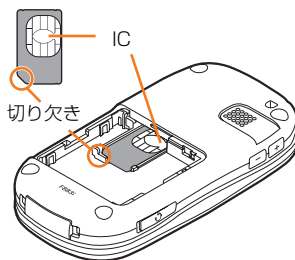
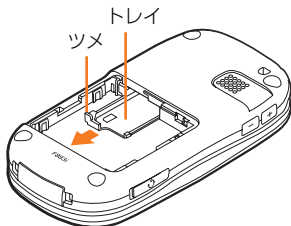
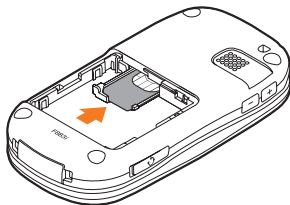
- FOMA カードを正しく取り付けていない場合や、FOMA カードに異常がある場合は、電話の発着信やメールの送受信などはできません。
- FOMAカードの取り扱いについての詳細は、FOMAカードの取扱説明書をご覧ください。

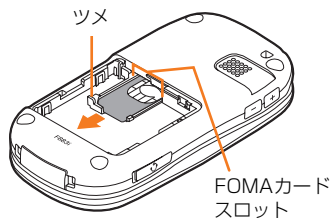
FOMAカードの取り付けかた／取り外しかた

- 電源を切ってからFOMA端末を折り畳み、両手で持ったまま行ってください。FOMA端末を置いた状態で行うと、背面ディスプレイが破損するおそれがあります。
- FOMAカードのIC部分に触れたり、傷を付けたりしないようにご注意ください。
- リアカバーと電池パックの取り付けかた／取り外しかた→P34

取り付けます

①ツメを引き、「カチッ」と音がするまでトレイを引き出します。

②IC面を上にして、図のような向きでFOMAカードをトレイに載せます。

③トレイを奥まで押し込みます。

取り外します

①ツメを引き、「カチッ」と音がするまでトレイを引き出し、FOMAカードを静かに取り外します。取り外したFOMAカードは、なくさないようにご注意ください。

お知らせ

- FOMAカードを無理に取り付けようとしたり、引き抜こうとしたりすると、FOMAカードやトレイが壊れる場合がありますのでご注意ください。
- トレイを強く引き抜いて外れてしまった場合には、FOMAカードスロット内部のガイドレールに合わせてまっすぐに押し込んでください。このとき、FOMAカードは取り外した状態で行ってください。

FOMAカードの暗証番号について

FOMAカードには、PIN1コード、PIN2コードという2つの暗証番号があります。→P147
ご契約時はどちらも「0000」に設定されていますが、4～8桁の任意の数字に変更できます。→P150

FOMAカード動作制限機能について

FOMA端末には、お客様のデータやファイルを保護したり、第三者が著作権を有するデータやファイルを保護したりするための機能として、FOMAカード動作制限機能が搭載されています。

- FOMA端末にお客様のFOMAカードを取り付けている状態で、サイトなどからファイルやデータをダウンロードしたり、メールに添付されたデータを取得したりすると、それらのデータやファイルにはFOMAカード動作制限機能が自動的に設定されます。
- FOMAカードを差し替えた場合やFOMAカードを差し込んでいない場合、FOMAカード動作制限機能が設定されたデータやファイルの表示や再生はできなくなります。
- 動作制限の対象となるデータは次のとおりです。
  - 画面メモ
  - メッセージR/F
  - ｉモードメール添付のデータ
  - ｉモーション
  - 画像（アニメーション、Flashを含む）
  - メロディ

● FOMAカード動作制限機能の対象になっているデータを、待受画面や着信音などに設定しているとき、別のFOMAカードに差し替えて使用したり、FOMAカードを取り付けずに使用したりすると、待受画面や着信音などの設定がお買い上げ時の状態に戻ります。データをダウンロードしたときに使用したFOMAカードを取り付けると、設定は元の状態に戻ります。
● データリンクソフトを使用して入手したデータには、FOMAカード動作制限機能が設定されません。
● 次のメニューの設定項目にはFOMAカードに保存されるものがあります。FOMAカードを差し替えると、差し替えたFOMAカードに保存されている内容が表示されます。詳細は「メニュー一覧」をご覧ください。→P454
・自分の電話番号を見る　・SMSを設定する　・証明書の使用と表示を設定する
・FOMAカードのPINコードを設定する

FOMAカードの機能差分について

FOMA端末でFOMAカード（青色）をご使用になる場合、FOMAカード（緑色／白色）とは次のような違いがありますので、ご注意ください。

項　目	FOMAカード（青色）	FOMAカード（緑色／白色）	参照先
FOMAカード電話帳に登録できる電話番号の桁数	最大20桁	最大26桁	P98
FirstPassを利用するためのユーザ証明書操作	利用不可	利用可	P245
WORLD WINGサービスの利用	利用不可	利用可	P33
サービスダイヤル	利用不可	利用可	P427

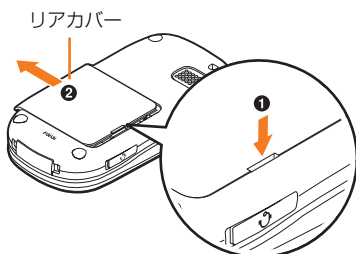
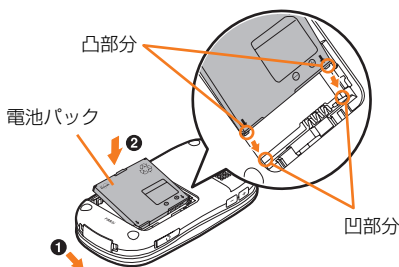
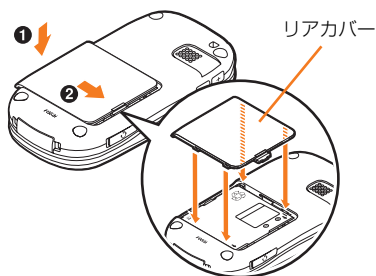
WORLD WING

WORLD WINGとは、FOMAカード（緑色／白色）をサービス対応のFOMA端末や海外用携帯電話（W-CDMAまたはGSM方式）に差し替えることにより、海外でも同じ携帯電話番号で発信や着信ができる、ドコモのFOMA国際ローミングサービスです。
※2005年9月1日以降にFOMAサービスをご契約いただいたお客様は、WORLD WINGのお申し込みは不要です。ただし、FOMAサービスご契約時に不要である旨お申し出いただいたお客様や途中でご解約されたお客様は、再度お申し込みが必要です。
※2005年8月31日以前にFOMAサービスをご契約でWORLD WINGをお申し込みいただいていないお客様は、お申し込みが必要です。
※一部ご利用になれない料金プランがあります。
※万一、海外でFOMAカード（緑色／白色）の紛失・盗難にあった場合などは、速やかにドコモへご連絡いただき、利用中断の手続きをお取りください。お問い合わせ先については、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」をご覧ください。なお、紛失・盗難された後に発生した通話・通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。

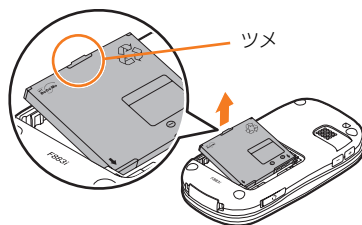
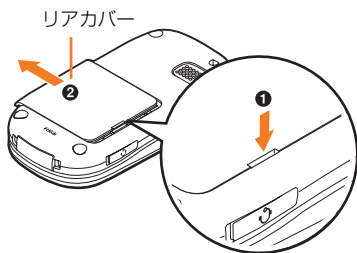
電池パックの取り付けかた／取り外しかた

●電源を切ってからFOMA端末を折り畳み、手に持って行ってください。FOMA端末を置いた状態で行うと、背面ディスプレイが破損するおそれがあります。
●電池パックを取り外すと、ソフトウェア更新の予約が解除される場合があります。また、日付時刻設定を「手動で設定する」に設定中に電池パックを取り外すと、日付・時刻が消去される場合があります。

取り付けます

①指で❶の方向にリアカバーの「═══」部分を押し付けながら、❷の方向に約2mmスライドさせて外します。

②電池パックのラベル面を上にして、電池パックの凸部分をFOMA端末の凹部分に合わせて❶の方向に差し込み、❷の方向に押し付けてはめ込みます。

③リアカバーの4箇所のツメをFOMA端末のミゾに合わせます。
FOMA端末とリアカバーにすき間が生じないように❶の方向に押さえながら、❷の方向にスライドさせて取り付けます。

取り外します

①指で❶の方向にリアカバーの「▭」部分を押し付けながら、❷の方向に約2mmスライドさせて外します。

②電池パックのツメをつまんで、矢印方向に持ち上げて取り外します。

- 電池パックを無理に取り付けようとするとFOMA端末の端子が破損する場合があるため、ご注意ください。
- 上記以外の方法で取り付け／取り外しを行ったり、力を入れすぎたりすると、FOMA端末やリアカバーが破損するおそれがあります。

携帯電話を充電します

お買い上げのとき、電池パックは十分に充電されていません。必ず専用のACアダプタまたはDCアダプタで充電してからお使いください。

- 電池パック単体での充電はできません。
- F883iの性能を十分に発揮するために、必ず電池パックF09をお使いください。
- 電池パックF09の取り扱いについての詳細は、電池パックの取扱説明書をご覧ください。

充電時間（目安）

F883iの電源を切って、電池パックを空の状態から充電したときの時間です。電源を入れたまま充電すると、充電時間は長くなります。

FOMA ACアダプタ 01／02	約130分	FOMA DCアダプタ 01／02	約130分

十分に充電したときの使用時間（目安）

充電のしかたや使用環境によって、使用時間は変動します。

項目	時間
連続待受時間※1	静止時：約400時間（約560時間） 移動時：約280時間（約400時間）
連続通話時間※2	約200分

※1（　）内の時間は、歩数計を「利用しない」に設定している状態での目安です。
※2 電波を正常に送受信できる状態で通話に使用できる時間の目安です。

次ページへ

●連続待受時間はF883iを折り畳んで電波を正常に受信できる状態で移動した場合の目安です。なお、電池パックの充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かない、または弱い）などにより、通話や通信、待受時間は約半分程度になる場合があります。ｉモード通信を行うと通話や通信、待受の時間は短くなります。また、通話やｉモード通信をしなくてもFOMA端末を開いていたり、ｉモードメールの作成、音声読み上げ、動画／ｉモーションの再生、マルチアクセスの実行、データ通信などをしていたりすることによっても、通話や通信、待受の時間は短くなります。

電池パックの寿命について

●電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに1回で使える時間が、次第に短くなっていきます。
●1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、電池パックの寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。また、電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。
充電しながらｉモード通信などを長時間行うと、電池パックの寿命が短くなることがあります。

お知らせ

●FOMA端末を開いた状態のときや通話中、通信中は充電時間が長くなる場合があります。充電を早く完了させるには、操作を終了し、FOMA端末を折り畳んでから充電することをおすすめします。

充電について

詳細は、FOMA ACアダプタ 01／02（別売）、FOMA 海外兼用ACアダプタ 01（別売）、FOMA DCアダプタ 01／02（別売）の取扱説明書をご覧ください。
●FOMA ACアダプタ 01はAC100Vのみに対応しています。また、FOMA ACアダプタ02はAC100Vから240Vまで対応しています。
●FOMA 海外兼用ACアダプタ 01はAC100Vから240Vまで対応していますが、ACアダプタのプラグ形状はAC100V（国内仕様）です。

電池パックの上手な使いかた

●**電源を入れたままでの長時間（数日間）充電はおやめください。**
FOMA端末の電源を入れた状態で充電が完了した後は、FOMA端末は電池パックから電源が供給されます。そのままの状態で長時間置くと、電池パックが消費され、短い時間しか使用できずに電池残量警告音が鳴ってしまう場合があります。その場合は、FOMA端末をACアダプタや卓上ホルダ、DCアダプタから外して、もう一度セットし直してから充電を行ってください。
●**環境保全のため、不要になった電池はNTT DoCoMoまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。**

充電時の留意事項

- 充電を開始すると、ランプが赤色で点灯します。ただし、環境によっては充電開始時にランプがすぐに点灯しない場合がありますが、故障ではありません。しばらくたっても点灯しない場合は、FOMA端末をACアダプタや卓上ホルダ、DCアダプタから外して、もう一度セットし直してから充電を行ってください。充電開始後、しばらくたっても点灯しない場合は、ドコモショップなどの窓口にお問い合わせください。
- 充電中はFOMA端末や電池パック、卓上ホルダ、ACアダプタ、DCアダプタが温かくなる場合がありますが、異常ではありません。ただし、充電中にパケット通信などを行うと、FOMA端末内部の温度が上昇し、充電が正常に終了しない場合があります。その場合は、FOMA端末の温度が下がるのを待って充電を行ってください。
- 充電中に電話を着信したり、メールを受信したりしてランプが使用されると、ランプが一時的に消灯したり、異なる色で点灯したりしますが、しばらくたつと赤色で点灯します。これらの理由以外で充電中にランプが点滅する場合は、「故障かな?と思ったら、まずチェック」をご覧ください。→P495
- 十分に充電されている電池パックをFOMA端末に取り付けてACアダプタや卓上ホルダ、DCアダプタに接続すると、ランプが一瞬点灯してすぐに消灯する場合がありますが、故障ではありません。
- 電源を切っているときや通話中、通信中、マナーモード中、公共モード中、充電確認音を「知らせない」に設定しているときは、確認音は鳴りません。

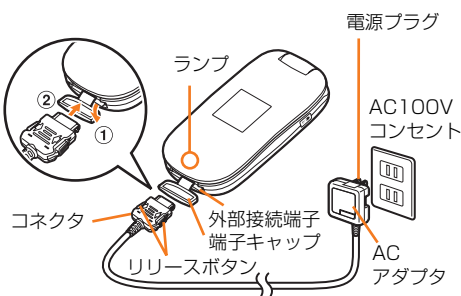
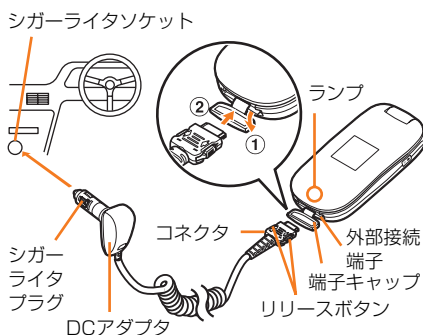
ACアダプタ／DCアダプタでの充電方法

必ずFOMA ACアダプタ 01／02(別売)またはFOMA DCアダプタ 01／02(別売)の取扱説明書もご覧ください。

(1) FOMA端末に電池パックを取り付けます。

(2) FOMA端末の外部接続端子の端子キャップを開き(①)、ACアダプタまたはDCアダプタのコネクタを矢印の表記面を上にして、FOMA端末と水平に差し込みます(②)。
  - 端子キャップが開きにくい場合は、FOMA端末を開いて行ってください。

(3) ACアダプタの場合は電源プラグを起こしてAC100Vコンセントへ差し込みます。
  DCアダプタの場合はシガーライタプラグを車のシガーライタソケットへ差し込みます。

次ページへ

(4) 充電開始音が鳴り、ランプが点灯し、電池マークが点滅します。
(5) 充電が終わると充電完了音が鳴り、ランプが消灯し、電池マークの点滅が止まります。
(6) ACアダプタの場合は電源プラグをコンセントから抜きます。
DCアダプタの場合はシガーライタプラグをシガーライタソケットから抜きます。
(7) コネクタの両側のリリースボタンを押してFOMA端末から水平にコネクタを外し、端子キャップを閉じます。

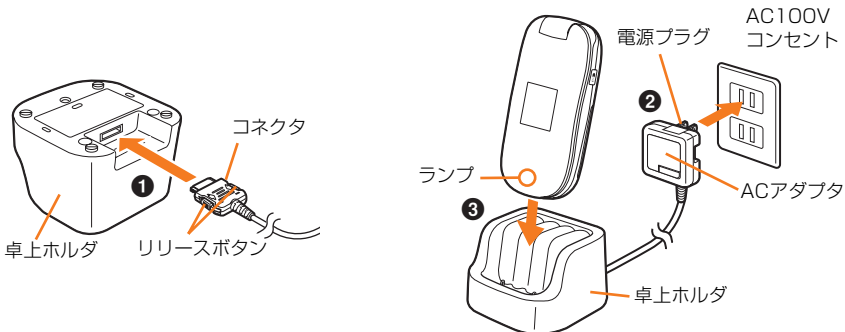
お知らせ

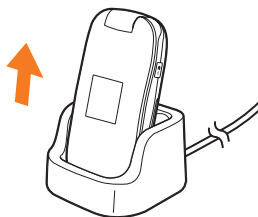
- ACアダプタやDCアダプタのコネクタを抜き差しする際は、無理な力がかからないようゆっくり確実に行ってください。取り外すときは、必ずリリースボタンを押しながら水平に引き抜いてください。無理に引き抜こうとすると故障の原因となります。
- FOMA端末を使用しないときや車から離れるときは、DCアダプタのシガーライタプラグをシガーライタソケットから外し、FOMA端末からDCアダプタのコネクタを抜いてください。
- DCアダプタのヒューズ(2A)は消耗品です。交換するときは、お近くのカー用品店などでお買い求めください。

卓上ホルダと組み合わせた充電方法

FOMA ACアダプタ 01／02（別売）と卓上ホルダ F18（別売）を組み合わせると、FOMA端末の端子キャップを開かないで充電できます。
必ず卓上ホルダ F18（別売）の取扱説明書もご覧ください。

- 卓上ホルダだけでは充電できません。ACアダプタが必要です。
- 卓上ホルダは平らな面に置いて使用してください。また、卓上ホルダへの取り付けや取り外しを行うときは、FOMA端末を折り畳んだ状態で行ってください。
- 正しく取り付けるために、端子キャップは閉じた状態で卓上ホルダに取り付けてください。
- FOMA端末を卓上ホルダへ取り付けるときは、ストラップなどをはさまないようにご注意ください。

(1) 卓上ホルダの底面を上にして、矢印の表記面を上にしたACアダプタのコネクタを水平に差し込みます（❶）。
(2) ACアダプタの電源プラグを起こしてAC100Vコンセントへ差し込みます（❷）。
(3) 電池パックを取り付けたFOMA端末を卓上ホルダに差し込みます（❸）。
(4) 充電開始音が鳴り、ランプが点灯し、電池マークが点滅します。

(5) 充電が終わると充電完了音が鳴り、ランプが消灯し、電池マークの点滅が止まります。

(6) FOMA端末を卓上ホルダから取り外します。

卓上ホルダを押さえながらFOMA端末を持ち上げ、矢印方向に引き抜きます。
- 長時間使用しないときはACアダプタをコンセントから抜いてください。

- ACアダプタのコネクタを抜き差しする際は、無理な力がかからないようゆっくり確実に行ってください。取り外すときは、必ずリリースボタンを押しながら水平に引き抜いてください。無理に引き抜こうとすると故障の原因となります。

電池残量

電池残量の確認のしかた

ディスプレイ上部に表示される電池マークで、電池残量の目安が表示されます。

- FOMA端末を折り畳んでいるときは、背面ディスプレイに電池残量が表示されます。

電池マーク

4/8(日)
8:30

(電池残量3) 十分残っています	(電池残量2) 少なくなっています	(電池残量1) 電池残量がほとんどありません。充電してください

電池残量の確認

1 待受画面で(メニュー)▶「9詳細な設定」▶「8情報の表示やリセットを行う」▶「5電池残量を確認する」を押す

(電池残量3)

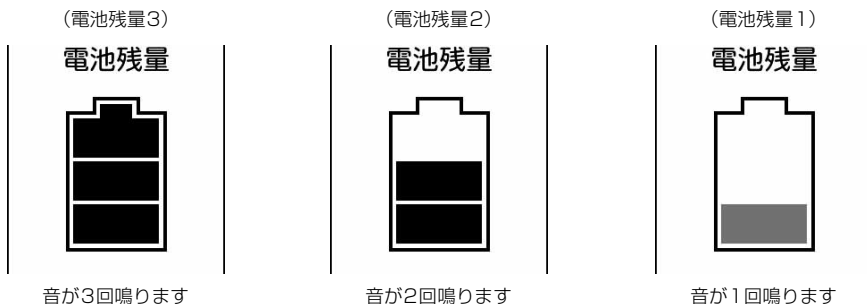
音が3回鳴ります

(電池残量2)

音が2回鳴ります

(電池残量1)

電池残量

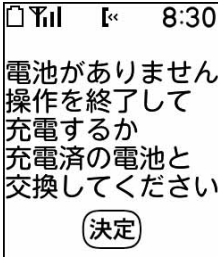
音が1回鳴ります

電池残量が表示され、しばらくたつとメニュー画面に戻ります。

- (終話)を押すと待受画面に戻ります。

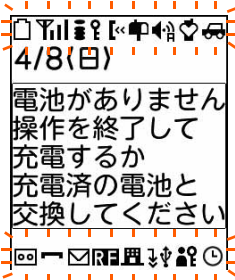
電池が切れそうになると

メッセージ表示や電池残量警告音でお知らせします。充電を開始すると電池残量警告音は止まりますが、すぐに電池残量警告音を止める場合は[ー]を押してください。

■ 通話中のとき

8:30
電池がありません
操作を終了して
充電するか
充電済の電池と
交換してください
決定

受話口から電池残量警告音が聞こえ、電池残量がない旨のメッセージが表示されます。このメッセージは[決定][戻る][ー]のいずれかを押すと消えます。電池残量警告音が聞こえてから約20秒後に通話が切れて、次の待受中のときと同じ状態になります。

■ 待受中のとき

4/8(日)
電池がありません
操作を終了して
充電するか
充電済の電池と
交換してください

スピーカーから電池残量警告音が鳴り、電池残量がない旨のメッセージが表示されます。このメッセージは[決定]を押すと消えますが、しばらくたつと電池残量警告音が鳴り、すべてのマークが点滅して、再び電池残量がない旨のメッセージが表示されます。その約1分後に自動的に電源が切れます。

● FOMA端末を折り畳んでいるときは、背面ディスプレイに「電池残量なし」と表示されます。

電池残量警告音の消しかた

1 **待受画面で[メニュー]▶「9 詳細な設定」▶「4 音を設定する」▶「2 電池残量の警告音を設定する」を押す**

電池残量警告音を鳴らすかどうかの確認画面が表示されます。

2 **「2 鳴らさない」を押す**

電池残量警告音を解除した旨のメッセージが表示されます。

● 「1 鳴らす」：電池残量警告音を鳴らすようにします。

3 **[決定]を押す**

メニュー画面に戻ります。

● [ー]を押すと待受画面に戻ります。

●本機能を「鳴らさない」に設定しても、通話中に電池が切れそうになったときは受話口から電池残量警告音が鳴ります。
●本機能を「鳴らす」に設定しても、電源を切っているときやマナーモード中、公共モード中は、電池残量警告音は鳴りません。

電源ON／OFF

電源を入れます／切ります

●ソフトウェア更新を実行するかどうかの確認画面が表示される場合があります。→P505

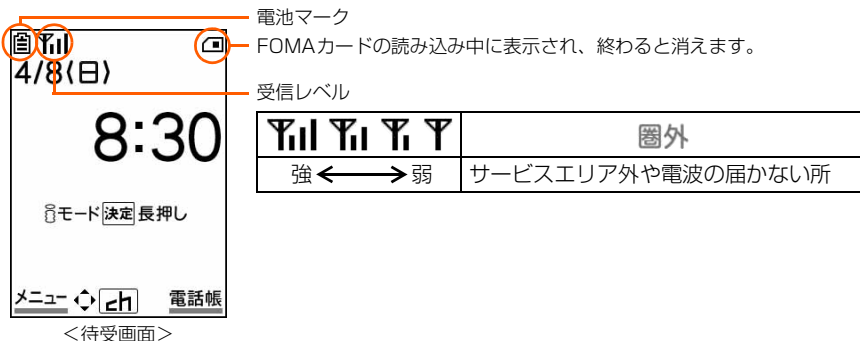
電源を入れます

1 を2秒以上押す

バイブレータが振動し、起動中である旨のメッセージが表示された後、次の待受画面が表示されます。

●初めて電源を入れたとき→P42

	圏外
強←→弱	サービスエリア外や電波の届かない所

<待受画面>

電源を切ります

1 を2秒以上押す

電源切断中である旨のメッセージが表示されたあと、電源が切れます。

初めて電源を入れたときは

次の画面が表示されるので、必要に応じて設定や操作を行います。

①音声読み上げの設定画面で「1自動で読み上げ」〜「4後で設定する」のいずれかを押す

音声読み上げを
設定してください
1自動で読み上げ
2手動で読み上げ
3読み上げなし
4後で設定する

- 音声読み上げの概要と設定→P180、P181
- 設定した内容は後から変更できます。
- 「4後で設定する」を押し、次に電源を入れ直すまでに設定を行わなかった場合には、再び設定画面が表示されます。

②日付・時刻の設定画面で「1自動で設定する」または「2手動で設定する」を押す

日付と時刻を自動
で設定しますか？
1自動で設定する
2手動で設定する

- 日付時刻設定の概要と設定→P43
- ドコモのネットワークからの時刻情報が取得できたときは表示されません。
- 設定した内容は後から変更できます。
- 戻るまたは を押し、次に電源を入れ直すまでに日付・時刻が設定されなかった場合には、再び設定画面が表示されます。

③歩数計の設定画面で決定を押す

歩数計を
設定します。
歩数計の測定値は
あくまでも
目安として
ご利用ください
決定

- 歩数計の概要と設定→P403、P405
- 日付・時刻が設定されていないときは表示されず、歩数計は「利用しない」に設定されます。
- 設定した内容は後から変更できます。

④ソフトウェア更新を実行するかどうかの確認画面で「1実行する」を押す

ソフトウェア更新
を実行しますか？
1実行する
2実行しない

- ソフトウェア更新の概要と設定→P505、P507
- 通信できない状態などでは表示されません。

お知らせ

- サービスエリア外や電波の届かない所で 圏外 が表示されているときに通話や通信を行うには、表示が消える場所まで移動してください。ただし、が表示されていて、移動せずに通話していても、通話が切れる場合があります。
- FOMAカードを取り付けていない場合は、FOMAカードの挿入が必要な旨のメッセージが表示されます。電源を切り、FOMAカードを取り付けてから電源を入れ直してください。→P31
- PIN1コード使用の設定中は、PIN1コードの入力が必要です。→P149
- 日付・時刻が設定されていないときは、日付と時刻を設定する旨のメッセージが表示されます。→P43

日付時刻設定

日付・時刻を合わせます

お買い上げ時 自動で設定する

ドコモのネットワークからの時刻情報を基に自動で時刻を補正するように設定したり、手動で設定したりできます（通常は手動で設定する必要はありません）。

〈例〉手動で日付・時刻を設定するとき

1 待受画面でメニュー▶「8初めに行う設定」▶「9時計を設定する」▶「1日付と時刻を設定する」を押す

2 「2手動で設定する」を押す

日付と時刻を自動で設定しますか？
1自動で設定する
2手動で設定する

■ 自動で時刻補正をするとき

「1自動で設定する」を押す

日付と時刻を自動で設定する旨のメッセージが表示されます。操作6に進みます。

3 日付を入力する

- 西暦は下2桁を入力します。月、日が1桁のときは、前に0を付けます。
- 2000年1月1日から2050年12月31日まで設定できます。
- ◁▷：変更する数字を選択できます。
- △▽：日付と時刻の入力を切り替えます。

4 時刻を入力する

日付と時刻を入力してください
(0~23時0~59分)
日付
2007年04月08日
時刻
08時30分

- 24時間制（00：00～23：59）で設定します。時、分が1桁のときは、前に0を付けます。
- ◁▷：変更する数字を選択できます。
- △▽：日付と時刻の入力を切り替えます。

次ページへ

5 決定を押す

日付と時刻を設定した旨のメッセージが表示されます。

6 決定を押す

メニュー画面に戻ります。
● ━ を押すと待受画面に戻ります。

おしらせ

●「自動で設定する」に設定すると、電源を入れたときなどに時刻の補正を行います。ただし、FOMAカードを取り付けていない場合や電波状態によっては、補正は行われません。
●「自動で設定する」に設定していても、数秒程度の誤差が生じる場合があります。
●「手動で設定する」で日付・時刻を設定したときは、電池パックを取り外したり、電池が切れたまま長い間充電しなかったりすると、日付･時刻が消去される場合があります。その場合は、もう一度設定を行ってください。
● 一度も自動時刻補正が行われず、日付･時刻が「--」で表示されているときは、時計やFlash画像などが正しく表示されません。また、次の機能は使用できません。
- SSL通信（認証）
- ユーザ証明書の操作
- 再生期限制限や再生期間制限が設定されているｉモーションの取得、再生
- 自動電源ON設定
- 自動電源OFF設定
- 通知時刻自動電源ON設定
- 目覚まし
- 予定表
- 歩数計
- ソフトウェア更新
- スキャン機能のパターンデータ更新

● 一度も自動時刻補正が行われず、日付･時刻が「--」で表示されているときは、次の機能で日時が記録されず、「----/--/--」などと表示されます。
- リダイヤル
- 着信履歴
- 伝言メモ
- 送信メール、未送信メールの日時

発信者番号通知

相手に自分の電話番号を通知します

電話をかけたとき、相手の電話機に自分の電話番号（発信者番号）を表示させます。

● 発信者番号はお客様の大切な情報です。発信者番号を通知する際は、十分にご注意ください。
● 相手の電話機がデジタル携帯電話など、発信者番号の表示が可能なときに表示されます。
● サービスエリア外や電波の届かない所では、発信者番号通知は設定できません。電波状態のよい所で行ってください。
● 詳細は『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。
● 電話をかけるたびに、発信者番号を通知／非通知にすることができます。→P56

1 待受画面で(メニュー)▶「8初めに行う設定」▶「1発信者番号通知を使う」▶「1発信者番号通知を設定する」を押す

ネットワーク暗証番号の入力画面が表示されます。

● ネットワーク暗証番号について→P146

● 入力したネットワーク暗証番号は「*」で表示されます。

2 4桁のネットワーク暗証番号を入力▶(決定)を押す

相手に電話番号を
通知しますか？
1通知する
2通知しない

3 「1通知する」を押す

ネットワークに接続され、発信者番号通知を設定した旨のメッセージが表示されます。

4 (決定)を押す

メニュー画面に戻ります。

● (ー)を押すと待受画面に戻ります。

設定内容の確認

1 待受画面で(メニュー)▶「8初めに行う設定」▶「1発信者番号通知を使う」▶「2発信者番号通知設定を確認する」を押す

発信者番号通知の
設定を
確認しますか？
1確認する
2確認しない

2 「1確認する」を押す

ネットワークに接続され、設定内容が表示されます。

3 (決定)を押す

メニュー画面に戻ります。

● (ー)を押すと待受画面に戻ります。

個人情報表示　　メニュー17

自分の電話番号を確認します

お買い上げ時　名称未登録　電話番号：ご契約電話番号　メールアドレス：－

自分の電話番号（自局電話番号）や登録した名前、メールアドレスなどを確認します。

1 待受画面で[メニュー]▶「0 自分の電話番号を見る」を押す

個人情報(基本)
名称未登録

電話番号
090XXXXXXXX
メールアドレス

■ 詳細情報を確認するとき

① [決定]を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

② 4～8桁の端末暗証番号を入力▶[決定]を押す

詳細画面が表示されます。

- [決定]　：基本画面と詳細画面を切り替えます。
- [◁][▷]：登録情報が複数ある場合に表示を切り替えます。

2 [戻る]を押す

メニュー画面に戻ります。

● [━]を押すと待受画面に戻ります。

個人情報の登録・修正

自分の名前や電話番号、メールアドレスが登録できます。

● 電話番号は自局電話番号を除き最大2件、メールアドレスは最大3件登録できます。

● お客様のメールアドレスの確認方法→P263

1 待受画面で[メニュー]▶「0 自分の電話番号を見る」を押す

2 [電話帳]▶4～8桁の端末暗証番号を入力▶[決定]を押す

3 名前を入力▶決定を押す

入力した名前のフリガナが自動的に入力されています。

- 漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、記号、絵文字を入力できます。
- 全角で最大16文字、半角で最大32文字入力できます。

4 フリガナを確認▶決定を押す

2件目の電話番号を入力するかどうかの確認画面が表示されます。

- 半角カタカナ、半角英字、半角数字、半角記号を入力できます。
- 半角で最大32文字入力できます。

5 「1入力する」または「2入力しない」を押す

- 「1入力する」　：自局電話番号以外の電話番号を登録します。
- 「2入力しない」：自局電話番号以外の電話番号を登録しません。操作8に進みます。

6 電話番号を入力▶決定を押す

3件目の電話番号を入力するかどうかの確認画面が表示されます。

- 最大26桁入力できます。

7 「1入力する」または「2入力しない」を押す

- 「1入力する」　：他の電話番号を登録します。操作6を繰り返します。
- 「2入力しない」：他の電話番号を登録しません。

8 メールアドレスを入力▶決定を押す

2件目のメールアドレスを入力するかどうかの確認画面が表示されます。

- 半角英字、半角数字、半角記号を入力できます。
- 半角で最大50文字入力できます。
- 何も入力しないで決定　：メールアドレスを入力しません。操作10に進みます。
- 半角英字入力モード時に1：「.」「@」「-」など宛先によく使う記号を入力できます。

9 「1入力する」または「2入力しない」を押す

- 「1入力する」　：他のメールアドレスを登録します。操作8を繰り返します。
- 「2入力しない」：他のメールアドレスを登録しません。個人情報を登録した旨のメッセージが表示されます。

次ページへ

10 決定を押す

基本画面に戻ります。

● ⌐を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● 自分のFOMA端末の電話番号（自局電話番号）はFOMAカードに登録されているため修正できません。それ以外の項目を登録すると、FOMA端末に記録されます。
● 個人情報のメールアドレスを変更しても、ｉモードのメールアドレスは変更されません。また、ｉモードのメールアドレスを変更しても、個人情報のメールアドレスは自動的には変更されません。
● 個人情報（詳細）画面からも同様に操作できます。

電話のかけかた／受けかた

電話のかけかた

電話の受けかた

電話に出られないとき／出られなかったとき

電話をかけます

●相手の携帯電話の電源が入っていないとき、または相手が電波の届かない所にいるときには、音声ガイダンスで接続できないことをお知らせします。
●ダイヤル発信制限中は、緊急通報（110番、119番、118番）以外は電話番号を入力して電話をかけることはできません。→P160

1 待受画面で電話番号を入力する

ダイヤル入力中
ボタンで電話をかける
090XXXXXXXX

一般電話にかける	市外局番－市内局番－電話番号 • 同じ市内への通話でも、必ず市外局番からダイヤルしてください。
携帯電話にかける	090－XXXX－XXXX 080－XXXX－XXXX
PHSにかける	070－XXXX－XXXX

●最大80桁入力できます。
●戻る：電話番号を訂正できます。1秒以上押すと待受画面に戻ります。

2 [発信]を押す

通話中 はっきりボイス
自分の番号 090XXXXXXXX
ボタンでゆっくりボイスオン
05秒
090XXXXXXXX

「プップップッ」という発信音が聞こえます。相手が出たらお話しください。
●ディスプレイには通話時間が表示されます。
●通話中自局番号表示設定を「1 表示する」に設定している場合は、自分の電話番号が表示されます。→P54

■「ツーツー」という音が聞こえたとき

相手がお話し中です。[終話]を押していったん発信を終了し、しばらくたってからおかけ直しください。リダイヤルを使うと便利です。→P55

■発信者番号の通知をお願いする旨のガイダンスが聞こえたとき

[終話]を押していったん発信を終了し、発信者番号を通知する設定にしてからおかけ直しください。→P44、P56

3 お話しが終わったら[終話]を押す

●FOMA端末を折り畳んでも電話を切ることができます。

● [ ]を押してから電話番号を入力しても、約5秒経過すると自動的に電話がかかります。
● 発信者番号の通知／非通知を指定しないで電話番号を入力して電話をかけた場合は、発信者番号通知の設定に従って動作します。→P44
● 複数の通信機能を同時に利用することができます（マルチアクセス）。→P489

はっきりボイスの設定

お買い上げ時　はっきりボイスオン

はっきりボイスをオンに設定すると、通話中に周囲の騒音レベルを測定し、一定レベルを超えて騒音が大きくなった場合に、自動で相手の声を強調し、聞き取りやすくします。
● スピーカーホン機能使用中は、本機能は動作しません。
● はっきりボイスの設定内容は、通話終了後も保持されます。
● 本機能は音量を調節するものではありません。相手の声の音量は、受話音量で調節してください。→P68

1 **通話中に[メニュー]▶「5はっきりボイスオフ」または「5はっきりボイスオン」を押す**

通話中　はっきりボイス
自分の番号　090XXXXXXXX
[ ]ボタンでゆっくりボイスオン
05秒
090XXXXXXXX

はっきりボイスをオンに設定すると赤色で表示されます。スピーカーホン機能使用中はグレーで表示されます。

ゆっくりボイスの設定

お買い上げ時　ゆっくりボイスオフ

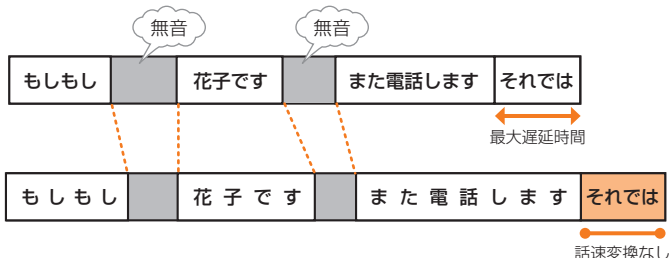
通話中の相手の話す速度が調節されて聞き取りやすくなります。
● スピーカーホン機能使用中でも、本機能は動作します。
● ゆっくりボイスの設定内容は、通話終了後は解除されます。

次ページへ

1 通話中に[ゆっくりボイスキー]を押す

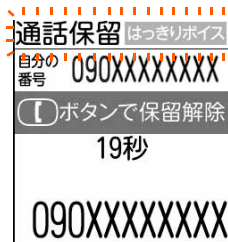
● ゆっくりボイスを設定中に[ゆっくりボイスキー]：ゆっくりボイスを解除します。

ゆっくりボイスとは

無音区間を利用して、相手の話す声がゆっくり聞こえるように調節する機能です。

● ゆっくりボイスを設定すると、相手の声質が変化する場合があります。
● 相手が区切りのない話しかたをしたときなど、ゆっくりボイスが機能しない場合は、通常の速度に聞こえます。
● 時報や音楽などを聞くときは、ゆっくりボイスを設定しないでください。

通話中保留

自分の声が相手に聞こえないように通話を保留にします。
● 保留中も、電話をかけた方に通話料金がかかります。
● 保留中にFOMA端末を折り畳むと、電話は切れます。

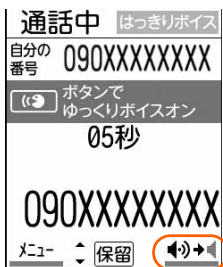
1 通話中に(決定)を押す

点滅します。

左の画面が表示され、ランプが点滅します。自分のFOMA端末と相手にメロディ（エンターテイナー）が流れます。
● (決定)／([ )：保留を解除します。

● 保留中に流れるメロディ（エンターテイナー）は変更できません。
● 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続して保留中にFOMA端末を折り畳んだ場合は、保留は継続されます。

スピーカーホン機能の使いかた

相手の声がスピーカーから聞こえる状態で通話できます。
● 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続中は、本機能を使用できません。
● FOMA端末から約50cm以内の距離でお話しください。
● スピーカーホン機能を使用した通話に切り替えると、音量が急に大きくなりますので、FOMA端末を耳から離して使用してください。
● スピーカーホン機能は、通話終了後は解除されます。

1 通話中に［ または 電話帳 を押す

◀→🔊 が 🔊→◀ に切り替わります。
● ［ または 電話帳 を押すたびにスピーカーホン機能を使用した通話と受話口からの通話が切り替わります。
● 発信中または呼出中に ［ を押しても、スピーカーホン機能を使用した通話と受話口からの通話が切り替わります。

お知らせ

● 通話中、周囲や相手側の雑音が大きい場合は、聞き取りにくいことがあります。その場合は受話口からの通話に切り替えてください。

通話中のサブメニューからの操作について

サブメニュー（→P30）から次の操作ができます。

サブメニュー	説　明	参照先
1 通話を保留／ 1 保留を解除	通話を保留または保留を解除します。	P52
2 電話帳を見る	電話帳を表示します。	P101
3 着信履歴を見る	着信履歴を表示します。	P66
4 リダイヤルを見る	リダイヤルを表示します。	P55
5 はっきりボイスオフ／ 5 はっきりボイスオン	はっきりボイスをオフまたはオンに切り替えます。	P51

次ページへ

サブメニュー	説　明	参照先
6 ゆっくりボイスオン／ 6 ゆっくりボイスオフ	ゆっくりボイスをオンまたはオフに切り替えます。 • 保留中はオン／オフを切り替えられません。	P51
7 スピーカーで聞く／ 7 受話口で聞く	スピーカーホン機能を設定または解除します。 • 保留中はスピーカー／受話口を切り替えられません。	P53
8 日付時刻の設定	日付・時刻を設定します。	P43
0 自分の電話番号	自分の電話番号（自局電話番号）を表示します。	P46

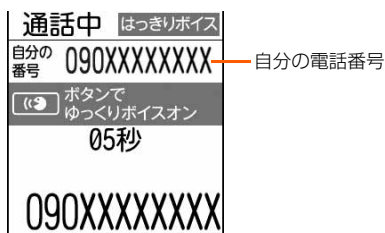
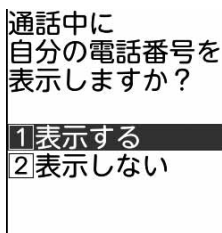
通話中自局番号表示設定

自局電話番号を通話中画面に表示するかどうかを設定します

お買い上げ時　表示する

本機能を「表示する」に設定した場合、通話中の画面に自分の電話番号が表示されます。

通話中　はっきりボイス
自分の番号　090XXXXXXXX ― 自分の電話番号
ボタンで ゆっくりボイスオン
05秒
090XXXXXXXX

1 待受画面でメニュー▶「9詳細な設定」▶「3電話・電話帳の詳細を設定する」▶「0通話中に自分の番号を表示する」を押す

通話中に
自分の電話番号を
表示しますか？
1表示する
2表示しない

2 「1表示する」または「2表示しない」を押す

通話中の自局番号表示を設定／解除した旨のメッセージが表示されます。

3 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

● 終話を押すと待受画面に戻ります。

リダイヤル　　メニュー 12

前にかけた相手にかけ直します

こちらからかけた電話を発信履歴（リダイヤル）として記録します。相手が話し中で電話がつながらなかった場合などに簡単な操作でかけ直せます。

- 最大30件記録されます。30件を超えた場合は、古いものから削除されます。
- 同じ電話番号に通知または非通知を設定してかけた場合は、それぞれ最新の1件のみが記録されます。
- 履歴表示制限中は、本機能を使用できません。→P158

1 待受画面で▶を押してかけ直すリダイヤルを表示する

リダイヤルの番号

電話をかけた日付、曜日、時間が表示されます。

国際電話をかけたときに表示されます。→P59

発信者番号の通知／非通知が表示されます。→P57

電話番号が表示され、電話帳に登録しているときは名前も表示されます。→P87

2 を押す

電話がかかります。

■ iモードメールを作成するとき

▶「7メールを作る」を押す

リダイヤルの電話番号をメールアドレスとともに電話帳に登録している場合は、その1件目のメールアドレスを宛先にしたメール作成画面（→P272）が表示されます。

リダイヤルの削除

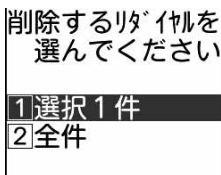
1件ずつ、またはすべてのリダイヤルをまとめて削除できます。

1 待受画面で▶を押して削除するリダイヤルを表示する

リダイヤルの表示画面が表示されます。

次ページへ

2

削除するﾘﾀﾞｲﾔﾙを
選んでください
1選択1件
2全件

3 「1選択1件」または「2全件」を押す

選択した／全てのリダイヤルを削除した旨のメッセージが表示されます。

4 決定を押す

リダイヤルの表示画面に戻ります。リダイヤルがない場合や、全件削除した場合は、待受画面に戻ります。

● を押すと待受画面に戻ります。

1回の通話ごとに発信者番号を通知／非通知にします

電話をかけるときに相手の電話番号の前に特定の番号を付けることで、自分の電話番号を相手に通知するか通知しないかを選択できます。

● 発信者番号はお客様の大切な情報です。通知する際には十分にご注意ください。
● 相手の電話機がデジタル携帯電話など、発信者番号表示が可能なときに表示されます。
● 自分の電話番号を相手に通知するかどうかを設定するには、次の方法があります。
  - 電話をかけるときの発信者番号の通知／非通知をあらかじめ一括して設定→P44
  - 電話番号の前に「186」または「184」を付けて発信→P56
  - 電話をかけるときに発信者番号の通知／非通知をサブメニューから選択→P57

「186」／「184」を付けた電話のかけかた

「186」を付けて発信します

相手に電話番号を通知します。

1 待受画面で1 8 6▶電話番号を入力▶ を押す

電話がかかります。

「184」を付けて発信します

相手に電話番号を通知しません。

1 待受画面で1 8 4▶電話番号を入力▶[発信]を押す

電話がかかります。

サブメニューからの通知／非通知の選択

電話番号を入力してから発信者番号の通知／非通知を選択します。リダイヤルや着信履歴などから電話をかけるときにも選択できます。

1 待受画面で電話番号を入力▶[メニュー]を押す

1 電話帳に登録
2 電話帳に追加
3 通知で電話
4 非通知で電話
5 ワールドコール
6 簡易サイト接続

2 「3 通知で電話」または「4 非通知で電話」を押す

● 着信履歴から操作するときは、「5 通知で電話」または「6 非通知で電話」を押します。

お知らせ

● 電話をかけたとき、発信者番号の通知をお願いする旨のガイダンスが聞こえた場合は、発信者番号を通知しておかけ直しください。
● 複数の番号通知方法を同時に設定・操作した場合、次のような順位（①→③）で番号通知動作が行われます。ただし、ディスプレイの表示と実際の通知／非通知の発信が異なる場合があります。
①相手の電話番号に「186」または「184」を付けた場合
②発信時にサブメニューから発信者番号の通知／非通知を選択した場合
③発信者番号通知の設定をした場合
● 相手の電話番号に「186」または「184」を付けて発信した場合、リダイヤルにはその番号がついた電話番号が記録されます。

プッシュ信号（DTMF）を送ります

FOMA端末からプッシュ信号（DTMF）を送って、ご自宅の留守番電話や各種のプッシュホンサービスなどを操作できます。また、電話をかけるときにポーズやタイマーを入力することにより、番号を区切って送出することができます。

通話中にプッシュ信号（DTMF）を送ります

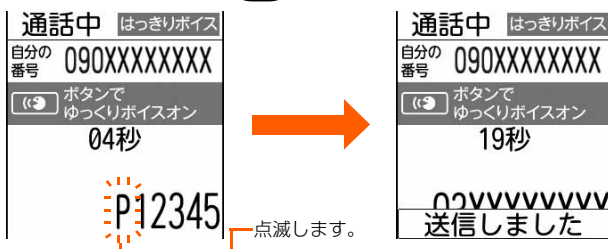
1 通話中に 0 ～ 9 、 * 、 # を押す

ポーズ「P」を入力するには

自宅の留守番電話の操作、チケットの予約などに利用します。

1 待受画面で電話番号を入力▶ * を1秒以上▶送出する番号を入力▶ ［ を押す

〈例〉「03XXXXXXXXP12345」で発信したとき

電話がつながった後に 決定 を押すと、ポーズ（「P」）以降の番号が送出されます。

タイマー「T」を入力するには

外線番号に続けて内線番号を入力するときなどに利用します。外線番号と内線番号の間にタイマー（「T」）を入力することによって、外線番号に続いて一定の秒数が経過した後に内線番号が発信されます。

1 待受画面で電話番号を入力▶ # を1秒以上▶内線番号を入力▶ ［ を押す

- タイマー（「T」）1つにつき、約1秒の間隔をとります。
- タイマー（「T」）は連続して入力できます。

● プッシュ信号（DTMF）は、受信側の機器によっては受信できない場合があります。
● スピーカーホン機能を使用する場合は、スピーカーホンに切り替えてからプッシュ信号（DTMF）を入力してください。

WORLD CALL

国際電話を利用します

ドコモの国際電話サービス「WORLD CALL」

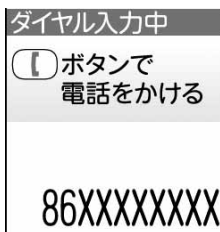
WORLD CALLはドコモの携帯電話からご利用いただける国際電話サービスです。

● 通話方法

> 0 0 9 1 3 0 ▶ 0 1 0 ▶国番号▶地域番号（市外局番）▶電話番号を入力▶ [を押す
>
> ※ 上記の電話番号をFOMA端末の電話帳に登録できます。
>
> ※ 地域番号（市外局番）が「0」で始まる場合には「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアの一般電話などにおかけになる場合は「0」が必要です。

● 通話先は世界約240の国と地域です。
●「WORLD CALL」の料金は毎月のFOMAサービスの通信料金と合わせてご請求します。
● 申込手数料・月額使用料はかかりません。
　※ FOMAサービスをご契約のお客様は、ご契約時にあわせて「WORLD CALL」もご契約いただいています（ただし、不要のお申し出をされた方を除きます）。
● 一部ご利用になれない料金プランがあります。
● 国際電話ダイヤル手順の変更について
　携帯電話などの移動体通信は、電話会社選択サービス「マイライン」のサービス対象外であるため、WORLD CALLについても「マイライン」をご利用いただけませんが、「マイライン」の導入に伴い携帯電話などから国際電話をご利用になる場合のダイヤル手順が変更となりました。従来のダイヤル手順（上記ダイヤル手順から「010」を除いたもの）ではご利用いただけませんので、ご注意ください。
● 詳細は取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
　※ ドコモ以外の国際電話サービス会社をご利用になる場合は、各国際電話サービス会社に直接お問い合わせください。

簡単な方法による国際電話のかけかた

1 **待受画面で国番号▶地域番号（市外局番）▶電話番号を入力する**

ダイヤル入力中
[ ]ボタンで
電話をかける
86XXXXXXXX

● 地域番号（市外局番）が「0」で始まる場合には「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアの一般電話などにおかけになる場合は「0」が必要です。

2 **(メニュー)▶「5ワールドコール」を押す**

ダイヤル入力中
[ ]ボタンで
電話をかける
0091300
1086XXXXXXXX

3 **[ ]を押す**

国際電話がかかります。

お知らせ

● 国番号を含めた電話番号をあらかじめ電話帳に登録しておくと、簡単に国際電話をかけることができます。
→P102「電話帳から電話をかけます」の「お知らせ」

サブアドレスを指定して電話をかけます

サブアドレスを指定して特定の電話機や通信機器を呼び出します。

● サブアドレスとは、同じ電話番号内にある複数の電話機や通信機器の中から、特定の機器を呼び出すときに使う番号です（ISDN回線で、サブアドレスが振られている機器を複数接続している場合など）。

1 待受画面で電話番号を入力▶(＊)（サブアドレスの区切り）▶サブアドレスを入力▶([ )を押す

おしらせ

● ポーズ（「P」）やタイマー（「T」）を入力した後に「＊」を入力した場合は、サブアドレスの区切りとしては認識されず、「＊」を含んだプッシュ信号（DTMF）として送出されます。

再接続アラーム

途切れた電話を再接続するときのアラームを設定します

お買い上げ時 低音で鳴らす

トンネルやビルの陰などで電波状態が悪くて途切れた電話を、電波状態がよくなったときに再接続するときのアラームを設定します。

● 電波が途切れている間は、相手は無音状態となります。
● 利用状態や電波状態により、再接続されるまでの時間は異なります。目安は最長 10 秒間です。
● 再接続されるまでの時間（最長10秒間）も通話料金がかかります。
● 利用状態や電波状態により、アラームが鳴らずに通話が切れてしまう場合があります。

1 待受画面で(メニュー)▶「9詳細な設定」▶「4音を設定する」▶「5再接続した時の音を選ぶ」を押す

再接続した時の
アラーム音を
選んでください

1高音で鳴らす
2低音で鳴らす
3鳴らさない

2 「1高音で鳴らす」～「3鳴らさない」のいずれかを押す

アラーム音を設定した旨のメッセージが表示されます。

3 (決定)を押す

メニュー画面に戻ります。

● (—)を押すと待受画面に戻ります。

車載ハンズフリー

車の中で手を使わずに話します

FOMA端末を車載ハンズフリーキット01（別売）やカーナビなどのハンズフリー対応機器と接続することにより、ハンズフリー対応機器から電話の発着信などの操作ができます。

●ハンズフリー対応機器の操作については、各ハンズフリー対応機器の取扱説明書をご覧ください。なお、車載ハンズフリーキット01（別売）をご利用時には、FOMA車載ハンズフリー接続ケーブル01（別売）が必要です。

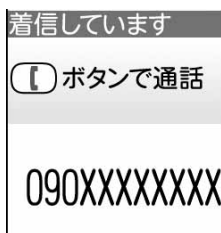
お知らせ

●着信時のディスプレイ表示や着信音などの動作は、FOMA端末の設定に従います。ただし、ハンズフリー対応機器から音を鳴らす設定にしている場合、FOMA端末でマナーモード中や着信音設定を「鳴らさない」に設定していても、電話がかかってくるとハンズフリー対応機器から着信音が鳴ります。
●ハンズフリー対応機器から音を鳴らす設定にしている場合は、FOMA端末を折り畳んでも通話は継続されます。
●公共モード中の着信動作は、公共モードの設定に従います。
●伝言メモ設定中の着信動作は、伝言メモの設定に従います。

電話を受けます

●FOMA端末を開くだけでは電話に出ることはできません。

1 電話がかかってくる

着信しています
[ ]ボタンで通話
090XXXXXXXX

着信音が鳴り、ランプと[ ]が点滅します。
●FOMA端末を折り畳んでいるときは、背面ディスプレイに「電話です」が表示されます。

2 [ ]を押す

通話中 はっきりボイス
自分の番号 090XXXXXXXX
ボタンで ゆっくりボイスオン
05秒
090XXXXXXXX

お話しください。
●ディスプレイには通話時間が表示されます。

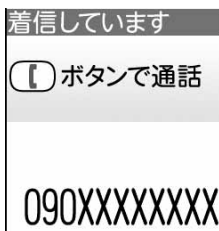
3 お話しが終わったら[—]を押す

●FOMA端末を折り畳んでも電話を切ることができます。

ディスプレイの表示について

相手からの発信状況やFOMA端末の設定に従って、電話番号や名前、画像などがディスプレイに表示されます。

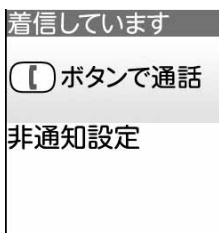
●電話番号が通知されたときは、背面ディスプレイにも電話番号や電話帳に登録している名前が表示されます。電話番号が通知されていないときは、発信者番号非通知理由が表示されます。
- 背面ディスプレイに情報を表示しないように設定できます。→P138

■ 相手が電話番号を通知してきたとき

相手の電話番号を電話帳に登録していない場合は、相手の電話番号が表示されます。
- 着信音に映像のある動画／ｉモーションを設定している場合は、その映像が表示されます。

着信しています
[ ]ボタンで通話
携帯花子

相手の電話番号を電話帳に登録している場合は、相手の名前と電話番号が表示されます。→P87
- ワンタッチダイヤルに登録している場合は、相手の名前とワンタッチダイヤルに設定した着信画像が表示されます。→P112
- ワンタッチダイヤルの着信音に映像のある動画／ｉモーションを設定している場合は、その映像が表示されます。動画／ｉモーションが音声のみ（歌手の歌声など映像のないｉモーション）の場合は、ワンタッチダイヤルに設定した着信画像が表示されます。

■ 相手の都合で電話番号が通知されなかったとき

着信しています
[ ]ボタンで通話
非通知設定

発信者番号非通知理由が表示されます。

非通知理由	意　味
非通知設定	発信者の意思により発信者番号を通知しないで発信した場合
公衆電話	公衆電話などから発信した場合
通知不可能	海外や一般電話から各種転送サービスを経由した場合など、発信者番号を通知できない状態で発信した場合（経由する電話会社によっては通知される場合もあります）

- 非通知理由別着信設定で設定した着信動作が優先されます。→P164

着信中のサブメニューからの操作について

着信音が鳴っている間にサブメニュー（→P30）から次の操作ができます。
通話中着信動作選択（→P427）を「通常着信する」に設定していると、通話中に別の電話がかかってきたときも同様に操作できます。

サブメニュー	説　明
1 伝言メモ※1	伝言メモで応対します（クイック伝言メモ）。
2 留守番電話※2	かかってきた電話を留守番電話サービスセンターに接続します。
3 転送でんわ※3	かかってきた電話を転送登録先へ転送します。
4 着信拒否	電話が切れます。相手側に通話料金はかかりません。

※1 通話中に別の電話がかかってきたときは選択できません。
※2 留守番電話サービスをご契約いただいている場合に有効です。
※3 転送でんわサービスをご契約いただき、転送先を登録している場合に有効です。

通話中に「ププ…ププ…」という音（通話中着信音）が聞こえたとき

留守番電話サービス、キャッチホン、転送でんわサービスのいずれかをご契約いただくと、通話中に別の電話がかかってきたときに「ププ…ププ…」という通話中着信音が聞こえます。このとき、次の動作が可能です。

ご契約の内容	動　作
留守番電話サービス※	留守番電話サービスセンターに接続します。→P422
キャッチホン	通話中の電話を保留にして、かかってきた電話に応答します。→P424
転送でんわサービス※	転送登録先へ転送します。→P424

※ 通話中着信動作選択を「通常着信する」に設定した場合に限り、選択できます。→P427
●キャッチホンを契約されていない場合は、通話中着信音（「ププ…ププ…」）が鳴っても電話は受けられません。

お知らせ

●電話帳に登録していない相手から電話がかかってきたときに、着信音などの呼出動作をすぐに開始しないように設定したり（→P166）、着信を拒否したり（→P168）できます。
●電話帳に登録している相手に対して、着信拒否を設定できます。→P161
●複数の通信機能を同時に利用することができます（マルチアクセス）。→P489
●FOMA端末から転送された電話がかかってきた場合は、着信画面の左下に転送元の電話番号が「転：XXX…」のように表示されます。転送元の電話番号を電話帳に登録している場合は名前が表示されます。ただし、転送元によっては、転送元の電話番号や名前が表示されないことがあります。着信音に映像のある動画／ｉモーションを設定している場合や、ワンタッチダイヤルに発信元の電話番号を登録していて、着信画像を設定している場合は、転送元の電話番号は表示されません。

● 通話中にメールを受信すると受信中に✉が、メッセージR/Fを受信すると受信中にR/Fがディスプレイ上部に点滅表示されます。メールの受信が完了した場合は、ディスプレイ上部にが表示されます。電話を切って待受画面に戻ると、メールを受信した場合は未読メールがあることを示す✉、メッセージR/Fを受信した場合は未読のメッセージR/FがあることをR/Fがディスプレイ下部に表示されます。また、メールを受信した場合は新着情報も表示されます。→P23
● 国際電話を着信した場合、発信者番号の先頭に「+」が表示されます。
● ビル電話やPBXなど、ダイヤル市外通話のできない電話機からは、FOMA端末へ電話をかけられません。

オートスピーカーホン機能

自動で電話を受けます

お買い上げ時 解除する

電話がかかってきて着信音が約4秒間鳴った後、自動で電話を受けるように設定します。電話を受けるとスピーカーから相手の声が聞こえます。

● スピーカーホン機能を使用するときには、FOMA 端末から約 50cm 以内の距離でお話しください。
● 本機能を設定すると、音量が大きくなりますので、FOMA端末を耳から離して使用してください。
● 公共モード中またはマナーモード中は、本機能は動作しません。→P74、P135

1 待受画面で(メニュー)▶「9詳細な設定」▶「3電話・電話帳の詳細を設定する」▶「8オートスピーカーホンを設定する」を押す

オートスピーカーホンを設定するかどうかの確認画面が表示されます。

● マナーモード中は、マナーモードを解除するかどうかの確認画面が表示されます。本機能を設定するときは「1解除する」を押します。

2 「1設定する」を押す

オートスピーカーホンを設定した旨のメッセージが表示されます。

● 「2解除する」:オートスピーカーホン機能を解除します。

3 (決定)を押す

メニュー画面に戻ります。

● (—)を押すと待受画面に戻ります。
● オートスピーカーホンの設定中はディスプレイ上部にが表示されます。

次ページへ

● 電話を受けた後の動作は、スピーカーホン機能を使用した通話と同様です。→P53
● 次の場合は、本機能を設定していても動作しません。
・自動的に電話がつながる前に[ ]を押して電話を受けた場合
・通話中に電話がかかってきた場合
・FOMA端末を折り畳んでいる場合
・平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）や外部機器などを接続中の場合
● 本機能と無音着信時間設定（→P166）を同時に設定している場合、無音着信時間を４秒以上に設定すると、本機能は動作しません。
● 伝言メモ、留守番電話サービス、転送でんわサービスと本機能を同時に設定している場合、設定した呼出時間により、優先順位が異なります。
● 電話帳指定着信拒否／許可（→P161）、非通知理由別着信設定（→P164）、登録外着信拒否（→P168）を設定中は、着信拒否の対象に設定している相手から電話がかかってくると、各機能が優先して動作します。

着信履歴

メニュー11

着信履歴を利用します

かかってきた電話に応答した履歴や、電話に出なかったとき（不在着信）の履歴を記録しておく機能です。伝言メモに録音されたときも記録されます。

● 最大30件記録されます。30件を超えた場合は、古いものから削除されます。
● 不在着信の場合は、着信してから相手が呼び出しを止めるまでの時間（呼出時間）が表示されます。覚えのない番号からの不在着信があった場合、着信履歴を残す目的だけの迷惑電話（「ワン切り」など）なのかどうかを確認できます。
● 履歴表示制限中は、本機能を使用できません。→P158

〈例〉着信履歴から電話をかけるとき

1 待受画面で[←]▶[✉][👓]を押して目的の着信履歴を表示する

着信履歴01 不在
4月 8日 日曜日
8時30分
呼出8秒 64Kﾃﾞｰﾀ
携帯花子
090XXXXXXXX

着信履歴の番号
不在着信の場合は 不在 、伝言メモが録音されている場合は 伝言 が表示されます。
電話がかかってきた日付、曜日、時間が表示されます。
国際電話がかかってきたときに表示されます。
64Kデータ通信を着信したときに表示されます。
電話番号が表示され、電話帳に登録しているときは名前も表示されます。→P87
発信者番号が非通知の場合は発信者番号非通知理由が表示されます。→P63
不在着信の場合は呼出時間が表示されます。

2 【通話キー】を押す

電話がかかります。

● 伝言メモが録音されている着信履歴は、【決定】を押すと伝言メモを再生できます。

■ iモードメールを作成するとき

【メニュー】▶「8メールを作る」を押す

着信履歴の電話番号をメールアドレスとともに電話帳に登録している場合は、その1件目のメールアドレスを宛先にしたメール作成画面（→P272）が表示されます。

かかってきた電話に出なかったとき（不在着信）

かかってきた電話に出なかったときは、待受画面に新着情報（→P23）と【アイコン】が表示されます。
また、FOMA端末を折り畳んでいるときは、背面ディスプレイに「着信」が表示されます。

お知らせ

● 無音着信時間設定（→ P166）で設定した無音着信時間内の不在着信も含め、すべての着信履歴を表示する場合は、着信履歴の表示画面で【メニュー】▶「9表示切替」▶「1すべての着信」を押します。通常の着信履歴表示に戻す場合は、【メニュー】▶「9表示切替」▶「2呼出あり着信」を押します。
● 無音着信時間設定で設定した無音着信時間内の不在着信のみが着信履歴に記録されている場合、待受画面で【着信履歴キー】を押すと、表示されていない不在着信履歴がある旨の確認画面が表示されます。「1表示する」を押すと、無音着信時間内の不在着信履歴が表示されます。
● 会社などでダイヤルインをご利用の相手からの着信の場合、相手のダイヤルイン番号と異なった番号が表示される場合があります（ダイヤルインとは、1本の回線で着信用の電話番号を複数持てるサービスです）。

着信履歴の削除

1件ずつ、またはすべての着信履歴をまとめて削除できます。伝言メモが録音されている着信履歴は、伝言メモを同時に削除することもできます。

1 待受画面で【着信履歴キー】▶【メールキー】【伝言メモキー】を押して削除する着信履歴を表示する

着信履歴の表示画面が表示されます。

2 【メニュー】▶「4削除する」を押す

削除する
着信履歴を
選んでください

1選択1件
2全件
3選択1件と伝言
4全件と伝言

1選択1件 ：表示していた1件の着信履歴を削除します。
2全件 ：着信履歴を全件削除します。
3選択1件と伝言：表示していた1件の着信履歴と伝言メモを削除します。
4全件と伝言 ：着信履歴と伝言メモを全件削除します。

次ページへ

3 「1選択1件」～「4全件と伝言」のいずれかを押す

選択した／全ての着信履歴を削除した旨、または選択した／全ての着信履歴と伝言メモを削除した旨のメッセージが表示されます。

4 決定を押す

着信履歴の表示画面に戻ります。着信履歴がない場合や、全件削除した場合は、待受画面に戻ります。

● を押すと待受画面に戻ります。

受話音量

相手の声の音量を調節します

お買い上げ時 音量4

● 音量1（最小）～音量6（最大）の6段階で調節できます。
● 受話音量は電源を切っても保持されます。
● 受話音量は、ボタン確認音や伝言メモの再生音量にも反映されます。

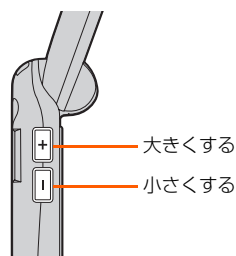
通話中の調節

1 通話中に または + − を押す

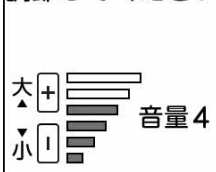
2 [△][▽][◁][▷]または[+][−]を押して音量を調節する

●次のボタンを押して音量を調節できます。

<マルチカーソルボタンを使うとき>

<音量ボタンを使うとき>

●[決定]、[戻る]、[終話]を押すか、ボタンの操作を止めてしばらくすると音量が設定され、通話中の画面に戻ります。

待受中の調節

1 待受画面で[メニュー]▶「[8]初めに行う設定」▶「[5]相手の声の音量を調節する」を押す

2 [△][▽][◁][▷]または[+][−]を押して音量を調節▶[決定]を押す

音量を設定した旨のメッセージが表示されます。

3 [決定]を押す

メニュー画面に戻ります。

●[終話]を押すと待受画面に戻ります。

着信音量

着信音の音量を調節します

お買い上げ時　音量4

● 消音、音量1～音量6の7段階で調節できます。待受中は「だんだん大きく」にも設定できます。
● 待受中に設定した着信音量は、電源を切っても保持されます。
● 待受中に設定した着信音量は、電池残量確認音、メール受信音量、予定を通知する音声の音量にも反映されます。ただし、本機能を「だんだん大きく」に設定した場合は、電池残量確認音には「音量4」が、メール受信音量または予定を通知する音声の音量には「音量3」が反映されます。

着信中の調節

1 着信中に または を押す

● 音量1のときに／／:
「消音」に設定します。

2 または を押して音量を調節する

● 次のボタンを押して音量を調節できます。

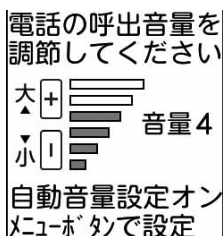
<マルチカーソルボタンを使うとき>

<音量ボタンを使うとき>

大きくする
小さくする

待受中の調節

1 **待受画面で(メニュー)▶「8初めに行う設定」▶「3電話を受けた時の音を設定する」▶「2電話を受けた時の音量を調節する」を押す**

電話の呼出音量を
調節してください
大 +
音量4
小 −
自動音量設定オン
ﾒﾆｭｰﾎﾞﾀﾝで設定

2 **(✉)(📖)(◁)(▷)または(+)(−)を押して音量を調節▶(決定)を押す**

音量を設定した旨のメッセージが表示されます。

- 音量6のときに(✉)／(▷)／(+):
  「だんだん大きく」（消音→音量1→…→音量6）に設定します。
- 音量1のときに(📖)／(◁)／(−):
  「消音」に設定します。

3 **(決定)を押す**

メニュー画面に戻ります。

- (⌒)を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

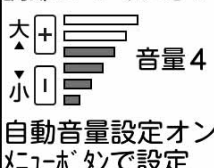
- 着信音量を消音に設定しているときは、待受画面にSが表示されます（S:SILENT（サイレント））。また、同時に電話のバイブレータを設定中は、SVが表示されます。マナーモード中は♡が表示されます。
- 着信音量を消音に設定しても、電話がかかってきたときにディスプレイのメッセージ表示の他に、バイブレータの振動や背面ディスプレイのメッセージ表示でお知らせするように設定できます。→P131、P138

騒音の中での自動音量調節の設定＜自動音量設定＞

お買い上げ時　大きくする

本機能を「大きくする」に設定すると、電話がかかってきたときに周囲の騒音レベルを測定し、一定レベルを超えると待受中に設定した着信音量がだんだん大きくなります。

● 着信音量を音量1～音量5に設定している場合のみ、本機能が動作します。
● マナーモード中は、本機能は動作しません。

1 待受画面で（メニュー）▶「8初めに行う設定」▶「3電話を受けた時の音を設定する」▶「2電話を受けた時の音量を調節する」▶（メニュー）を押す

騒がしい場所では
呼出音量を自動で
大きくしますか？
設定は音量1-5の
場合のみ有効です
1大きくする
2設定音量のまま

1大きくする　：自動音量設定オンに設定します。騒音が多い場合に音量をだんだん大きくします。
2設定音量のまま：自動音量設定オフに設定します。自動調節しません。

2 「1大きくする」または「2設定音量のまま」を押す

電話の呼出音量を
調節してください

自動音量設定オン
ﾒﾆｭｰﾎﾞﾀﾝで設定

＜「1大きくする」を押した場合＞

音量調節画面が表示され、自動音量設定オン／オフが確認できます。

● （終話）を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● 騒音レベル測定中は、背面ディスプレイや着信音、バイブレータ、ランプは動作せず、騒音レベル測定完了後より開始されます。
● 騒音レベル測定中にボタン操作を行うと、本機能は動作しません。
● 騒音レベル測定中は音量の調節はできません。

応答保留

すぐに電話に出られないとき保留にします

●応答保留中でも相手側には通話料金がかかります。

1 着信中に[—]を押す

応答保留になります。相手には「ただいま電話に出ることができません。そのままお待ちになるか、しばらくたってからおかけ直しください。」という応答保留ガイダンスが流れます。

応答保留 はっきりボイス
[ ]ボタンで保留解除
15秒
090XXXXXXXX

●応答保留中にFOMA端末を折り畳むと、背面ディスプレイに「応答保留中」が表示されます。

●応答保留中に[—]を押すか、相手が電話を切ると、通話は切れます。

2 電話に出られる状態になったら[[ ]を押す

お知らせ

●オートスピーカーホン機能を設定中は、着信してからオートスピーカーホン機能が動作するまでの約4秒間に応答保留の操作を行ってください。→P65

公共モード（ドライブモード）

運転中や通話を控える必要のある場所で電話を受けないようにします

公共モードは、公共性の高い場所でのマナーを重視した自動応答サービスです。公共モードを設定すると、電話をかけてきた相手に運転中もしくは通話を控える必要のあるような場所（電車、バス、映画館など）にいるため、電話に出られない旨のガイダンスが流れ、電話が切れます。

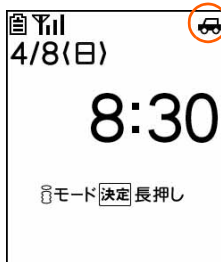
●公共モードの設定や解除は、待受中のみできます。ディスプレイ上部に 圏外 が表示されているときでも可能です。
●公共モード中でも、通常どおり電話をかけることができます。
●マナーモード中、伝言メモ設定中でも、公共モードが優先されます。
●緊急通報（110番、119番、118番）をすると、本機能は解除されます。

公共モード（ドライブモード）の設定

1 待受画面で［＊］を1秒以上押す

公共モード（ドライブモード）を設定した旨のメッセージが表示されます。

2 ［決定］を押す

4/8〈日〉
8:30
モード 決定 長押し

待受画面に戻ります。

●本機能を設定中は待受画面に［車］が表示されます。FOMA端末を折り畳んでいるときは、背面ディスプレイに［車］が表示されます。
●着信時に「ただいま運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいるため、電話に出られません。のちほどおかけ直しください。」というガイダンスが流れます。

公共モード（ドライブモード）を設定すると

電話がかかってきたときは相手に運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいる旨のガイダンスが流れ、電話が切れます。お客様のFOMA端末は着信動作を行わず、待受画面には新着情報（→P23）が表示され、着信履歴に記録されます。

●次の音が鳴りません。また、バイブレータやランプも動作しません。
- 電話および64Kデータ通信の着信音
- 目覚ましや予定のアラーム音
- 充電開始音
- メールやメッセージR/Fの着信音
- 待受中の電池残量警告音※
- 充電完了音

※FOMA端末を折り畳んでいるとき、背面ディスプレイに「電池残量なし」と表示もされません。

●FOMA端末を折り畳んでいる場合に、電話の着信、メールやメッセージR/Fを受信したときなどは、背面ディスプレイに新着情報が表示されます。

●ｉチャネルのテロップは表示されません。

公共モード（ドライブモード）の解除

1 公共モード（ドライブモード）中に待受画面で（¥）を1秒以上押す

公共モード（ドライブモード）を解除した旨のメッセージが表示されます。

2 （決定）を押す

待受画面に戻ります。

ネットワークサービスと公共モード（ドライブモード）中の着信動作

サービス名	電話を着信した場合
留守番電話サービス	相手に公共モードのガイダンスが流れた後、留守番電話サービスセンターに接続されます。※1
転送でんわサービス	相手に公共モードのガイダンスが流れた後、転送先に転送されます。※1 相手に流れるガイダンスの有無は、転送でんわサービスの設定に従います。
キャッチホン	相手に公共モードのガイダンスが流れた後、電話が切れます。
迷惑電話ストップサービス	相手を迷惑電話着信拒否に登録している場合、相手に着信拒否のガイダンスが流れた後、電話が切れます。※2
番号通知お願いサービス	• 相手が電話番号を通知していない場合は、相手に番号通知お願いのガイダンスが流れた後、電話が切れます。※2 • 相手が電話番号を通知している場合は、相手に公共モードのガイダンスが流れた後、電話が切れます。

※1 留守番電話サービスまたは転送でんわサービスの呼出時間を0秒に設定している場合は、公共モードのガイダンスは流れず、着信履歴には記録されません。

※2 着信履歴には記録されません。

公共モード（電源OFF）

電源を切る必要のある場所で電話を受けないようにします

公共モード（電源OFF）は、公共性の高い場所でのマナーを重視した自動応答サービスです。公共モード（電源OFF）を設定すると、電源を切っている間の着信時に、電話をかけてきた相手に電源を切る必要がある場所（病院、飛行機、電車の優先席付近など）にいるため電話に出られない旨のガイダンスが流れ、電話が切れます。

公共モード（電源OFF）の設定

1 待受画面で ＊ 2 5 2 5 1 ▶ [を押す

公共モード（電源OFF）が設定されます（待受画面上の変化はありません）。
公共モード（電源OFF）設定後、電源を切っている間の着信時に「ただいま携帯電話の電源を切る必要がある場所にいるため、電話に出られません。のちほどおかけ直しください。」というガイダンスが流れます。

公共モード（電源OFF）を設定すると

電話がかかってきたときは、相手に電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスが流れ、電話が切れます。

- 「＊25250」をダイヤルして公共モード（電源 OFF）を解除するまで設定は継続されます。電源を入れるだけでは設定は解除されません。
- サービスエリア外または電波が届かない所にいる場合も、公共モード（電源OFF）のガイダンスが流れます。

公共モード（電源OFF）の解除

1 公共モード（電源OFF）中に待受画面で ＊ 2 5 2 5 0 ▶ [を押す

公共モード（電源OFF）が解除されます。

公共モード（電源OFF）の設定内容を確認

1 待受画面で ＊ 2 5 2 5 9 ▶ [を押す

現在の設定内容のガイダンスが流れます。

ネットワークサービスと公共モード（電源OFF）中の着信動作

サービス名	電話を着信した場合
留守番電話サービス	相手に公共モード（電源OFF）のガイダンスが流れた後、留守番電話サービスセンターに接続されます。※
転送でんわサービス	相手に公共モード（電源OFF）のガイダンスが流れた後、転送先に転送されます。※ 相手に流れるガイダンスの有無は、転送でんわサービスの設定に従います。
迷惑電話ストップサービス	相手を迷惑電話着信拒否に登録している場合、相手に着信拒否のガイダンスが流れた後、電話が切れます。
番号通知お願いサービス	• 相手が電話番号を通知していない場合は、相手に番号通知お願いのガイダンスが流れた後、電話が切れます。 • 相手が電話番号を通知している場合は、相手に公共モード（電源OFF）のガイダンスが流れた後、電話が切れます。

※ 留守番電話サービスまたは転送でんわサービスの呼出時間を0秒に設定している場合は、公共モード（電源OFF）のガイダンスは流れません。

伝言メモ

電話に出られないときに用件を録音します

伝言メモを設定しておくと、電話に出られないときに応答メッセージを再生し、相手の用件を録音します。

● 最大4件、1件につき約30秒間録音できます。
● 履歴表示制限中や個人情報表示制限中は、本機能を使用できません。→P158
● 伝言メモの内容は、別にメモを取るなどして保存してください。FOMA端末の故障や修理、電話機の変更やその他の取り扱いによって、録音内容が消失してしまう場合があります。万一、録音内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

伝言メモの設定　メニュー 152

お買い上げ時　停止する

1 **待受画面で[メモ]を1秒以上押す**

伝言メモを設定した旨のメッセージが表示されます。

次ページへ

2 決定を押す

待受画面に戻ります。

● ⌒を押しても待受画面に戻ります。

● 伝言メモの設定中は待受画面に oo（黒）が表示されます。

■ 伝言メモを停止するとき

伝言メモ設定中に待受画面で 伝言メモキーを1秒以上▶決定を押す

伝言メモを停止した旨のメッセージが表示されます。

お知らせ

● 伝言メモが4件録音されると、待受画面に oo（赤）が表示されます。この場合、伝言メモを停止してもマークは消えず、新たに伝言メモを設定することもできません。不要な伝言メモを削除してから操作をやり直してください。→P83

伝言メモを設定したときは

● 伝言メモを設定していても電話を受けられます。

1 電話がかかってくる

伝言メモ応答中
携帯花子
090XXXXXXXX

呼出時間設定の設定に従って着信音が鳴った後、伝言メモ応答中の画面が表示され、相手には伝言メモ応答メッセージが流れます。

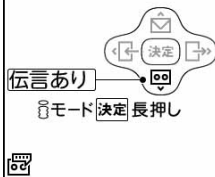
● FOMA 端末を折り畳んでいるときは、背面ディスプレイに「伝言メモ起動中」が表示されます。

2 相手のメッセージが録音される

伝言メモ録音中
携帯花子
090XXXXXXXX

● 録音の開始時と終了時に相手には「ピーッ」と音が鳴ります。また、録音開始時から約25秒後に、終了予告音（ピピッ）が鳴ります。

録音終了までの目安が表示されます。

3 録音が終了すると、電話が切れる

伝言メモが録音されると、待受画面に新着情報（→P23）と が表示されます。

●FOMA 端末を折り畳んでいるときは、背面ディスプレイに 伝言 が表示されます。

お知らせ

● 伝言メモ応答中、伝言メモ録音中でも を押して電話に出ることができます。このとき、電話に出るまでの録音内容は記録されません。
● 圏外 が表示されているときは、伝言メモ機能は動作しません。留守番電話サービスをご利用ください。
● 伝言メモがすでに4件録音されている場合は、伝言メモ機能は動作せずに着信音が鳴り続けます。留守番電話サービスまたは転送でんわサービスを開始に設定している場合は、各サービスが動作します。
● 電波の状態により、伝言メモの録音内容が途切れる場合があります。
● 伝言メモが録音された場合でも、着信履歴に記録されます。

録音開始までの時間設定<呼出時間設定>

お買い上げ時　8秒

電話がかかってきてから応答メッセージが流れるまでの時間を設定します。

1 待受画面で メニュー ▶「1 電話帳を使う　履歴を見る」▶「5 伝言メモを使う」▶「2 伝言メモを設定する」▶「3 呼出時間設定」を押す

伝言メモの
呼出時間を
設定してください
(0～120秒)

8 秒

2 呼出時間を入力▶ 決定 を押す

呼出時間を設定した旨のメッセージが表示されます。

●0～120秒の間で設定します。

3 決定 を押す

メニュー画面に戻ります。

● を押すと待受画面に戻ります。

次ページへ

お知らせ

- オート着信機能設定（平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）接続時→P416）、留守番電話サービスまたは転送でんわサービスと本機能を同時に設定している場合、設定した呼出時間により、優先順位が異なります。伝言メモを優先させるには、伝言メモの呼出時間を各サービスの呼出時間設定よりも短く設定してください。ただし、電波状態によっては伝言メモが優先されない場合があります。
- オート着信機能設定の応答時間と本機能の呼出時間を同じ時間に設定できません。→P416
- オートスピーカーホン機能と本機能を同時に設定している場合、本機能の呼出時間を3秒以下に設定していると本機能が動作します。→P65
- 無音着信時間の設定に関わらず、着信した時点から伝言メモの呼出時間がカウントされます。→P166

伝言メモ応答メッセージの選択<伝言メモメッセージ選択>

お買い上げ時　標準

- 応答メッセージは、次の3種類から選択できます。

種　類	内　容
1 標準	ただいま、電話に出ることができません。「ピー」という発信音の後に、30秒以内でメッセージをお話しください。
2 会議中用	会議中のため、電話に出ることができません。「ピー」という発信音の後に、30秒以内でメッセージをお話しください。
3 移動中用	移動中のため、電話に出ることができません。「ピー」という発信音の後に、30秒以内でメッセージをお話しください。

1 待受画面で(メニュー)▶「1電話帳を使う　履歴を見る」▶「5伝言メモを使う」▶「3伝言メモの応答メッセージを選ぶ」を押す

伝言メモの
応答メッセージを
選んでください

1標準
2会議中用
3移動中用

- (電話帳)：応答メッセージを再生します。
- 応答メッセージ再生中に(メール)(ｉモード)／(+)(−)：
再生中の応答メッセージの音量を調節します。
- 応答メッセージ再生中に(［)：受話口からの再生とスピーカーホン機能を使用した再生を切り替えます。

2 「1標準」～「3移動中用」のいずれかを押す

伝言メッセージを設定した旨のメッセージが表示されます。

3 (決定)を押す

メニュー画面に戻ります。

- (終話)を押すと待受画面に戻ります。

クイック伝言メモ

着信中の電話に出られないときに用件を録音します

伝言メモが停止中でも、着信中に操作を行うと、その着信に限り伝言メモを動作させせることができます。

● この操作は、伝言メモを設定するものではありません。

1 着信中に(メニュー)▶「1伝言メモ」を押す

伝言メモ応答中
携帯花子
090XXXXXXXX

伝言メモ応答中の画面が表示され、相手のメッセージが録音されます。

お知らせ

● 伝言メモがすでに4件録音されている場合は、本機能を使用できません。不要な伝言メモを削除してください。→P83

メニュー 151

伝言メモを再生／削除します

● 未確認の伝言メモがあるときは、待受画面に新着情報（→P23）と が表示されます。
● 履歴表示制限中や個人情報表示制限中は、本機能を使用できません。→P158

伝言メモの再生

1 待受画面で を押す

伝言メモ
2件あります
決定

● 伝言メモが録音されていない場合は、伝言メモがない旨のメッセージが表示されます。

次ページへ

2 決定を押す

伝言メモ1
4月 8日 日曜日
8時30分
携帯花子
090XXXXXXXX

伝言メモの番号
伝言メモを録音した日付、曜日、時間が表示されます。
国際電話がかかってきたときに表示されます。
電話番号が表示され、電話帳に登録しているときは名前も表示されます。→P87
発信者番号が非通知の場合は発信者番号非通知理由が表示されます。→P63

3 ▲▼を押して再生する伝言メモを表示▶決定を押す

伝言メモ再生中
携帯花子
090XXXXXXXX
音量4

時間経過の目安が表示されます。

伝言メモが再生されます。
- 決定：伝言メモの再生を途中で停止します。
- ▲▼／＋－：再生中の伝言メモの音量を調節します。
- ［：受話口からの再生とスピーカーホン機能を使用した再生を切り替えます。

再生が終了すると、伝言メモを削除するかどうかの確認画面が表示されます。

4 「1削除する」または「2削除しない」を押す

■ 削除するとき

「1削除する」▶決定を押す

次の伝言メモの表示画面が表示されます。
- 次の伝言メモがない場合は待受画面に戻ります。

■ 削除しないとき

「2削除しない」を押す

伝言メモの表示画面に戻ります。
- ─を押すと待受画面に戻ります。

おしらせ

- 伝言メモの表示画面で［を押すと電話をかけることができます。また、サブメニューから発信者番号の通知／非通知を選択して電話をかけることもできます。→P57

伝言メモの削除

1件ずつ、またはすべての伝言メモをまとめて削除できます。

1 **待受画面で[伝言メモ]▶[決定]▶[メール][伝言メモ]を押して削除する伝言メモを表示する**

伝言メモの表示画面が表示されます。

2 **[メニュー]▶「7削除する」を押す**

削除する
伝言メモを
選んでください

1選択1件
2全件

3 **「1選択1件」または「2全件」を押す**

選択した／全ての伝言メモを削除した旨のメッセージが表示されます。

4 **[決定]を押す**

伝言メモの表示画面に戻ります。伝言メモがない場合や、全件削除した場合は、待受画面に戻ります。

● [終話]を押すと待受画面に戻ります。

電話帳

FOMA端末で使用できる電話帳について

FOMA F883iでは、FOMA端末電話帳とFOMAカード電話帳を利用できます。

FOMA端末電話帳とFOMAカード電話帳の違い

FOMA端末電話帳とFOMAカード電話帳に登録できる情報（電話帳データ）には、次のような違いがあります。

- FOMAカードに直接電話帳データを登録することはできません。FOMAカード電話帳に登録するには、FOMA端末電話帳に登録した電話帳データをコピーしてください。→P98

○：可　×：不可

項　目		FOMA端末電話帳	FOMAカード電話帳	参照先
電話帳登録件数		最大500件	最大50件	―
登録内容	名前	○	○	P88
	フリガナ	○	○	P89
	電話番号	1人につき最大3件登録可能	1人につき1件登録可能	P89
	メールアドレス	1人につき最大3件登録可能	1人につき1件登録可能	P90
	グループ	30グループおよび「グループなし」に登録可能	10グループおよび「グループなし」に登録可能	P90
	電話帳No	○	×	P91
電話帳検索	50音順検索	○	○	P102
	音声検索	○	×	P103
	グループ検索	○	○	P103
	フリガナ検索	○	○	P104
	電話番号検索	○	○	P105
	電話帳No検索	○	×	P105
各種設定	シークレットコード入力	○	×	P109
	シークレット属性設定	○	×	P111
	短縮ダイヤル設定	○	×	P124
その他	ワンタッチダイヤル	○	×	P123
	音声呼出し（ボイスダイヤル）	○	×	P174
	ツータッチダイヤル	○	×	P125
	ツータッチメール	○	×	P278

- お客様のFOMAカードを他のFOMA端末に挿入しても、FOMAカード内の電話帳データを利用できます。

名前の表示について

FOMA端末電話帳、FOMAカード電話帳、ワンタッチダイヤルに登録した相手と電話の発着信を行うと、電話帳に登録している名前と電話番号が発信中、呼出中、着信中、通話中の画面に表示されます。

電話帳に登録している名前は、発着信情報を記録しているリダイヤルや着信履歴、電話帳を検索せずに電話番号／メールアドレスを入力したとき、伝言メモ、受信メールの送信元、送信メール／未送信メールの宛先にも表示されます。

- FOMA端末電話帳に同じ電話番号／メールアドレスで名前が異なる電話帳を登録している場合、最初に登録した電話帳の名前が表示されます。
- FOMA端末電話帳とFOMAカード電話帳に、同じ電話番号／メールアドレスで名前が異なる電話帳を登録している場合、FOMA端末電話帳に登録している名前が表示されます。
- ワンタッチダイヤルに同じ電話番号／メールアドレスで名前が異なる電話帳を登録している場合、最も小さいワンタッチダイヤル番号に登録した電話帳の名前が表示されます。
- メールを受信した際、送信元のメールアドレスと電話帳に登録しているメールアドレスが@以降のドメイン名も含めて完全に一致すると、電話帳に登録している名前が表示されます。ただし、送信元がｉモード端末の場合は、ドメイン名（@docomo.ne.jp）を省略してメールアドレスを電話帳に登録しても、電話帳に登録している名前が表示されます。メールアドレスが「携帯電話番号@docomo.ne.jp」の場合は、「@docomo.ne.jp」を省略して電話帳に登録してください。
- SMSを受信した際、電話帳に登録している電話番号が一致した場合は電話帳に登録している名前が表示されます。
- 電話帳に登録している名前が長い場合、発着信時の画面などには、画面に表示できる文字数分のみ名前が表示されます。

電話帳登録

FOMA端末電話帳に登録します

よく利用する電話番号やメールアドレスを、名前とともに登録できます。

● 個人情報表示制限中やダイヤル発信制限中は、本機能を使用できません。→P158、P160

● 圏外が表示されている場合でも電話帳の登録はできます。

● 電話帳に登録した内容は、別にメモを取るなどして保存することをおすすめします。パソコンをお持ちの場合は、データリンクソフトとFOMA USB接続ケーブル（別売）を利用して、パソコンに転送・保存することができます。→P492

● FOMA端末の故障や修理、電話機の変更やその他の取り扱いによって、登録内容が消失してしまう場合があります。万一、電話帳などに登録した内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

● ドコモショップなどの窓口で機種変更時など新機種へ登録内容をコピーする際は、仕様によってはFOMA端末にコピーできない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

● 最大登録件数→P86

ステップ1　名前を登録します

相手の名前や会社名などを入力します。

● 漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、記号、絵文字を入力できます。

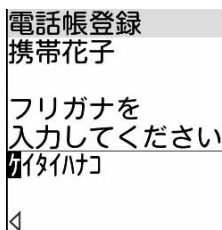
● 全角で最大16文字、半角で最大32文字入力できます。

1 **待受画面で メニュー ▶「1 電話帳を使う　履歴を見る」▶「4 電話帳に登録する」を押す**

名前の入力画面が表示されます。

2 **名前を入力する**

電話帳登録
名前を
入力してください
携帯花子

3 **決定 を押す**

フリガナの入力画面が表示されます。

ステップ2　フリガナを登録します

ステップ1で入力した名前のフリガナを確認して、必要に応じて修正します。

●半角カタカナ、半角英字、半角数字、半角記号を入力できます。

●半角で最大32文字入力できます。

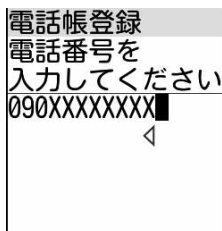
1 フリガナを確認する

電話帳登録
携帯花子

フリガナを
入力してください
ｹｲﾀｲﾊﾅｺ

●フリガナは電話帳の検索に使用しますので、正しく入力してください。

●フリガナによっては長音（「ー」）を使用すると、着信音の「名前の読み上げ」や電話帳の音声読み上げがより自然になります。たとえば、「太郎」の読みは「タロー」と登録します。→P130、P180

2 決定を押す

電話番号の入力画面が表示されます。

ステップ3　電話番号を登録します

電話番号を市外局番から入力します。

●最大26桁入力できます。

1 電話番号を入力する

電話帳登録
電話番号を
入力してください
090XXXXXXXX

●ポーズ（「P」）、タイマー（「T」）、「#」、サブアドレスの区切り（「*」）を入力できます。→P58

●「186」、「184」を付けて電話帳に登録すると、SMS作成時の宛先に選択した際、送信できません。

●何も入力しないで決定を押すと、電話番号を登録しません。ステップ4に進みます。

2 決定を押す

2件目の電話番号を入力するかどうかの確認画面が表示されます。

3 「1入力する」または「2入力しない」を押す

●「1入力する」　：他の電話番号を登録できます。ステップ3の操作1、2を繰り返します。3件目を登録すると、ステップ4に進みます。

●「2入力しない」：他の電話番号を登録しません。

ステップ4　メールアドレスを登録します

メールアドレスを入力します。

● 半角英字、半角数字、半角記号を入力できます。

● 半角で最大50文字入力できます。

1 メールアドレスを入力する

電話帳登録
メールアドレスを
入力してください
docomo.taro.ΔΔ@d
ocomo.ne.jp

● 半角英字入力モード時に(1 あ.／@)：
「.」「@」「-」などメールアドレスによく使う記号を入力できます。

● 何も入力しないで(決定)を押すと、メールアドレスを登録しません。ステップ5に進みます。

2 (決定)を押す

2件目のメールアドレスを入力するかどうかの確認画面が表示されます。

3 「1入力する」または「2入力しない」を押す

● 「1入力する」　：他のメールアドレスを登録できます。ステップ4の操作1、2を繰り返します。3件目を登録すると、ステップ5に進みます。

● 「2入力しない」：他のメールアドレスを登録しません。

お知らせ

● 相手がシークレットコードを登録しているとき→P109

● メールアドレスを「携帯電話番号@docomo.ne.jp」にしている相手を電話帳に登録する場合、「186」、「184」を付けて電話帳に登録すると、ｉモードメール作成時の宛先に選択した際、送信できません。

ステップ5　グループを登録します

電話帳を登録するグループを選択します。

● グループ 1 ～ 30 および「グループなし」から選択できます。「グループなし」以外のグループ名は変更することができます。→P95

1 グループを選択する

● (前ページ)(次ページ)：前後のページを表示できます。

2 決定を押す

電話帳Noの入力画面が表示されます。

ステップ6　電話帳Noを登録します

電話帳Noを割り当てます。

● 電話帳Noを0〜9に登録すると、短縮ダイヤルに設定されます。→P124

1 電話帳No（0〜499）を入力する

電話帳登録
電話帳Noを
入力してください
0〜9:短縮ﾀﾞｲﾔﾙ
10〜499:短縮なし
10

電話帳Noの入力画面には、10〜499までの電話帳Noのうち現在使用されていない最も小さい電話帳Noが自動的に入力されています。

● 10〜499までの電話帳Noがすべて使用されている場合は、0〜9までの電話帳Noのうち現在使用されていない最も小さい電話帳Noが入力されます。
● 電話帳Noが「001」のように1桁の場合は「1」、「010」のように2桁の場合は「10」と入力します。

2 決定を押す

電話帳を
登録しました。
ﾜﾝﾀｯﾁﾀﾞｲﾔﾙまたは
音声呼出しに
登録しますか？
1登録する
2終了する

● 登録済みの電話帳Noを指定したときは、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。「2新規登録する」を押すと、10〜499までの電話帳Noのうち現在使用されていない最も小さい電話帳Noに登録されます。

3 「2終了する」を押す

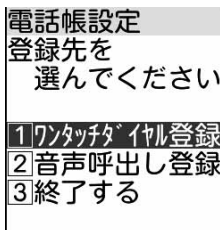
メニュー画面に戻ります。電話帳登録は終了です。

● 「1登録する」：ステップ7に進みます。
● ⌒を押すと待受画面に戻ります。

ステップ7　ワンタッチダイヤル／音声呼出しに登録します

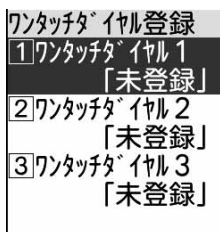
電話帳登録に続けてワンタッチダイヤル（→P112）や音声呼出し（→P172）に登録します。

1 ステップ6の操作3で「1登録する」を押す

電話帳設定
登録先を
　選んでください
1ワンタッチダイヤル登録
2音声呼出し登録
3終了する

2 「1ワンタッチダイヤル登録」または「2音声呼出し登録」を押す

■ ワンタッチダイヤルに登録するとき

①「1ワンタッチダイヤル登録」を押す

ワンタッチダイヤル登録
1ワンタッチダイヤル1
　「未登録」
2ワンタッチダイヤル2
　「未登録」
3ワンタッチダイヤル3
　「未登録」

②「1ワンタッチダイヤル1」～「3ワンタッチダイヤル3」のいずれかを押して登録する

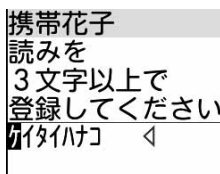
ワンタッチダイヤル登録方法→P113「ステップ2」操作1～「ステップ4」操作7

登録が終了するとワンタッチダイヤルに登録した旨のメッセージが表示され、決定を押すと登録先の選択画面に戻ります。

- すでに音声呼出しを登録している場合は、メニュー画面に戻ります。

■ 音声呼出しに登録するとき

①「2音声呼出し登録」を押す

携帯花子
読みを
３文字以上で
登録してください
ケイタイハナコ

- 電話帳呼出し用の単語をすでに100件登録している場合は、登録ができない旨のメッセージが表示されます。決定を押すと、登録先の選択画面に戻ります。

②単語を入力▶決定を押す

単語を登録した旨のメッセージが表示されます。

- あらかじめフリガナの先頭10文字が単語として入力されており、そのまま登録することもできます。
- 半角カタカナで3～10文字入力できます。

③決定を押す

登録先の選択画面に戻ります。

- すでにワンタッチダイヤルを登録している場合は、メニュー画面に戻ります。

3 「3終了する」を押す

メニュー画面に戻ります。

● を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● シークレット属性を設定した電話帳データは、ワンタッチダイヤル登録画面では［＊＊＊＊＊＊＊＊］と表示されます。シークレットモード中は名前が表示されます。

リダイヤルや着信履歴などから電話帳に登録します

リダイヤルや着信履歴などから、電話番号を電話帳に登録します。新しい電話帳データとして登録することも、登録済みの電話帳に追加することもできます。

● 次の画面から登録できます。

- ダイヤル入力画面
- リダイヤルの表示画面
- 着信履歴の表示画面
- 伝言メモの表示画面

● サイトやｉモードメールなどから電話番号やメールアドレスを登録することもできます。→P223、P349

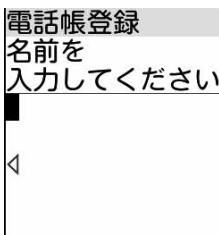
新規登録

〈例〉リダイヤルから新規登録するとき

1 待受画面で[発信]を押す

リダイヤル01
4月 8日 日曜日
8時30分
発番通知あり
090XXXXXXXX

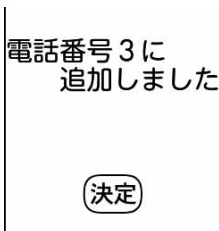
● ダイヤル入力画面の表示→P50
● 着信履歴の表示→P66
● 伝言メモの表示→P82

2 [メール][iモード]を押して登録するリダイヤルを表示▶[メニュー]▶「1 電話帳に登録」を押す

● 以降の操作→P88「ステップ1」操作2以降
● 電話番号の入力画面には、選択したリダイヤルの電話番号が入力されています。

登録済み電話帳への追加

〈例〉リダイヤルから追加登録するとき

1 待受画面で[発信]▶[メール][iモード]を押して追加するリダイヤルを表示▶[メニュー]▶「2 電話帳に追加」▶電話帳を検索▶登録先の相手を選択▶[決定]を押す

電話番号3に
追加しました
[決定]

● 登録先の相手に電話番号をすでに3件登録しているときは、上書きする電話番号の選択画面が表示されます。上書きする電話番号を選択し、[決定]を押します。上書きしないときは[戻る]を押してFOMA端末電話帳の検索結果一覧に戻ります。

2 決定を押す

ワンタッチダイヤルまたは音声呼出しに登録するかどうかの確認画面が表示されます。

●以降の操作→P91「ステップ6」操作2以降

グループの名前や着信音を設定します

FOMA端末電話帳のグループの名前を変えたり、着信音をグループごとに設定したりできます。

グループ名の変更

FOMA端末電話帳の「グループ1」～「グループ30」を、「家族」「会社」などのわかりやすい名前に自由に変更できます。

●「グループなし」のグループ名は変更できません。

1 待受画面でメニュー▶「1電話帳を使う　履歴を見る」▶「6電話帳のグループを設定する」▶「1グループ名を変更する」を押す

グループ名変更
1グループ1
2グループ2
3グループ3
4グループ4
5グループ5
6グループ6
7グループ7

●←→：前後のページを表示できます。

2 変更するグループを選択▶決定を押す

3 グループ名を入力▶決定を押す

グループ名を登録した旨のメッセージが表示されます。

- 漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、記号、絵文字を入力できます。
- 全角で最大10文字、半角で最大20文字入力できます。
- 何も入力しないで決定を押すと、お買い上げ時のグループ名に戻ります。

4 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

- 終話を押すと待受画面に戻ります。

グループ別着信音の設定

お買い上げ時　［グループ1～30］着信音設定：専用設定なし

電話がかかってきたときやメールを受信したときの着信音を、FOMA端末電話帳のグループごとに設定できます。

- 「グループなし」の着信音は設定できません。
- 電話がかかってきたときの着信音の優先順位→P129「携帯電話から鳴る着信音を変えます」のお知らせ
- メールを受信したときの着信音の優先順位→P314「メール受信時の着信音を設定します」のお知らせ

〈例〉電話着信音を設定するとき

1 待受画面でメニュー▶「1電話帳を使う　履歴を見る」▶「6電話帳のグループを設定する」▶「2グループ専用の電話着信音を選ぶ」を押す

ｸﾞﾙｰﾌﾟ着信音設定
1グループ1
2グループ2
3グループ3
4グループ4
5グループ5
6グループ6
7グループ7

- ◁▷：前後のページを表示できます。
- メール着信音を設定するときは、待受画面でメニュー▶「1電話帳を使う　履歴を見る」▶「6電話帳のグループを設定する」▶「3グループ専用のメール着信音を選ぶ」を押します。

2 設定するグループを選択▶(決定)を押す

電話を受けた時に
鳴らす音を
設定してください
1着信音設定
専用設定なし
2着信音
専用設定なし

1着信音設定：グループ専用の着信音を設定するかどうかを設定します。
2着信音　　：グループ専用の着信音を鳴らすときの音を設定します。

3 「1着信音設定」を押す

グループ専用の着信音を設定するかどうかの確認画面が表示されます。

4 「1設定する」を押す

着信音の選択画面が表示されます。

- 「2設定しない」：グループ専用の着信音を設定しません。操作7に進みます。

5 「1メロディ」～「3名前の読み上げ」のいずれかを押す

- 「1メロディ」、「2着モーション」：それぞれのフォルダを選択する画面が表示されます。
- 「3名前の読み上げ」：操作2の画面に戻ります。操作7に進みます。名前の読み上げについて→P130

6 フォルダを選択▶(決定)▶着信音を選択▶(決定)を押す

操作2の画面に戻ります。

- メロディまたは動画／ｉモーションの再生方法→P129「携帯電話から鳴る着信音を変えます」操作5

7 (電話帳)を押す

着信音を設定した旨のメッセージが表示されます。

8 (決定)を押す

操作1の画面に戻ります。

- (終話)を押すと待受画面に戻ります。

電話帳をコピーします

FOMA端末電話帳をFOMAカード電話帳にコピーしたり、FOMAカード電話帳をFOMA端末電話帳にコピーしたりします。

● 個人情報表示制限中やダイヤル発信制限中は、本機能を使用できません。→P158、P160

FOMA端末電話帳からFOMAカード電話帳へコピー

● FOMA端末電話帳の検索結果一覧から操作する場合は、複数の電話帳データをまとめてコピーできます。FOMA端末電話帳の詳細画面から操作する場合は、表示中の電話帳データがコピーされます。

● FOMA端末電話帳に登録した電話帳データのグループが次のような場合は、FOMAカード電話帳にコピーされると「グループなし」にコピーされます。

- グループを設定していないとき
- グループ11以降に登録しているとき
- 名前を変更したグループに登録しているとき※

※ ただし、変更後と同じ名前のグループがFOMAカード電話帳にある場合は、そのグループにコピーされます。

● 次の項目がコピーされます。ただし、FOMAカードに保存できる最大文字数を超えた部分は削除されます。

- 名前 ： 全角で最大10文字、半角で最大21文字コピーされます。ただし、全角／半角が混在している場合や、半角カタカナが含まれている場合は、最大10文字となります。
- フリガナ ： 半角カタカナは全角カタカナに置き換えられます。全角で最大12文字、半角で最大25文字コピーされます。
- 電話番号 ： 1件目の電話番号が最大26桁コピーされます。FOMAカードの種類によっては最大20桁となります。→P33
  タイマー（「T」）を登録している場合は削除されます。
- メールアドレス： 1件目のメールアドレスが半角で最大50文字コピーされます。

1 **待受画面で 電話帳 ▶電話帳を検索する**

● 検索方法→P101

2 **メニュー ▶「8 FOMAカードへコピー」を押す**

電話帳データの選択画面が表示されます。

● FOMA端末電話帳の詳細画面から操作するときは、メニュー ▶「7 FOMAカードへコピー」を押します。

3 コピーする相手を選択▶(決定)を押す

電話帳
FOMAｶｰﾄﾞへｺﾋﾟｰ
ｱ ｶ ｻ ﾀ ﾅ ﾊ ﾏ ﾔ ﾗ ﾜ 他
□携帯あき子
□携帯一郎
□携帯なつ子
☑携帯花子
□ドコモ一郎

相手の□が☑に変わります。

● (決定)：相手を選択／解除します。

● (メニュー)：すべての相手を選択／解除します。

4 (電話帳)を押す

FOMAカードにコピーした旨のメッセージが表示されます。

5 (決定)を押す

FOMA端末電話帳の検索結果一覧に戻ります。

● (終話)を押すと待受画面に戻ります。

FOMAカード電話帳からFOMA端末電話帳へコピー

● FOMAカード電話帳の検索結果一覧から操作する場合は、複数の電話帳データをまとめてコピーできます。FOMAカード電話帳の詳細画面から操作する場合は、表示中の電話帳データがコピーされます。

● FOMAカード電話帳のグループ名と同じ名前のグループがFOMA端末電話帳にある場合は、そのグループにコピーされます。同じ名前のグループがない場合は、「グループなし」にコピーされます。

● 次の項目がコピーされます。

- 名前　　　　　：名前にコピーされます。
- フリガナ　　　：フリガナにコピーされます。
  全角カタカナは半角カタカナに置き換えられます。
- 電話番号　　　：電話番号にコピーされます。
- メールアドレス：メールアドレスにコピーされます。

1 待受画面で(メニュー)▶「1 電話帳を使う　履歴を見る」▶「3 電話帳の内容を見る」▶(電話帳)▶電話帳を検索する

● 検索方法→P101

2 (メニュー)▶「4 本体へコピー」を押す

電話帳データの選択画面が表示されます。

次ページへ

3 コピーする相手を選択▶(決定)を押す

FOMAカード電話帳
本体電話帳へコピー
アカサタナハマヤラワ他
□携帯あき子
□携帯一郎
□携帯なつ子
☑携帯花子
□ドコモ一郎

相手の□が☑に変わります。

- (決定)：相手を選択／解除します。
- (メニュー)：すべての相手を選択／解除します。

4 (電話帳)を押す

FOMA端末電話帳にコピーした旨のメッセージが表示されます。

5 (決定)を押す

FOMAカード電話帳の検索結果一覧に戻ります。

- (—)を押すと待受画面に戻ります。

登録内容のコピー

FOMA端末電話帳やFOMAカード電話帳に登録した電話帳データの個々の登録内容（名前や電話番号など）をコピーします。

1 待受画面で(電話帳)▶電話帳を検索する

- 検索方法→P101

2 コピーする相手を選択▶(決定)▶(メニュー)▶「9名前等をコピー」を押す

項目一覧
携帯花子
090XXXXXXXX
03XXXXXXXX
docomo.taro.ΔΔ…
docomo-ΔΔ-taro…
コピーする項目を
選んでください

- FOMAカード電話帳から操作するときは、コピーする相手を選択▶(決定)▶(メニュー)▶「6名前等をコピー」を押します。

3 コピーする項目を選択▶(決定)を押す

選択した項目をコピーした旨のメッセージが表示されます。

4 決定を押す

FOMA端末電話帳の詳細画面に戻ります。

- 貼り付け方法→P446「文字のコピーと貼り付け」操作5
- （終話キー）を押すと待受画面に戻ります。

電話帳検索

電話帳から電話をかけます

電話をかける相手の電話帳データを電話帳から呼び出し、簡単に電話をかけることができます。

- 電話帳の呼び出しかたには次の検索方法があります。

項　目	説　明	参照先
50音順検索	50音順に検索して表示します。	P102
音声検索※	音声で検索します。	P103
グループ検索	グループから検索します。	P103
フリガナ検索	フリガナから検索します。	P104
電話番号検索	電話番号の一部から検索します。	P105
電話帳No検索※	電話帳Noから検索します。	P105

※ FOMAカード電話帳では利用できません。

- 電話帳の検索方法選択画面（→P106）で電話帳を押すたびに、FOMA端末電話帳の検索方法選択画面とFOMAカード電話帳の検索方法選択画面が切り替わります。または、FOMA端末電話帳の検索結果一覧でメニュー▶0を押すとFOMAカード電話帳の検索方法選択画面に、FOMAカード電話帳の検索結果一覧でメニュー▶5を押すとFOMA端末電話帳の検索方法選択画面に切り替わります。
- シークレット属性を設定している電話帳データは、シークレットモード中のみ検索できます。また、ワンタッチダイヤルやツータッチダイヤル、ツータッチメールなど電話帳を利用する機能の場合も同様です。→P111
- 個人情報表示制限中は、電話帳を検索できません。→P158

1 待受画面で電話帳▶電話帳を検索する

電話帳
５０音順検索
アカサタナハマヤラワ他
携帯あき子
携帯一郎
携帯なつ子
携帯花子
ドコモ一郎

＜50音順検索の場合＞

お買い上げ時は50音順検索の検索結果一覧が表示されるように設定されています。よく利用する検索方法の画面が表示されるように設定を変更できます。→P106

次ページへ

2 電話をかける相手を選択▶[発信]を押す

1件目の電話番号に電話がかかります。

- 2件目以降の電話番号に電話をかける場合は、相手を選択▶決定▶[左][右]を押して電話番号を選択▶[発信]を押します。

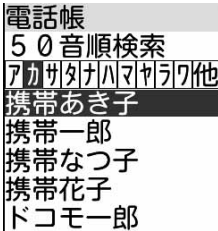
おしらせ

- 発信者番号の通知／非通知を選択したり、国際電話をかけたりする場合は、電話をかける相手を選択▶メニュー▶「1電話をかける」を押します。電話をかけるかどうかの確認画面で「1電話をかける」を選択▶メニュー▶「1非通知で電話」～「3ワールドコール」のいずれかを押し「1電話をかける」を押します。

50音順検索

50音順に検索して表示します。

1 待受画面でメニュー▶「1電話帳を使う　履歴を見る」▶「3電話帳の内容を見る」▶「150音順検索」を押す

電話帳
５０音順検索
アカサタナハマヤラワ他
携帯あき子
携帯一郎
携帯なつ子
携帯花子
ドコモ一郎

<検索結果一覧>

- FOMAカード電話帳を検索するときは、待受画面でメニュー▶「1電話帳を使う　履歴を見る」▶「3電話帳の内容を見る」▶電話帳▶「150音順検索」を押します。

2 [上][下][左][右]を押して電話をかける相手を選択する

- [0]～[9]、[*]、[#]:

ボタンに割り当てられている行の先頭の電話帳データを表示します。

[1]	：ア行	[2]	：カ行	[3]	：サ行	[4]	：タ行
[5]	：ナ行	[6]	：ハ行	[7]	：マ行	[8]	：ヤ行
[9]	：ラ行	[0]	：ワ行				

[*]／[#]　：他（アルファベット、数字、フリガナが空白で始まるもの、記号、フリガナなし順）

たとえば､「携帯花子」を表示する場合は「け」(カ行)に対応する[2]を押します。

- [左][右]:

画面上部にある50音表示のカーソルを移動して、各行の先頭の電話帳データを表示します。

3 [発信キー]を押す

1件目の電話番号に電話がかかります。

- 2件目以降の電話番号に電話をかける場合は、相手を選択▶[決定]▶[◁][▷]を押して電話番号を選択▶[発信キー]を押します。

音声検索

音声で電話帳データを検索します。

- あらかじめ電話帳データを音声呼出しに登録しておく必要があります。→P92、P172
- 周囲の状況や発声のしかたにより、音声が認識されない場合があります。→P179

1 待受画面で[メニュー]▶「1電話帳を使う　履歴を見る」▶「3電話帳の内容を見る」▶「2音声検索」を押す

決定ボタンを押し
受話口を耳にあて
ピーという
発信音の後に
呼出す相手を
お話しください

- 待受画面で[電話帳]を1秒以上押しても、音声で電話帳データを検索できます。
- 以降の操作→ P175「音声で電話帳を呼び出します」操作2以降

グループ検索

グループに登録した電話帳データを検索します。

- FOMA 端末電話帳にグループを設定せずに登録した電話帳データは、「グループなし」に登録されています。
- FOMA 端末電話帳から FOMA カード電話帳にコピーした電話帳データのグループについて→P98

1 待受画面で[メニュー]▶「1電話帳を使う　履歴を見る」▶「3電話帳の内容を見る」▶「3グループ検索」を押す

グループ検索画面が表示されます。

- FOMAカード電話帳を検索するときは、待受画面で[メニュー]▶「1電話帳を使う　履歴を見る」▶「3電話帳の内容を見る」▶[電話帳]▶「2グループ検索」を押します。

次ページへ

2 検索するグループを選択▶(決定)を押す

電話帳
会社
アカサタナハマヤラワ他
携帯一郎
携帯なつ子
ドコモ一郎
ドコモ三郎

<検索結果一覧>

- (0)～(9)、(＊)、(#)：
  ボタンに割り当てられている行の先頭の電話帳データを表示します。→P102
- (◁)(▷)：
  画面上部にある50音表示のカーソルを移動して、各行の先頭の電話帳データを表示します。
- 同じグループ内の電話帳データは次のフリガナ順に表示されます。
  ①50音順　②アルファベット順　③数字
  ④空白で始まるもの　⑤記号　⑥フリガナなし

3 電話をかける相手を選択▶(発信)を押す

1件目の電話番号に電話がかかります。

- 2件目以降の電話番号に電話をかける場合は、相手を選択▶(決定)▶(◁)(▷)を押して電話番号を選択▶(発信)を押します。

フリガナ検索

フリガナを入力して、その文字から始まる電話帳データを検索します。

- 半角カタカナ、半角英字、半角数字、半角記号を入力できます。

1 待受画面で(メニュー)▶「1電話帳を使う　履歴を見る」▶「3電話帳の内容を見る」▶「4フリガナ検索」を押す

フリガナ検索画面が表示されます。

- FOMAカード電話帳を検索するときは、待受画面で(メニュー)▶「1電話帳を使う　履歴を見る」▶「3電話帳の内容を見る」▶(電話帳)▶「3フリガナ検索」を押します。

2 フリガナを入力▶(決定)を押す

電話帳
フリガナ検索
アカサタナハマヤラワ他
携帯あき子
携帯一郎
携帯なつ子
携帯花子

<検索結果一覧>

- フリガナは先頭の一部を入力することで検索できます。

3 電話をかける相手を選択▶［発信］を押す

1件目の電話番号に電話がかかります。

●2件目以降の電話番号に電話をかける場合は、相手を選択▶［決定］▶［←］［→］を押して電話番号を選択▶［発信］を押します。

電話番号検索

電話番号の一部だけを入力して、その数字を含む電話番号を検索します。

1 待受画面で［メニュー］▶「［1］電話帳を使う　履歴を見る」▶「［3］電話帳の内容を見る」▶「［5］電話番号検索」を押す

電話番号検索画面が表示されます。

●FOMAカード電話帳を検索するときは、待受画面で［メニュー］▶「［1］電話帳を使う　履歴を見る」▶「［3］電話帳の内容を見る」▶［電話帳］▶「［4］電話番号検索」を押します。

2 電話番号の一部を入力▶［決定］を押す

<検索結果一覧>

●［0］～［9］、［＊］、［＃］：
ボタンに割り当てられている行の先頭の電話帳データを表示します。→P102

●［←］［→］：
画面上部にある50音表示のカーソルを移動して、各行の先頭の電話帳データを表示します。

3 電話をかける相手を選択▶［発信］を押す

1件目の電話番号に電話がかかります。

●2件目以降の電話番号に電話をかける場合は、相手を選択▶［決定］▶［←］［→］を押して電話番号を選択▶［発信］を押します。

電話帳No検索

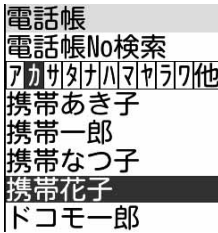
電話帳Noを入力して検索します。

1 待受画面で［メニュー］▶「［1］電話帳を使う　履歴を見る」▶「［3］電話帳の内容を見る」▶「［6］電話帳No検索」を押す

電話帳No検索画面が表示されます。

次ページへ

2 電話帳Noを入力▶(決定)を押す

電話帳
電話帳No検索
アカサタナハマヤラワ他
携帯あき子
携帯一郎
携帯なつ子
携帯花子
ドコモ一郎

<検索結果一覧>

● 電話帳Noが「001」のように1桁の場合は「1」、「010」のように2桁の場合は「10」と入力します。

3 電話をかける相手を選択▶([ )を押す

1件目の電話番号に電話がかかります。

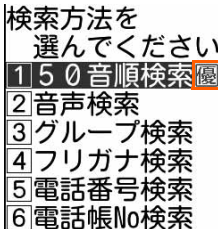
● 2件目以降の電話番号に電話をかける場合は、相手を選択▶(決定)▶(⇦)(⇨)を押して電話番号を選択▶([ )を押します。

優先する検索方法を設定<電話帳検索優先設定>

お買い上げ時　50音順検索

待受画面で(電話帳)を押したときに表示されるFOMA端末電話帳の検索方法を設定します。

1 待受画面で(メニュー)▶「1 電話帳を使う　履歴を見る」▶「3 電話帳の内容を見る」を押す

検索方法を
選んでください
1 50音順検索 優
2 音声検索
3 グループ検索
4 フリガナ検索
5 電話番号検索
6 電話帳No検索

<検索方法選択画面>

検索方法選択画面が表示されます。

優先設定している検索方法に 優 が表示されます。

2 優先する検索方法を選択▶(メニュー)を押す

優先する検索方法を設定した旨のメッセージが表示されます。

● 音声検索を優先設定する場合は、あらかじめ電話帳データを音声呼出しに登録しておく必要があります。→P92、P172

3 (決定)を押す

設定した検索方法に 優 が表示されます。

● (━)を押すと待受画面に戻ります。

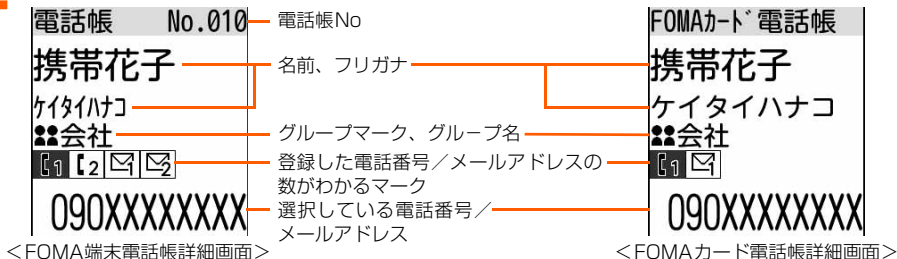
FOMA端末電話帳／FOMAカード電話帳の詳細表示

登録内容を表示して確認します。

1 待受画面で［電話帳］▶電話帳を検索する

● 検索方法→P101

2 詳細表示する相手を選択▶［決定］を押す

＜FOMA端末電話帳詳細画面＞　＜FOMAカード電話帳詳細画面＞

● ［0］～［9］、［＊］、［#］：ボタンに割り当てられている行の先頭の電話帳データの詳細画面を表示します。→P102

● ［メール］［iモード］：前後の電話帳データの詳細画面を表示します。

● ［←］［→］：登録している電話番号、メールアドレスの表示を切り替えます。

● ［発信］：表示している電話番号へ電話をかけます。

■ **2件目以降の電話番号やメールアドレスを表示するとき**

［←］［→］を押して電話番号／メールアドレスのマークを選択する

選択しているマークの色が変わり、２件目以降の電話番号やメールアドレスが表示されます。

電話帳修正

電話帳を修正します

FOMA端末電話帳に登録した電話帳データの内容を修正したり、電話帳データを他のグループに移動することができます。

● FOMAカード電話帳の電話帳データは直接修正できません。修正する場合は、一度FOMA端末電話帳にコピーし、修正を行ってからFOMAカードにコピーし直すなどの操作を行ってください。

● 個人情報表示制限中やダイヤル発信制限中は、本機能を使用できません。→P158、P160

1 待受画面で［電話帳］▶電話帳を検索する

● 検索方法→P101

次ページへ

2 修正する相手を選択▶(メニュー)▶「4修正する」を押す

名前入力画面が表示されます。

3 電話帳データを修正して登録する

- 以降の操作→P88「ステップ1」操作2以降
- グループの修正が終了すると、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。上書きするときは「1上書きする」を押します。上書きしないときは「2新規登録する」を押し、他の電話帳Noを登録します。

お知らせ

- 名前を修正してもフリガナは自動で変更されません。フリガナについても、変更してください。
- 複数の電話番号やメールアドレスを登録している場合、1件目の電話番号やメールアドレスを削除すると2件目以降、繰り上げ登録されます。

グループ変更

電話帳データを他のグループに移動します。

1 待受画面で(電話帳)▶電話帳を検索する

- 検索方法→P101

2 グループを変更する相手を選択▶(メニュー)▶「7グループを移動」を押す

グループ選択画面が表示されます。

- FOMA端末電話帳の詳細画面から操作するときは、(メニュー)▶「6グループを移動」を押します。

3 グループを選択▶(決定)を押す

選択したグループに移動した旨のメッセージが表示されます。

4 (決定)を押す

FOMA端末電話帳の検索結果一覧に戻ります。

- (終話)を押すと待受画面に戻ります。

メールアドレスにシークレットコードを設定<シークレットコード入力>

相手がメールアドレス（携帯電話番号@docomo.ne.jp）にシークレットコードを登録している場合は、そのシークレットコードを電話帳データのメールアドレスに設定しておくことで、電話帳を検索してｉモードメールを作成するときに自動的にシークレットコードが付加されます。

● ダイヤル発信制限中（→P160）や、電話帳データにメールアドレスを登録していないときには、本機能を使用できません。

1 待受画面で電話帳▶電話帳を検索する

● 検索方法→P101

2 シークレットコードを設定する相手を選択▶決定を押す

詳細画面が表示されます。

3 ◁▷でメールアドレスを選択▶メニュー▶「※シークレットコード入力」を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

4 4～8桁の端末暗証番号を入力▶決定を押す

シークレットコードを
入力してください

5 4桁のシークレットコードを入力▶決定を押す

シークレットコードを設定した旨のメッセージが表示されます。

● シークレットコードを解除するには、戻るでシークレットコードをすべて削除▶決定を押します。

6 決定を押す

FOMA端末電話帳の詳細画面に戻ります。

● ーを押すと待受画面に戻ります。

次ページへ

お知らせ

- 設定したシークレットコードは、FOMA端末電話帳の詳細画面やｉモードメール作成時の宛先などには表示されません。シークレットコードの設定と同様の操作で確認してください。
- メールアドレスを「携帯電話番号＋シークレットコード@docomo.ne.jp」として電話帳に登録している場合はその相手にメールの返信ができません。

電話帳削除

電話帳を削除します

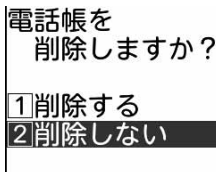
電話帳に登録している１件分の電話帳データを削除します。

- 個人情報表示制限中やダイヤル発信制限中は、本機能を使用できません。→P158、P160

1 待受画面で［電話帳］▶電話帳を検索する

- 検索方法→P101

2 削除する相手を選択▶［メニュー］▶「6電話帳から削除」を押す

電話帳を
　削除しますか？

1削除する
2削除しない

- FOMA端末電話帳またはFOMAカード電話帳の詳細画面から操作するときは、［メニュー］▶「5電話帳から削除」を押します。

3 「1削除する」を押す

電話帳を削除した旨のメッセージが表示されます。

4 ［決定］を押す

FOMA端末電話帳の検索結果一覧に戻ります。

- ［終話］を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- ワンタッチダイヤルに登録している電話帳データを削除すると、ワンタッチダイヤルからも削除されます。

シークレット属性設定／解除

知られたくない電話帳を守ります

他の人に見られたくないFOMA端末電話帳の電話帳データには、シークレット属性を設定できます。シークレット属性を設定するには、FOMA端末をシークレットモードに設定する必要があります。

●FOMAカード電話帳の電話帳データにはシークレット属性を設定できません。

1 シークレットモードを設定する

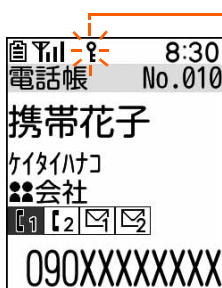
●操作方法→P157

2 待受画面で電話帳▶電話帳を検索する

●検索方法→P101

3 シークレット属性を設定する相手を選択▶決定▶メニュー▶「0シークレット属性設定」を押す

シークレット属性を設定した旨のメッセージが表示されます。

4 決定を押す

選択している電話帳データにシークレット属性を設定していると が点滅します。

●—を押すと待受画面に戻ります。

■ シークレット属性を解除するとき

シークレットモード中にシークレット属性を設定している相手を選択▶決定▶メニュー▶「0シークレット属性解除」を押す

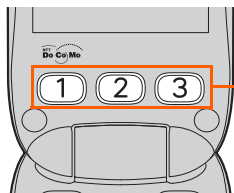
シークレット属性を解除した旨のメッセージが表示されます。

お知らせ

●シークレットモード中に電話帳データを修正・登録した場合、その電話帳データにはシークレット属性が設定されます。
●シークレット属性を設定している電話帳データは、シークレットモード中のみ修正できます。
●シークレット属性を設定している電話帳データの名前は、シークレットモード中のみ、着信画面、リダイヤル、着信履歴、伝言メモ、受信メール一覧などに表示されます。また、グループ別に設定した着信音も同様です。
●ワンタッチダイヤルに登録した電話帳データにシークレット属性を設定した場合、ワンタッチダイヤル専用の着信音や着信画像を設定していても設定した着信音は動作せず、画像も表示されません。→P117、P119

ワンタッチダイヤル登録

よく連絡を取り合う相手を登録します

よく連絡を取る相手の電話帳データをワンタッチダイヤルに登録しておくと、ワンタッチダイヤルボタンを押すだけで簡単に電話をかけたり、メールを送ったりできます。→P123
また、着信音や画像を設定することができます。

● ワンタッチダイヤルは3件登録できます。
● FOMA端末電話帳の登録時に本機能を登録することもできます。→P92
● 個人情報表示制限中は、本機能を使用できません。→P158
● 名前の表示について→P87

電話帳から相手を選択して登録<電話帳選択>

ワンタッチダイヤルへの登録は、次の手順で行います。
● FOMAカード電話帳から選択することはできません。

ステップ1　登録する相手を選びます

1 待受画面でワンタッチダイヤルボタン 1 ～ 3 のいずれかを押す

ﾜﾝﾀｯﾁﾀﾞｲﾔﾙ登録
ﾜﾝﾀｯﾁﾀﾞｲﾔﾙが登録されていません。
登録しますか？
1 電話帳から選ぶ
2 新規に登録する
3 登録しない

● すでに登録しているワンタッチダイヤルボタンを押すと、ワンタッチダイヤル詳細画面が表示されます。→P115
● FOMA端末電話帳に1件も電話帳データを登録していない場合は、新規に登録するかどうかの確認画面が表示されます。「1新規に登録する」を押して電話帳へ登録してください。→P88

2 「1電話帳から選ぶ」▶電話帳を検索する

● 検索方法→P101

3 登録する相手を選択する

ステップ2　電話番号を登録します

1 決定を押す

■ 電話番号を1件登録しているとき

表示中の電話番号を登録する旨のメッセージが表示されます。

決定を押す

■ 電話番号を2件以上登録しているとき

登録する電話番号の選択画面が表示されます。

登録する電話番号を選択▶決定を押す

■ 電話番号を1件も登録していないとき

ステップ3に進みます。

ステップ3　メールアドレスを登録します

1 登録するメールアドレスを選択する

■ メールアドレスを1件登録しているとき

表示中のメールアドレスを登録する旨のメッセージが表示されます。

■ メールアドレスを2件以上登録しているとき

登録するメールアドレスの選択画面が表示されます。

登録するメールアドレスを選択▶決定を押す

■ メールアドレスを1件も登録していないとき

ステップ4に進みます。

2 決定を押す

ワンタッチダイヤル専用の着信音を設定するかどうかの確認画面が表示されます。

ステップ4　着信音を設定します

電話、メールの順に着信音を設定します。

1 「1設定する」を押す

ワンタッチダイヤル専用の電話着信音を設定するかどうかの確認画面が表示されます。

- 「2設定しない」：ワンタッチダイヤルに登録した旨のメッセージが表示されます。操作8に進みます。
- 電話番号を登録していない場合は、「1設定する」を押すとワンタッチダイヤル専用のメール着信音を設定するかどうかのメッセージが表示されます。操作5に進みます。

次ページへ

電話着信音

2 「1設定する」または「2設定しない」を押す

- 「1設定する」　：着信音の選択画面が表示されます。
- 「2設定しない」：電話着信音を設定しません。操作5に進みます。

3 「1メロディ」～「3名前の読み上げ」のいずれかを押す

- 「1メロディ」、「2着モーション」：それぞれのフォルダを選択する画面が表示されます。
- 「3名前の読み上げ」：ワンタッチダイヤル専用のメール着信音を設定するかどうかの確認画面が表示されます。操作5に進みます。
  名前の読み上げについて→P130

4 フォルダを選択▶決定▶着信音を選択▶決定を押す

ワンタッチダイヤル専用のメール着信音を設定するかどうかの確認画面が表示されます。

- 映像のある動画／ｉモーションを設定すると、着信時には着モーションの映像が表示される旨のメッセージが表示されます。
- メロディまたは動画／ｉモーションの再生方法→P129「携帯電話から鳴る着信音を変えます」操作5

メール着信音

5 「1設定する」または「2設定しない」を押す

- 「1設定する」　：着信音の選択画面が表示されます。
- 「2設定しない」：メール着信音を設定しません。操作8に進みます。

6 「1メロディ」～「3名前の読み上げ」のいずれかを押す

- 「1メロディ」、「2着モーション」：それぞれのフォルダを選択する画面が表示されます。
- 「3名前の読み上げ」：ワンタッチダイヤルに登録した旨のメッセージが表示されます。操作8に進みます。
  名前の読み上げについて→P130

7 フォルダを選択▶決定▶着信音を選択▶決定を押す

ワンタッチダイヤルに登録した旨のメッセージが表示されます。

- 映像のある動画／ｉモーションを設定すると、着信時には着モーションの映像が表示される旨のメッセージが表示されます。
- メロディまたは動画／ｉモーションの再生方法→P129「携帯電話から鳴る着信音を変えます」操作5

8 決定を押す

<ワンタッチダイヤル詳細画面>

- ⏎を押すと待受画面に戻ります。

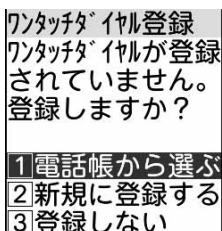
おしらせ

- ワンタッチダイヤルに登録した電話番号やメールアドレスを電話帳から変更した場合は、ワンタッチダイヤルの登録にも反映されます。ただし、電話番号やメールアドレスを登録していない電話帳データをワンタッチダイヤルに登録した後、その電話帳データに電話番号やメールアドレスを追加しても、ワンタッチダイヤルには反映されません。ワンタッチダイヤルに登録し直してください。→P112

新規登録

ワンタッチダイヤルに登録する前に、電話帳に登録します。

- ワンタッチダイヤルから電話帳に新規登録する場合は、電話番号／メールアドレスはそれぞれ1件のみ登録できます。
- ダイヤル発信制限中は、本機能を使用できません。→P160

1 待受画面でワンタッチダイヤルボタン1～3のいずれかを押す

ﾜﾝﾀｯﾁﾀﾞｲﾔﾙ登録
ﾜﾝﾀｯﾁﾀﾞｲﾔﾙが登録されていません。
登録しますか？
1 電話帳から選ぶ
2 新規に登録する
3 登録しない

- すでに登録しているワンタッチダイヤルボタンを押すと、ワンタッチダイヤル詳細画面が表示されます。→P115

次ページへ

2 「2新規に登録する」を押す

3 名前を入力▶決定を押す

フリガナの入力画面が表示されます。

4 フリガナを確認▶決定を押す

電話番号の入力画面が表示されます。

● フリガナは必要に応じて修正します。

5 電話番号を入力▶決定を押す

メールアドレスの入力画面が表示されます。

6 メールアドレスを入力▶決定を押す

グループの選択画面が表示されます。

7 グループを選択▶決定を押す

電話帳Noの入力画面が表示されます。

8 電話帳Noを入力▶決定を押す

ﾜﾝﾀｯﾁﾀﾞｲﾔﾙ1に
携帯花子
を登録しました
決定

ワンタッチダイヤルに登録した旨のメッセージが表示されます。

● 決定 を押すとワンタッチダイヤル詳細画面が表示されます。
→P115

● ━を押すと待受画面に戻ります。

登録相手の変更

1 **待受画面でワンタッチダイヤルボタン1～3のいずれかを押す**

● 登録していないワンタッチダイヤルボタンを押すと、登録するかどうかの確認画面が表示されます。→P112

2 **メニュー▶「1登録相手を変更」を押す**

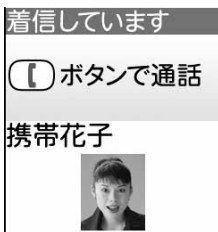
電話帳の検索画面が表示されます。

3 **電話帳を検索▶登録する相手を選択する**

● 以降の操作→P113「ステップ2」以降

電話着信時／メール受信時の表示画像設定

ワンタッチダイヤルに登録した相手に画像を設定すると、電話がかかってきたり、メールを受信したりしたときに設定した画像を表示してお知らせします。

携帯花子

● 着信画像はワンタッチダイヤルに登録した電話帳データのみに設定できます。
● 設定した画像の表示は、相手側が電話番号を通知してきた場合のみ有効です。
● 着信音に映像のある動画／ｉモーションを設定した場合、着信画像は表示されません。

1 **待受画面でワンタッチダイヤルボタン1～3のいずれかを押す**

● 登録していないワンタッチダイヤルボタンを押すと、登録するかどうかの確認画面が表示されます。→P112

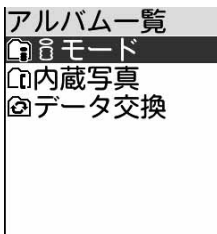
次ページへ

2 (メニュー)▶「4着信画像を設定」を押す

設定する画像を
選んでください
1アルバムから選ぶ
2解除する

3 「1アルバムから選ぶ」または「2解除する」を押す

■ 画像をアルバムから選択して設定するとき

①「1アルバムから選ぶ」を押す

②フォルダを選択▶(決定)▶画像を選択▶(決定)を押す

着信画像を設定した旨のメッセージが表示されます。

- 着信画像に設定できる画像の最大サイズは、横縦（または縦横）が640×480（ドット）までです。

■ 着信画像を解除するとき

「2解除する」を押す

着信画像を解除した旨のメッセージが表示されます。

4 (決定)を押す

ワンタッチダイヤル詳細画面に戻ります。

- 設定した画像を確認する場合は、ワンタッチダイヤル詳細画面で(電話帳)を押します。
- (─)を押すと待受画面に戻ります。

おしらせ

- 設定した画像のサイズなどにより、着信画像が表示されるまでに時間がかかる場合があります。

着信音の設定

ワンタッチダイヤルに登録した相手の電話とメールの着信音を設定します。

電話着信音を設定します

1 **待受画面でワンタッチダイヤルボタン1〜3のいずれかを押す**

ワンタッチダイヤル詳細画面が表示されます。

- 登録していないワンタッチダイヤルボタンを押すと、登録するかどうかの確認画面が表示されます。→P112

2 **メニュー▶「2電話着信音」を押す**

ワンタッチダイヤル専用の着信音を設定するかどうかの確認画面が表示されます。

3 **「1設定する」を押す**

着信音の選択画面が表示されます。

- 「2設定しない」：ワンタッチダイヤル専用の着信音を解除します。操作6に進みます。

4 **「1メロディ」〜「3名前の読み上げ」のいずれかを押す**

- 「1メロディ」、「2着モーション」：それぞれのフォルダを選択する画面が表示されます。
- 「3名前の読み上げ」：ワンタッチダイヤル専用の着信音を設定した旨のメッセージが表示されます。操作6に進みます。
  名前の読み上げについて→P130

5 **フォルダを選択▶決定▶着信音を選択▶決定を押す**

ワンタッチダイヤル専用の着信音を設定した旨のメッセージが表示されます。

- 映像のある動画／ｉモーションを設定すると、着信時には着モーションの映像が表示される旨のメッセージが表示されます。
- メロディまたは動画／ｉモーションの再生方法→P129「携帯電話から鳴る着信音を変えます」操作5

6 **決定を押す**

ワンタッチダイヤル詳細画面に戻ります。

- 終話キーを押すと待受画面に戻ります。

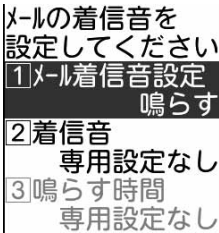
メール着信音を設定します

1 待受画面でワンタッチダイヤルボタン(1)～(3)のいずれかを押す

ワンタッチダイヤル詳細画面が表示されます。

●登録していないワンタッチダイヤルボタンを押すと、登録するかどうかの確認画面が表示されます。→P112

2 (メニュー)▶「3メール着信音」を押す

メールの着信音を
設定してください
1メール着信音設定
鳴らす
2着信音
専用設定なし
3鳴らす時間
専用設定なし

1メール着信音設定
：着信音を鳴らすかどうかを設定します。

2着信音
：着信音を鳴らすときの音を設定します。

3鳴らす時間／鳴らす回数
：着信音に「メロディ」または「着モーション」を設定した場合は、着信音を鳴らす時間を1～30秒の間で設定します。
着信音を「名前の読み上げ」に設定した場合は名前を読み上げる回数を1～7回の間で設定します。

3 「1メール着信音設定」▶「1鳴らす」を押す

操作2の画面に戻ります。

●「2鳴らさない」：着信音を鳴らさないように設定します。操作9に進みます。

4 「2着信音」を押す

ワンタッチダイヤル専用のメール着信音を設定するかどうかの確認画面が表示されます。

5 「1設定する」を押す

着信音の選択画面が表示されます。

●「2設定しない」：ワンタッチダイヤル専用のメール着信音を解除します。操作2の画面に戻ります。操作9に進みます。

6 「1メロディ」～「3名前の読み上げ」のいずれかを押す

●「1メロディ」、「2着モーション」：それぞれのフォルダを選択する画面が表示されます。

●「3名前の読み上げ」：操作2の画面に戻ります。操作8に進みます。
名前の読み上げについて→P130

7 **フォルダを選択▶決定▶着信音を選択▶決定を押す**

操作2の画面に戻ります。

●映像のある動画／ｉモーションを設定すると、着信時には着モーションの映像が表示される旨のメッセージが表示されます。

●メロディまたは動画／ｉモーションの再生方法→P129「携帯電話から鳴る着信音を変えます」操作5

8 **「3鳴らす時間」／「3鳴らす回数」▶鳴らす時間／鳴らす回数を入力▶決定を押す**

操作2の画面に戻ります。

9 **電話帳を押す**

ワンタッチダイヤル専用のメール着信音を設定した旨のメッセージが表示されます。

10 **決定を押す**

ワンタッチダイヤル詳細画面に戻ります。

●（終話）を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

●登録した複数の相手から同時にメールが送られてきた場合は、最後に受信したメールの相手の設定に従って動作します。

登録相手の設定情報確認

ワンタッチダイヤルに登録した相手の設定情報（登録した電話番号、メールアドレス、着信音など）を確認します。

1 **待受画面でワンタッチダイヤルボタン 1 ～ 3 のいずれかを押す**

ワンタッチダイヤル詳細画面が表示されます。

●登録していないワンタッチダイヤルボタンを押すと、登録するかどうかの確認画面が表示されます。→P112

次ページへ

2 メニュー▶「5 設定情報を確認」を押す

ワンタッチダイヤル1情報
名前
携帯花子
電話番号
090XXXXXXXX
メールアドレス
docomo.taro.ΔΔ@docomo.ne.jp

- ：画面をスクロールして設定情報を表示します。
- 決定　：ワンタッチダイヤル詳細画面に戻ります。
- を押すと待受画面に戻ります。

ワンタッチダイヤルの登録解除

1 待受画面でワンタッチダイヤルボタン 1 〜 3 のいずれかを押す

ワンタッチダイヤル詳細画面が表示されます。

- 登録していないワンタッチダイヤルボタンを押すと、登録するかどうかの確認画面が表示されます。→P112

2 メニュー▶「6 ワンタッチダイヤル解除」を押す

ワンタッチダイヤル設定を解除するかどうかの確認画面が表示されます。

3 「1 解除する」を押す

ワンタッチダイヤル設定を解除した旨のメッセージが表示されます。

- 「2 解除しない」：ワンタッチダイヤル設定の解除を中止します。

4 決定 を押す

待受画面に戻ります。

登録件数確認

電話帳の登録件数を確認します

電話帳の登録件数やシークレット属性（→P111）を設定した電話帳データの件数などを表示して確認します。

- 個人情報表示制限中は、本機能を使用できません。→P158
- シークレット属性を設定したFOMA端末電話帳の電話帳データの件数は、シークレットモード中のみ表示されます。→P157

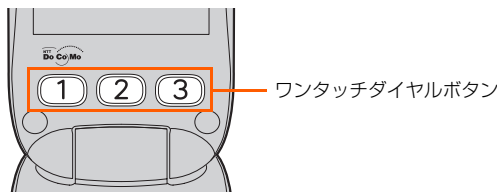
1 待受画面で(メニュー)▶「9詳細な設定」▶「3電話・電話帳の詳細を設定する」▶「1電話帳の登録件数を見る」を押す

電話帳登録件数
本体内
登録数　14件
残り　486件

- (電話帳)：FOMAカード電話帳の登録件数を表示します。
- (決定)：メニュー画面に戻ります。
- (終話)を押すと待受画面に戻ります。

ワンタッチダイヤル

ボタン1つで電話をかけます

よく連絡を取る相手の電話番号をワンタッチダイヤルに登録すると、ワンタッチダイヤルボタン1つで簡単に電話をかけることができます。

- 個人情報表示制限中は、本機能を使用できません。→P158
- ワンタッチダイヤルに登録した電話帳データに電話番号がない場合や、ワンタッチダイヤルを登録していない場合は、ワンタッチダイヤルで電話をかけることはできません。→P112

1 待受画面でワンタッチダイヤルボタン(1)～(3)のいずれかを1秒以上押す

ワンタッチダイヤルボタンに登録している相手に電話がかかります。

お知らせ

- ワンタッチダイヤルボタン(1)～(3)のいずれかを押すと、ワンタッチダイヤル詳細画面が表示されます。(発信)を押して電話をかけることもできます。メールアドレスを登録していれば、(メール)を押してメールを作成することもできます。

短縮ダイヤル設定

短縮ダイヤルを設定します

よく連絡を取る相手の電話帳Noを0～9に登録しておくと、ツータッチダイヤル（→P125）で簡単に電話をかけたり、ツータッチメール（→P278）で簡単にメールを作成したりすることができます。

● ツータッチダイヤルに使用する電話番号や、ツータッチメールに使用するメールアドレスは、電話帳データの1件目に登録してください。
● FOMAカード電話帳の電話帳データには短縮ダイヤルを設定できません。

1 待受画面で電話帳▶電話帳を検索する

● 検索方法→P101

2 短縮ダイヤルに登録する相手を選択▶メニュー▶「9短縮ダイヤル設定」を押す

短縮ダイヤル一覧
0: [未登録]
1: [未登録]
2: [未登録]
3: [未登録]
4: [未登録]
登録先を
選んでください

● FOMA端末電話帳の詳細画面から操作するときはメニュー▶「8短縮ダイヤル設定」を押します。

3 設定する短縮ダイヤルNoを選択▶決定を押す

短縮ダイヤルに
設定しました。
電話帳Noを
変更しました
2:携帯あき子
決定

変更後の電話帳No

● 設定済みの短縮ダイヤルへ上書きすると、上書きされた電話帳データは10～499までの電話帳Noのうち現在使用されていない最も小さい電話帳Noに変更されます。

4 決定を押す

FOMA端末電話帳の検索結果一覧に戻ります。

■ 短縮ダイヤルを解除するとき

①待受画面で電話帳▶電話帳を検索する

②短縮ダイヤルを解除する相手を選択▶メニュー▶「9短縮ダイヤル解除」を押す

短縮ダイヤルを解除した旨のメッセージが表示されます。

- 10〜499までの電話帳Noのうち現在使用されていない最も小さい電話帳Noに変更されます。
- FOMA端末電話帳の詳細画面から操作するときはメニュー▶「8短縮ダイヤル解除」を押します。

③決定を押す

FOMA端末電話帳の検索結果一覧に戻ります。

お知らせ

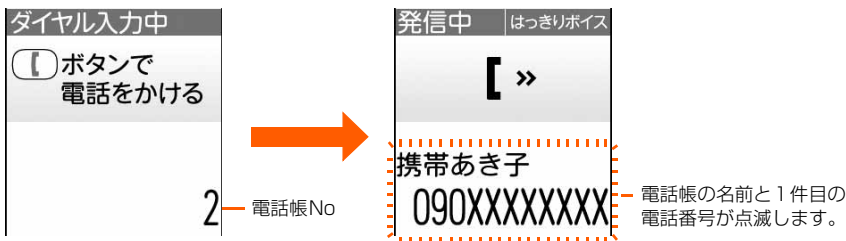
- シークレット属性を設定した電話帳データは、短縮ダイヤル一覧画面では［************］と表示されます。シークレットモード中は名前が表示されます。
- 10〜499までの電話帳Noがすべて使用されている場合は、短縮ダイヤルを解除できません。

ツータッチダイヤル

少ないボタン操作で電話をかけます

短縮ダイヤルを設定した相手に、ダイヤルボタンと［の2つのボタンを押すだけで電話をかけることができます。

- 個人情報表示制限中は、本機能を使用できません。→P158

1 待受画面で電話帳No（0〜9）を入力▶［を押す

お知らせ

- 入力した電話帳Noの電話帳データに電話番号を登録していない場合や、FOMA端末電話帳に電話帳データを登録していない場合は、［を押すと該当するデータがない旨のメッセージが表示されます。決定を押すと待受画面に戻ります。

音／画面／照明設定

音の設定

画面／照明の設定

着信音設定

携帯電話から鳴る着信音を変えます

お買い上げ時　着信音設定：鳴らす 着信音：着信音1

電話がかかってきたときに鳴る音を設定します。

● 個人情報表示制限中は、本機能を使用できません。→P158

1 待受画面で(メニュー)▶「8初めに行う設定」▶「3電話を受けた時の音を設定する」▶「1電話を受けた時の音を選ぶ」を押す

電話を受けた時に
鳴らす音を
設定してください

1着信音設定
鳴らす
2着信音
着信音1

1着信音設定：着信音を鳴らすかどうかを設定します。
2着信音　　：着信音を鳴らすときの音を設定します。

2 「1着信音設定」▶「1鳴らす」を押す

●「2鳴らさない」：着信音を鳴らさないように設定します。操作6に進みます。
●鳴らさないに設定すると、「着信音」は設定できません。

3 「1メロディ」～「3名前の読み上げ」のいずれかを押す

●「1メロディ」、「2着モーション」：それぞれのフォルダを選択する画面が表示されます。
●「3名前の読み上げ」：操作1の画面に戻ります。操作6に進みます。

4 フォルダを選択▶(決定)を押す

5 着信音を選択▶決定を押す

操作1の画面に戻ります。

■ メロディを再生するとき

再生するメロディを選択▶電話帳を押す

- メロディ再生中は次の操作ができます。

  ／ ：音量調節
  ：前後のメロディ再生
  戻る ：停止

- 再生中に決定を押すと再生していた着信音が選択され、操作1の画面に戻ります。

■ 動画／ｉモーションを再生するとき

再生する動画／ｉモーションを選択▶メニューを押す

再生が終了すると動画／ｉモーションの一覧に戻ります。

- 動画／ｉモーション再生中は次の操作ができます。

  決定 ：休止／再生
  ／ ：音量調節
  メニュー ：停止
  ／ ：巻き戻し／早送り

6 電話帳を押す

着信音を設定した旨のメッセージが表示されます。

7 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

● を押すと待受画面に戻ります。

おしらせ

● 音声のない動画／ｉモーション、または情報の着信音設定（→P367）が「設定不可」になっている動画／ｉモーションは、着信音の着モーションに設定できません。

● 発信者番号が通知された場合は、次の優先順位で鳴ります。
①ワンタッチダイヤルの電話着信音設定
②電話帳のグループ専用の電話着信音設定
③本機能の設定

● 相手が発信者番号を通知してこなかった場合、電話の着信音は非通知理由別着信設定（→P164）の設定に従います。

「名前の読み上げ」について

着信音に「名前の読み上げ」を設定した場合は、電話番号やメールアドレスを電話帳に登録している相手から電話がかかってきたり、メールを受信したりすると、専用メロディが鳴り、「XXXさんから電話です」または「XXXさんからメールです」(XXXは電話帳に登録しているフリガナ)と音声でお知らせします。

- フリガナを電話帳に登録していない相手から着信またはメールを受信した場合は、登録している名前が読み上げられます。
- 発信者番号が通知されない電話の着信、電話帳に登録していない相手からの電話の着信またはメールの受信、64Kデータ通信の着信では、専用メロディのみが鳴ります。
- 音声読み上げの動作を「読み上げなし」に設定しても、名前が読み上げられます。
- 名前が読み上げられるときの音量は、着信音量(→P70)に従います。声質と速さは音声読み上げの設定(→P181)に従います。

メロディ一覧

お買い上げ時は次のメロディが「内蔵メロディ」フォルダに登録されています。

分　類	表示名	作曲者
固定着信音	着信音1～9、穏やか着信音1～2 でか着信音	――――
メロディ	ひょっこりひょうたん島	宇野　誠一郎
	世界の車窓から	溝口　肇
	ムーンリバー	ヘンリー・マンシーニ
	ジュピター	GUSTAV HOLST
	アメージンググレース	アメリカ民謡
	エンターテイナー	SCOTT JOPLIN
効果音／ボイス	ドアチャイム 鳩時計 子猫の甘え声 ドラマの電話音 オフィスの電話音 電話だよ 目覚まし1	船の汽笛 目覚ましニワトリ ヒグラシのなき声 現代の電話音 近未来の電話音 メールだよ 目覚まし2
	自転車ベル 牛の挨拶 黒電話の音 記憶の電話音 異国の電話音 起きて下さい 予定の時刻です	

許諾番号:T-06B0037

バイブレータ設定
着信を振動でお知らせします

お買い上げ時　振動させない

電話着信時に振動（バイブレータ）でお知らせします。

●本機能を使用して机の上などに置いたままにすると、振動で落下するおそれがあります。
●通話中に着信があった場合は振動しません。

1 待受画面で(メニュー)▶「8初めに行う設定」▶「4電話を受けた時の振動を選ぶ」を押す

電話の振動を
選んでください
1ﾊﾟﾀｰﾝAで振動
2ﾊﾟﾀｰﾝBで振動
3ﾊﾟﾀｰﾝCで振動
4振動させない

1パターンAで振動：0.5秒振動→0.5秒停止→0.5秒振動→1.5秒停止の繰り返しで振動させます。
2パターンBで振動：1 秒振動→ 2 秒停止の繰り返しで振動させます。
3パターンCで振動：0.25秒振動→0.25秒停止の繰り返しで振動させます。
4振動させない　：振動させません。
●(メール)(iモード)を押してパターンを選択すると、選択されているパターンで約60秒間振動します。

2 「1パターンAで振動」～「4振動させない」のいずれかを押す

振動パターンを設定した旨のメッセージが表示されます。

3 (決定)を押す

メニュー画面に戻ります。
●(終話)を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

●本機能で電話のバイブレータを設定すると、待受画面に V が表示されます。また、同時に着信音量を消音に設定すると SV が表示されます。

ボタン確認音

ボタンを押したときの音を鳴らすかどうかを設定します

お買い上げ時　鳴らす

ボタンを押したときの音や電池残量の確認音を設定します。

● 本機能を「鳴らさない」に設定していても、通話中にダイヤルボタンを押した場合の、受話口からのプッシュ音（DTMF）は鳴ります。

1 待受画面で(メニュー)▶「8初めに行う設定」▶「6ボタンを押した時の音を設定する」を押す

ボタンを
押した時に音を
鳴らしますか？

1鳴らす
2鳴らさない

2 「1鳴らす」または「2鳴らさない」を押す

ボタン確認音を設定した旨のメッセージが表示されます。

3 (決定)を押す

メニュー画面に戻ります。

● (⌒)を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● ボタン確認音と音声読み上げ機能の動作について→P184

充電確認音

充電時の音を鳴らすかどうかを設定します

お買い上げ時　知らせる

充電の開始／終了時に鳴る充電確認音を設定します。

● マナーモード中、公共モード（ドライブモード）中、通話中、通信中は充電確認音は鳴りません。

1 **待受画面で(メニュー)▶「9詳細な設定」▶「4音を設定する」▶「1充電開始と完了時の音を設定する」を押す**

充電の開始と
完了を音で
知らせますか？

1知らせる
2知らせない

2 **「1知らせる」または「2知らせない」を押す**

充電確認音を設定／解除した旨のメッセージが表示されます。

3 **(決定)を押す**

メニュー画面に戻ります。

● (━)を押すと待受画面に戻ります。

通話品質アラーム

通話が途切れそうなときのアラームを設定します

お買い上げ時　低音で鳴らす

電話の通話状態が悪く、途中で通話が途切れるおそれのある場合、直前にアラームを鳴らしてお知らせします。

● 急に通話状態が悪くなった場合は、アラームが鳴らずに通話が切れてしまう場合があります。

次ページへ

1 待受画面で(メニュー)▶「9詳細な設定」▶「4音を設定する」▶「4通話状態が悪い時に音で知らせる」を押す

通話状態が悪い時のアラーム音を選んでください
1高音で鳴らす
2低音で鳴らす
3鳴らさない

2 「1高音で鳴らす」～「3鳴らさない」のいずれかを押す

アラーム音を設定した旨のメッセージが表示されます。

3 (決定)を押す

メニュー画面に戻ります。

● (終話)を押すと待受画面に戻ります。

スピーカー／イヤホン切替

イヤホンだけから着信音を鳴らします

お買い上げ時 イヤホンマイク＋スピーカー

平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などを接続したときに、着信音をイヤホンマイクとスピーカーの両方から鳴らすか、イヤホンマイクのみから鳴らすかを設定します。

1 待受画面で(メニュー)▶「9詳細な設定」▶「4音を設定する」▶「3イヤホンマイク利用時の切替を設定する」を押す

ｲﾔﾎﾝﾏｲｸ使用中に着信音の鳴る所を選んでください
1ｲﾔﾎﾝﾏｲｸ+ｽﾋﾟｰｶｰ
2ｲﾔﾎﾝﾏｲｸのみ

1イヤホンマイク＋スピーカー：
着信音をイヤホンマイクとスピーカーの両方から鳴らします。

2イヤホンマイクのみ：
着信音をイヤホンマイクからのみ鳴らします。

2 「1イヤホンマイク＋スピーカー」または「2イヤホンマイクのみ」を押す

イヤホンマイク切替を設定した旨のメッセージが表示されます。

3 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

● ─ を押すと待受画面に戻ります。

●「イヤホンマイクのみ」に設定した場合でも、着信音の開始から約20秒経過するとスピーカーからも着信音が鳴ります。

マナーモード

電話から鳴る音を消します

マナーモードは、着信を振動で知らせたり、ボタンを押したときの確認音を消したりして、周囲の迷惑にならないようにする機能です。

● マナーモード中に動画／ｉモーションやメロディの再生を行うと、音声の再生を行うかどうかの確認画面が表示されます。

● マナーモード中は、ｉモードメールやメッセージR/Fを表示したときに添付のメロディを自動演奏するように設定していても、メロディは再生されません。ただし、再生するメロディを選択して決定を押した場合は、再生を行うかどうかの確認画面が表示されます。

→P236、P320

● マナーモード中でも、音声メール録音時の録音確認音は鳴ります。

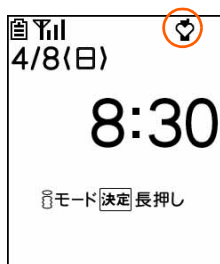
マナーモードを設定すると

マナーモード中は次のように動作します。

項　目	設定状態	説　明
バイブレータ	パターンAで振動	待受中の着信を振動で知らせます。ただし、通話中に着信があった場合は振動しません。
ボタン確認音	鳴らさない	ボタンを押したときの確認音と電池残量の確認音は鳴りません。
着信音量	消音	着信音は鳴りません。
電池残量警告音	鳴らさない	電池が切れそうになっても待受中の警告音は鳴りません。
目覚まし音	消音	指定した時刻に目覚まし音は鳴らず、振動と画面表示で知らせます。
予定の通知音声	消音	指定した時刻に通知音声は鳴らず、振動と画面表示で知らせます。
オートスピーカーホン	動作しない	着信があっても自動応答しません。
充電確認音	知らせない	充電を開始したときや完了したときに音で知らせません。
音声読み上げ	読み上げなし	ボタンを押しても読み上げません。

マナーモードの設定

1 待受画面で[#改行マナー]を1秒以上押す

バイブレータが振動して、マナーモードを設定した旨のメッセージが表示されます。

2 [決定]を押す

待受画面に戻ります。

- マナーモード中は、待受画面に が表示されます。FOMA端末を折り畳んでいるときは、背面ディスプレイに が表示されます。

マナーモードの解除

1 マナーモード中に待受画面で[#改行マナー]を1秒以上押す

マナーモードを解除した旨のメッセージが表示されます。

2 [決定]を押す

待受画面に戻ります。

待受画面設定

待受画面の表示を変えます

お買い上げ時 画像を表示（雲）

待受画面に表示されている画像を別の画像に変更したり、カレンダー表示に切り替えたりすることができます。

- お買い上げ時に登録されている待受画像→P462
- 個人情報表示制限中は、画像を選択することができません。→P158
- 画像によっては、待受画面に設定しても、ダウンロードしたときに使用したFOMAカードを取り付けていない場合や、個人情報表示制限中は、表示されないものがあります。その場合は、お買い上げ時の画像が表示されます。→P462

1 待受画面で（メニュー）▶「8初めに行う設定」▶「2画面の設定を行う」▶「1待受画面に画像を設定する」を押す

待受画面の設定を
選んでください
1画像を表示
2カレンダーを表示
3表示なし

1画像を表示：待受画面に表示される画像を設定します。
2カレンダーを表示：待受画面にカレンダーが表示されるように設定します。
3表示なし：画像やカレンダーを表示しないように設定します。

2 「1画像を表示」を押す

アルバム一覧
モード
内蔵写真
データ交換

■ 待受画面にカレンダーを表示するように設定するとき

「2カレンダーを表示」を押す

カレンダーを設定するかどうかの確認画面が表示されます。
「1設定する」を押すと、カレンダーを設定した旨のメッセージが表示されます。操作5に進みます。
「2設定しない」を押すと、設定を中止し、操作1の画面に戻ります。

■ 待受画面に画像やカレンダーを表示しないように設定するとき

「3表示なし」を押す

画像またはカレンダーを解除するかどうかの確認画面が表示されます。
「1解除する」を押すと、待受表示を解除した旨のメッセージが表示されます。操作5に進みます。
「2解除しない」を押すと、設定を中止し、操作1の画面に戻ります。

3 フォルダを選択▶（決定）▶画像を選択▶（決定）を押す

待受画像を
設定しますか？
1設定する
2設定しない

- 画像を選択して（メニュー）を押すと画像を確認できます。
- （電話帳）を押すと画像表示とリスト表示が切り替わります。

4 「1設定する」を押す

画像を設定した旨のメッセージが表示されます。

- 「2設定しない」：待受画面の設定を中止し、操作1の画面に戻ります。

次ページへ

5 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

● ⌒を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● アニメーションを待受画面に設定すると、待受画面に戻ったとき、待受画面で戻るまたは⌒を押したとき、FOMA端末を開いたときに再生します。再生中は次の操作ができます。
戻る ：一時停止／再生
⌒ ：停止／先頭から再生
● 待受画面に設定できる画像の最大サイズは、横縦（または縦横）が1728×2304（ドット）までです。ただし、画像の形式によっては、最大サイズは、横縦（または縦横）が640×480（ドット）までの場合があります。
● 横縦のサイズが240×320（ドット）を超える画像は、縮小して待受画面に設定されます。
● GIFアニメーションに再生回数が設定されていない場合、または再生回数が16回以上に設定されている場合は、最大16回まで繰り返して再生します。Flash画像は、約30秒間再生してから停止します。
● 待受画像を変更していても、オールロック中はお買い上げ時の画像が表示されます。→P155
● 設定した画像がアルバムから削除されると、待受画面にはお買い上げ時の画像が表示されます。
● カレンダーを設定すると、次のような待受画面が表示されます。

4/8(日)8:30

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

・カレンダーには、登録した予定が表示されます。→P390
・カレンダーを設定している場合でも、新着情報や伝言メモがあるときは新着情報や伝言メモが優先され、カレンダーは表示されません。
・ｉチャネルのテロップが表示されているときには、カレンダーが小さく表示されます。

背面表示設定

電話がかかってきたときの背面ディスプレイの表示を設定します

お買い上げ時　表示する

電話がかかってきたときに、背面ディスプレイに相手の電話番号や名前を表示するかどうかを設定します。

● 本機能を「表示する」に設定しても、FOMA端末を開いているときなど背面ディスプレイの表示が消えている場合は、何も表示されません。

1 待受画面で(メニュー)▶「9詳細な設定」▶「3電話・電話帳の詳細を設定する」▶「7背面の画面表示を設定する」を押す

着信時に背面に
相手の情報を
表示しますか？

1表示する
2表示しない

2 「1表示する」または「2表示しない」を押す

背面の画面表示を設定／解除した旨のメッセージが表示されます。

3 (決定)を押す

メニュー画面に戻ります。

● (電源キー)を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

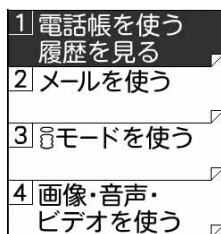
● 本機能を「表示しない」に設定した場合、電話がかかってくると、背面ディスプレイには「電話です」などの状態のみが表示されます。

メニュー形式選択

メニューの形式を選びます

お買い上げ時　メニュー形式：リスト形式

メニューのデザインを変更します。

● メニューのデザインは次の3種類から選択できます。

リスト形式

タイル形式（アイコン）

タイル形式（文字）

次ページへ

●リスト形式とタイル形式では、メニューから選択できる機能は同じですが、表示されるメニュー項目名は次のように異なります。

リスト形式	タイル形式		リスト形式	タイル形式	
1 電話帳を使う　履歴を見る	電話帳･履歴	1 電話帳 履歴	2 メールを使う	メール	2 メール
3 iモードを使う	iモード	3 iモード	4 画像・音声・ビデオを使う	画像･音声	4 画像 音声
5 目覚まし・予定を登録する	目覚まし 予定表	5 目覚まし 予定表	6 電卓を使う	電卓	6 電卓
7 歩数計を使う	歩数計	7 歩数計	8 初めに行う設定	基本設定	8 基本 設定
9 詳細な設定	詳細設定	9 詳細 設定	0 自分の電話番号を見る	メニューなし※	

※ 待受画面で(メニュー)▶(0)を押すとリスト形式と同じ機能を選択できます。

1 待受画面で(メニュー)▶「8 初めに行う設定」▶「2 画面の設定を行う」▶「2 メニューと配色を設定する」▶「1 メニュー形式」を押す

メニュー形式を
選んでください
1 リスト形式
2 タイル形式
（アイコン）
3 タイル形式
（文字）

1 リスト形式：リスト形式のメニューにします。
2 タイル形式（アイコン）：タイル形式（アイコン）のメニューにします。
3 タイル形式（文字）：タイル形式（文字）のメニューにします。

2 「1 リスト形式」～「3 タイル形式（文字）」のいずれかを押す

3 (電話帳)を押す

メニュー形式・画面の配色を設定した旨のメッセージが表示されます。

4 (決定)を押す

メニュー画面に戻ります。

●(―)を押すと待受画面に戻ります。

画面配色設定

画面のカラー配色を変更します

お買い上げ時　画面の配色：青

画面の配色を変更します。

● カラー配色は3種類から選択できます。

1 待受画面で(メニュー)▶「8初めに行う設定」▶「2画面の設定を行う」▶「2メニューと配色を設定する」▶「2画面の配色」を押す

画面の配色を
選んでください
1青
2赤
3白黒反転

1青　　　：画面の配色を青系統の色にします。
2赤　　　：画面の配色を赤系統の色にします。
3白黒反転：画面の配色を白黒反転にします。
● (メール)(iアプリ)を押して配色の種類を選択すると、選択されている配色で画面が表示されます。

2 「1青」～「3白黒反転」のいずれかを押す

3 (電話帳)を押す

メニュー形式・画面の配色を設定した旨のメッセージが表示されます。

4 (決定)を押す

メニュー画面に戻ります。

● (終話)を押すと待受画面に戻ります。

照明設定

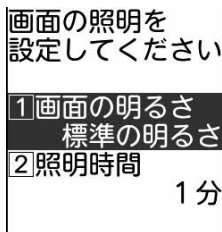
ディスプレイの照明を設定します

お買い上げ時　画面の明るさ：標準の明るさ　照明時間：1分

ディスプレイの照明の明るさや点灯時間を設定します。

次ページへ

1 待受画面で(メニュー)▶「8初めに行う設定」▶「2画面の設定を行う」▶「3画面の明るさを設定する」を押す

画面の照明を
設定してください
1画面の明るさ
標準の明るさ
2照明時間
1分

1画面の明るさ：ディスプレイ点灯時の明るさを設定します。

2照明時間　：照明の点灯時間を設定します。

2 「1画面の明るさ」または「2照明時間」を押す

■ 画面の明るさを設定するとき

「1画面の明るさ」▶「1暗くする」～「3明るくする」のいずれかを押す

- 「1暗くする」　：標準より暗くします。
- 「2標準の明るさ」：標準の明るさにします。
- 「3明るくする」　：標準より明るくします。
- (メール)(アプリ)を押して明るさを選択すると、画面の照明は選択された明るさに変わります。

■ 照明時間を設定するとき

「2照明時間」▶「1 10秒」～「5 5分」のいずれかを押す

- 「1 10秒」：点灯時間を10秒にします。
- 「2 15秒」：点灯時間を15秒にします。
- 「3 30秒」：点灯時間を30秒にします。
- 「4 1分」　：点灯時間を1分にします。
- 「5 5分」　：点灯時間を5分にします。

3 設定した後に(電話帳)を押す

照明を設定した旨のメッセージが表示されます。

4 (決定)を押す

メニュー画面に戻ります。

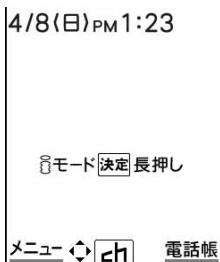
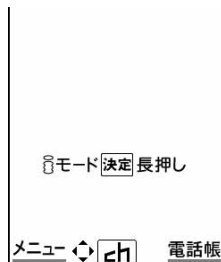
● (終話)を押すと待受画面に戻ります。

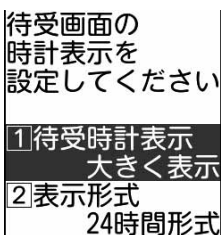
時計表示設定

時計の表示を設定します

お買い上げ時　待受時計表示：大きく表示　表示形式：24時間形式

待受画面の時計表示の有無や大きさ、待受画面と背面ディスプレイの時計の表示形式（24時間／12時間）を設定します。

<大きく表示（24時間形式）>

<小さく表示（12時間形式）>

<表示しない>

1 待受画面で（メニュー）▶「8初めに行う設定」▶「9時計を設定する」▶「2待受画面に時計を表示する」を押す

1待受時計表示：時計を表示するかどうかと表示の大きさを設定します。

2表示形式　：時計の表示形式を24時間形式と12時間形式のどちらで表示するかを設定します。

2 「1待受時計表示」または「2表示形式」を押す

■ 待受時計表示を設定するとき

「1待受時計表示」▶「1大きく表示」～「3表示しない」のいずれかを押す

- 1大きく表示：文字の大きい時計を表示します。
- 2小さく表示：文字の小さい時計を表示します。
- 3表示しない：時計を表示しません。

■ 表示形式を設定するとき

「2表示形式」▶「124時間形式」または「212時間形式」を押す

3 設定した後に（電話帳）を押す

時計表示を設定した旨のメッセージが表示されます。

次ページへ

4 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

● ⌒を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● 表示形式を12時間形式に設定した場合、待受画面と背面ディスプレイのみ反映されます。

● 背面ディスプレイの時計表示は切り替えられます。→P26

あんしん設定

暗証番号について

携帯電話の操作や機能を制限します

発着信や送受信を制限します

その他の「あんしん設定」について

FOMA端末で利用する暗証番号について

FOMA端末を便利にお使いいただくための各種機能には、暗証番号が必要な場合があります。暗証番号には、各種端末操作用の端末暗証番号の他、ネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号、iモードパスワードなどがあります。用途ごとに上手に使い分けて、FOMA端末を活用してください。

各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」「電話番号の一部」「所在地番号や部屋番号」「1111」「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万一暗証番号が他人に知られ悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- ドコモからお客様の暗証番号をうかがうことは一切ございません。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、ご契約者本人であることが確認できる書類（運転免許証など）やFOMA端末、FOMAカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。
  詳細は取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

端末暗証番号

FOMA端末には、設定や解除の際に端末暗証番号の入力が必要な機能があります。お買い上げ時の端末暗証番号は「0000」に設定されていますが、4～8桁の数字で自由に変更できます。→P148

- 端末暗証番号入力画面で誤った端末暗証番号を連続5回入力すると、電源が自動的に切れます。誤った端末暗証番号を入力した累積回数は、正しい端末暗証番号を入力したり、新たに端末暗証番号入力画面を表示したりするとクリアされます。

ネットワーク暗証番号

ドコモeサイトでの各種手続き時や各種ネットワークサービスご利用時にお使いいただく数字4桁の番号で、ご契約時に任意の番号を設定いただきますが、お客様ご自身で番号を変更できます。

パソコン向け総合サポートサイト「My DoCoMo」の「DoCoMo ID／パスワード」をお持ちの方は、パソコンから新しいネットワーク暗証番号への変更手続きができます。

なお、iモードからは、ドコモeサイト内の「各種手続き」からお客様ご自身で変更できます。

- 「My DoCoMo」「ドコモeサイト」については、取扱説明書裏面をご覧ください。

ｉモードパスワード

マイメニューの登録／削除、メッセージサービス、ｉモード有料サービスのお申し込み／解約などを行う際には、4桁の「ｉモードパスワード」が必要です。ご契約時は「0000」に設定されていますが、4桁の数字で自由に変更できます。→P205
この他にも各IP（情報サービス提供者）が独自にパスワードを設定している場合があります。

PIN1コード／PIN2コード

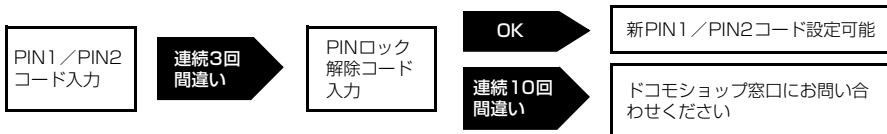
FOMAカードには、PIN1コード、PIN2コードという2つの暗証番号を設定できます。ご契約時はどちらも「0000」に設定されていますが、4～8桁の数字で自由に変更できます。
→P150
PIN1コードは、第三者によるFOMA端末の無断使用を防ぐため、FOMAカードを取り付けるたび、またはFOMA端末の電源を入れるたびに使用者を確認するために入力する番号（コード）です。PIN1コードを入力することにより、発着信および端末操作ができます。
PIN2コードは、ユーザ証明書利用時や発行申請、積算通話料金リセットを行うときなどに使用する暗証番号です。

●別のFOMA端末で利用していたFOMAカードを差し替えてお使いになる場合は、以前に設定されたPIN1コード／PIN2コードをご利用ください。設定を変更されていない場合は、「0000」となります。

PINロック解除コード

PINロック解除コードは、PIN1コード、PIN2コードがロックされた状態を解除するための数字8桁の番号です。お客様ご自身では変更することができません。

●PINロック解除コードの入力を連続10回間違えると、FOMAカードがロックされます。

PIN1／PIN2コード入力 → 連続3回間違い → PINロック解除コード入力 → OK → 新PIN1／PIN2コード設定可能
PINロック解除コード入力 → 連続10回間違い → ドコモショップ窓口にお問い合わせください

お知らせ

●いたずら防止のため、端末暗証番号、ｉモードパスワード、PIN1コード、PIN2コードはご契約後にお好きな番号に変更してください。

端末暗証番号を変更します

お買い上げ時　0000

お買い上げ時の端末暗証番号や、現在設定している端末暗証番号を変更します。

● 入力画面や変更画面で入力した端末暗証番号は「*」で表示されます。

---

1 **待受画面で(メニュー)▶「9詳細な設定」▶「9操作の制限をする」▶「6暗証番号を変更する」を押す**

端末暗証番号入力画面が表示されます。

---

2 **現在の4～8桁の端末暗証番号を入力▶(決定)を押す**

---

3 **新しい4～8桁の端末暗証番号を入力▶(決定)を押す**

確認のため新しい
暗証番号を再度
入力してください

---

4 **操作3で入力した4～8桁の端末暗証番号をもう一度入力▶(決定)を押す**

端末暗証番号を変更した旨のメッセージが表示されます。

---

5 **(決定)を押す**

メニュー画面に戻ります。

● (終話)を押すと待受画面に戻ります。

PINコードを設定します

PIN1コードは、FOMA端末を不正に使用されないための4～8桁の暗証番号です。
PIN2コードは、ユーザ証明書利用時や発行申請を行うときなどに使用する4～8桁の暗証番号です。

- PINコードの設定はFOMAカードに記録されます。FOMAカードを別のFOMA端末に差し替えてお使いになる場合は、現在の設定のままご利用になれます。
- PIN1コード、PIN2コードには、4～8桁の数字を設定します。

PIN1コード使用

ご契約時　使用しない

FOMA端末の電源を入れたときにPIN1コードを入力するように設定します。

- 入力した端末暗証番号またはPIN1コードは「*」で表示されます。

1 待受画面で(メニュー)▶「9詳細な設定」▶「9操作の制限をする」▶「7FOMAカードのPINコードを設定する」を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 4～8桁の端末暗証番号を入力▶(決定)を押す

FOMAカードの
PINコードを
設定してください

1 PIN1ｺｰﾄﾞ変更
2 PIN2ｺｰﾄﾞ変更
3 PIN1ｺｰﾄﾞ使用

3 「3PIN1コード使用」を押す

PIN1コードを使用するかどうかの確認画面が表示されます。

4 「1使用する」または「2使用しない」を押す

PIN1コードを
入力してください
残り 3回
入力できます

次ページへ

5 PIN1コードを入力▶決定を押す

PIN1コードを使用する／しない旨のメッセージが表示されます。ただし、現在の設定を変更しない場合、PIN1コードの入力画面は表示されません。

●ご契約時のPIN1コードは「0000」に設定されています。

6 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

●(終話)を押すと待受画面に戻ります。

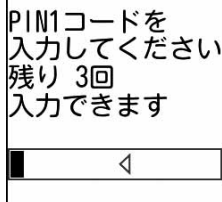
PIN1コード使用を設定すると

FOMA端末の電源を入れると表示されるPIN1コード入力画面で正しいPIN1コードを入力しないと、電話の発着信や各種通信機能の操作ができません。

●入力画面で入力したPIN1コードは「*」で表示されます。

1 FOMA端末の電源が入っていない状態で(終話)を2秒以上押す

PIN1コードを
入力してください
残り 3回
入力できます

電源が入ります。

2 PIN1コードを入力▶決定を押す

PIN1コードが認証された旨のメッセージが表示され、待受画面が表示されます。

お知らせ

●PIN1コードの入力を連続3回間違えると、PIN1コードが認証できなかった旨のメッセージが表示され、決定を押すとPIN1コードがロックされます。決定を押すとPINロック解除コードの入力画面が表示されます。→P152

●通知時刻自動電源ON設定により自動的に電源が入ると、PIN1コード入力画面よりも優先して目覚ましや予定の通知が動作します。(終話)を押すと、PIN1コードの入力画面が表示されます。

PIN1コード／PIN2コード変更

ご契約時 PIN1コード／PIN2コード：0000

●PIN1コードを変更するときは、あらかじめPIN1コードを使用するように設定する必要があります。→P149

●PIN2コードは、SSL通信でのFirstPassのユーザ証明書利用時や発行申請を行うときなどに使用します。→P245

●PIN1コード、PIN2コードの操作方法は同様です。
●入力画面や変更画面で入力した端末暗証番号またはPIN1コード、PIN2コードは「*」で表示されます。

〈例〉PIN1コードを変更するとき

1 **待受画面で(メニュー)▶「9詳細な設定」▶「9操作の制限をする」▶「7FOMAカードのPINコードを設定する」を押す**

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 **4～8桁の端末暗証番号を入力▶(決定)を押す**

FOMAカードの
PINコードを
設定してください

1 PIN1コード変更
2 PIN2コード変更
3 PIN1コード使用

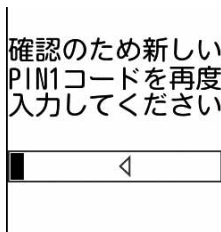
3 **「1PIN1コード変更」を押す**

現在の
PIN1コードを
入力してください
残り 3回
入力できます

4 **現在のPIN1コードを入力▶(決定)を押す**

次ページへ

5 新しい4～8桁のPIN1コードを入力▶決定を押す

確認のため新しい
PIN1コードを再度
入力してください

6 操作5で入力した4～8桁のPIN1コードをもう一度入力▶決定を押す

PIN1コードを変更した旨のメッセージが表示されます。

●操作5で入力した新しいPIN1コードと一致しない場合、PIN1コードが一致しない旨のメッセージが表示されます。決定を押して操作5からやり直してください。

7 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

●現在の PIN1 コードの入力に失敗すると、認証できなかった旨のメッセージが表示されます。決定を押して操作4からやり直してください。

●ーを押すと待受画面に戻ります。

おしらせ

●現在のPIN1コード／PIN2コードの入力を連続３回間違えると、PIN1コード／PIN2コードが認証できなかった旨のメッセージが表示され、決定を押すとPIN1コード／PIN2コードがロックされます。決定を押すとPINロック解除コード入力画面が表示されます。→P152

●PIN2コードを連続3回間違えてFOMA端末がロックされた場合でも、電話の発着信やメールの送受信などはできますが、PIN1コードを連続3回間違えてFOMA端末がロックされた場合には、それらの操作はできなくなります。

PINロックを解除します

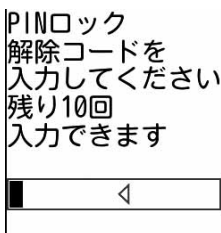
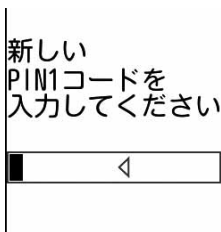
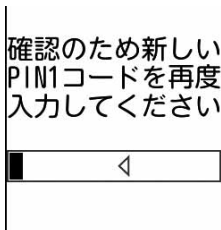
PINコード入力画面でPINコードの入力を連続3回間違えると、PINコードがロックされます。その場合は、ロックを解除してから新しいPINコードを設定します。

●PINロック解除コードはメモに控えるなどしてお忘れにならないようご注意ください。PINロック解除コードを忘れた場合や完全にロックされた場合は、ご契約者本人であることが確認できる書類（運転免許証など）やFOMA端末、FOMAカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。

●PIN1コード、PIN2コードの操作方法は同様です。

●入力画面で入力したPINロック解除コード、PIN1コード、PIN2コードは「*」で表示されます。

〈例〉PIN1コードのロックを解除するとき

1 PIN1コードがロックされた旨の確認画面で決定を押す

2 8桁のPINロック解除コードを入力▶決定を押す

3 新しい4～8桁のPIN1コードを入力▶決定を押す

4 操作3で入力した4～8桁のPIN1コードをもう一度入力▶決定を押す

PINロック解除コードが認証された旨のメッセージが表示されます。

●操作3で入力した新しいPIN1コードと一致しない場合、新しいPIN1コードが一致しない旨のメッセージが表示されます。決定を押して操作3からやり直してください。

次ページへ

5 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

- PIN ロック解除コードの入力に失敗すると、認証できなかった旨のメッセージが表示されます。決定を押して操作2からやり直してください。
- ⌐を押すと待受画面に戻ります。

各種ロック機能について

FOMA端末を他人に不正に使用されたり、個人情報や電話帳データを見られたりしないように、さまざまなロック機能があります。目的に合わせてご利用ください。

項　目	説　明	参照先
オールロック	各機能のメニュー操作などをできないようにして、他人が不正に使用するのを防げます。	P155
セルフモード	電話の発着信やｉモードの利用、メールの送受信などの通信機能を利用できないようにします。	P156
シークレットモード	電話帳データや予定表にシークレット属性を設定すると、そのデータは端末暗証番号の入力を必要とするシークレットモード中のみ表示されます。	P157
履歴表示制限	リダイヤルや着信履歴、伝言メモの表示を制限します。	P158
個人情報表示制限	電話帳やメールなどの個人情報の表示や改ざんをできないようにします。	P158
ダイヤル発信制限	ダイヤルボタンを押して電話をかけられないようにします。	P160

- シークレットモード以外のロック機能の設定は、電源を切っても保持されます。
- ロック機能を設定しても、緊急通報（110番、119番、118番）はできます。
- 複数のロック機能を同時に設定できます。たとえば、ダイヤルボタンによる電話発信と、電話帳や個人情報などの表示を同時に制限するときは、ダイヤル発信制限と個人情報表示制限をそれぞれ「制限する」に設定します。

オールロック

他の人が使用できないようにします

オールロック中は、各機能のメニュー操作などをできないようにして、他人が不正に使用するのを防げます。オールロック中は、電話をかけたり、受けたりすることもできなくなります。

オールロック中に緊急通報（110番、119番、118番）を行うには、待受画面で緊急通報番号を入力して［発信］を押します。

※端末暗証番号入力画面で入力した緊急通報番号は「*」で表示されます。

オールロックの設定

1 待受画面で［メニュー］▶「9詳細な設定」▶「9操作の制限をする」▶「1全ての操作を制限する」を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 4〜8桁の端末暗証番号を入力▶［決定］を押す

全ての操作を制限した旨のメッセージが表示されます。

3 ［決定］を押す

4/8(日)
8:30
全ての操作を
制限しています

待受画面に戻ります。

- オールロック中は、FOMA端末を折り畳んでいるときに［ ］または［+］［−］を押すと、背面ディスプレイに「オールロック中」と表示されます。

オールロックの解除

1 待受画面で4〜8桁の端末暗証番号を入力▶［決定］を押す

全ての操作の制限が解除された旨のメッセージが表示されます。

2 ［決定］を押す

待受画面に戻ります。

あんしん設定 オールロック

次ページへ

- オールロック中の着信は拒否されて相手には話中音が流れますが、着信履歴には記録されます。本機能を解除すると待受画面に が表示されます。
- オールロック中にメールやメッセージR/Fを受信しても、受信結果画面は表示されません。
- オールロック中の待受画面には、画像を変更していたり、カレンダー表示していても、お買い上げ時の画像が表示されます。
- オールロック中は、目覚ましや予定の通知は動作しません。

セルフモード

発信や着信ができないようにします

お買い上げ時 解除する

セルフモード中は、電話の発着信、ｉモードの利用やメールの送受信など、通信を必要とするすべての機能が使えなくなります。また、パソコンを接続したデータ送受信も利用できません。

1 待受画面で(メニュー)▶「9詳細な設定」▶「9操作の制限をする」▶「2セルフモードを設定する」を押す

セルフモードを設定するかどうかの確認画面が表示されます。

2 「1設定する」を押す

セルフモードを設定した旨のメッセージが表示されます。

- 「2解除する」：セルフモードを解除します。

3 (決定)を押す

メニュー画面に戻ります。

- ( )を押すと待受画面に戻ります。
- 本機能を使用中は、ディスプレイ上部に SELF が表示されます。FOMA端末を折り畳んでいるときには、背面ディスプレイに SELF が表示されます。

お知らせ

- 本機能を使用中は、電話をかけてきた相手には電波が届かないか電源が入っていない旨のガイダンスが流れます。なお、留守番電話サービス、転送でんわサービスは利用できます。
- 本機能設定中に受信したｉモードメールやメッセージR/Fは、ｉモードセンターに保管されます。受信する場合は本機能を解除してからｉモード問合せを行ってください。
- 本機能設定中に緊急通報（110番、119番、118番）を行うと、本機能は解除されます。

シークレットモード

シークレット設定されている情報を表示します

お買い上げ時　解除する

本機能を設定すると、シークレット属性を設定している電話帳データや予定表を表示できます。また、シークレット属性を設定したり、解除したりする場合にもシークレットモードを設定する必要があります。

シークレットモードの設定

1 待受画面で(メニュー)▶「9詳細な設定」▶「9操作の制限をする」▶「3シークレットモードに設定する」を押す

シークレットモードを設定するかどうかの確認画面が表示されます。

2 「1設定する」を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

● 「2解除する」：シークレットモードを解除します。

3 4～8桁の端末暗証番号を入力▶(決定)を押す

シークレットモードを設定した旨のメッセージが表示されます。

4 (決定)を押す

メニュー画面に戻ります。

● (—)を押すと待受画面に戻ります。

● 本機能を使用中は、待受画面に🔑が表示されます。

シークレットモードの解除

1 シークレットモード中に待受画面で(—)を押す

シークレットモードが解除されます。

お知らせ

● 電話帳データにシークレット属性を設定する→P111

● 予定にシークレット属性を設定する→P396

履歴表示制限

リダイヤル・着信履歴・伝言メモの表示を制限します

お買い上げ時　制限しない

リダイヤルや着信履歴、伝言メモの表示を規制して、他人に発着信情報を知られないようにします。

1 待受画面で(メニュー)▶「9詳細な設定」▶「9操作の制限をする」▶「4履歴の表示を制限する」を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 4～8桁の端末暗証番号を入力▶(決定)を押す

着信履歴／リダイヤル／伝言メモの表示を制限するかどうかの確認画面が表示されます。

3 「1制限する」を押す

履歴の表示を制限した旨のメッセージが表示されます。

● 「2制限しない」：履歴の表示の制限を解除します。

4 (決定)を押す

メニュー画面に戻ります。

● (—)を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● 本機能を「制限する」に設定しても、発着信情報はリダイヤル／着信履歴に記録されます。制限を解除すると、制限中に記録された発着信情報を表示することができます。

個人情報表示制限

電話帳やメールなどを表示しないようにします

お買い上げ時　制限しない

個人情報の表示や改ざんを防げます。

● 登録外着信拒否中は、本機能を使用できません。→P168

●本機能を使用すると、設定前のリダイヤルと着信履歴は削除されますが、設定後にかけた電話はリダイヤルに、かかってきた電話は着信履歴に記録されます。また、リダイヤルと着信履歴からは電話をかけることができます。

1 待受画面で(メニュー)▶「9詳細な設定」▶「9操作の制限をする」▶「5個人の情報表示を制限する」を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 4～8桁の端末暗証番号を入力▶(決定)を押す

3 「1制限する」を押す

個人の情報表示の制限を設定した旨のメッセージが表示されます。

●「2制限しない」：個人情報の表示の制限を解除します。

4 (決定)を押す

メニュー画面に戻ります。

●(—)を押すと待受画面に戻ります。

●本機能を使用中は、待受画面に が表示されます。

個人情報の表示を制限すると

●次の機能（すべて、または一部の設定）が利用できなくなります。メニューからそれらの機能を選択すると、個人の情報表示が制限されている旨のメッセージが表示され実行できません。サブメニューの場合は、実行できない機能の文字がグレーなどで薄く表示され、その機能は選択できません。

- 個人情報
- 電話帳
- 登録外着信拒否
- 非通知理由別着信設定
- ｉモード
- ｉモード問合せ
- ｉチャネル
- 音声
- メロディ
- 目覚まし
- 伝言メモ
- 着信音設定
- 電話帳指定着信拒否／許可
- ボイスダイヤル登録
- メール／SMS／メッセージR/F※
- ユーザ証明書操作
- 画像（アルバムの利用含む）
- ビデオ
- 通知時刻自動電源ON設定
- 予定表（待受カレンダーに表示される予定を含む）
- 各種設定リセット
- 歩数計
- スキャン機能
- データ一括削除
- ソフトウェア更新
- パソコンを接続したデータ送受信

次ページへ

※ 自動受信はできますが、受信中および受信結果の画面表示や着信音の鳴動などの受信時の動作はしません。また、メールの設定もできません。

● 本機能を使用中は、電話帳に登録している相手から電話がかかってきても、相手の名前は表示されず、電話番号のみ表示されます。

● 本機能の対象となっている画像やメロディを待受画面や着信音などに設定していると、本機能を使用中は設定がお買い上げ時の状態になります。本機能を解除すると、設定は元の状態に戻ります。ただし、「内蔵写真」「内蔵メロディ」「内蔵ビデオ」フォルダ内に登録されているデータを設定している場合は、本機能を使用してもお買い上げ時の状態には戻りません。

ダイヤル発信制限

ダイヤル発信を禁止します

お買い上げ時　制限しない

ダイヤルボタンを押して電話をかけられない状態にします。電話帳に登録された相手のみに電話をかけることができます。

● 本機能を使用すると、設定前のリダイヤルと着信履歴は削除されますが、設定後に電話帳などからかけた電話はリダイヤルに、かかってきた電話は着信履歴に記録されます。リダイヤルからは電話をかけることができます。

1 待受画面で[メニュー]▶「[9]詳細な設定」▶「[9]操作の制限をする」▶「[8]ダイヤル入力での発信を制限する」を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 4～8桁の端末暗証番号を入力▶[決定]を押す

ダイヤル入力での発信を制限するかどうかの確認画面が表示されます。

3 「[1]制限する」を押す

ダイヤル入力での発信の制限を設定した旨のメッセージが表示されます。

● 「[2]制限しない」:ダイヤル入力での発信の制限を解除します。

4 [決定]を押す

メニュー画面に戻ります。

● [終話]を押すと待受画面に戻ります。

● 本機能を使用中は、待受画面にが表示されます。

● 本機能を使用中に個人情報表示制限中にすると（→P158）、待受画面のはに切り替わります。

あんしん設定　ダイヤル発信制限

ダイヤル入力での発信を制限すると

● 次の操作はできません。
- 着信履歴からの発信
- 電話帳の修正、登録、削除
- 個人情報の登録、修正
- ｉモードメール／SMSの送信※
- Phone To、Mail To機能
- パソコンを接続した電話帳データの送受信
- ダイヤル入力での発信やネットワークサービスの利用

※ 電話帳を利用しての送信、または電話帳に登録された相手からのメールに返信はできます。

電話帳指定着信拒否／許可

指定した電話番号からの電話だけを受けません／受けます

FOMA端末電話帳から相手を選んで着信拒否／許可一覧に登録し、その相手の電話番号に対して着信拒否／許可を設定します。拒否を設定すると、登録した相手からの電話はつながりません。また、許可を設定すると、登録した相手からの電話のみつながります。相手が電話番号を通知してきた場合のみ有効です。

● あらかじめ電話帳の登録が必要です。→P88
● 番号通知お願いサービス（→P425）や非通知理由別着信設定の着信動作の設定（→P164）を併用することをおすすめします。
● 個人情報表示制限中は、本機能を使用できません。→P158

着信拒否／許可相手の登録

着信を拒否／許可する相手を電話帳から指定して登録します。
● 拒否／許可する相手は、それぞれ最大20件登録できます。
● FOMAカード電話帳から指定することはできません。

〈例〉着信を拒否する相手を登録するとき

1 **待受画面で［メニュー］▶「9 詳細な設定」▶「3 電話・電話帳の詳細を設定する」**

2 **「2 着信を拒否する相手を指定する」を押す**

端末暗証番号入力画面が表示されます。
● 「3 着信を許可する相手を指定する」：着信を許可する相手を指定します。

次ページへ

3 4～8桁の端末暗証番号を入力▶決定を押す

登録した相手を着信拒否に設定しますか？ 1設定する 2解除する 3相手を登録する

1設定する：着信拒否を設定します。
2解除する：着信拒否を解除します。
3相手を登録する：着信を拒否する相手を着信拒否登録一覧に登録します。

4 「3相手を登録する」を押す

着信拒否登録一覧
1: [未登録]
2: [未登録]
3: [未登録]
4: [未登録]
5: [未登録]
6: [未登録]
7: [未登録]

● ：前後のページを表示できます。

5 登録先の番号を選択▶決定を押す

電話帳の検索画面が表示されます。

● 登録済みの相手を変更する：相手を選択▶メニュー▶「1編集する」を押します。
● 登録済みの相手を削除する：相手を選択▶メニュー▶「2削除する」▶「1削除する」を押します。操作7に進みます。

6 登録する相手を検索して選択▶決定を押す

着信を拒否する相手に登録した旨のメッセージが表示されます。

● 検索方法→P101

7 決定を押す

登録一覧に戻ります。

● 戻るを押すと続けて着信拒否／許可の設定ができます。→P163 「着信拒否／許可の設定」操作4～5
登録を行っただけでは、着信拒否／許可は設定されません。必ず着信拒否／許可の設定を行ってください。
● を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- シークレット属性を設定した電話帳データは、登録一覧では［************］と表示されます。また、着信があっても着信拒否／許可の動作は行われません。シークレットモード中は名前が表示され、着信拒否／許可の動作が行われます。
- 登録した相手の電話帳データを修正／削除した場合は、着信を拒否／許可に登録した相手のデータも修正／削除されます。

着信拒否／許可の設定

お買い上げ時　解除する

電話帳指定着信拒否または電話帳指定着信許可を設定します。

- 電話帳指定着信拒否と電話帳指定着信許可を同時に設定できません。

〈例〉着信拒否を設定するとき

1 **待受画面で［メニュー］▶「9 詳細な設定」▶「3 電話・電話帳の詳細を設定する」**

2 **「2 着信を拒否する相手を指定する」を押す**

端末暗証番号入力画面が表示されます。

- 「3 着信を許可する相手を指定する」：着信を許可する相手を指定します。

3 **4～8桁の端末暗証番号を入力▶［決定］を押す**

登録した相手を
着信拒否に
設定しますか？

1 設定する
2 解除する
3 相手を登録する

1 設定する　　　：着信拒否を設定します。
2 解除する　　　：着信拒否を解除します。
3 相手を登録する：着信を拒否する相手を着信拒否登録一覧に登録します。

4 **「1 設定する」を押す**

着信拒否を設定した旨のメッセージが表示されます。

- 着信を拒否する相手を登録していない場合は、相手が登録されていない旨のメッセージが表示されます。［決定］を押して相手を登録してください。→P162「着信拒否／許可相手の登録」操作4～7

5 **［決定］を押す**

メニュー画面に戻ります。

- ［終話］を押すと待受画面に戻ります。

次ページへ

お知らせ

- 電話帳指定着信拒否を設定中に拒否した電話番号の着信があった場合、または電話帳指定着信許可を設定中に許可していない電話番号の着信があった場合は、着信音は鳴らずに電話が切れ、相手には話中音が流れます。ただし、その場合でも着信履歴には記録されます。
  留守番電話サービス、転送でんわサービスの呼出時間を0秒に設定していた場合は、各サービスが動作して、着信履歴には記録されません。
- iモードメールやSMSは、本機能の設定に関わらず受信されます。

非通知理由別着信設定

発信者番号のわからない電話を受けません

お買い上げ時 ［非通知設定、通知不可能、公衆電話］設定を解除

発信者番号が通知されない着信があった場合、通知されない理由（発信者番号非通知理由→P63）ごとに着信動作を設定します。

- 個人情報表示制限中は、本機能を使用できません。→P158

1 待受画面で（メニュー）▶「9詳細な設定」▶「3電話・電話帳の詳細を設定する」▶「5発番通知のない着信を設定する」を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 4～8桁の端末暗証番号を入力▶（決定）を押す

発番通知されない
着信の種類を
選んでください

1非通知設定
2通知不可能
3公衆電話

1非通知設定 ：非通知設定の着信動作を設定します。
2通知不可能 ：通知不可能の着信動作を設定します。
3公衆電話 ：公衆電話などの着信動作を設定します。

3 「1非通知設定」～「3公衆電話」のいずれかを押す

選んだ
発番通知なし
着信の動作を
設定してください
1着信音を選択
2着信音量を消音
3着信を拒否
4設定を解除

1着信音を選択　：発信者番号の非通知理由ごとに着信音を設定します。
2着信音量を消音：着信音を鳴らさないようにします。
3着信を拒否　　：着信を拒否します。
4設定を解除　　：着信動作の設定を解除します。

4 「1着信音を選択」～「4設定を解除」のいずれかを押す

●「2着信音量を消音」～「4設定を解除」:操作6に進みます。

5 「1メロディ」または「2着モーション」▶フォルダを選択▶決定▶着信音を選択▶決定を押す

着信音を設定した旨のメッセージが表示されます。

●メロディまたは動画／ｉモーションの再生方法→P129「携帯電話から鳴る着信音を変えます」操作5

6 決定を押す

非通知理由の選択画面に戻ります。

●着信動作を設定した項目には「＊」が表示されます。
●（終話）を押すと待受画面に戻ります。

おしらせ

●本機能を「着信を拒否」に設定中に発信者番号が通知されない着信があった場合は、着信音は鳴らずに電話が切れ、相手には話中音が流れます。ただし、その場合でも着信履歴には記録されます。
　留守番電話サービス、転送でんわサービスの呼出時間を0秒に設定していた場合は、各サービスが動作して、着信履歴には記録されません。
●本機能と番号通知お願いサービス（→P425）を同時に設定した場合は、番号通知お願いサービスが優先して動作します。
●ｉモードメールやSMSは、本機能の設定に関わらず受信されます。
●発信者番号が通知されない電話がかかってくると、着信音設定より本機能で設定した着信音が優先して鳴ります。→P128

無音着信時間設定

電話帳未登録の相手の着信音を無音にします

お買い上げ時　無音着信動作：設定しない

登録していない相手や電話番号を通知してこない相手から電話がかかってきたとき、設定した時間が経過した後に着信音などの呼出動作を開始するように設定します。「ワン切り」などの迷惑電話に効果的です。

●本機能を使用中は、次のように動作します。
- 待受中または通話中に電話がかかってくると、無音着信時間内はディスプレイの表示のみで着信を知らせます。無音着信時間が経過すると、待受中の場合は通常の呼出動作を開始します。通話中の場合は「ププ…ププ…」という通話中着信音（→P64）が受話口から聞こえます。
- 呼出時間が無音着信時間内の不在着信は、着信履歴に表示されません。また、新着情報と ━ も表示されません。ただし、表示の切り替えにより、無音着信時間内の不在着信を表示できます。表示方法については「着信履歴を利用します」のお知らせをご覧ください。→P67
- 通常の着信履歴と無音着信時間内の不在着信は、合わせて最大30件記録されます。

●登録外着信拒否中は、本機能を使用できません。

1 待受画面で(メニュー)▶「9詳細な設定」▶「3電話・電話帳の詳細を設定する」▶「9無音着信時間を設定する」を押す

無音着信時間を
設定してください
1無音着信動作
設定しない
2無音着信時間
4秒間

1無音着信動作：本機能を有効にするかどうかを設定します。

2無音着信時間：着信してから呼出動作を開始するまでの時間を設定します。

2 「1無音着信動作」を押す

無音着信動作を設定するかどうかの確認画面が表示されます。

3 「1設定する」を押す

無音着信時間を
設定してください
(1〜99秒)

4秒間

●「2設定しない」：無音着信動作を設定しません。操作5に進みます。

4 無音着信時間を入力▶決定を押す

無音着信時間の設定画面に戻ります。

● 1〜99秒の間で設定します。

5 電話帳を押す

無音着信時間を設定した旨のメッセージが表示されます。

6 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

● ⌒を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● 電話帳に登録されている相手から電話がかかってきても、次のような場合は無音着信時間内の不在着信として記録され、着信履歴に表示されません。
  - 個人情報表示制限中（→P158）で、相手が無音着信時間内で電話を切ったとき
  - シークレットモード中でない場合で、シークレット属性が設定されている相手が無音着信時間内で電話を切ったとき
  - 発信者番号を非通知で電話をかけてきた相手が、無音着信時間内で電話を切ったとき
● 留守番電話サービスや転送でんわサービス、伝言メモを設定しているときは、電話がかかってくると、本機能の設定に関わらず各機能が動作します。
● 公共モード中は、本機能は動作しません。
● 電話帳指定着信拒否／許可（→P161）、非通知理由別着信設定（→P164）を設定中は、着信拒否の対象に設定している相手から電話がかかってくると、各機能が優先して動作します。
● 本機能とオート着信機能設定（→P416）を同時に設定している場合、無音着信時間をオート着信機能設定の応答時間以上に設定すると、オート着信機能設定は動作しません。
● 本機能とオートスピーカーホン機能（→P65）を同時に設定している場合、無音着信時間を4秒以上に設定すると、オートスピーカーホン機能は動作しません。

登録外着信拒否

電話帳未登録の相手からの電話を受けません

お買い上げ時　許可する

電話帳に登録していない相手から電話がかかってきたときに着信を拒否します。

- 番号通知お願いサービスを併用することをおすすめします。→P425
- 個人情報表示制限中（→P158）や無音着信時間設定中（→P166）は、本機能を使用できません。

1 待受画面で[メニュー]▶「9詳細な設定」▶「3電話・電話帳の詳細を設定する」▶「4電話帳登録外の着信を拒否する」を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 4～8桁の端末暗証番号を入力▶[決定]を押す

電話帳に
登録されていない
相手からの着信を
受けますか？

1拒否する
2許可する

3 「1拒否する」を押す

電話帳登録外の着信を拒否するように設定した旨のメッセージが表示されます。

4 [決定]を押す

メニュー画面に戻ります。

- [終話]を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- 本機能を「拒否する」に設定中に電話帳に登録されていない電話番号（公衆電話・通知不可能含む）からの着信があった場合や、電話帳に登録されている相手が発信者番号を通知せずに電話をかけてきた場合、またはシークレット属性を設定した電話帳データからシークレットモード中でないときに着信があった場合は、着信音は鳴らずに電話が切れ、相手には話中音が流れます。ただし、その場合でも着信履歴には記録されます。
- 留守番電話サービス、転送でんわサービスの呼出時間を0秒に設定していた場合は、各サービスが動作して、着信履歴には記録されません。
- ｉモードメールやSMSは、本機能の設定に関わらず受信します。

その他の「あんしん設定」について

暗証番号や各種ロック機能以外にも、次のような「あんしん設定」を利用できます。

目　的	機能・サービスの内容	参照先
いたずら電話や繰り返しかかってくる間違い電話などの「迷惑電話」を受けません。	迷惑電話ストップサービス	P425
発信者番号を通知してこない電話を受けません。	番号通知お願いサービス	P425
電子認証サービス「FirstPass」を利用して、安全で信頼性の高いデータ通信を行います（FirstPass対応のサイトに限ります）。	FirstPass	P196 P247
パケット通信を使ってFOMA端末のソフトウェアを最新の状態にします。	ソフトウェア更新	P505
障害を引き起こす可能性のあるデータを削除したり、アプリケーションの起動を中止したりして、FOMA端末をウイルスから守ります。	スキャン機能	P513
大量に届くメールの中から、必要なメールのみを受信します。	メール選択受信	P295
災害時にｉモードを利用して、安否情報を登録／確認します。	「ｉモード災害用伝言板」サービス	『ご利用ガイドブック（ｉモード＜FOMA＞編）』をご覧ください。
メールアドレスを変更／確認します。	アドレス変更／確認	
URLが記載されたメールを受信しません。	迷惑メール対策（URL付きメール拒否設定）	
指定したドメインからのメールのみを受信／拒否します。	迷惑メール対策（受信／拒否設定）	
ｉモードどうしのメールのみ受信／拒否します。		
指定したアドレスからのメールを受信／拒否します。		
すべてのSMSまたはSMSの種類を指定して受信を拒否します。	迷惑メール対策（SMS拒否設定）	
1日に1台のｉモード端末（mova端末含む）から送信される200通目以降のｉモードメールを拒否します。	ｉモードメール大量送信者からのメール受信制限	
一方的に送られてくる広告メールを受信しません。	未承諾広告※メール拒否	
受信するメールサイズを制限します。	メールサイズ制限	
メール機能の設定状況を確認します。	設定状況確認	
メール機能を一時的に停止します。	メール機能停止	

- 見知らぬ着信履歴には、おかけ直ししないようご注意ください。とくに、相手にお客様の電話番号を通知する設定にしてのおかけ直しは、無用なトラブルの原因となります。
- 迷惑電話を防止する機能を同時に設定した場合の優先順位は次のとおりです。
  ①迷惑電話ストップサービス
  ②電話帳指定着信拒否／許可または非通知理由別設定、無音着信時間設定、登録外着信拒否

音声呼出し／読み上げ機能

ボイスダイヤル登録

音声で呼び出す電話帳の単語を登録します

FOMA端末電話帳の電話帳データを音声で呼び出せるように呼出辞書データとして単語を登録することができます。

- 最大100件登録できます。
- 個人情報表示制限中は、本機能を使用できません。→P158
- 1つの電話帳データに対して複数の単語を登録することはできません。
- 複数の電話帳データに対して同じ単語を登録することはできません。

1 待受画面で(メニュー)▶「8初めに行う設定」▶「8音声呼出しを登録する」▶「1音声で呼出す電話帳を登録する」を押す

電話帳呼出し用の単語登録状況	
登録数	2件
残り	98件

登録した単語の件数と、登録できる件数が表示されます。

2 (決定)を押す

新規登録
携帯あき子
携帯一郎

単語を登録した場合は、登録した電話帳データの一覧が表示されます。

3 「新規登録」を選択▶(決定)を押す

電話帳の検索画面が表示されます。

4 登録する相手を検索して選択▶(決定)を押す

携帯花子
読みを
3文字以上で
登録してください
ｹｲﾀｲﾊﾅｺ ◁

- 検索方法→P101
- 登録済みの相手を選択した場合、同じ電話帳が登録されている旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すと電話帳データの一覧に戻ります。

5 単語の読みを入力▶決定を押す

音声呼出し用の単語を登録した旨のメッセージが表示されます。

- 半角カタカナで3～10文字入力できます。
  読みの中に次の文字を含む単語は登録できません。
  - 1文字目が「ﾝ」「ｰ」「ｧ」「ｨ」「ｩ」「ｪ」「ｫ」「ｬ」「ｭ」「ｮ」「ｯ」「ﾞ」「ﾟ」
  - 認識しにくい文字
    〈例〉「ｯｰ」「ﾝﾝ」「ﾝｰ」「ﾝｯ」「ｰｰ」「ｰｯ」など
  - 空白
- あらかじめ電話帳に登録したフリガナの先頭10文字が単語として入力されており、そのまま登録することもできます。
- 登録済みの単語の読みを入力した場合、読みがすでに登録されている旨のメッセージが表示されます。決定を押すと単語の読みの入力画面に戻ります。
- 登録した単語の読みが短かったり、似た読みの単語をすでに登録していたりすると認識されにくいことがあります。正しく認識されなかった場合は、単語の読みを変更してください。

6 決定を押す

電話帳データの一覧に戻ります。

- ━を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- ボイスダイヤルの単語に登録した電話帳データを削除した場合は、ボイスダイヤルに登録した単語も削除されます。
- ボイスダイヤルの単語に登録した電話帳データのフリガナを修正しても、ボイスダイヤルの単語の読みは変更されません。

登録したボイスダイヤルの確認

1 登録した電話帳データの一覧を表示する

- 操作方法→P172「音声で呼び出す電話帳の単語を登録します」操作1～2

2 確認する相手を選択▶決定を押す

登録内容
呼出す相手
携帯花子
読み
ｹｲﾀｲﾊﾅｺ

- 決定を押すと電話帳データの一覧に戻ります。
- ━を押すと待受画面に戻ります。

登録した内容を修正します

1 **登録した電話帳データの一覧を表示する**

● 操作方法→P172「音声で呼び出す電話帳の単語を登録します」操作1～2

2 **修正する相手を選択▶電話帳を押す**

読みの入力画面が表示されます。

● 以降の操作→P173「音声で呼び出す電話帳の単語を登録します」操作5以降

登録した内容を削除します

1 **登録した電話帳データの一覧を表示する**

● 操作方法→P172「音声で呼び出す電話帳の単語を登録します」操作1～2

2 **削除する相手を選択▶メニュー▶「2削除する」を押す**

選択した単語を削除するかどうかの確認画面が表示されます。

3 **「1削除する」を押す**

音声呼出し用の単語を削除した旨のメッセージが表示されます。

● 「2削除しない」：削除を中止します。

4 **決定を押す**

電話帳データの一覧に戻ります。

● ⌒を押すと待受画面に戻ります。

ボイスダイヤル

音声で電話帳を呼び出します

音声でFOMA端末電話帳を呼び出して、電話をかけたりメールを作成したりできます。

● あらかじめ電話帳をボイスダイヤルに登録しておく必要があります。→P172

● 周囲の状況や発声のしかたにより、音声が認識されない場合があります。→P179

● 個人情報表示制限中は、本機能を使用できません。→P158

1 待受画面で(電話帳)を1秒以上押す

決定ボタンを押し
受話口を耳にあて
ピーという
発信音の後に
呼出す相手を
お話しください

2 (決定)▶受話口を耳にあて、「ピー」と鳴ったらボイスダイヤルに登録した単語の読み（→P173 操作5）を話す

電話帳　No.010
携帯花子
ｹｲﾀｲﾊﾅｺ
会社
090XXXXXXXX

単語の読みに該当する電話帳が表示されます。

- 目的の電話帳が表示されなかった場合は、(─)を押して操作1からやり直してください。
- 該当する電話帳がない場合や、4秒以内に話さなかった場合は、認識できなかった旨のメッセージが表示されます。(決定)を押して操作1からやり直してください。

3 ( )を押す

1件目の電話番号に電話がかかります。

- 2件目以降の電話番号に電話をかける場合は、( )( )を押して電話番号を選択▶( )を押します。

■ iモードメールを作成するとき

(メニュー)▶(2)を押す

宛先が入力されてメール作成画面が表示されます。

- iモードメール作成・送信方法→P267、P272
- 2件目以降のメールアドレスを宛先に設定する場合は、( )( )を押してメールアドレスを選択▶(メニュー)▶(2)を押します。

ボイスメニュー登録

音声で呼び出す機能の単語を登録します

各機能を音声で呼び出せるように呼出辞書データとして登録することができます。

- 最大50件登録できます。

次ページへ

●お買い上げ時は次の機能が呼出辞書データとして登録されています。

呼び出す機能名	単語の読み
電話を受けた時の音を選ぶ	チャクシンオン
電話を受けた時の音量を調節する	オンリョウ
伝言メモを再生する	デンゴン
受信したメールを見る	ジュシンメール
例文を使ってメールを作る	レイブン
届いているメール･メッセージを受信する	トイアワセ
電話帳に登録する	デンワチョウ
予定表を使う	ヨテイヒョウ
画像を見る	ガゾウ
音声を聞く・ビデオを見る	ビデオ
目覚ましを使う	メザマシ
電卓を使う	デンタク
発信者番号通知を設定する	バンゴウツウチ
自分の電話番号を見る	デンワバンゴウ
電池残量を確認する	デンチザンリョウ

●メニュー画面で表示される機能のみ登録できます。
●1つの機能に対して複数の単語を登録することはできません。
●複数の機能に対して同じ単語を登録することはできません。

1 待受画面で(メニュー)▶「8初めに行う設定」▶「8音声呼出しを登録する」▶「2音声で呼出す機能を登録する」を押す

機能呼出し用の
単語登録状況

登録数　15件
残り　35件

登録されている単語の件数と、登録できる件数が表示されます。

2 (決定)を押す

新規登録
電話を受けた時の音を選ぶ
電話を受けた時の音量を調節する
伝言メモを再生する

登録されている機能の一覧が表示されます。

3 「新規登録」を選択▶決定を押す

登録可能な機能の一覧が表示されます。

4 登録する機能を選択▶決定を押す

<「メールを作る」を選択した場合>

- 操作3の画面でメニュー項目の右下に が付いている機能を選択して決定を押すと、次の階層が表示されます。
- 登録済みの機能を選択した場合、同じ機能が登録されている旨のメッセージが表示されます。決定を押すと機能の一覧に戻ります。

5 単語の読みを入力▶決定を押す

音声呼出し用の単語を登録した旨のメッセージが表示されます。

- 半角カタカナで3～10文字入力できます。
  読みの中に次の文字を含む単語は登録できません。
  - 1文字目が「ﾝ」「ｰ」「ｧ」「ｨ」「ｩ」「ｪ」「ｫ」「ｬ」「ｭ」「ｮ」「ｯ」「ﾞ」「ﾟ」
  - 認識しにくい文字
    〈例〉「ｯｰ」「ﾝﾝ」「ﾝｰ」「ﾝｯ」「ｰｰ」「ｰｯ」など
  - 空白
- 登録済みの単語の読みを入力した場合、読みがすでに登録されている旨のメッセージが表示されます。決定を押すと単語の読みの入力画面に戻ります。
- 登録した単語の読みが短かったり、似た読みの単語をすでに登録していたりすると認識されにくいことがあります。正しく認識されなかった場合は、単語の読みを変更してください。

6 決定を押す

機能の一覧に戻ります。

- を押すと待受画面に戻ります。

登録したボイスメニューの確認

1 登録した機能の一覧を表示する

●操作方法→P176「音声で呼び出す機能の単語を登録します」操作1～2

2 確認する機能を選択▶決定を押す

登録内容
呼出す機能
メールを作る

読み
メール

●決定を押すと機能の一覧に戻ります。
●━を押すと待受画面に戻ります。

登録した内容を修正します

1 登録した機能の一覧を表示する

●操作方法→P176「音声で呼び出す機能の単語を登録します」操作1～2

2 修正する機能を選択▶電話帳を押す

読みの入力画面が表示されます。

●以降の操作→P177「音声で呼び出す機能の単語を登録します」操作5以降

登録した内容を削除します

1 登録した機能の一覧を表示する

●操作方法→P176「音声で呼び出す機能の単語を登録します」操作1～2

2 削除する機能を選択▶メニュー▶「2削除する」を押す

選択した単語を削除するかどうかの確認画面が表示されます。

3 「1削除する」を押す

音声呼出し用の単語を削除した旨のメッセージが表示されます。

●「2削除しない」：削除を中止します。

4 決定を押す

機能の一覧に戻ります。

●━を押すと待受画面に戻ります。

ボイスメニュー

音声で機能を呼び出します

音声で機能を呼び出して、操作することができます。

● お買い上げ時に登録されている機能のほかに、自分で機能を登録することもできます。→P175

● 音声で機能を呼び出すときには、次のようなことにご注意ください。
- 周囲の雑音が大きい所では、音声が認識されない場合があります。なるべく静かな所で呼び出しを行ってください。
- なるべくはっきりとお話しください。
- 発声の前後に咳払いや呼吸音、その他雑音など、登録した単語の読みとは無関係な声や音は出さないでください。
- 発声時にボタンを押したり、こすったりしないでください。
- 登録した単語の読みを発声するときは、単語を切らずにお話しください。途中で切ると、単語がそこで終わったと認識されてしまう場合があります。
- 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を使用する場合、マイク部分に口を近づけてお話しください。

● 次の機能は、音声で呼び出すことができません。
- セルフモード中に使用できない機能→P156
- 個人情報表示制限中に使用できない機能→P159
- ダイヤル発信制限中に使用できない機能→P161
- 履歴表示制限中に使用できない機能→P158

1 待受画面で(メニュー)を1秒以上押す

決定ボタンを押し
受話口を耳にあて
ピーという
発信音の後に
呼出す機能を
お話しください

2 (決定)▶受話口を耳にあて、「ピー」と鳴ったらボイスメニューに登録した単語の読み（→P177 操作5）を話す

単語の読みに該当する機能が表示されます。

● 目的の機能が表示されなかった場合は、(―)を押して操作1からやり直してください。

● 該当するデータがない場合や、4秒以内に話さなかった場合は、認識できなかった旨のメッセージが表示されます。(決定)を押して操作1からやり直してください。

機能の説明やメールの内容などを音声で読み上げます

メニュー画面やサイト画面などの音声読み上げに対応した画面を表示したときに、機能や項目の説明などを自動または手動で読み上げを行うように設定することができます。

●音声読み上げの動作を「自動で読み上げ」または「手動で読み上げ」に設定すると、読み上げに対応した画面にが表示されます。読み上げ中はが点滅します。

●マナーモード中は読み上げません。

●次のような項目が音声読み上げに対応しています。

■ 主な読み上げ項目

- 充電開始時と完了時のお知らせ※1
- 電池残量1になったとき、電池残量がなくなるときのお知らせ※2
- メニュー画面やサブメニューの各機能説明※3
- 各機能の設定画面や編集画面などの説明※4
- サイト表示中の内容※4
- メールやメッセージR/Fの内容
- 選択した絵文字や記号、定型文※5
- 入力した文字、数字※6

※1 音声読み上げの動作（手動／自動）の設定に関わらず、自動で読み上げます（公共モード中を除く）。

※2 待受画面で音声読み上げの動作（手動／自動）の設定に関わらず、自動で読み上げます（公共モード中を除く）。

※3 各種ロック機能を設定して実行できないメニューは選択できないため読み上げません。

※4 一部読み上げない場合があります。

※5 入力時に読み上げる内容については、「絵文字入力変換・読み上げ一覧」（→P467）、「記号・かな・英数字読み上げ一覧」（→P474）をご覧ください。

※6 暗証番号やパスワード入力画面などで入力した文字、数字は読み上げません。
音声読み上げの動作を「手動で読み上げ」に設定している場合は、文字入力モードを切り替えた際の入力モードは読み上げません。

■ 待受画面での読み上げ項目

次の項目は、音声読み上げの動作を「自動で読み上げ」に設定しても自動では読み上げません。なお、[読み上げ]以外のボタンを同時に押さないようにしてください。読み上げない場合があります。

端末を開いて[読み上げ]を押したとき

- 日付・曜日・時刻（日付・時刻が設定されていない場合は、時計が設定されていない旨をお知らせ）
- 新着情報
- お知らせ情報
- 圏外のお知らせ
- オールロックや公共モードなどの制限機能使用中のお知らせ
- 歩数計の歩数
- 電池残量のお知らせ
- 充電中のお知らせ
- ｉチャネルのテロップ※

※ｉチャネルのテロップが表示されているときに[読み上げ]を1秒以上押すと読み上げます。

端末を折り畳んで[読み上げ]を1秒以上押したとき

- 時刻（日付・時刻を設定していない場合は、時計が設定されていない旨をお知らせ）
- 新着情報
- 公共モード中のお知らせ
- 歩数計の歩数

音声読み上げの設定

お買い上げ時　動作：なし　声質：女声　速さ：2　音量：4

音声読み上げの動作や声質、速さを変更できます。また、読み上げの音量を調節できます。

● 本機能で設定した「声質」「速さ」は、電話の着信時、メールの受信時に鳴る着信音を「名前の読み上げ」に設定した場合に読み上げられる「声質」「速さ」にも反映されます。

1 待受画面で[メニュー]▶「8初めに行う設定」▶「7音声読み上げを使う」▶「1音声読み上げを設定する」を押す

● マナーモード中は、マナーモードを解除するかどうかの確認画面が表示されます。本機能を設定するときは「1解除する」を押します。

1動作：読み上げの動作（自動／手動）を設定します。また、読み上げが行われないように設定を解除します。

2声質：読み上げるときの声質（女声／男声）を設定します。

3速さ：読み上げるときの速さを、1（低速）～5（高速）の5段階で設定します。

4音量：読み上げるときの音量を、音量1（最小）～音量6（最大）の6段階で調節します。

次ページへ

2 「1動作」を押す

読み上げる動作を選んでください
1自動で読み上げ
2手動で読み上げ
3読み上げなし

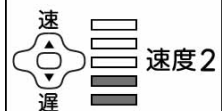
1自動で読み上げ：読み上げに対応した画面で自動的に読み上げます。
2手動で読み上げ：読み上げに対応した画面でを押すと読み上げます。
3読み上げなし：読み上げません。

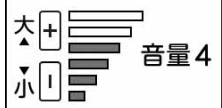
3 「1自動で読み上げ」～「3読み上げなし」のいずれかを押す

読み上げる声質を選んでください
1女性の声
2男性の声

● 「3読み上げなし」：操作7に進みます。

4 「1女性の声」または「2男性の声」を押す

読み上げる速さを選んでください
速
遅
速度2

5 を押して速さを設定▶決定を押す

読み上げる音量を調節してください
大
小
音量4

6 またはを押して音量を調節▶決定を押す

音声読み上げの設定画面に戻ります。

7 電話帳を押す

音声読み上げを設定した旨のメッセージが表示されます。

8 **決定を押す**

メニュー画面に戻ります。

- ●（終話キー）を押すと待受画面に戻ります。
- ●「自動で読み上げ」または「手動で読み上げ」に設定すると、読み上げに対応した画面に（読み上げアイコン）が表示されます。

お知らせ

- ●音声読み上げの動作を「読み上げなし」から「自動で読み上げ」または「手動で読み上げ」に変更すると、操作3～5の画面で（読み上げキー）を押すことで、選択している声質、速さ、音量で説明を読み上げます。

音声読み上げの送出先切り替え

お買い上げ時　スピーカー

●音声読み上げの送出先を「スピーカー」に設定すると、音量が大きくなりますので、FOMA端末を耳から離して使用してください。

1 **待受画面でメニュー▶「8初めに行う設定」▶「7音声読み上げを使う」▶「3スピーカー／受話口の切替を行う」を押す**

読み上げの
音声送出先を
選んでください

1スピーカー
2受話口

2 **「1スピーカー」または「2受話口」を押す**

音声送出先を設定した旨のメッセージが表示されます。

3 **決定を押す**

メニュー画面に戻ります。

- ●（終話キー）を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- ●平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続中は、本機能の設定に関わらず、イヤホンからのみ音声が聞こえます。

音声読み上げについて

音声読み上げ時の動作やルールは次のとおりです。

● 読み上げ中に[+][−]を押すと、読み上げの音量を調節できます。

● 音声読み上げの動作を「自動で読み上げ」に設定して、ｉモードメールやメッセージR/Fに添付されたメロディを自動演奏するように設定していると、ｉモードメールやメッセージR/Fは読み上げられずメロディが演奏されます。メロディ演奏後に[読]を押すと、読み上げが開始されます。→P236、P320

● 音声読み上げの動作とボタン確認音の設定（→P132）により、待受画面でボタンを押したときの読み上げとボタン確認音の動作は次のようになります。

動作の設定／ボタン確認音の設定	自動で読み上げ	手動で読み上げ／読み上げなし
鳴らす	[0]～[9]、[*]、[#]は読み上げます。 その他のボタンは確認音が鳴ります。	確認音が鳴ります。
鳴らさない	[0]～[9]、[*]、[#]は読み上げます。	—

● 音声読み上げの開始時、または音声読み上げ中に次のようなことが起きると、読み上げが停止されます。
- 電話がかかってきたとき
- 外部機器にデータを送信したとき
- 電池残量警告音が鳴ったとき
- データ通信を行ったとき
- FOMA端末を折り畳んだとき
- 目覚ましが動作したとき

● 読み上げを途中で停止するときは、読み上げ中に[読]を押します。ただし、表示している画面や選択している項目により、読み上げが停止しない場合があります。読み上げを停止中に[読]を押すと、初めから読み上げます。

● サイト画面を表示している場合、[読]を1秒以上押して読み上げ動作を行ったときは、[+][−]以外の任意のボタンを押したり、[メール]や[iアプリ]を1秒以上押して連続スクロールをしても読み上げが停止されます。

● メールやサイト、電話帳などの内容は、おおむね次のルールに基づいて読み上げられます。希望どおりに読み上げが行われない場合は、読み上げ用の単語を登録してください。
→P189

読み上げ項目	ルール／読み上げ例
数字	●数字が並んでいる場合は、24桁まで桁読みします。 ※先頭に「0」がある場合は桁読みしません。 〈例〉 12345 ： イチマンニセンサンビャクヨンジューゴ
英字	●読み上げ辞書に従って読み上げます。 〈例〉 i − mode ： アイモード ●読み上げ辞書に登録されていない英字の文字列は、次のように読み上げます。 • 英字文字列が3文字以下 〈例〉 abc ： エービーシー • 英字文字列が4文字以上 すべてローマ字と判定できる場合はローマ字読みで読み上げます。 〈例〉 yamamoto ： ヤマモト すべてローマ字と判定できない場合は、アルファベット読みで読み上げます。 〈例〉 yyyyy ： ワイワイワイワイワイ
絵文字・記号	●絵文字・記号を読み上げます。ただし、表示している画面や項目によっては、一部の記号を読み上げない場合があります。 ●メールなどで使われる「(^^)」のような顔文字の一部を読み上げます。 〈例〉 (^^) ： ニコッ (T_T) ： シクシク (^_^)V ： ピース ●同じ絵文字・記号が3つ以上連続する場合は、まとめて読み上げます。 該当するのは、すべての絵文字と次の記号です。 〆（）「」＜＞＋±×÷＝≠≦≧∞∴♂♀°′″℃￥＄¢£％＃＆＊＠ §☆★○●◎◇◆□■△▲▽▼※〒→←↑↓＝∈∋⊆⊇⊂⊃∪∩∧∨ ¬⇒⇔∀∃∠⊥⌒∂∇≡≒√∽∝∵∫∬Å‰♯♭♪†‡¶∮∑∟⊿ 〈例〉 ※※※ ： サンコノ コメジルシ マーク
日付	●数字を「／」や「.」で区切ると、日付として読み上げます。 ※次の形式以外の場合は日付として読み上げません。 〈例〉 2007／4／8（または2007.4.8）： ニセンナナネン シガツ ヨーカ 7／4／8（または7.4.8）： ナナネン シガツ ヨーカ 4／8 ： シガツ ヨーカ H1／4／8： ヘーセーガンネン シガツ ヨーカ S45／1／1： ショーワヨンジューゴネン イチガツ ツイタチ T10／1／1： タイショージューネン イチガツ ツイタチ M10／1／1： メージジューネン イチガツ ツイタチ ※ 英字は小文字の場合でも読み上げます。

次ページへ

読み上げ項目	ルール／読み上げ例
時刻	●数字を「：」で区切ると、時刻として読み上げます。 ※次の形式以外の場合は時刻として読み上げません。 〈例〉 9：30（または09：30）： クジ　サンジュップン AM11：30（または11：30AM）： ゴゼン　ジューイチジ　サンジュップン PM11：30（または11：30PM）： ゴゴ　ジューイチジ　サンジュップン 23：30 ： ニジューサンジ　サンジュップン 9：30：30 ： クジ　サンジュップン　サンジュービョー ※ 英字は小文字の場合でも読み上げます。
返信、転送	●「Re：」「Re >」「Re［2］：」「Re［2］ >」「Re ＊2：」「Re ＊ 2 >」「Re^2:」「Re^2 >」はすべて「ヘンシン」と読み上げます。これらが連続する場合は、「ヘンシン」と一回のみ読み上げます。 ●「Fw：」「Fw>」「Fw［2］：」「Fw［2］ >」「Fw＊2：」「Fw＊2 >」「Fw^2:」「Fw^2 >」はすべて「テンソー」と読み上げます。これらが連続する場合は、「テンソー」と一回のみ読み上げます。 ●「ヘンシン」と「テンソー」が混ざって複数個連続する場合は、次のように読み上げます。 〈例〉 Re：Fw：Fw：Re：Re：Re： ヘンシン　テンソー　ヘンシン ※ 英字は小文字の場合でも読み上げます。

読み上げ項目	ルール／読み上げ例
サイト内の項目	●サイトを表示すると、ページのタイトルを最初に読み上げます。ページの最初の項目を選択してもページタイトルを読み上げます。 ●ダイレクトキー（12･･･）は「キー×××」と読み上げます。 ●ラジオボタン は「ボタンオン」、 は「ボタンオフ」と読み上げます。 ●チェックボックス は「チェックアリ」、 は「チェックナシ」と読み上げます。 ●プルダウンメニューは「×コノセンタクシ」の後、選択されている項目を読み上げます。 ●文字入力枠は「モジニューリョク」と読み上げます。文字が入力されている場合は、入力されている文字も読み上げます。 ●パスワード入力枠が未入力のときは「パスワード」、入力済みのときは「パスワードニューリョクスミ」と読み上げます。 ●ボタンは「×××ボタン」と読み上げます。 ●サイトの内容を読み上げているときは、項目を読み上げた後に「ピピッ」という区切り音が鳴ります。 ●サイトの内容を表示中に を押すと、選択している項目を読み上げます。 を1秒以上押すと、表示しているページの選択している項目以降をすべて読み上げます。 ●サイトのリンク項目は、設定と違う声質（「女性の声」に設定しているときは「男性の声」）で読み上げます。 ●サイトのリンク情報以外の項目を選択した場合は、深緑色に反転表示されます。なおサイトの背景、文字、リンク項目の反転表示の色により、読み上げる反転表示の色が変更されることがあります。 ●サイトの項目によっては、絵文字などを読み上げない場合があります。

次ページへ

読み上げ項目	ルール／読み上げ例
文字入力時	●文字入力画面でを押すと、入力済みの文字をすべて読み上げます。 1つ目の「↵」（改行マーク）を入力して改行し、2つ目を続けて次の行に入力して1行空いている場合、2つ目の位置で読み上げを区切ります。「↵」（改行マーク）を入力して改行し、次の行に続けて文章を入力した場合は、区切らずにそのままつなげて読み上げます。 なお、「↵」（改行マーク）は読み上げません。 ●文字入力画面でを1秒以上押すと、カーソル位置から、文末または句点（「。」）、改行（「↵」）位置までを読み上げます。このとき句点は「～クテン」、改行は「～カイギョー」、句点に連続して改行がある場合は、「～クテン　カイギョー」と読み上げます。 カーソル位置が文末にある場合は、「ブンマツデス」と読み上げます。 ●音声読み上げの動作を「自動で読み上げ」に設定している場合は、文字入力画面でを押してカーソルを移動すると、次のとおり自動で読み上げます。 • ：を1秒以上押したときと同様に読み上げます。 • ：移動先のカーソル位置の一文字を読み上げます。カーソル位置が文末の場合は「ブンマツデス」と読み上げ、文末でを押すと半角空白が追加され「クウハクツイカ」と読み上げます。文頭でを押すと、「ブントウデス」と読み上げます。 • 候補選択リストの候補にカーソルが移動した時は「ヨソクコウホセンタク」と読み上げます。なお、候補選択リストから文字を選択して決定を押しても読み上げません。 ●文字入力画面で電話帳を押して変換した文字や、変換候補一覧でカーソル位置の各文字の解説を読み上げます。 〈例〉 好調 ： コノムノ　コウ　シラベルノ　チョウ 校長 ： ガッコウノ　コウ　ナガイノ　チョウ
その他	●受信／送信メール詳細画面でを押すと、メール番号、日付・時刻、宛先／送信元、題名、本文、添付情報の順に読み上げます。を1秒以上押すと、本文のみ読み上げます。 ●「は」を含む外来語（カタカナ語）がひらがなで表記された場合は、読みかたを誤る場合があります。 〈例〉 はんどる　： ワンドル ふるはうす： フルワウス ●読み上げの音声は自然の音声とは異なるため、聞きづらい音やアクセントになる場合があります。 ●句読点（「。」「、」）がある場合は、句読点の位置で読み上げを区切ります。 ●漢字を使用した場合、正しく読み上げない場合もあります。メールでの読み誤りを減らすには、よくメールをやりとりする相手に次のことをお願いすることをおすすめします。 • 句読点を多めに使ってメールを作成してください。 • 読みが難しい漢字はカタカナにしてください。 • カタカナを使うときには長音（「ー」）を使用してください。 ●電話帳の名前の読み上げは、登録されている「フリガナ」を読み上げます。「フリガナ」が登録されていないときは、名前に入力された文字を読み上げます。

読み上げ項目	ルール／読み上げ例
その他	●単語によってはフリガナの登録時に長音（「ー」）を使用すると、より自然に読み上げます。 ●メールやサイトの内容を読み上げ中にまたはを押すと、読み上げが一時停止する場合があります。 ●画像や動画／ｉモーション、メロディなどの題名やファイル名が数字の羅列になっている場合は、桁読みを行わずに数字を読み上げます。 〈例〉 12345： イチニサンヨンゴ

音声読み上げ単語登録

音声読み上げ辞書によく使う単語を登録します

単語の読みかたを読上辞書データとして登録できます。
たとえば、お買い上げ時に「ゴジュウミネ」と読み上げられる「五十嶺」の読みとして「イソミネ」を登録すると、読み上げに対応したすべての画面で「イソミネ」と読み上げられるようになります。

● 最大50件登録できます。

1 待受画面で(メニュー)▶「8初めに行う設定」▶「7音声読み上げを使う」▶「2音声読み上げ用の単語を登録する」を押す

音声読み上げ用の
単語登録状況

登録数 0件
残り 50件

登録した単語の件数と、登録できる件数が表示されます。

2 (決定)を押す

単語を登録した場合は、登録した単語の一覧が表示されます。

次ページへ

3 「新規登録」を選択▶決定を押す

4 単語を入力▶決定を押す

読みの入力画面が表示されます。

● 全角で最大6文字入力できます。

5 読みを入力▶決定を押す

読み上げる単語を登録した旨のメッセージが表示されます。

● 半角カタカナで最大12文字入力できます。

6 決定を押す

単語の一覧に戻ります。

● ━を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● 単語によっては読みの登録時に長音（「ー」）を使用すると、より自然に読み上げます。

● 読みの入力で「゛」（濁点）や「゜」（半濁点）を正しく入力していない場合や、先頭に「ッ」や「ー」、空白を入力した場合は、単語を登録できません。

登録した音声読み上げ単語の確認

登録した読み上げ用の単語と読みを確認します。

1 単語の一覧を表示する

● 操作方法→P189「音声読み上げ辞書によく使う単語を登録します」操作1～2

2 確認する単語を選択▶決定を押す

登録内容
読み上げる単語
五十嶺
読み
ｲｿﾐﾈ

● 決定を押すと単語の一覧に戻ります。

● ━を押すと待受画面に戻ります。

登録した内容を修正します

1 単語の一覧を表示する

●操作方法→P189「音声読み上げ辞書によく使う単語を登録します」操作1～2

2 修正する単語を選択▶(電話帳)を押す

単語の入力画面が表示されます。

●以降の操作→P190「音声読み上げ辞書によく使う単語を登録します」操作4以降

登録した内容を削除します

1 単語の一覧を表示する

●操作方法→P189「音声読み上げ辞書によく使う単語を登録します」操作1～2

2 削除する単語を選択▶(メニュー)▶「2削除する」を押す

選択した単語を削除するかどうかの確認画面が表示されます。

3 「1削除する」を押す

読み上げ用の単語を削除した旨のメッセージが表示されます。

●「2削除しない」：削除を中止します。

4 (決定)を押す

単語の一覧に戻ります。

●(終話)を押すと待受画面に戻ります。

iモード／iモーション／iチャネル

iモードとは

iモードでは、iモード対応FOMA端末（以下iモード端末）のディスプレイを利用して、サイト（番組）接続、インターネット接続、iモードメールなどのオンラインサービスをご利用いただけます。

- ｉ モードはお申し込みが必要な有料サービスです。お申し込みに関するお問い合わせは、取扱説明書裏面をご覧ください。
- ｉモードサービスの詳細については、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編)』をご覧ください。

iモードのご使用にあたって

- サイト（番組）やインターネット上のホームページ（インターネットホームページ）の内容は、一般に著作権法で保護されています。これらのサイト（番組）やインターネットホームページからｉモード端末に取り込んだ文章や画像などのデータを、個人として楽しむ以外に、著作権者の許可なく一部あるいは全部をそのまま、または改変して販売、再配布することはできません。
- ｉモード端末に保存されている内容（メール、メッセージR/F、画面メモ、ｉモーションなど）やブックマークなどの登録内容は、ｉモード端末の故障、修理やその他の取り扱いによっても消失する場合がありますので、登録内容や重要な内容は控えをとっておくことをおすすめします。万一、保存されている内容や登録した内容が消失した場合、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ｉモード端末の修理などを行った場合、ｉモード・ｉモーションでダウンロードした情報は、一部を除き著作権法により新しい携帯電話への移行を行っておりません。また、別のFOMAカードに差し替えたり、FOMAカードを取り付けずに電源を入れたときは、機種によってサイトから取り込んだ画像・ｉモーション・メロディやメールで送受信した添付データ（画像・動画・メロディ）、「画面メモ」および「メッセージR/F」などを表示・再生できません。
- FOMAカード動作制限機能が設定されているデータを待受画面や着信音などに設定していると、別のFOMAカードに差し替えたり、FOMAカードを取り付けずに電源を入れると、設定内容は初期状態にリセットされます。データを受信・ダウンロードしたときに使用したFOMAカードを取り付けると、設定は元の状態に戻ります。

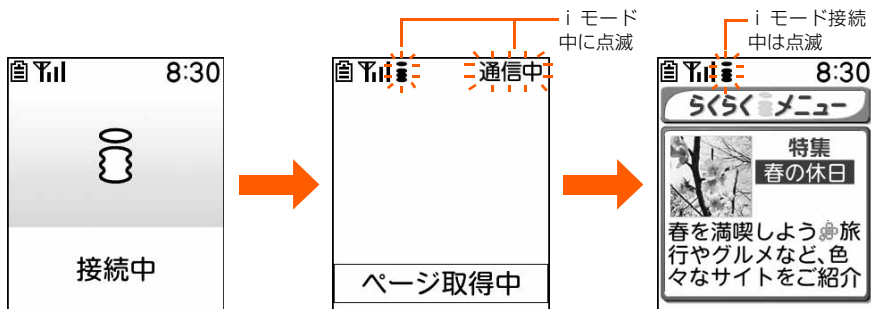
お知らせ

- パソコンをお持ちの場合は、データリンクソフトとFOMA USB接続ケーブル（別売）を利用して、メールやブックマークなどをパソコンに転送・保存することができます。→P492

サイトを表示します

ｉモードに接続して、さまざまなサイトを表示します。

● サイト画面はイメージです。実際に表示される画面とは異なる場合があります。

1 待受画面で決定を1秒以上▶「1 i Menuを見る」を押す

● ｉモード接続中画面で決定：接続を中止します。
● ページ取得中画面で電話帳：ページの読み込みを中止します。

2「天気・新聞　スポーツ」を選択▶決定を押す

● サイト表示中画面で8を1秒以上：が消灯し、ｉモードを切断します。

3 見たい項目を選択▶決定を押す

サイトに接続されます。以降目的のページが表示されるまで、操作3を繰り返します。

● ▶「1終了する」を押すと待受画面に戻ります。

次ページへ

お知らせ

● この端末からｉモードセンターに接続すると、最初にらくらくｉメニューが表示されます。通常のｉMENUを表示する場合は、らくらくｉメニュー画面で「通常ｉMENUを使う」を選択して決定を押します。
● サイト表示中にらくらくｉメニューを表示する場合は、メニュー▶「1 ｉMenu」を押して操作します。
● サイト表示中の文字の大きさを変更できます。→P225
● サイトによっては、利用するために情報料が必要なもの（ｉモード有料サイト）があります。
● IP（情報サービス提供者）が提供するサービスには、ご利用の際に別途お申し込みが必要なものがあります。
● サイトによっては、項目選択時に次の画面が表示される場合があります。

携帯電話情報を
送信しますか？
1送信する
2送信しない
3元の画面へ戻る

・サイトからお客様の携帯電話情報が要求されたときに表示されます。「1送信する」を押すと、お客様の携帯電話情報が送信されます。
送信するお客様の携帯電話情報（FOMA端末の製造番号、FOMAカードの製造番号）はインターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信されるため、場合によっては第三者に知得されることがあります。なお、この操作によりご使用の電話番号、お客様の住所や年齢、性別がIP（情報サービス提供者）などに通知されることはありません。

・サイトからユーザ名、パスワードの入力を要求されたときはユーザ名、パスワードの入力画面が表示されます。サイトのユーザ名、パスワードを入力し、「送信」を選択して決定を押します。

● 画像を含むサイトを表示したとき、画像の代わりに次のマークが表示される場合があります。
　：画像表示・照明設定（→P226）で「画像」を「表示しない」に設定しているとき
　：画像のデータが不正なときや画像が見つからないとき、受信中に圏外になるなどで画像を受信できなかったとき
　：画像のURLの誤りなどで画像が表示できないとき
● ｉモードは通信を使ったサービスのため、圏外が表示されている場合はご利用になれません。

SSL対応ページの接続

SSL対応ページでは、データを暗号化して送受信することにより、データの盗聴や書き換えを防ぎ、お客様の個人情報をより安全にやりとりすることができます。

● SSL対応のページによっては、日付・時刻の設定をしないと接続できない場合があります。→P43
● SSL通信を行うには、接続先とFOMA端末に同じ認証機関が発行した「証明書」という電子情報が必要です。→P232
● FirstPass対応のページに接続するには、ユーザ証明書をFirstPassセンターからダウンロードし、緑色または白色のFOMAカードに保存する必要があります。青色のFOMAカードを取り付けている場合はFirstPassセンターに接続できません。→P33

SSL対応のページに接続します

SSL対応のページに接続する場合は次の画面が表示されます。

オンライン
ショッピング
1 クレジットカード
2 代金引換
3 銀行振込
ＳＳＬ通信を開始
します（認証中）

- SSL対応のページが表示されるとディスプレイ上部の（点滅）が（点灯）に変わります。
- 表示中のページに使われている証明書を表示する場合は、メニュー▶「＊URL等を確認」▶「2証明書詳細表示」を押します。→P231

SSL対応のページから通常のページに進みます

SSL対応のページから通常のページに進む場合は次の画面が表示されます。

ＳＳＬページを
終了しますか？
1 終了する
2 終了しない

- 「1終了する」を押すと通常のページが表示され、ディスプレイ上部の（点灯）が（点滅）に変わります。

FirstPass対応のページに接続します

FirstPass対応のページに接続する場合は次の操作が必要です。

①「1送信する」▶PIN2コードを入力▶決定を押す

- 60秒以内にPIN2コードを入力しないとSSL通信は中止されます。

②決定を押す

次ページへ

お知らせ

- 接続先との通信の安全性が確認できない場合、接続するかどうかの確認画面が表示されます。接続するときは「1接続する」、接続を中止するときは「2接続しない」を押します。
- FirstPass対応サイトに接続した際のパケット通信料は、パケ・ホーダイ／パケ・ホーダイフルの対象となります。ただし、パソコンと接続してデータ通信を行う場合は、パケ・ホーダイ／パケ・ホーダイフルの対象外となります。

最後に表示したページに再接続<ラストURL>　メニュー33

最後に表示したサイトやホームページのURLはFOMA端末に記録されています。ラストURLを利用すると、最後に表示したページに簡単に再接続できます。

1 待受画面で決定を1秒以上▶「3最後に表示したサイトを見る」▶決定を押す

サイトに接続されます。

- ラストURLが記録されていないときは、最後に表示したURL情報がない旨のメッセージが表示されます。

お知らせ

- 最後に表示したページによっては、表示できない場合や、異なるページを表示する場合があります。

サイトの見かたと操作

サイト表示中の基本的な操作方法について説明します。

Flash画像の表示について

FOMA端末ではFlash画像を表示できます。Flash画像により、サイトの表現力がさらに豊かになります。

- 画像表示・照明設定の「画像」を「表示しない」に設定した場合は、Flash画像は表示されません。→P226
- Flash画像が表示されているときは、表示動作が通常のサイト表示と異なる場合があります。
- Flash画像によってはガイド行に◆が表示されていない場合でも、Flash画像の操作ができる場合があります。
- Flash画像によっては、画面メモや画像保存をしても画像の一部が保存されないなど、サイトでの見えかたが異なる場合があります。
- Flash画像が表示されていても、正しく動作しない場合があります。また、正しく動作しないFlash画像は保存できない場合があります。
- 再生中にエラーが発生したFlash画像は保存できません。

●Flash画像によっては効果音が鳴る場合があります。音量は着信音量（→P70）に従います。ただし、音声読み上げ機能を設定している場合は、音声読み上げが優先されます。効果音を鳴らさない場合は、画像表示・照明設定の「効果音設定」を「再生しない」に設定してください。→P226
●バイブレータ設定の設定（→P131）に関わらず、Flash画像の効果音が鳴っても振動しません。
●Flash画像によっては、バイブレータ設定を「振動させない」に設定しても（→P131）、再生中にFOMA端末を振動させる場合がありますのでご注意ください。
●再生中に 30 秒以上操作しなかった場合は、一時停止します。再生するには メニュー、、、決定、、戻る以外のボタンを押してください。
●Flash画像を最初から再生する場合は、メニュー▶「#表示を設定」▶「4リトライ」を押してください。
●Flash画像によっては、端末情報データを利用するものがあります。端末情報データを利用するためには、画像表示・照明設定の「端末情報利用」を「利用する」に設定してください（→P226）。お買い上げ時は、「利用する」に設定されています。なお、利用する登録データには次のものがあります。
- 電池残量　- 受信レベル　- 時刻情報　- 電話の着信音量　- 言語情報　- 機種情報
●待受画面に設定されたFlash画像の効果音は鳴りません。

リンク先や項目の選択

リンク先を表示します

表示中のページから関連するページへ進むための項目をリンク項目といいます。

お知らせ
●音声読み上げ機能を設定している場合は、サイト情報の内容を選択すると深緑色（背景や文字の色により色が変化します）に反転表示されますが、リンク情報ではありません。

ラジオボタンを選択します

◉（ラジオボタン）は、選択肢の中から1つだけ選択する場合のマークです。
◉が選択されている状態、○が選択されていない状態です。

3．性別(必須)
◉女性　○男性
4．現住所(必須)
関東
5．出身地(必須)
関東

[▲][▼]を押してラジオボタンを選択▶[決定]を押す

○が◉に変わります。

チェックボックスを選択します

☑（チェックボックス）は、選択肢の中から複数項目を選択できる場合のマークです。
☑が選択されている状態、□が選択されていない状態です。

▼更に条件を選択
☑駐車場あり
□クーポンあり
□朝までオープン
検索開始
0HOME

[▲][▼]を押してチェックボックスを選択▶[決定]を押す

□が☑に変わります。

- もう一度☑を選択して[決定]を押すと□に戻ります。

プルダウンメニューを選択します

プルダウンメニューは、選択すると隠れていた選択肢が表示されるメニューです。

[▲][▼]を押してプルダウンメニューを選択▶[決定]▶[▲][▼]を押してメニュー項目を選択▶[決定]を押す

お知らせ

- プルダウンメニューによっては、選択画面で項目を選択▶[決定]を押す操作を繰り返すことにより、複数の項目が選択できます。選択後に[電話帳]を押すと、選択項目がすべて反映された画面に戻ります。

文字を入力します

入力欄を選択して文字を入力します。

● 入力できる文字種と文字数は、入力欄により異なります。

● ｉモードパスワードは「*」で表示されるなど、入力した文字が表示されない場合があります。

ボタンを押します

ページの設定内容を確定してサイトに送信したり、ページの設定内容を取り消したりできます。

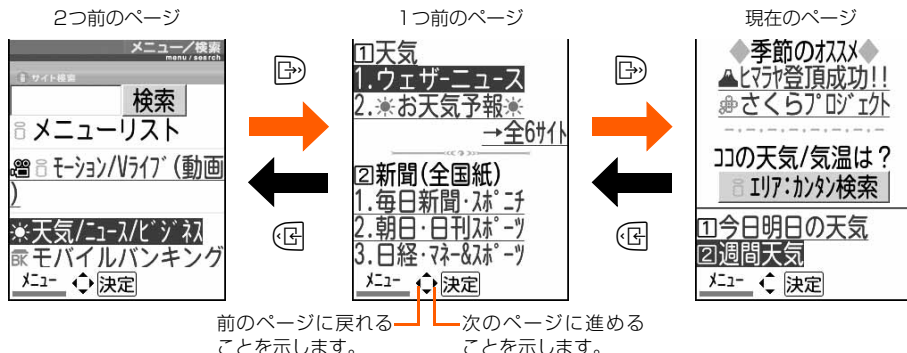
iﾓｰﾄﾞﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ入力
(数字4桁)
Input password
****
決定
(OK)

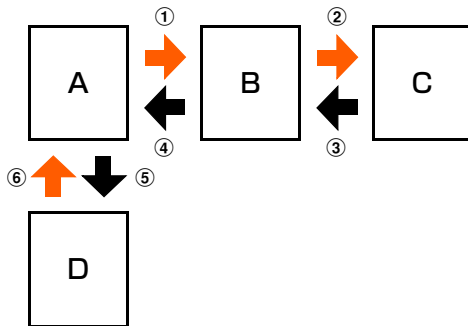
を押してボタンを選択▶決定を押す

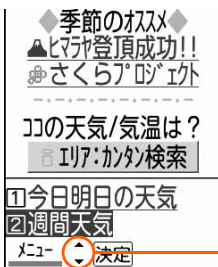
● ボタンの名称はサイトにより異なります。

前のページへの戻りかた・進みかた

FOMA端末は、ページの履歴を最大20件記録しています。これによりすでに表示した前のページに戻したり、次のページに進めたりできます。このように、表示したインターネットホームページなどの履歴を、一時的に記録する端末内の場所のことを「キャッシュ」といいます。⇦⇨を押すことで、通信を行わずにキャッシュに記録されたページを表示できます。ただし、端末のキャッシュサイズをオーバーしていたり、サイトによって必ず最新情報を読み込むように設定されたページを表示したりするときは、通信を行います。

● FirstPassセンター接続中（→P245）は本機能を使用できません。

お知らせ

● サイトの表示履歴が満杯になると、キャッシュに記録されている履歴が消去される場合があります。
● 入力した文字や設定などの情報は記録されません。
● iモードを終了すると、記録されたページはすべて消去されます。
● Flash画像が表示されている場合は、ページの操作方法が異なることがあります。
● ページA→B→Cの順に表示（①、②）した後でページAに戻り（③、④）、ページDに進む（⑤）と、ページA→B→Cの表示履歴は消去されます。
ページDからページAには戻れますが（⑥）、さらにページBへ戻る（①）ことはできません。

画面のスクロール

サイトやインターネットホームページ、受信メールやメッセージR/Fの内容などを表示中に画面をスクロールします。

- [メール][iモード]：スクロールします。1秒以上押すと連続スクロールとなります。
- [*][#]：1秒以上押すと画面単位でスクロールします。

すべての行が表示されていないとき、またはリンク項目に移動できるときは▲や▼が表示されます。

サイト情報の再読み込み

ページの情報が正常に受信できなかった場合に、再読み込みを行ってページの情報を受信し直します。

1 サイト表示中に[メニュー]▶「5再読み込み」を押す

ページの情報が受信され、ページが再表示されます。

お知らせ

- 接続が中断されるなどしてサイトが表示できなかった場合、上記の操作で再読み込みを行うとページを表示できることがあります。

URLの表示

〈例〉サイトのURLを表示するとき

1 サイト表示中に[メニュー]▶「*URL等を確認」▶「1URLを表示」を押す

URL表示
http://ΔΔΔΔΔΔ.ne.jp/□□□□□□/ΔΔΔ.html

- [決定]を押すとサイト画面に戻ります。

お知らせ

- URL履歴一覧、ブックマーク一覧が表示されている画面、画面メモ一覧から操作する場合は、[メニュー]▶「URLを表示」を押します。

マイメニュー

マイメニューを使います

よく利用するサイトをマイメニューに登録することによって、次回からそのサイトに簡単にアクセスすることができます。

●movaサービス（iモードをご契約）からFOMAサービスへ契約を変更された場合、movaサービスで利用していた「マイメニュー」の内容は引き継がれます。ただし、サイトによっては、FOMAに「マイメニュー」が引き継がれないサイトもありますので、その場合は再登録が必要です。
●有料サイトに申し込むと自動的にマイメニューに登録されます。

マイメニューへの登録

●マイメニュー登録にはiモードパスワードが必要です。
●マイメニューに登録できるのはiモードのサイトだけです。ただし、登録できないサイトもあります。インターネットホームページを登録する場合はブックマークに登録します。
●最大45件登録できます。

1 マイメニューに登録するサイトを表示し、「マイメニュー登録」を選択▶決定を押す

iモードパスワード入力画面が表示されます。
●各サイトによりページ構成が異なりますので、該当する番号のボタンを押すか、該当する項目を選択▶決定を押します。

2 iモードパスワード欄を選択▶決定▶iモードパスワードを入力▶決定を押す

入力したパスワードは「*」で表示されます。
●iモードパスワードは初期設定では「0000」に設定されています。

3 「決定」を選択▶決定を押す

サイトがマイメニューに登録されます。
●ー▶「1終了する」を押すと待受画面に戻ります。

マイメニューからのサイト表示

1 待受画面で決定を1秒以上▶「1 i Menuを見る」▶「マイメニュー」を選択▶決定を押す

マイメニュー一覧が表示されます。

iモード／iモーション／iチャネル

マイメニュー

2 表示するサイトを選択▶決定を押す

サイトが表示されます。

● ▶「1終了する」を押すと待受画面に戻ります。

iモードパスワード変更

iモード用のパスワードを変更します

マイメニュー登録／削除、メッセージサービスやiモード有料サイトの申し込み／解約、メール設定を行うときはiモードパスワードが必要です。iモードパスワードはiモードご契約時には「0000」に設定されていますので、安全のためお客様独自のiモードパスワードに変更してください。なお、iモードパスワードは他人に知られないように十分にご注意ください。

● iモードパスワード欄には、4桁の数字を入力します。入力したパスワードは「*」で表示されます。

● iモードパスワードをお忘れの場合は、ご契約者本人であることを確認できるもの（運転免許証など）をドコモショップ窓口で確認させていただいた上で、iモードパスワードを「0000」にリセットさせていただきます。

1 待受画面で決定を1秒以上▶「1 i Menuを見る」▶「料金&お申込・設定」を選択▶決定▶「オプション設定」を選択▶決定▶「iモードパスワード変更」を選択▶決定を押す

iﾓｰﾄﾞﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ変更
現在のﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ
新ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ
新ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ確認

2 現在のパスワード欄を選択▶決定▶現在のiモードパスワードを入力▶決定を押す

次ページへ

3 新パスワード欄を選択▶決定▶新しいｉモードパスワードを入力▶決定を押す

4 新パスワード確認欄を選択▶決定▶操作3で入力したｉモードパスワードを入力▶決定を押す

iﾓｰﾄﾞﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ変更
現在のﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ
****
新ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ
****
新ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ確認
****
決定

5 「決定」を選択▶決定を押す

ｉモードパスワードが変更されます。

- 入力した内容に誤りや抜けがあったときは、エラー画面が表示されます。「再入力」を選択▶決定を押して操作2からやり直してください。
- ━▶「1終了する」を押すと待受画面に戻ります。

インターネット接続　　メニュー341

インターネットホームページを表示します

インターネットに接続して、ｉモード対応のホームページにアクセスします。
接続先はインターネットホームページのアドレス（URL）で指定します。

- ｉモード対応のインターネットホームページ以外は正しく表示されない場合があります。

1 待受画面で決定を1秒以上▶「4インターネットに接続する」▶「1URLを入力して接続する」を押す

URL入力画面が表示されます。

- 2回目からは前回接続したURLが表示されます。

2 決定▶インターネットホームページのURLを入力▶決定▶電話帳を押す

インターネットホームページに接続されます。

- 半角で最大256文字入力できます。
- 半角英字入力モード時に1:「.」「/」「-」などの記号を入力できます。
- ▶「1終了する」を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- サイト表示画面から操作する場合は、メニュー▶「8インターネットに接続」▶「1URLを入力」を押します。
- インターネットホームページ表示中の操作方法は、iモードのサイトの場合と同様です。
- 受信データが1ページの最大サイズを超えたときはメッセージが表示され、決定を押すと受信できた分のデータが表示されます。

URL履歴を使って表示　メニュー342

URLを入力して接続したインターネットホームページのURLはFOMA端末に記録されています。このURL履歴からインターネットホームページに接続できます。

- 最大5件記録されています。5件を超えた場合は、古いものから削除されます。

1 待受画面で決定を1秒以上▶「4インターネットに接続する」▶「2サイトの入力履歴から接続する」を押す

URL履歴番号／URL履歴件数

- ：URL履歴が複数ページある場合は、前後のページを表示できます。
- URL履歴が記録されていないときは、URL履歴がない旨のメッセージが表示されます。

2 表示するインターネットホームページのURLを選択▶決定を押す

インターネットホームページに接続されます。

- ▶「1終了する」を押すと待受画面に戻ります。

■ URL履歴を削除するとき

①削除するURLを選択▶メニュー▶「2削除する」▶「1選択1件」を押す

URL履歴を削除するかどうかの確認画面が表示されます。

- URLをすべて削除するときは、メニュー▶「2削除する」▶「2全件」▶4～8桁の端末暗証番号を入力▶決定を押します。

次ページへ

②「1削除する」を押す

URL履歴を削除した旨のメッセージが表示されます。

- 削除を中止するときは、「2削除しない」を押します。

③ 決定 を押す

URL履歴一覧に戻ります。

- [終話]を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● サイト表示画面から操作する場合は、[メニュー]▶「8インターネットに接続」▶「2履歴から接続」を押します。

文字を正しく表示<文字コード>

サイトやインターネットホームページの文字が正しく表示されないときは、文字コードを変更して正しく表示します。

● 文字コードとは、文字をコンピュータで利用可能にするために作られた文字の番号体系のことです。FOMA端末でインターネットホームページやサイトを表示する際に、文字コードが一致していないと文字が正しく表示されません。

1 **サイトやインターネットホームページ表示中に****「#表示を設定」▶「3文字コード変更」▶「1切替え」を押す**

文字コードを変更して再表示します。

● 操作1を繰り返すたびに、文字コードが自動選択→SJIS→EUC→JIS→UTF8の順に切り替わります。操作を5回繰り返すと元の表示に戻ります。

● サイトやインターネットホームページを表示した時点では「自動で選択」に設定されています。

お知らせ

● 画面メモ表示画面から操作する場合は、[メニュー]▶「9表示を設定」▶「1文字コード変更」を押します。

● この操作を繰り返しても、文字を正しく表示できない場合があります。

● 文字が正しく表示されているときに文字コードを変更すると、正しく表示されなくなる場合があります。

ブックマーク

ホームページやサイトを登録してすばやく表示します

よく見るサイトやインターネットホームページをブックマークに登録しておくと、ブックマークを選択するだけで、サイトやインターネットホームページをすばやく表示することができます。

● ブックマークに登録できるURLの文字数は、半角で最大256文字です。ただし、サイトやホームページによっては、ブックマークに登録できない場合があります。
● タイトルが登録可能な最大文字数を超える場合は、超えた部分が削除されて登録されます。

ブックマークの登録

ブックマークを5個のフォルダに分けて登録できます。
● 最大保存件数→P520

1 **ブックマークに登録するサイトを表示して(メニュー)▶「2ブックマークに登録」を押す**
登録先フォルダ選択画面が表示されます。

2 **登録先フォルダを選択▶(決定)を押す**
ブックマークを追加した旨のメッセージが表示されます。

3 **(決定)を押す**
サイト表示に戻ります。
● (ー)▶「1終了する」を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ
● ブックマークが最大保存件数を超えるときは、登録済みのブックマークを書き換えるかどうかの確認画面が表示されます。保存する場合は、画面の指示に従い書き換えるブックマークを選択します。
● すでに同じURLが登録されているときは、ブックマークを書き換えるかどうかの確認画面が表示されます。書き換える場合は「1書きかえる」を押します。
● 画面メモ一覧、画面メモ表示画面、URL 履歴一覧から操作する場合は、(メニュー)▶「ブックマークに登録」を選択▶(決定)を押します。
● メッセージR/F詳細画面から操作する場合は、(メニュー)▶「4登録する」▶「3ブックマーク登録」を押します。

ブックマークからホームページやサイトを表示 メニュー32

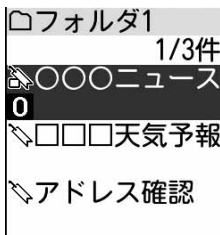
1 **待受画面で(決定)を1秒以上▶「2ブックマークを見る」を押す**

ブックマーク一覧
フォルダ1
フォルダ2
フォルダ3
フォルダ4
フォルダ5

● フォルダの状態は、次のマークで確認できます。

マーク	状　態
(ブックマーク保存ありフォルダ)	ブックマークが保存されている
(空フォルダ)	ブックマークが保存されていない

次ページへ

2 フォルダを選択▶決定を押す

● 〔◁〕〔▷〕：ブックマークが複数ページある場合は、前後のページを表示できます。

● ブックマークの状態は、次のマークで確認できます。

マーク	状　態
（マーク）	簡易接続に登録されていない
（マーク）	簡易接続に登録されている
0～9	簡易接続に登録されているボタンの番号

3 表示するブックマークを選択▶決定を押す

サイトやインターネットホームページに接続されます。

● 〔―〕▶「1終了する」を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

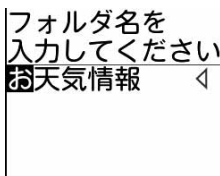
● サイト表示画面から操作する場合は、メニュー▶「3ブックマークを見る」を押します。

ブックマークのフォルダ名変更

1 待受画面で決定を1秒以上▶「2ブックマークを見る」を押す

ブックマーク一覧が表示されます。

2 フォルダ名を変更するフォルダを選択▶メニュー▶「3フォルダ名変更」を押す

フォルダ名を
入力してください
お天気情報

3 フォルダ名を入力▶決定を押す

フォルダ名を変更した旨のメッセージが表示されます。

● 全角で最大7文字、半角で最大14文字入力できます。

4 決定を押す

ブックマーク一覧に戻ります。

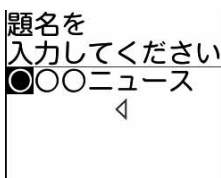
● 〔―〕を押すと待受画面に戻ります。

ブックマークの題名変更

● ブックマークのURLは変更できません。

1 **待受画面で決定を1秒以上▶「2ブックマークを見る」▶フォルダを選択▶決定を押す**

フォルダ内のブックマーク一覧が表示されます。

2 **題名を変更するブックマークを選択▶メニュー▶「1題名を変更」を押す**

3 **題名を入力▶決定を押す**

題名を変更した旨のメッセージが表示されます。

● 全角で最大12文字、半角で最大24文字入力できます。

● 題名を入力しないで決定を押すと、フォルダ内のブックマーク一覧ではURLが表示されます。

4 **決定を押す**

フォルダ内のブックマーク一覧に戻ります。

● 終話を押すと待受画面に戻ります。

少ないボタン操作でのサイト表示

ブックマークを簡易接続に登録すると、待受画面から手早くサイトやインターネットホームページを表示できます。

簡易接続に登録します

● 1つのダイヤルボタンにつき1件、合計10件まで登録できます。

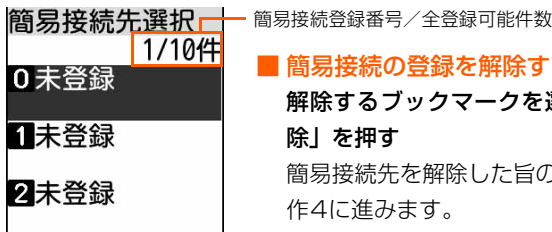
1 **待受画面で決定を1秒以上▶「2ブックマークを見る」▶フォルダを選択▶決定を押す**

フォルダ内のブックマーク一覧が表示されます。

次ページへ

2 登録するブックマークを選択▶(メニュー)▶「2簡易接続に登録」を押す

簡易接続先選択
1/10件
0未登録
1未登録
2未登録

簡易接続登録番号／全登録可能件数

■ 簡易接続の登録を解除するとき

解除するブックマークを選択▶(メニュー)▶「2簡易接続を解除」を押す

簡易接続先を解除した旨のメッセージが表示されます。操作4に進みます。

3 登録先を選択▶(決定)を押す

簡易接続先に登録した旨のメッセージが表示されます。

- 簡易接続先選択画面の番号（0～9）が、サイト表示に使用するダイヤルボタン（(0)～(9)）に対応しています。
- (◁)(▷)：簡易接続先選択画面を切り替えます。
- 登録済みの登録先を選択した場合は、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。上書きするときは、「1上書きする」を押します。

4 (決定)を押す

フォルダ内のブックマーク一覧に戻ります。

- フォルダ内のブックマーク一覧で、登録したブックマークのマークがから に変わり、対応するダイヤルボタンの番号（0～9）が表示されます。
- (—)を押すと待受画面に戻ります。

簡易接続に登録したサイトを表示します

- 個人情報表示制限中は、本機能を使用できません。→P158

1 待受画面で簡易接続に登録した番号（(0)～(9)）を入力▶(メニュー)▶「6簡易サイト接続」を押す

簡易接続に登録したサイトやインターネットホームページに接続されます。

- (—)▶「1終了する」を押すと待受画面に戻ります。

ブックマークの削除

1件ずつ削除したり、フォルダ内のブックマークをまとめて削除したり、すべてのブックマークをまとめて削除したりします。

● ブックマークのフォルダは削除できません。

1 **待受画面で(決定)を1秒以上▶「2ブックマークを見る」を押す**

ブックマーク一覧が表示されます。

2 **フォルダを選択▶(決定)▶削除するブックマークを選択▶(メニュー)▶「3削除する」を押す**

● ブックマークを全件削除するときは、(メニュー)▶「2全て削除」▶4～8桁の端末暗証番号を入力▶(決定)を押して操作4に進みます。

3 **「1選択1件」を押す**

ブックマークを削除するかどうかの確認画面が表示されます。

● フォルダ内のブックマークを全件削除するときは、「2フォルダ内全件」▶4～8桁の端末暗証番号を入力▶(決定)を押します。

4 **「1削除する」を押す**

ブックマークを削除した旨のメッセージが表示されます。

●「2削除しない」：削除を中止します。

5 **(決定)を押す**

フォルダ内のブックマーク一覧に戻ります。

● (終話)を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

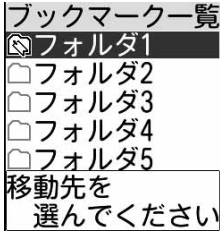
● 簡易接続に登録したブックマークを削除すると、簡易接続登録も解除されます。

ブックマークを他のフォルダに移動

1 **待受画面で(決定)を1秒以上▶「2ブックマークを見る」▶フォルダを選択▶(決定)を押す**

フォルダ内のブックマーク一覧が表示されます。

次ページへ

2 移動するブックマークを選択▶(メニュー)▶「6フォルダを移動」を押す

3 移動先フォルダを選択▶(決定)を押す

ブックマークを移動した旨のメッセージが表示されます。

4 (決定)を押す

フォルダ内のブックマーク一覧に戻ります。

● (━)を押すと待受画面に戻ります。

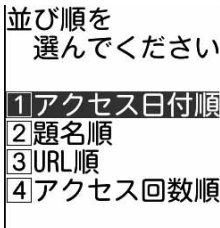
ブックマーク一覧の並び順変更

フォルダ内のブックマーク一覧の並び順（「アクセス日付順」）を一時的に並べ替えます。並べ替えはすべてのフォルダが対象になります。

1 待受画面で(決定)を1秒以上▶「2ブックマークを見る」を押す

ブックマーク一覧が表示されます。

2 フォルダを選択▶(決定)▶(メニュー)▶「7並び順を変更」を押す

並び順を
選んでください
1アクセス日付順
2題名順
3URL順
4アクセス回数順

1アクセス日付順：アクセス日時が新しい順に並べ替えます。
2題名順：題名を50音順に並べ替えます。
3URL順：URLをアルファベット順に並べ替えます。
4アクセス回数順：アクセス回数が多い順に並べ替えます。

3 「1アクセス日付順」～「4アクセス回数順」のいずれかを押す

フォルダ内のブックマーク一覧が一時的に並び替わります。

● (─)を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● ブックマークの表示を終了すると「アクセス日付順」に戻ります。
● 題名に全角／半角の文字や英字、漢字、題名がなくURL表示になっているものが混在していると、並べ替えた結果が50音順にならない場合があります。

画面メモ

サイトの内容を保存します

表示中のサイトの内容を画面メモとして保存します。

画面メモの保存

● 保存できる画面メモのデータサイズは、画面内の画像などを含め1件あたり最大100Kバイトです。
● 最大保存件数→P520

1 画面メモに保存するサイトを表示して(メニュー)▶「4画面メモに保存」を押す

画面メモに保存した旨のメッセージが表示されます。

2 (決定)を押す

サイト表示に戻ります。

● (─)▶「1終了する」を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● 画面メモの保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるときは、保存されている画面メモを書き換えるかどうかの確認画面が表示されます。画面メモを保存する場合は、画面の指示に従い保存可能な空き容量に達するまで書き換える画面メモを選択します。保護されている画面メモは書き換えられません。

画面メモの表示　メニュー35

保存した画面メモを表示します。

1 待受画面で(決定)を1秒以上▶「5 画面メモを見る」を押す

画面メモ一覧
1/3件
○○○ニュース
○○○天気予報
□□□銀行

画面メモ番号／画面メモ件数

- (←)(→)：画面メモが複数ページある場合は、前後のページを表示できます。
- 画面メモの状態は、次のマークで確認できます。

マーク	状　態
（通常マーク）	通常の画面メモ
（保護マーク）	保護されている画面メモ

- 画面メモが保存されていないときは、画面メモがない旨のメッセージが表示されます。

2 表示する画面メモを選択▶(決定)を押す

画面メモの内容が表示されます。

- 画面メモ表示画面の操作方法は、一部を除きサイト表示中と同様です。
- (終話)を押すと待受画面に戻ります。

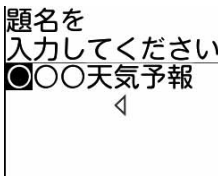
お知らせ

- 画面メモ表示画面でもう一度アニメーションやFlash画像を動作させるときは、(メニュー)▶「9 表示を設定」▶「2 リトライ」を押します。

画面メモの題名変更

1 待受画面で(決定)を1秒以上▶「5 画面メモを見る」を押す

画面メモ一覧が表示されます。

2 題名を変更する画面メモを選択▶(メニュー)▶「1 題名を変更」を押す

3 題名を入力▶決定を押す

題名を変更した旨のメッセージが表示されます。

- 全角で最大12文字、半角で最大24文字入力できます。
- 題名を入力しないで決定を押すと、画面メモ一覧では「無題」と表示されます。

4 決定を押す

画面メモ一覧に戻ります。

- 終話を押すと待受画面に戻ります。

画面メモの削除

1件ずつ削除したり、すべての画面メモをまとめて削除したりできます。

- 保護されている画面メモは削除できません。全件削除しても保護されている画面メモは残ります。保護を解除してから削除してください。

1 待受画面で決定を1秒以上▶「5画面メモを見る」を押す

画面メモ一覧が表示されます。

2 削除する画面メモを選択▶メニュー▶「3削除する」▶「1選択1件」を押す

画面メモを削除するかどうかの確認画面が表示されます。

- 画面メモを全件削除するときは、メニュー▶「3削除する」▶「2全件」▶4～8桁の端末暗証番号を入力▶決定を押します。

3 「1削除する」を押す

画面メモを削除した旨のメッセージが表示されます。

- 「2削除しない」：削除を中止します。

4 決定を押す

画面メモ一覧に戻ります。

- 終話を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- 画面メモ表示画面から操作する場合は、メニュー▶「3削除する」▶「1削除する」を押します。

画面メモの保護／解除

画面メモを保護すると、誤って削除したり、保存領域が足りずに上書きされたりすることを防げます。

● 最大保護件数→P520

1 待受画面で(決定)を1秒以上▶「5画面メモを見る」を押す

画面メモ一覧が表示されます。

2 保護する画面メモを選択▶(メニュー)▶「4保護する」を押す

画面メモが保護されます。

● 画面メモ一覧で、保護された画面メモのマークが から に変わります。
● 保護を解除するときは、保護されている画面メモを選択▶(メニュー)▶「4保護を解除する」を押します。
● ( )を押すと待受画面に戻ります。

画像保存

サイトから画像をダウンロードします

サイトからお気に入りの画像をダウンロードし、FOMA端末に保存します。保存した画像は表示したり、待受画面などに設定したりできます。

● 保存できる画像のデータサイズは、1件あたり最大100Kバイトです。
● GIF形式、JPEG形式、SWF形式の画像を保存できます。
● 最大保存件数→P520

1 画像のあるサイトを表示して(メニュー)▶「6画像を保存」を押す

保存する画像の枠

■ サイトの背景画像を保存するとき

背景画像のあるサイトを表示して(メニュー)▶「7 背景画像を保存」を押す

2 保存する画像を選択▶決定を押す

画像の保存
題名
sample
ファイル制限
なし
ファイル名
sample

● 各項目の説明→P357「画像の情報を表示します」操作2
● 題名を変更するときは、メニュー▶「1題名を変更」を押して、題名を入力します。全角で最大18文字、半角で最大36文字入力できます。
● 待受画面に設定するときは、メニュー▶「2画面へ貼り付け」▶「1待受画面」を押します。
● ワンタッチダイヤルの着信画像に設定するときは、メニュー▶「2画面へ貼り付け」▶「2ワンタッチダイヤル画面」▶「1ワンタッチ1」～「3ワンタッチ3」のいずれかを押します。

3 決定を押す

画像を保存した旨のメッセージが表示されます。

4 決定を押す

サイト表示に戻ります。

● 「画像を見る」の「ｉモード」フォルダに保存されます。→P354
● ━▶「1終了する」を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● 画像の保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、不要な画像を削除するかどうかの確認画面が表示されます。画像を保存する場合は、画面の指示に従いFOMA端末内の画像を削除します。削除する前に、画像一覧で電話帳を押すと画像表示とリスト表示が切り替わり、メニューを押すと画像の詳細情報を表示できます。
● 画像入りのサイトを表示する際、画像の横幅がディスプレイより大きいときは縮小して表示されます。
● 画像によっては正しく表示できない場合があります。
● 横縦（または縦横）のサイズが次の大きさを超える画像は保存できません。
GIF形式：640×480（ドット）　JPEG形式：1728×2304（ドット）

ｉメロディ

サイトからメロディをダウンロードします

サイトからお気に入りのメロディをダウンロードし、FOMA端末に保存します。保存したメロディを再生したり、着信音に設定したりできます。

● 保存できるメロディのデータサイズは1件あたり最大100Kバイトです。
● SMF形式、MFi形式のメロディを保存できます。
● 再生時の音量は着信音量の設定に従います。→P70

次ページへ

● 最大保存件数→P520

1 メロディのあるサイトを表示し、ダウンロードするメロディを選択▶決定を押す

ダウンロードが
完了しました

1再生する
2保存する
3保存しない

● ダウンロード中に電話帳：ダウンロードを中止します。

2 「2保存する」を押す

題名を
入力してください
エリーゼのために

● 題名を変更するときは、題名を入力します。全角で最大25文字、半角で最大50文字入力できます。
● メロディを再生するには「1再生する」を押します。
● 再生中に／：音量を調節します。

3 決定を押す

メロディを保存した旨のメッセージが表示されます。

4 決定を押す

サイト表示に戻ります。

● 「保存した曲の詳細を設定する」の「ｉモード」フォルダに保存されます。→P374
● ▶「1終了する」を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● メロディの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、不要なメロディを削除するかどうかの確認画面が表示されます。メロディを保存する場合は、画面の指示に従いFOMA端末内のメロディを削除します。削除する前に、メロディ一覧で電話帳を押すとメロディを再生し、メニューを押すとメロディの詳細情報を表示できます。
● メロディによっては正しく再生できない場合があります。

ｉモードの便利な機能

表示中の画面の電話番号やe-mailアドレス、URLから直接電話をかけたり、メールを作成したり、サイトに接続したりすることができます。また、FOMA端末電話帳に登録することもできます。

● サイトによっては利用できない機能があります。

表示中画面からの発信（電話のかけかた）<Phone To機能>

表示中の画面(サイト、画面メモ、メッセージR/Fなど)の電話番号から、直接電話をかけます。

〈例〉サイト中の電話番号に電話をかけるとき

1 サイトを表示し、電話番号を選択▶決定を押す

090XXXXXXXX
に電話を
かけますか？

1 電話をかける
2 電話をかけない

● テレビ電話用の電話番号だった場合は、音声電話で発信する旨のメッセージが表示されます。決定を押します。

2 「1 電話をかける」を押す

選択した電話番号に電話がかかります。

● メニュー　　　　　　　：発信者番号の通知／非通知の設定をします。→P57
● 「2 電話をかけない」：電話をかけることを中止します。

表示中画面からのメール送信<Mail To機能>

表示中の画面（サイト、画面メモ、メッセージR/Fなど）のメールアドレスから、直接ｉモードメールを作成します。

● SMSは作成できません。

〈例〉サイト内のメールアドレスにｉモードメールを送信するとき

1 サイトを表示し、メールアドレスを選択▶決定を押す

選択したメールアドレスが宛先に設定されているメール作成画面が表示されます。

● 以降の操作→P268「簡単な操作でｉモードメールを作成して送信します」操作4以降、P273「ｉモードメールを作成して送信します」操作4以降

次ページへ

お知らせ

- 複数のメールアドレスが列記されている場合、Mail To機能を使用できない場合があります。
- 表示しているサイトのURLをメールの本文に挿入して、メールを作成することができます。サイト表示中に(メニュー)▶「9メールを作る」を押して操作します。

表示中画面からのインターネット接続<Web To機能>

表示中の画面（サイト、画面メモ、メッセージR/Fなど）のURLから、直接サイトやインターネットホームページに接続します。

〈例〉画面メモに表示されているURLに接続するとき

1 画面メモを表示し、URLを選択▶(決定)を押す

選択したURLサイトに接続します。

- 画面メモ表示方法→P216
- (終話)▶「1終了する」を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- 表示中の画面によってはURLを選択▶(決定)を押すと、iモードに接続してサイトを表示するかどうかの確認画面が表示されます。「1接続して表示」を押すとサイトに接続します。

URLのコピー

表示中のサイトや画面メモのURLをコピーします。コピーした文字は、メール作成画面などの入力欄に貼り付けることができます。

- コピーした文字は電源を切るまでFOMA端末に記録され、別の場所に何度でも貼り付けることができます。
- 記録できるのは1件だけです。新たにコピーを行うと、直前にコピーしている文字に上書きされます。

〈例〉サイトのURLをコピーするとき

1 サイトのURLを表示して(メニュー)▶「1URLをコピー」を押す

http://ΔΔΔΔΔΔ.ne
.jp/□□□□□□/Δ□Δ□Δ
□Δ□Δ.html

コピー開始位置を
選んでください

- サイトのURLの表示方法→P203

2 コピーする範囲の開始位置を選択▶決定▶終了位置を選択▶決定を押す

URLをコピーした旨のメッセージが表示されます。

- 開始位置を選択し直すときは戻るを押します。
- 開始位置を選択する前にメニュー：全文が選択されます。
- 開始位置選択後にメニュー／電話帳：カーソルが文頭／文末に移動します。

3 決定を押す

URL表示画面に戻ります。

- 貼り付け方法→P446「文字のコピーと貼り付け」操作5
- ー▶「1終了する」を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- URL履歴一覧、フォルダ内のブックマーク一覧が表示されている画面、画面メモ一覧から操作する場合は、▶「URLをコピー」を押します。これらの画面から操作する場合はURL全体がコピーされます。

電話番号やメールアドレスの電話帳登録

表示中の画面（サイト、画面メモ、メッセージR/F）の電話番号やメールアドレスをFOMA端末電話帳に登録します。新規に登録することも、登録済みの電話帳データに追加することもできます。

新規登録します

〈例〉サイトの電話番号やメールアドレスを新規登録するとき

1 電話番号やメールアドレスがあるサイトを表示する

2 登録する電話番号やメールアドレスを選択▶メニュー▶「0電話帳に登録」▶「1新規に登録」を押す

- 以降の操作→P88「ステップ1」操作2以降

次ページへ

● メッセージR/F詳細画面から操作する場合は、登録する電話番号やメールアドレスを選択▶(メニュー)▶「4登録する」▶「1電話帳新規登録」を押します。

登録済みの電話帳データに追加します

〈例〉サイトの電話番号やメールアドレスを追加登録するとき

1 電話番号やメールアドレスがあるサイトを表示する

2 登録する電話番号やメールアドレスを選択▶(メニュー)▶「0電話帳に登録」▶「2追加で登録」を押す

電話帳の検索画面が表示されます。

3 追加登録する電話帳データを選択▶(決定)を押す

電話帳データに追加した旨のメッセージが表示されます。

● 検索方法→P101

4 (決定)を押し、「2終了する」を押す

サイト表示に戻ります。

● (終話)▶「1終了する」を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

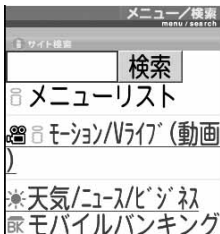
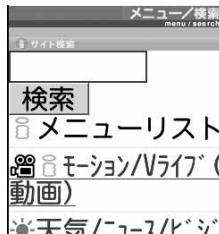
● 登録済みの電話帳データに追加すると、以前に登録した内容が変更される場合があります。
● メッセージR/F詳細画面から操作する場合は、登録する電話番号やメールアドレスを選択▶(メニュー)▶「4登録する」▶「2電話帳追加登録」を押します。

ｉモードの詳細機能を設定します

サイトやメッセージR/Fなどの詳細機能を設定します。

文字のサイズ設定

お買い上げ時　標準の大きさ

サイトを表示するときの文字の大きさを設定します。

＜標準の大きさ：
1行全角で10文字（半角20文字）＞

＜大きく表示　：
1行全角で8文字（半角16文字）＞

1 **待受画面で(ﾒﾆｭｰ)▶「9詳細な設定」▶「7ｉモードの詳細を設定する」▶「2文字の大きさを選ぶ」を押す**

ｉﾓｰﾄﾞｻｲﾄ表示の
文字の大きさを
選んでください
1 標準の大きさ
2 大きく表示

2 **「1標準の大きさ」または「2大きく表示」を押す**

ｉモードサイト表示の文字の大きさを設定した旨のメッセージが表示されます。

3 **(決定)を押す**

メニュー画面に戻ります。

● (ー)を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

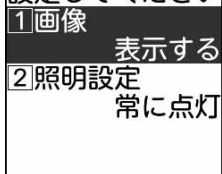
● 文字の大きさを変更すると、次にサイトを表示するときも変更後の文字の大きさで表示されます。

画像表示・照明設定

お買い上げ時　画像：表示する　照明設定：常に点灯　効果音設定、アニメーション：再生する　端末情報利用：利用する

サイトや画面メモ、メッセージR/Fなどの内容を表示したときの画像や照明を設定します。

1 待受画面で[メニュー]▶「9詳細な設定」▶「7 i モードの詳細を設定する」▶「3画像表示・照明を設定する」を押す

画像･照明を
設定してください
1画像
表示する
2照明設定
常に点灯

1画像　：画像を表示するかしないかを設定します。
2照明設定：ディスプレイの照明方法を設定します。

2 「1画像」または「2照明設定」を押す

■ 画像を表示するかしないかを設定するとき

「1画像」▶「1表示する」または「2表示しない」を押す

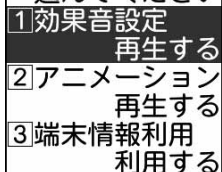
- 「表示しない」に設定すると、詳細の「アニメーション」、「端末情報利用」は設定できません。

■ 照明方法を設定するとき

「2照明設定」▶「1常に点灯」または「2設定時間で消灯」を押す

- 「常に点灯」に設定すると、サイトなどの表示中はディスプレイの照明が常時点灯します。
- 「設定時間で消灯」に設定すると、照明設定の「照明時間」に従います。→P141

3 [メニュー]を押す

変更する項目を
選んでください
1効果音設定
再生する
2アニメーション
再生する
3端末情報利用
利用する

1効果音設定　：Flash効果音を再生するかしないかを設定します。
2アニメーション：アニメーションを再生するかしないかを設定します。
3端末情報利用　：Flash画像を表示するときにFOMA端末内の登録データを利用するかしないかを設定します。

4 「1効果音設定」～「3端末情報利用」のいずれかを押す

■ Flash効果音を鳴らすかどうかを設定するとき

「1効果音設定」▶「1再生する」または「2再生しない」を押す

■ アニメーションを再生するかしないかを設定するとき

「2アニメーション」▶「1再生する」または「2再生しない」を押す

■ 端末情報を利用するかしないかを設定するとき

「3端末情報利用」▶「1利用する」または「2利用しない」を押す

5 設定した後に(電話帳)を押す

画像表示・照明を設定した旨のメッセージが表示されます。

6 (決定)を押す

メニュー画面に戻ります。

● (終話)を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● サイト表示画面から操作する場合は、(メニュー)▶「#表示を設定」▶「1表示・効果設定」を押します。
●「画像」を「表示する」に設定しても、画像が正しく表示されない場合があります。
●「画像」を「表示しない」に設定すると、画像の位置に(画像アイコン)が表示されます。
●「アニメーション」を「再生しない」に設定したときは、アニメーションの最初の画像が表示されます。ただし、Flash画像は再生されます。
●「画像」の設定は、メッセージR/Fの本文中に表示される画像の表示／非表示には影響しますが、添付されている画像の表示／非表示には影響しません。
●「端末情報利用」を「利用する」に設定すると、電池残量、受信レベル、時刻情報、電話の着信音量、言語情報、機種情報がインターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信される場合があるため、第三者に知得される可能性があります。

接続待ち時間設定

お買い上げ時　60秒間

ｉモードセンターに接続するまでの最大待ち時間を設定します。接続が正常に行われないときなどに、設定した時間で自動的に接続を中断するので、ボタン操作で中断する必要はありません。

1 待受画面でメニュー▶「9詳細な設定」▶「7ｉモードの詳細を設定する」▶「5接続までの待ち時間を設定する」を押す

接続するまでの
最大の待ち時間を
選んでください
1 6 0秒間
2 9 0秒間
3 時間制限なし

2 「1 60秒間」～「3 時間制限なし」のいずれかを押す

接続までの待ち時間を設定した旨のメッセージが表示されます。

- 接続するまでの待ち時間を設定せずに、接続するまで待つときは「3 時間制限なし」を押します。

3 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

- ー を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- 「時間制限なし」に設定しても、電波状況などによりｉモードセンターとの接続が中断される場合があります。

ｉモードからの接続先変更（ISP接続通信）

お買い上げ時　ｉモード

※ドコモのｉモードサービスをご利用の場合は、設定を変更する必要はありません。

● ｉモード契約時の接続先は、ご契約いただいた地域により異なります。

ISP接続通信とは

ドコモのｉモード端末の接続先を切り替えることで、各種プロバイダ（ISP）への接続が可能になります。プロバイダに接続した際にパケット通信料がかかります。

●ISP接続を行った際のパケット通信は、パケ・ホーダイ／パケ・ホーダイフルの対象とはなりませんのであらかじめご了承ください。

※ドコモへの新たなお申し込みは不要です。

プロバイダ契約について

●ISP接続通信をご利用いただくには、別途プロバイダへのお申し込みが必要です。各プロバイダのサービス内容（サイト接続、インターネット接続、メール機能など）、お申し込み方法については各プロバイダにお問い合わせください。

●プロバイダが提供するサービス内容によっては、別途情報料などがかかる場合がありますが、ドコモからご請求することはありません。

●お客様が閲覧されるサイトによっては、お客様の電話番号が実際に閲覧されるサイトを提供するプロバイダに通知される場合があります。

●登録できる接続先は最大10件です。

●通信中は接続先の設定／変更はできません。

1 待受画面で(メニュー)▶「9詳細な設定」▶「7ｉモードの詳細を設定する」▶「6接続先番号を設定する」を押す

接続先一覧
☑ｉモード
ユーザ設定1
ユーザ設定2
ユーザ設定3
ユーザ設定4
ユーザ設定5
ユーザ設定6

次ページへ

2 編集するユーザ設定を選択▶(メニュー)を押す

暗証番号を
入力してください

■ ｉモードを利用する設定に戻すとき

「ｉモード」を選択▶(決定)を押す

□が☑に変わります。操作8に進みます。

■ 以前に設定した接続先に変更するとき

接続先を選択▶(決定)を押す

□が☑に変わります。操作8に進みます。

3 4～8桁の端末暗証番号を入力▶(決定)を押す

ｉモード接続先を
設定してください
1接続先名称
2接続先
未設定
3接続先アドレス
未設定

4 「1接続先名称」▶接続先名を入力▶(決定)を押す

操作3の画面に戻ります。

● 全角で最大6文字、半角で最大12文字入力できます。

5 「2接続先」▶接続先を入力▶(決定)を押す

操作3の画面に戻ります。

● 半角英数字で最大99文字入力できます。
● 一部の記号や半角空白などを入力すると登録できません。

6 「3接続先アドレス」▶アドレスを入力▶(決定)を押す

操作3の画面に戻ります。

● 半角英数字で最大30文字入力できます。

■ ｉチャネルの接続先を設定／変更するとき

(メニュー)▶「1接続先アドレス2」▶アドレスを入力▶(決定)を押す

7 (電話帳)▶編集した接続先を選択▶(決定)を押す

選択した接続先の□が☑に変わります。

8 (電話帳)を押す

接続先を設定した旨のメッセージが表示されます。

9 **決定を押す**

メニュー画面に戻ります。

● ［終話］を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● 接続先を変更すると、ｉチャネルの情報が初期化され、待受画面にｉチャネルのテロップは表示されなくなります。待受画面で決定を押してチャネル一覧を表示すると、最新の情報を受信し、テロップも表示されます。

証明書を表示して有効／無効を設定<証明書表示／使用設定>

お買い上げ時　CA証明書1～11　ドコモ証明書1

SSL通信用の証明書を表示して確認したり、有効／無効を設定したりできます。

● 青色のFOMAカードを取り付けて使用している場合は、「ドコモ証明書」「ユーザ証明書」は表示されません。

1 **待受画面でメニュー▶「9詳細な設定」▶「7ｉモードの詳細を設定する」▶「7証明書の表示と使用を設定する」を押す**

証明書一覧
☑CA証明書1
☑CA証明書2
☑CA証明書3
☑CA証明書4
☑CA証明書5
☑CA証明書6
☑CA証明書7

● 設定状態は次のとおりです。
☑：有効　□：無効

● ［←］［→］：証明書が複数ページある場合は、前後のページを表示できます。

2 **表示する証明書を選択▶決定を押す**

CA証明書1
証明書の所有者：
CN=XXXXXXXX
O=ΔΔΔΔΔΔΔΔ, Inc.
C=US
証明書の発行者：
CN=XXXXXXXX
OU=ΔΔΔΔΔΔΔΔ, Inc

● ［←］［→］：前後の証明書を表示できます。

● ［終話］を押すと待受画面に戻ります。

■ 証明書の有効／無効を設定するとき

① **設定する証明書を選択▶メニューを押す**

☑または□に変わります。

- 無効に設定すると、その証明書を使うページに接続できなくなります。

② **電話帳を押す**

SSL通信に使用する証明書を登録した旨のメッセージが表示されます。

③ **決定を押す**

メニュー画面に戻ります。

- ［終話］を押すと待受画面に戻ります。

次ページへ

● CA証明書 … 認証会社が発行した証明書で、お買い上げ時の端末内に保存されています。
● ドコモ証明書 … FirstPassセンターやFirstPass対応サイトに接続するために必要な証明書で、あらかじめ緑色または白色のFOMAカード内に保存されています。
● ユーザ証明書 … FirstPass対応サイトへ接続するために必要な証明書で、ダウンロードすると緑色または白色のFOMAカード内に保存されます。FirstPassセンターで発行要求を行います。→P245
● 証明書の表示内容
証明書の所有者
CN= …（Common Name）サーバの名前、管理者名、または識別番号
O= …（Organization）会社名など
C= …（Country）国名
証明書の発行者
CN= …（Common Name）サーバの名前、管理者名、または識別番号
OU= …（Organization Unit）会社の部署など
O= …（Organization）会社名など
有効期限
シリアル番号
● 証明書の所有者、発行者、有効期限について記述がない場合、記述がない項目は項目名のみ表示されます。

メッセージR/F受信

メッセージR/Fを受信したときは

メッセージサービスは、欲しい情報が自動的にお客様のFOMA端末に届くサービスです。メッセージR/Fを受信すると、画面表示や着信音、バイブレータ、ランプでお知らせします。受信したメッセージR/FはFOMA端末に保存されます。

● 最大保存件数→P520

1 メッセージR/Fを受信する

<メッセージRの場合>

と R または F が点滅し、左の画面が表示されます。

● メッセージ受信中に 決定 を押すと受信を中止できますが、受信中の状況によってはメッセージR/Fを受信する場合があります。
● FOMA端末を折り畳んでいるときは、背面ディスプレイに「メッセージリクエスト受信中」または「メッセージフリー受信中」が表示されます。

2 メッセージの受信結果が表示される

が点灯して着信音量（→P70）で設定した音量でメッセージR/F着信音が鳴り、ランプが点滅します。

- 受信結果画面が表示されてから約15秒間、またはメッセージ着信音が鳴り終わるまでの間（鳴らす時間を15秒以上に設定している場合）何も操作しないと、自動的に受信前の画面に戻ります。
- すぐに受信前の画面に戻すときは戻るを押します。
- メッセージR/F一覧を表示するか待受画面に戻ると が消えます。

■ 受信したメッセージR/Fをすぐに確認するとき

「2メッセージR」または「3メッセージF」を押す

メッセージ一覧が表示されます。→P240

■ 受信に失敗したとき

「2メッセージR」「3メッセージF」の後ろに「×」が表示されます。

- メッセージR/Fを受信し直すには、ｉモード問合せを行ってください。→P237

■ メッセージR/Fの自動表示を設定しているとき

受信前の画面に戻る前に、設定に従って受信したメッセージR/Fの内容が表示されます。→P235

おしらせ

- メッセージR/Fを受信したときは、メッセージ受信時の動作に設定した着信音に従い動作します。複数のｉモードメールやSMS、メッセージR/Fを同時に受信したときは、最後に受信したｉモードメールやSMS、メッセージR/Fに設定した条件に従い動作します。
  ｉモードメール、SMSを受信したときの着信音設定の優先順位は次のとおりです。
  ①ワンタッチダイヤルのメール着信音設定
  ②電話帳のグループ専用のメール着信音設定
  ③メール着信音設定
- メッセージR/Fの保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるときは、古いメッセージR/Fから順に上書きされます。ただし、未読のメッセージR/Fと保護されているメッセージR/Fには上書きされません。残しておきたいメッセージR/Fは保護してください。→P243
  未読メッセージR/Fと保護されているメッセージR/Fで保存領域が満杯で上書きできないときは、メッセージR/Fの受信は中止され、画面には R（赤）や F（赤）のマークが表示されます。
- FOMA端末でメッセージR/Fを受信すると、ｉモードセンターに保管されているメッセージR/Fは削除されます。
- ｉモードセンターにメッセージR/Fが残っているときは、（黒）（黒）や（黒）のマークが表示されます。ただし、メッセージR/Fがあっても表示されない場合もあります。また、ｉモードセンターの保管件数が満杯になったときは、マークが（赤）（赤）や（赤）に変わります。
  ｉモードセンターに残っているメッセージR/Fを受信する場合は、ｉモード問合せ（→P237）を行ってください。ただし、受信したメッセージR/Fが最大保存件数まで達しているときは、あらかじめ未読のメッセージR/Fの内容を見る（→P240）、保護を解除する（→P243）などを行う必要があります。

次ページへ

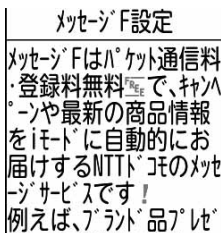
● 次のような場合に送られてきたメッセージR/Fはｉモードセンターに保管されます。
- 電源が入っていないとき
- セルフモード中
- FirstPassセンター接続中
- 受信に失敗したとき
- ｉモード圏外のとき
- SMS受信中
- 未読メッセージR/Fと保護されているメッセージR/Fで保存領域が満杯のとき

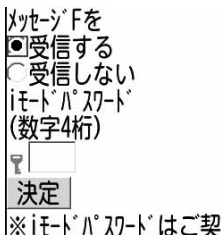
● 待受画面／メニュー画面以外（他の機能が起動中）のときや個人情報表示制限中は、メッセージR/Fを自動受信しますが、受信中画面や受信結果画面は表示されず、着信音とランプも動作しません。受信したメッセージR/Fを確認するには、他の機能を終了／各制限を解除してください。

メッセージＦの受信設定

メッセージFを受信するかどうかを設定します。

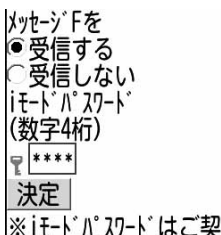
1 待受画面で決定を１秒以上▶「1 ｉMenuを見る」▶「料金＆お申込・設定」を選択▶決定▶「オプション設定」を選択▶決定▶「メッセージF設定」を選択▶決定を押す

メッセージF設定
メッセージFはパケット通信料・登録料無料FREEで、キャンペーンや最新の商品情報をiモードに自動的にお届けするNTTドコモのメッセージサービスです！
例えば、ブランド品プレゼ

2 「○受信する」または「○受信しない」を選択▶決定を押す

メッセージFを
◉受信する
○受信しない
iモードパスワード
(数字4桁)
[ ]
決定
※iモードパスワードはご契

● 選択されると○が◉に変わります。

3 ｉモードパスワード欄を選択▶決定▶ｉモードパスワードを入力▶決定を押す

メッセージFを
◉受信する
○受信しない
iモードパスワード
(数字4桁)
[****]
決定
※iモードパスワードはご契

ｉモード／ｉモーション／ｉチャネル
メッセージR／F受信

4 「決定」を選択▶決定を押す

メッセージFが設定されます。

● ▶「1終了する」を押すと待受画面に戻ります。

メッセージR/Fの未読メッセージ自動表示の設定

お買い上げ時 メッセージR優先

メッセージR/Fの受信結果画面（→P233「メッセージR/Fを受信したときは」操作2）から受信前の画面に戻るときに、受信したメッセージR/Fの内容を自動的に表示できます。

1 待受画面でメニュー▶「9詳細な設定」▶「6メッセージの詳細を設定する」▶「2未読メッセージを自動で表示する」を押す

自動で表示する
メッセージを
選んでください
1ﾒｯｾｰｼﾞ Rのみ
2ﾒｯｾｰｼﾞ Fのみ
3ﾒｯｾｰｼﾞ R優先
4ﾒｯｾｰｼﾞ F優先
5自動表示しない

1メッセージRのみ：受信したメッセージRのみを自動表示するように設定します。

2メッセージFのみ：受信したメッセージFのみを自動表示するように設定します。

3メッセージR優先：メッセージR/Fを同時に受信した場合に、メッセージRを優先して自動表示するように設定します。メッセージFのみ受信した場合は、メッセージFを自動表示します。

4メッセージF優先：メッセージR/Fを同時に受信した場合に、メッセージFを優先して自動表示するように設定します。メッセージRのみ受信した場合は、メッセージRを自動表示します。

5自動表示しない：メッセージR/Fを受信しても、自動で表示しないように設定します。

2 「1メッセージRのみ」～「5自動表示しない」のいずれかを押す

メッセージの自動表示方法を設定した旨のメッセージが表示されます。

3 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

● を押すと待受画面に戻ります。

次ページへ

お知らせ

- メッセージR/Fの内容は約15秒間表示されます。自動表示中にボタン操作を行わなかった場合は、メッセージR/Fは未読の状態で保存されます。
- 受信結果画面からメールやメッセージR/Fの表示操作を行った場合は自動表示されません。また、iモード問合せでメッセージR/Fを受信したときは、自動表示されません。
- 待受画面／メニュー画面以外（他の機能が起動中）からは自動表示できません。

メッセージR/Fに添付されたメロディの自動演奏の設定

お買い上げ時　自動演奏する

メロディが添付されているメッセージR/Fを表示したときに、メロディを自動的に演奏するかどうかを設定します。

1 待受画面で(メニュー)▶「9詳細な設定」▶「6メッセージの詳細を設定する」▶「1メッセージのメロディを自動演奏する」を押す

添付された
メロディを自動で
演奏しますか？

1自動演奏する
2自動演奏しない

2 「1自動演奏する」または「2自動演奏しない」を押す

自動演奏する／自動演奏しないに設定した旨のメッセージが表示されます。

3 (決定)を押す

メニュー画面に戻ります。

- (終話)を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- メロディの添付されたメッセージR/Fが自動表示されたときは、本機能の設定に関わらずメロディは自動的に演奏されません。
- 本機能の設定は、「添付のメロディを自動演奏する」の設定にも反映されます。→P320

iモード問合せ　　メニュー261／363

メッセージR/Fがあるかどうかを問い合わせます

圏外にいた間や電源を切っていた間などにメッセージR/Fが届いていないかを問い合わせます。

● 電波状態によってはｉモード問合せができない場合があります。

1 待受画面で(決定)を1秒以上▶「6メッセージを見る」▶「3届いているメール・メッセージを受信する」を押す

ｉモード問合せが実行されます。ｉモードセンターにメッセージR/Fが保管されていれば受信します。

● ｉモード問合せ中に(決定)を押すと、問い合わせを中止できますが、問い合わせの状況によってはメッセージを受信する場合があります。

● 受信結果画面の操作は自動受信時と同様です。→P233
ただし、ｉモード問合せでメッセージR/Fを受信したときは、自動受信時とは異なり、約15秒経過しても元の画面には戻りません。(終話)を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● 問い合わせを行うメッセージの種類は選択できます。→P298

メニュー364

メッセージR/Fが着信したときの着信音を設定します

お買い上げ時　［メッセージリクエスト、メッセージフリー］着信音設定：鳴らす　着信音：着信音2
鳴らす時間：10秒

1 待受画面で(決定)を1秒以上▶「6メッセージを見る」▶「4メッセージが届いた時の音を選ぶ」を押す

着信音を
設定するﾒｯｾｰｼﾞを
選んでください

1 ﾒｯｾｰｼﾞﾘｸｴｽﾄ
2 ﾒｯｾｰｼﾞﾌﾘｰ

次ページへ

2 「1メッセージリクエスト」または「2メッセージフリー」を押す

1着信音設定：着信音を鳴らすかどうかを設定します。
2着信音　　：着信音を鳴らすときのメロディや着モーションを設定します。
3鳴らす時間：着信音を鳴らす時間を1～30秒の間で設定します。

3 「1着信音設定」を押す

着信音を鳴らすかどうかの確認画面が表示されます。

- 「2着信音」　　：着信音から設定します。操作5に進みます。
- 「3鳴らす時間」：鳴らす時間から設定します。操作6に進みます。

4 「1鳴らす」を押す

着信音の選択画面が表示されます。

- 「2鳴らさない」：着信音を鳴らさないように設定します。「着信音」「鳴らす時間」は設定できません。操作7に進みます。

5 「1メロディ」または「2着モーション」▶フォルダを選択▶決定▶着信音を選択▶決定を押す

着信音を鳴らす時間を設定する画面が表示されます。

- メロディまたは動画／ｉモーションの再生方法→P129「携帯電話から鳴る着信音を変えます」操作5

6 鳴らす時間を入力▶決定を押す

操作2の画面に戻ります。

7 電話帳を押す

着信音を設定した旨のメッセージが表示されます。

8 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

- 終話を押すと待受画面に戻ります。

メッセージR/Fが着信したときの振動パターンを設定します

お買い上げ時　［メッセージリクエスト、メッセージフリー］振動させない

メッセージR、メッセージFを受信したときの振動パターンを設定します。

1 待受画面で(決定)を1秒以上▶「6メッセージを見る」▶「5メッセージが届いた時の振動を選ぶ」を押す

振動パターンを
設定するメッセージを
選んでください

1メッセージリクエスト
2メッセージフリー

2 「1メッセージリクエスト」または「2メッセージフリー」を押す

メッセージが
届いた時の振動を
選んでください

1パターンAで振動
2パターンBで振動
3パターンCで振動
4振動させない

● 振動パターンについて→ P131「着信を振動でお知らせします」操作1

3 「1パターンAで振動」～「4振動させない」のいずれかを押す

振動パターンを設定した旨のメッセージが表示されます。

4 (決定)を押す

メニュー画面に戻ります。

● (⌒)を押すと待受画面に戻ります。

メッセージR/F　メニュー361／362

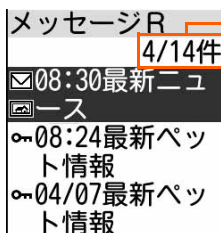
受信したメッセージR/Fを表示します

FOMA端末に保存されているメッセージR/Fを表示します。

● 未読のメッセージR/Fがあるときは待受画面にRまたはFが表示されます。

〈例〉メッセージRを表示するとき

1 待受画面で決定を1秒以上▶「6メッセージを見る」▶「1メッセージリクエストを見る」を押す

メッセージR
4/14件
08:30最新ニュース
08:24最新ペット情報
04/07最新ペット情報

メッセージR/F番号／メッセージ件数
受信日時（受信当日：時刻　当日以外：日付）、題名

● メッセージFを表示するときは決定を1秒以上▶「6メッセージを見る」▶「2メッセージフリーを見る」を押します。

● ←→：メッセージR/Fが複数ページある場合は、前後のページを表示できます。

● メッセージの状態は、次のマークで確認できます。

マーク		説　明
状　態	✉	未読メッセージ
	表示なし	既読メッセージ
	鍵	保護されたメッセージ
添　付	画像	添付画像
	画像+♪	添付画像＋添付メロディ
	♪	添付メロディ
	異常	異常添付データ

● メッセージR/Fが保存されていないときは、メッセージがない旨のメッセージが表示されます。

2 表示するメッセージRを選択▶(決定)を押す

状態マーク、添付マーク、メッセージR/F番号／メッセージ件数

添付データがある場合は、マーク、データ名、データサイズが表示→P303、P308

- ●(◁)(▷)：前後のメッセージR/Fを表示できます。
- ●メッセージ本文は、次のマークで確認できます。

マーク	説　明
(時計マーク)	受信した日時
題	題名

- ●(終話)を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- ●メッセージR/Fに添付されたメロディを自動演奏するように設定している場合（→P236）、メロディが添付されているメッセージR/Fを表示すると、着信音量（→P70）で設定した音量で、メロディが自動的に再生されます。再生を止めるときは、(戻る)を押します。
- ●本文中に画像が挿入されている場合に画像が受信できなかったときは⊗／(画像マーク)／(画像マーク)が表示されます。→P196

メッセージR/Fの画像再読み込み

メッセージR/Fの本文中に未受信の画像があるときに、画像を受信し直します。

- ●画像表示・照明設定で「画像」を「表示しない」に設定しているときは、再読み込みを行っても画像は受信できません。→P226
- ●画像によっては再読み込みを行っても表示できない場合があります。

1 未受信の画像があるメッセージR/F詳細画面を表示する

- ●操作方法→P240
- ●(画像マーク)は受信していない画像データがあることを示します。

2 (メニュー)▶「1再読み込み」を押す

画像が読み込まれます。

添付データの表示・保存

メッセージR/Fに添付されている画像を表示・保存したり、メロディを再生・保存したりします。

〈例〉画像を保存するとき

1 画像が添付されているメッセージR/F詳細画面を表示する

- 操作方法→P240
- 添付データの意味をマークで確認できます。→P240

2 保存する画像のファイル名を選択▶メニュー▶「6添付データ確認」▶「2画像を保存」を押す

- 以降の操作→P219「サイトから画像をダウンロードします」操作2以降

■ メロディを保存するとき

保存するメロディのファイル名を選択▶メニュー▶「6添付データ確認」▶「2メロディを保存」を押す

・以降の操作→P220「サイトからメロディをダウンロードします」操作2以降

■ 画像やメロディを表示・再生するとき

表示・再生するファイル名を選択▶決定を押す

・添付データが画像の場合は、画像の表示／非表示が切り替わります。

■ メロディのタイトルを表示するとき

確認するファイルを選択▶メニュー▶「6添付データ確認」▶「3題名を確認」を押す

・画像の添付データは操作できません。

お知らせ

- 本文中の画像を保存する場合は、メニュー▶「5 画像を保存」を押します。以降の操作はサイトから画像をダウンロードする操作と同様です。→P219「サイトから画像をダウンロードします」操作2以降

メッセージR/Fの削除

1件ずつ選択して削除したり、既読のメッセージR/Fやすべてのメッセージ R/Fをまとめて削除したりすることができます。

- 保護されているメッセージR/Fは削除できません。全件削除しても保護されているメッセージR/Fは残ります。保護を解除してから削除してください。

1 メッセージR/F一覧を表示する

●操作方法→P240「受信したメッセージR/Fを表示します」操作1

2 削除するメッセージR/Fを選択▶(メニュー)▶「1削除する」▶「1選択1件」を押す

メッセージを削除するかどうかの確認画面が表示されます。

●既読のみ削除するときは、(メニュー)▶「1削除する」▶「2既読のみ全件」を押します。

●全件削除するときは、(メニュー)▶「1削除する」▶「3メッセージ全件」を押し、4～8桁の端末暗証番号を入力▶(決定)を押します。

3 「1削除する」を押す

メッセージを削除した旨のメッセージが表示されます。

●「2削除しない」: 削除を中止します。

4 (決定)を押す

メッセージ一覧に戻ります。

●(終話)を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

●メッセージR/F詳細画面から1件削除する場合は、(メニュー)▶「2削除する」を押して操作します。

メッセージR/Fの保護／解除

保存領域の空きがなくなっても、メッセージR/Fを受信したときに上書きされないようにメッセージR/Fを保護します。

●未読のメッセージR/Fは保護できません。

●最大保護件数→P520

〈例〉メッセージR/Fを1件保護するとき

1 メッセージR/F一覧を表示する

●操作方法→P240「受信したメッセージR/Fを表示します」操作1

2 保護するメッセージR/Fを選択▶(メニュー)▶「2保護／解除する」▶「1選択1件保護」を押す

メッセージR/Fが保護されます。

●状態マークが(鍵マーク)に変わります。

●(終話)を押すと待受画面に戻ります。

次ページへ

■ 保護を1件解除するとき

保護を解除するメッセージR/Fを選択▶(メニュー)▶「2保護／解除する」▶「2選択1件解除」を押す

- 保護を全件解除するときは、(メニュー)▶「2保護／解除する」▶「3全件解除」を押します。

お知らせ

- メッセージR/F詳細画面から保護／保護を解除する場合は、(メニュー)▶「3保護する」または「3保護を解除する」を押して操作します。

メッセージR/F一覧の表示方法の変更

お買い上げ時 全て表示

メッセージR/F一覧を一時的にメッセージの状態別に表示します。

1 メッセージR/F一覧を表示する

- 操作方法→P240「受信したメッセージR/Fを表示します」操作1

2 (メニュー)▶「3表示方法を変更」を押す

表示方法を
選んでください
1全て表示
2未読のみ表示
3既読のみ表示
4保護のみ表示

3 「1全て表示」～「4保護のみ表示」のいずれかを押す

選択した表示方法で表示されます。

- (終話)を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- メッセージR/F一覧の表示を終了すると「全て表示」に戻ります。
- 「既読のみ表示」では、保護されているメッセージR/Fは表示されません。

ユーザ証明書操作

ユーザ証明書を操作します

FirstPassセンターからユーザ証明書の発行要求や、ダウンロードができます。

● 青色のFOMAカードではご利用になれません。

ユーザ証明書の発行申請・ダウンロード

1 待受画面で(メニュー)▶「9詳細な設定」▶「7 i モードの詳細を設定する」▶「8ユーザ証明書を操作する」を押す

FirstPass

・FirstPassをご利用いただくためには、ﾕｰｻﾞ証明書の発行申請、ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞが必要です。
・「次へ」を選択して、ﾕｰｻﾞ証明書の発行申請

2 「次へ」を選択▶(決定)を押す

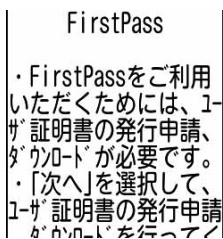
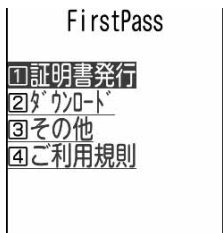
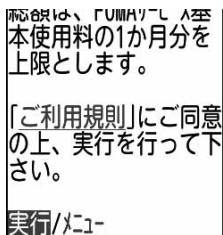
FirstPass

1証明書発行
2ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ
3その他
4ご利用規則

3 「1証明書発行」を押す

本使用料の1か月分を上限とします。

「ご利用規則」にご同意の上、実行を行って下さい。

実行/ﾒﾆｭｰ

■ 発行された証明書を失効させるとき

①「3その他」▶「1証明書失効」を押す

ユーザ証明書を送信するかどうかの確認画面が表示されます。

②「1送信する」を押す

PIN2コード入力画面が表示されます。

③PIN2コードを入力▶(決定)▶(決定)を押す

④「実行」を選択▶(決定)▶「次へ」を選択▶(決定)▶「実行」を選択▶(決定)を押す

次ページへ

4 「実行」を選択▶決定を押す

PIN2コードを
入力してください
残り 3回
入力できます

● PIN2コード→P147

5 PIN2コードを入力▶決定を押す

PIN2コードが認証された旨のメッセージが表示されます。

● 60秒以内にPIN2コードを入力しないと発行申請は中止されます。

6 決定を押す

完了画面が表示され、ユーザ証明書の発行申請が完了します。

● ▶「1終了する」を押すと待受画面に戻ります。

7 「ダウンロード」を選択▶決定を押す

O=NTT DOCOMO, INC.
C=JP
有効期限：
XXXX/XX/XX XX:XX:XX
シリアル番号：
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
XXXXXXXXXXXX
実行/メニュー

8 「実行」を選択▶決定を押す

完了画面が表示され、ユーザ証明書がダウンロードされます。

● ダウンロードされた証明書は、証明書一覧に追加されます。→P231

● ▶「1終了する」を押すと待受画面に戻ります。

● FirstPassセンターに接続した際のパケット通信料はかかりません。
● FirstPassセンターで表示される画面や操作方法は、変更されることがあります。
● FirstPassセンターに接続中は、メールの送受信やメッセージR/Fの受信はできません。
● ユーザ証明書は、お客様がFOMA契約されていることを証明するものです。ダウンロードしたユーザ証明書は緑色または白色のFOMAカードに保存され、FirstPass対応サイトで利用できます。
● 付属のCD-ROMからFirstPass PCソフトをパソコンにインストールすると、FOMA端末をパソコンに接続して、パソコンのブラウザを使ってFirstPassの通信を行うことができます。詳細はCD-ROM内の「FirstPassManual」をご覧ください。「FirstPassManual」(PDF形式)をご覧になるには、Adobe Reader(バージョン6.0以上を推奨)が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、アドビシステムズ株式会社のホームページから最新版をダウンロードできます(別途通信料がかかります)。詳細はアドビシステムズ株式会社のホームページをご覧ください。

FirstPassご使用にあたって

- FirstPassとはドコモの電子認証サービスです。FirstPassを利用することにより、サイト側とFOMA端末側がお互いの証明書を送付し合い、受け取った相手の証明書を検証してお互いの認証を行うクライアント認証が可能となります。
- FirstPassはFOMA端末からのインターネット通信と、FOMA端末をパソコンに接続した状態でのインターネット通信でお使いいただくことが可能です。パソコンでご利用いただくためには、付属のCD-ROM内のFirstPass PCソフトが必要です。
- ユーザ証明書の発行要求をする際は、画面に表示される「FirstPassご利用規則」をよくお読みになり、ご同意の上、要求してください。
- ユーザ証明書のご利用にはPIN2コードの入力が必要です。→P150
  PIN2コード入力後になされたすべての行為がお客様によるものとみなされますので、FOMAカードまたはPIN2コードが他人に使用されないよう十分ご注意ください。
- FOMAカードの紛失、盗難にあった場合などは、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」でユーザ証明書の失効を行うことができます。
- FirstPass対応サイトによって提供されるサイトや情報については、ドコモは何らの義務もないものとし、一切の責任を負いません。お客様とFirstPass対応サイトとの間で解決をお願いいたします。
- FirstPassおよびSSLのご利用にあたり、ドコモおよび認証会社は安全性などに関し保証を行うものではありませんので、お客様ご自身の判断と責任においてご利用ください。

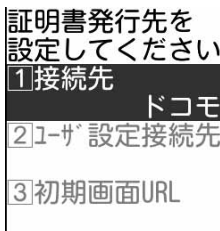
証明書発行先の設定

お買い上げ時　接続先：ドコモ

FirstPass 以外のサービスを受けるときに、接続先を設定します。設定を変更するとFirstPassセンターに接続できなくなります。

通常は設定を変更する必要はありません。

1 待受画面で(メニュー)▶「9詳細な設定」▶「7 i モードの詳細を設定する」▶「9証明書の発行先を変更する」を押す

証明書発行先を
設定してください
1接続先
ドコモ
2ﾕｰｻﾞ設定接続先
3初期画面URL

2 「1接続先」▶「2ユーザ設定」を押す

● FirstPassに接続する設定に戻すときは「1ドコモ」を押し、操作5に進みます。

3 「2ユーザ設定接続先」▶接続先を入力▶(決定)を押す

● 半角英数字で最大99文字入力できます。
● 一部の記号や半角空白などを入力すると登録できません。

4 「3初期画面URL」▶URLを入力▶(決定)を押す

● 半角英数字で最大100文字入力できます。

5 (電話帳)を押す

接続先を設定した旨のメッセージが表示されます。

6 (決定)を押す

メニュー画面に戻ります。

● (終話)を押すと待受画面に戻ります。

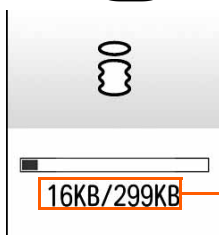
ｉモーションを取得します

サイトやインターネットホームページから映像や音を取得し、再生したり、保存したりできます。保存した映像や音はｉモーションとして再生したり、着モーションに設定できます。

- 再生時の音量はｉモーションの音量設定に従います。→P373
- 最大保存件数→P520
- ｉモーションには、次のような種類があります。種類は取得元のサイトにより異なり、取得するときに変更したり、選択したりできません。

種　類		説　明
タイプ	再生の種類	
標準タイプ（保存可※）	データを取得しながら再生（最大500Kバイト）	ｉモーションのデータを取得しながら再生します。取得完了後は、データを取得した後に再生するときと同様に操作できます。
	データを取得した後に再生（最大500Kバイト）	ｉモーションのデータをすべて取得した後に再生します。
ストリーミングタイプ（保存不可）	データを取得しながら再生（最大2Mバイト）	ｉモーションのデータを取得しながら再生します。再生が終わったｉモーションデータは消去され、繰り返し再生したり、FOMA端末に保存することはできません。

※ 保存できないｉモーションもあります。

1　ｉモーションのあるサイトを表示し、取得するｉモーションを選択▶決定を押す

ｉモーションの取得が始まります。

- データの取得中に電話帳を押すと、取得を中断するかどうかの確認画面が表示されます。中断するときは「1中断する」を押します。

次ページへ

■ データを取得しながら再生するｉモーション（標準タイプ）のとき

取得しながら再生されます。

- 再生中に次の操作ができます。再生終了後は、データを取得した後に再生するｉモーションと同様に操作できます。

操作ボタン	ｉモーションの動作
決定	休止※／再生
メール ／ 電話帳 ／ ＋ －	音量調節
メニュー	停止※
戻る	中断（取得中）／終了（取得完了後）

※ データの取得は継続します。

- データの取得中に再生を中断すると、取得を中断するかどうかの確認画面が表示されます。中断する場合は「1中断する」を押します。

■ データを取得した後に再生するｉモーション（標準タイプ）のとき

取得が完了すると自動的に再生されます。

- 再生中に次の操作ができます。

操作ボタン	ｉモーションの動作
決定	休止／再生
メール ／ 電話帳 ／ ＋ －	音量調節
メニュー／戻る	停止
←／→	巻き戻し／早送り

■ データを取得しながら再生するｉモーション（ストリーミングタイプ）のとき

ストリーミング再生するかどうかの確認画面が表示され、「1再生する」を押すと取得しながら再生されます。

- 再生中に次の操作ができます。

操作ボタン	ｉモーションの動作
決定／戻る	中断
メール ／ 電話帳 ／ ＋ －	音量調節

- 取得または再生を中断すると、中断するかどうかの確認画面が表示されます。中断する場合は「1中断する」を押します。

2 サイトからｉモーションを取得し、再生が終了する

1再生する	：ｉモーションを再生します。
2保存する	：ｉモーションを保存します。
3情報を表示する	：ｉモーションの情報を表示します。→P367「動画／ｉモーションの情報を表示します」操作2
4戻る	：ｉモーションを保存するかどうかの確認画面が表示されます。「2保存しない」を押すと、サイト表示に戻ります。

ｉモーションの取り込みが完了しました
1再生する
2保存する
3情報を表示する
4戻る

3 「2保存する」を押す

題名を入力してください
子犬の特集

●ストリーミングタイプのｉモーションは「1再生する」「2保存する」は選択できません。

●題名を変更するときは、題名を入力します。全角・半角を問わず最大36文字入力できます。

4 決定を押す

ビデオを保存した旨のメッセージが表示されます。

5 決定を押す

操作2の画面に戻ります。

●「音声を聞く・ビデオを見る」の「ｉモード」フォルダに保存されます。→P364

●▶「1終了する」を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

●ｉモーションには、次のような再生制限が設定されている場合があります。

種　類	説　明
再生回数制限	設定されている回数まで再生できます。
再生期限制限	設定されている期限を過ぎていると再生、保存および取得できません。
再生期間制限	設定されている期間の前は保存、取得できますが再生できません。設定されている期間を過ぎているときは再生、保存および取得できません。

●ストリーミングタイプのｉモーションを取得するときに「ｉモーションタイプ」を「標準・ストリーミング」に設定していない場合、ｉモーションタイプを変更するかどうかの確認画面が表示され、設定を変更することができます。→P253

●ｉモーション設定の「自動再生設定」（→P253）を「自動再生しない」に設定しているときは、自動的に再生されません。ただし、ストリーミングタイプのｉモーションは設定に関わらず、ストリーミング再生するかどうかの確認画面が表示されます。

●ｉモーションを取得しながら再生しているときにデータの受信待ちになり、再生が一時停止する場合があります。データを受信し始めると自動的に再生を再開します。

次ページへ

●ｉモーションを取得しながら再生しているときに、電波状況などにより再生できなくなったり、停止したり、画像が乱れたりする場合があります。そのような場合でも、データが正常に受信されていれば取得後に再生できます。ただし、ｉモーションによってはデータを取得できても、正しく再生できない場合があります。
●ｉモーションのデータが不正だった場合、ｉモーションの受信が中止されることがあります。
●ストリーミングタイプのｉモーションを取得しながら再生しているときに、FOMA端末を折り畳んだり、電話がかかってきたり、目覚ましや予定表で指定していた時間になった場合は、取得、再生が中断されます。
●標準タイプのｉモーションを取得しながら再生しているときに、FOMA端末を折り畳んだり、(戻る)を押したりすると、取得が継続されたまま再生が停止してデータの取り込みを中断するかどうかの確認画面が表示されます。
●ｉモーションの保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるときは、画面の指示に従い保存可能な空き容量が確保できるまでFOMA端末に保存されている動画／ｉモーションを削除してください。削除する前に、動画／ｉモーション一覧で(メニュー)を押すと動画／ｉモーションを再生し、(電話帳)を押すと動画／ｉモーションの詳細情報を表示できます。

テロップ中にリンクが設定されていたときは

ｉモーションのテロップに電話番号（Phone To）やメールアドレス（Mail To）、サイト（Web To）などのリンクが設定されているときは、リンク先に接続できます。

〈例〉テロップのリンク（Web To）に接続するとき

1 サイトからｉモーションを取得し、再生が終了する

続きのページを見るかどうかの確認画面が表示されます。
●再生を中断しても確認画面が表示されます。
●ｉモーションのテロップにあるリンク項目は選択できません。

2 「1続きを見る」を押す

リンク先が表示されます。
●「2続きを見ない」：続きを見ることを中止します。

■ ｉモーションを保存するとき

ｉモーションを保存していないときには、リンク先を表示する前に保存するかどうかの確認画面が表示されます。

①「1保存する」を押す

ｉモーション保存画面が表示されます。
・保存せずにリンク先を表示したときは、取得したｉモーションのデータは破棄されますのでご注意ください。

②題名を確認▶(決定)▶(決定)を押す

保存が完了し、リンク先が表示されます。

お知らせ

●複数のリンク項目がある場合は、いずれか1つのリンク項目が有効になります。有効になるリンク項目は、ｉモーションによって異なります。

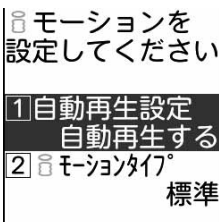
iモーション設定

iモーションの動作を設定します

お買い上げ時　自動再生設定：自動再生する　iモーションタイプ：標準

iモーションを自動的に再生するかどうかを設定したり、取得するiモーションタイプを設定したりします。

1 待受画面で(メニュー)▶「9詳細な設定」▶「7 iモードの詳細を設定する」▶「4 iモーションの再生を設定する」を押す

iモーションを設定してください
1自動再生設定
自動再生する
2 iモーションタイプ
標準

1自動再生設定：標準タイプのiモーションを取得中、または取得後に自動的に再生するかどうかを設定します。

2 iモーションタイプ：取得するiモーションのタイプを設定します。

2 「1自動再生設定」または「2 iモーションタイプ」を押す

■ iモーションを自動再生するかしないかを設定するとき

「1自動再生設定」▶「1自動再生する」または「2自動再生しない」を押す

- 「2自動再生しない」に設定しても、取得完了後に表示される画面から手動で再生できます。
- ストリーミングタイプのiモーションは自動再生設定の設定に関わらずストリーミング再生するかどうかの確認画面が表示されます。

■ iモーションタイプを設定するとき

「2 iモーションタイプ」▶「1標準」または「2標準・ストリーミング」を押す

- ストリーミングタイプのiモーションを再生するときは、「2標準・ストリーミング」に設定します。

3 設定した後に(電話帳)を押す

iモーションの設定を変更した旨のメッセージが表示されます。

4 (決定)を押す

メニュー画面に戻ります。

● (ー)を押すと待受画面に戻ります。

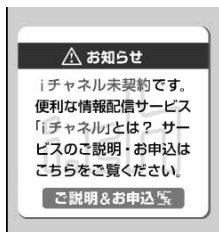
お知らせ

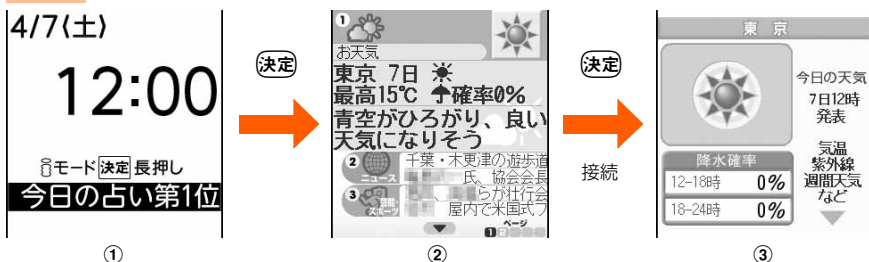
● サイト表示画面から操作する場合は、(メニュー)▶「#表示を設定」▶「2 iモーション設定」を押します。

ｉチャネルとは

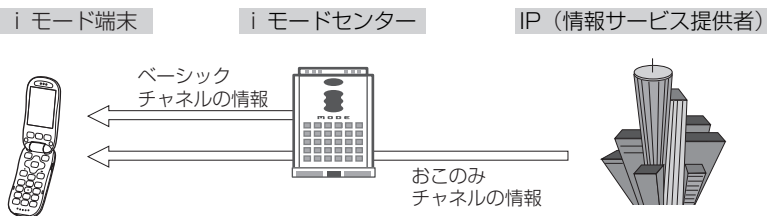
ニュースや天気などをグラフィカルな情報としてドコモまたはIP（情報サービス提供者）がｉチャネル対応端末に配信するサービスです。
定期的に情報を受信し、最新の情報が待受画面にテロップとして流れたり、決定を押すことでチャネル一覧に表示されます。さらにチャネル一覧でお好きなチャネルを選択することにより、リッチな詳細情報を取得できます。

● ｉチャネルのご利用にあたっての注意事項およびご利用方法の詳細については、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

未契約

ｉチャネルをご契約いただいていない場合

契約後

① ｉチャネルをご契約いただいた後、情報を受信したタイミング、もしくはチャネル一覧を表示したタイミングで、待受画面に自動的にテロップが流れます。
② 決定を押すとチャネル一覧が表示されます。各チャネルごとにテロップで流れていた情報などを一覧で見ることができます。
③ 各チャネルを選択すると、それぞれの詳細情報画面が閲覧できます。
※ 各画面はイメージです。実際の画面とは異なります。

チャネルには「ベーシックチャネル」と「おこのみチャネル」の2種類があります。
「ベーシックチャネル」はドコモが提供するチャネルであり、あらかじめ登録されていますので、ｉチャネルの利用開始時からすぐに利用することができます。「ベーシックチャネル」に関して配信される情報の自動更新にかかるパケット通信料は、ｉチャネルのサービス利用料に含まれます。
「おこのみチャネル」はドコモ以外のIP（情報サービス提供者）が提供するチャネルで、お客様ご自身がお好きなチャネルを登録して利用できます。「おこのみチャネル」に関して配信される情報の自動更新にかかるパケット通信料などは、ｉチャネルのサービス利用料には含まれません。
なお、「ベーシックチャネル」「おこのみチャネル」の情報はともに、待受画面にテロップとして流すことができます。

- 「おこのみチャネル」には、ご利用にあたり情報料がかかるものや、チャネルを提供するIP（情報サービス提供者）に対し別途お申し込みが必要になるものがあります。
- 「ベーシックチャネル」も「おこのみチャネル」も、チャネル一覧から詳細情報を閲覧する際は、ｉチャネルのサービス利用料とは別にパケット通信料がかかります。

ｉチャネルはお申し込みが必要な有料サービスです（お申し込みにはｉモード契約が必要です）。

- 操作方法→P256

おためしサービス

ｉモードをご契約の上ｉチャネル対応端末を利用しているお客様で、ｉチャネル対応端末を利用している契約者回線についてｉチャネルを申し込んだことがない場合、一定期間、サービス利用料無料で「ベーシックチャネル」を利用できます。なお、チャネル一覧から詳細情報を閲覧される際にかかるパケット通信料は、お客様のご負担となります。

- おためしサービスのご利用にあたっての注意事項およびご利用方法の詳細については、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

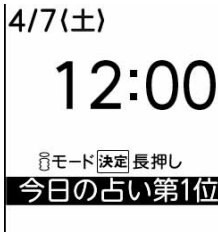
おためしサービスは、原則としてFOMAカードを挿入してｉチャネル対応端末の利用を開始した際、一定時間経過後に自動的に開始されます。自動的に開始しない場合は、決定を押すことで開始できます。
おためしサービスを利用できるのは、1つのご契約者回線につき1回のみです。
おためしサービスは開始後一定期間経過すると、自動的に終了します。また、途中で終了したい場合の操作方法については、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

ｉチャネルを表示します

ｉチャネルを表示すると、テロップで流れている情報の詳細を見ることができます。

● 個人情報表示制限中は、本機能を使用できません。→P158

1 ｉチャネル情報を受信する

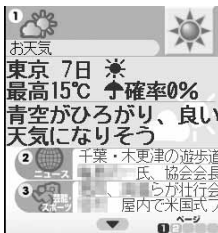
情報を受信したタイミングで待受画面にテロップが流れます。

テロップ

● 情報受信中は と 通信中 が点滅します。

● 使用状況によりチャネル一覧を表示したときに情報を受信する場合があります。

● テロップを表示するかどうかや、テロップの表示速度を設定することができます。→P257

2 待受画面で決定を押す

チャネル一覧が表示されます。

● 待受画面にお知らせ情報が表示されているとき(→P23)や、ｉチャネルボタン設定を「利用しない」に設定しているとき（→P258）は、待受画面で決定を1秒以上▶「7 ｉチャネルを見る」を押します。

3 表示する情報を選択▶決定を押す

サイトに接続され、詳細情報画面が表示されます。

お知らせ

● FOMA 端末の電源が入っていないときや圏外などで情報を受信できなかったときは、チャネル一覧を表示して情報を受信すると、待受画面にテロップが流れるようになります。ただし、テロップ表示設定を「表示しない」に設定している場合は、テロップは流れません。

● 情報を受信しても、着信音、バイブレータ、ランプは動作しません。

● 待受画面に設定したアニメーションが再生中のときは、テロップは表示されません。ただし、アニメーションが自動的に再生しているときは、約5秒後に停止してテロップが表示されます。

● 次の場合は、テロップは表示されません。

・FOMAカードを正しく取り付けていないときやFOMAカードに異常があるとき

・公共モード（ドライブモード）中

・オールロック中

・待受画面に設定したアニメーションの再生中

● 他のｉチャネル対応端末にFOMAカードを差し替えたときや、接続先を変更したとき（→P229）は、待受画面で決定を押してチャネル一覧を表示すると、最新の情報を受信し、テロップが表示されるようになります。

● i チャネルサービスまたは i モードサービスを解約するとテロップは表示されなくなり、待受画面で(決定)を押すと未契約時の画面が表示されます。ただし、解約の手続きが完了するまではテロップが表示され、待受画面で(決定)を押すと最後に受信した情報がチャネル一覧に表示される場合があります。

i チャネルの設定を行います

待受画面に表示されるテロップの設定をしたり、チャネル一覧を表示するボタンを割り当てたりします。

テロップの設定<テロップ表示設定> メニュー381

お買い上げ時　表示設定：表示する　表示速度：標準速度で表示

待受画面表示中に i チャネルのテロップを表示するかどうかを設定します。テロップの表示速度も設定できます。

1 待受画面で(決定)を1秒以上▶「8 i チャネルを設定する」▶「1 i チャネルテロップの表示を設定する」を押す

待受画面の
テロップ表示を
設定してください
1 表示設定
表示する
2 表示速度
標準速度で表示

1 表示設定：待受画面にテロップを表示するかどうかを設定します。
2 表示速度：テロップの表示速度を設定します。

2 「1 表示設定」を押す

待受画面にテロップを表示するかどうかの確認画面が表示されます。

3 「1 表示する」を押す

●「2 表示しない」：操作6 に進みます。

4 「2 表示速度」を押す

テロップの表示速度を選択する画面が表示されます。

5 「1 速く表示」～「3 遅く表示」のいずれかを押す

次ページへ

6 電話帳を押す

待受画面のテロップ表示を設定／解除した旨のメッセージが表示されます。

7 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

● ━を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● ｉチャネルサービス解約前にｉモードサービス解約を行った場合、本機能は「表示する」に設定されたままになっています。

チャネル一覧を表示するボタンの設定＜ｉチャネルボタン設定＞ メニュー382

お買い上げ時 利用する

本機能により、待受画面表示中に決定を押してチャネル一覧を表示するかどうかを、設定することができます。

1 待受画面で決定を1秒以上▶「8ｉチャネルを設定する」▶「2ｉチャネルボタンを設定する」を押す

待受画面で
決定ﾎﾞﾀﾝを
ｉﾁｬﾈﾙﾎﾞﾀﾝとして
利用しますか？

1利用する
2利用しない

2 「1利用する」または「2利用しない」を押す

ｉチャネルボタンを利用する／利用しないに設定した旨のメッセージが表示されます。

3 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

● ━を押すと待受画面に戻ります。

メール

SMS（ショートメッセージ）を使う

メールを管理する

メールの便利な機能

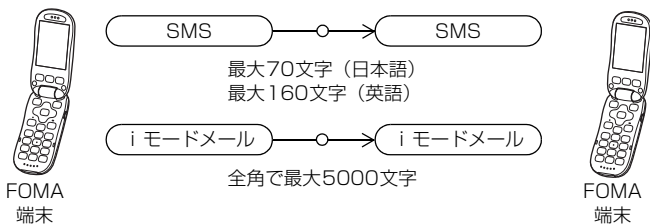
FOMA端末のメール機能について

FOMA端末では、ｉモードメール、SMSの2種類のメール機能を使用できます。

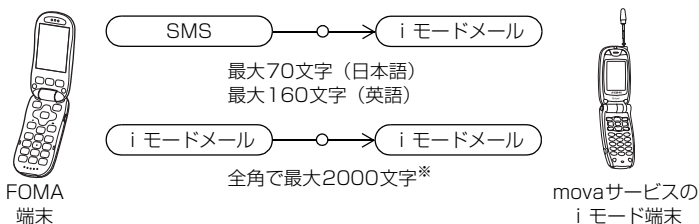
- ｉモードメールを使用するには、ｉモードのご契約が必要です。
- SMSは、ｉモードをご契約されていなくてもご使用いただけます。

メール機能の送受信について

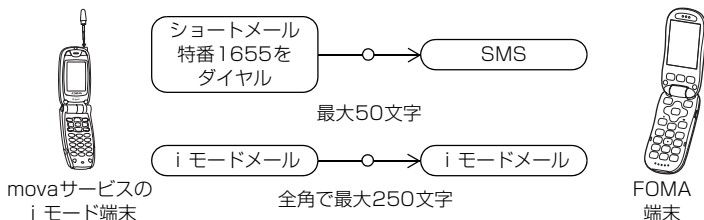
FOMA端末→FOMA端末

ｉモードメール、SMSのどちらも使用できます。

FOMA端末→movaサービスのｉモード端末

ｉモードメール、SMSのどちらも利用できます。SMSはｉモードメールとして受信されます。

※SMS設定で送達通知を「要求する」に設定しているとき（→P336）は、movaサービスのｉモード端末にSMSを送信できません。

※movaサービスのｉモード端末の設定により異なります。

movaサービスのｉモード端末→FOMA端末

movaサービスのｉモード端末から送られたｉモードメールとショートメールを受信できます。ショートメールはSMSとして受信します。

※ショートメールとは、movaサービスの携帯電話間で文字メッセージをやりとりできるサービスです。

ｉモードメールについて

ｉモードを契約するだけで、ｉモード端末（mova含む）間はもちろん、インターネットを経由してパソコンのe-mailとのメールのやりとりができます。

ｉモードご契約時のメールアドレスは次のようになります。

新規にｉモードをご契約の場合
@マークより前がランダムな英数字の組み合わせになっていますので、ｉモード契約後にお客様のメールアドレスをご確認ください。
〈例〉abc1234～789xyz@docomo.ne.jp

自分のメールアドレスを確認・変更します

〈例〉メールアドレスを変更するとき

1 **待受画面で[メール]▶「7メールアドレスを確認・変更する」を押す**

サイトに接続されます。

2 **「アドレス変更」を選択▶[決定]を押す**

- 以降の操作は『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。
- [終話]▶「1終了する」を押すと待受画面に戻ります。

■ **メールアドレスを確認するとき**

「アドレス確認」を選択▶[決定]を押す

次ページへ

お知らせ

● らくらくｉメニューの「料金＆お申込・設定」を選択▶決定▶「メール設定」を選択▶決定を押すと、同様に操作できます。

● ｉモード端末（mova含む）間でメールをやりとりする場合は、＠マークより前の部分のみのアドレスで送信できます。
● パソコンなどのe-mailからメールを受信する場合は、「@docomo.ne.jp」も含めた全体を使用します。
● ｉモードメールを送信する→P267、P272
● ｉモードメールを受信したとき→P293
● ｉモード問合せ方法→P297
● サービスの詳細は、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

■ メールを選択して受信します

ｉモードセンターに保管されているｉモードメールの題名などを確認し、受信するｉモードメールを選択したり、受信前にｉモードセンターでｉモードメールを削除したりできます。→P295、P296

メール設定を行います

● 設定方法
待受画面で決定を1秒以上▶「1 ｉMenuを見る」▶「料金＆お申込・設定」を選択▶決定▶「メール設定」▶各設定
● メール設定の詳細は『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

■ シークレットコード登録
【メールアドレス設定（その他設定）▶シークレットコード登録】

電話番号のメールアドレス利用時に、メールアドレスに加えて4桁のシークレットコードを登録できます。シークレットコードを指定していないメールは受信されなくなるため、不要なメールの受信を避けられます。

■ メールアドレスリセット【メールアドレス設定（その他設定）▶アドレスリセット】

メールアドレスを「携帯電話番号@docomo.ne.jp」にすることができます。

■ 迷惑メール対策

以下のいずれかの方法でメールの受信／拒否設定を行うと、メールの受信を制限することができます。

①URL付きメール拒否設定【メール受信設定（迷惑メール対策）→URL付きメール拒否設定】

- ｉモードメールのうち出会い・アダルト・不法・セキュリティなどのカテゴリに該当するとネットスター株式会社が判断したサイトのURLが記載されているメールを受信しないように設定できます。

②受信／拒否設定【メール受信設定（迷惑メール対策）→受信／拒否設定】

- ドコモ、au、ソフトバンク、ツーカー、ウィルコムのうち、メールを受信したい会社を指定することができます。
  また、指定するドメインまたはメールアドレスからのメールのみ受信することもできます。受信設定した会社やドメインであっても、個別に拒否したいメールアドレスを指定して拒否することもできます。なお、上記の会社以外（インターネット）からのメールのうち、携帯・PHSドメインになりすましたメールのみを拒否することもできます。

③SMS拒否設定【メール受信設定(迷惑メール対策)→SMS拒否設定】

- 受信するSMSを制限することができ、「SMS一括拒否」「非通知SMS拒否」「国際SMS拒否」「非通知SMS及び国際SMS拒否」の4つの中から選択できます。また、設定の状況を確認することができます。

④ｉモードメール大量送信者からのメール受信制限【メール受信設定(その他設定)→ｉモードメール大量送信者からのメール受信制限】

- 1日に1台のｉモード端末（mova含む）から送信される200通目以降のｉモードメールを受信拒否します。初期設定では「拒否する」に設定されていますので、大量送信者からのメールを拒否する場合は設定する必要はありません。

⑤未承諾広告※メール拒否【メール受信設定(その他設定)→未承諾広告※メール拒否】

- 受信者の同意なしに一方的に広告・宣伝を行うために送信される、メール件名部の最前部に「未承諾広告※」と記載されているメールを受信拒否します。初期設定では「拒否する」に設定されていますので、未承諾広告※メールを拒否する場合は設定する必要はありません（送信者はメール件名欄の最前部に未承諾広告※（全角6文字）と記載することが法律で義務づけられています）。

■ メールサイズ制限【メール受信設定（メールサイズ制限）】

あらかじめ指定したサイズによって、受信するｉモードメールを制限することができます。

■ 設定状況確認【メール受信設定（設定状況確認）】

現在設定しているメール受信／拒否などの設定状況を確認できます。

■ メール機能停止【メール機能停止】

メール機能を使用しない場合、ｉモードセンターでのメール機能停止ができます。

メールを受信できないとき

ｉモードセンターに届いたｉモードメールは、すぐにお客様のｉモード端末に送信されます。ただし、お客様のｉモード端末の電源が入っていない場合や、ｉモード圏外などで受信できないときは、ｉモードセンターに720時間保存されます。ｉモードセンターに保存されている間は、受信できるまで再送されます。ただし、受信できない条件により再送条件が変わります。また、メール選択受信設定により、ｉモードセンターに保管されているｉモードメールを選択して受信することができます。

こんなこともできます

■ ファイル添付メール

・メロディ添付メール

サイトやインターネットホームページからダウンロードしたメロディデータを、ｉモードメールに添付して送受信できます（メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されているメロディデータは送信できません）。

- 送信する→P281　　- 受信したとき→P308

・画像添付メール

サイトやインターネットホームページからダウンロードした画像データをｉモードメールに添付して送受信できます（メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されている画像データは送信できません）。

- 送信する→P281　　- 受信したとき→P303

■ デコメール

文字や背景の色を変えたり画像を本文中に貼り付けるなど、装飾された楽しいメールを受信することが可能です。ただし、この端末でデコメールを作成／編集して送信することはできません。

SMS（ショートメッセージ）について

FOMA端末間で文字メッセージをやりとりできます。

●SMSを送信する→P321
●SMSを受信したとき→P326
●SMS問合せ方法→P328

SMS（ショートメッセージ）の宛先

SMSの宛先は「ご契約の携帯電話番号」です。

● ドコモ以外の海外通信事業者とお客様との間で送受信を行う場合の宛先は、ドコモのホームページをご覧ください。

送受信できる文字数

SMSで送受信できる文字数は次のとおりです。

項　目	送信文字種「日本語」	送信文字種「英語」
宛先	20文字（数字のみ）※1	
本文	全角・半角を問わず70文字※2	半角160文字※3

※1 宛先がドコモ以外の海外通信事業者の場合は、「＋」を含めた21文字まで入力して送信できます。

※2 半角カタカナを使うと、受信側に正しく表示されない場合があります。また、絵文字の♥は♥に置き換わります。受信側の端末によっては、♥ ☎以外は空白に置き換わって表示されます。

※3 半角の英数字と記号（。「」、・゛゜を除く）を入力できます。
記号（| ^ { } [ ] . ¥）を入力すると送信できる文字数が少なくなります。また、記号（`）を送信しても受信側で空白に置き換わって表示されます。

お知らせ

- SMSでは題名は送信できません。

SMS（ショートメッセージ）を受信できないとき

SMSセンターに届いたSMSは、すぐにお客様のFOMA端末に送信されます。ただし、お客様のｉモード端末の電源が入っていない場合や、圏外などで受信できないときは、SMSはSMSセンターに保管されます。

お知らせ

- SMSセンターでのSMSの最大保管期間は72時間です。送信者が保管する有効期間を指定することもできます。→P336
- 保管期間が過ぎたSMSは自動的に削除されます。
- SMSセンターに保管されているSMSは、SMS問合せで受信できます。→P328
- SMSを受信すると、SMSセンターに保管されていたSMSは削除されます。受信したSMSはFOMA端末に保存されます。→P328

こんなこともできます

■ 送達通知

送信したSMSが相手に届いたかどうかを知らせる送達通知を受け取ることができます。→P336

■ FOMAカードへの保存

受信したSMSや送信したSMSをFOMAカードに保存できます。→P331

簡単メール作成・送信　メニュー22

簡単な操作でｉモードメールを作成して送信します

1 待受画面で[メールキー]を1秒以上押す

メール作成：新規
宛先：
題名：
本文：
送信する

- 前回、簡単メール作成でメールを作成した場合は、操作3の画面が表示されます。

次ページへ

2 電話帳を押す

簡単メール作成に
切替えますか？

1切替える
2元の画面に戻る

3 「1切替える」を押す

簡単ﾒｰﾙ作成：新規
送りたいメールを
選んでください

1文章のみ送る
2音声を送る
3画像を送る
4ビデオを送る

4 「1文章のみ送る」を押す

簡単ﾒｰﾙ作成：新規
宛先を
入力してください
宛先：〈指定なし〉
1電話帳から選ぶ
2直接入力する
3次へ進む
4他アドレス編集

■ 音声を添付するとき（音声メール）

「2音声を送る」を押す

- 以降の操作→P283「■音声を添付するとき（音声メール）」操作②～⑤
  操作後に操作4の画面が表示されます。

■ 画像を添付するとき

「3画像を送る」を押す

- 以降の操作→P284「■画像を添付するとき」操作②
  操作後に操作4の画面が表示されます。

■ ビデオを添付するとき（ｉモーションメール）

「4ビデオを送る」を押す

- 以降の操作→P284「■ビデオを添付するとき（ｉモーションメール）」操作②～③
  操作後に操作4の画面が表示されます。

5 「2直接入力する」▶宛先を入力▶決定を押す

宛先　残24
docomo.taro.ΔΔ@d
ocomo.ne.jp

入力文字の切替
大/小文字の切替

- 半角で最大50文字入力できます。
- ｉモード端末にメールを送信するときは、メールアドレスの「@docomo.ne.jp」は省略できます。
- 半角英字入力モード時に1：
  「.」「@」「-」などを入力できます。

■ 電話帳から選択するとき

①「1電話帳から選ぶ」▶電話帳を検索する

- 検索方法→P101

②送信する相手を選択▶決定を押す

送信する相手のメールアドレス画面が表示されます。

③メールアドレスを選択▶決定を押す

操作4の画面に戻ります。

■ 追加した宛先を編集するとき

- 新しくメールを作成する場合や追加した宛先がない場合は操作できません。

①「4他アドレス編集」▶編集するメールアドレスを選択▶決定を押す

宛先入力画面が表示されます。

②宛先を編集▶決定▶電話帳を押す

操作4の画面に戻ります。

6 「3次へ進む」を押す

簡単メール作成：新規
題名を
入力してください
題名：

1直接入力する
2例文から選ぶ
3次へ進む

次ページへ

簡単メール作成：新規
宛先： docomo.tar
題名： 音声メール
添付 19.9KB
音声04080830.3
音声付メールです
1このまま送信
2題名本文を変更

■ 操作4で音声を添付したとき

左の画面が表示されます。

- 題名には「音声メール」、本文には「音声付メールです。」と入力されます。

  1このまま送信：
  　このままｉモードメール（音声メール）を送信します。操作13に進みます。

  2題名本文を変更：
  　題名と本文を変更します。操作6の画面が表示されます。

7 「1直接入力する」▶題名を入力▶決定を押す

題名 残12
おはようございます
入力文字の切替
大/小文字の切替

●全角で最大15文字、半角で最大30文字入力できます。

■ 例文から選択するとき

①「2例文から選ぶ」▶例文を選択▶決定を押す

例文を読み込んだ旨のメッセージが表示されます。

- 題名を入力していた場合は、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。
  「1上書きする」を押すと、入力済みの文章を消去して例文を読み込みます。
  「2上書きしない」を押すと、例文の読み込みを中止します。

②決定を押す

例文が読み込まれ、操作6の画面に戻ります。

8 「3次へ進む」を押す

簡単メール作成：新規
本文を
入力してください
本文：
1本文を編集する
2次へ進む

メール

簡単メール作成・送信

9 「1本文を編集する」▶本文を入力▶決定を押す

本文　残9952
お元気ですか。↵
こんどの日曜日に
おじゃまします。

(I)入力文字の切替
(*)大/小文字の切替

- 全角で最大5000文字、半角で最大10000文字入力できます。
- (#改行マナー)：文中で改行することができます（半角数字入力モード時を除く）。

10 「2次へ進む」を押す

簡単メール作成:新規
宛先: docomo.tar
題名: おはようご
お元気ですか。
こんどの日曜日に
おじゃまします。

- (メニュー)：作成したｉモードメールを修正します。操作3の画面が表示されます。

11 内容を確認▶決定を押す

簡単メール作成:新規
メールを
送信しますか？
1送信する
2保存して終了

1送信する　：ｉモードメールを送信します。

2保存して終了：作成したｉモードメールを「未送信のメールを見る」に保存して終了します。

次ページへ

12 「1送信する」を押す

iモードメールが送信されます。

送信が終了すると、送信した旨のメッセージが表示されます。

- 接続中画面で決定：接続を中止します。
- 送信中画面で電話帳：送信を中止します。ただし、タイミングによっては送信される場合があります。そのとき送信されたiモードメールは、「未送信のメールを見る」に保存されます。→P291
- 圏外のときは、圏外の旨のメッセージが表示されます。
  圏内自動送信に設定しているiモードメールが5件未満の場合は決定を押すと、自動送信するよう設定するかどうかの確認画面が表示されます。
  - 以降の操作は「圏内自動送信の設定について」をご覧ください。→P275

  圏内自動送信に設定しているiモードメールが5件以上の場合は決定を2回押すと、メール作成画面に戻ります。送信できなかったiモードメールは「未送信のメールを見る」に保存されます。→P291

13 決定を押す

待受画面に戻ります。

お知らせ

- 簡単メール作成・送信についての注意事項は「iモードメールを作成して送信します」のお知らせをご覧ください。→P276

iモードメール作成・送信　　メニュー22

iモードメールを作成して送信します

1 待受画面で✉を1秒以上押す

メール作成：新規
宛先：
題名：
本文：
送信する

<メール作成画面>

- 簡単メール作成画面が表示されたときは、電話帳▶「1切替える」を押します。

2 宛先欄を選択▶(決定)を押す

宛先を
　選んでください
1電話帳から選ぶ
2直接入力する

3 「2直接入力する」▶宛先を入力▶(決定)を押す

宛先　残24
docomo.taro.ΔΔ@docomo.ne.jp
(I)入力文字の切替
(*)大/小文字の切替

- 半角で最大50文字入力できます。
- ｉモード端末にメールを送信するときは、メールアドレスの「@docomo.ne.jp」は省略できます。
- 半角英字入力モード時に(1):「.」「@」「-」などを入力できます。

■ 電話帳から選択するとき

①「1電話帳から選ぶ」▶電話帳を検索する

・検索方法→P101

②送信する相手を選択▶(決定)を押す

送信する相手のメールアドレス画面が表示されます。

③メールアドレスを選択▶(決定)を押す

操作1の画面に戻ります。電話帳に登録した名前が宛先欄に入力されています。

4 題名欄を選択▶(決定)▶題名を入力▶(決定)を押す

題名　残12
おはようございます
(I)入力文字の切替
(*)大/小文字の切替

- 全角で最大15文字、半角で最大30文字入力できます。

5 本文欄を選択▶(決定)▶本文を入力▶(決定)を押す

本文　残9952
お元気ですか。
こんどの日曜日におじゃまします。
(I)入力文字の切替
(*)大/小文字の切替

- 全角で最大5000文字、半角で最大10000文字入力できます。
- (#):文中で改行することができます(半角数字入力モード時を除く)。

次ページへ

6 「送信する」を選択▶決定を押す

ｉモードメールが送信されます。

送信が終了すると、送信した旨のメッセージが表示されます。

●接続中画面で決定：接続を中止します。

●送信中画面で電話帳：送信を中止します。ただし、タイミングによっては送信される場合があります。そのとき送信されたｉモードメールは、「未送信のメールを見る」に保存されます。→P291

●圏外のときは、圏外の旨のメッセージが表示されます。

圏内自動送信に設定しているｉモードメールが5件未満の場合は決定を押すと、自動送信するよう設定するかどうかの確認画面が表示されます。

- 以降の操作は「圏内自動送信の設定について」をご覧ください。→P275

圏内自動送信に設定しているｉモードメールが5件以上の場合は決定を2回押すと、メール作成画面に戻ります。送信できなかったｉモードメールは「未送信のメールを見る」に保存されます。→P291

■ 署名付きで送信するとき

メニュー▶「3署名付きで送信」を押す

本文の最後に署名が挿入されて送信されます。

- 署名はあらかじめ登録しておく必要があります。→P315

7 決定を押す

待受画面に戻ります。

圏内自動送信の設定について

圏外のためにｉモードメールを送信できなかったときは、圏内に移動したときに自動送信するように設定できます。

● 最大5件設定できます。

● 圏内自動送信の設定を解除することができます。→P280

圏内自動送信を設定します

圏外にいるときにｉモードメールを送信しようとすると、圏外の旨のメッセージが表示されます。決定を押すと、次の画面が表示されます。

圏内に移動したら
自動送信するよう
設定しますか？

1 設定する
2 設定しない

1 設定する　：圏内自動送信を設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すと待受画面に戻り、ディスプレイにが表示されます。FOMA端末を折り畳んだときは、背面ディスプレイにが表示されます。
圏内自動送信を設定したｉモードメールは「未送信のメールを見る」に保存されます。

2 設定しない　：通常のｉモードメールとして「未送信のメールを見る」に保存され、メール作成画面に戻ります。

圏内になると

圏内になってから約1～2分後に、圏内自動送信に設定したｉモードメールが自動的に送信されます。

送信が終了すると、送信した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、何もせずに約3秒間経過すると待受画面に戻ります。

■ 送信に失敗したとき

- 自動送信中に中断したときや失敗したときは、送信に失敗したメールがある旨のメッセージが表示されます。FOMA端末を折り畳んでいるときは、背面ディスプレイに「自動送信メール失敗」と表示されます。決定を押すと待受画面に戻り、ディスプレイにが表示されます。FOMA端末を折り畳んでいるときは、背面ディスプレイにが表示されます。
  失敗したｉモードメールは「未送信のメールを見る」に保存されます。
  保存されたｉモードメールは自動で再送信されませんので、未送信メールから再送信してください。→P279
- 「未送信のメールを見る」に保存された圏内自動送信に失敗したｉモードメールを選択して決定を押すと、失敗の理由が表示されます。
- 圏内自動送信に失敗したすべてのｉモードメールの未送信理由を確認してメール編集画面になったときや、圏内自動送信の設定の解除、ｉモードメールの削除、FOMAカードの差し替えなどによって圏内自動送信に失敗したｉモードメールがなくなると、は消えます。

電話帳を表示してｉモードメールを作成します

●電話帳データにメールアドレスを登録していない場合は、本機能を使用できません。

1 **待受画面で 電話帳 ▶電話帳を検索する**

●検索方法→P101

2 **メールを送信する相手を選択▶ メニュー ▶「2 メールを作る」を押す**

メール作成：新規
宛先：携帯花子
題名：
本文：
送信する

電話帳に登録した名前が入力されます。

●ｉモードメール作成・送信方法→P267、P272

お知らせ

●メールの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、メールを作成できない旨のメッセージが表示され、ｉモードメールを作成できません。「未送信のメールを見る」から不要なｉモードメール、SMSを削除してください。→P340
●全角・半角の空白や改行も本文の文字数に含まれます。
●データを添付しているときは、本文に入力できる文字数が減ります。
●絵文字を入力したｉモードメールを他社携帯電話（au／ソフトバンク／ツーカー）に送信すると、自動的に受信側の類似絵文字に変換されます。ただし、受信側の携帯電話の機種や機能によって正しく表示されないことや、該当する絵文字がない場合に文字または〓に変換されることがあります。
●一部の絵文字は、相手のｉモード端末の機種によっては正しく表示されない場合があります。
●電波状況により、相手に文字が正しく表示されない場合があります。
●送信が正常に終了したときは、ｉモードメールが「送信したメールを見る」（→P291）に保存されます。送信メールの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、保護されていない古い送信メールから順に上書きされます。残しておきたい送信メールは保護してください。→P343
●送信に失敗したときはエラーメッセージが表示され、ｉモードメールが「未送信のメールを見る」に保存されます。「未送信のメールを見る」からｉモードメールを編集して送信できます。→P291
●ｉモードメールを正常に送信できていても、電波状況によっては「送信できませんでした」というエラーメッセージが表示される場合があります。
●ドコモ以外のメールアドレスにｉモードメールを送信した場合、宛先不明などのエラーメッセージを受信できないことがあります。
●FOMA端末電話帳の検索結果一覧からメールアドレスを複数登録している相手を選択してメールを作成すると、1件目のメールアドレスが宛先に設定されます。2件目以降のメールアドレスを設定する場合は、FOMA端末電話帳の詳細画面を表示し、2件目以降のメールアドレスを選択してから作成します。→P107

メールの宛先追加

i モードメールを最大5人の相手に同時に送信（同報送信）できます。

1 i モードメールを作成する

●操作方法→P272「i モードメールを作成して送信します」操作1～5

2 メニュー▶「7宛先を追加」を押す

追加する
宛先の種類を
選んでください

1宛先(To)
2Ｃｃ
3Ｂｃｃ

1宛先（To）：送信相手のメールアドレスを入力します。宛先（To）に1件も入力していないメールは送信できません。

2Cc：直接の送信相手（宛先（To））以外にメールの内容を知らせたい宛先を追加します。

3Bcc：宛先（To）や Cc に設定した送信相手に知らせたくない宛先を追加します。入力したメールアドレスは他の送信相手には表示されません。

●宛先種別（宛先（To）、Cc、Bcc）を変更する場合は、変更する宛先を選択▶メニュー▶「9宛先種別を変更」▶変更する宛先の種類を押します。

●追加した宛先を削除する場合は、削除する宛先を選択▶▶「8宛先を削除」▶「1削除する」を押します。

3 「1宛先（To）」～「3Bcc」のいずれかを押す

宛先を
選んでください

1電話帳から選ぶ
2直接入力する

4 宛先の入力方法を選択▶宛先を入力して送信する

●操作方法は、宛先欄が1件の場合と同様です。→P273「i モードメールを作成して送信します」操作3以降

●宛先をさらに追加する場合は、操作2～4を繰り返し行います。

お知らせ

●同じ宛先は設定できません。同じ宛先を設定しようとすると、すでに入力済みである旨のメッセージが表示されます。

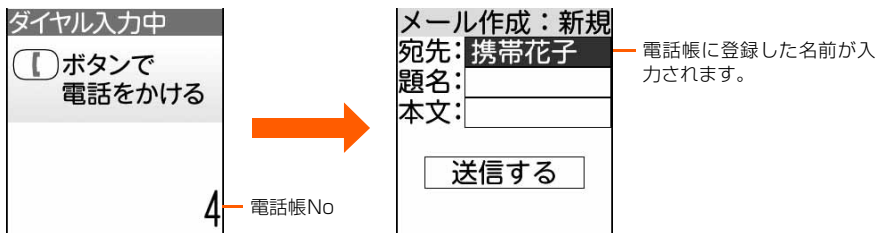
●「宛先（To）」と「Cc」に入力したメールアドレスは、受信側に表示されます。ただし、受信側の端末や機器、メールソフトなどによっては、表示されない場合があります。

ツータッチメール

よく送る相手にボタン2つでメールを作成します

ボタンを2つ押すだけで、短縮ダイヤルを設定（→P124）した相手の宛先が入力されたｉモードメールやSMSの作成画面を表示することができます。

● 個人情報表示制限中は、本機能を使用できません。→P158

1 待受画面で電話帳No（0～9）を入力▶［メール］を押す

● 以降の操作→P268「簡単な操作でｉモードメールを作成して送信します」操作4以降、P273「ｉモードメールを作成して送信します」操作4以降

■ SMS作成画面を表示するとき

電話帳No（0～9）を入力▶［メール］を1秒以上押す

入力した電話帳Noに登録した名前が宛先に入力されてSMS作成画面が表示されます。

・以降の操作→P322「SMS（ショートメッセージ）を作成して送信します」操作4以降

お知らせ

● 入力した電話帳Noの電話帳データに電話番号やメールアドレスを登録していない場合や、電話帳データを登録していない場合、宛先がない／該当する電話帳データがない旨のメッセージが表示されます。決定を押すと、宛先が設定されていないｉモードメール／SMS作成画面が表示されます。

● 複数の電話番号やメールアドレスを登録している相手を選択してメールを作成すると、1件目の電話番号やメールアドレスが宛先に設定されます。

作成中のｉモードメールを保存しておき、あとで送信します

作成中のｉモードメールを送信せずに保存したり、保存したｉモードメールを再編集して送信したりできます。

作成中のｉモードメールの保存

作成途中のｉモードメールを送信せずに保存しておきます。

● 宛先、題名、本文、添付データのいずれかを入力、設定すると保存できます。

● 最大保存件数→P520

1 ｉモードメールを作成する

● 操作方法→P272「ｉモードメールを作成して送信します」操作1～5

2 (メニュー)▶「2保存する」を押す

メールを保存した旨のメッセージが表示されます。

3 (決定)を押す

待受画面に戻ります。

● ｉモードメールが「未送信のメールを見る」に保存されます。→P291

送信・保存したｉモードメールの編集・送信

送信したｉモードメールや、送信せずに保存したり送信に失敗したりしたｉモードメールを、編集して送信できます。

〈例〉未送信メールを再編集するとき

1 待受画面で(メール)▶「4未送信のメールを見る」を押す

未送信メール一覧が表示されます。

● 送信メールを再編集する場合は、(メール)▶「5送信したメールを見る」を押し、フォルダを選択▶(決定)を押します。

次ページへ

2 編集するｉモードメールを選択▶決定を押す

メール作成：編集
宛先：docomo.tar
題名：おはようご
本文：お元気です
送信する

● 送信したメールを再編集するときは、編集するｉモードメールを選択▶電話帳を押します。
● 以降の操作→P269「簡単な操作でｉモードメールを作成して送信します」操作5以降、P273「ｉモードメールを作成して送信します」操作2以降

お知らせ

● ｉモードメールに添付されたメロディを自動演奏するように設定している場合（→P320）、メロディが添付されている送信メールを表示すると、着信音量（→P70）で設定した音量で、メロディが自動的に再生されます。再生を止めるときは戻るを押します。

圏内自動送信の設定を解除

圏外のときに設定したｉモードメールの圏内自動送信を解除します。

1 待受画面で✉▶「4未送信のメールを見る」▶圏内自動送信が設定されているｉモードメールを選択▶メニュー▶「7圏内送信解除」を押す

圏内自動送信設定を解除しますか？
1解除する
2解除しない

2 「1解除する」を押す

圏内自動送信設定を解除した旨のメッセージが表示されます。

3 決定を押す

未送信メール一覧に戻ります。

● ⌒を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● 次の場合でも圏内自動送信の設定は解除されます。
・「未送信のメールを見る」に保存された圏内自動送信を設定したｉモードメールを選択▶決定を押した場合
・FOMAカードを差し替えた場合

ｉモードメールにデータを添付して送信します

ｉモードメールに画像やメロディを添付したり、FOMA端末で録音した音声を添付したりして、送信できます。

●添付可能なデータは次のとおりです。

データの種類	1件のメールに添付可能な最大件数	添付の条件
メロディ	10件※4	SMF形式（→P308）のメロディデータのみ添付できます。
10000バイト以内の画像※1		JPEG形式の画像、GIF形式の画像やアニメーションのみ添付できます。
10000バイトを超える、500Kバイトまでの画像※1	1件	JPEG形式の画像のみ添付できます。
500Kバイトまでの動画／ｉモーション※2		再生制限が設定（→P368）されているものは添付できません。※5
音声※3		MP4形式のみ添付できます。

※1 受信側の端末やパソコンなどの機器によって、URLが記載されたメールとして受信したり、添付ファイルとして受信したりします。また、画像が正しく受信しなかったり、粗く表示される場合があります。

※2 受信側の端末や機器によって、動画が粗くなったり、連続静止画に変換されたりして表示される場合があります。

※3 ｉモーションとして送信されます。ｉモーションメール非対応端末へ送信した場合、添付データは削除されます。相手の端末では本文に［添付ファイル削除］と表示され、音声を聞くことはできません。

※4 画像とメロディを合計最大10件、メール本文を含め最大10000バイト添付できます。ただし、添付データのサイズによっては、添付可能な最大件数は少なくなります。

※5 再生制限が設定されていないファイルでも添付できない場合があります。

次ページへ

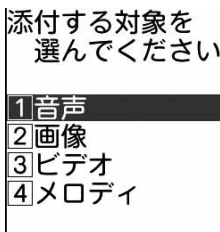
●本文（添付したメロディ・画像を含む）の残りのデータ量が全角100文字（半角200文字）分未満の場合は、動画／ｉモーション、音声、10000バイトを超える画像を添付できません。
●メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されているデータ（この端末でファイル制限を「設定する」にした画像を除く）、FOMAカード動作制限機能が設定されているデータは添付できません。
●10000バイトを超えるJPEG形式の画像を添付したｉモードメールをｉモード端末に送信した場合は、相手の機種によってｉショットセンターでｉモード端末に送信するのに適したサイズに変換されます。
●movaサービスのｉモード端末へ送信する場合は、JPEG形式の画像（最大500Kバイト）1枚のみ添付できます。送信相手の端末にはURLの記載されたメール（ｉショット）として受信されます。その際、送信できるメール本文の文字数は全角で最大184文字（369バイト）です。それ以外の添付データは削除されます。

1 メール作成画面を表示する

●操作方法→P272「ｉモードメールを作成して送信します」操作1

2 メニュー▶「4添付データ」▶「1追加する」を押す

添付する対象を
選んでください

1音声
2画像
3ビデオ
4メロディ

3 「1音声」～「4メロディ」のいずれかを押す

●録音済みの音声を添付する場合は「■ビデオを添付するとき（ｉモーションメール）」の操作を行います。→P284
●次の操作を行った後に操作4に進みます。

操　作	参照先
■ 音声を添付するとき（音声メール）	P283
■ 画像を添付するとき	P284
■ ビデオを添付するとき（ｉモーションメール）	P284
■ メロディを添付するとき	P285

■ 音声を添付するとき（音声メール）

- 音声はマイクから録音されます。周囲の雑音が少ないできるだけ静かな所で録音してください。
- 音声は1件につき約60秒録音できます。
- 音声録音中にボタン操作を行うと、操作音が録音されることがあります。
- 録音待機中、録音中、録音休止中はランプが点滅します。

①「1音声」を押す

録音（保存）できる残り時間の目安

音声録音画面が表示されます。

② 決定を押す

録音終了までの時間の目安

録音終了までの目安

録音確認音が鳴り、録音が開始されます。

- 録音終了までの時間の目安が00：00：00になると、録音が自動的に終了して操作③の画面が表示されます。
- メニュー：録音が休止／再開されます。

③ 決定を押す

終了確認音が鳴り、録音が終了します。

- メニュー：録音した音声を保存せずに音声録音画面に戻ります。
- 電話帳：録音した音声を確認します。

④ 決定を押す

録音した音声を保存した旨のメッセージが表示されます。

⑤ 決定を押す

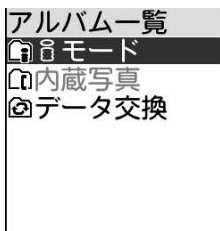
メール作成画面に戻ります。録音した音声が添付されています。

- 録音した音声は「音声を聞く・ビデオを見る」の「録音した音声」フォルダに保存されます。→P364

次ページへ

■ 画像を添付するとき

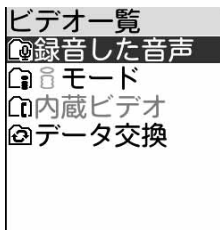
- 添付できない画像は選択できません。

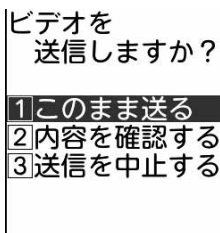
①「2画像」を押す

②フォルダを選択▶決定▶画像を選択▶決定を押す

メール作成画面に戻ります。選択した画像が添付されています。

- 画像サイズの横縦（縦横）が320×240（ドット）を超える画像を選択した場合は、送信方法を選択する画面が表示されます。選択する画面については「画像を添付してｉモードメールを作成します」のお知らせをご覧ください。
→P356

■ ビデオを添付するとき（ｉモーションメール）

①「3ビデオ」を押す

②フォルダを選択▶決定▶動画／ｉモーションを選択▶決定を押す

ビデオを
送信しますか？
1このまま送る
2内容を確認する
3送信を中止する

1 このまま送る　：このまま添付します。
2 内容を確認する：添付する前に再生して確認します。
3 送信を中止する：添付を中止します。

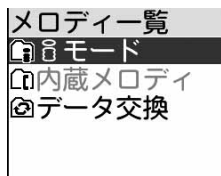
- 選択した動画／ｉモーションのデータサイズによっては、送信方法を選択する画面が表示されます。選択する画面については「動画／ｉモーションを添付してｉモードメールを作成します」のお知らせをご覧ください。
→P366

③「1このまま送る」を押す

メール作成画面に戻ります。選択した動画／ｉモーションが添付されています。

■ メロディを添付するとき

- 添付できないメロディは選択できません。

①「4メロディ」を押す

②フォルダを選択▶決定▶メロディを選択▶決定を押す

メール作成画面に戻ります。選択したメロディが添付されています。

4 iモードメールを編集して送信する

●以降の操作→P273「iモードメールを作成して送信します」操作2以降

お知らせ

- ●音声録音画面上の時間表示は目安です。録音するものにより誤差が生じます。
- ●音声（ビデオ）の保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、不要なビデオを削除するかどうかの確認画面が表示されます。録音する場合は、画面の指示に従いFOMA端末内のデータを削除します。
- ●音声録音中に休止操作を繰り返し行うと、録音できる時間が短くなる場合があります。
- ●音声録音中に充電を開始すると、設定によっては充電の開始を知らせる音が記録されます。→P133
- ●音声録音中にメール着信があっても、録音を継続したままメールを受信できますが、録音終了までの時間表示の更新が遅くなる場合があります。
- ●音声録音中（休止中を含む）に電話がかかってきたり、FOMA端末を折り畳んだりすると、その時点で録音が中止されます。その後に電話を切ったり、FOMA端末を開くと、録音した音声の操作を選択する画面が表示されます。
- ●音声録音中に目覚ましや予定表で指定した時間になった場合、その時点で録音が中止されアラームが鳴ります。アラームを解除すると録音した音声の操作を選択する画面が表示されますが、録音の最後にアラーム音が記録されることがあります。
- ●音声録音中に電池が切れそうになると、電池残量警告音が鳴り、録音が中止されます。その際、録音したデータの最後に電池残量警告音が録音されることがあります。
- ●メロディを送信する場合、受信側がFOMA F883i、F903iX HIGH-SPEED、F703i、F903i、F882iES以外の場合は受信したメロディを正しく再生できない場合があります。

添付データの追加／解除

〈例〉添付データを1件解除するとき

1 データが添付されているメール作成画面を表示する

●操作方法→P282「ｉモードメールにデータを添付して送信します」操作1～3

2 解除する添付データを選択▶(メニュー)▶「4添付データ」を押す

添付データの
操作を
選んでください
1追加する
2解除する
3全て解除する
4表示/再生する
5題名を確認

3 「2解除する」を押す

解除するかどうかの確認画面が表示されます。

■ 添付データを追加するとき

「1追加する」を押す

• 以降の操作→P282「ｉモードメールにデータを添付して送信します」操作3以降

■ 添付データを全件解除するとき

「3全て解除する」を押す

4 「1解除する」を押す

添付データが解除されます。

●「2解除しない」：添付データの解除を中止します。

メール例文

例文を利用してメールを作成します

例文とは、本文の先頭に同じ文章を入れたり、類似の内容を何度も送信したりするために、あらかじめｉモードメールの内容を登録しておく機能です。例文を呼び出して内容を追加・修正するだけで、簡単にｉモードメールを作成できます。

● お買い上げ時は次の例文が登録されています。

題　名	本　文
電話ください	手が空いたら連絡ください。
もうすぐ着きます	駅まで迎えに来てください。
今、行きます	今、待ち合わせ場所に向かっています。
到着が遅れます	すみません、待ち合わせに遅れます。
遅くなります	ご飯はいりません。また連絡します。
急用ができました	急用ができました。また連絡します。
電車の中です	今、電車の中なので、後で連絡します。
御礼申し上げます	先日はありがとうございました。楽しかったです。
ご無沙汰してます	ご無沙汰しております。お暇なときにでもメールください。
今から帰ります	○○時ごろ、家に着きます。

● SMSには使用できません。

● ダイヤル発信制限中は、電話帳に登録していない宛先が入力されている例文は読み込むことができません。

例文を使ってｉモードメールを作成　メニュー23

1 待受画面で(✉)▶「3例文を使ってメールを作る」を押す

例文一覧
電話ください
もうすぐ着きます
今、行きます
到着が遅れます
遅くなります
急用ができました
電車の中です

● 電話帳：例文の本文を確認します。

● ◁▷：前後のページを表示できます。

次ページへ

2 読み込む例文を選択▶(決定)を押す

メール作成：編集
宛先:
題名:電話くださ
本文:手が空いた
送信する

例文の内容がメール作成画面に設定されます。

● 以降の操作→P268「簡単な操作でｉモードメールを作成して送信します」操作4以降、P273「ｉモードメールを作成して送信します」操作2以降

例文を編集して保存 メニュー284

FOMA端末に保存されている例文の内容を編集します。

● お買い上げ時に登録されている例文を編集しても、お買い上げ時の内容に戻すことができます。→P290

1 待受画面で(✉)▶「8メールを設定する」▶「4例文を編集する」を押す

例文一覧
電話ください
もうすぐ着きます
今、行きます
到着が遅れます
遅くなります
急用ができました
電車の中です

● (◁)(▷)：前後のページを表示できます。

2 編集する例文を選択▶(メニュー)▶「1編集する」を押す

例文編集
宛先:
題名:電話くださ
本文:手が空いた

● 編集方法はｉモードメールを作成する場合と同様です。
→P273「ｉモードメールを作成して送信します」操作2～5

3 編集した後に(電話帳)を押す

例文一覧
電話ください
もうすぐ着きます
今、行きます
到着が遅れます
遅くなります
保存先を
選んでください

4 **保存先の例文を選択▶決定を押す**

例文を上書きするかどうかの確認画面が表示されます。

5 **「1上書きする」を押す**

例文を上書きした旨のメッセージが表示されます。

●「2編集に戻る」：例文の保存を中止します。

6 **決定を押す**

例文一覧に戻ります。

●（終話）を押すと待受画面に戻ります。

作成したｉモードメールを例文として保存

FOMA端末に保存されている例文に、作成した例文を上書き保存します。

●宛先、題名、本文のいずれかを設定すると登録できます。

●最大10件登録できます。

●添付データは例文に保存できません。

●お買い上げ時に登録されている例文に上書きしても、お買い上げ時の内容に戻すことができます。→P290

1 **例文に保存する内容を作成する**

メール作成：新規
宛先：docomo.tar
題名：おはようご
本文：今日は良い
送信する

●作成方法→P272「ｉモードメールを作成して送信します」操作1～5

2 **メニュー▶「6例文を使う」▶「2例文に保存」を押す**

3 **保存先の例文を選択▶決定を押す**

例文に保存するかどうかの確認画面が表示されます。

次ページへ

4 「1保存する」を押す

例文を保存した旨のメッセージが表示されます。

● 「2保存しない」：例文の保存を中止します。

5 決定を押す

メール作成画面に戻ります。

● ー▶「1保存して終了」または「2保存せずに終了」▶決定を押すと待受画面に戻ります。

例文のリセット メニュー284

1 待受画面で✉▶「8メールを設定する」▶「4例文を編集する」を押す

例文一覧が表示されます。

2 初期化する例文を選択▶メニュー▶「2初期状態に戻す」▶「1選択1件」を押す

お買い上げ時の状態に戻した旨のメッセージが表示されます。

● すべての例文をお買い上げ時の状態に戻すときは、メニュー▶「2初期状態に戻す」▶「2全件」▶4～8桁の端末暗証番号を入力▶決定を押します。

3 決定を押す

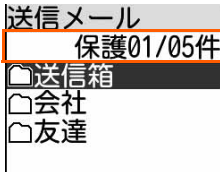
例文一覧に戻ります。

● ーを押すと待受画面に戻ります。

未送信／送信したｉモードメールを見ます

〈例〉送信したメールを見るとき

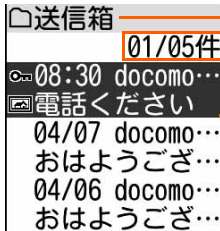
1 待受画面で[メール]▶「5送信したメールを見る」を押す

送信メール
保護01/05件
送信箱
会社
友達

保護メール数／全メール件数

- 未送信メールを表示する場合は、[メール]▶「4未送信のメールを見る」を押します。操作3に進みます。
- [←][→]：フォルダが複数ページある場合は、前後のページを表示できます。
- フォルダの状態は、次のマークで確認できます。

マーク	説　明
（グレー）	メールが保存されていないフォルダ
（黒）	メールが保存されているフォルダ

2 フォルダを選択▶決定を押す

送信箱
01/05件
08:30 docomo…
電話ください
04/07 docomo…
おはようござ…
04/06 docomo…
おはようござ…

フォルダ名
メール番号／フォルダ内件数
送信日時（送信当日：時刻　当日以外：日付）、宛先、題名

- [←][→]：メールが複数ページある場合は、前後のページを表示できます。
- 宛先を電話帳に登録しているときは電話帳に登録した名前が表示されます。→P87

次ページへ

●メールの状態は、次のマークで確認できます。

マーク		説 明
状 態	表示なし	通常のｉモードメール
		保護されたメール
		歩数計自動送信メール
		圏内自動送信設定中
		圏内／歩数計自動送信失敗
		保護＋圏内自動送信設定中
		保護＋圏内／歩数計自動送信失敗
添 付※		10000バイト以内の画像が添付
		メロディが添付されたメール
		10000バイト以内の画像とメロディが添付
		録音した音声、ｉモーションが添付
		10000バイトを超える画像が添付
SMS		SMS

※ 複数のデータが添付されている場合は、 または が優先して表示されます。

3 表示するｉモードメールを選択▶決定を押す

送信箱
01/05件
07/04/08 08:30
宛 docomo.taro.…
Cc docomo-ΔΔ-ta…
題 電話ください
待ち合わせの場所につきました。

状態マーク、添付／SMSマーク、メール番号／件数

●未送信メール一覧でメールを選択▶決定を押すと、メール編集画面が表示されます。→P280「送信･保存したｉモードメールの編集・送信」操作2

● ：前後のメールを表示できます。

●メール本文は、次のマークで確認できます。

マーク	説 明
	送信した日時
宛	送信先のメールアドレスまたは電話帳に登録した名前
Cc Bcc	送信先のメールアドレスまたは電話帳に登録した名前→P277
題	題名

●添付データがある場合は、本文の最後に添付マーク、データ名、データサイズが表示されます。
→P303、P306、P308

● を押すと待受画面に戻ります。

ｉモードメールを受信したときは

送信されてきたｉモードメールを自動的に受信し、画面表示や着信音、バイブレータ、ランプでお知らせします。受信したｉモードメールは「受信したメールを見る」に保存されます。

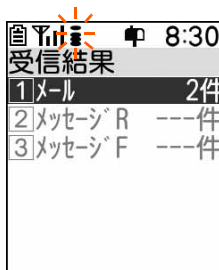
● 最大保存件数→P520

1 ｉモードメールを受信する

と が点滅し、左の画面が表示されます。

● メール受信中に 決定 を押すと受信を中止できますが、受信中の状況によってはメールを受信する場合があります。

● FOMA端末を折り畳んでいるときは、背面ディスプレイに「メール受信中」が表示されます。受信が完了すると メール が表示されます。

2 ｉモードメールの受信結果が表示される

が点灯して着信音量（→P70）で設定した音量でメール着信音が鳴り、ランプが点滅します。

● 受信結果画面が表示されてから約15秒間、またはメール着信音が鳴り終わるまでの間（鳴らす時間を15秒以上に設定している場合）何も操作しないと、自動的に受信前の画面に戻ります。

● すぐに受信前の画面に戻すときは 戻る を押します。

● 受信メール一覧を表示するか待受画面に戻ると が消えます。

■ 受信したメールをすぐに確認するとき

「1メール」を押す

受信メールのフォルダ一覧が表示されます。→P299

■ 受信に失敗したとき

「1メール」の後ろに「×」が表示されます。

- メールを受信し直すには、ｉモード問合せを行ってください。→P297

次ページへ

お知らせ

- ｉモードメールを受信したときは、メール受信時の動作に設定した着信音の優先順位に従い動作します。
  ｉモードメールを受信したときのメール着信音設定の優先順位は次のとおりです。
  ①ワンタッチダイヤルのメール着信音設定
  ②電話帳のグループ専用のメール着信音設定
  ③メール着信音設定
  複数のｉモードメールやSMS、メッセージR/Fを同時に受信したときは、最後に受信したｉモードメールやSMS、メッセージR/Fに設定した条件に従い動作します。
- 受信メールの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、古い受信メールから順に上書きされます。ただし、未読メールと保護されているメールには上書きされません。残しておきたい受信メールは保護してください。→P343
  未読メールと保護されているメールで保存領域が満杯で上書きできないときは、ｉモードメールの受信は中止され、画面には（赤）や のマークが表示されます。
- ｉモードセンターにｉモードメールが残っているときは、（黒）や （黒）のマークが表示されます。ただし、ｉモードメールがあっても表示されない場合もあります。また、ｉモードセンターの保管件数が満杯になったときは、マークが （赤）や （赤）に変わります。ｉモードセンターに残っているｉモードメールを受信する場合は、ｉモード問合せ（→P297）またはメール選択受信（→P296）を行ってください。ただし、受信メールが最大保存件数まで達しているときは、あらかじめ未読メールの内容を見る（→P299）、不要なメールを削除する（→P340）、保護を解除する（→P343）などを行う必要があります。
- 新しいｉモードメールが届いたときには、ｉモードセンターで保管している他のｉモードメールやメッセージR/Fもあわせて受信します。
- メール選択受信設定を「利用する」に設定すると、メールを自動的に受信せずに、必要なメールだけを選択して受信できます。→P295、P296
- 極端に容量の大きいｉモードメールは、ｉモードセンターで受け付けずに送信元に返信されることがあります。
- ｉモードメールではメロディや画像を添付データとして送受信できます。対応していない添付データはｉモードセンターで削除されます。添付データが削除された場合は、メール本文に［添付ファイル削除］と表示されます。
- 受信メールのデータ量（文字数、添付データ）が、メール設定のメールサイズ制限で設定した文字数（データ量）より大きい場合、添付データはｉモードセンターで削除され、受信できません。添付可能なデータ量→P281
- パソコンなど、デコメール対応FOMA端末以外から装飾されたメールを受信すると、装飾が正しく表示されない場合があります。
- ｉモードメールを受信すると、ｉモードセンターのｉモードメールは削除されます。
- 次のような場合に送られてきたｉモードメールは、ｉモードセンターに保管されます。
  - 電源が入っていないとき
  - セルフモード中
  - FirstPassセンター接続中
  - 受信に失敗したとき
  - ｉモード圏外のとき
  - SMS受信中
  - メール選択受信設定が「利用する」に設定されているとき
  - 未読メールと保護されているメールで保存領域が満杯のとき
- 待受画面／メニュー画面以外（他の機能が起動中）のときや個人情報表示制限中は、メールを自動受信しますが、受信中画面や受信結果画面は表示されず、着信音とランプも動作しません。受信したメールを確認するには、他の機能を終了／各制限を解除してください。

ｉモードメールを選択して受信します

送信されてきたｉモードメールを自動受信せずに、必要なメールだけを選択して受信するように設定します。

ｉモードメールを自動受信しないように設定 <メール選択受信設定>

メニュー285

お買い上げ時　利用しない

1 待受画面で［メール］▶「8 メールを設定する」▶「5 メール選択受信を設定する」を押す

メール選択受信を
利用しますか？
1 利用する
2 利用しない

2 「1 利用する」を押す

メール選択受信を利用するに設定した旨のメッセージが表示されます。

● 「2 利用しない」：メール選択受信を利用しません。

3 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

● ［終話］を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

センターに
メールがあります
決定

● 「利用する」に設定した場合、送られてきたｉモードメールはｉモードセンターに保管され、FOMA端末には自動的に配信されません。ｉモードセンターにメールが届くと左の画面が表示されますが、着信音やバイブレータ、ランプは動作しません。決定を押すと待受画面に戻ります。

● 「利用する」に設定しても、SMS、メッセージR/Fは自動受信します。

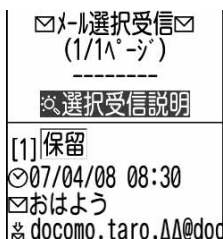
必要なメールだけを選択受信<メール選択受信>メニュー262

ｉモードセンターに保管されているｉモードメールの題名などを確認し、受信するｉモードメールを選択したり、受信前にｉモードセンターでｉモードメールを削除したりできます。

- メール選択受信を利用するには、あらかじめメール選択受信設定を「利用する」に設定しておく必要があります。→P295
  なお、「利用する」に設定した場合は、自動的にｉモードメールを受信できません。
- メール選択受信設定を「利用する」に設定した場合でも、ｉモード問合せを行うと全メールを受信しますので、ｉモードメールを受信したくない場合には、ｉモード問合せ設定で問合せ項目から「メール」を外しておいてください。→P298

1 待受画面で（✉）▶「6メールがあるか問合せる」▶「2メール選択受信を行う」を押す

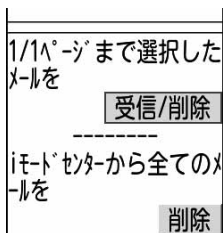
✉ﾒｰﾙ選択受信✉
(1/1ﾍﾟｰｼﾞ)

選択受信説明
[1]保留
07/04/08 08:30
おはよう
docomo.taro.ΔΔ@doc

ｉモードに接続され、ｉモードセンターに保管されているｉモードメールが一覧表示されます。

- メールの末尾のマークの意味は次のとおりです。

マーク	説　明
	画像データが添付されています。
♪	メロディデータが添付されています。
	ｉモーションが添付されています。

※ 上記以外のマークは、この端末では対応していない添付データです。

2 メールごとに「保留」を選択▶決定▶「受信」「削除」「保留」のいずれかを選択▶決定を押す

- 「保留」を設定した場合は、そのままｉモードセンターに保管されます。
- ページが複数ある場合には、メール一覧の最後に表示される「前ページ」または「次ページ」を選択▶決定を押すと前後のページを表示できます。

3 「受信／削除」を選択▶決定を押す

■ｉモードセンターに保管されている全メールを削除するとき

「ｉモードセンターから全てのメールを」の「削除」を選択▶決定を押す

4 「決定」を選択▶決定を押す

「受信」を設定したメールはすぐに受信され、受信結果画面が表示されます。→P293

ｉモード問合せ　　メニュー261／363

ｉモードメールがあるかどうかを問い合わせます

圏外にいた間や電源を切っていた間などにｉモードメールが届いていないかを問い合わせます。

●電波状態によってはｉモード問合せができない場合があります。

1 待受画面で▶「6メールがあるか問合せる」▶「1届いているメール・メッセージを受信する」を押す

ｉモード問合せが実行されます。ｉモードセンターにｉモードメールが保管されていれば受信します。

●ｉモード問合せ中やメールの受信中に決定を押すと、問い合わせを中止できますが、問い合わせの状況によってはメールを受信する場合があります。

●受信結果画面の操作は自動受信時と同様です。→P293
ただし、この操作でｉモードメールを受信したときは、自動受信時とは異なり、約15秒経過しても元の画面には戻りません。を押すと待受画面に戻ります。

ｉモード問い合わせの内容設定＜ｉモード問合せ設定＞

お買い上げ時　すべて選択

ｉモードセンターへ問い合わせをする際に、ｉモードメール、メッセージR/Fの中から受信する項目を設定します。

●お買い上げ時はメール、メッセージR、メッセージFのすべてに☑が付いています。配信を希望しない場合はその項目を□にしてください。

1 **待受画面で▶(メニュー)▶「9詳細な設定」▶「5メールの詳細を設定する」▶「1問合せ内容を選ぶ」を押す**

問合せを
行う項目を
選んでください
1 ☑ メール
2 ☑ メッセージR
3 ☑ メッセージF

●設定状態は次のとおりです。
☑：有効　□：無効
●(メニュー)：すべての項目を選択／解除します。

2 **「1メール」～「3メッセージF」を押す**

☑または□に変わります。

●すべての項目を解除すると設定できません。いずれかを選択してください。

3 **(電話帳)を押す**

問合せを行う項目を設定した旨のメッセージが表示されます。

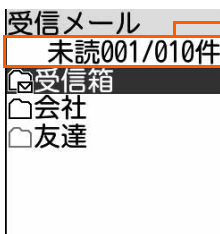
4 **(決定)を押す**

メニュー画面に戻ります。

●(終話)を押すと待受画面に戻ります。

メニュー21

受信したｉモードメールを見ます

1 待受画面で（メールキー）▶「1受信したメールを見る」を押す

受信メール
未読001/010件
受信箱
会社
友達

未読メール数／全メール件数

● （左）（右）：フォルダが複数ページある場合は、前後のページを表示できます。

● フォルダの状態は、次のマークで確認できます。

マーク	説　明
（グレー）	メールが保存されていないフォルダ
（黒）	メールが保存されているフォルダ
	未読メールが保存されているフォルダ

2 フォルダを選択▶（決定）を押す

受信箱
001/010件
08:30 docomo…
電話ください
04/07 docomo…
到着します
04/06 docomo…
急用ができま…

フォルダ名

メール番号／フォルダ内件数

受信日時（受信当日：時刻　当日以外：日付）、送信元、題名（SMS：本文の先頭）

● （左）（右）：メールが複数ページある場合は、前後のページを表示できます。

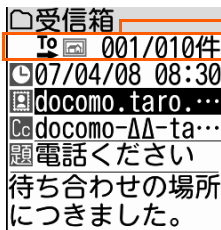
● 送信元を電話帳に登録しているときは、電話帳に登録した名前が表示されます。→P87

●メールの状態は、次のマークで確認できます。

マーク		説明	マーク		説明
状態		未読メール	状態		既読メール（転送済み）
	表示なし	既読メール			保護されたメール（転送済み）
		保護されたメール	添付※		10000バイト以内の画像が添付
		未読メール（返信済み）			メロディが添付
		既読メール（返信済み）			10000バイト以内の画像とメロディが添付
		保護されたメール（返信済み）			10000バイトを超える画像が添付
		未読メール（返信不可）			添付データ無効→P309
		既読メール（返信不可）			表示できるサイズを超えたデータが添付
		保護されたメール（返信不可）	SMS		SMS
		未読メール（転送済み）	通知		送達通知、着信通知

※ 複数のデータが添付されている場合は、 が優先して表示されます。

3 iモードメールを選択▶決定を押す

□受信箱
To 001/010件
07/04/08 08:30
docomo.taro.…
Cc docomo-ΔΔ-ta…
題 電話ください
待ち合わせの場所につきました。

状態マーク、宛先マーク、添付マーク、メール番号／フォルダ内件数

● ：前後のメールを表示できます。
●メール本文は、次のマークで確認できます。

マーク	説明
To Cc Bcc	送信元からどの宛先種別（To、Cc、Bcc）で送られてきたのかを示すマーク
	受信した日時
	送信元のメールアドレスまたは電話帳に登録した名前
宛 Cc	送信先のメールアドレスまたは電話帳に登録した名前→P277
題	題名

●添付データがある場合は、マーク、データ名、データサイズが表示されます。→P303、P308
● を押すと待受画面に戻ります。

メール
受信メール

お知らせ

● ｉモードメールでは、送信元または宛先のメールアドレスが電話帳データのメールアドレス欄と照合されます。SMSでは、送信元または宛先の電話番号が電話帳データの電話番号欄と照合されます。
- 電話帳との照合については「名前の表示について」をご覧ください。→P87

● ｉモードメールに添付されたメロディを自動演奏するように設定している場合（→P320）、メロディが添付されているｉモードメールを表示すると、着信音量（→P70）で設定した音量で、メロディが自動的に再生されます。再生を止めるときは戻るを押します。

ｉモードメール返信

ｉモードメールに返事を出します

●受信メールによっては返信できない場合があります。

1 待受画面で［メール］▶「1受信したメールを見る」▶フォルダを選択▶決定を押す

受信メール一覧が表示されます。

2 返信するｉモードメールを選択▶電話帳を押す

らくらく返信本文選択画面が表示されます。

らくらく返信
＜自分で入力＞
了解しました。
今から帰ります。
後で連絡します。
遅くなります。
ありがとうござ…
ごめんなさい。

●次の場合は、らくらく返信本文選択画面は表示されません。操作4に進みます。
- らくらく返信設定を「利用しない」に設定している場合
- 前回の操作で簡単メール作成を使用していた場合

●複数の宛先に送られた受信メールに返信するときは、返信先を選択する確認画面が表示されます。「1差出人のみ」を押すと、送信元のみに返信します。「2全員に返信」を押すと、自分以外のすべての宛先と送信元に返信します。

次ページへ

3 「<自分で入力>」を選択▶決定を押す

■ らくらく返信を使用するとき

返信する本文を選択▶決定を押す

選択したらくらく返信本文がメールの本文に挿入されます。

メール作成：返信
宛先：docomo.tar
題名：RE:おはよ
本文：了解しまし
送信する

受信メールの送信元のメールアドレスまたは電話帳に登録した名前が入力されます。

先頭に「RE:」の付いた受信メールの題名が入力されます。

4 iモードメールを編集して送信する

● 操作方法→P267、P272

● 返信すると、受信メールの状態マークが、表示なし（既読）／／から／／に変わります。→P299「受信したiモードメールを見ます」操作2

お知らせ

● 返信するiモードメールには受信メールの本文、添付データともに引用されません。

iモードメール転送

iモードメールを他の宛先に転送します

● iモードメールで転送されます。

1 待受画面で▶「1受信したメールを見る」▶フォルダを選択▶決定を押す

受信メール一覧が表示されます。

2 転送するｉモードメールを選択▶(メニュー)▶「2転送する」を押す

メール作成：転送
宛先：
題名：FW:おはよ
本文：今日は良い
送信する

先頭に「FW:」の付いた受信メールの題名が入力されます。

受信メールの本文が入力されます。

3 ｉモードメールを編集して送信する

●操作方法→P267、P272

●転送すると、受信メールの状態マークが、表示なし（既読）／✉／🔑から➡／✉／⇄に変わります。→P299「受信したｉモードメールを見ます」操作2

お知らせ

●添付データのあるメールを転送する場合は、添付データを送るかどうかの確認画面が表示され、本文のみを送ることもできます。

●10000バイトを超える画像が添付されたｉモードメールで画像を取得していない場合は、転送するｉモードメールに画像は添付されません。

●メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されているデータは転送するメールに添付されません。ただし、出力が禁止されていなくても、メロディデータの種類によっては添付されない場合があります。

●受信メール本文中に表示されるメロディ（MFi形式）は転送するメールには貼り付けられません。

●この端末で受信したデコメールは、添付データ（本文中に挿入されている画像も含む）と文字データのみ転送できます。ただし、転送できるデータ量を超えた場合は送信できない旨のメッセージが表示され、送信できません。

ｉモードメールに添付された静止画を操作します

ｉモードメールに添付されている画像を表示・保存します。保存した画像は「画像を見る」で表示したり、待受画面などに設定したりできます。

添付画像の表示・保存

●最大保存件数→P520

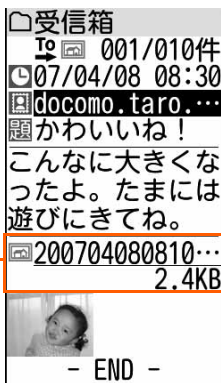
1 待受画面で(✉)▶「1受信したメールを見る」▶フォルダを選択▶(決定)を押す

受信メール一覧が表示されます。

次ページへ

2 画像が添付されているｉモードメールを選択▶決定を押す

□受信箱
To 001/010件
07/04/08 08:30
docomo.taro.…
題かわいいね！
こんなに大きくなったよ。たまには遊びにきてね。
200704080810…
2.4KB
- END -

＜全体イメージ＞

画像のマークとデータ名、データサイズ

データサイズの下に画像が表示されます。

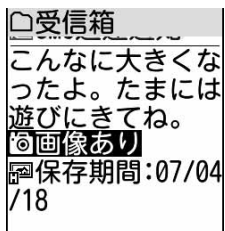
● 添付された画像は、次のマークで確認できます。

マーク		説　明
受　信メール	(アイコン)	メール添付やこの端末の外へ転送可能なデータ
	(アイコン)	メール添付やこの端末の外へ転送不可能なデータ
	(アイコン)	10000バイトを超えたデータ（未取得）
	(アイコン)	10000バイトを超えたデータ（取得済み）
	(アイコン)	データ異常
送　信メール	(アイコン)	10000バイト以内のデータ
	(アイコン)	10000バイトを超えたデータ

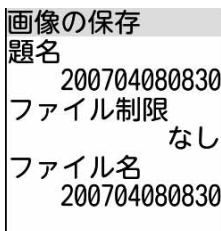
■ 10000バイトを超えた画像を受信したとき

10000バイトを超える画像が添付されたｉモードメールを受信すると、自動的に取得して「画像を見る」の「ｉモード」フォルダに保存されます（→P354）。

受信中に中断や圏外になるなどの理由により画像を自動取得できなかったときは、次の画面が表示されます。

□受信箱
こんなに大きくなったよ。たまには遊びにきてね。
画像あり
保存期間:07/04/18

「画像あり」を選択して決定を押すと、ｉショットセンターに接続され、画像を取得して自動的に「画像を見る」の「ｉモード」フォルダに保存されます。

3 保存する画像のデータ名を選択▶メニュー▶「8添付データ確認」▶「2画像を保存」を押す

画像の保存
題名
200704080830
ファイル制限
なし
ファイル名
200704080830

●各項目の説明→P357「画像の情報を表示します」操作2

■ デコメールに挿入されている画像を保存するとき

メニュー▶「0登録する」▶「4画像を保存」▶保存する画像を選択▶決定を押す

■ 画像表示からデータ名表示にするとき

表示されている画像のデータ名を選択▶決定を押す

4 決定を押す

画像を保存した旨のメッセージが表示されます。

5 決定を押す

受信メール詳細画面に戻ります。

●「画像を見る」の「i モード」フォルダに保存されます。→P354

●（終話キー）を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- 送信メール詳細画面からも同様にして表示／非表示を切り替えられます。
- 画像の横幅がディスプレイより大きいときは縮小して表示されます。
- 画像によっては正しく表示できない場合があります。
- デコメールでは、メール詳細画面本文中に表示される画像のデータ名などは表示されません。
- 10000バイトを超える未取得の画像のURLを表示するときは、「画像あり」を選択▶メニュー▶「8添付データ確認」▶「2URLを表示する」を押します。取得済みの画像の場合は、URLを表示する画像データ名を選択▶メニュー▶「8添付データ確認」▶「3URLを表示する」を押します。
- 画像の保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、不要な画像を削除するかどうかの確認画面が表示されます。画像を保存する場合は、画面の指示に従いFOMA端末内の画像を削除します。
- 送信メール詳細画面から保存する場合は、保存する画像のデータ名を選択▶メニュー▶「7添付データ確認」▶「2画像を保存」を押して操作します。
- 横縦（または縦横）のサイズが次の大きさを超える画像は保存できません。
  GIF形式：640×480（ドット）　JPEG形式：1728×2304（ドット）
- フレームは保存できません。

添付画像の題名確認

1 待受画面で（メールキー）▶「1受信したメールを見る」▶フォルダを選択▶決定を押す

受信メール一覧が表示されます。

●送信メール一覧の表示方法→P291「未送信／送信した i モードメールを見ます」操作1～2

2 画像が添付されている i モードメールを選択▶決定を押す

受信メール詳細画面が表示されます。

次ページへ

3 題名を確認する画像のデータ名を選択▶(メニュー)▶「8添付データ確認」▶「5題名を確認」を押す

題名

200704080830.jpg

●送信メール詳細画面から操作するときは、題名を確認する画像のデータ名を選択▶(メニュー)▶「7添付データ確認」▶「5題名を確認」を押します。

4 (決定)を押す

受信メール詳細画面に戻ります。

●(終話)を押すと待受画面に戻ります。

iモーションメール

iモードメールからiモーションを再生・保存します

送信元がメールに添付した動画／iモーションはiモーションメールセンターに保存され、受信メールにはiモーション閲覧のためのURLと保存期限が記載されます（iモーションメール）。このURLを選択して、iモーションを受信したり、再生したりできます。

●再生時の音量はiモーションの音量設定に従います。→P373

●最大保存件数→P520

1 待受画面で(メール)▶「1受信したメールを見る」▶フォルダを選択▶(決定)を押す

受信メール一覧が表示されます。

2 iモーションのURLが記載されたiモードメールを選択▶(決定)を押す

受信箱

から送るね。

あり ― iモーションが添付されていることを示す

http://www.i-mtna.docomo-camera.ne.jp/XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX ― iモーション閲覧のためのURL

保存期限:07/04/18 ― iモーションメールセンターでのiモーションの保存期限

3 ｉモーションのURLを選択▶決定▶「1接続して表示」を押す

ｉモーションメールセンターに接続され、ｉモーションの受信・再生が始まります。

- 再生画面の操作方法→P250「■データを取得しながら再生するｉモーション（標準タイプ）のとき」、「■データを取得した後に再生するｉモーション（標準タイプ）のとき」
- 「2表示しない」：接続を中止します。

4 再生が終了する

ｉモーションの
取り込みが
完了しました

1再生する
2保存する
3情報を表示する
4戻る

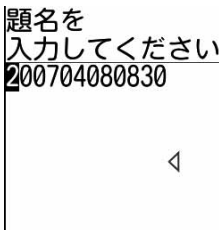
1再生する　：ｉモーションを再生します。

2保存する　：ｉモーションを保存します。

3情報を表示する：ｉモーションの情報を表示します。→P367「動画／ｉモーションの情報を表示します」操作2

4戻る　：ｉモーションを保存するかどうかの確認画面が表示されます。「2保存しない」を押すと、受信メール詳細画面に戻ります。

5 「2保存する」を押す

題名を
入力してください
200704080830

- 題名を変更するときは、題名を入力します。全角・半角を問わず最大36文字入力できます。

6 決定を押す

ビデオを保存した旨のメッセージが表示されます。

7 決定を押す

ｉモーションの取得完了画面に戻ります。

- 「音声を聞く・ビデオを見る」の「ｉモード」フォルダに保存されます。→P364
- ⌒▶「1終了する」を押すと待受画面に戻ります。

次ページへ

お知らせ

- 送信メール詳細画面からファイル名を選択して、決定を押すと再生できます。ただし、動画／ｉモーションがFOMA端末から削除されているときは再生できません。
- ｉモード端末からｉモーションメールを受信した場合、ｉモーションメールセンターに保存されたｉモーション閲覧用URL1件につき50回まで取得することができます。50回を超えた場合は、ｉモーションの取得ができなくなります。
- メールに添付されたｉモーションをパソコンなどで再生する場合は、対応のソフトが必要です。詳細はドコモのホームページをご覧ください。

ｉモードメールに添付されたメロディを操作します

ｉモードメールに添付されているメロディを再生・保存します。保存したメロディは再生したり、着信音に設定したりできます。

- 送信元がFOMA F883i、F903iX HIGH-SPEED、F703i、F903i、F882iES以外の場合は、受信したメロディを正しく再生できない場合があります。
- 再生時の音量は着信音量の設定に従います。→P70

添付メロディの再生・保存

- 添付メロディの表示形式には、メロディデータの種類によって2種類あります。
- 最大保存件数→P520

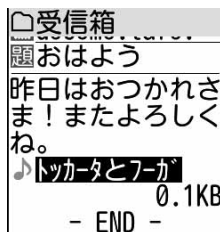
1 **待受画面で✉▶「1受信したメールを見る」▶フォルダを選択▶決定を押す**

受信メール一覧が表示されます。

2 **メロディが添付されているｉモードメールを選択▶決定を押す**

メロディのマークとファイル名、データサイズ

＜本文の後に表示（SMF形式）＞

受信箱
題おはよう
昨日はおつかれさ
ま！またよろしく
ね。
ﾄｯｶｰﾀとﾌｰｶﾞ
0.1KB
－ END －

メロディのマークと題名、データサイズ

＜本文中に表示（MFi形式）＞

●添付されたメロディは、次のマークで確認できます。

マーク	説　明
♪	メール添付やこの端末の外へ転送可能なデータ※
♪©	メール添付やこの端末の外へ転送不可能なデータ
♪×	メロディデータ異常

※ 本文中に表示されるメロディ（MFi形式）は、メール添付や転送はできません。

3 保存するメロディのファイル名（題名）を選択▶(メニュー)▶「8添付データ確認」▶「2メロディを保存」を押す

●題名を変更するときは、題名を入力します。全角で最大25文字、半角で最大50文字入力できます。

●メロディを再生するには、再生するメロディを選択▶(決定)を押します。

●再生中に(+)(−)：音量を調節します。

4 (決定)を押す

メロディを保存した旨のメッセージが表示されます。

5 (決定)を押す

受信メール詳細画面に戻ります。

●「保存した曲の詳細を設定する」の「ｉモード」フォルダに保存されます。→P374

●(終話)を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

●ｉモードメールに添付されたメロディを自動演奏する設定にしている場合（→P320）、メロディが添付されているメールを表示すると、メロディが自動的に再生されます。再生を止めるときは(戻る)を押します。

●送信メール詳細画面からも同様にして再生できます。

●本文中に表示されるメロディ（MFi形式）に題名が設定されていない場合、題名にはメールを受信した日時が表示されます。

●メロディの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、不要なメロディを削除するかどうかの確認画面が表示されます。メロディを保存する場合は、画面の指示に従いFOMA端末内のメロディを削除します。

●送信メール詳細画面から保存する場合は、保存するメロディのファイル名（題名）を選択▶(メニュー)▶「7添付データ確認」▶「2メロディを保存」を押して操作します。

●メール本文中に表示されるメロディ（MFi形式）が複数添付されていると添付データは無効になり、?が表示されます。

添付メロディの題名確認

〈例〉受信メールの本文の後に表示されているメロディ（SMF形式）の題名を確認するとき

1 待受画面で(✉)▶「1受信したメールを見る」▶フォルダを選択▶(決定)を押す

受信メール一覧が表示されます。

● 送信メール一覧の表示方法→P291「未送信／送信したｉモードメールを見ます」操作1～2

2 メロディが添付されているｉモードメールを選択▶(決定)を押す

受信メール詳細画面が表示されます。

3 題名を確認するメロディを選択▶(メニュー)▶「8添付データ確認」▶「5題名を確認」を押す

題名

名曲集

4 (決定)を押す

受信メール詳細画面に戻ります。

● (━)を押すと待受画面に戻ります。

おしらせ

● 本文中に表示されているメロディ（MFi形式）の題名を確認する場合は、メロディを選択▶(メニュー)▶「8添付データ確認」▶「4題名を確認」を押して操作します。

本文中に表示されているメロディの表示切り替え

本文中に表示されているメロディのデータを文字として表示することができます。

● 本文の後に表示されるメロディ（SMF形式）では本機能を使用できません。

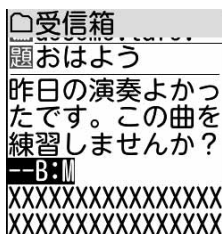
1 **待受画面で［メール］▶「1 受信したメールを見る」▶フォルダを選択▶［決定］を押す**

受信メール一覧が表示されます。

2 **メロディが添付されているｉモードメールを選択▶［決定］を押す**

受信メール詳細画面が表示されます。

3 **データ表示するメロディを選択▶［メニュー］▶「8 添付データ確認」▶「5 データ表示あり」を押す**

受信箱
題 おはよう
昨日の演奏よかったです。この曲を練習しませんか？
--B:M
XXXXXXXXXXXXXXX
XXXXXXXXXXXXXXX

● ［終話］を押すと待受画面に戻ります。

■ 題名表示に戻すとき

データ表示されているメロディの先頭行を選択▶［決定］を押す

おしらせ

● 本文の文字が誤ってメロディデータとして認識されてしまった場合は、この操作で文字を表示し、読むことができます。

ｉモードメールに添付されたデータを削除します

ｉモードメールに添付されている画像、メロディを削除します。

● メール本文中の添付データ（ｉモーションが再生できるリンク項目や画像が表示できるリンク項目、本文中に表示される画像やメロディ（MFi形式））は削除できません。

● 10000バイトを超える画像の場合は、「画像を見る」の「ｉモード」フォルダから削除してください。→P362

次ページへ

〈例〉添付されている画像を削除するとき

1 **待受画面で（メール）▶「1受信したメールを見る」▶フォルダを選択▶（決定）を押す**

受信メール一覧が表示されます。

●送信メール一覧の表示方法→P291「未送信／送信したｉモードメールを見ます」操作1～2

2 **画像が添付されているｉモードメールを選択▶（決定）を押す**

受信メール詳細画面が表示されます。

3 **削除する画像のデータ名を選択▶（メニュー）▶「8添付データ確認」▶「3 1件削除」または「4全て削除」を押す**

添付データを
　削除しますか？

1削除する
2削除しない

●送信メール詳細画面から操作するときは、削除する画像データを選択▶（メニュー）▶「7添付データ確認」▶「3 1件削除」または「4全て削除」を押します。

4 **「1削除する」を押す**

データを削除した旨のメッセージが表示されます。

5 **（決定）を押す**

受信メール詳細画面が表示されます。

●削除した添付データはデータ名が薄く表示されて選択できなくなります。

●（終話）を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

●10000バイトを超える画像を削除した受信メールを表示すると、保存期限が薄く表示され、選択できなくなります。

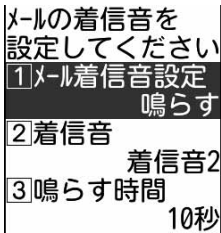
メール着信音設定　メニュー281

メール受信時の着信音を設定します

お買い上げ時　メール着信音設定：鳴らす　着信音：着信音2　鳴らす時間：10秒

iモードメール、SMSを受信したときの着信音を設定します。

1 待受画面で(✉)▶「8メールを設定する」▶「1メールが届いた時の音を選ぶ」を押す

メールの着信音を
設定してください
1メール着信音設定
鳴らす
2着信音
着信音2
3鳴らす時間
10秒

1メール着信音設定：
着信音を鳴らすかどうかを設定します。
2着信音：
着信音を鳴らすときの音を設定します。
3鳴らす時間／鳴らす回数：
着信音を「メロディ」または「着モーション」に設定した場合は、着信音を鳴らす時間を1～30秒の間で設定します。
着信音を「名前の読み上げ」に設定した場合は、名前を読み上げる回数を1～7回の間で設定します。

2 「1メール着信音設定」を押す

メール着信音を鳴らすかどうかの確認画面が表示されます。

- 「2着信音」：着信音から設定します。操作4に進みます。
- 「3鳴らす時間」／「3鳴らす回数」
：鳴らす時間／鳴らす回数から設定します。操作6に進みます。

着信音設定を「鳴らさない」に設定しているときは、「着信音」「鳴らす時間／鳴らす回数」からは設定できません。

3 「1鳴らす」を押す

着信音の選択画面が表示されます。

- 「2鳴らさない」：着信音を鳴らさないように設定します。操作7に進みます。

4 「1メロディ」～「3名前の読み上げ」のいずれかを押す

- 「1メロディ」、「2着モーション」：それぞれのフォルダを選択する画面が表示されます。
- 「3名前の読み上げ」：着信音を鳴らす回数を設定する画面が表示されます。操作6に進みます。
名前の読み上げについて→P130

次ページへ

5 フォルダを選択▶（決定）▶着信音を選択▶（決定）を押す

着信音を鳴らす時間を設定する画面が表示されます。

● メロディまたは動画／ｉモーションの再生方法→P129「携帯電話から鳴る着信音を変えます」操作5

6 鳴らす時間／鳴らす回数を入力▶（決定）を押す

操作1の画面に戻ります。

7 （電話帳）を押す

着信音を設定した旨のメッセージが表示されます。

8 （決定）を押す

メニュー画面に戻ります。

● （━）を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● メールを受信したときの着信音は、次の優先順位で鳴ります。
①ワンタッチダイヤルのメール着信音設定
②電話帳のグループ専用のメール着信音設定
③本機能の設定

メール着信振動設定　メニュー282

メール受信時の振動を設定します

お買い上げ時　振動させない

ｉモードメール、SMSを受信したときの振動を設定します。

1 待受画面で（✉）▶「8 メールを設定する」▶「2 メールが届いた時の振動を選ぶ」を押す

メールが
届いた時の振動を
選んでください

1 ﾊﾟﾀｰﾝAで振動
2 ﾊﾟﾀｰﾝBで振動
3 ﾊﾟﾀｰﾝCで振動
4 振動させない

● 振動パターンについて→P131「着信を振動でお知らせします」操作1

2 「1パターンAで振動」～「4振動させない」のいずれかを押す

振動パターンを設定した旨のメッセージが表示されます。

3 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

● ━ を押すと待受画面に戻ります。

署名設定　　メニュー283

ｉモードメールに付ける署名を登録します

ｉモードメールを送信するときに本文に付ける署名を設定します。

● 設定した署名はｉモードメールを送信するときに使用できます。→P272

1 待受画面で ✉ ▶「8メールを設定する」▶「3メールに付ける署名を登録する」▶署名を入力する

署名登録　残69
ドコモ太郎↲
電話：↲
090XXXXXXXX
[入力文字の切替
＊ 大/小文字の切替

● 全角で最大50文字、半角で最大100文字入力できます。

2 決定を押す

署名を登録した旨のメッセージが表示されます。

3 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

● ━ を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● 署名も本文の文字数に含まれます。

● 絵文字が入力された署名をｉモードメールに付けて他社携帯電話（au／ソフトバンク／ツーカー）に送信すると、自動的に受信側の類似絵文字に変換されます。ただし、受信側の携帯電話の機種や機能によって正しく表示されないことや、該当する絵文字がない場合に文字または〓に変換されることがあります。

次ページへ

- 一部の絵文字は、相手のｉモード端末の機種によっては正しく表示されない場合があります。
- 署名に電話番号やメールアドレス、URLを入れておくと、ｉモード端末にｉモードメールを送信した場合、相手がPhone To、Mail To、Web To機能を使うことができます。

らくらく返信設定 メニュー286

らくらく返信を設定します

お買い上げ時 利用する

ｉモードメールに返信するときにらくらく返信を使用するかどうかを設定します。

1 待受画面で(メール)▶「8メールを設定する」▶「6らくらく返信を設定する」を押す

らくらく返信を
利用しますか？
1利用する
2利用しない

2 「1利用する」または「2利用しない」を押す

利用する／利用しないを設定した旨のメッセージが表示されます。

3 (決定)を押す

メニュー画面に戻ります。

- (終話)を押すと待受画面に戻ります。

らくらく返信本文編集 メニュー287

らくらく返信の本文を編集します

らくらく返信の本文を編集して、よく使う文章に変更することができます。

- 最大6件登録できます。
- お買い上げ時は次の例文が登録されています。お買い上げ時に登録されている本文に上書きしても、お買い上げ時の内容に戻すことができます。
  - 了解しました。
  - 今から帰ります。
  - 後で連絡します。
  - 遅くなります。
  - ありがとうございます。
  - ごめんなさい。

1 待受画面で（メール）▶「8メールを設定する」▶「7らくらく返信の本文を編集する」を押す

らくらく返信本文
了解しました。
今から帰ります。
後で連絡します。
遅くなります。
ありがとうござ…
ごめんなさい。

2 編集する本文を選択▶決定を押す

らくらく返信の
本文内容を
編集してください
了解しました。

●全角で最大20文字、半角で最大40文字入力できます。

■ らくらく返信の本文を全件お買い上げ時の内容に戻すとき

①メニュー▶「2初期状態に戻す」を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

②4～8桁の端末暗証番号を入力▶決定を押す

本文全てをお買い上げ時の状態に戻すかどうかの確認画面が表示されます。

③「1戻す」を押す

本文全てをお買い上げ時の状態に戻した旨のメッセージが表示されます。操作4に進みます。

- 「2戻さない」：本文をお買い上げ時の状態に戻すことを中止します。

3 編集した後に決定を押す

本文を上書きした旨のメッセージが表示されます。

4 決定を押す

らくらく返信本文一覧に戻ります。

●（終話）を押すと待受画面に戻ります。

添付データ受信設定

添付データを受信するかどうかを設定します

ｉモードメールに添付されている画像、添付メロディを受信するかどうかを設定します。

画像データを受信するかどうかを設定

お買い上げ時　受信する

1 待受画面で(メニュー)▶「9詳細な設定」▶「5メールの詳細を設定する」▶「2添付の画像を受信する」を押す

メールに
添付された画像を
受信しますか？

1受信する
2受信しない

2 「1受信する」または「2受信しない」を押す

受信する／受信しないを設定した旨のメッセージが表示されます。

3 (決定)を押す

メニュー画面に戻ります。

● (━)を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

●「受信しない」に設定すると、画像データはｉモードセンターで削除され、受信できなくなりますのでご注意ください。

メロディデータを受信するかどうかを設定

お買い上げ時 受信する

1 待受画面で(メニュー)▶「9詳細な設定」▶「5メールの詳細を設定する」▶「3添付のメロディを受信する」を押す

メールに
添付された
メロディを
受信しますか？

1受信する
2受信しない

2 「1受信する」または「2受信しない」を押す

受信する／受信しないを設定した旨のメッセージが表示されます。

3 (決定)を押す

メニュー画面に戻ります。

● (ー)を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

●「受信しない」に設定すると、メロディデータはｉモードセンターで削除され、受信できなくなりますのでご注意ください。

● メール本文中に表示されるメロディ（MFi形式）は、本設定に関わらず受信します。

添付されたメロディを自動演奏するかどうかを設定します

お買い上げ時　自動演奏する

メロディが添付されているｉモードメールやメッセージR/Fを表示したときに、メロディを自動的に演奏するかどうかを設定します。

1 待受画面で(メニュー)▶「9詳細な設定」▶「5メールの詳細を設定する」▶「4添付のメロディを自動演奏する」を押す

添付された
メロディを自動で
演奏しますか？

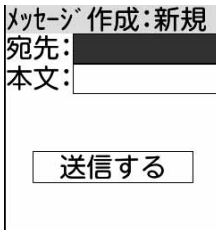
1自動演奏する
2自動演奏しない

2 「1自動演奏する」または「2自動演奏しない」を押す

自動演奏する／自動演奏しないに設定した旨のメッセージが表示されます。

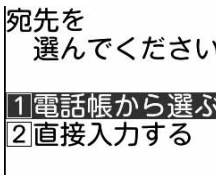
3 (決定)を押す

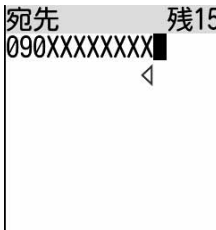
メニュー画面に戻ります。

● (―)を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- メロディの添付されたメッセージR/Fが自動表示されたときには、本機能の設定に関わらずメロディは自動的に演奏されません。
- 本機能の設定は、「メッセージのメロディを自動演奏する」の設定にも反映されます。→P236

メニュー 291

SMS（ショートメッセージ）を作成して送信します

● ダイヤル発信制限中は、宛先に電話番号を直接入力できません。→P160
● ドコモ以外の海外通信事業者をご利用のお客様との間でも、送受信できます。ご利用可能な国・海外通信事業者については、ドコモのホームページをご覧ください。

1 待受画面で（メールキー）▶「9 SMSを使う」▶「1 SMSを作る」を押す

2 宛先欄を選択▶（決定）を押す

宛先を
選んでください
1 電話帳から選ぶ
2 直接入力する

3 「2 直接入力する」▶宛先を入力▶（決定）を押す

宛先　残15
090XXXXXXX

● 相手の電話番号を入力します。
● 宛先がドコモ以外の海外通信事業者の場合は、「+」（0を1秒以上押す）「国番号」「相手の携帯電話番号」の順で入力するか、または「010」「国番号」「相手の携帯電話番号」の順で入力します（受信した海外からのSMSに返信する場合も、「+」または「010」を入力します）。携帯電話番号が「0」で始まる場合は「0」を除いて入力します。

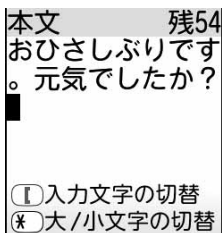
■ 電話帳から選択するとき

①「1 電話帳から選ぶ」▶電話帳を検索する
　• 検索方法→P101
②送信する相手を選択▶（決定）を押す
　送信する相手の電話番号画面が表示されます。

次ページへ

③電話番号を選択▶決定を押す

操作1の画面に戻ります。電話帳に登録した名前が宛先欄に入力されています。

4 本文欄を選択▶決定▶本文を入力▶決定を押す

- SMS設定で送信文字種（→P336）を「日本語」に設定した場合は、全角・半角を問わず最大70文字入力できます。「英語」に設定した場合は、半角の英数字と記号で最大160文字入力できます。
  詳細は「送受信できる文字数」をご覧ください。→P266
- #：文中で改行することができます（半角数字入力モード時を除く）。ただし、受信側の端末によっては空白に置き換わって表示されます。改行も本文の文字数に含まれます。

5 「送信する」を選択▶決定を押す

SMSが送信されます。

送信が終了すると、送信した旨のメッセージが表示されます。

6 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

- ━を押すと待受画面に戻ります。

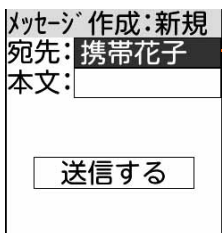
電話帳を表示してSMS（ショートメッセージ）を作成します

- 電話帳データに電話番号を登録していない場合は、本機能を使用できません。

1 待受画面で電話帳▶電話帳を検索する

- 検索方法→P101

2 SMSを送信する相手を選択▶メニュー▶「3SMSを作る」を押す

メッセージ作成：新規
宛先：携帯花子
本文：
送信する

電話帳に登録した名前が入力されます。

- SMS作成・送信方法→P321

メール

SMS作成・送信

おしらせ

- 発信者番号通知を「通知しない」に設定していても、SMS送信時は送信先に発信者番号が通知されます。
- メールの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、SMSを作成できない旨のメッセージが表示され、SMSを作成できません。「未送信のメールを見る」から不要なｉモードメール、SMSを削除してください。→P340
- 電波状況や送信する文字の種類、相手の端末によっては、相手に文字が正しく表示されない場合があります。
- 送信文字種や送達通知を受け取るかどうかは、あらかじめSMS設定で設定します。→P336
- SMS作成画面で送達通知を受け取るかどうかを設定する場合は、(メニュー)▶「4SMS送達通知」を押します。ただし、この場合は作成中のSMSのみに設定が有効になります。
- SMS設定で送達通知を「要求する」に設定して送信した場合（→P336）、SMSが相手のFOMA端末に届いたことを知らせる送達通知が送られてきます。送達通知は「受信したメールを見る」に保存されます。→P328
- 送信が正常に終了したときは、SMSが「送信したメールを見る」（→P325）に保存されます。送信メールの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、古い送信メールから順に上書きされます。ただし、保護されている送信メールには上書きされません。残しておきたい送信メールは保護してください。→P343
- 送信に失敗したときはエラーメッセージが表示され、SMSが「未送信のメールを見る」に保存されます。「未送信のメールを見る」からSMSを編集して送信できます。→P324
- FOMA端末電話帳の検索結果一覧から電話番号を複数登録している相手を選択してSMSを作成すると、１件目に登録している電話番号が宛先に設定されます。２件目以降に登録している電話番号を設定する場合は、FOMA端末電話帳の詳細画面を表示し、２件目以降の電話番号を選択してから作成します。→P107

SMS保存

作成中のSMS（ショートメッセージ）を保存しておき、あとで送信します

作成中のSMSを送信せずに保存したり、保存したSMSを再編集して送信したりできます。

作成中のSMS（ショートメッセージ）の保存

作成途中のSMSを、送信せずに保存しておきます。

- 宛先、本文のどちらかを入力すると保存できます。
- 最大保存件数→P520

1 SMSを作成する

- 操作方法→P321「SMS（ショートメッセージ）を作成して送信します」操作1～4

2 (メニュー)▶「2保存する」を押す

メールを保存した旨のメッセージが表示されます。

次ページへ

3 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

●SMSが「未送信のメールを見る」に保存されます。→P325

●（終話）を押すと待受画面に戻ります。

送信・保存したSMS（ショートメッセージ）の編集・送信

送信したSMSや、送信せずに保存したり送信に失敗したりしたSMSを編集して送信できます。

〈例〉未送信SMSを再編集するとき

1 待受画面で（メール）▶「4未送信のメールを見る」を押す

未送信メール一覧が表示されます。

●送信メール一覧の表示方法→P291「未送信／送信したｉモードメールを見ます」操作1～2

●SMSは（SMSアイコン）が表示されます。

2 編集するSMSを選択▶決定を押す

メッセージ作成:編集
宛先:090XXXXXXXX
本文:おひさしぶ
送信する

●送信したSMSを再編集するときは、編集するSMSを選択▶電話帳を押します。

●以降の操作→P321「SMS（ショートメッセージ）を作成して送信します」操作2以降

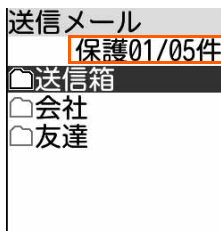
お知らせ

●FOMAカード内のSMSを送信した場合、送信したSMSは本体の「送信したメールを見る」に保存されます。→P325

未送信／送信したSMS（ショートメッセージ）を見ます

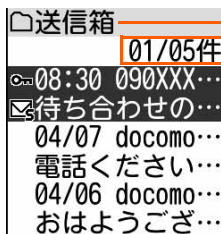
送信したSMSは「送信したメールを見る」に保存されます。送信せずに保存したり送信に失敗したりしたSMSは「未送信のメールを見る」に保存されます。

〈例〉送信したSMSを表示するとき

1 待受画面で[メールキー]▶「5 送信したメールを見る」を押す

送信メール
保護01/05件
送信箱
会社
友達

保護メール件数／全メール件数

- 未送信メールを表示する場合は、[メールキー]▶「4 未送信のメールを見る」を押します。操作3に進みます。
- [左右キー]：フォルダが複数ページある場合は、前後のページを表示できます。
- フォルダの状態をマークで確認できます。→P291「未送信／送信したｉモードメールを見ます」操作1

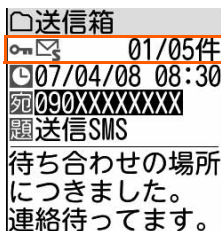
2 フォルダを選択▶[決定]を押す

送信箱
01/05件
08:30 090XXX…
待ち合わせの…
04/07 docomo…
電話ください…
04/06 docomo…
おはようござ…

フォルダ名
メール番号／フォルダ内件数
送信日時（送信当日：時刻　当日以外：日付）、宛先
本文の先頭

- [左右キー]：SMS／メールが複数ページある場合は、前後のページを表示できます。
- SMSは[SMSアイコン]が表示されます。
- 宛先を電話帳に登録しているときは、電話帳に登録した名前が表示されます。→P87
- メールの状態をマークで確認できます。→P292「未送信／送信したｉモードメールを見ます」操作2

次ページへ

3 表示するSMSを選択▶決定を押す

送信箱
01/05件
07/04/08 08:30
宛 090XXXXXXXX
題 送信SMS
待ち合わせの場所につきました。連絡待ってます。

状態マーク、SMSマーク、メール番号／フォルダ内件数

- 未送信SMSではSMS編集画面が表示されます。→P324
- ：前後のSMS／メールを表示できます。
- SMS本文は、次のマークで確認できます。

マーク	説　明
(時計)	送信した日時
宛	送信先の電話番号または電話帳に登録した名前
題	題名「送信SMS」

- を押すと待受画面に戻ります。

SMS受信

SMS（ショートメッセージ）を受信したときは

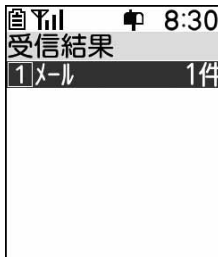
SMSが送られてきたときは自動的に受信し、画面表示や着信音、バイブレータ、ランプでお知らせします。受信したSMSは「受信したメールを見る」に保存されます。

- 最大保存件数→P520

1 SMSを受信する

が点滅し、が点灯します。

- メッセージ受信中にを押すと受信を中止できますが、受信中の状況によってはSMSを受信する場合があります。
- FOMA 端末を折り畳んでいるときは、背面ディスプレイに「メッセージ受信中」が表示されます。受信が完了するとメールが表示されます。

2 SMSの受信結果が表示される

着信音量（→P70）で設定した音量でメール着信音が鳴り、ランプが点滅します。

- 受信結果画面が表示されてから約15秒間、またはメール着信音が鳴り終わるまでの間（鳴らす時間を15秒以上に設定している場合）何も操作しないと、自動的に受信前の画面に戻ります。
- すぐに受信前の画面に戻すときは戻るを押します。
- 受信メール一覧を表示するか待受画面に戻ると が消えます。

■ 受信したSMSをすぐに確認するとき

「1メール」を押す

受信メールのフォルダ一覧が表示されます。→P328

■ 受信に失敗したとき

「1メール」の後ろに「×」が表示されます。

- SMSを受信し直すには、SMS問合せを行ってください。→P328

お知らせ

- SMSを受信したときは、メール受信時の動作に設定した着信音の優先順位に従い動作します。
  SMSを受信したときの着信音設定の優先順位は次のとおりです。
  ①ワンタッチダイヤルのメール着信音設定
  ②電話帳のグループ専用のメール着信音設定
  ③メール着信音設定
  複数のｉモードメールやSMS、メッセージR/Fを同時に受信したときは、最後に受信したｉモードメールやSMS、メッセージR/Fに設定した条件に従い動作します。
- 受信メールの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、古い受信メールから順に上書きされます。ただし、未読メールと保護されているメールには上書きされません。残しておきたい受信メールは保護してください。→P343
  未読メールと保護されているメールで保存領域が満杯で上書きできないときは、SMSの受信は中止され、画面には（赤）やのマークが表示されます。
- FOMAカードにSMSが20件保存されているときは、「受信したメールを見る」に空きがあってもSMSを受信できない場合があり、画面には（赤）やのマークが表示されます。FOMA端末本体に移動するか、FOMAカードのSMSを削除してください。→P334、P335
- 待受画面／メニュー画面以外（他の機能が起動中）のときや個人情報表示制限中は、SMSを自動受信しますが、受信中画面や受信結果画面は表示されず、着信音とランプも動作しません。受信したSMSを確認するには、他の機能を終了／各制限を解除してください。
- ｉモードメール、メッセージR/F受信中は、SMSを自動受信しません。また、ｉモードメール、メッセージR/Fの受信完了後も自動受信はされません。SMS問合せを行ってください。→P328
- FOMA端末でSMSを受信すると、SMSセンターに保管されているSMSは削除されます。
- movaサービスのｉモード端末から送信したショートメールは、FOMA端末ではSMSとして受信します。

SMS問合せ　　メニュー292

SMS（ショートメッセージ）があるかどうかを問い合わせます

圏外にいた間や電源を切っていた間などにSMSが届いていないかを問い合わせます。

● 電波状態によってはSMS問合せができない場合があります。

1 **待受画面で［メール］▶「9 SMSを使う」▶「2 届いているSMSを全部受信する」を押す**

SMS問合せが実行されます。SMSセンターにSMSが保管されていれば受信します。

● SMS問合せ中やSMS受信中に［終話］を押すと、問い合わせを中止できますが、問い合わせの状況によってはSMSを受信する場合があります。

● 受信結果画面の操作は自動受信時と同様です。→P326

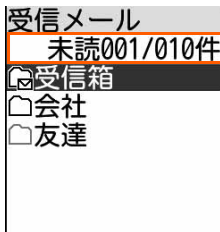
お知らせ

● 受信するまでに時間がかかる場合があります。

受信メール　　メニュー21

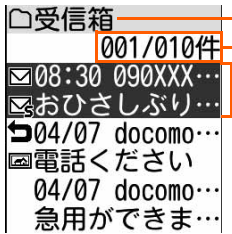
受信したSMS（ショートメッセージ）を見ます

1 **待受画面で［メール］▶「1 受信したメールを見る」を押す**

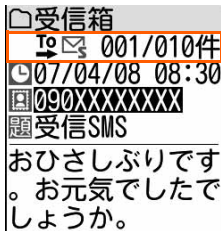
受信メール
未読001/010件
受信箱
会社
友達

未読メール数／全メール件数

● ［◁］［▷］：フォルダが複数ページある場合は、前後のページを表示できます。

● フォルダの状態をマークで確認できます。→P299「受信したｉモードメールを見ます」操作1

2 フォルダを選択▶(決定)を押す

フォルダ名
メール番号／フォルダ内件数
受信日時（受信当日：時刻　当日以外：日付）、送信元、本文の先頭または「SMS送達通知」、「留守番　着信通知」

- ：SMS／メールが複数ページある場合は、前後のページを表示できます。
- SMSは が表示されます（送達通知、着信通知を除く）。
- 送信元を電話帳に登録しているときは、電話帳に登録した名前が表示されます。→P87
- メールの状態をマークで確認できます。→P299「受信したｉモードメールを見ます」操作2

3 表示するSMSを選択▶(決定)を押す

宛先マーク、SMSマーク、メール番号／フォルダ内件数

- ：前後のSMS／メールを表示できます。
- SMS本文は、次のマークで確認できます。

マーク	説　明
	送達通知、着信通知
	受信した日時
	送信元の電話番号または電話帳に登録した名前
	送信元（返信不可） • 送達通知の場合は「SMS Center」、着信通知の場合は「DoCoMo SMS」
題	題名「受信SMS」 • 送達通知の場合は「SMS送達通知」、着信通知の場合は「留守番　着信通知」

- を押すと待受画面に戻ります。

おしらせ

- 受信したSMSに、区点コード一覧に記載されていない全角文字（ラテン文字やギリシア文字などの特殊文字）は、空白で表示されます。
- データ異常のSMSは次のように表示されます。
  受信メール一覧画面： が表示され、受信日時には--/--（受信当日のみ）となります。送信元は表示されません。
  受信SMS詳細画面　： が表示され、 以外は表示されません。
- ドコモ以外の海外通信事業者からSMSを受信した場合は、送信元のアドレスに自動的に「＋」が付きます。

SMS返信

SMS（ショートメッセージ）に返事を出します

●送信元に「非通知設定」「公衆電話」「通知不可能」や×のマークが表示される受信SMSには返信できません。

1 **待受画面で(✉)▶「1受信したメールを見る」▶フォルダを選択▶(決定)を押す**

受信メール一覧が表示されます。

2 **返信するSMSを選択▶(電話帳)を押す**

メッセージ作成：返信
宛先：090XXXXXXXX
本文：
送信する

●以降の操作→P322「SMS（ショートメッセージ）を作成して送信します」操作4以降

●返信すると、受信SMSの状態マークが、表示なし（既読）／✉／🔑から↩／✉／↩に変わります。→P299「受信したｉモードメールを見ます」操作2

受信SMSの送信元の電話番号または電話帳に登録した名前が入力されます。

おしらせ

●返信するSMSには受信SMSの本文は引用されません。

●FOMAカード内のSMSから返信した場合、送信したSMSは本体の「送信したメールを見る」に保存されます。→P325

SMS転送

SMS（ショートメッセージ）を他の宛先に転送します

●SMSで転送されます。

1 **待受画面で(✉)▶「1受信したメールを見る」▶フォルダを選択▶(決定)を押す**

受信メール一覧が表示されます。

メール

SMS返信

2 転送するSMSを選択▶(メニュー)▶「2 転送する」を押す

メッセージ作成：転送
宛先：
本文：今日は良い
送信する

受信SMSの本文が入力されます。

● 以降の操作→P321「SMS（ショートメッセージ）を作成して送信します」操作2以降
● 転送すると、受信SMSの状態マークが、表示なし（既読）／✉／🔑から➡／✉／⇄に変わります。→P299「受信したｉモードメールを見ます」操作2

おしらせ

● FOMAカード内のSMSから転送した場合、送信したSMSは本体の「送信したメールを見る」に保存されます。→P325

SMS（ショートメッセージ）をFOMAカードに保存します

送受信したSMSを、FOMA端末本体から移動またはコピーしてFOMAカードに保存できます。

FOMA端末内SMSのFOMAカードへの移動／コピー

FOMA端末本体に保存しているSMSを、FOMAカードに移動またはコピーします。

● 「未送信のメールを見る」のSMSは、FOMAカードに保存できません。
● 送信SMSを移動／コピーすると、対応する送達通知が同時にFOMAカードの「FOMAカードの受信SMSを見る」に移動／コピーされます。送達通知だけを移動／コピーすることはできません。
● 最大保存件数→P520

〈例〉受信SMSをFOMAカードに移動／コピーするとき

1 待受画面で(✉)▶「1 受信したメールを見る」▶フォルダを選択▶(決定)を押す

受信メール一覧が表示されます。

● 送信メール一覧の表示方法→P291「未送信／送信したｉモードメールを見ます」操作1～2

次ページへ

2 移動／コピーするSMSを選択▶(メニュー)▶「6FOMAカードへ保存」を押す

FOMAカードへの
保存方法を
選んでください

1移動する
2コピーする

●送信メール一覧から操作するときは、移動／コピーするSMSを選択▶(メニュー)▶「5FOMAカードへ保存」を押します。

3 「1移動する」または「2コピーする」を押す

移動またはコピーするかどうかの確認画面が表示されます。

4 「1移動する」または「1コピーする」を押す

メッセージを移動またはコピーした旨のメッセージが表示されます。

5 (決定)を押す

受信メール一覧に戻ります。

●(終話)を押すと待受画面に戻ります。

おしらせ

- FOMAカードの最大保存件数を超えるときは移動／コピーできません。FOMAカードから不要なSMSを削除してください。→P335
- 受信SMS詳細画面、送信SMS詳細画面からも同様にしてFOMAカードへ移動やコピーができます。
- 送信SMSをFOMAカードに移動／コピーした場合、FOMAカード内の送信SMSから送信日時のデータが消去されます。
- 保護したSMSをFOMAカード内に移動やコピーをすると、移動先やコピー先でSMSの保護は解除されます。

FOMAカード内SMS（ショートメッセージ）の表示 メニュー294／295

FOMAカードに保存されているSMSを表示します。

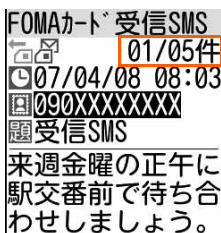
1 待受画面で(✉)▶「9 SMSを使う」▶「4 FOMAカードの受信SMSを見る」を押す

FOMAカード受信SMS
01/05件
08:03 090XXX…
来週金曜の正…
07:37 090XXX…
明日の夕方ま…
07:37 SMS Ce…
SMS送達通知

メッセージ番号／全メッセージ件数
受信日時※（受信当日：時刻　当日以外：日付）、送信元または宛先
本文の先頭または「SMS送達通知」「留守番　着信通知」
※ 送信SMSは、送信時刻が表示されません。

- 送信SMSを表示するときは、(✉)▶「9 SMSを使う」▶「5 FOMAカードの送信SMSを見る」を押します。
- (◁)(▷)：SMSが複数ページある場合は、前後のページを表示できます。
- 送信元を電話帳に登録しているときは、電話帳に登録した名前が表示されます。→P87
- SMSの状態は、次のマークで確認できます。

マーク	説　明
✉	未読SMS
表示なし	既読SMS
（マーク）	未読SMS（返信不可）
（マーク）	既読SMS（返信不可）
（マーク）	送達通知、着信通知

2 表示するSMSを選択▶(決定)を押す

FOMAカード受信SMS
01/05件
07/04/08 08:03
090XXXXXXXX
題 受信SMS
来週金曜の正午に駅交番前で待ち合わせしましょう。

メッセージ番号／全メッセージ件数

- (◁)(▷)：前後のメールを表示できます。
- SMS本文は、次のマークで確認できます。

マーク	説　明
（マーク）	受信SMS
（マーク）	受信SMS（返信不可）
（マーク）	送信SMS
（マーク）	送達通知、着信通知
（マーク）	FOMAカード内のSMS

- 上記以外のマーク
→P326「未送信／送信したSMS（ショートメッセージ）を見ます」操作3、P329「受信したSMS（ショートメッセージ）を見ます」操作3
- (⏎)を押すと待受画面に戻ります。

次ページへ

●FOMAカード内のSMSからも、返信／転送、電話帳登録などの操作ができます。操作方法は本体に保存されているSMSと同様です。→P330、P349

FOMAカード内SMSのFOMA端末本体への移動／コピー

FOMAカードに保存されているSMSを、FOMA端末本体の「受信したメールを見る」、「送信したメールを見る」に移動またはコピーします。

●送信SMSを移動／コピーすると、対応する送達通知が同時に「受信したメールを見る」に移動／コピーされます。送達通知だけを移動／コピーすることはできません。

〈例〉受信SMSをFOMA端末本体に移動／コピーするとき

1 待受画面で(メール)▶「9SMSを使う」▶「4FOMAカードの受信SMSを見る」を押す

受信SMS一覧が表示されます。

●送信SMSを移動／コピーするときは、(メール)▶「9SMSを使う」▶「5FOMAカードの送信SMSを見る」を押します。

2 移動／コピーするSMSを選択▶(メニュー)▶「4本体へ保存」を押す

本体への
保存方法を
選んでください

1移動する
2コピーする

●送信SMS一覧から操作するときは、移動／コピーするSMSを選択▶(メニュー)▶「3本体へ保存」を押します。

3 「1移動する」または「2コピーする」を押す

<「1移動する」を押した場合>

4 移動先またはコピー先のフォルダを選択▶(決定)を押す

メッセージを移動またはコピーした旨のメッセージが表示されます。

5 決定を押す

受信SMS一覧に戻ります。

● ━を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● 受信メールまたは送信メールの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、移動／コピーできません。保護されていないSMSやｉモードメールがあっても上書きされません。
● 受信SMS詳細画面、送信SMS詳細画面からも同様にして、本体へ移動やコピーができます。

FOMAカード内SMS（ショートメッセージ）の削除

FOMAカードに保存しているSMSを１件ずつ削除したり、まとめて削除したり、送達通知だけをまとめて削除できます。

● 送信SMSを削除した場合、対応する送達通知がFOMAカード内にあれば、同時に削除されます。

〈例〉受信SMSを１件削除するとき

1 待受画面で✉▶「9SMSを使う」▶「4FOMAカードの受信SMSを見る」を押す

受信SMS一覧が表示されます。

● 送信SMSを削除するときは、✉▶「9SMSを使う」▶「5FOMAカードの送信SMSを見る」を押します。

2 削除するSMSを選択▶メニュー▶「3削除する」を押す

削除するﾒｯｾｰｼﾞを
選んでください

1選択１件
2FOMAｶｰﾄﾞ内全件
3送達通知全件

● 送信SMS一覧から操作するときは、削除するSMSを選択▶メニュー▶「2削除する」を押します。

3 「1選択１件」を押す

メッセージを削除するかどうかの確認画面が表示されます。

■ FOMAカード内のメッセージを全件削除するとき

「2FOMAカード内全件」▶4～8桁の暗証番号を入力▶決定を押す

■ FOMAカード内の送達通知を全件削除するとき

「3送達通知全件」▶4～8桁の暗証番号を入力▶決定を押す

• 受信SMSのみ操作できます。

次ページへ

4 「1削除する」を押す

メッセージを削除した旨のメッセージが表示されます。

● 「2削除しない」：削除を中止します。

5 決定を押す

受信SMS一覧に戻ります。

● ━を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● 受信SMS詳細画面、送信SMS詳細画面から削除する場合は、メニュー▶「削除する」を選択▶決定▶「1削除する」を押します。

SMS設定 メニュー293

SMS（ショートメッセージ）の設定をします

お買い上げ時　送信文字種：日本語　送達通知：要求しない　有効期間：3日　SMSC：ドコモ　アドレス：81903101652　Type of Number：international

SMSを利用する際の各種条件を設定します。

通常はSMSC、アドレス、Type of Numberの設定を変更する必要はありません。

1 待受画面で✉▶「9SMSを使う」▶「3SMSを設定する」を押す

SMSを
設定してください
1送信文字種
日本語
2送達通知
要求しない
3有効期間
3日

1送信文字種：日本語のメッセージを送信するか、英語のメッセージを送信するかを選択します。送信文字種により送信できる文字数が異なります。→P266

2送達通知　：SMSを送信する際に、相手に届いたことを知らせる送達通知の配信を要求するかどうかを設定します。

3有効期間　：送信したSMSを相手が受け取れないときに、SMSセンターで保管する期間を選択します。

2 「1送信文字種」～「3有効期間」のいずれかを押す

■ 送信文字種を設定するとき

「1送信文字種」▶「1日本語」または「2英語」を押す

■ 送達通知を設定するとき

「2送達通知」▶「1要求する」または「2要求しない」を押す

■ 有効期間を設定するとき

「3有効期間」▶「10日」～「43日」のいずれかを押す

・「0日」に設定すると、一定時間再送された後、削除されます。

■ ドコモ以外のSMSサービスを受けるとき

①メニューを押す

②「1SMSC」▶「2その他」を押す

・「1ドコモ」：ドコモからSMSサービスを受ける場合に設定します。

③「2アドレス」▶アドレスを入力▶決定を押す

・半角で最大20文字入力できます。

④「3Type of Number」▶「1international」または「2unknown」を押す

・SMSCで「その他」を設定し、かつメールアドレスに数字のみ、あるいは「*」「#」を含んだ番号を設定した場合は、Type of Numberを「unknown」に設定する必要があります。

3 設定した後に電話帳を押す

SMSを設定した旨のメッセージが表示されます。

4 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

●—を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

●送達通知を「要求する」に設定して送信した場合は、SMSが相手のFOMA端末に届いたことを知らせる送達通知が送られてきます。送達通知は「受信したメールを見る」に保存されます。→P328

●送信文字種、有効期間、SMSC、Type of Numberの設定は、FOMAカードに保存されます。

メールを管理します

FOMA端末には、メールをより使いやすくするためのさまざまな管理機能があります。

メールのフォルダ作成

●「受信したメールを見る」では「受信箱」フォルダ以外に最大29個、「送信したメールを見る」では「送信箱」フォルダ以外に最大9個作成できます。

〈例〉受信メールのフォルダを追加するとき

1 待受画面で(メール)▶「1受信したメールを見る」を押す

フォルダ一覧が表示されます。

●送信メール一覧の表示方法→P291「未送信／送信したｉモードメールを見ます」操作1

2 (メニュー)▶「1フォルダを追加」▶フォルダ名を入力する

フォルダ名を
入力してください
マイフォルダ█ ◁

●全角で最大7文字、半角で最大14文字入力できます。

■ フォルダ名を変更するとき

フォルダ名を変更するフォルダを選択▶(メニュー)▶「3フォルダ名変更」▶フォルダ名を入力する

•「受信箱」「送信箱」フォルダのフォルダ名は変更できません。

3 (決定)を押す

フォルダを追加した旨のメッセージが表示されます。

4 (決定)を押す

フォルダ一覧に戻ります。

●(終話)を押すと待受画面に戻ります。

メールのフォルダ削除

●「受信箱」「送信箱」フォルダは削除できません。

●保護されているメールがあるフォルダは削除できません。保護を解除してからフォルダを削除してください。

〈例〉受信メールのフォルダを削除するとき

1 待受画面で(✉)▶「1受信したメールを見る」を押す

フォルダ一覧が表示されます。

● 送信メール一覧の表示方法→P291「未送信／送信した i モードメールを見ます」操作1

2 削除するフォルダを選択▶(メニュー)▶「2フォルダを削除」を押す

フォルダを削除するかどうかの確認画面が表示されます。

● フォルダ内にメールが残ったままフォルダを削除するときは、4～8桁の端末暗証番号を入力▶(決定)を押します。

3 「1削除する」を押す

フォルダを削除した旨のメッセージが表示されます。

● 「2削除しない」：削除を中止します。

4 (決定)を押す

フォルダ一覧に戻ります。

● (━)を押すと待受画面に戻ります。

他のフォルダへのメール移動

〈例〉受信メールを他のフォルダに移動するとき

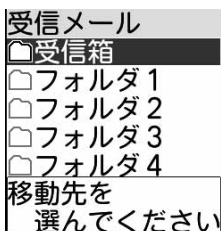
1 待受画面で(✉)▶「1受信したメールを見る」▶フォルダを選択▶(決定)を押す

受信メール一覧が表示されます。

● 送信メール一覧の表示方法→P291「未送信／送信した i モードメールを見ます」操作1～2

2 移動するメールを選択▶(メニュー)▶「5フォルダを移動」を押す

● 送信メール一覧から操作するときは、移動するメールを選択▶(メニュー)▶「4フォルダを移動」を押します。

次ページへ

3 移動先のフォルダを選択▶決定を押す

メールを移動した旨のメッセージが表示されます。

4 決定を押す

受信メール一覧に戻ります。

● ⌐を押すと待受画面に戻ります。

メールの保存件数の確認

受信メールまたは送信メールが何件保存されているかを、フォルダごとに確認します。

〈例〉受信メールの保存件数を確認するとき

1 待受画面で✉▶「1受信したメールを見る」を押す

フォルダ一覧が表示されます。

● 送信メール一覧の表示方法→P291「未送信／送信したｉモードメールを見ます」操作1

2 件数を確認するフォルダを選択▶メニュー▶「5メール件数確認」を押す

ﾌｫﾙﾀﾞ内ﾒｰﾙ件数	
未読	0件
既読	5件
保護	2件

3 確認が終わったら決定を押す

フォルダ一覧に戻ります。

● ⌐を押すと待受画面に戻ります。

メールの削除

「受信したメールを見る」「未送信のメールを見る」「送信したメールを見る」から不要なメールを削除します。

● 保護されているメールは削除できません。まとめて削除する場合でも、保護されているメールは削除されずに残ります。保護を解除してから削除してください。

受信メールを削除します

○：実行可　－：実行不可

削除方法	削除されるメール	実行する画面		
		フォルダ一覧	メール一覧	詳細表示
選択1件	選択したメール	－	○	○
フォルダ内既読	フォルダ内の既読メール	○	○	－
フォルダ内全件	フォルダ内の全メール（未読も削除）	○	○	－
受信メール全件	全メール（未読も削除）	○	－	－

〈例〉受信メールを１件削除するとき

1 待受画面で（メール）▶「1受信したメールを見る」を押す

フォルダ一覧が表示されます。

2 フォルダを選択▶（決定）を押す

受信メール一覧が表示されます。

■ 受信メールを全件削除するとき

（メニュー）▶「4メールを削除」▶「3受信メール全件」▶4～8桁の端末暗証番号を入力▶（決定）を押す

メールを削除するかどうかの確認画面が表示されます。操作5に進みます。

3 削除するメールを選択▶（メニュー）▶「3削除する」を押す

削除するメールを
選んでください
1選択１件
2フォルダ内既読
3フォルダ内全件

4 「1選択1件」を押す

メールを削除するかどうかの確認画面が表示されます。

■ フォルダ内の既読メールを削除するとき

「2フォルダ内既読」を押す

■ フォルダ内のメールを全件削除するとき

「3フォルダ内全件」▶4～8桁の端末暗証番号を入力▶（決定）を押す

次ページへ

5 「1削除する」を押す

メールを削除した旨のメッセージが表示されます。

●「2削除しない」：削除を中止します。

6 決定を押す

受信メール一覧に戻ります。

●(終話)を押すと待受画面に戻ります。

未送信／送信したメールを削除します

○：実行可　－：実行不可

削除方法	削除されるメール	実行する画面		
		フォルダ一覧	メール一覧	詳細表示
選択1件	選択したメール	－	○	○※1
フォルダ内全件※1	フォルダ内の全メール	○	○	－
全件／送信メール全件	未送信または送信の全メール	○※1	○※2	－

※1 送信メールのみ

※2 未送信メールのみ

〈例〉送信メールを1件削除するとき

1 待受画面で(メール)▶「5送信したメールを見る」を押す

フォルダ一覧が表示されます。

●未送信メールを削除するときは、(メール)▶「4 未送信のメールを見る」を押します。操作3に進みます。

2 フォルダを選択▶決定を押す

送信メール一覧が表示されます。

■ 送信メールを全件削除するとき

(メニュー)▶「4メールを削除」▶「2送信メール全件」▶4～8桁の端末暗証番号を入力▶決定を押す

メールを削除するかどうかの確認画面が表示されます。操作5に進みます。

3 削除するメールを選択▶(メニュー)▶「2削除する」を押す

削除するメールを
選んでください
1選択1件
2フォルダ内全件

●未送信メール一覧から操作するときは、削除するメールを選択▶(メニュー)▶「3削除する」を押します。

4 「1選択1件」を押す

メールを削除するかどうかの確認画面が表示されます。

■ フォルダ内のメールを全件削除するとき

「2フォルダ内全件」▶4～8桁の端末暗証番号を入力▶(決定)を押す

• 未送信メールを全件削除するときは、「2全件」▶4～8桁の端末暗証番号を入力▶(決定)を押します。

5 「1削除する」を押す

メールを削除した旨のメッセージが表示されます。

●「2削除しない」：削除を中止します。

6 (決定)を押す

送信メール一覧に戻ります。

●(終話)を押すと待受画面に戻ります。

メールの保護／解除

受信メール、送信メール、未送信メールを誤って削除したり、保存領域の空きがなくなって上書きされないように、メールを保護します。

●未読メールは保護できません。

●最大保護件数→P520

〈例〉受信メールを保護するとき

1 待受画面で(メール)▶「1受信したメールを見る」▶フォルダを選択▶(決定)を押す

受信メール一覧が表示されます。

●未送信／送信メール一覧の表示方法→P291「未送信／送信したｉモードメールを見ます」操作1～2

次ページへ

2 保護するメールを選択▶(メニュー)▶「4保護／解除する」を押す

保護または保護を解除するメールを選んでください

1選択１件保護
2全件保護
3選択１件解除
4全件解除

● 送信メール一覧から操作するときは、保護するメールを選択▶(メニュー)▶「3保護／解除する」を押します。

■ 保護を解除するとき

①保護を解除するメールを選択▶(メニュー)▶「4保護／解除する」を押す

- 送信メール一覧から操作するときは、保護を解除するメールを選択▶(メニュー)▶「3保護／解除する」を押します。

②「3選択１件解除」を押す

- 保護を全件解除するときは、「4 全件解除」を押します。

3 「1選択１件保護」または「2全件保護」を押す

メールが保護されます。

● メールを保護すると状態マークが次のいずれかに変わります。

受信メール　：（既読）、（返信不可）、（返信済み）、（転送済み）
未送信メール：
送信メール　：

● (終話)を押すと待受画面に戻ります。

おしらせ

● メール詳細画面から保護する場合は、(メニュー)▶「保護する」を選択▶(決定)を押して操作します。保護を解除する場合は、(メニュー)▶「保護を解除」を選択▶(決定)を押して操作します。
● 全件保護の途中で最大保護件数を超える場合は、日時が新しいメールから順に、最大保護件数に達するまで保護されます。

メール一覧の並び順変更

「受信したメールを見る」「送信したメールを見る」のメール一覧の並び順（「日付順」）を一時的に並べ替えます。

〈例〉受信メール一覧を並べ替えるとき

1 待受画面で ✉ ▶「1 受信したメールを見る」▶フォルダを選択▶ 決定 を押す

受信メール一覧が表示されます。

● 送信メール一覧の表示方法→P291「未送信／送信したｉモードメールを見ます」操作1～2

2 メニュー ▶「7 並び順を変更」を押す

並び順を
選んでください

1 日付順
2 差出人順
3 題名順

● 送信メール一覧から操作するときは、メニュー ▶「6 並び順を変更」を押します。
「1 日付順」「2 宛先順」「3 題名順」から選択できます。

3 「1 日付順」～「3 題名順」のいずれかを押す

メールが一時的に並び替わります。

● ⌒ を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- 受信メール一覧または送信メール一覧の表示を終了すると「日付順」に戻ります。
- 「差出人順」または「宛先順」の場合は、メールアドレスが電話帳に登録されていても電話帳の名前ではなく、メールアドレスのアルファベット順に並び替わります。
- 題名に全角／半角の文字や漢字が混在していると、「題名順」の並び順の結果が 50 音順にならない場合があります。
- フォルダ内に SMS が含まれているときに題名順で並べ替えると、一覧画面では SMS は題名部分にメッセージの本文の先頭が表示されるため50音順にはなりません。

メール一覧の表示方法変更

「受信したメールを見る」のメール一覧を一時的にメールの状態別に表示します。

1 待受画面で ✉ ▶「1 受信したメールを見る」▶フォルダを選択▶ 決定 を押す

受信メール一覧が表示されます。

次ページへ

2 メニュー▶「8表示方法を変更」を押す

表示方法を
選んでください
1全て表示
2未読のみ表示
3既読のみ表示
4保護のみ表示

3 「1全て表示」～「4保護のみ表示」のいずれかを押す

選択した表示方法で表示されます。

● [終話]を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● 受信メール一覧の表示を終了すると「全て表示」に戻ります。
●「既読のみ表示」では、保護されている受信メールは表示されません。

メールの文字サイズ設定

お買い上げ時 大きく表示する

受信メールや送信メール、例文などの内容を表示するときの文字サイズを変更します。

● 本機能の設定は受信メール、送信メール、例文表示、FOMAカード内のSMSすべてに反映されます。

● メール作成／編集時の文字サイズは変更できません。

<大きく表示する：
1行全角で8文字（半角16文字）>

<小さく表示する：
1行全角で10文字（半角20文字）>

〈例〉受信メール詳細画面で文字サイズを変更するとき

1 待受画面で[メール]▶「1受信したメールを見る」▶フォルダを選択▶[決定]を押す

受信メール一覧が表示されます。

2 メールを選択▶(決定)▶(メニュー)▶「7小さく表示する」を押す

文字の大きさが変わります。

- (終話)を押すと待受画面に戻ります。
- 小さく表示されている場合は、(メニュー)▶「7大きく表示する」を押します。

お知らせ

- 送信メール詳細画面、FOMAカード内の受信／送信SMS詳細画面から操作する場合は、(メニュー)▶「大きく表示する」または「小さく表示する」を選択▶(決定)を押します。
- 例文表示画面から操作する場合は、(メニュー)を押します。押すたびに文字の大きさが切り替わります。
- 文字サイズを変更すると、次にメールを表示するときも同じ文字サイズで表示されます。

メールの送信元／宛先確認

メールに表示されているメールアドレスや電話帳に登録した名前がすべて表示されない場合は、この方法でメールアドレスを確認できます。宛先が複数あるときは全宛先のメールアドレスを、受信メールの場合には自分以外の宛先を表示します。

〈例〉受信メール一覧でメールアドレスを確認するとき

1 待受画面で(メール)▶「1受信したメールを見る」▶フォルダを選択▶(決定)を押す

受信メール一覧が表示されます。

- 未送信／送信メール一覧の表示方法→P291「未送信／送信したｉモードメールを見ます」操作1～2

2 メールアドレスを表示するメールを選択▶(メニュー)▶「0差出人等を確認」を押す

差出人確認
題名：
お知らせ
差出人：
docomo.ΔΔΔ.taro@
docomo.ne.jp
宛先(To)：
docomo.taro.ΔΔ@d

受信メールの場合、自分以外の宛先があると「宛先（To）:」「Cc:」が表示

- 未送信／送信メール一覧から操作するときは、メールアドレスを表示するメールを選択▶(メニュー)▶「宛先を確認」を選択▶(決定)を押します。宛先確認では「題名：」「差出人：」は表示されません。
- メールアドレスが「携帯電話番号@docomo.ne.jp」の場合やSMSでは、電話番号が表示されます。

3 確認が終わったら(決定)を押す

受信メール一覧に戻ります。

- (終話)を押すと待受画面に戻ります。

次ページへ

●受信／送信メール、受信／送信SMS詳細画面から操作する場合は、(メニュー)▶「#差出人を確認」または「*宛先を確認」を押します。

メールの便利な機能

ｉモードメール、SMSの本文中の文字をコピーします。また、本文に電話番号やメールアドレスがあるとき、それらを選択してFOMA端末電話帳に登録することもできます。

本文などのコピー

コピーした文字は、メール作成画面やFOMA端末電話帳の登録画面などの入力欄に貼り付けることができます。

●記録できるのは1件だけです。新たにコピーを行うと前にコピーした文字に上書きされます。

コピーする項目	説　明
選択中の項目	反転表示されている項目（メールアドレス、電話番号など）をコピーします。
宛先または差出人	宛先または送信元をコピーします。
題名	題名をコピーします。
本文	本文中の指定した範囲の文字をコピーします。

〈例〉受信メール詳細画面からコピーするとき

1 コピーする項目を含む受信メール詳細画面を表示する

●受信／送信メール、受信／送信SMS詳細画面→P291、P299、P325、P328

●FOMAカード内の受信／送信SMS詳細画面→P332

●例文一覧→P288「例文を編集して保存」操作1

2 (メニュー)▶「9内容をコピー」を押す

コピーする項目を
選んでください

1選択中の項目
2題名
3本文

■ 送信メール詳細画面から操作するとき

(メニュー)▶「8内容をコピー」を押す

■ FOMAカード内の受信SMS詳細画面から操作するとき

(メニュー)▶「6内容をコピー」を押す

「1差出人」「2本文」から選択できます。

■ FOMAカード内の送信SMS詳細画面から操作するとき

(メニュー)▶「5内容をコピー」を押す

「1宛先」「2本文」から選択できます。

■ 例文一覧から操作するとき

(メニュー)▶「3内容をコピー」を押す

「1宛先」「2題名」「3本文」から選択できます。

3 「1選択中の項目」～「3本文」のいずれかを押す

コピーした旨のメッセージが表示されます。

- 例文一覧以外で「3本文」を押した場合はコピーする範囲を指定します。→P446「文字のコピーと貼り付け」操作2～3

4 (決定)を押す

受信メール詳細画面に戻ります。

- 貼り付け方法→P446「文字のコピーと貼り付け」操作5
- (終話)を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- コピーした文字は電源を切るまでFOMA端末に記録され、別の場所に何度でも貼り付けることができます。

電話番号やメールアドレスの電話帳登録

iモードメール、SMSの詳細画面からメールアドレスや電話番号をFOMA端末電話帳に登録します。

〈例〉受信メール詳細画面から電話帳登録するとき

1 登録する項目を含む受信メール詳細画面を表示する

- 受信／送信メール、受信／送信SMS詳細画面→P291、P299、P325、P328
- FOMAカード内の受信／送信SMS詳細画面→P332

次ページへ

2 項目を選択▶(メニュー)▶「0 登録する」を押す

● 反転表示される項目のみ選択できます。

■ 送信メール詳細画面から操作するとき
(メニュー)▶「9 登録する」を押す

■ FOMAカード内の受信SMS詳細画面から操作するとき
(メニュー)▶「7 登録する」を押す

■ FOMAカード内の送信SMS詳細画面から操作するとき
(メニュー)▶「6 登録する」を押す

3 「1 電話帳新規登録」または「2 電話帳追加登録」を押す

● 以降の操作→P88「ステップ1」操作2以降、P224「登録済みの電話帳データに追加します」操作3以降

お知らせ

● メール本文などに複数のメールアドレスが列記されている場合は、登録できないことがあります。

URLのブックマーク登録

iモードメール、SMSの本文中にURLがあるとき、メール詳細画面から直接、URLをブックマークに登録できます。

〈例〉受信メール詳細画面からブックマーク登録するとき

1 登録するURLを含む受信メール詳細画面を表示する

● 受信／送信メール、受信／送信SMS詳細画面→P291、P299、P325、P328

● FOMAカード内の受信／送信SMS詳細画面→P332

2 URLを選択▶(メニュー)▶「0 登録する」を押す

■ 送信メール詳細画面から操作するとき
(メニュー)▶「9 登録する」を押す

■ FOMAカード内の受信SMS詳細画面から操作するとき
(メニュー)▶「7 登録する」を押す

■ FOMAカード内の送信SMS詳細画面から操作するとき
(メニュー)▶「6 登録する」を押す

3 「3 ブックマーク登録」▶登録先フォルダを選択▶決定を押す

ブックマークを追加した旨のメッセージが表示されます。

4 決定を押す

受信メール詳細画面に戻ります。

● [終話]を押すと待受画面に戻ります。

データ表示／編集／管理

画像を使いこなします

動画を使いこなします

メロディを使いこなします

画像を表示します

FOMA端末に保存されている画像を表示します。

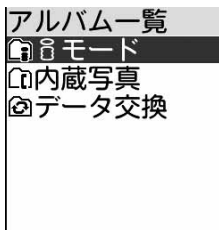
●表示できる画像の種別は次のとおりです。

画像の種別	説　明
静止画	ｉモードサイトやメールから取得したJPEG形式やGIF形式の画像（アニメーション以外）、内蔵のJPEG形式の画像など
アニメーション	ｉモードサイトやメールから取得したアニメーション画像やFlash画像、内蔵のFlash画像など

●表示の他に次の操作ができます。

項目	参照先	項　目	参照先
ｉモードメールに添付します	P356	**情報を表示します**	P357
待受画面に設定します	P356	**題名などを変更します**	P358

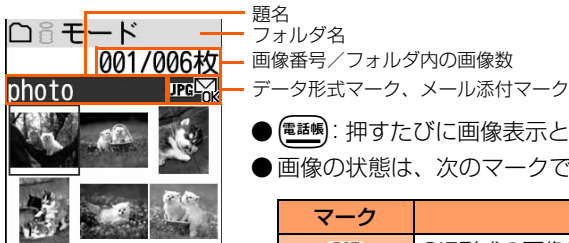
1 待受画面で(メニュー)▶「4画像・音声・ビデオを使う」▶「1画像を見る」を押す

アルバム一覧
ｉモード
内蔵写真
データ交換

●画像は、次の3つの固定フォルダに分類して保存されます。

マーク	説　明
(ｉモードフォルダ)	ｉモードサイトやメールから取得した画像が保存されているフォルダ
(内蔵写真フォルダ)	お買い上げ時にFOMA端末に内蔵されている画像が保存されているフォルダ
(データ交換フォルダ)	データリンクソフトで取り込んだ画像が保存されているフォルダ

●アルバムを作成すると表示されます。→P359

マーク	説　明
(アルバムフォルダ)	作成したアルバム

2 フォルダを選択▶決定を押す

● 電話帳：押すたびに画像表示とリスト表示が切り替わります。
● 画像の状態は、次のマークで確認できます。

マーク	説　明
GIF	GIF形式の画像データ
JPG	JPEG形式の画像データ
SWF	Flash画像のデータ
OK	メール添付が可能なデータ
OK	メール添付が可能な縮小データ
表示なし	メール添付が不可能なデータ

3 表示する画像を選択▶決定を押す

メモ表示：
「メモ表示あり」に設定しているときに表示されます。→P357

● 選択した画像がアニメーションのときは、自動的に再生されます。再生途中で決定を押すと停止します。もう一度押すと再生します。
● 決定：等倍表示に切り替わります。画面より大きいときは で画像をスクロールできます。元の表示に戻すときは、戻る、メニュー、電話帳を押します。
● 電話帳：全画面表示に切り替わります。元の表示に戻すときは、戻る、メニュー、電話帳を押します。
● ：フォルダ内の前後の画像を表示できます。
● 戻るを押すと画像一覧に戻ります。
● を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● FOMAカード動作制限機能（→P32）で表示できない画像がある場合、操作2の画面の一覧には画像は表示されず、 が表示されます。
● パソコンをお持ちの場合は、データリンクソフトとFOMA USB接続ケーブル（別売）を利用して、画像をパソコンに転送・保存することができます。→P492

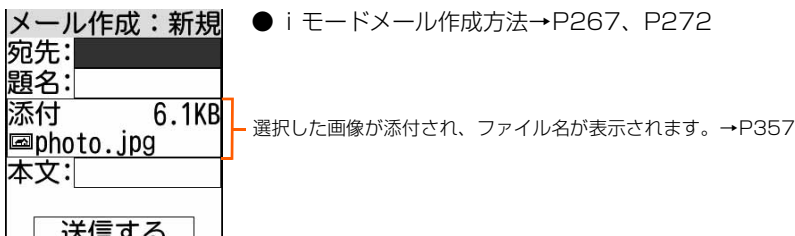
画像を添付してｉモードメールを作成します

1 P354の操作1～2を行う

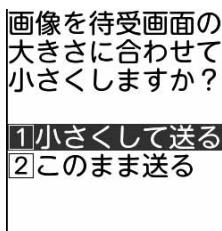
2 添付する画像を選択▶(メニュー)▶「1メールで送る」▶ｉモードメールを作成する

メール作成：新規
宛先：
題名：
添付 6.1KB photo.jpg
本文：
送信する

選択した画像が添付され、ファイル名が表示されます。→P357

- ｉモードメール作成方法→P267、P272

お知らせ

- 画像サイズの横縦（縦横）が320×240（ドット）を超えるJPEG画像を選択した場合は、次の画面が表示されます。

画像を待受画面の大きさに合わせて小さくしますか？
1小さくして送る
2このまま送る

1小さくして送る：横縦（縦横）の比率を保持したまま待受（240×320）サイズに収まるように変換してから添付します。
2このまま送る　：画像サイズを変更しないで添付します。

- 添付するときにデータサイズを変えた画像は、選択した画像と同じフォルダ内に同じ題名で保存され、が表示されます。

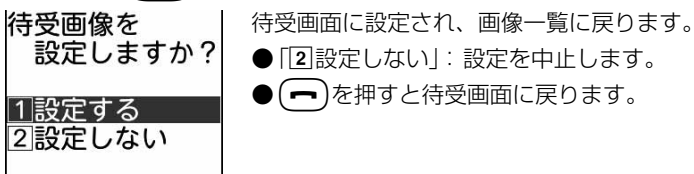
画像を待受画面に設定します

1 P354の操作1～2を行う

2 設定する画像を選択▶(メニュー)▶「2待受画面に貼る」▶「1設定する」▶(決定)を押す

待受画像を設定しますか？
1設定する
2設定しない

待受画面に設定され、画像一覧に戻ります。

- 「2設定しない」：設定を中止します。
- (ー)を押すと待受画面に戻ります。

- 待受画面に設定できる画像の最大サイズは、横縦（または縦横）が1728×2304（ドット）までです。ただし、画像の形式によっては横縦（または縦横）が640×480（ドット）までの場合があります。
- 横縦のサイズが240×320（ドット）を超える画像は、縮小して待受画面に設定されます。

画像の情報を表示します

1 P354の操作1～2を行う

2 情報を確認する画像を選択▶メニュー▶「3情報を見る」を押す

画像の情報
題名
photo
ファイル制限
なし
表示サイズ
待受
ファイルサイズ

- 情報の確認が終わったら決定を押します。
- ━を押すと待受画面に戻ります。

項　目	説　明
題名※1	この端末内で表示される題名を表示します。
ファイル制限※1	メールで送信したり、データ転送でパソコンなどへ出力したりすることができる「なし」／できない「あり」を表示します。 • ファイル制限について→P359
表示サイズ	画像の大きさを表示します。 Sサイズ →176×144　Mサイズ→352×288 待受 →240×320　L サイズ→640×480 デジカメ →960×1280 • 上記サイズ以外の画像は数値（ドット）で表示されます。 • Flash画像の場合は、表示サイズは表示されません。
ファイルサイズ	画像データのサイズを表示します。
ファイル種別	画像データの種類を表示します。Flash画像は「---」で表示されます。
種別	この端末内で管理するための種類を表示します。 静止画→アニメーション以外の画像 アニメーション→GIFアニメーション、Flash画像
ファイル名	画像データの名前が表示されます。 • メールに添付したときなどに表示されます。
保存日時	画像を保存した日時を表示します。
保存元	最初に保存されていた場所を表示します。 ｉモード → 表示なし →（内蔵写真） データ交換 →
メモ※1	メモを表示します。

次ページへ

項　目	説　明
故障時移行可否※2	お客様のFOMA端末を修理する際、お客様のデータをドコモ指定の故障取扱窓口において移行できるかどうかを表示します。

※1 内容を変更することができます。→P358

※2 万一、お客様のデータを移行できない場合およびデータの消失、変化に関し、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

画像の題名やメモ、ファイル制限を変更します

1 P354の操作1～2を行う

2 題名などを変更する画像を選択▶メニュー▶「4題名等を変更」▶「1題名の変更」～「4ファイル制限の設定」のいずれかを押す

変更する項目を
選んでください
1題名の変更
2メモの変更
3メモ表示なし
4ﾌｧｲﾙ制限の設定

■ 題名を変更するとき

「1題名の変更」▶題名を入力▶決定▶決定を押す

- 全角で最大18文字、半角で最大36文字入力できます。

■ メモの内容を変更するとき

「2メモの変更」▶メモを入力▶決定▶決定を押す

- 全角で最大50文字、半角で最大100文字入力できます。

■ 画像を表示したときにメモを表示するかしないかを設定するとき

「3メモ表示なし」または「3メモ表示あり」▶決定を押す

■ ファイル制限を設定するとき

「4ファイル制限の設定」▶「1設定する」▶決定を押す

- ファイル制限を解除する場合は「2設定しない」を押します。

● ━ を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● 画像データによっては設定できない項目があります。

● この端末の外へ出力が禁止されている画像（この端末でファイル制限を「設定する」にした画像を除く）、サイト画面（画面メモを含む）やメールから保存してファイル制限が設定されている画像は、「題名」と「メモ表示あり／メモ表示なし」のみ変更できます。

ファイル制限について

ファイル制限は、この端末で録音した音声、またデータリンクソフトで取り込んだ画像や動画を他の端末に送信したときに、それを受信した相手の端末から、さらに他の端末に送信／転送することを制限する機能です。したがって、ファイル制限を設定しても、この端末からの送信／転送は制限されません。

ファイル制限を「設定しない」

送信できます。

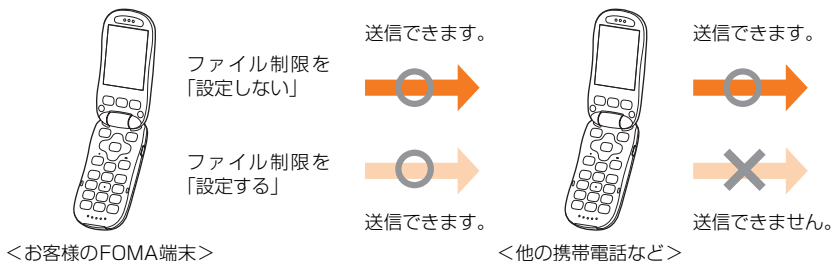
ファイル制限を「設定する」

送信できます。

送信できます。

送信できません。

＜お客様のFOMA端末＞

＜他の携帯電話など＞

アルバムを利用します

アルバムを作成してイベントやジャンル別などで画像を整理し、保存します。

アルバムの作成

● 最大100個作成できます。

● お買い上げ時に登録されている固定フォルダ（→P354）のフォルダ名は変更できません。

1　待受画面で[メニュー]▶「[4]画像・音声・ビデオを使う」▶「[1]画像を見る」を押す

アルバム一覧が表示されます。

2　[メニュー]▶「[1]アルバムを追加」▶アルバム名を入力する

アルバム名を
入力してください
マイアルバム

● 全角で最大7文字、半角で最大14文字入力できます。

■ アルバム名を変更するとき

アルバム名を変更するアルバムを選択▶[メニュー]▶「[3]アルバム名変更」▶アルバム名を変更する

3　[決定]を押す

アルバムを追加した旨のメッセージが表示されます。

次ページへ

4 決定を押す

アルバム一覧に戻ります。

- ●(終話キー)を押すと待受画面に戻ります。

アルバムの削除

●お買い上げ時に登録されている固定フォルダ(→P354)は削除できません。

1 待受画面でメニュー▶「4画像・音声・ビデオを使う」▶「1画像を見る」を押す

アルバム一覧が表示されます。

2 削除するアルバムを選択▶メニュー▶「2アルバムを削除」を押す

3 「1削除する」を押す

アルバムを削除した旨のメッセージが表示されます。

- ●アルバム内の画像と同時にアルバムを削除する場合は、4～8桁の端末暗証番号を入力▶決定▶「1削除する」を押します。

4 決定を押す

アルバム一覧に戻ります。

- ●(終話キー)を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

●待受画面やワンタッチダイヤルの着信画像に使用されている画像のあるアルバムを削除すると、設定されていた項目はお買い上げ時の状態に戻ります。

アルバムへの画像移動

固定フォルダ（→P354）に保存されている画像を、作成したアルバムへ移動したり、アルバム間で移動したりします。

●「内蔵写真」フォルダ内の画像は移動できません。

移動元のフォルダ名	できる操作	説　明
ｉモード	アルバムを移動	指定したアルバムに移動できます。
データ交換		
アルバム	アルバムを移動 最初のフォルダに戻す	指定したアルバムに移動したり、移動元の固定フォルダに戻したりできます。

1 待受画面で(メニュー)▶「4画像・音声・ビデオを使う」▶「1画像を見る」▶フォルダを選択▶(決定)を押す

画像一覧が表示されます。

2 移動する画像を選択▶(メニュー)▶「6アルバムを移動」を押す

移動する画像を
選んでください
1選択1件
2アルバム内全件
3移動しない

1選択1件　：選択した画像を移動します。
2アルバム内全件：アルバム内にあるすべての画像を移動します。
3移動しない　：画像の移動を中止します。

3 「1選択1件」▶移動先のアルバムを選択▶(決定)を押す

画像を移動した旨のメッセージが表示されます。

4 (決定)を押す

画像一覧に戻ります。アルバムに画像がなくなったときはアルバム一覧に戻ります。

●(終話)を押すと待受画面に戻ります。

■ 画像をアルバムから固定フォルダに戻すとき

①待受画面で(メニュー)▶「4画像・音声・ビデオを使う」▶「1画像を見る」▶アルバムを選択▶(決定)を押す

画像一覧が表示されます。

②画像を選択▶(メニュー)▶「7最初の□に戻す」を押す

画像を元に戻した旨のメッセージが表示されます。

③(決定)を押す

画像一覧に戻ります。アルバムに画像がなくなったときはアルバム一覧に戻ります。

・(終話)を押すと待受画面に戻ります。

画像削除

画像を削除します

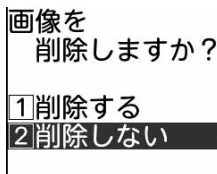
1件ずつ削除したり、フォルダ内の画像をまとめて削除します。

●「内蔵写真」フォルダ内の画像は削除できません。

1 待受画面でメニュー▶「4画像・音声・ビデオを使う」▶「1画像を見る」▶フォルダを選択▶決定を押す

画像一覧が表示されます。

2 削除する画像を選択▶メニュー▶「5削除する」▶「1選択1件」を押す

画像を
削除しますか？

1削除する
2削除しない

●フォルダ内の画像を全件削除するときは、メニュー▶「5削除する」▶「2アルバム内全件」▶4～8桁の端末暗証番号を入力▶決定を押します。

3 「1削除する」を押す

画像を削除した旨のメッセージが表示されます。

4 決定を押す

画像一覧に戻ります。

●終話を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

●待受画面やワンタッチダイヤルの着信画像に使用されている画像を削除すると、設定されていた項目はお買い上げ時の状態に戻ります。

並び順変更

画像一覧の並び順を変更します

お買い上げ時　保存日時で降順

1 待受画面で(メニュー)▶「4 画像・音声・ビデオを使う」▶「1 画像を見る」▶フォルダを選択▶(決定)を押す

画像一覧が表示されます。

2 (メニュー)▶「8 並び順を変更」を押す

並び順を
選んでください
1 題名で昇順
2 題名で降順
3 保存日時で昇順
4 保存日時で降順
5 大きさで昇順
6 大きさで降順

1 題名で昇順　：題名を50音順に並べ替えます。
2 題名で降順　：題名を50音順の逆に並べ替えます。
3 保存日時で昇順：保存日時の古い順に並べ替えます。
4 保存日時で降順：保存日時の新しい順に並べ替えます。
5 大きさで昇順　：データサイズの小さい順に並べ替えます。
6 大きさで降順　：データサイズの大きい順に並べ替えます。

3 「1 題名で昇順」～「6 大きさで降順」のいずれかを押す

選択した並び順で画像一覧が並び替わります。

● (終話)を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● 題名に全角／半角の文字や漢字が混在していると、並び替えた結果が50音順にならない場合があります。

動画／ｉモーションを再生します

FOMA端末に保存されているビデオや動画／ｉモーションを再生します。

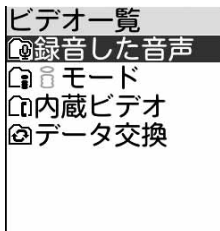
● お買い上げ時に登録されている動画／ｉモーション→P462

● 再生の他に次の操作ができます。

項　目	参照先	項　目	参照先
ｉモードメールに添付します	P366	題名を変更します	P368
情報を表示します	P366	ファイルを制限します	P368

次ページへ

1 待受画面で(メニュー)▶「4 画像・音声・ビデオを使う」▶「2 音声を聞く・ビデオを見る」を押す

ビデオ一覧
録音した音声
iモード
内蔵ビデオ
データ交換

● 動画／ｉモーションは、次の４つの固定フォルダに分類して保存されます。

マーク	説　明
	メールに添付した音声が保存されているフォルダ
	ｉモードサイトやメールから取得したｉモーションが保存されているフォルダ
	お買い上げ時にFOMA端末に内蔵されている動画が保存されているフォルダ
	データリンクソフトで取り込んだ動画／ｉモーションが保存されているフォルダ

2 フォルダを選択▶(決定)を押す

音声の場合や画像が表示できない場合に表示されます。

● (電話帳)：押すたびに画像表示とリスト表示が切り替わります。

● 動画／ｉモーションの状態は、次のマークで確認できます。

マーク	説　明
	メール添付が可能なデータ
	メール添付が可能な縮小データ
表示なし	メール添付が不可能なデータ

3 再生する動画／ｉモーションを選択▶(決定)を押す

再生状態　：▷ 再生中
　　　　　　▯▯ 一時停止中
　　　　　　□ 停止中

再生バー　：現在の再生位置を表示します。
再生音量　：現在の音量を表示します。
再生時間　：現在の再生時間を表示します。

データ表示／編集／管理

動画／ｉモーションの再生

● 横再生では、再生状態などの情報は表示されません。
● 再生中に次の操作ができます。

操作ボタン	ｉモーションの動作
決定	一時停止／再生
／＋ －	音量調節
メニュー	停止 • 停止中に決定を押すと先頭から再生します。
電話帳	横再生／通常再生
／	巻き戻し／早送り

● 再生が終わると自動的に停止します。
● 戻るを押すと動画／ｉモーションの一覧に戻ります。
● を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● 再生可能な動画／ｉモーションは次のとおりです。

ファイル形式	MP4（MobileMP4）
符号化方式	映像 ： MPEG-4またはH.263 音声 ： AMRまたはAAC
表示サイズ	320×240（ドット）以下※

※ 表示サイズによっては再生できないものもあります。

● 操作2の表示画面では、他のアプリケーションの影響により画像表示が表示できないときや、音声データの場合は が表示されます。また、FOMAカード動作制限機能（→P32）で表示できない場合は が表示されます。
● 着信音の着モーションに設定できるのは、情報の着信音設定が「設定可能」になっている動画／ｉモーションのみです。ただし、次の動画／ｉモーションは設定できません。
• データリンクソフトなどを使用してパソコンに転送してから、もう一度FOMA端末本体に戻したもの
● 再生制限について→P368
● 音声データを再生すると再生画面に音声再生画像が表示されます。

音声のみ再生
再生中 音量4
0:00:09

• 動画／ｉモーションと同様に操作できます。

● パソコンをお持ちの場合は、データリンクソフトとFOMA USB接続ケーブル（別売）を利用して、動画／ｉモーションをパソコンに転送・保存することができます（→P492）。ただし、動画／ｉモーションによっては、転送・保存ができないものがあります。

動画／ｉモーションを添付してｉモードメールを作成します

1 P364の操作1～2を行う

2 添付する動画／ｉモーションを選択▶(メニュー)▶「1メールで送る」▶「1このまま送る」▶ｉモードメールを作成する

選択した動画／ｉモーションが添付され、ファイル名が表示されます。→P367

● 「2内容を確認する」：添付する前に再生して確認します。

● 「3送信を中止する」：添付を中止します。

● ｉモードメール作成方法→P267、P272

お知らせ

● 選択した動画／ｉモーションのデータサイズが290Kバイトを超える大容量で、編集可能な場合は、次の画面が表示されます。ただし、290Kバイトを超えていても、情報表示の着信音設定が「設定可能」で取得元が「ｉモード」の場合は表示されません。

このビデオは
先頭を切り出して
送信できます。
切り出しますか？
1このまま送る
2切り出して送る
3内容を確認する
4送信を中止する

・左の画面が表示されます。動画／ｉモーションを切り出してデータサイズを小さくしてから送るときは「2切り出して送る」▶「1送信する」を押します。

● 添付したメロディ・画像を含む本文の残りのデータ量が全角で最大100文字（半角200文字）分未満の場合は、動画／ｉモーションを添付できません。

● 添付したときに切り出した動画データは、選択した動画データと同じフォルダ内に同じ題名で保存され、(アイコン)が表示されます。

動画／ｉモーションの情報を表示します

1 P364の操作1～2を行う

2 情報を確認する動画／ｉモーションを選択▶(メニュー)▶「2情報を見る」を押す

ビデオの情報
題名
音声04080830
ｵﾘｼﾞﾅﾙﾀｲﾄﾙ
音声04080830
ファイル名
音声04080830

- ●(上)(下)：画面をスクロールします。
- ●(決定)：動画／ｉモーションの一覧に戻ります。
- ●(終話)を押すと待受画面に戻ります。

項　目	説　明
題名※	この端末内で表示される題名を表示します。
オリジナルタイトル	あらかじめ設定されているタイトルを表示します。
ファイル名	動画／ｉモーションデータの名前を表示します。 • メールに添付したときなどに表示されます。
作成者	作成者の名前などを表示します。 • この端末で録音した音声の場合、個人情報に登録した名前が表示されます。個人情報に名前が登録されていないときは、「---」と表示されます。
コピーライト	著作者名や著作物の公表年月日などを表示します。
説明	この動画／ｉモーションの説明を表示します。
ファイル種別	動画／ｉモーションのデータの種類を表示します。
音種別	動画／ｉモーションの音声データの種類を表示します。
表示サイズ	動画／ｉモーションを再生したときの表示サイズを表示します。
ファイルサイズ	動画／ｉモーションのデータサイズを表示します。
再生時間	再生時間を表示します。
保存日時	動画／ｉモーションを保存した日時を表示します。
着信音設定	着信音に設定できるかどうかを表示します。
ファイル制限※	メールで送信したり、データ転送でパソコンなどへ出力することができる「なし」／できない「あり」を表示します。 • ファイル制限について→P359
再生制限	再生制限が設定されているかどうかを表示します。→P368
取得元	保存されている場所を表示します。 録音した音声→(アイコン)　ｉモード→(アイコン) 表示なし→(アイコン)（内蔵ビデオ）　データ交換→(アイコン)
画像	再生可能かどうかを表示します。音声のみの動画／ｉモーションは「なし」と表示されます。
音	再生可能かどうかを表示します。
テロップ	テロップが挿入されているかどうかを表示します。→P252

※ 内容を変更することができます。→P368

動画／ｉモーションの題名を変更します

1 P364の操作1～2を行う

2 題名を変更する動画／ｉモーションを選択▶(メニュー)▶「3題名を変更」▶「1題名を変更する」▶題名を入力▶(決定)▶(決定)を押す

選択した
ビデオの題名を
変更しますか？
1題名を変更する
2オリジナルタイトルに
戻す

- 全角・半角を問わず最大36文字入力できます。
- 変更した題名をあらかじめ設定されていたオリジナルタイトルに戻す場合は、「2オリジナルタイトルに戻す」を押します。
- (ー)を押すと待受画面に戻ります。

動画／ｉモーションのファイル制限を設定します

1 P364の操作1～2を行う

2 ファイル制限を設定する動画／ｉモーションを選択▶(メニュー)▶「6ファイル制限を設定」▶「1設定する」▶(決定)を押す

- ファイル制限を解除する場合は「2設定しない」▶(決定)を押します。
- ファイル制限について→P359
- (ー)を押すと待受画面に戻ります。

再生制限が設定されているときは

ｉモーションに再生制限が設定されているときは、再生開始前に確認画面が表示されます。

再生制限	状　態	説　明
回数制限	再生回数残あり	「あと×回（X／X）再生可能です。再生しますか？」と表示されます。再生するときは「再生する」、中止するときは「再生しない」を選択し、(決定)を押します。
	規定回数再生済み	「再生可能回数が終了しました。削除しますか？」と表示されます。削除するときは「削除する」、残すときは「削除しない」を選択し、(決定)を押します。

再生制限	状態	説明
期限制限	期限内	「××××年××月××日××時××分まで再生可能です。再生しますか？」と表示されます。再生するときは「再生する」、中止するときは「再生しない」を選択し、決定を押します。
	期限が過ぎた	「再生可能期限が切れました。削除しますか？」と表示されます。削除するときは「削除する」、残すときは「削除しない」を選択し、決定を押します。
期間制限	期間内	「××××年××月××日××時××分から××××年××月××日××時××分まで再生可能です。再生しますか？」と表示されます。再生するときは「再生する」、中止するときは「再生しない」を選択し、決定を押します。
	期間前	「再生可能日前です　再生できません」と表示されます。決定を押すと動画／iモーション一覧に戻ります。
	期間が過ぎた	「再生可能期限が切れました。削除しますか？」と表示されます。削除するときは「削除する」、残すときは「削除しない」を選択し、決定を押します。

●日付・時刻を変更しても、再生制限の期限や期間を延長することはできません。

動画削除

動画／iモーションを削除します

1件ずつ削除したり、フォルダ内の動画／iモーションをまとめて削除します。

●「内蔵ビデオ」フォルダ内の動画は削除できません。

1 待受画面でメニュー▶「4画像・音声・ビデオを使う」▶「2音声を聞く・ビデオを見る」▶フォルダを選択▶決定を押す

動画／iモーション一覧が表示されます。

2 削除する動画／iモーションを選択▶メニュー▶「4削除する」▶「1選択1件」を押す

ビデオを
削除しますか？

1削除する
2削除しない

●フォルダ内の動画／iモーションを全件削除するときは、メニュー▶「4削除する」▶「2アルバム内全件」▶4～8桁の端末暗証番号を入力▶決定を押します。

3 「1削除する」を押す

ビデオを削除した旨のメッセージが表示されます。

次ページへ

4 決定を押す

動画／ｉモーション一覧に戻ります。

● ━を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● 着信音に使用されている動画／ｉモーションを削除すると、設定されていた項目はお買い上げ時の状態に戻ります。ワンタッチダイヤルや電話帳のグループ専用の着信音に使用されている動画／ｉモーションを削除すると、着信音設定やメール着信音設定に従って着信音が鳴ります。

並び順変更

動画一覧の並び順を変更します

お買い上げ時　保存日時で降順

動画／ｉモーション一覧の並び順を変更します。

1 待受画面でメニュー▶「4画像・音声・ビデオを使う」▶「2音声を聞く・ビデオを見る」▶フォルダを選択▶決定を押す

動画／ｉモーション一覧が表示されます。

2 メニュー▶「5並び順を変更」を押す

並び順を
選んでください
1題名で昇順
2題名で降順
3保存日時で昇順
4保存日時で降順
5大きさで昇順
6大きさで降順

1題名で昇順　　：題名を50音順に並べ替えます。
2題名で降順　　：題名を50音順の逆に並べ替えます。
3保存日時で昇順：保存日時の古い順に並べ替えます。
4保存日時で降順：保存日時の新しい順に並べ替えます。
5大きさで昇順　：動画／ｉモーションのサイズの小さい順に並べ替えます。
6大きさで降順　：動画／ｉモーションのサイズの大きい順に並べ替えます。

3 「1題名で昇順」～「6大きさで降順」のいずれかを押す

選択した並び順で動画／ｉモーション一覧が並び替わります。

● ━を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● 題名に全角／半角の文字や漢字が混在していると、並び替えた結果が50音順にならない場合があります。

表示サイズ設定

動画／ｉモーションの表示サイズを設定します

お買い上げ時　元の大きさで表示する

動画／ｉモーションの表示サイズ（最大240×200ドット）に合わせて拡大して表示するかどうかを設定します。

1 待受画面でメニュー▶「4画像・音声・ビデオを使う」▶「2音声を聞く・ビデオを見る」を押す

ビデオ一覧が表示されます。

2 メニュー▶「1表示サイズ設定」を押す

ビデオの
表示の大きさを
選んでください

1画面に合わせて
表示する
2元の大きさで
表示する

1画面に合わせて表示する：
表示サイズの高さと幅の比率を保持したまま拡大し、画面の表示サイズに合わせて表示します。テロップが含まれる場合は、最大240×144のサイズまで拡大表示されます。また、ｉモーションによっては拡大表示できない場合があります。

2元の大きさで表示する　：元の表示サイズに戻します。

3 「1画面に合わせて表示する」または「2元の大きさで表示する」を押す

表示サイズを設定した旨のメッセージが表示されます。

4 決定を押す

ビデオ一覧に戻ります。

- ●（終話）を押すと待受画面に戻ります。

動画／ｉモーションを再生するときの照明を設定します

お買い上げ時　常に点灯

1 **待受画面で(メニュー)▶「4画像・音声・ビデオを使う」▶「2音声を聞く・ビデオを見る」を押す**

ビデオ一覧が表示されます。

2 **(メニュー)▶「2照明を設定」を押す**

ビデオ再生中に
画面の照明を常に
点灯させますか？

1常に点灯
2設定時間で消灯

1常に点灯　　　：動画／ｉモーション再生中はディスプレイの照明が常時点灯します。

2設定時間で消灯：「画面の明るさを設定する」の「照明時間」の点灯時間が経過すると消灯するように設定します。→P141

3 **「1常に点灯」または「2設定時間で消灯」を押す**

照明を設定した旨のメッセージが表示されます。

4 **(決定)を押す**

ビデオ一覧に戻ります。

● (━)を押すと待受画面に戻ります。

音量設定

動画／ｉモーションを再生するときの音量を設定します

お買い上げ時　音量4

1 待受画面で(メニュー)▶「4 画像・音声・ビデオを使う」▶「2 音声を聞く・ビデオを見る」を押す

ビデオ一覧が表示されます。

2 (メニュー)▶「3 音量を調節」を押す

3 (メール)(iモード)(←)(→)または(+)(−)を押して音量を調節▶(決定)を押す

音量を設定した旨のメッセージが表示されます。

4 (決定)を押す

ビデオ一覧に戻ります。

● (終話)を押すと待受画面に戻ります。

メロディを再生します

FOMA端末に保存されているメロディを再生します。

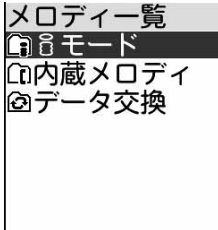
● FOMA F883i、F903iX HIGH-SPEED、F703i、F903i、F882iES以外から送信されたメロディの場合は、正しく再生できない場合があります。

● 再生の他に次の操作ができます。

項　目	参照先	項　目	参照先
ｉモードメールに添付します	P375	題名を変更します	P376
情報を表示します	P375	ファイルを制限します	P377

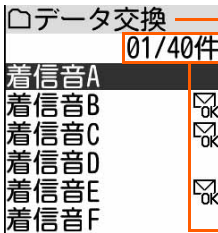
次ページへ

1 待受画面で(メニュー)▶「9 詳細な設定」▶「4 音を設定する」▶「6 保存した曲の詳細を設定する」を押す

メロディ一覧
iモード
内蔵メロディ
データ交換

メロディ一覧が表示されます。

● メロディは、次の3つの固定フォルダに分類して保存されます。

マーク	説　明
(iモードフォルダ)	iモードサイトやメールから取得したメロディが保存されているフォルダ
(内蔵フォルダ)	お買い上げ時にFOMA端末に内蔵されているメロディが保存されているフォルダ
(データ交換フォルダ)	データリンクソフトで取り込んだメロディが保存されているフォルダ

2 フォルダを選択▶(決定)を押す

フォルダ名
メロディ番号／フォルダ内のメロディ数
メール添付マーク

● メロディの状態は、次のマークで確認できます。

マーク	説　明
(OKマーク)	メール添付が可能なデータ
表示なし	メール添付が不可能なデータ

3 再生するメロディを選択▶(決定)を押す

● 再生中に次の操作ができます。

操作ボタン	メロディの動作
(決定)	停止して一覧に戻る
(メニュー)	停止してメニューを表示する
(メール) (iアプリ)	フォルダ内の前後のメロディを再生
(左) (右)／(+) (−)	音量調節

● 再生が終わると一覧に戻るまで繰り返し再生します。

● (終話)を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

●パソコンをお持ちの場合は、データリンクソフトとFOMA USB接続ケーブル（別売）を利用して、メロディをパソコンに転送・保存することができます。→P492

メロディを添付してｉモードメールを作成します

1 P374の操作1～2を行う

2 添付するメロディを選択▶[メニュー]▶「[1]メールで送る」▶ｉモードメールを作成する

選択したメロディが添付され、ファイル名が表示されます。→P376

●ｉモードメール作成方法→P267、P272

お知らせ

●相手がF883i以外の場合、メロディを正しく送受信できないことがあります。

メロディの情報を表示します

1 P374の操作1～2を行う

2 情報を確認するメロディを選択▶[メニュー]▶「[2]情報を見る」を押す

●情報の確認が終わったら[決定]を押します。
●[━]を押すと待受画面に戻ります。

次ページへ

項　目	説　明
題名※1	この端末内で表示される題名を表示します。
オリジナルタイトル	あらかじめ設定されているタイトルを表示します。
ファイル制限※1	メールで送信したり、データ転送でパソコンなどへ出力したりすることができる「なし」／できない「あり」を表示します。 • ファイル制限について→P359
ファイルサイズ	メロディのデータサイズを表示します。
ファイル種別	メロディのデータの種類を表示します。
再生時間	再生時間を表示します。
ファイル名	メロディデータの名前を表示します。 • メールに添付したときなどに表示されます。
保存日時	メロディを保存した日時を表示します。
保存元	保存されている場所を表示します。 ｉモード →　　表示なし →　（内蔵メロディ） データ交換 →
故障時移行可否※2	お客様のFOMA端末を修理する際、お客様のデータをドコモ指定の故障取扱窓口において移行できるかどうかを表示します。

※1 内容を変更することができます。→P376

※2 万一、お客様のデータを移行できない場合およびデータの消失、変化に関し、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

メロディの題名を変更します

1 **P374の操作1～2を行う**

2 **題名を変更するメロディを選択▶（メニュー）▶「3題名を変更」▶「1題名を変更する」▶題名を入力▶（決定）▶（決定）を押す**

選択した
メロディの題名を
変更しますか？
1題名を変更する
2ｵﾘｼﾞﾅﾙﾀｲﾄﾙに
戻す

● 全角で最大25文字、半角で最大50文字入力できます。

● 変更した題名をあらかじめ設定されていたオリジナルタイトルに戻す場合は、「2オリジナルタイトルに戻す」を押します。

● （ー）を押すと待受画面に戻ります。

メロディのファイル制限を設定します

1 P374の操作1～2を行う

2 ファイル制限を設定するメロディを選択▶(メニュー)▶「6ファイル制限を設定」▶「1設定する」▶(決定)を押す

- ファイル制限を解除する場合は「2設定しない」▶(決定)を押します。
- ファイル制限について→P359
- (終話)を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- サイトなどからダウンロードしたメロディや、お買い上げ時に登録されているメロディは、ファイル制限を変更できません。

メロディ削除

メロディを削除します

1件ずつ削除したり、フォルダ内のメロディをまとめて削除します。

- 「内蔵メロディ」フォルダ内のメロディは削除できません。

1 待受画面で(メニュー)▶「9詳細な設定」▶「4音を設定する」▶「6保存した曲の詳細を設定する」▶フォルダを選択▶(決定)を押す

メロディ一覧が表示されます。

2 削除するメロディを選択▶(メニュー)▶「4削除する」▶「1選択1件」を押す

選択したﾒﾛﾃﾞｨを
削除しますか？
1削除する
2削除しない

- フォルダ内のメロディを全件削除するときは、(メニュー)▶「4削除する」▶「2フォルダ内全件」▶4～8桁の端末暗証番号を入力▶(決定)を押します。

3 「1削除する」を押す

メロディを削除した旨のメッセージが表示されます。

次ページへ

4 決定を押す

メロディ一覧に戻ります。

● ━を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● 着信音や目覚ましに使用されているメロディを削除すると、設定されていた項目はお買い上げ時の状態に戻ります。ワンタッチダイヤルや電話帳のグループ専用の着信音に使用されているメロディを削除すると、着信音設定やメール着信音設定に従って着信音が鳴ります。

並び順変更

メロディ一覧の並び順を変更します

お買い上げ時　保存日時で降順

1 待受画面でメニュー▶「9詳細な設定」▶「4音を設定する」▶「6保存した曲の詳細を設定する」▶フォルダを選択▶決定を押す

メロディ一覧が表示されます。

2 メニュー▶「5並び順を変える」を押す

並び順を
　選んでください
1題名で昇順
2題名で降順
3保存日時で昇順
4保存日時で降順
5大きさで昇順
6大きさで降順

1題名で昇順　：題名を50音順に並べ替えます。
2題名で降順　：題名を50音順の逆に並べ替えます。
3保存日時で昇順：保存日時の古い順に並べ替えます。
4保存日時で降順：保存日時の新しい順に並べ替えます。
5大きさで昇順　：メロディサイズの小さい順に並べ替えます。
6大きさで降順　：メロディサイズの大きい順に並べ替えます。

3 「1題名で昇順」～「6大きさで降順」のいずれかを押す

選択した並び順でメロディ一覧が表示されます。

● ━を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● 題名に全角／半角の文字や漢字が混在していると、並び替えた結果が50音順にならない場合があります。

再生位置設定

メロディを再生する位置を設定します

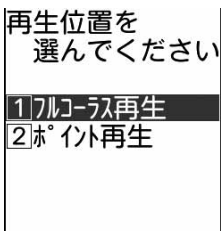
お買い上げ時　フルコーラス再生

メロディを再生したときの再生位置を設定します。

1 待受画面で(メニュー)▶「9詳細な設定」▶「4音を設定する」▶「6保存した曲の詳細を設定する」を押す

メロディ一覧が表示されます。

2 (メニュー)を押す

再生位置を
選んでください
1フルコーラス再生
2ポイント再生

1フルコーラス再生：メロディをすべて再生するように設定します。

2ポイント再生：メロディを一部分のみ再生するように設定します。

- 設定しても、対応していないメロディではポイント再生を行いません。

3 「1フルコーラス再生」または「2ポイント再生」を押す

再生位置を設定した旨のメッセージが表示されます。

4 (決定)を押す

メロディ一覧に戻ります。

● (終話)を押すと待受画面に戻ります。

その他の便利な機能

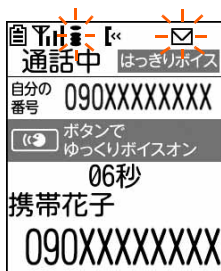
マルチアクセスについて

マルチアクセスとは、電話、パケット通信（ｉモード、ｉモードメール、パソコンとFOMA端末をつないで行うデータ通信）、SMSの3つの通信を同時に利用できる機能です。
たとえば、ｉモードを利用しながら、かかってきた電話を受けたり、ｉモードメールを受信したりすることができます。

マルチアクセスでできる主な操作

●マルチアクセスで同時に利用できる通信の詳細は「マルチアクセスの組み合わせについて」をご覧ください。→P489
●マルチアクセス中は、それぞれの通信に通信料がかかります。

通話中にｉモードメールを受信します

1 通話中にメールを受信する

メールの受信中はディスプレイ上部に［アイコン］と［アイコン］が点滅表示され、受信が終了すると［アイコン］が表示されます。
●着信音は鳴りません。
●通話中にメールの内容を確認することはできません。

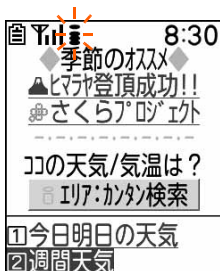
ｉモード中に電話をかけます

●平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）（→P413）またはPhone To機能（→P221）を使用して電話をかけることができます。

〈例〉サイト表示中に平型スイッチ付イヤホンマイクを使って電話をかけるとき

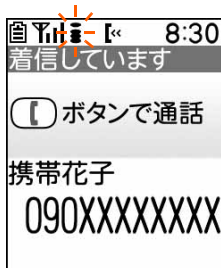
1 サイト表示中に平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを1秒以上押す

「ピピッ」と音がするまで押し続けると、電話がかかります。

2 お話しが終わったら[終話]または平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを1秒以上押す

「ピッ」と音がするまで押し続けると、サイト表示中画面に戻ります。

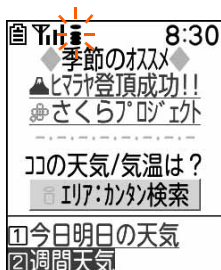
ｉモード中に電話を受けます

1 サイト表示中に電話がかかってくる

着信中の画面が表示されます。

2 [電話ボタン]を押す

電話がつながります。

3 お話しが終わったら[終話ボタン]を押す

サイト表示中画面に戻ります。

自動電源ON設定

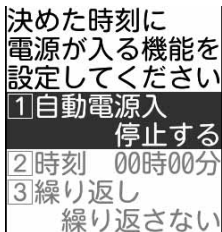
自動的に電源を入れます

お買い上げ時　自動電源入：停止する

指定した時刻にFOMA端末の電源が自動的に入るように設定します。また、毎日繰り返し電源を入れるかどうかも設定できます。

● 自動電源OFF設定と本機能を同時刻に設定することはできません。→P386

1 待受画面で(メニュー)▶「9詳細な設定」▶「0決めた時刻に電源を入／切する」▶「1電源が入る時刻を設定する」を押す

決めた時刻に
電源が入る機能を
設定してください
1自動電源入
停止する
2時刻　00時00分
3繰り返し
繰り返さない

1自動電源入　：自動で電源を入れるかどうかを設定します。
2時刻　：自動で電源を入れる時刻を設定します。
3繰り返し　：自動で電源を入れる設定を繰り返すかどうかを設定します。

2 「1自動電源入」を押す

決めた時刻に電源を入れるかどうかの確認画面が表示されます。

3 「1入れる」を押す

電源が入る時刻の設定画面が表示されます。

●「2入れない」：操作6に進みます。

4 時刻を入力▶(決定)を押す

繰り返しの種類を
選んでください
1毎日繰り返す
2繰り返さない

●24時間制で入力します。時、分が1桁のときは、前に0を付けます。

1毎日繰り返す　：毎日指定した時刻に自動で電源を入れます。
2繰り返さない　：指定した時刻に一度だけ自動で電源を入れます。

5 「1毎日繰り返す」または「2繰り返さない」を押す

操作1の画面に戻ります。

6 (電話帳)を押す

決めた時刻に電源を入れる設定を起動／停止した旨のメッセージが表示されます。

7 (決定)を押す

メニュー画面に戻ります。

●(—)を押すと待受画面に戻ります。

おしらせ

●PIN1コード使用の設定中（→P149）は、指定した時刻に電源が入ると、PIN1コード入力画面が表示されます。PIN1コード入力後、待受画面が表示されます。

●病院、医療機関、航空機の中など携帯電話の使用を禁止された場所では、電源を切るだけではなく、本機能の設定も解除してください。

自動電源OFF設定

自動的に電源を切ります

お買い上げ時　自動電源切：停止する

指定した時刻にFOMA端末の電源が自動的に切れるように設定します。また、毎日繰り返し電源を切るかどうかも設定できます。

● 自動電源ON設定と本機能を同時刻に設定することはできません。→P384

1 待受画面で(メニュー)▶「9詳細な設定」▶「0決めた時刻に電源を入／切する」▶「2電源が切れる時刻を設定する」を押す

決めた時刻に
電源を切る機能を
設定してください
1自動電源切
停止する
2時刻　00時00分
3繰り返し
繰り返さない

1自動電源切　：自動で電源を切るかどうかを設定します。
2時刻　　　　：自動で電源を切る時刻を設定します。
3繰り返し　　：自動で電源を切る設定を繰り返すかどうかを設定します。

2 「1自動電源切」を押す

決めた時刻に電源を切るかどうかの確認画面が表示されます。

3 「1切る」を押す

電源を切る時刻の設定画面が表示されます。

●「2切らない」：操作6に進みます。

4 時刻を入力▶(決定)を押す

繰り返しの種類を
選んでください
1毎日繰り返す
2繰り返さない

● 24時間制で入力します。時、分が1桁のときは、前に0を付けます。

1毎日繰り返す　：毎日指定した時刻に自動で電源を切ります。
2繰り返さない　：指定した時刻に一度だけ自動で電源を切ります。

5 「1毎日繰り返す」または「2繰り返さない」を押す

操作1の画面に戻ります。

6 (電話帳)を押す

決めた時刻に電源を切る設定を起動／停止した旨のメッセージが表示されます。

7 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

● ⌐を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● 待受画面表示中以外のときに指定した時刻になった場合は、電源は切れません。動作中のそれぞれの機能を終了して待受画面に戻った後、電源が切れます。

通知時刻自動電源ON設定

目覚ましや予定の時刻に自動的に電源を入れます

お買い上げ時	入れない

目覚ましや予定の通知の時刻に電源が切れているとき、電源を自動的に入れて目覚まし音や音声が鳴るようにするかどうかを設定します。

1 待受画面でメニュー▶「5目覚まし・予定を登録する」▶「4通知の時刻に電源を入れる」を押す

目覚ましや予定の通知の時刻に電源を入れるかどうかの確認画面が表示されます。

2 「1入れる」または「2入れない」を押す

目覚ましや予定の通知の時刻に電源を入れる／入れないに設定した旨のメッセージが表示されます。

3 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

● ⌐を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● PIN1コード使用の設定中（→P149）は、指定した時刻に電源が入ると、PIN1コード入力画面の表示よりも優先して目覚ましや予定の通知が動作します。このとき、目覚まし音にダウンロードしたメロディを設定していた場合は「目覚まし1」が鳴ります。

● 電池パックが外れてしまった場合など、電源を切る操作や自動電源OFF設定以外で電源が切れると、本機能は動作しません。

● 病院、医療機関、航空機の中など携帯電話の使用を禁止された場所では、電源を切るだけではなく、本機能の設定も解除してください。

目覚まし

指定した時刻に目覚まし音でお知らせします

お買い上げ時　目覚まし：停止

指定した時刻になったことを、設定した目覚まし音でお知らせします。1回のみ行うか、毎日繰り返し行うか、特定の曜日で繰り返し行うかを設定します。

● 個人情報表示制限中は、本機能を使用できません。→P158

---

1 待受画面で(メニュー)▶「5目覚まし・予定を登録する」▶「1目覚ましを使う」を押す

目覚ましを
設定してください
1目覚まし　停止
2時刻　00時00分
3繰り返し
　毎日繰り返す
4音　目覚まし1
5音量　4

1目覚まし：目覚ましを起動するかどうかを設定します。
2時刻　：目覚ましを起動する時刻を設定します。
3繰り返し：目覚ましを繰り返し起動するかどうかを設定します。
4音　：目覚まし音の種類を設定します。
5音量　：目覚まし音の音量を設定します。

---

2 「1目覚まし」を押す

目覚ましを動かすかどうかの確認画面が表示されます。

---

3 「1動かす」を押す

時刻の設定画面が表示されます。

● 「2止める」：目覚ましを起動しません。操作10に進みます。

---

4 時刻を入力▶(決定)を押す

繰り返しの種類を
設定してください
1毎日繰り返す
2曜日を指定する
3繰り返さない

● 24時間制で入力します。時、分が1桁のときは、前に0を付けます。

1毎日繰り返す　：目覚ましを毎日起動します。
2曜日を指定する：目覚ましを特定の曜日に起動します。
3繰り返さない　：目覚ましを一度だけ起動します。

---

5 「1毎日繰り返す」～「3繰り返さない」のいずれかを押す

● 「1毎日繰り返す」：操作8に進みます。
● 「3繰り返さない」：操作8に進みます。

6 「1日曜日」～「7土曜日」のうち、選択する項目の番号を押す

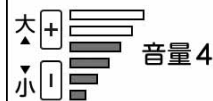
曜日を選びます
1 ☑日曜日
2 □月曜日
3 □火曜日
4 □水曜日
5 □木曜日
6 □金曜日
7 □土曜日

曜日の□が☑に変わります。

- 決定：曜日を選択／解除します。
- メニュー：すべての曜日を選択／解除します。

7 電話帳を押す

メロディ一覧が表示されます。

8 フォルダを選択▶決定▶メロディを選択▶決定を押す

9 または+−を押して音量を調節▶決定を押す

操作1の画面に戻ります。

10 電話帳を押す

目覚ましを設定／止めた旨のメッセージが表示されます。

11 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

- を押すと待受画面に戻ります。
- 目覚ましを設定すると、待受画面にまたは（予定の通知も設定しているとき）が表示されます。FOMA端末を折り畳んでいるときは、背面ディスプレイにまたは（予定の通知も設定しているとき）が表示されます。

目覚まし時刻になると

設定した時刻になると左の画面が表示され、設定した音と音量で目覚まし音が鳴ります。

● (終話)を押すと目覚ましが終了し、目覚ましが動作する前の画面に戻ります。
● 次の操作を行うと、目覚ましが停止し、「1分間鳴った後、4分間停止」する動作（スヌーズ動作）を30分間繰り返します。
 ・約1分間何も操作をしない
 ・(終話)と(＋)(－)以外のボタンを押す
● FOMA端末を折り畳んでいるときは、背面ディスプレイに「時間です」と時刻が表示されます。(マナー)を押すと目覚ましが停止し、スヌーズ動作を30分間繰り返します。

お知らせ

● 通話中（通話保留中の場合は保留解除後）に設定した時刻になると、目覚まし音ではなく警告音が鳴り、画面の表示でお知らせします。(終話)を押すと、通話中の画面に戻ります。
● 目覚ましの設定画面を表示しているとき、電源を切っているとき、ソフトウェア更新中のときに、設定した時刻になると、目覚ましは動作せずに次のようになります。
 ・繰り返しの種類を「毎日繰り返す」または「繰り返さない」に設定している場合は、翌日の同時刻に目覚ましが動作します。
 ・繰り返しの種類を「曜日を指定する」に設定している場合は、翌日以降の指定した曜日の同時刻に目覚ましが動作します。
● 電話の発着信中、呼出中、切断中、64Kデータ通信の発着信中、データ転送中に設定した時刻になると、それぞれの動作終了後に目覚ましが動作します。
● 公共モード（ドライブモード）中に設定した時刻になると、目覚まし音は鳴らず、画面の表示のみでお知らせします。
● マナーモード中に設定した時刻になると、目覚まし音は鳴らず、パターンAの振動（→P131）でお知らせします。
● 電源を切っているときに本機能を動作させるには、通知時刻自動電源ON設定を「入れる」に設定してください。→P387

予定表

予定を管理します

行事や用件などの予定を登録して、必要なときに確認できるようにします。登録した予定の日時になると音声で通知するように設定することもできます。

● 個人情報表示制限中は、本機能を使用できません。→P158
● 最大登録件数→P520

カレンダーの表示

予定は、カレンダー画面から登録、確認します。

1 **待受画面で(メニュー)▶「5目覚まし・予定を登録する」▶「2予定表を使う」を押す**

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12

2007年 4月

カーソル

<カレンダー画面>

当日は水色、土曜日は青、日曜日・祝日は赤（画面配色設定を「白黒反転」に設定している場合、当日はピンク、土曜日は水色）で表示されます。予定を登録している日付は左上に◤が表示されます。

- ●(上)(下)(左)(右)：カーソルが移動します。
- ●(メニュー)：前の月が表示されます。
- ●(電話帳)：次の月が表示されます。
- ●(終話)を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- ●カレンダーは2000年1月1日から2060年12月31日まで表示できます。
- ●カレンダーの祝日は、「国民の祝日に関する法律の一部を改正する法律（平成17年5月20日・法律第43号）」に基づいています（2007年7月現在）。ただし、春分の日・秋分の日は、前年2月1日の官報で発表されるため、カレンダーの表示と異なる場合があります。また、上記法律は2007年1月から施行されていますが、2006年までの一部の祝日、振替休日については、改正前の日付で表示されませんのでご注意ください。

予定の登録

1 **カレンダー画面で登録する日付を選択▶(決定)を押す**

予定はありません
登録しますか？
1登録する
2登録しない

■ **すでに予定を登録している日付に追加するとき**

カレンダー画面で登録する日付を選択▶(決定)▶(電話帳)を押す

操作3に進みます。

2 **「1登録する」を押す**

予定を
入力してください
1予定の内容
2時刻　指定なし
3通知　なし

1予定の内容：行事や用件などの予定を入力します。
2時刻：予定の時刻を指定します。
3通知：予定の時刻になったとき、通知するかどうかを設定します。

次ページへ

3 「1 予定の内容」を押す

予定の内容の入力画面が表示されます。

4 予定の内容を入力▶決定を押す

予定の時刻を指定するかどうかの確認画面が表示されます。

● 全角で最大45文字、半角で最大90文字入力できます。

5 「1 指定する」または「2 指定しない」を押す

予定の時刻の入力画面が表示されます。

● 「2 指定しない」：操作8に進みます。

6 予定の時刻を入力▶決定を押す

予定の時刻に通知するかどうかの確認画面が表示されます。

● 24時間制で入力します。時、分が1桁のときは、前に0を付けます。

7 「1 通知する」または「2 通知しない」を押す

操作2の画面に戻ります。

8 電話帳を押す

予定を登録した旨のメッセージが表示されます。

9 決定を押す

4月 8日(日)予定
1/1件
14:00
ドライブ

<予定一覧画面>

予定一覧画面が表示されます。

● 戻るを押すとカレンダー画面に戻ります。

● ーを押すと待受画面に戻ります。

● 予定の時刻に通知する設定にしているときは、予定一覧画面の通知する予定の時刻の右側に が表示されます。また、待受画面に または （目覚ましも設定しているとき）が表示されます。FOMA端末を折り畳んでいるときは、背面ディスプレイに または （目覚ましも設定しているとき）が表示されます。

お知らせ

● 予定表の保存領域の空きが足りないときや最大登録件数を超えるときは、予定を登録できない旨のメッセージが表示されます。不要な予定を削除してください。→P397

● 予定表に登録した内容は、別にメモを取るなどして保存することをおすすめします。パソコンをお持ちの場合は、データリンクソフトとFOMA USB接続ケーブル（別売）を利用して、パソコンに転送・保存することができます。→P492

予定を通知する日時になると

予定の通知を設定した時刻になると次の画面が表示され、着信音量で設定した音量の「予定の時刻です」という通知音声とランプの点滅でお知らせします。

- [終話]を押すと予定の通知が終了し、予定の通知が動作する前の画面に戻ります。
- [終話]と[+][−]以外のボタンを押すか、何も操作せずに約1分間経過すると予定の通知が停止します。予定の内容を確認し、[決定]を押すと予定の通知が動作する前の画面に戻ります。同じ日時に複数の予定を通知するように設定している場合は、[決定]を押すと次の予定の内容が確認できます。
- FOMA端末を折り畳んでいるときは、背面ディスプレイに「予定の時刻です」と時刻が表示されます。[マナー]を押すと予定の通知が停止します。

お知らせ

- 通話や通信の操作中や公共モード中に、設定した時刻になったときの通知の動作は、目覚ましと同様です。→P390
- マナーモード中に設定した時刻になると、通知音声は鳴らず、パターンAの振動（→P131）とランプの点滅でお知らせします。
- 電源を切っているときに本機能を動作させるには、通知時刻自動電源ON設定を「入れる」に設定してください。→P387

予定の確認

1 カレンダー画面で確認する日付を選択▶[決定]を押す

予定一覧画面が表示されます。

次ページへ

2 確認する予定を選択▶決定を押す

予定詳細画面が表示されます。

4月 8日(日)予定
1/4件
予定の内容
買い物
時刻 10:00
通知 なし

＜予定詳細画面＞

- 同じ日付に複数の予定を登録している場合は、◁▷を押すと前後に登録している予定の予定詳細画面に切り替わります。
- 決定または戻るを押すと予定一覧画面に戻ります。
- ⌒を押すと待受画面に戻ります。

■ 表示中の予定を変更するとき

予定詳細画面で電話帳を押す

- 以降の操作→P392「予定の登録」操作3以降

お知らせ

- 予定一覧画面から予定を変更する場合は、変更する予定を選択してメニュー▶「2修正する」を押して操作します。

予定をコピーします

登録済みの予定を、別の日付にコピーします。

1 カレンダー画面でコピーする予定を登録している日付を選択▶決定を押す

2 コピーする予定を選択▶メニューを押す

1登録する
2修正する
3削除する
4指定日にコピー
5翌日にコピー
6日付を変更

3 「4指定日にコピー」または「5翌日にコピー」を押す

■ コピーする日付を指定するとき

①「4指定日にコピー」を押す

②コピーする日付を入力▶決定を押す

予定をコピーした旨のメッセージが表示されます。

- 西暦は下2桁を入力します。月、日が1桁のときは、前に0を付けます。

■ 翌日にコピーするとき

「5翌日にコピー」を押す

予定をコピーした旨のメッセージが表示されます。

4 決定を押す

コピーした予定が予定一覧画面に表示されます。

● 戻るを押すとカレンダー画面に戻ります。

● ━を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● 予定詳細画面からコピーする場合は、メニュー▶「3指定日にコピー」または「4翌日にコピー」を押して操作します。

予定の日付を変更します

登録済みの予定の日付を変更します。日付を変更しても、予定の内容、時刻、通知の設定はそのまま引き継がれます。

1 カレンダー画面で変更する予定を登録している日付を選択▶決定を押す

2 変更する予定を選択▶メニュー▶「6日付を変更」を押す

予定の日付の入力画面が表示されます。

3 日付を入力▶決定を押す

予定の日付を変更した旨のメッセージが表示されます。

● 西暦は下2桁を入力します。月、日が1桁のときは、前に0を付けます。

4 決定を押す

日付を変更した予定が予定一覧画面に表示されます。

● 戻るを押すとカレンダー画面に戻ります。

● ━を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● 予定詳細画面から変更する場合は、メニュー▶「5日付を変更」を押して操作します。

知られたくない予定を守る <シークレット属性設定／解除>

他の人に見られたくない予定には、シークレット属性を設定します。シークレット属性を設定するには、FOMA端末をシークレットモードに設定する必要があります。

1 シークレットモードを設定する

●操作方法→P157

2 カレンダー画面でシークレット属性を設定する予定を登録している日付を選択▶(決定)を押す

3 シークレット属性を設定する予定を選択▶(決定)▶(メニュー)▶「6シークレット属性設定」を押す

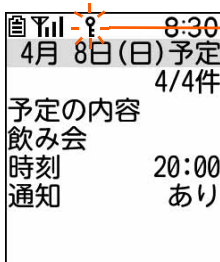
シークレット属性を設定するかどうかの確認画面が表示されます。

4 「1設定する」を押す

シークレット属性を設定した旨のメッセージが表示されます。

●「2設定しない」：設定を中止します。

5 (決定)を押す

予定詳細画面に戻ります。

表示している予定にシークレット属性を設定していると🔑が点滅します。

● (戻る)を押すと予定一覧画面に戻ります。

● (—)を押すと待受画面に戻ります。

■ シークレット属性を解除するとき

①シークレットモード中にシークレット属性を設定している予定詳細画面を表示▶(メニュー)▶「6シークレット属性解除」を押す

②「1解除する」を押す

シークレット属性を解除した旨のメッセージが表示されます。

•「2解除しない」：解除を中止します。

③(決定)を押す

予定詳細画面に戻ります。

おしらせ

- シークレット属性を設定している予定は、シークレットモード中のみ表示できます。また、予定の通知もシークレットモード中のみ動作します。
- シークレットモード中に登録、変更した予定は、自動的にシークレット属性が設定されます。

予定の登録件数を確認します<登録件数確認>

予定の登録件数やシークレット属性を設定している予定（→P396）の件数などを表示して確認します。

1 待受画面で[メニュー]▶「[5]目覚まし・予定を登録する」▶「[3]予定の登録件数を見る」を押す

予定表登録件数
登録件数 5件
残り 295件

2 確認が終わったら[決定]を押す

メニュー画面に戻ります。

- [終話]を押すと待受画面に戻ります。

おしらせ

- シークレットモード中は、シークレット属性を設定している予定の件数も表示します。

予定の削除

1 カレンダー画面で削除する予定を登録している日付を選択▶[決定]を押す

2 削除する予定を選択▶[メニュー]▶「[3]削除する」を押す

削除する予定を
選んでください
1 選択1件
2 選択1日
3 選択日前日まで
4 全件

次ページへ

3 「1選択1件」～「4全件」のいずれかを押す

予定を削除するかどうかの確認画面が表示されます。

■ 選択した予定のみ削除するとき

「1選択1件」を押す

■ 選択した日付の予定をすべて削除するとき

「2選択1日」を押す

■ 選択した日付より前の日付の予定をすべて削除するとき

「3選択日前日まで」を押す

■ すべての予定を削除するとき

「4全件」▶4～8桁の端末暗証番号を入力▶決定を押す

4 「1削除する」を押す

予定を削除した旨のメッセージが表示されます。

● 「2削除しない」：削除を中止します。

5 決定を押す

カレンダー画面に戻ります。

● 予定を削除した日付に他の予定がある場合や、「3選択日前日まで」を押した場合は予定一覧画面に戻ります。

● ━を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● 予定詳細画面から削除する場合は、メニュー▶「2 削除する」を押して操作します。表示中の予定のみ削除されます。

● シークレット属性を設定している予定は、シークレットモード中のみ削除できます。

直前通話時間／積算通話時間

通話時間を確認します

直前に行った通話時間と、これまでに行った通話の積算時間を確認します。

● 通話時間は、かけた場合とかかってきた場合の両方がカウントされます。

● 直前通話時間は、直前に行った電話またはデータ通信の通話時間が表示されます。

● 積算通話時間は、電話、データ通信に分けて表示されます。

● 以前に積算通話時間をリセット（→P399）した場合は、リセット時から現在までの積算通話時間が表示されます。

● 表示される時間はあくまでも目安であり、実際の通話時間とは異なる場合があります。

1 待受画面で(メニュー)▶「9詳細な設定」▶「8情報の表示やリセットを行う」▶「1通話時間を見る」を押す

確認する項目を
選んでください
1直前の通話時間
2積算の通話時間

1直前の通話時間：直前に行った通話時間を表示します。
2積算の通話時間：現在までの積算した通話時間を表示します。

2 「1直前の通話時間」または「2積算の通話時間」を押す

通話時間
直前の通話時間
01分17秒

<直前通話時間>

積算通話時間
電話
1時間53分32秒
データ通信
00秒

<積算通話時間>

● (決定)を押すと操作1の画面に戻ります。
● (終話)を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● 直前通話時間、積算通話時間が9999時間59分59秒を超えると、0秒に戻ってカウントされます。
● ｉモード通信、パケット通信の通信時間はカウントされません。
● 着信中や相手を呼び出している時間はカウントされません。

積算時間リセット

積算通話時間をリセットします。

1 待受画面で(メニュー)▶「9詳細な設定」▶「8情報の表示やリセットを行う」▶「3通話時間をリセットする」を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

次ページへ

2 4～8桁の端末暗証番号を入力▶(決定)を押す

積算時間を
ﾘｾｯﾄする項目を
選んでください

1電話
2データ通信
3全ての通話

1電話　　　：電話の積算時間をリセットします。
2データ通信：データ通信の積算時間をリセットします。
3全ての通話：すべての積算時間をリセットします。

3 「1電話」～「3全ての通話」のいずれかを押す

積算時間をリセットするかどうかの確認画面が表示されます。

4 「1リセットする」を押す

積算時間をリセットした旨のメッセージが表示されます。

●「2リセットしない」：リセットを中止します。

5 (決定)を押す

メニュー画面に戻ります。

●(━)を押すと待受画面に戻ります。

直前通話料金／積算通話料金

通話料金を確認します

直前に行った通話料金と、これまでに行った通話の積算料金を確認します。

●通話料金は、かけた場合のみカウントされます。ただし、フリーダイヤルなどの無料通話先や番号案内（104）などにかけた場合は、直前通話料金に「0円」または「******」が表示されます。
●直前通話料金は、電話、データ通信に分けて表示されます。
●積算通話料金は、電話、データ通信を合わせて表示されます。
●通話料金はFOMAカードに蓄積されるため、FOMAカードを差し替えてご利用になる場合、蓄積されている積算料金（2004年12月から積算開始）が表示されます。
※901iシリーズより前に発売されたFOMA端末では、FOMAカードに蓄積された料金を表示することはできません（FOMAカードには蓄積されています）。
●以前に積算通話料金をリセット（→P401）した場合は、リセット時から現在までの積算通話料金が表示されます。
●表示される通話料金はあくまでも目安であり、実際の通話料金とは異なる場合があります。また、表示される通話料金に消費税は含まれていません。

1 待受画面で(メニュー)▶「9詳細な設定」▶「8情報の表示やリセットを行う」▶「2通話料金を見る」を押す

確認する項目を選んでください
1直前の通話料金
2積算の通話料金

1直前の通話料金：直前に行った通話料金を表示します。
2積算の通話料金：現在までの積算した通話料金を表示します。

2 「1直前の通話料金」または「2積算の通話料金」を押す

直前通話料金
電話
100 円
データ通信
0 円

＜直前通話料金＞

積算通話料金
積算通話料金
12,345 円
前回ﾘｾｯﾄ日時
2007年03月08日
16時00分

＜積算通話料金＞

- (決定)を押すと操作1の画面に戻ります。
- (━)を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- ｉモード通信、パケット通信の通信料金はカウントされません。ｉモード利用料などの確認方法については『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。
- FOMA端末の電源を入れ直すと、直前通話料金に「******」が表示されます。
- WORLD CALL利用時の国際通話料はカウントされます。その他の国際電話サービス利用時はカウントされません。

積算料金リセット

積算通話料金をリセットします。

1 待受画面で(メニュー)▶「9詳細な設定」▶「8情報の表示やリセットを行う」▶「4通話料金をリセットする」を押す

PIN2コード入力画面が表示されます。

2 PIN2コードを入力▶(決定)を押す

PIN2コードが認証された旨のメッセージが表示されます。

3 (決定)を押す

積算通話料金をリセットするかどうかの確認画面が表示されます。

次ページへ

4 「1 リセットする」を押す

積算通話料金をリセットした旨のメッセージが表示されます。

●「2 リセットしない」：リセットを中止します。

5 決定を押す

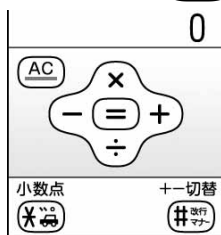
メニュー画面に戻ります。

●を押すと待受画面に戻ります。

電卓

電卓として使います

FOMA端末で＋、－、×、÷の計算ができます。

1 待受画面でメニュー ▶「6 電卓を使う」を押す

＜電卓画面＞

●電卓画面には、操作に使用するボタンの位置と機能が表示されます。

2 計算する

●次のボタンを押して操作ができます。

操作ボタン	説　明	操作ボタン	説　明
0 ～ 9	数字を入力します。		掛け算を行います。
	割り算を行います。		引き算を行います。
	足し算を行います。	決定	計算を実行します。
メニュー	計算を取り消します。	＊	小数点を入力します。
＃	表示中の数字の＋と－を切り替えます。		

〈例〉18＋30＝を計算するとき

1	8	＋	3	0	＝	→ 48と表示されます。
1	8	[→]	3	0	決定	

● [メニュー]：計算結果が消去されます。
● [終話]を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● 最大8桁入力できます。
● 計算結果の整数部分が8桁を超えたり、0で除算したりするとエラーとなり、「E」と表示されます。解除するには、[メニュー]を押します。小数点を含む数値が8桁を超える場合は、表示に収まらない小数部分が四捨五入されて表示されます。

歩数計

歩数計として使います

歩数計を設定すると、カウントした歩数から歩いた距離と消費カロリーを計算して、表示します。
有酸素運動の目安となる「いきいき歩行」をカウントしたり、毎日の歩数データを指定した宛先へ自動的にメールで送信したりできます。

● 個人情報表示制限中は、歩数のカウントは行いますが、その他の操作はできません。→P158
● 次の場合は、歩数のカウントを行いません。
  • 電源が入っていないとき
  • 歩数計を「利用しない」に設定しているとき
  • FOMA端末が開いた状態のとき
  • バイブレータが振動しているとき
● カウントした歩数は、あくまでも目安としてご活用ください。
● カウントする歩数は、装着のしかたや歩きかたによって正確にカウントされない場合があります。

いきいき歩行とは

いきいき歩行の歩数および歩行時間は、有酸素運動（呼吸によって取り入れられる酸素を効果的に使い、全身持久力を高めつつ体脂肪を効果的に燃やす運動）の目安となる歩行を計測したものです。
● FOMA端末で次の条件を満たしたとき自動的にカウントを始めます。
  • 毎分60歩以上の速さで歩くこと
  • 3分以上続けて歩くこと（歩きはじめから3分未満の歩数は、いきいき歩行としてカウントされません）

次ページへ

〈例〉毎分100歩の速さで20分歩いた場合、いきいき歩行の歩数は1700歩となります。

※4分以内の休息は継続したものとします。

歩数計利用時の注意事項

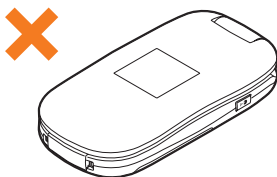
歩数を正確にカウントするためには、正しく装着して毎分100～120歩程度の速さで歩くことをおすすめします。

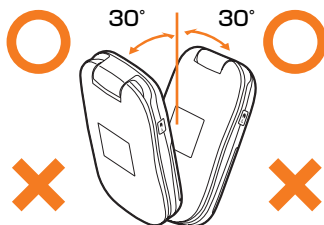
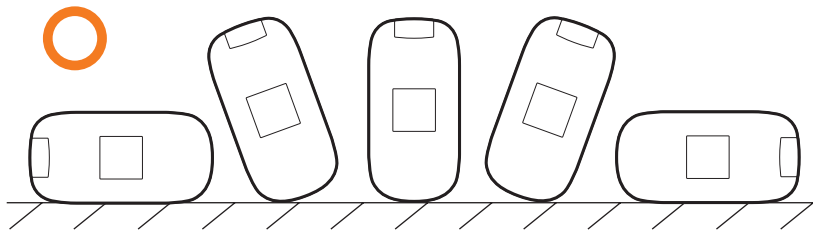
●装着するときは次の点にご注意ください。

- キャリングケース（別売）に入れるときは、キャリングケースを腰のベルトなどに装着してください。
- かばんに入れるときには、ポケットや仕切りの中に入れてください。

歩数カウント中のご注意

次の場合は、歩数を正確にカウントしないことがあります。

●FOMA端末が地面と水平のとき

●FOMA端末が地面に対して垂直から前後30度以上傾いているとき

垂直から前後30度以内の傾きであればカウントします。

地面に対して垂直であれば、傾いても逆さまになってもカウントします。

●FOMA端末が不規則に動くとき

- FOMA端末を入れたかばんが足や腰に当たって不規則な動きをしているとき
- FOMA端末を腰やかばんからぶら下げたとき

その他の便利な機能

歩数計

● 不規則な歩行をしたとき
  • すり足のような歩きかたや、サンダル、下駄、草履などを履いて不規則な歩行をしたとき
  • 混雑した場所を歩くときなど、歩行が乱れたとき
● 上下運動や振動の多い所で使用したとき
  • 立ったり、座ったりしたとき
  • 歩行以外のスポーツを行ったとき
  • 階段や急斜面の昇り降りを行ったとき
  • 乗り物（自転車、車、電車、バスなど）に乗車中の上下振動または横揺れのとき
● ジョギングをしたり、極端にゆっくり歩いたとき

歩数計の設定

お買い上げ時　利用する（歩幅：50cm　体重：50kg）

1 待受画面で（メニュー）▶「7 歩数計を使う」▶「1 歩数計の利用／停止を設定する」を押す

歩数計を
　利用しますか？

1 利用する
2 利用しない

2 「1 利用する」を押す

歩数計を
設定します。
歩数計の測定値は
あくまでも
目安として
ご利用ください
（決定）

● 「2 利用しない」：操作6に進みます。

3 （決定）を押す

歩幅の入力画面が表示されます。

4 歩幅を入力▶（決定）を押す

体重の入力画面が表示されます。

● 歩幅とは、歩くときに1歩進んだときのつま先からつま先までの長さです。10歩進んだ距離を歩数（10）で割ると、誤差が少なく測れます。
● 30～120cmの間で設定します。

次ページへ

5 体重を入力▶決定を押す

歩数計の利用を開始した旨のメッセージが表示されます。

● 30～120kgの間で設定します。

6 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

● を押すと待受画面に戻ります。

● 本機能を使用中は、待受画面に または （歩数計自動送信メールも使用しているとき）が表示され、歩数がカウントされます。

カウント中の歩数を確認します

歩数計を「利用する」に設定すると、FOMA端末を折り畳んでいるとき、背面ディスプレイに今日の歩数が表示されます。

● 背面ディスプレイの照明が点灯しているときは、を押すたびに、デジタル時計と通常歩行の歩数→デジタル時計といきいき歩行の歩数→デジタル時計大→アナログ時計→デジタル時計の順で表示が切り替わります。
- 表示の切り替え→P26

お知らせ

● 日付時刻設定を設定していない場合は、歩数計のお買い上げ時は「利用しない」に設定されます。

● 歩き始めは、誤カウントを防ぐために歩行を始めたかどうかを判断しているため、表示が変わりません。目安として4秒程度歩くとそこまでの歩数が一度に表示されます。

● カウントした歩数は、約10分ごとに保存されます。歩数計を使用中に、FOMA端末の電源を切らずに電池パックを取り外すと、保存されていない歩数が消失してしまう場合があります。

● 電池パックを取り外したり、電池が切れたまま充電しなかったりすると、歩数計の設定が解除される場合があります。

● 歩数計を「利用する」に設定しているとき、背面ディスプレイは次のように動作します。
- 切り替えた表示の設定は保持されますが、電源を入れ直すとデジタル時計と通常歩行の歩数が表示されます。
- 新着情報（→P23）がある場合は、歩数の表示を設定していても新着情報の表示が優先されます。

歩数の履歴の確認

毎日午前0時0分になると、1日分の歩数の履歴が自動的に保存されます。次の項目の履歴を、当日を含めて過去32日分、確認できます。

表示項目	内　容
通常歩行の歩数	通常歩行の1日分の歩数が表示されます。
通常歩行の距離	歩数と設定した歩幅から算出した歩行距離が表示されます。

表示項目	内　容
通常歩行のカロリー	歩数、歩行時間、設定した体重から算出した消費カロリーが表示されます。ただし、1分間に歩いた距離が30m未満の場合は、カロリー計算は行われません。
いきいき歩数	いきいき歩行の1日分の歩数が表示されます。
いきいき歩行⏲	いきいき歩行の1日分の歩行時間が表示されます。

1 待受画面で(メニュー)▶「7歩数計を使う」▶「2歩数の履歴を表示する」を押す

通常歩行

	1/5件
04/08	1750歩
04/07	3000歩
04/06	3500歩
04/05	3000歩
04/04	3500歩

＜履歴表示画面
（通常歩行の場合）＞

通常歩行の歩数の履歴が表示されます。

■ 歩いた距離を確認するとき

履歴表示画面で(メニュー)▶「2通常歩行の距離」を押す

■ 消費カロリーを確認するとき

履歴表示画面で(メニュー)▶「3通常歩行のカロリー」を押す

■ いきいき歩行の歩数を確認するとき

履歴表示画面で(メニュー)▶「4いきいき歩数」を押す

■ いきいき歩行の時間を確認するとき

履歴表示画面で(メニュー)▶「5いきいき歩行⏲」を押す

■ 歩数の履歴をメールで送信するとき

履歴表示画面で履歴を選択▶(メニュー)▶「6メールで送る」を押す

- 以降の操作→P273「iモードメールを作成して送信します」操作2以降
- 送信される内容は、歩数計自動送信メールの内容と同様です。→P412

2 確認が終わったら(決定)を押す

メニュー画面に戻ります。

● (終話)を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- 歩数は999999歩まで表示されます。999999歩を超えた場合は、0歩に戻って表示されます。
- 距離は9999.9kmまで表示されます。9999.9kmを超えた場合は、0kmに戻って表示されます。また、0.1km未満のときは0kmと表示されます。
- カロリーの算出は65535kcalまでです。
- 時間は99時間59分まで表示されます。99時間59分を超えた場合は、0分に戻って表示されます。
- FOMA端末の故障、修理やその他の取り扱いによって、歩数の履歴が消失してしまう場合があります。また、歩数の履歴は、電池パックを外した状態や空の状態でも約1か月は保持されますが、それ以上経過すると消失してしまう場合があります。万一、歩数の履歴が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

歩数の履歴の削除

すべての歩数の履歴を削除します

現在カウント中の歩数、履歴に保存されている歩数、歩数計自動送信メールの累積歩数を削除します。歩数計に設定した歩幅、体重は削除されません。

1 待受画面で(メニュー)▶「7歩数計を使う」▶「4歩数の履歴を削除する」を押す

歩数の履歴を削除するかどうかの確認画面が表示されます。

2 「1削除する」を押す

歩数の履歴を削除した旨のメッセージが表示されます。

●「2削除しない」：削除を中止します。

3 (決定)を押す

メニュー画面に戻ります。

●(終話)を押すと待受画面に戻ります。

今日の歩数を削除します

1 待受画面で(メニュー)▶「7歩数計を使う」▶「5今日の歩数を削除する」を押す

今日の歩数を削除するかどうかの確認画面が表示されます。

2 「1削除する」を押す

今日の歩数を削除した旨のメッセージが表示されます。

●「2削除しない」：削除を中止します。

3 (決定)を押す

メニュー画面に戻ります。

●(終話)を押すと待受画面に戻ります。

歩数計自動送信メール

お買い上げ時　送信先アドレス、連携サービス：設定なし

毎日指定した時間帯に、指定した宛先へ、最新の歩数の履歴を自動的にメールで送信します。自分で指定する宛先1件と歩数計サービス1件の合計2件を、歩数計自動送信メールの宛先として同時に設定できます。

- 歩数計自動送信メールを利用するためには、iモードのご契約が必要です。
- 送信される歩数の履歴に当日分は含まれません。
- 歩数計自動送信メールを使用するための通信料は、お客様のご負担となります。

歩数計サービスとは

歩数計自動送信メールを使用して、「@Fケータイ応援団」の歩数計サービスを利用できます。サービスの利用を設定すると、歩数の履歴が「@Fケータイ応援団」に自動送信され、「東海道五十三次」や「富士登山」などの仮想のコースを歩いて、チェックポイント通過時にそのポイントの写真や紹介文のメールを受け取ることができます。

- 歩数計サービスの利用料はかかりませんが、メールの送受信やiモードサイトに接続するための通信料はお客様のご負担となります。
- 迷惑メール対策（受信／拒否設定）によるメールの受信制限を行うと、歩数計サービスは利用できませんのでご注意ください。
- お客様ご自身のメールアドレスの変更を行うと、新たに歩数計サービスの利用開始となりますのでご注意ください。
- 詳細は「@Fケータイ応援団」のサイトをご覧ください。

  アクセス方法 (2007年7月現在)

  待受画面で(決定)を1秒以上▶「1 i Menuを見る」▶「メニュー／検索」▶「ケータイ電話メーカー」▶「@Fケータイ応援団」

  ※アクセス方法は予告なしに変更される場合があります。

1 **待受画面で(メニュー)▶「7 歩数計を使う」▶「3 歩数の自動送信メールを設定する」を押す**

歩数の自動送信を設定してください
1 送信先アドレス　設定なし
2 連携サービス　設定なし
3 送信時間帯　8時～10時

1 送信先アドレス：指定した宛先に歩数計自動送信メールを送信するかどうかを設定します。

2 連携サービス：歩数計サービスを利用するかどうかを設定します。

3 送信時間帯：歩数計自動送信メールを送信する時間帯を設定します。

次ページへ

2 「1送信先アドレス」を押す

■ 歩数計サービスのみ設定するとき

「2連携サービス」を押す

操作5に進みます。

3 「2直接入力する」▶宛先を入力する

- 半角で最大50文字入力できます。
- ｉモード端末にメールを送信するときは、メールアドレスの「@docomo.ne.jp」は省略できます。
- 半角英字入力モード時に(1あ.:/@)：「.」「@」「-」などを入力できます。

■ 電話帳から選択するとき

①「1電話帳から選択」▶電話帳を検索する

- 検索方法→P101

②送信する相手を選択▶(決定)を押す

送信する相手のメールアドレス画面が表示されます。

③メールアドレスを選択▶(決定)を押す

操作5に進みます。

■ 設定しないとき

「3設定しない」を押す

操作5に進みます。

4 (決定)を押す

5 「1東海道五十三次」～「4設定しない」のいずれかを押す

- 「3その他のコース」を押した場合は、最初の自動送信後に送られてくるメールの指示に従って、コースを選択してください。
- 操作3で「3設定しない」を押し、さらに操作5で「4設定しない」を押した場合は、操作7に進みます。

6 「1 0時～2時」～「# 22時～24時」のいずれかを押す

操作1の画面に戻ります。

7 電話帳を押す

歩数の自動送信メールを設定／解除した旨のメッセージが表示されます。

- 歩数計を「利用しない」に設定しているときは、歩数計が停止している旨のメッセージが表示されます。歩数計停止中は、歩数計自動送信メールは送信されません。

8 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

- を押すと待受画面に戻ります。
- 本機能を使用中は、待受画面に が表示されます。

送信時間帯になると

歩数計自動送信メールは、送信時間帯に待受画面が表示されているときに送信されます。歩数計自動送信メールが送信されると、ｉモードメールを送信した旨のメッセージが約3秒間表示されます。

送信しました

- 歩数計自動送信メールは、「送信したメールを見る」の「送信箱」フォルダに保存されます（→P291）。歩数計自動送信メールは編集できません。

■ 送信に失敗したとき

自動送信に失敗すると、送信に失敗したメールがある旨のメッセージが表示されます。決定を押すと待受画面に戻り、ディスプレイに が表示されます。その場合は未送信メールとして保存され、自動で再送信されませんので、次の操作で再送信してください。

① ▶「4未送信のメールを見る」を押す
②歩数計自動送信メールを選択▶メニュー▶「1送信する」を押す

■ FOMA端末を折り畳んでいるとき

ｉモードメールが自動的に送信されます。送信に失敗したときは、背面ディスプレイに「自動送信メール失敗」と表示されます。

次ページへ

おしらせ

● 次の場合は自動送信が行われず、未送信メールとして保存されます。
  - FOMAカードを正しく取り付けていないときやFOMAカードに異常があるとき
  - セルフモード中
  - ダイヤル発信制限中で、電話帳に登録されていないメールアドレスを自動送信メールの送信先に設定しているとき（歩数計サービスへはダイヤル発信制限中でも自動送信されます）
● 送信時間帯に次の操作を行うと、当日の自動送信は行われず、未送信メールとしても保存されません。翌日から自動送信が行われます。
  - 日付・時刻の設定
  - 歩数計自動送信メール設定の変更
● 送信時間帯に次の操作を行うと、自動送信される状態に戻しても、当日の自動送信は行われず、未送信メールとしても保存されません。翌日から自動送信が行われます。
  - 電源を切る
  - 歩数計を「利用しない」に変更する
● 次の場合は、自動送信は行われません。
  - 電源を切っているとき
  - オールロック中
  - 個人情報表示制限中
  - 歩数計を「利用しない」に設定しているとき
  - 前日の歩数の履歴がないとき
● メールの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、メールを作成できない旨のメッセージが表示され、自動送信できません。「未送信のメールを見る」から不要なｉモードメール、SMSを削除してください。→P340
● 送信時間帯に待受画面が表示されなかった場合は、待受画面が表示されたとき自動送信されます。

歩数計自動送信メールの内容

以下の内容のメールが自動的に作成され、送信されます。

送信箱
03/07件
07/04/08 08:30
宛 docomo.taro.…
題 2007/04/07 歩数
日付:2007/04/07
歩数:XXXXX歩
カロリー:XXXXkcal
累積歩数:XXXXX歩
いきいき歩数:XXXXX歩
いきいき累積歩数:XXXXX歩
- END -

計測日が自動で入ります。

メール本文の項目	内　容
日付	歩数の計測日
歩数	計測日の通常歩行の歩数
カロリー	計測日の消費カロリー
累積歩数	いままでの通常歩行の累積歩数（履歴に保存されている32日分より前の歩数も含まれます）
いきいき歩数	計測日のいきいき歩行歩数
いきいき累積歩数	いままでのいきいき歩行の累積歩数（履歴に保存されている32日分より前の歩数も含まれます）

※ 歩数の数値が0の場合も送信されます。

スイッチ付イヤホンマイク

スイッチ付イヤホンマイクの使いかた

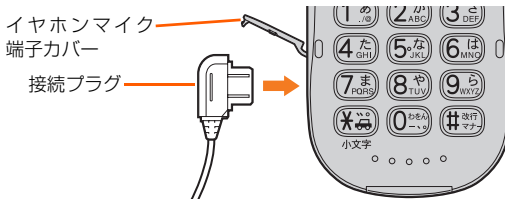
イヤホンマイク端子に平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などを接続すると、スイッチを押すだけで電話をかけたり受けたりすることができます。

- スイッチを押して電話をかけるには、イヤホンスイッチ設定を設定する必要があります。→P413
- 平型スイッチ付イヤホンマイクのコードをFOMA端末に巻き付けないでください。電波の受信レベルが低下する場合があります。
- 平型スイッチ付イヤホンマイクのコードをアンテナ部分に近づけると、雑音が入ることがあります。
- 平型スイッチ付イヤホンマイクのプラグは、確実にFOMA端末に差し込んでください。差し込みが不十分な状態では、音が聞こえない場合があります。

スイッチ付イヤホンマイクの接続

FOMA端末に平型スイッチ付イヤホンマイクを接続します。

※イヤホンジャック変換アダプタP001（別売）と接続すると、市販のイヤホンマイクを使うことができます。

1 **イヤホンマイク端子のカバーを開け、平型スイッチ付イヤホンマイクの接続プラグを差し込む**

イヤホンマイクのスイッチ動作の設定<イヤホンスイッチ設定>

お買い上げ時　イヤホンスイッチ動作：発信しない

イヤホンマイクのスイッチで電話を発信できるように設定し、電話帳に登録した電話番号を指定すると、平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを押すだけで指定した電話番号に電話をかけることができます。

次ページへ

1 待受画面で(メニュー)▶「9詳細な設定」▶「3電話・電話帳の詳細を設定する」▶「6イヤホンマイクを設定する」▶「2イヤホンマイクスイッチの動作を設定する」を押す

イヤホンマイク
接続時の動作を
設定してください
1イヤホンスイッチ動作
発信しない
2発信先
499:

1イヤホンスイッチ動作：スイッチを押して電話を発信するかどうかを設定します。

2発信先：スイッチを押して電話を発信する相手を電話帳から選んで設定します。

2 「1イヤホンスイッチ動作」▶「1発信する」を押す

電話帳の検索画面が表示されます。

● 「2発信しない」：スイッチを押して電話を発信しません。操作4に進みます。

3 電話帳を検索▶発信する相手を選択▶(決定)を押す

操作1の画面に戻ります。

● 検索方法→P101

4 (電話帳)を押す

イヤホンマイク接続時の動作を設定した旨のメッセージが表示されます。

5 (決定)を押す

メニュー画面に戻ります

● (━)を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● シークレット属性を設定している電話帳データを本機能の発信先に設定する場合は、設定前にシークレットモードを設定してください。
● 発信先に設定した電話帳データに電話番号を2件以上登録している場合は、1件目に登録している電話番号に電話がかかります。
● 発信先に設定した電話帳データを削除したり他の電話帳データで上書きしたりすると、設定は解除されます。

スイッチを使った電話のかけかた

あらかじめイヤホンスイッチ設定で指定した相手に発信できるように設定しておくと、平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを押すだけで、電話をかけることができます。

● 個人情報表示制限中は、本機能を使用できません。→P158

1 待受画面で平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを1秒以上押す

「ピピッ」と音がするまで押し続けます。

イヤホンスイッチ設定の発信先に指定した電話番号に電話がかかります。

- FOMA端末を折り畳んでいるときは、背面ディスプレイに通信状態が表示されます。

2 お話しが終わったらスイッチを1秒以上押す

「ピッ」と音がするまで押し続けます。

- [―]を押しても電話を切ることができます。

お知らせ

- イヤホンスイッチ設定の発信先に設定した電話帳データにシークレット属性を設定している場合は、スイッチを押して電話をかける前に、シークレットモードを設定してください。
- 通話中に別の相手の電話番号を入力してスイッチを1秒以上押しても、電話をかけることはできません。通話中の電話が切れるので、ご注意ください。
- 平型スイッチ付イヤホンマイクを接続中は、FOMA端末を折り畳んでも電話は切れません。

スイッチを使った電話の受けかた

あらかじめ平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続しておきます。

1 電話がかかってきたらスイッチを1秒以上押す

「ピピッ」と音がするまで押し続けると、電話がつながります。

- 着信音の鳴る位置は、スピーカー／イヤホン切替（→P134）の設定に従って鳴ります。
- FOMA端末を折り畳んでいるときは、背面ディスプレイに通信状態が表示されます。

2 お話しが終わったらスイッチを1秒以上押す

「ピッ」と音がするまで押し続けます。

- [―]を押しても電話を切ることができます。

お知らせ

- 平型スイッチ付イヤホンマイクを接続中は、FOMA端末を折り畳んでも電話は切れません。

通話中にかかってきた別の電話を受けます

キャッチホンをご契約いただくと、通話中に別の電話がかかってくると「ププ…ププ…」という通話中着信音（→P64）が聞こえます。サービスを開始に設定すると、キャッチホンがご利用いただけます。

次ページへ

1 通話中に電話がかかってくる

通話中着信音が聞こえます。

2 スイッチを1秒以上押す

キャッチホン中（マルチ接続中）の画面が表示されます。
最初の相手との通話が保留になり、後からかかってきた電話を受けます。

● 通話中に 電話帳 またはスイッチを1秒以上押す
：通話の相手を切り替えます。
● 通話中に 決定 ：現在通話中の相手も保留します。もう一度 決定 を押すと解除します。

オート着信機能設定

イヤホンをつないで自動で電話を受けます

お買い上げ時　応答方法：手動

平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などを接続しているときに着信があった場合、設定した応答時間になると自動的に応答します。
電話を受けたとき、接続したイヤホンマイクなどから音声が聞こえます。

● 通話中の着信に対しては、本機能は動作しません。
● 公共モード中は、本機能は動作しません。→P74

1 待受画面で メニュー ▶「9詳細な設定」▶「3電話・電話帳の詳細を設定する」▶「6イヤホンマイクを設定する」▶「1イヤホンマイク接続時に自動で着信する」を押す

イヤホンマイク使用中の
着信方法を
設定してください

1応答方法　手動
2応答時間　4秒

1応答方法：自動と手動のどちらで接続するかを設定します。
2応答時間：着信から自動で応答するまでの時間を設定します。

2 「1応答方法」▶「2自動で応答する」を押す

応答時間の設定画面が表示されます。

●「1手動で応答する」：手動で応答します。操作4に進みます。

3 時間を入力▶決定を押す

操作1の画面に戻ります。

●応答時間の秒数を0～120秒の間で設定します。

4 電話帳を押す

イヤホンマイク使用中の応答方法を設定した旨のメッセージが表示されます。

5 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

●(終話)を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

●電話帳指定着信拒否（→P161）、非通知理由別着信設定（→P164）、登録外着信拒否（→P168）を設定中は、対象に設定している相手から電話がかかってくると、各機能が優先して動作します。

●伝言メモ、留守番電話サービス、転送でんわサービスと本機能を同時に設定している場合、設定した呼出時間により、優先順位が異なります。

●伝言メモの呼出時間設定と本機能の応答時間を同じ時間に設定できません。→P79

●本機能と無音着信時間設定（→P166）を同時に設定している場合、無音着信時間を本機能の応答時間以上に設定すると、本機能は動作しません。

各種設定リセット

各種機能の設定をリセットします

各種機能の設定をお買い上げ時の状態に戻します。

●オールロック中や、個人情報表示制限中は、本機能を使用できません。→P155、P158

●本機能を行ったときにお買い上げ時の状態に戻る機能については、「メニュー一覧」をご覧ください。→P454

●「メニュー一覧」に記載されていない機能やお客様が登録したデータで、お買い上げ時の状態に戻るものは次のとおりです。

機能／データ	説　明
背面ディスプレイの時計表示	基本設定を選択すると、デジタル時計と通常歩行の歩数に切り替わります。
マナーモード	基本設定を選択すると解除されます。
公共モード（ドライブモード）	
ワンタッチダイヤル登録	
簡単メール作成	基本設定を選択すると、通常メール作成に切り替わります。
当日の歩数の履歴	基本設定を選択すると、当日カウントした歩数の履歴のみ消去されます。
予測変換機能で登録されたデータ	予測辞書データを選択すると消去されます。
単語登録のデータ	ユーザ辞書データを選択すると消去されます。

次ページへ

1 待受画面でメニュー▶「9詳細な設定」▶「8情報の表示やリセットを行う」▶「6設定を初めの状態に戻す」を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 4～8桁の端末暗証番号を入力▶決定を押す

リセット項目選択
1 ☑基本設定
2 ☑メール設定
3 ☑ iモード設定
4 ☑ロック機能
5 ☑予測辞書データ
6 ☑ユーザ辞書データ
7 ☑読上辞書データ

3 「1基本設定」～「8呼出辞書データ」のうち、お買い上げ時の状態に戻さない項目の番号を押す

チェックボックスが☑から□に切り替わり、選択が解除されます。

- 決定：項目を選択／解除します。
- メニュー：すべての項目を選択／解除します。

4 電話帳を押す

選んだ項目をお買い上げ時の状態に戻すかどうかの確認画面が表示されます。

5 「1戻す」を押す

選んだ項目をお買い上げ時の状態に戻した旨のメッセージが表示されます。

- 「2戻さない」：リセットを中止します。

6 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

- ─を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- ｉモード設定をリセットすると、待受画面にｉチャネルの情報がテロップ表示されなくなります。待受画面で決定を押してチャネル一覧を表示すると、最新の情報が受信され、待受画面にテロップ表示されるようになります。

データ一括削除

登録したデータを一括して削除します

FOMA端末に保存、登録、設定したデータをすべて削除します。

●オールロック中や、個人情報表示制限中は、本機能を使用できません。→P155、P158

●保護したデータも削除されます。

●各種設定リセットの対象となる機能（→P417）は、お買い上げ時の状態に戻ります。

●保存、登録、設定した次のデータや機能は、削除されたりお買い上げ時の状態に戻ります。

- 自局電話番号以外の個人情報
- リダイヤル
- 着信履歴
- 伝言メモ
- 伝言メモの設定
- 伝言メモの応答メッセージ
- 電話帳データ
- 電話帳のグループの設定
- 電話帳検索優先設定
- 端末暗証番号
- 電話帳指定着信拒否／許可の登録一覧
- ラストURL
- URL入力
- URL履歴
- ブックマーク
- ブックマークの簡易接続
- 画面メモ
- メッセージR/F
- ｉモードメール
- SMS
- 編集したメール例文
- ｉチャネル
- 内蔵写真以外の画像
- 内蔵写真の設定
- 内蔵ビデオ以外のビデオ、動画／ｉモーション
- ビデオ一覧、内蔵ビデオの設定
- 内蔵メロディ以外のメロディ
- メロディ一覧、内蔵メロディの設定
- 作成したフォルダ、アルバム
- 目覚ましの設定
- 予定
- 通話時間
- 歩数の履歴
- 通話中着信動作選択
- 定型文
- ソフトウェア更新（予約更新）

1 待受画面で▶(メニュー)「9詳細な設定」▶「8情報の表示やリセットを行う」▶「7本体内データを全て削除する」を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 4～8桁の端末暗証番号を入力▶(決定)を押す

本体内の全てのデータを削除するかどうかの確認画面が表示されます。

3 「1削除する」を押す

FOMA端末が再起動してデータが削除されます。

●「2削除しない」：削除を中止します。

次ページへ

- FOMAカードに保存、登録、設定されているデータは削除されません。
- パソコンから設定したデータ通信の設定は削除されません。
- 削除されるデータが多い場合は、再起動に時間がかかることがあります。途中で電源を切らないようご注意ください。
- データ一括削除の再起動後は、音声読み上げの設定→歩数計設定の順で設定画面が表示されます。
  - 操作方法→P42「初めて電源を入れたときは」操作①、②

ネットワークサービス

● 本書では、各ネットワークサービスの概要を、FOMA端末のメニューを使って操作する方法で説明しています。詳細は『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

利用できるネットワークサービス

FOMA端末では、次のようなドコモのネットワークサービスをご利用いただけます。
各サービスの概要や利用方法については、次の表の参照先をご覧ください。

- サービスエリア外や電波の届かない所ではネットワークサービスはご利用できません。
- 詳細は『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。
- お申し込み、お問い合わせについては取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

サービス名	月額使用料	申し込み	参照先
留守番電話サービス	有料	必要	P422
キャッチホン	有料	必要	P424
転送でんわサービス	無料	必要	P424
迷惑電話ストップサービス	無料	必要	P425
番号通知お願いサービス	無料	不要	P425
デュアルネットワークサービス	有料	必要	P426
英語ガイダンス	無料	不要	P426
OFFICEED	有料	必要	P427
公共モード（ドライブモード）	無料	不要	P74
公共モード（電源OFF）	無料	不要	P76

- 「OFFICEED」はお申し込みが必要なサービスです。ご不明な点はドコモの法人向けホームページ（http://www.docomo.biz/d/212/）をご確認ください。

操作方法の見かた

操作手順に「▶メニュー項目を選択▶決定を押し、操作する」と記載がある場合は、続けて、表中の「メニュー項目」欄に記載されている数字（項目番号）を順番に押し、さらに、「機能と操作」欄の「▶」以降を操作します。

〈例〉留守番電話メッセージを再生する方法

待受画面で メニュー▶9▶1▶1 に続いて、手順1→手順2と操作します。

留守番電話サービス

電波の届かない所にいるとき、電源が入っていないとき、設定した呼出時間内に応答しなかったときなどに、電話をかけてきた相手に応答メッセージでお答えし、お客様に代わって伝言メッセージをお預かりするサービスです。

- 伝言メモを同時に設定しているとき、留守番電話サービスを優先させるためには、伝言メモの応答時間よりも留守番電話サービスの呼出時間を短く設定してください。
- 留守番電話サービスを開始に設定しているときに、かかってきた電話に応答しなかった場合は、着信履歴に不在着信として記録され、伝言メッセージを預かった場合は、待受画面に 留守番 長押し が表示されます。
- 本FOMA端末は、テレビ電話の留守番電話サービスに対応しておりません。「1412」へ発信し、「非対応」に設定してください。

留守番電話サービスの基本的な流れ

ステップ1：サービスを開始に設定する
ステップ2：電話をかけてきた方が伝言を録音する
ステップ3：伝言メッセージを再生する

1 待受画面でメニュー▶「9詳細な設定」▶「1ネットワークサービスを使う」▶「1留守番サービスを使う」▶メニュー項目を選択▶決定を押し、操作する

メニュー項目	機能と操作
1 留守番メッセージを再生する	▶「1再生する」▶音声ガイダンスの指示に従って操作する • 新しい伝言メッセージがあると、待受画面に留守番【長押し が表示された後、留守番電話件数が増加した旨のメッセージが表示され、着信音（着信音1）が5回鳴ります。
2 メッセージがあるか問合せる	▶「1問合せる」▶決定を押す • 新しい伝言メッセージがあると、待受画面に留守番【長押し が表示されます。
3 留守番サービスを開始する	呼出時間を設定して留守番電話サービスを開始します。 ▶「1開始する」▶「1設定する」▶呼出時間を入力▶決定を押す • 呼出時間を0秒に設定すると、着信履歴には記録されません。
4 留守番サービスを停止する	▶「1停止する」▶決定を押す
5 留守番サービスの詳細を設定する	音声ガイダンスを聞きながら留守番電話サービスを設定します。 ▶「1設定する」▶音声ガイダンスの指示に従って操作する
6 留守番呼出時間を設定する	▶「1設定する」▶呼出時間を入力▶決定を押す • 呼出時間を0秒に設定すると、着信履歴には記録されません。
7 留守番サービスの設定を確認する	▶「1確認する」▶決定を押す • 設定内容表示中に次の操作ができます。 メニュー▶「1留守番電話開始」：留守番電話サービスを開始します。 メニュー▶「2留守番電話停止」：留守番電話サービスを停止します。 メニュー▶「3呼出時間の設定」：留守番電話呼出時間を設定します。
8 着信通知を使う	
1 着信通知を開始する	FOMA端末の電源が入っていないときや圏外にいるときに着信があった場合、電源が入ったときや圏内になったときに着信があったことをSMSでお知らせします。 • 1通で最大5件まで受信します。 • 設定および通知（SMSの受信）には料金はかかりません。 • SMS一括拒否をしていても受信されます。 • 電話帳に登録していても、相手の発信者番号が表示され、電話帳に登録した名前は表示されません。 ▶「1開始する」▶「1発番号ありのみ」または「2全ての着信」▶決定を押す • 「1発番号ありのみ」：発信者番号通知の着信のみ通知します。 • 「2全ての着信」：すべての着信を通知します。
2 着信通知を停止する	▶「1停止する」▶決定を押す
3 着信通知の設定を確認する	▶「1確認する」▶決定を押す

キャッチホン

通話中に別の電話がかかってきたときに、通話中着信音「ププ…ププ…」でお知らせし、現在の通話を保留にして新しい電話に出ることができます。また、通話中の電話を保留にして、別の相手へ電話をかけることもできます。

● キャッチホンを利用する場合は、あらかじめ通話中着信動作選択を「通常着信する」に設定してください。ほかの設定になっている場合は、キャッチホンを開始しても通話中にかかってきた電話に応答することはできません。

● キャッチホン中は、電話帳を押すたびに通話相手を切り替えられます。

1 待受画面でメニュー▶「9詳細な設定」▶「1ネットワークサービスを使う」▶「2キャッチホンを使う」▶メニュー項目を選択▶決定を押し、操作する

メニュー項目	機能と操作
1 キャッチホンを開始する	▶「1開始する」▶決定を押す
2 キャッチホンを停止する	▶「1停止する」▶決定を押す
3 キャッチホンの設定を確認する	▶「1確認する」▶決定を押す

転送でんわサービス

電波の届かない所にいるとき、電源が入っていないとき、設定した呼出時間内に応答しなかったときなどに、かかってきた電話を転送するサービスです。

● 伝言メモを同時に設定しているとき、転送でんわサービスを優先させるためには、伝言メモの応答時間よりも転送でんわサービスの呼出時間を短く設定してください。

● 転送でんわサービスを開始に設定しているときに、かかってきた電話に応答しなかった場合は、着信履歴に不在着信として記録され、待受画面に新着情報（→P23）と▬が表示されます。

転送でんわサービスの基本的な流れ

ステップ1：転送でんわサービスを開始に設定する
ステップ2：転送先の電話番号を登録する
ステップ3：お客様のFOMA端末に電話がかかる
ステップ4：電話に出ないと自動的に指定した転送先に転送される

1 待受画面でメニュー▶「9詳細な設定」▶「1ネットワークサービスを使う」▶「3転送サービスを使う」▶メニュー項目を選択▶決定を押し、操作する

メニュー項目	機能と操作
1 転送サービスを開始する	転送先の電話番号と呼出時間を設定して転送でんわサービスを開始します。 ▶「1開始する」▶「1設定する」▶転送先電話番号を入力▶決定▶「1設定する」▶呼出時間を入力▶決定を押す • 電話番号を入力するときに電話帳を押すと、電話帳や着信履歴、リダイヤルを参照して入力できます。 • 呼出時間を0秒に設定すると、着信履歴には記録されません。
2 転送サービスを停止する	▶「1停止する」▶決定を押す
3 転送先を変更する	▶転送先電話番号を入力▶決定▶「1設定する」▶決定を押す • 電話番号を入力するときに電話帳を押すと、電話帳や着信履歴、リダイヤルを参照して入力できます。

メニュー項目	機能と操作
4 転送先が通話中の時の設定をする	転送先の電話が通話中などで転送できないときに、留守番電話サービスで応対するように設定します。 ▶「1接続する」▶決定を押す
5 転送サービスの設定を確認する	▶「1確認する」▶決定を押す

転送ガイダンスの有／無を設定します

1 **待受画面で1 4 2 9▶[▶音声ガイダンスの指示に従って操作する**

● 詳細は『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

迷惑電話ストップサービス

いたずら電話などの迷惑電話を着信しないように拒否するサービスです。着信拒否登録すると、以後の着信を自動的に拒否し、相手にはガイダンスで応答します。

● 着信拒否登録した電話番号から電話がかかってきても、着信音は鳴りません。着信履歴にも記録されません。

1 **待受画面でメニュー▶「9詳細な設定」▶「1ネットワークサービスを使う」▶「4迷惑電話ストップを使う」▶メニュー項目を選択▶決定を押し、操作する**

メニュー項目	機能と操作
1 迷惑電話着信拒否を登録する	最後に応答した電話番号を着信拒否に登録します。 ▶「1登録する」▶決定を押す • 通話していない不在着信などは登録の対象になりません。
2 着信拒否する番号を登録する	指定した電話番号を着信拒否に登録します。 ▶「1登録する」▶電話番号を入力▶決定▶「1登録する」▶決定を押す • 電話番号を入力するときに電話帳を押すと、電話帳や着信履歴、リダイヤルを参照して入力できます。
3 迷惑電話全登録を削除する	▶「1削除する」▶決定を押す
4 迷惑電話1登録を削除する	最後に登録した電話番号を1件削除します。同様の操作を繰り返し行うことにより、最後に登録した順より1件ずつ削除することができます。 ▶「1削除する」▶決定を押す
5 拒否登録件数を確認する	▶「1確認する」▶決定を押す

番号通知お願いサービス

電話番号を通知してこない電話に対して、番号通知のお願いをガイダンスで応答し、自動的に電話を切るサービスです。

● 番号通知お願いサービスによって着信しなかった電話は、着信履歴に記録されず、待受画面に新着情報は表示されません。

1 **待受画面でメニュー▶「9詳細な設定」▶「1ネットワークサービスを使う」▶「5番号通知お願いサービスを使う」▶メニュー項目を選択▶決定を押し、操作する**

メニュー項目	機能と操作
1 番号通知お願いサービスを開始する	▶「1開始する」▶決定を押す

次ページへ

メニュー項目	機能と操作
2 番号通知お願いサービスを停止する	▶「1停止する」▶決定を押す
3 番号通知お願いサービスを確認する	▶「1確認する」▶決定を押す

デュアルネットワークサービス

お使いになっているFOMA端末の電話番号で、mova端末をご利用いただけるサービスです。FOMAとmovaのサービスエリアに応じた使い分けが可能です。

- FOMA端末とmova端末を同時に利用することはできません。
- 利用可能状態の端末からはネットワークの切り替えができません。もう一方の利用不可状態の端末から切り替え操作を行ってください。

1 待受画面でメニュー▶「9詳細な設定」▶「1ネットワークサービスを使う」▶「8その他のサービスを使う」▶「3デュアルネットワークを使う」▶メニュー項目を選択▶決定を押し、操作する

メニュー項目	機能と操作
1 デュアルネットワークを切替える	mova端末に切り替えていたデュアルネットワークサービスを、FOMA端末に切り替えます。 ▶「1切替える」▶4桁のネットワーク暗証番号を入力▶決定を押す
2 デュアルネットワークの状態を確認する	▶「1確認する」▶決定を押す

英語ガイダンス

ガイダンスの日本語／英語切り替え

留守番電話サービスなどの各種ネットワークサービス設定時のガイダンスや、圏外などの音声ガイダンスを英語に設定することができます。

1 待受画面でメニュー▶「9詳細な設定」▶「1ネットワークサービスを使う」▶「8その他のサービスを使う」▶「2英語ガイダンスを使う」▶メニュー項目を選択▶決定を押し、操作する

メニュー項目	機能と操作
1 ガイダンスを設定する	発信時と着信時のガイダンスの言語を英語または日本語に切り替えます。 ▶「1設定する」▶「1日本語」または「2英語」 **日本語**：発信時に自分が聞くガイダンスを日本語に設定します。 **英語**：発信時に自分が聞くガイダンスを英語に設定します。 ▶「1設定する」▶「1日本語」～「3英語＋日本語」のいずれかを押す▶決定を押す **日本語**：着信時に相手が聞くガイダンスを日本語に設定します。 **日本語＋英語**：着信時に相手が聞くガイダンスを、日本語→英語の順に設定します。 **英語＋日本語**：着信時に相手が聞くガイダンスを、英語→日本語の順に設定します。
2 ガイダンスの設定を確認する	▶「1確認する」▶決定を押す

サービスダイヤル

ドコモ総合案内・受付や故障の問い合わせ先へ電話をかけることができます。

- お使いのFOMAカードによっては、表示される項目が異なる場合や表示されない場合があります。→P33

1 待受画面で(メニュー)▶「9詳細な設定」▶「1ネットワークサービスを使う」▶「8その他のサービスを使う」▶「4サービスダイヤルを使う」▶メニュー項目を選択▶(決定)を押し、操作する

メニュー項目	機能と操作
1 ドコモ総合案内･受付に電話する	ドコモ総合案内・受付に電話をかけます。 ▶「1電話する」を押す
2 ドコモ故障問合せ窓口に電話する	ドコモ指定の故障取扱窓口に電話をかけます。 ▶「1電話する」を押す

OFFICEED

「OFFICEED」は指定されたIMCS（屋内基地局設備）で提供されるグループ内定額サービスです。ご利用には別途お申し込みが必要となります。
詳細はドコモの法人向けホームページ(http://www.docomo.biz/d/212/）をご確認ください。

通話中着信設定

通話中着信動作選択（→P427）の設定を開始／停止したり、設定内容を確認したりします。

1 待受画面で(メニュー)▶「9詳細な設定」▶「1ネットワークサービスを使う」▶「6通話中着信設定を使う」▶メニュー項目を選択▶(決定)を押し、操作する

メニュー項目	機能と操作
1 通話中着信設定を開始する	▶「1開始する」▶(決定)を押す
2 通話中着信設定を停止する	▶「1停止する」▶(決定)を押す
3 通話中着信設定を確認する	▶「1確認する」▶(決定)を押す

通話中着信動作選択

通話中にかかってきた電話の応対方法の選択

お買い上げ時　通常着信する

留守番電話サービス、転送でんわサービス、キャッチホンをご契約されているお客様の通話中にかかってきた電話にどのように対応するかを設定できます。

- 留守番電話サービス、転送でんわサービス、キャッチホンを契約されていない場合は、通話中にかかってきた着信に応答できません。
- 通話中着信動作選択を利用する場合は、あらかじめ通話中着信設定を開始に設定してください。

次ページへ

1 待受画面で[メニュー]▶「9詳細な設定」▶「1ネットワークサービスを使う」▶「7通話中着信動作を選ぶ」を押す

メニュー項目	機能と操作
1 通常着信する	キャッチホンを開始に設定しているときは、キャッチホンが作動します。 キャッチホンを停止に設定しているときは、現在の通話を終了し、かかってきた電話に応答できます。また、通話中にかかってきた電話の対応をサブメニューから選択できます。→P64
2 留守番電話	通話中にかかってきた電話を、留守番電話サービスに接続します。
3 電話を転送する	通話中にかかってきた電話を、あらかじめ登録している転送先に転送します。
4 電話を拒否する	通話中にかかってきた電話を拒否します。

遠隔操作設定

留守番電話サービスや転送でんわサービスなどを、プッシュ式の一般電話や公衆電話、ドコモの携帯電話などから操作できるようにします。

1 待受画面で[メニュー]▶「9詳細な設定」▶「1ネットワークサービスを使う」▶「8その他のサービスを使う」▶「1遠隔操作設定を使う」▶メニュー項目を選択▶[決定]を押し、操作する

メニュー項目	機能と操作
1 遠隔操作を開始する	▶「1開始する」▶[決定]を押す
2 遠隔操作を停止する	▶「1停止する」▶[決定]を押す
3 遠隔操作の設定を確認する	▶「1確認する」▶[決定]を押す

データ通信

データ通信について、詳細は付属のCD-ROM内の「PDF版「データ通信マニュアル」」をご覧ください。「PDF版「データ通信マニュアル」」をご覧になるには、Adobe Reader（バージョン6.0以上を推奨）が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、付属のCD-ROM内のAdobe Readerをインストールしてご覧ください。ご使用方法などの詳細は、「Adobe Readerヘルプ」をご覧ください。

データ通信について

FOMA USB接続ケーブル(別売)を使ってパソコンとFOMA端末を接続し、データ通信が利用できます。

利用できる通信形態

利用できる通信形態は、パケット通信、64Kデータ通信、データ転送の3つに分類されます。

- パソコンと接続してパケット通信や64Kデータ通信を行ったり、電話帳などのデータを編集したりするには、付属のCD-ROMからソフトのインストールや各種設定を行う必要があります。
- OSをアップグレードして使用されている場合の動作は保証いたしかねます。
- FOMA端末は、FAX通信やRemote Wakeupには対応しておりません。
- ドコモのPDA、museaやsigmarion Ⅱ、sigmarion Ⅲと接続してデータ通信が行えます。ただし、museaやsigmarion Ⅱをご利用の場合は、これらのアップデートが必要です。アップデートの方法などの詳細は、ドコモのホームページをご覧ください。

パケット通信

送受信したデータ量に応じて課金されるため、メールの送受信など、比較的少ないデータ量を高速でやりとりする場合に適しています。ネットワークに接続していても、データの送受信を行っていないときには通信料がかからないため、ネットワークに接続したまま必要なときにデータを送受信するという使いかたができます。

ドコモのインターネット接続サービスmopera Uやmoperaなど、FOMAのパケット通信に対応したアクセスポイントを利用して、受信最大384kbps、送信最大64kbpsの高速パケット通信ができます。通信環境や混雑状況の影響により通信速度が変化するベストエフォートによる提供です。

画像を含むホームページの閲覧やデータのダウンロードなど、データ量の多い通信を行った場合には通信料が高額になりますのでご注意ください。

64Kデータ通信

データ量に関係なく、ネットワークに接続している時間の長さに応じて課金されるため、マルチメディアコンテンツのダウンロードなど、比較的データ量の多い送受信を行う場合に適しています。

ドコモのインターネット接続サービスmopera Uやmoperaなど、FOMA64Kデータ通信に対応したアクセスポイント、またはISDN同期64kbpsアクセスポイントを利用して、64kbpsの安定した通信速度でデータを送受信できます。長時間通信を行った場合には通信料が高額になりますのでご注意ください。

データ転送

電話帳やメールなどのデータを送受信する、課金が発生しない通信形態です。

ご利用になる前に

動作環境について

データ通信を利用するためのパソコンの動作環境は、次のとおりです。

項　目	必要環境
パソコン本体	USBポート（USB仕様1.1／2.0に準拠）を持つPC/AT互換機
OS （各日本語版）	Windows 2000、XP
必要メモリ※	Windows 2000：64MB以上 Windows XP：128MB以上
ハードディスク容量※	5MB以上の空き容量

※ FOMA PC設定ソフトの動作環境です。パソコンのシステム構成によっては異なる場合があります。

- 動作環境によってはご使用になれない場合があります。
- 上記の動作環境以外でのご使用について、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

必要な機器について

FOMA端末とパソコン以外に、次の機器が必要です。

- 別売りのFOMA USB接続ケーブルまたはFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01
- 付属のCD-ROM「FOMA® F883i用CD-ROM」

※ USBケーブルは専用のFOMA USB接続ケーブルまたはFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01をお買い求めください。パソコン用のUSBケーブルはコネクタ部の形状が異なるため利用できません。

※ 本書では、FOMA USB接続ケーブルでの場合を例に説明しています。

ご利用時の留意事項

インターネットサービスプロバイダの利用料について

パソコンでインターネットを利用する場合、通常ご利用になるインターネットサービスプロバイダ（以降プロバイダ）の利用料が必要です。この利用料は、FOMAサービスの利用料とは別に直接プロバイダにお支払いいただきます。利用料の詳細は、ご利用のプロバイダにお問い合わせください。

- ドコモのインターネット接続サービスmopera Uやmoperaがご利用いただけます。
  mopera Uは、お申し込みが必要な有料サービスです。使用した月だけ月額使用料がかかるプランもご利用いただけます。FOMA端末でのインターネット接続には、ブロードバンド接続オプションなどに対応したmopera Uのご利用をおすすめします。
  moperaはお申し込みが不要で、月額使用料はかかりません。今すぐインターネットに接続したい方に便利なサービスです。

接続先（プロバイダなど）について

パケット通信と64Kデータ通信では接続先が異なります。パケット通信を行うときはパケット通信対応の接続先、64Kデータ通信を行うときはFOMA64Kデータ通信、またはISDN同期64kbps対応の接続先をご利用ください。

- PIAFSなどのPHS64K／32Kデータ通信やDoPaのアクセスポイントには接続できません。

ユーザー認証について

接続先によっては、接続時にユーザー認証が必要な場合があります。その場合は、通信ソフトまたはダイヤルアップネットワークでIDとパスワードを入力してください。IDとパスワードはプロバイダまたは社内LANなど接続先のネットワーク管理者から付与されます。詳細はプロバイダまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。

パソコンのブラウザを利用してのアクセス認証について

パソコンのブラウザを利用してのアクセス認証でFirstPass（ユーザ証明書）が必要な場合は、付属のCD-ROMからFirstPass PCソフトをインストールし、設定してください。詳細は付属のCD-ROM内の「FirstPassManual」をご覧ください。
「FirstPassManual」（PDF形式）をご覧になるには、Adobe Reader（バージョン6.0以上を推奨）が必要です。パソコンにインストールされていない場合は、付属のCD-ROMからインストールできます。

パケット通信および64Kデータ通信の条件

FOMA端末で通信を行うには、次の条件が必要です。

- ● FOMAサービスエリア内であること
- ● パケット通信の場合、アクセスポイントがFOMAのパケット通信に対応していること
- ● 64Kデータ通信の場合、接続先がFOMA64Kデータ通信、またはISDN同期64kbpsに対応していること

※ 上記の条件が整っていても、基地局が混雑していたり、電波状況が悪かったりするときは通信できない場合があります。

データ通信の準備の流れ

パケット通信および64Kデータ通信を利用する場合の準備について説明します。

通信設定ファイル（ドライバ）について

パソコンに接続してパケット通信または64Kデータ通信を行うには、通信設定ファイルをインストールする必要があります。

FOMA PC設定ソフトについて

付属のCD-ROMからFOMA PC設定ソフトをパソコンにインストールすると、パケット通信または64Kデータ通信を行うために必要なさまざまな設定を、パソコンから簡単な操作で設定できます。

インストール／アンインストール前の注意点

- 通信設定ファイルやFOMA PC設定ソフトのインストール／アンインストールを行う場合は、必ずパソコンの管理者権限を持ったユーザーで行ってください。それ以外のユーザーで行うとエラーになります。パソコンの管理者権限の設定操作については、各パソコンメーカやマイクロソフト社にお問い合わせください。
- 操作を始める前に、他のプログラムが稼動中でないことを確認し、稼動中のプログラムがある場合は、終了してください。
- パソコンの操作方法、管理者権限の設定などについては、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

■ データ通信の用語集

- **APN（Access Point Name）**
  パケット通信で接続するプロバイダなどを識別する文字列。たとえば、mopera Uは「mopera.net」がAPNとなります。
- **cid（Context Identifier）**
  FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号。FOMA端末では1から10までの10件が使えます。
- **DNS（Domain Name System）**
  ドメインネーム（例：nttdocomo.co.jp）を、コンピュータで使うIPアドレスに変換するシステムのことです。
- **OBEX（Object Exchange）**
  データ通信の国際規格の1つ。OBEXに対応している携帯電話、パソコン、デジタルカメラ、プリンタなどの間で、データの送受信ができます。
- **QoS（Quality of Service）**
  サービスの品質。通信時にユーザーの意図どおりに、回線を利用するための技術。FOMA端末では、接続するときの通信速度などを設定できます。
- **W-TCP**
  FOMAネットワークでパケット通信を行う際に、TCP/IPの伝送能力を最大限に生かすためのTCPパラメータ。
  FOMA端末の通信性能を最大限に活用するには、この通信設定が必要です。
- **管理者権限**
  OSのシステムなどすべてにアクセスできる権限のこと。1台のパソコンに最低1人は、パソコンの管理者権限を持つユーザーが設定されています。通常、パソコンの管理者権限がないユーザーは、ドライバやソフトなどのインストール／アンインストールができません。

ATコマンドについて

ATコマンドとは、パソコンでFOMA端末の各機能を設定するためのコマンド（命令）です。FOMA端末はATコマンドに準拠し、さらに拡張コマンドの一部や独自のATコマンドをサポートしています。
ATコマンドの詳細は付属のCD-ROM内の「データ通信マニュアル」をご覧ください。

CD-ROMについて

付属のCD-ROMには、FOMA端末でデータ通信をご利用になる際のソフトウェアや、PDF版「データ通信マニュアル」、PDF版「区点コード一覧」などが収録されています。詳細は、付属のCD-ROMをご覧ください。

■ 収録ソフト／PDF

- F883i通信設定ファイル
- FOMA PC設定ソフト
- FirstPass PCソフト
- ドコモケータイdatalinkのご案内
- PDF版「データ通信マニュアル」
- PDF版「区点コード一覧」
- FOMA Fシリーズデータリンクソフト Ver.2.90
- Adobe® Reader® 8.0
- mopera Uのご案内

CD-ROMをパソコンにセットすると、次のような警告画面が表示される場合があります。この警告は、Internet Explorerのセキュリティの設定によって表示されますが、使用には問題ありません。[はい]をクリックしてください。
※ 画面はWindows XPを使用した場合の例です。お使いのパソコンの環境により異なる場合があります。

ドコモケータイdatalinkの紹介

「ドコモケータイdatalink」は、お客様の携帯電話の電話帳やメールなどをパソコンにバックアップして、編集などを行うソフトです。ドコモのWEBサイトで提供しております。詳細およびダウンロードは下記サイトのページをご覧ください。また、付属のCD-ROMから下記サイトへのアクセスも可能です。
http://datalink.nttdocomo.co.jp/

ダウンロード方法、転送可能なデータ、対応OSなど動作環境、インストール方法、操作方法、制限事項などの詳細については上記ホームページをご覧ください。
また、インストール後の操作方法については、ソフト内のヘルプをご覧ください。
なお、ドコモケータイdatalinkをご利用になるには、FOMA USB接続ケーブル（別売）が必要となります。

文字入力

区点コード一覧について、詳細は付属のCD-ROM内の「PDF版「区点コード一覧」」をご覧ください。「PDF版「区点コード一覧」」をご覧になるには、Adobe Reader（バージョン6.0以上を推奨）が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、付属のCD-ROM内のAdobe Reader をインストールしてご覧ください。ご使用方法などの詳細は、「Adobe Readerヘルプ」をご覧ください。

文字入力について

ここでは、電話帳やメールなどで文字を入力する方法を説明します。

- 文字には「全角文字」と「半角文字」があります。全角文字は、半角文字2文字分にカウントされます。

○：入力可　―：入力文字なし

	全角	半角
ひらがな／漢字、絵文字	○	―
カタカナ、英字、数字、記号	○	○

- 入力できる漢字はJIS第一水準漢字と第二水準漢字の6355文字です。
- 複雑な漢字は変形または省略して表示されます。

文字入力画面の見かた

文字の入力方法には、インライン入力と、全画面入力の2種類があります。

インライン入力

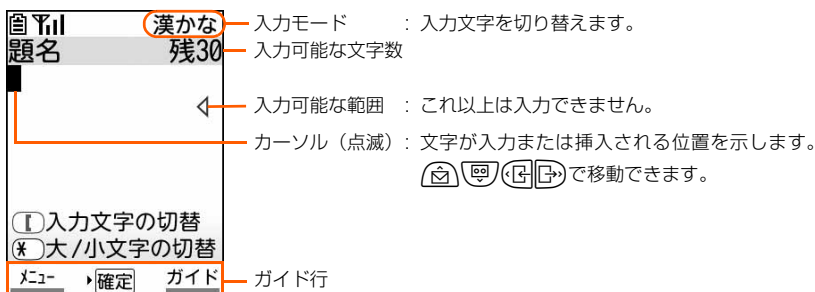
入力欄を選択して、文字を直接入力します。

〈例〉日付時刻設定の時刻欄に文字を入力するとき

<入力欄を選択した状態>　<文字を入力した状態>

全画面入力

全画面で表示される入力エリアに文字を入力します。

〈例〉メール作成時の題名入力画面に文字を入力するとき

文字入力のガイド画面について

画面右下にガイドが表示されている画面で電話帳を押すと、ガイド画面が表示されます。

＜メール本文入力画面のガイド画面＞

- 電話帳を押すと元の画面に戻ります。
- ガイド画面では、入力文字の切り替え、大文字／小文字の切り替え、１つ前の文字に戻す、改行の操作を画像で説明します。
- ガイド画面は、操作する画面により表示が異なります。

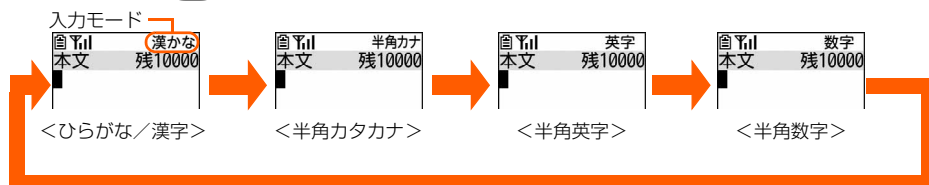
文字入力画面のサブメニュー

サブメニュー（→P30）から次の操作ができます。

サブメニュー	説　明	参照先
1 絵文字を入力	絵文字を一覧から入力します。	P443
2 記号を入力	記号を一覧から入力します。	P443
3 定型文を貼付け	定型文を一覧から入力します。	P443
4 編集を取り消す	文字入力を終了します。	－
5 文字をコピー	文字をコピーします。	P446
6 コピー貼付け	コピーした文字を貼り付けます。	P446
7 電話帳を呼出す	電話帳データの内容を入力します。	P450
8 文頭へ移動	カーソルを文頭に移動します。	－
9 文末へ移動	カーソルを文末に移動します。	－
0 入力予測有効／無効	候補選択リストを表示するかどうかを設定します。	P451
* 区点コード入力	区点コードを使って入力します。	P447

※ ひらがな／漢字入力モードでは、文字が確定するまでサブメニューを表示できません。

入力モードの切り替え

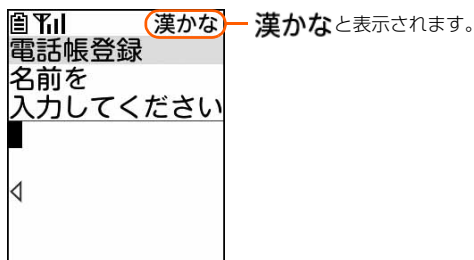
文字入力画面で［を押すたびに、次のように入力モードが切り替わります。

- 文字入力画面によっては、表示されない入力モードがあります。
- ひらがなしか入力できない場合は**全角かな**、全角カタカナしか入力できない場合は**全角カナ**が表示されます。
- 全角英字や全角数字は、ひらがな／漢字入力モードで読みを入力して変換します。

文字を入力します

- 文字は、ダイヤルボタンを押して入力します。個々のボタンに複数の文字が割り当ててあり、ボタンを押すたびに文字が変わります。文字の割り当てについては「ダイヤルボタンの文字割り当て一覧」をご覧ください。→P463

〈例〉電話帳の登録で「企業」と入力するとき

1 待受画面で メニュー ▶「1 電話帳を使う　履歴を見る」▶「4 電話帳に登録する」を押す

漢かなと表示されます。

2 「きぎょう」と入力する

電話帳登録
名前を
入力してください
きぎょう

「き」→ 2を2回押します。[→]を押して、カーソルを1つ右に移動します。
「ぎ」→ 2を2回押して*を押します。
「ょ」→ 8を3回押して*を押します。
「う」→ 1を3回押します。
● ボタンを押し間違えたときは戻るを押して取り消します。

■ 同じボタンに割り当てられている文字を続けて入力するとき

最初の文字を入力した後に[→]を押してカーソルを右に移動させ、次の文字を入力します。

■ 別のボタンに割り当てられている文字を続けて入力するとき

続けて別のボタンを押すと、カーソルは自動的に移動して文字が入力されます。

■ 文字に「゛」「゜」を付けるとき

文字を入力して*を押します。

〈例〉「ほ」を入力して*を押すと、押すたびに「ぼ」→「ぽ」→「ほ」→…と切り替わります。

• 「゛」「゜」が付けられない文字と半角文字の場合は、「゛」「゜」が別の 1 文字として入力されます。

■ 大文字と小文字を切り替えるとき

文字入力後に*を押します。英字を入力するときも同様に操作します。

〈例〉「あ」を入力して*を押すと、押すたびに「ぁ」→「あ」→…と切り替わります。

同じボタンを複数回押しても、大文字と小文字が切り替えられます。ただし、「つ」の場合は「つ」を入力して*を押すと「づ」→「っ」→「つ」→…と切り替わります。

〈例〉「あ」を入力して1を押すと、押すたびに「い」→「う」→「え」→「お」→「ぁ」→「ぃ」→「ぅ」→「ぇ」→「ぉ」→「1」→「あ」→…と切り替わります。

• 切り替えが可能な文字については「ダイヤルボタンの文字割り当て一覧」（→P463）をご覧ください。

■ 入力中に1つ前の文字に切り替えるとき

文字を入力中に#を押すと、押すたびにボタンに割り当てられている1つ前の文字に切り替わります。

〈例〉「あ」を入力して#を押すと、押すたびに「1」→「ぉ」→「ぇ」→「ぅ」→「ぃ」→「ぁ」→「お」→「え」→「う」→「い」→「あ」→…と切り替わります。

次ページへ

3 電話帳を押す

- 候補選択リスト（→P442）が表示されていない場合は を押しても変換されます。
- 戻る ：変換したあとに押すと、変換前の状態に戻ります。

■ 変換候補一覧を表示するとき

電話帳を押しても目的の文字が表示されないときは、 または電話帳を押すと変換候補一覧が表示されます。

を押して変換候補を選択し、決定を押します。候補の番号のダイヤルボタンを押しても選択できます。

- 変換候補一覧が複数ページある場合は、電話帳を押して次ページ、メニューを押して前ページに切り替えることができます。

■ ひらがなのまま確定するとき

ひらがなを入力した状態で決定を押します。

■ カタカナに変換するとき

ひらがなを入力した状態でメニューを押します。

＜変換候補一覧＞

4 決定を押す

文字が確定します。

■ 文字を挿入するとき

を押して挿入する位置までカーソルを移動し、文字を入力します。入力した文字はカーソル位置に挿入されます。

■ 文字を削除するとき

- カーソルが入力文字の途中にある場合（例：企業）
  - 戻る　　　　　：カーソル位置の1文字を削除します。
  - 戻るを1秒以上：カーソル位置の文字とそれ以降の文字をすべて削除します。
- カーソルが入力文字の末尾にある場合（例：企業▌）
  - 戻る　　　　　：カーソルの左の1文字を削除します。
  - 戻るを1秒以上：すべての入力文字を削除します。

■ 改行するとき

改行する位置にカーソルを移動して#改行マナーを押します。

- 改行した位置には「↵」（改行マーク）が表示されます。改行マークは全角1文字分にカウントされます。
- 入力欄によっては改行できない場合があります。

5 決定を押す

文字入力が終了して、フリガナの入力画面が表示されます。

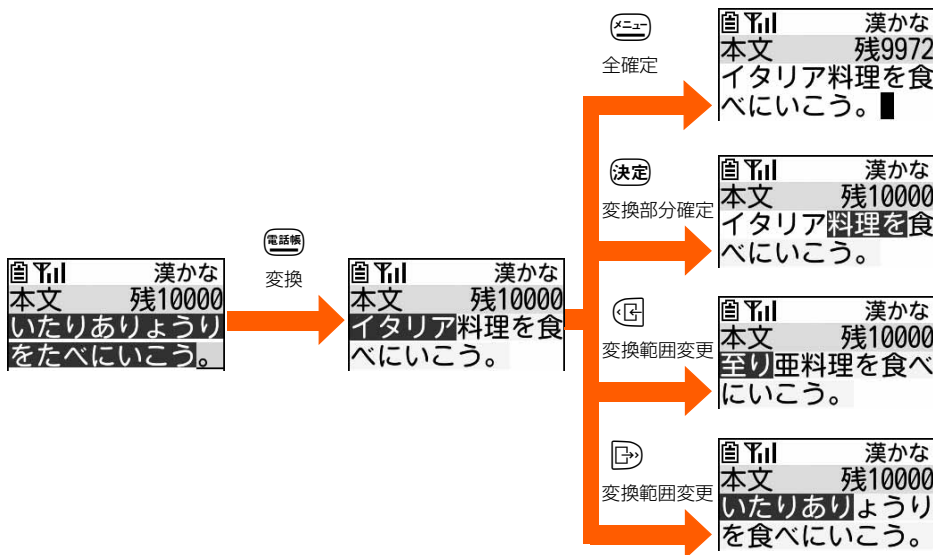
● ▶「1終了する」を押すと待受画面に戻ります。

複数の文節を一括変換するには

複数の文節を一括変換して、文章を簡単に入力できます。

●全角で最大24文字まで一括して変換できます。

〈例〉「イタリア料理を食べにいこう。」と入力するとき

次ページへ

● ひらがな／漢字入力モードで読みを入力して、全角英字、ギリシャ文字、顔文字などに変換できます。
読みと文字の対応→P465「記号・特殊文字入力一覧」、P481「顔文字入力変換・読み上げ一覧」
● 入力文字の末尾にカーソルがある場合、[→]を押すと空白が入力できます。

入力予測機能

入力予測機能は、文字を入力したときに、読みの先頭部分が一致する単語の候補選択リストが表示される機能です。候補選択リストには、一度入力した単語が自動的に予測辞書データとして登録されるため、次に同じ内容を入力するときには、先頭の文字を入力するだけですばやく入力できます。

● 標準搭載の単語の他に、次の単語や文字列が候補として表示されます。
 • 過去に入力した単語　　• 単語登録した文字列
● 入力予測機能は、主に次の画面のひらがな／漢字モードで使用できます。
 • メール作成時の題名入力画面と本文入力画面（メール例文含む）
 • 署名登録画面　　• 定型文編集画面
● 候補選択リストに予測辞書データとして登録されたデータを、リセットしてお買い上げ時の状態に戻せます。→P417
● 候補選択リストを表示しないように設定できます。→P451

〈例〉候補選択リストから「明日」を選択して入力するとき

1 文字入力画面で文字を入力する

本文　残10000
あ
候補選択　66
あなた　あの
ある　明日
アメリカ

候補選択リスト

● 入力文字が増えるたびに候補が変わります。
● [電話帳]：変換候補を表示します
● [決定]：ひらがなのまま確定します。
● [メニュー]：全角カタカナに変換します。

2 [□]▶候補を選択▶[決定]を押す

● 候補選択リストに目的の単語の候補がない場合は、[電話帳]を押すと候補選択リストが消え、[✉][□]または[電話帳]を押すと変換候補一覧が表示されます。

絵文字・記号・定型文を入力します

絵文字・記号の入力

1 文字入力画面で(メニュー)▶「1絵文字を入力」または「2記号を入力」を押す

＜絵文字入力の場合＞

絵文字一覧または記号一覧が表示されます。

● 絵文字・記号が入力できる場合のみ選択できます。

● 絵文字・記号一覧→P464

2 一覧から選択▶(決定)を押す

絵文字・記号が挿入されます。

● (メニュー)／(電話帳)：前後のページを表示できます。

お知らせ

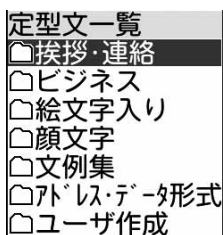
● 次のかっこの左側（例：{）を選択した場合は、右側のかっこ（例：}）も自動的に入力されます。
 ・半角記号：( ) [ ] { } 「 」
 ・全角記号：（ ）〔 〕［ ］｛ ｝〈 〉《 》「 」『 』【 】

● 絵文字や記号の読みを入力しても変換できます。→P465、P467

● 絵文字や記号は、パソコンなどにデータ転送を行ったときに、正しく表示されない場合があります。

定型文の入力

1 文字入力画面で(メニュー)▶「3定型文を貼付け」を押す

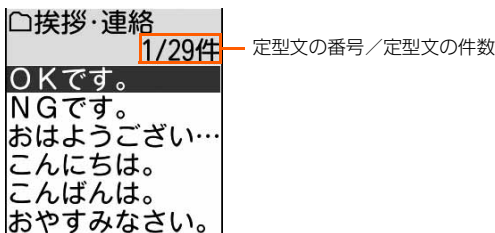
定型文一覧
挨拶・連絡
ビジネス
絵文字入り
顔文字
文例集
ｱﾄﾞﾚｽ･ﾃﾞｰﾀ形式
ユーザ作成

定型文が登録されているフォルダが表示されます。

● 定型文が入力できる場合のみ選択できます。

● 定型文一覧→P486

次ページへ

2 フォルダを選択▶決定を押す

口挨拶・連絡
1/29件 — 定型文の番号／定型文の件数
OKです。
NGです。
おはようござい…
こんにちは。
こんばんは。
おやすみなさい。

3 一覧から選択▶決定▶決定を押す

定型文が挿入されます。

- ：前後のページを表示できます。
- 定型文を入力したとき、編集中の文章が入力可能な文字数を超える場合は、貼り付けるかどうかの確認画面が表示され、「1貼り付ける」を押すと入力可能な文字数以降は削除されます。

お知らせ

- 顔文字は「かお」または「かおもじ」と入力するか、読みを入力しても変換できます。→P487

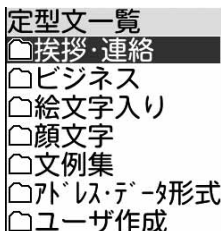
定型文登録

定型文を登録／編集します

定型文を新しく登録したり、お買い上げ時に登録されている定型文を編集して新しい定型文として登録したりできます。登録した定型文は「ユーザ作成」フォルダに登録されます。

- 最大50件登録できます。

1 待受画面でメニュー▶「9詳細な設定」▶「2入力に関する設定を行う」▶「3よく使う定型文を登録する」を押す

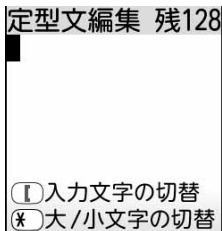
定型文一覧
口挨拶・連絡
口ビジネス
口絵文字入り
口顔文字
口文例集
口アドレス・データ形式
口ユーザ作成

■ 登録済みの定型文を編集して登録するとき

①使用したい定型文が登録されているフォルダを選択▶決定▶利用したい定型文を選択▶決定を押す
定型文が表示されます。

②決定を押す
定型文編集の画面が表示されます。操作3に進みます。

2 「ユーザ作成」フォルダを選択▶(決定)▶「<新しい定型文>」を選択▶(決定)を押す

定型文編集 残128

(［)入力文字の切替
(＊)大/小文字の切替

3 定型文を入力▶(決定)を押す

定型文を登録した旨のメッセージが表示されます。

●全角で最大64文字、半角で最大128文字入力できます。

4 (決定)を押す

定型文一覧に戻ります。

●(⌒)を押すと待受画面に戻ります。

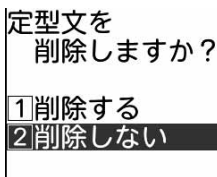
定型文を削除します

●「ユーザ作成」フォルダに登録されている定型文のみ削除できます。

1 定型文一覧を表示する

●定型文登録→P444 操作1

2 「ユーザ作成」フォルダを選択▶(決定)▶削除する定型文を選択▶(メニュー)を押す

定型文を
　削除しますか？

1削除する
2削除しない

●削除する定型文を選択し(決定)を押すと、登録内容が確認できます。そのまま(メニュー)を押しても同様に操作できます。

3 「1削除する」を押す

定型文を削除した旨のメッセージが表示されます。

4 (決定)を押す

定型文一覧に戻ります。

●(⌒)を押すと待受画面に戻ります。

文字のコピーと貼り付け

入力済みの文字を選択してコピーを行い、コピーした文字を別の場所に貼り付けます。別の文字入力画面に貼り付けることもできます。

● コピーした文字は新たにコピーを行うか電源を切るまで記録され、何度でも貼り付けられます。

1 文字入力画面で(メニュー)▶「5文字をコピー」を押す

2 コピー開始位置にカーソルを合わせて(決定)を押す

● (メニュー)：全文を選択します。

3 終了位置にカーソルを合わせて(決定)を押す

コピーした旨のメッセージが表示されます。

● (メニュー)／(電話帳)：カーソルを文頭／文末に移動します。

4 (決定)を押す

5 文字入力画面で、貼り付ける位置にカーソルを合わせて(メニュー)▶「6コピー貼付け」を押す

文字がカーソル位置に挿入されます。

● 貼り付けを行ったとき、編集中の文章が入力可能な文字数を超える場合は、貼り付けるかどうかの確認画面が表示され、「1貼り付ける」を押すと入力可能な文字数以降は削除されます。

お知らせ

● コピーした文字種と、貼り付け先の文字種が適合しているときのみ、貼り付けられます。たとえば、メールアドレス欄の場合は半角英数字しか入力できないため、ひらがなや漢字などの文字は貼り付けられません。

● 改行が入力できない入力画面に、「↵」（改行マーク）を含んだ文字列を貼り付けた場合は、空白に置き換えられます。

区点コード入力

区点コードで入力します

区点コード一覧にある文字、数字、記号を4桁の区点コードを使って入力します。

● 区点コード一覧について、詳細は付属のCD-ROM内の「PDF版「区点コード一覧」」をご覧ください。「PDF版「区点コード一覧」」をご覧になるには、Adobe Reader（バージョン6.0以上を推奨）が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、付属のCD-ROM内のAdobe Reader をインストールしてご覧ください。ご使用方法などの詳細は、「Adobe Readerヘルプ」をご覧ください。

〈例〉「携」（区点コード2340）を入力するとき

1 文字入力画面で（メニュー）▶「[＊]区点コード入力」を押す

区点コードを
入力してください
(0101～8406)

区点ｺｰﾄﾞ　0101

2 4桁の区点コード（この場合は（2）（3）（4）（0））を入力▶（決定）を押す

「携」が入力されます。

● 有効な区点コードは0101～8406です。この範囲でも、文字、数字、記号が割り当てられていない区点コードは無効です。

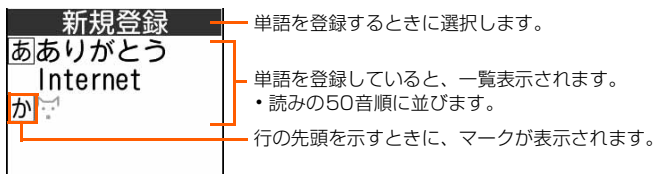
単語登録

よく使う単語を登録します

よく使う単語をあらかじめ登録しておくと、文字の変換のときに簡単に呼び出せます。

●最大50件登録できます。

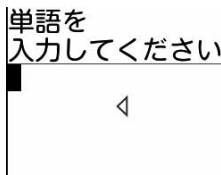
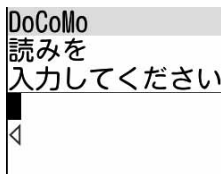
1 待受画面で(メニュー)▶「9詳細な設定」▶「2入力に関する設定を行う」▶「2よく使う単語を登録する」を押す

登録されている単語の件数と、登録できる件数が表示されます。

2 (決定)を押す

■ 登録済みの単語を編集するとき

編集する単語を選択▶(電話帳)を押す

単語の入力画面が表示されます。操作4に進みます。

3 「新規登録」を選択▶(決定)を押す

4 単語を入力▶(決定)を押す

●全角で最大12文字、半角で最大24文字入力できます。

●登録できる文字は次のとおりです。

- ・ひらがな／漢字
- ・全角／半角カタカナ
- ・全角／半角英字
- ・全角／半角数字
- ・全角／半角記号
- ・絵文字

5 読みを入力▶決定を押す

単語を登録した旨のメッセージが表示されます。

- ひらがなで最大8文字入力できます。
- 次の文字を先頭に入力すると、登録できません。
  - を、ん、ぁ、ぃ、ぅ、ぇ、ぉ、っ、ゃ、ゅ、ょ、ゎ、゛（濁点)、゜（半濁点)、ー(長音)
- 空白を入力すると、登録後に削除されます。

6 決定を押す

単語の一覧に戻ります。

- （終話）を押すと待受画面に戻ります。

単語を削除します

1 単語の一覧を表示する

- 単語登録→P448 操作1～2

2 削除する単語を選択▶メニュー▶「2削除する」を押す

選択した単語を
削除しますか？

1削除する
2削除しない

- 削除する単語を選択し決定を押すと、登録内容が確認できます。そのままメニューを押しても同様に操作できます。

3 「1削除する」を押す

単語を削除した旨のメッセージが表示されます。

4 決定を押す

単語の一覧に戻ります。

- （終話）を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- 単語と読みは必ず入力してください。
- 読みにひらがなと長音、濁点、半濁点以外の文字が入力されていた場合は、登録できません。
- 単語と読みの組み合わせが同じ単語が登録されている場合は、登録できません。
- 同じ読みの単語は、最大5つ登録できます。さらに登録する場合は、読みを変更して登録してください。
- 単語登録した単語データを、リセットしてお買い上げ時の状態に戻せます。→P417

電話帳呼出

電話帳を引用して入力します

電話帳の登録内容を引用して入力することができます。

● 電話帳登録の文字入力画面では、本機能を使用できません。

1 文字入力画面で メニュー ▶「7 電話帳を呼出す」を押す

電話帳の検索画面が表示されます。

2 引用する電話帳データを検索して選択 ▶ 決定 を押す

項目一覧
携帯花子
03XXXXXXXX
090XXXXXXXX
docomo.taro.ΔΔ…
docomo-ΔΔ-taro…
挿入する項目を
　選んでください

● 検索方法→P101

3 引用する内容を選択 ▶ 決定 を押す

選択した内容が挿入されます。

お知らせ

● 入力画面によっては、選択した内容が挿入されない場合があります。

文字入力
電話帳呼出

文字入力方法設定

入力予測機能を使用します／使用しません

お買い上げ時　有効にする

文字を入力するときに、入力予測機能を使用するかどうかを設定します。

● 入力予測機能を使用します。→P442

1 **待受画面で[メニュー]▶「[9]詳細な設定」▶「[2]入力に関する設定を行う」▶「[1]文字の入力方法を設定する」を押す**

入力予測を有効にするかどうかの確認画面が表示されます。

2 **「[1]有効にする」または「[2]無効にする」を押す**

入力予測機能を有効／無効にした旨のメッセージが表示されます。

3 **[決定]を押す**

メニュー画面に戻ります。

● [終話]を押すと待受画面に戻ります。

文字入力中に設定を変更します

1 **文字入力画面で[メニュー]▶「[0]入力予測有効」／「[0]入力予測無効」を押す**

入力予測機能が有効／無効に設定されます。

付録／外部機器連携／困ったときには

困ったときには

メニュー一覧

待受画面（FOMA端末を開いた状態）からショートカット操作で選択できるメニューの一覧です。

一覧表の見かた

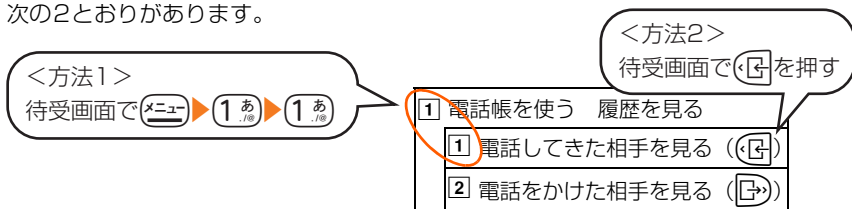
- 【メニュー】を押してからメニューの左に記載されている数字（項目番号）を順番に押すと、メニューが選択できます。
- いくつかのメニューは、【メニュー】と項目番号を押す代わりにボタン１つで選択できます。メニューの右の（　）内に該当するボタンを記載しています。
- 　　は、各種設定リセットを行うとお買い上げ時の状態に戻るメニューです。
- 音声でメニューの説明を聞くことができます。→P180

〈例〉電話してきた相手を見る方法

次の2とおりがあります。

＜方法1＞
待受画面で【メニュー】▶【1 あ】▶【1 あ】

＜方法2＞
待受画面で【着信履歴】を押す

1 電話帳を使う　履歴を見る
└ 1 電話してきた相手を見る（【着信履歴】）
└ 2 電話をかけた相手を見る（【発信履歴】）

メニュー	お買い上げ時	参照先
1 電話帳を使う　履歴を見る		
└ 1 電話してきた相手を見る（【着信履歴】）	－	P66
└ 2 電話をかけた相手を見る（【発信履歴】）	－	P55
└ 3 電話帳の内容を見る	50音順検索	P101 P106
└ 4 電話帳に登録する	－	P88
└ 5 伝言メモを使う		
└ 1 伝言メモを再生する（【伝言メモ】）	－	P81
└ 2 伝言メモを設定する（【伝言メモ】1秒以上）	停止する	P77
└ 3 伝言メモの応答メッセージを選ぶ	標準	P80
└ 6 電話帳のグループを設定する		
└ 1 グループ名を変更する	－	P95
└ 2 グループ専用の電話着信音を選ぶ	[グループ1～30] 着信音設定：専用設定なし	P96
└ 3 グループ専用のメール着信音を選ぶ	[グループ1～30] 着信音設定：専用設定なし	P96
└ 7 自分の電話番号を見る	名称未登録 電話番号：ご契約電話番号※1 メールアドレス：－	P46

メニュー	お買い上げ時	参照先
2 メールを使う（✉）		
1 受信したメールを見る	－	P299 P328
2 メールを作る（✉1秒以上）	－	P267 P272
3 例文を使ってメールを作る	－	P287
4 未送信のメールを見る	－	P291
5 送信したメールを見る	－	P291
6 メールがあるか問合せる		
1 届いているメール･メッセージを受信する	－	P297
2 メール選択受信を行う	－	P296
7 メールアドレスを確認・変更する	－	P263
8 メールを設定する		
1 メールが届いた時の音を選ぶ	メール着信音設定：鳴らす 着信音　：着信音2 鳴らす時間　：10秒	P313
2 メールが届いた時の振動を選ぶ	振動させない	P314
3 メールに付ける署名を登録する	－	P315
4 例文を編集する	－	P288
5 メール選択受信を設定する	利用しない	P295
6 らくらく返信を設定する	利用する	P316
7 らくらく返信の本文を編集する	了解しました。 今から帰ります。 後で連絡します。 遅くなります。 ありがとうございます。 ごめんなさい。	P316
9 SMSを使う		
1 SMSを作る	－	P321
2 届いているSMSを全部受信する	－	P328
3 SMSを設定する	送信文字種：日本語※1 送達通知：要求しない 有効期間：3日※1 SMSC：ドコモ※1 アドレス：81903101652※1 Type of Number：International※1	P336
4 FOMAカードの受信SMSを見る	－	P332
5 FOMAカードの送信SMSを見る	－	P332
3 iモードを使う（決定1秒以上）		
1 i Menuを見る	－	P195
2 ブックマークを見る	－	P209
3 最後に表示したサイトを見る	－	P198

次ページへ

メニュー	お買い上げ時	参照先
3 iモードを使う（決定1秒以上）		
4 インターネットに接続する		
1 URLを入力して接続する	－	P206
2 サイトの入力履歴から接続する	－	P207
5 画面メモを見る	－	P216
6 メッセージを見る		
1 メッセージリクエストを見る	－	P240
2 メッセージフリーを見る	－	P240
3 届いているメール･メッセージを受信する	－	P237
4 メッセージが届いた時の音を選ぶ	[メッセージリクエスト、メッセージフリー] 着信音設定：鳴らす 着信音　　：着信音2 鳴らす時間：10秒	P237
5 メッセージが届いた時の振動を選ぶ	[メッセージリクエスト、メッセージフリー] 振動させない	P239
7 iチャネルを見る（決定※2）	－	P256
8 iチャネルを設定する		
1 iチャネルテロップの表示を設定する	表示設定：表示する 表示速度：標準速度で表示	P257
2 iチャネルボタンを設定する	利用する	P258
4 画像・音声・ビデオを使う		
1 画像を見る	－	P354
2 音声を聞く・ビデオを見る	－	P363
5 目覚まし・予定を登録する		
1 目覚ましを使う	目覚まし：停止	P388
2 予定表を使う	－	P390
3 予定の登録件数を見る	－	P397
4 通知の時刻に電源を入れる	入れない	P387
6 電卓を使う	－	P402
7 歩数計を使う		
1 歩数計の利用／停止を設定する※3	利用する（歩幅：50cm　体重：50kg）	P405
2 歩数の履歴を表示する	－	P406
3 歩数の自動送信メールを設定する	送信先アドレス、連携サービス：設定なし	P409
4 歩数の履歴を削除する	－	P408
5 今日の歩数を削除する	－	P408

メニュー	お買い上げ時	参照先
8 初めに行う設定		
1 発信者番号通知を使う		
1 発信者番号通知を設定する	–	P44
2 発信者番号通知設定を確認する	–	P45
2 画面の設定を行う		
1 待受画面に画像を設定する	画像を表示（雲）	P136
2 メニューと配色を設定する	メニュー形式：リスト形式 画面の配色：青	P139 P141
3 画面の明るさを設定する	画面の明るさ：標準の明るさ 照明時間　　：1分	P141
3 電話を受けた時の音を設定する		
1 電話を受けた時の音を選ぶ	着信音設定：鳴らす 着信音　　：着信音1	P128
2 電話を受けた時の音量を調節する※4	音量4	P70
4 電話を受けた時の振動を選ぶ	振動させない	P131
5 相手の声の音量を調節する	音量4	P68
6 ボタンを押した時の音を設定する	鳴らす	P132
7 音声読み上げを使う		
1 音声読み上げを設定する	動作：なし 声質：女声 速さ：2 音量：4	P181
2 音声読み上げ用の単語を登録する	–	P189
3 スピーカー／受話口の切替を行う	スピーカー	P183
8 音声呼出しを登録する		
1 音声で呼出す電話帳を登録する	–	P172
2 音声で呼出す機能を登録する	–	P175
9 時計を設定する		
1 日付と時刻を設定する	自動で設定する	P43
2 待受画面に時計を表示する	待受時計表示：大きく表示 表示形式：24時間形式	P143
9 詳細な設定		
1 ネットワークサービスを使う※5		
1 留守番サービスを使う		P422
1 留守番メッセージを再生する	–	
2 メッセージがあるか問合せる	–	
3 留守番サービスを開始する	–	
4 留守番サービスを停止する	–	

次ページへ

メニュー	お買い上げ時	参照先
9 詳細な設定		
1 ネットワークサービスを使う※5		
1 留守番サービスを使う		P422
5 留守番サービスの詳細を設定する	−	
6 留守番呼出時間を設定する	−	
7 留守番サービスの設定を確認する	−	
8 着信通知を使う		
1 着信通知を開始する	−	
2 着信通知を停止する	−	
3 着信通知の設定を確認する	−	
2 キャッチホンを使う		P424
1 キャッチホンを開始する	−	
2 キャッチホンを停止する	−	
3 キャッチホンの設定を確認する	−	
3 転送サービスを使う		P424
1 転送サービスを開始する	−	
2 転送サービスを停止する	−	
3 転送先を変更する	−	
4 転送先が通話中の時の設定をする	−	
5 転送サービスの設定を確認する	−	
4 迷惑電話ストップを使う		P425
1 迷惑電話着信拒否を登録する	−	
2 着信拒否する番号を登録する	−	
3 迷惑電話全登録を削除する	−	
4 迷惑電話１登録を削除する	−	
5 拒否登録件数を確認する	−	
5 番号通知お願いサービスを使う		P425
1 番号通知お願いサービスを開始する	−	
2 番号通知お願いサービスを停止する	−	
3 番号通知お願いサービスを確認する	−	
6 通話中着信設定を使う		P427
1 通話中着信設定を開始する	−	
2 通話中着信設定を停止する	−	
3 通話中着信設定を確認する	−	
7 通話中着信動作を選ぶ	通常着信する	P427
8 その他のサービスを使う		
1 遠隔操作設定を使う		P428
1 遠隔操作を開始する	−	
2 遠隔操作を停止する	−	
3 遠隔操作の設定を確認する	−	

メニュー	お買い上げ時	参照先
9 詳細な設定		
9-1 ネットワークサービスを使う※5		
9-1-8 その他のサービスを使う		
9-1-8-2 英語ガイダンスを使う		P426
9-1-8-2-1 ガイダンスを設定する	−	
9-1-8-2-2 ガイダンスの設定を確認する	−	
9-1-8-3 デュアルネットワークを使う		P426
9-1-8-3-1 デュアルネットワークを切替える	−	
9-1-8-3-2 デュアルネットワークの状態を確認する	−	
9-1-8-4 サービスダイヤルを使う		P427
9-1-8-4-1 ドコモ総合案内・受付に電話する	−	
9-1-8-4-2 ドコモ故障問合せ窓口に電話する	−	
9-1-8-4-3 海外紛失窓口に電話する（有料）	※ 本端末ではご利用になれません	
9-1-8-4-4 海外故障窓口に電話する（有料）	※ 本端末ではご利用になれません	
9-1-8-5 スキャン機能を使う		
9-1-8-5-1 パターンデータを更新する	−	P515
9-1-8-5-2 パターンデータ自動更新設定を行う	−	P514
9-1-8-5-3 スキャン機能を設定する	有効にする	P516
9-1-8-5-4 パターンデータの版数を確認する	−	P518
9-1-8-6 ソフトウェアを更新する	−	P505
9-2 入力に関する設定を行う		
9-2-1 文字の入力方法を設定する	有効にする	P451
9-2-2 よく使う単語を登録する	−	P448
9-2-3 よく使う定型文を登録する	−	P444
9-3 電話・電話帳の詳細を設定する		
9-3-1 電話帳の登録件数を見る	−	P122
9-3-2 着信を拒否する相手を指定する※6	解除する	P161
9-3-3 着信を許可する相手を指定する※6	解除する	P161
9-3-4 電話帳登録外の着信を拒否する	許可する	P168
9-3-5 発番通知のない着信を設定する	[非通知設定、通知不可能、公衆電話]設定を解除	P164
9-3-6 イヤホンマイクを設定する		
9-3-6-1 イヤホンマイク接続時に自動で着信する	応答方法：手動	P416
9-3-6-2 イヤホンマイクスイッチの動作を設定する	イヤホンスイッチ動作：発信しない	P413

次ページへ

メニュー			お買い上げ時	参照先
9 詳細な設定				
	3 電話・電話帳の詳細を設定する			
		7 背面の画面表示を設定する	表示する	P138
		8 オートスピーカーホンを設定する	解除する	P65
		9 無音着信時間を設定する	無音着信動作：設定しない	P166
		0 通話中に自分の番号を表示する	表示する	P54
	4 音を設定する			
		1 充電開始と完了時の音を設定する	知らせる	P133
		2 電池残量の警告音を設定する	鳴らす	P40
		3 イヤホンマイク利用時の切替を設定する	イヤホンマイク+スピーカー	P134
		4 通話状態が悪い時に音で知らせる	低音で鳴らす	P133
		5 再接続した時の音を選ぶ	低音で鳴らす	P61
		6 保存した曲の詳細を設定する	−	P373
	5 メールの詳細を設定する			
		1 問合せ内容を選ぶ	すべて選択	P298
		2 添付の画像を受信する	受信する	P318
		3 添付のメロディを受信する	受信する	P319
		4 添付のメロディを自動演奏する	自動演奏する	P320
	6 メッセージの詳細を設定する			
		1 メッセージのメロディを自動演奏する	自動演奏する	P236
		2 未読メッセージを自動で表示する	メッセージR優先	P235
	7 ｉモードの詳細を設定する			
		1 問合せ内容を選ぶ	すべて選択	P298
		2 文字の大きさを選ぶ	標準の大きさ	P225
		3 画像表示・照明を設定する	画像：表示する 照明設定：常に点灯 効果音設定、アニメーション：再生する 端末情報利用：利用する	P226
		4 ｉモーションの再生を設定する	自動再生設定：自動再生する ｉモーションタイプ：標準	P253
		5 接続までの待ち時間を設定する	60秒間	P228
		6 接続先番号を設定する	ｉモード	P229
		7 証明書の表示と使用を設定する※7	CA証明書1～11 ドコモ証明書1※1	P231
		8 ユーザ証明書を操作する	−	P245
		9 証明書の発行先を変更する	接続先：ドコモ	P248

メニュー	お買い上げ時	参照先
9 詳細な設定		
8 情報の表示やリセットを行う		
1 通話時間を見る	−	P398
2 通話料金を見る	−	P400
3 通話時間をリセットする	−	P399
4 通話料金をリセットする	−	P401
5 電池残量を確認する	−	P39
6 設定を初めの状態に戻す	−	P417
7 本体内データを全て削除する	−	P419
9 操作の制限をする		
1 全ての操作を制限する	−	P155
2 セルフモードを設定する	解除する	P156
3 シークレットモードに設定する	解除する	P157
4 履歴の表示を制限する	制限しない	P158
5 個人の情報表示を制限する	制限しない	P158
6 暗証番号を変更する	0000	P148
7 FOMAカードのPINコードを設定する	PIN1コード／PIN2コード：0000※1 使用しない※1	P149 P150
8 ダイヤル入力での発信を制限する	制限しない	P160
0 決めた時刻に電源を入／切する		
1 電源が入る時刻を設定する	自動電源入：停止する	P384
2 電源が切れる時刻を設定する	自動電源切：停止する	P386
0 自分の電話番号を見る	名称未登録 電話番号：ご契約電話番号※1 メールアドレス：−	P46

※1 FOMAカードに保存された内容が表示されるため、お使いのFOMAカードが新規ご契約のものでないときは、FOMAカードの設定によって異なる場合があります。
※2 iチャネルボタン設定を「利用しない」に設定しているときは(決定)を押してもiチャネルを表示できません。
※3 日付時刻設定を設定していない場合は、歩数計のお買い上げ時は「利用しない」に設定されます。
※4 各種設定リセットを行うと、自動音量設定もリセットされます。
※5 ネットワークサービスについては『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。
※6 各種設定リセットを行っても、着信拒否／許可一覧の登録内容はリセットされません。
※7 各種設定リセットを行うと、FOMAカードの設定もすべて選択になります。

お買い上げ時に登録されているデータ

待受画像と動画／ｉモーション

■ 待受画像

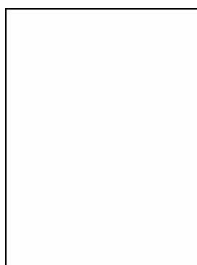
雲※

海※

草※

日常の静物※

日本の伝統色※

ペンギン

白

※ アニメーション（Flash画像）です。また、画像は次のように変化します。

名　称	説　明
雲	ランダムに表示されます。
海	1時間ごとに画像が変化します。
草	ランダムに表示されます。
日常の静物	1か月ごとに画像が変化します。
日本の伝統色	暦の24節気ごとに季節をイメージした色に変化します。 例：2007年6月22日～2007年7月6日は、向日葵色（夏至｜向日葵色）が表示されます。

■ 動画／ｉモーション

リーフ

ダイヤルボタンの文字割り当て一覧

ダイヤルボタンには、次のように文字が割り当てられています。

ボタン	ひらがな／漢字入力モード※1	半角カタカナ入力モード	半角英字入力モード	半角数字入力モード※2
1 あ .,/@	あ い う え お 1	ア イ ウ エ オ 1	. / @ ~ – : _ [¥] ^ ` { | } 1	1
2 か ABC	か き く け こ 2	カ キ ク ケ コ 2	a b c 2	2
3 さ DEF	さ し す せ そ 3	サ シ ス セ ソ 3	d e f 3	3
4 た GHI	た ち つ て と 4	タ チ ツ テ ト 4	g h i 4	4
5 な JKL	な に ぬ ね の 5	ナ ニ ヌ ネ ノ 5	j k l 5	5
6 は MNO	は ひ ふ へ ほ 6	ハ ヒ フ ヘ ホ 6	m n o 6	6
7 ま PQRS	ま み む め も 7	マ ミ ム メ モ 7	p q r s 7	7
8 や TUV	や ゆ よ 8	ヤ ユ ヨ 8	t u v 8	8
9 ら WXYZ	ら り る れ ろ 9	ラ リ ル レ ロ 9	w x y z 9	9
0 わをん ー、。	わ を ん ー 、 。 ・ ？ ！ 「 」 ■ 0	ワ ヲ ン ー 、 。 ・ ？ ！ 「 」 ■ 0	! ” # $ % & ’ ( ) ＊ + , ; < = > ? ■ 0	0 +※3
＊ ゛゜ 小	゛ ゜	゛ ゜		＊ P※3
# 改行 マナー	↵（改行）	↵（改行）	↵（改行）	# T※3

■：半角／全角の空白を示します。

（色付き）：文字入力後に＊を押すか、同じボタンを複数回押すと大文字／小文字に切り替わります。

※1 数字は半角で入力されます。

※2 半角数字入力モードの「＊」「#」「P」「T」「+」は、これらの文字が有効な入力欄でのみ入力できます。

※3 該当するボタンを1秒以上押すと入力できます。

絵文字・記号一覧

■ 絵文字一覧

絵文字1	
絵文字2	

■ 記号一覧

<table>
<tr><td>半角</td><td>　! " # $ % & ' ( ) * + , - . / : ; < = > ? @ [¥] ^ _ ` { | } ~ ｡ ｢ ｣ ､ ･ ｰ ﾞ ﾟ</td></tr>
<tr><td>全角</td><td>　、。，．・：；？！゛゜´｀¨＾￣＿ヽヾゝゞ〃仝々〆〇ー―‐／＼～‖｜…‥‘’“<br>”（）〔〕［］｛｝〈〉《》「」『』【】＋－±×÷＝≠＜＞≦≧∞∴♂♀°′″℃￥＄
¢£％＃＆＊＠§☆★○●◎◇◆□■△▲▽▼※〒→←↑↓〓∈∋⊆⊇⊂⊃∪∩∧∨¬⇒
⇔∀∃∠⊥⌒∂∇≡≒≪≫√∽∝∵∫∬Å‰♯♭♪†‡¶◯ΑΒΓΔΕΖΗΘΙΚΛΜΝ
ΞΟΠΡΣΤΥΦΧΨΩαβγδεζηθικλμνξοπρστυφχψωАБВГД
ЕЁЖЗИЙКЛМНОПРСТУФХЦЧШЩЪЫЬЭЮЯабвгдеёжзийк
лмнопрстуфхцчшщъыьэюя─│┌┐┘└├┬┤┴┼━┃┏┓┛┗┣┳
┫┻╋┠┯┨┷┿┝┰┥┸╂①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳ⅠⅡⅢⅣⅤⅥⅦ
ⅧⅨⅩ㍉㌔㌢㍍㌘㌧㌃㌶㍑㍗㌍㌦㌣㌫㍊㌻㎜㎝㎞㎎㎏㏄㎡㍻〝〟№㏍℡㊤㊥㊦㊧㊨㈱㈲㈹
㍾㍽㍼≒≡∫∮∑√⊥∠∟⊿∵∩∪</td></tr>
</table>

　：半角／全角の空白を示します。

※ 記号一覧の表示には、実際の表示と見えかたが異なるものがあります。

お知らせ

- 絵文字を入力したｉモードメールを他社携帯電話（au／ソフトバンク／ツーカー）に送信すると、自動的に受信側の類似絵文字に変換されます。ただし、受信側の携帯電話の機種や機能によって正しく表示されないことや、該当する絵文字がない場合に文字または〓に変換されることがあります。また、受信側がｉモード端末であっても絵文字2の対応機種でない場合は、正しく表示されないことがあります。
- SMSで半角カタカナを使うと、受信側に正しく表示されない場合があります。また、絵文字の は に置き換わります。受信側の端末によっては、 以外は空白に置き換わって表示されます。

記号・特殊文字入力一覧

ひらがな／漢字入力モードで読みを入力して変換してください。→P438

読　み	入力文字
あーる	Rr ㌃
あい	Ⅰ i
あすたりすく	＊
あすてりすく	＊
あっとまーく	＠
あるふぁ	Α α
あるふぁー	Α α
あんだーばー	＿
あんど	＆
あんぱさんど	＆
いー	Ε e
いーた	Η η
いおた	Ι ι
いこーる	＝
いち	① Ⅰ
いぷしろん	Ε ε
うぷしろん	Υ υ
えい	Ａ a
えいち	Ｈ h
えー	Ａ a
えす	Ｓ s
えっくす	Ｘ x
えっち	Ｈ h
えぬ	Ｎ n
えふ	Ｆ f
えむ	Ｍm
える	Ｌ l
えん	￥
おう	Ｏ o
おー	Ｏ o
おーむ	Ω ω
おす	♂
おなじ	々 〃
おみくろん	Ο ο
おめが	Ω ω
おんぐすとろーむ	Å
おんぷ	♪
かい	Χ χ
かける	×
かっこ	「」『』【】‘’ “”（）〔〕［］ ｛｝〈〉《》
かっぱ	Κ κ

読　み	入力文字
かぶ	㈱
かぶしきがいしゃ	㈱ ㏍
から	〜
かろりー	㌍
がんま	Γ γ
がんまー	Γ γ
きー	Χ χ
きごう	＜＞＠／〃 ±々×≠÷ ≦≧∴§＼ ∞∧∈∨¬ ∋∀⊆⊇∃ ∠⊂⊥⊃⌒ ∪∩∂⊿∇ Σ≡≒∮≪ 〟〝≫∟√ ∽∝∵∫∬ Å‰†‡¶
きゅー	Ｑ q
きゅう	⑨ Ⅸ
きろ	㌔
きろぐらむ	㎏
きろめーとる	㎞
く	⑨ Ⅸ
くさい	Ξ ξ
ぐざい	Ξ ξ
くしー	Ξ ξ
ぐらむ	㌘
くろぼし	★
くろまる	●
けい	Κ k
けー	Κ k
ご	⑤ Ⅴ
ごうどう	≡
こめ	※
こめじるし	※
ころん	：
さん	③ Ⅲ
さんかく	△▲▽▼
し	④ Ⅳ
しー	Ｃ c
じー	Ｇ g
しーしー	㏄
しーた	Θ θ

読　み	入力文字
じーた	Ζ ζ
じぇい	Ｊ j
じぇー	Ｊ j
しかく	□■◇◆
しぐま	Σ σ
しち	⑦ Ⅶ
しめ	〆
しゃーぷ	＃
しゃせん	／＼
じゅう	⑩ Ⅹ
じゅういち	⑪
じゅうきゅう	⑲
じゅうく	⑲
じゅうご	⑮
じゅうさん	⑬
じゅうし	⑭
じゅうしち	⑰
じゅうなな	⑰
じゅうに	⑫
じゅうはち	⑱
じゅうよん	⑭
じゅうろく	⑯
しょうなり	＜
しょうわ	㍼
しろぼし	☆
しろまる	○
ずけい	☆★○●◎ ◇◆□■△ ▲▽▼
すらっしゅ	／＼
ぜーた	Ζ ζ
せくしょん	§
せっし	℃
ぜっと	Ｚ z
せみころん	；
せんち	㎝ ㌢
せんちめーとる	㎝
せんと	￠ ㌣
だい	㈹
たいしょう	㍽
だいなり	＞
だいひょう	㈹
たう	Τ τ

次ページへ

読　み	入力文字
だがー	†
だくてん	゛
たす	＋
だぶりゅ	Ｗｗ
だぶりゅー	Ｗｗ
だぶるだがー	‡
たんい	° ′ ″ ℃ ￥ ＄ ¢ £ ％
てぃー	Ｔｔ
でぃー	Ｄｄ
てー	Ｔｔ
でるた	Δδ
てん	、， ‥…・’ ” ‘ “ ヽ ヾ ゝ ゞ 、 ` ' "
てんてん	‥ …
でんわ	℡
ど	℃ °
どう	々〃仝
どしー	℃
どる	＄ ㌦
とん	㌧
ないし	～
なぜならば	∵
なな	⑦Ⅶ
なみ	～
なんばー	№
に	②Ⅱ
にじゅう	⑳
にじゅうまる	◎
にゅー	Ｎν
のま	々
ぱーせんと	％ ㌫
ぱーみる	‰
ぱい	Ππ
はいふん	‐
はち	⑧Ⅷ

読　み	入力文字
ばつ	×
はてな	？
はんだくてん	゜
びー	Ｂｂ
ぴー	Ｐｐ Ππ
ひく	−
ひしがた	◇◆
びっくり	！
びょう	″
ふぁい	Φφ
ぶい	Ｖｖ
ふぃー	Φφ
ぷさい	Ψψ
ぷしー	Ψψ
ふとうごう	＜＞≦≧≠ ≪≫
ぷらす	＋
ぷらすまいなす	±
ふらっと	♭
ふん	′
へいせい	㍻
へいほうめーとる	㎡
ぺーじ	㌻
べーた	Ββ
べーたー	Ββ
へくたーる	㌶
ほし	☆★※
ぽんど	£
まいなす	−
まる	○ ● ◎ 。 ． ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㊤ ㊥ ㊦ ㊧ ㊨

読　み	入力文字
みゅー	Μμ
みり	㎜ ㍉
みりぐらむ	㎎
みりばーる	㍊
みりめーとる	㎜
むげん	∞
むげんだい	∞
めいじ	㍾
めーとる	㍍
めす	♀
やじるし	→←↑↓ ⇒⇔
ゆう	㈲
ゆー	Ｕｕ
ゆうげんがいしゃ	㈲
ゆうびん	〒
ゆうびんばんごう	〒
ゆえに	∴
ゆぷしろん	Υυ
よん	④Ⅳ
らむだ	Λλ
りっとる	㍑
ろー	Ρρ
ろく	⑥Ⅵ
わい	Ｙｙ
わっと	㍗
わる	÷

※ 特殊記号の表示には、実際の表示と見えかたが異なるものがあります。

※ 入力文字の中には、半角文字しか存在しないもの、全角文字しか存在しないもの、半角文字と全角文字の両方が存在するものがあります。

絵文字入力変換・読み上げ一覧

ひらがな／漢字入力モードで読みを入力して変換してください。→P438
音声読み上げの動作を「自動で読み上げ」に設定しているとき（→P181）に、入力した絵文字や変換候補一覧の絵文字を選択したり、絵文字を入力変換して確定したりした場合の読み上げを記載しています。

読　み	変換	音声読み上げ
はーと、あい、こころ、すき、らぶ		はーとまーく
はーと、あい、こころ、どきどき、すき、らぶ、ゆれるはーと		ゆれるはーとまーく
はーと、しつれん、ふられた、わかれた、しょっく		しつれんまーく
はーと、あい、こころ、すき、らぶ、はーとたち		ふくすうはーとまーく
かお、えがお、わらう、わらい、わーい、うれしい、にこにこ		わーいまーく
かお、おこる、いかり、ぷん、ちっ		ぷんぷんまーく
かお、かなしい、こまった、ごめん、がく		がくーまーく
かお、かなしい、こまった、さいあく、もうやだ		もうやだーまーく
かお、だめ、ふら		ふらふらまーく
どうぶつ、いぬ		いぬまーく
どうぶつ、ねこ		ねこまーく
てんき、はれ、たいよう		はれまーく
てんき、くもり、くも		くもりまーく
てんき、あめ、かさ		あめまーく
てんき、ゆき、ゆきだるま		ゆきまーく
てんき、かみなり、いかずち、いかづち、でんき		かみなりまーく
てんき、うずまき、たいふう、あらし、ぐるぐる、くるくる、めまい		たいふうまーく
てんき、きり、あめ		きりまーく
てんき、こさめ、あめ、かさ		こさめまーく
おんぷ、おんがく、うた、るん		るんるんまーく
おんぷ、おんがく、うた、さんれんぷ、るん、むーど		むーどまーく
おんせん、ふろ、おふろ、いいきぶん		おんせんまーく
はな、かわいい		かわいいまーく
きす、きっす、くちびる、くち、ちゅ、ちゅう、ちゅー、きすまーく		ちゅっまーく
きらきら、ぴかぴか		ぴかぴかまーく
でんきゅう、ぴか、あいであ、あいでぃあ、ひらめき		ひらめきまーく
いかり、おこる、おこり、きれる、むかつく、むか		むかっまーく
がんばる、がんばれ、ぱんち、ぐー、ぐう		ぱんちまーく
ばくだん、ばくはつ		ばくだんまーく
おやすみ、すいみん、ねる、ねむい、ぐー、ずー、ぐう、ずう	zzz	ねむいまーく
びっくり、あっ、えくすくらめーしょん、えくすくらめいしょん	!	びっくりまーく

次ページへ

読　み	変換	音声読み上げ
びっくり、ほんと、えっ、えー、えくすくらめーしょん、えくすくらめいしょん	⁉	びっくりはてなまーく
びっくり、ちょー、えくすくらめーしょん、えくすくらめいしょん	‼	にじゅうびっくりまーく
しょっく、ぐらぐら、どん	💥	どーんまーく
あせ、あせる、ひやあせ	💦	あせあせまーく
あせ、あせる、ひやあせ、なみだ、だらー、たらー	💧	あせたらーっまーく
いそぐ、いそげ、だっしゅ、ためいき、ふぅ、ふう、ふー、はしる	💨	だっしゅまーく
のばす、ちょうおん、ちょーおん	〰	うーまーく
のばす、くるり、ちょうおん、ちょーおん	➰	うーんまーく
おっけー、おーけー、おーけい、おうけい、けってい	🆗	けっていまーく
やじるし、みぎうえ、あがる、あげる、あっぷ、みぎななめうえ	↗	みぎななめうえやじるしまーく
やじるし、みぎした、さがる、さげる、だうん、みぎななめした	↘	みぎななめしたやじるしまーく
やじるし、ひだりうえ、あがる、あげる、あっぷ、ひだりななめうえ	↖	ひだりななめうえやじるしまーく
やじるし、ひだりした、さがる、さげる、だうん、ひだりななめした	↙	ひだりななめしたやじるしまーく
やじるし、ぐっど、あがる、あげる、ぐっと	⤴	ぐっどまーく
やじるし、ばっど、さがる、さげる、ばっと	⤵	ばっどまーく
かお、め、からだ	👀	めまーく
かお、みみ、からだ	👂	みみまーく
ぐー、ぐう、じゃんけん、て、こぶし、ぱんち、からだ	✊	ぐーまーく
ちょき、じゃんけん、て、ぴーす	✌	ちょきまーく
ぱー、ぱあ、じゃんけん、て、ばい、さんせい	✋	ぱーまーく
あし、あしあと、あるく、とほ、からだ、きっく、けり、ける	👣	あしまーく
とらんぷ、はーと、あい、こころ	♥	はーとまーく
とらんぷ、すぺーど	♠	すぺーどまーく
とらんぷ、だいや	♦	だいやまーく
とらんぷ、くらぶ	♣	くらぶまーく
のりもの、こうつう、でんしゃ、れっしゃ、えき	🚃	でんしゃまーく
のりもの、こうつう、ちかてつ、えむ	Ⓜ	ちかてつまーく
のりもの、こうつう、しんかんせん、のぞみ、ひかり、こだま	🚄	しんかんせんまーく
のりもの、こうつう、じどうしゃ、くるま、たくしー、どらいぶ、せだん	🚗	せだんまーく
のりもの、こうつう、じどうしゃ、くるま、たくしー、どらいぶ、あーるぶい	🚙	あーるぶいまーく
のりもの、こうつう、ばす	🚌	ばすまーく
のりもの、こうつう、ふね、ふぇりー、こうかい	🚢	ふねまーく
のりもの、こうつう、ひこうき、じぇっと、じぇっとき、ふらいと、くうこう	✈	ひこうきまーく
のりもの、よっと、ふね、りぞーと	⛵	りぞーとまーく

読　み	変換	音声読み上げ
つりー、くりすます、き		くりすますまーく
いえ、うち、おうち、じたく		いえまーく
びる、かいしゃ、しょくば、がっこう		びるまーく
ゆうびん、ゆうびんきょく、ぽすと		ゆうびんきょくまーく
びょういん、びょうき、けが		びょういんまーく
ぎんこう、ばんく		ぎんこうまーく
えーてぃーえむ、えいてぃえむ、ぎんこう		えーてぃーえむまーく
ほてる		ほてるまーく
こんびに、こんびにえんす、こんびにえんすすとあ		こんびにまーく
がそりんすたんど、がそりん、がすすた、すたんど		がそりんすたんどまーく
ちゅうしゃじょう、ちゅうしゃ、ぱーきんぐ		ちゅうしゃじょうまーく
しんごう、しんごうき		しんごうまーく
といれ、かっぷる、でーと、けっこん		といれまーく
しょくじ、ごはん、れすとらん、ふぁみれす		れすとらんまーく
こーひー、どりんく、のみもの、かっぷ、こっぷ、きっさてん、さてん、おちゃ		きっさてんまーく
かくてる、おさけ、さけ、ばー		ばーまーく
びーる、おさけ、さけ、いざかや、のみかい、こんぱ、かんぱい		びーるまーく
はんばーがー、ばーがー、けいしょく、ふぁーすとふーど		ふぁーすとふーどまーく
はいひーる、ひーる、くつ、あし		ぶてぃっくまーく
はさみ、かっと、びよういん、びようしつ、さんぱつ、とこや		びよういんまーく
まいく、からおけ、うた、うたう		からおけまーく
えいが、えいがかん、しねま、かめら、さつえい、びでお		えいがまーく
うま、けいば、もくば、めりーごーらんど、ゆうえんち		ゆうえんちまーく
おんがく、おと、きく、へっどほん、へっどふぉん		おんがくまーく
え、あーと、げいじゅつ、びじゅつ、ぱれっと		あーとまーく
えんげき、ひと、しんし、ぼうし		えんげきまーく
いべんと、はた		いべんとまーく
ちけっと、きっぷ		ちけっとまーく
すぽーつ、うんどう、しゃつ、たんくとっぷ		すぽーつまーく
すぽーつ、うんどう、やきゅう、そふと、ぼーる、そふとぼーる		やきゅうまーく
すぽーつ、うんどう、ごるふ		ごるふまーく
すぽーつ、うんどう、てにす、たっきゅう、らけっと		てにすまーく
すぽーつ、うんどう、さっかー、ぼーる		さっかーまーく
すぽーつ、うんどう、すきー、すのーぼーど、ぼーど、すけーと、すのぼ、すべる		すきーまーく
すぽーつ、うんどう、ばすけっと、ばすけ、ばすけっとぼーる		ばすけっとまーく
すぽーつ、うんどう、ごーる、はた、れーす、えふわん、もーたーすぽーつ		もーたーすぽーつまーく
ぽけべる、ぽけっとべる、ぺーじゃー		くいっくきゃすとまーく

次ページへ

読　み	変換	音声読み上げ
たばこ、しがー、しがれっと、きつえん、いっぷく		きつえんまーく
たばこ、しがー、しがれっと、きんえん		きんえんまーく
かめら、しゃしん、さつえい、げきしゃ		かめらまーく
かばん、ばっぐ、てさげ、りょこう		かばんまーく
ほん、のーと、しょしんしゃ		ほんまーく
りぼん、ちょうねくたい、ねくたい、あめ		りぼんまーく
ぷれぜんと、たんじょうび、おくりもの		ぷれぜんとまーく
ろうそく、きゃんどる、たんじょうび、ばーすでい、ばーすでー		ばーすでーまーく
でんわ、くろでん、てれふぉん、てれほん、てる、てれ		でんわまーく
けいたいでんわ、けいたい、けーたい、でんわ、ぴっち、ふぉーん、ふぉん		けいたいでんわまーく
めーる、てがみ		めーるまーく
めも、しょるい、れぽーと、しゅくだい、しけん		めもまーく
てれび、がめん、ばんぐみ		てれびまーく
げーむ、こんとろーら		げーむまーく
しーでぃー、あるばむ、しんぐる、でぃすく		しーでぃーまーく
くつ、しゅーず、すにーかー、あし		くつまーく
めがね		めがねまーく
くるまいす		くるまいすまーく
せいざ、おひつじざ、おひつじ		おひつじざまーく
せいざ、おうしざ、おうし		おうしざまーく
せいざ、ふたござ、ふたご、すなどけい		ふたござまーく
せいざ、かにざ、かに		かにざまーく
せいざ、ししざ、しし		ししざまーく
せいざ、おとめざ、おとめ		おとめざまーく
せいざ、てんびんざ、てんびん、おもち、もち		てんびんざまーく
せいざ、さそりざ、さそり		さそりざまーく
せいざ、いてざ、いて、あがる、あっぷ		いてざまーく
せいざ、やぎざ、やぎ		やぎざまーく
せいざ、みずがめざ、みずがめ、なみ		みずがめざまーく
せいざ、うおざ、うお、さかな		うおざまーく
つき、しんげつ、まる		しんげつまーく
つき		かけづきまーく
つき、はんげつ		はんげつまーく
つき、みかづき		みかづきまーく
つき、まんげつ、まる		まんげつまーく
でんわ、けいたいでんわ、けいたい、けーたい、ふぉーん、ふぉん、ぴっち、ちゃくしん		でんわへまーく
めーる、てがみ、じゅしん		めーるへまーく
ふぁっくす、ふぁくす、じゅしん		ふぁっくすへまーく

読　み	変換	音声読み上げ
あいもーど、あい、どこも		あいもーどまーく
あいもーど、あい、どこも		あいもーどまーく
どこもていきょう、でい、でー、でぃー		どこもていきょうまーく
どこもぽいんと、ぽいんと、でい、でー、でぃー		どこもぽいんとまーく
えん、かね、きんがく、ねだん、りょうきん		ゆうりょうまーく
ただ、むりょう、じゆう、ひま、ふりー		むりょうまーく
あいでぃ、あいでぃー、あいでー		あいでぃーまーく
かぎ、きー、ひみつ、ぱすわーど、ろっく		ぱすわーどまーく
かいぎょう、まがる、つづく、つづき		つぎありまーく
さくじょ、しーえる、くりあ、くーる		くりあまーく
さがす、しらべる、むしめがね、さーち		さーちまーく
にゅー、にゅう、あたらしい、しん		にゅーまーく
はた、もくひょう、ごるふ、いちじょうほう、いち		いちじょうほうまーく
だいやる、だいある、ふりーだいやる、ふりーだいある		ふりーだいやるまーく
しゃーぷ		しゃーぷだいやるまーく
もばきゅー、もばきゅう、しつもん、きゅう、きゅー		もばきゅーまーく
1、いち、すうじ、ばんごう		しかくいち
2、に、すうじ、ばんごう		しかくに
3、さん、すうじ、ばんごう		しかくさん
4、よん、し、すうじ、ばんごう		しかくよん
5、ご、すうじ、ばんごう		しかくご
6、ろく、すうじ、ばんごう		しかくろく
7、しち、なな、すうじ、ばんごう		しかくなな
8、はち、すうじ、ばんごう		しかくはち
9、きゅう、く、きゅー、すうじ、ばんごう		しかくきゅう
0、ぜろ、れい、すうじ、ばんごう		しかくぜろ
かちんこ、さつえい、すたーと、はこ		かちんこまーく
ふくろ、つぼ		ふくろまーく
ぺんさき、ぺん		ぺんまーく
はんこ、ひと、ひとかげ		ひとかげまーく
いす、ざせき、すわる		いすまーく
よる、よなか、しんや、れいと		よるまーく
すぐ、もうすぐ、すーん		すーんまーく
おん		おんまーく
おわり、えんど		えんどまーく
じかん、じこく、たいむ、とけい		とけいまーく
じてんしゃ、ちゃり、ちゃりんこ、のりもの		じてんしゃまーく
れんち、すぱな、こうぐ、どうぐ		れんちまーく
ぱそこん、ぴーしー、こんぴゅーた、こんぴゅーたー		ぱそこんまーく
えんぴつ、ぶんぼうぐ		えんぴつまーく

次ページへ

読　み	変換	音声読み上げ
くりっぷ、ぶんぼうぐ、てんぷ		くりっぷまーく
やじるし、さゆう		さゆうまーく
やじるし、じょうげ		じょうげまーく
やじるし、りさいくる、かいてん、まわる		りさいくるまーく
えぬじー、だめ	NG	えぬじーまーく
ひみつ、まるひ	秘	まるひまーく
きんし、げんきん、だめ	禁	きんしまーく
くうしつ、くうせき、くうしゃ、あき、あく、から	空	くうしつまーく
ごうかく	合	ごうかくまーく
まんしつ、まんせき、まんしゃ、いっぱい、まんたん、ふる	満	まんしつまーく
けいこく、きけん、びっくり		きけんまーく
こぴーらいと、しー、まるしー	©	こぴーらいとまーく
とれーどまーく、てぃーえむ	™	とれーどまーく
れじすたーどとれーどまーく、とれーどまーく、あーる、まるあーる	®	れじすとれっどまーく
あいあぷり、あるふぁ、あぷり		あいあぷりまーく
あいあぷり、あるふぁ、あぷり		あいあぷりまーく
どるぶくろ、どる、かね、おかね		どるぶくろまーく
うでどけい、とけい、うぉっち		うでどけいまーく
すなどけい、とけい		とけいまーく
おにぎり、おむすび、ごはん、おべんとう、べんとう		おにぎりまーく
けーき、しょーとけーき、でざーと、おかし、かし		しょーとけーきまーく
ぱん、ぶれっど		ぱんまーく
どんぶり、らーめん、めん、うどん、そば		どんぶりまーく
ゆのみ、おゆのみ、おちゃ、ちゃ		ゆのみまーく
とっくり、おちょこ、おさけ、さけ、にほんしゅ		とっくりまーく
わいんぐらす、わいん、おさけ、さけ		わいんぐらすまーく
ばなな、くだもの		ばななまーく
りんご、あっぷる、くだもの		りんごまーく
さくらんぼ、ちぇりー、くだもの		さくらんぼまーく
くろーばー、よつば、はっぱ		くろーばーまーく
ちゅーりっぷ、はな		ちゅーりっぷまーく
わかば、ふたば、はっぱ		わかばまーく
もみじ、こうよう、はっぱ		もみじまーく
さくら、はな		さくらまーく
かたつむり、まいまい、でんでんむし、どうぶつ、むし		かたつむりまーく
ひよこ、とり、どうぶつ		ひよこまーく
ぺんぎん、とり、どうぶつ		ぺんぎんまーく
さかな、おさかな、どうぶつ		さかなまーく
うま、どうぶつ		うままーく

読　み	変換	音声読み上げ
ぶた、どうぶつ、ぶー		ぶたまーく
しゃつ、てぃーしゃつ、ふく、ようふく、てぃしゃつ		てぃーしゃつまーく
ずぼん、ぱんつ、じーぱん、じーんず、ふく、ようふく		じーんずまーく
けしょう、くちべに、るーじゅ、りっぷ		けしょうまーく
ゆびわ、あくせさりー、りんぐ		ゆびわまーく
おうかん、かんむり、おうさま		おうかんまーく
べる、ちゃぺる、かね		ちゃぺるまーく
どあ、とびら、と		どあまーく
がっこう、だいがく		がっこうまーく
なみ、うみ、つなみ、おおなみ		なみまーく
ふじさん、やま		ふじさんまーく
すぽーつ、うんどう、すのーぼーど、ぼーど、すのぼ、すべる		すのぼーまーく
すぽーつ、うんどう、はしる、にげる		はしるひとまーく
かお、こまる、うーむ、うーん、うむ、むすっ、かんがえる		むむまーく
かお、ほっ		ほっまーく
かお、ひやあせ、たらー、だらー、あせ、あせる		ひやあせまーく
かお、ひやあせ、たらー、だらー、あせ、あせる		ひやあせまーく
かお、おこる、ぷー、ぶー		ぷくっまーく
かお、ぼけー、しらー、しらけ		ぼけーまーく
かお、はーと、らぶ、すき、わーい、うれしい		らぶらぶまーく
かお、あっかんべー、べー、いたずら		あっかんべーまーく
かお、うぃんく、ういんく、ぱちっ、ぱち		うぃんくまーく
かお、うれしい、わーい、きゃっ、きゃ		うれしいまーく
かお、がまん		がまんまーく
かお、どうぶつ、ねこ		ねこまーく
かお、かなしい、なく、えーん、わーん、なきがお		なきまーく
かお、なみだ、かなしい、ぽろり、なく、なきがお		なみだまーく
かお、おいしい、うまい、まんぞく		うまいまーく
かお、えがお、わらう、うっしっし、うしし、ししし		うっしっしまーく
かお、さけぶ、さけび、げっそり、ひゃー、むんく		げっそりまーく
て、おっけー、おーけー、おーけい、おうけい、ぐっど、ゆび、おやゆび、ぐっと		おーけーまーく
てがみ、めーる、らぶれたー、こいぶみ		らぶれたーまーく
がまぐち、さいふ、おかね、かね		がまぐちさいふまーく

お知らせ

- 絵文字を入力したｉモードメールを他社携帯電話（au／ソフトバンク／ツーカー）に送信すると、自動的に受信側の類似絵文字に変換されます。ただし、受信側の携帯電話の機種や機能によって正しく表示されないことや、該当する絵文字がない場合に文字または〓に変換されることがあります。また、受信側がｉモード端末であっても絵文字2の対応機種でない場合は、正しく表示されないことがあります。
- SMSで半角カタカナを使うと、受信側に正しく表示されない場合があります。また、絵文字の　は　に置き換わります。受信側の端末によっては、　以外は空白に置き換わって表示されます。

記号・かな・英数字読み上げ一覧

音声読み上げの動作を「自動で読み上げ」に設定しているとき（→P181）に、入力した文字や変換候補一覧の文字を選択した場合の読み上げを記載しています。

● 入力変換して確定したときの読み上げや、カーソルの移動のしかたによって、異なる読み上げを行う場合があります。

■ 全角記号

入力文字	音声読み上げ
、	とーてん
。	くてん
，	こんま
．	ぴりおど
・	なかぐろ
：	ころん
；	せみころん
？	ぎもんふ
！	かんたんふ
゛	だくてん
゜	はんだくてん
´	あくさんてぎゅ
｀	ばっくくおーと
¨	うむらうと
＾	きゃれっと
￣	おーばーらいん
＿	あんだーらいん
ヽ	かたかなくりかえし
ヾ	かたかなだくてんくりかえし
ゝ	かなくりかえし
ゞ	かなだくてんくりかえし
〃	おなじく
仝	どう
々	かんじくりかえし
〆	しめ
〇	ぜろ
ー	ちょーおん
―	だっしゅ
‐	はいふん
／	すらっしゅ

入力文字	音声読み上げ
＼	ばっくすらっしゅ
～	から
∥	にじゅうたてせん
｜	たてせん
…	さんてんりーだー
‥	にてんりーだー
‘	ひだりいんようふ
’	みぎいんようふ
“	ひだりにじゅういんようふ
”	みぎにじゅういんようふ
（	かっこ
）	とじかっこ
〔	きっこうかっこ
〕	とじきっこうかっこ
［	だいかっこ
］	とじだいかっこ
｛	ちゅうかっこ
｝	とじちゅうかっこ
〈	やまかっこ
〉	とじやまかっこ
《	にじゅうやまかっこ
》	とじにじゅうやまかっこ
「	かぎかっこ
」	とじかぎかっこ
『	にじゅうかぎかっこ
』	とじにじゅうかぎかっこ
【	すみつきかっこ
】	とじすみつきかっこ
＋	ぷらす
－	まいなす

入力文字	音声読み上げ
±	ぷらすまいなす
×	かける
÷	わる
＝	いこーる
≠	のっといこーる
＜	しょーなり
＞	だいなり
≦	しょーなりいこーる
≧	だいなりいこーる
∞	むげんだい
∴	ゆえに
♂	おす
♀	めす
°	ど
′	ふん
″	びょー
℃	どしー
￥	えん
＄	どる
¢	せんと
£	ぽんど
％	ぱーせんと
＃	しゃーぷ
＆	あんど
＊	こめじるし
＠	あっとまーく
§	せくしょん
☆	ほし
★	くろぼし
○	まる

入力文字	音声読み上げ
●	くろまる
◎	にじゅーまる
◇	ひしがた
◆	くろひしがた
□	しかく
■	くろしかく
△	さんかく
▲	くろさんかく
▽	さんかく
▼	くろさんかく
※	こめじるし
〒	ゆーびんばんごー
→	みぎやじるし
←	ひだりやじるし
↑	うえやじるし
↓	したやじるし
〓	げたきごー
∈	ぞくする
∋	ふくむ
⊆	ぶぶんしゅうごう
⊇	ぶぶんしゅうごうふくむ
⊂	しんぶぶんしゅうごう
⊃	しんぶぶんしゅうごうふくむ
∪	がっぺー
∩	きょーつー
∧	および
∨	またわ
¬	ひてー
⇒	ならば
⇔	どーち
∀	すべての
∃	ある
∠	かく
⊥	すいちょく
⌒	こ
∂	らうんどでぃー
∇	なぶら
≡	ごーどー
≒	にありーいこーる

入力文字	音声読み上げ
≪	ひじょーにちーさい
≫	ひじょーにおーきい
√	るーと
∽	そーじ
∝	ひれー
∵	なぜならば
∫	いんてぐらる
∬	だぶるいんてぐらる
Å	おんぐすとろーむ
‰	ぱーみる
♯	しゃーぷ
♭	ふらっと
♪	おんぷ
†	だがー
‡	だぶるだがー
¶	だんらくきごー
◯	まる
Α	あるふぁ おおもじ
Β	べーた おおもじ
Γ	がんま おおもじ
Δ	でるた おおもじ
Ε	いぷしろん おおもじ
Ζ	つぇーた おおもじ
Η	いーた おおもじ
Θ	しーた おおもじ
Ι	いおた おおもじ
Κ	かっぱ おおもじ
Λ	らむだ おおもじ
Μ	みゅー おおもじ
Ν	にゅー おおもじ
Ξ	くざい おおもじ
Ο	おみくろん おおもじ
Π	ぱい おおもじ
Ρ	ろー おおもじ
Σ	しぐま おおもじ
Τ	たう おおもじ
Υ	うぷしろん おおもじ
Φ	ふぁい おおもじ
Χ	かい おおもじ

入力文字	音声読み上げ
Ψ	ぷしー おおもじ
Ω	おめが おおもじ
α	あるふぁ
β	べーた
γ	がんま
δ	でるた
ε	いぷしろん
ζ	つぇーた
η	いーた
θ	しーた
ι	いおた
κ	かっぱ
λ	らむだ
μ	みゅー
ν	にゅー
ξ	くざい
ο	おみくろん
π	ぱい
ρ	ろー
σ	しぐま
τ	たう
υ	うぷしろん
φ	ふぁい
χ	かい
ψ	ぷしー
ω	おめが
А	あー おおもじ
Б	べー おおもじ
В	べー おおもじ
Г	げー おおもじ
Д	でー おおもじ
Е	いぇー おおもじ
Ё	よー おおもじ
Ж	じぇー おおもじ
З	ぜー おおもじ
И	いー おおもじ
Й	いくらとかや おおもじ
К	かー おおもじ
Л	える おおもじ

次ページへ

入力文字	音声読み上げ
М	えむ おおもじ
Н	えぬ おおもじ
О	おー おおもじ
П	ぺー おおもじ
Р	える おおもじ
С	えす おおもじ
Т	てー おおもじ
У	うー おおもじ
Ф	えふ おおもじ
Х	はー おおもじ
Ц	つぇー おおもじ
Ч	ちぇー おおもじ
Ш	しゃー おおもじ
Щ	ししゃー おおもじ
Ъ	つぼるでぃーずなーく おおもじ
Ы	いー おおもじ
Ь	みゃーふぃーずなーく おおもじ
Э	えー おおもじ
Ю	ゆー おおもじ
Я	やー おおもじ
а	あー
б	べー
в	べー
г	げー
д	でー
е	いぇー
ё	よー
ж	じぇー
з	ぜー
и	いー
й	いくらとかや
к	かー
л	える
м	えむ
н	えぬ
о	おー
п	ぺー
р	える
с	えす

入力文字	音声読み上げ
т	てー
у	うー
ф	えふ
х	はー
ц	つぇー
ч	ちぇー
ш	しゃー
щ	ししゃー
ъ	つぼるでぃーずなーく
ы	いー
ь	みゃーふぃーずなーく
э	えー
ю	ゆー
я	やー
─	よこけいせん
│	たてけいせん
┌	した みぎけいせん
┐	した ひだりけいせん
┘	うえ ひだりけいせん
└	うえ みぎけいせん
├	たて みぎけいせん
┬	した よこけいせん
┤	たて ひだりけいせん
┴	うえ よこけいせん
┼	たて よこけいせん
━	よこふとけいせん
┃	たてふとけいせん
┏	したふと みぎふとけいせん
┓	したふと ひだりふとけいせん
┛	うえふと ひだりふとけいせん
┗	うえふと みぎふとけいせん
┣	たてふと みぎふとけいせん
┳	したふと よこふとけいせん
┫	たてふと ひだりふとけいせん
┻	うえふと よこふとけいせん
╋	たてふと よこふとけいせん
┠	たてふと みぎけいせん
┯	した よこふとけいせん
┨	たてふと ひだりけいせん

入力文字	音声読み上げ
┷	うえ よこふとけいせん
┿	たて よこふとけいせん
┝	たて みぎふとけいせん
┰	したふと よこけいせん
┥	たて ひだりふとけいせん
┸	うえふと よこけいせん
╂	たてふと よこけいせん
①	まるいち
②	まるに
③	まるさん
④	まるよん
⑤	まるご
⑥	まるろく
⑦	まるなな
⑧	まるはち
⑨	まるきゅー
⑩	まるじゅー
⑪	まるじゅーいち
⑫	まるじゅーに
⑬	まるじゅーさん
⑭	まるじゅーよん
⑮	まるじゅーご
⑯	まるじゅーろく
⑰	まるじゅーなな
⑱	まるじゅーはち
⑲	まるじゅーきゅー
⑳	まるにじゅー
Ⅰ	わん
Ⅱ	つー
Ⅲ	すりー
Ⅳ	ふぉー
Ⅴ	ふぁいぶ
Ⅵ	しっくす
Ⅶ	せぶん
Ⅷ	えいと
Ⅸ	ないん
Ⅹ	てん
㍉	みり
㌔	きろ

入力文字	音声読み上げ
㌢	せんち
㍍	めーとる
㌘	ぐらむ
㌧	とん
㌃	あーる
㌶	へくたーる
㍑	りっとる
㍗	わっと
㌍	かろりー
㌦	どる
㌣	せんと
㌫	ぱーせんと
㍊	みりばーる
㌻	ぺーじ
㎜	みりめーとる
㎝	せんちめーとる
㎞	きろめーとる

入力文字	音声読み上げ
㎎	みりぐらむ
㎏	きろぐらむ
㏄	しーしー
㎡	へーほーめーとる
㍻	へーせー
〝	たてがきにじゅういんよーふ
〟	たてがきとじにじゅういんよーふ
№	なんばー
㏍	けーけー
℡	でんわ
㊤	まるうえ
㊥	まるなか
㊦	まるした
㊧	まるひだり
㊨	まるみぎ
㈱	かっこかぶ
㈲	かっこゆー

入力文字	音声読み上げ
㈹	かっこだい
㍾	めーじ
㍽	たいしょー
㍼	しょーわ
≒	にありーいこーる
≡	ごーどー
∫	いんてぐらる
∮	ふぁい
∑	しぐま
√	るーと
⊥	すいちょく
∠	かく
∟	ちょっかく
⊿	さんかっけー
∵	なぜならば
∩	きょーつー
∪	がっぺー

※ 空白は「くうはく」と読み上げられます。
※ 全角記号の表示には、実際の表示と見えかたが異なるものがあります。

■ 半角記号

入力文字	音声読み上げ
!	かんたんふはんかく
"	にじゅういんようふはんかく
#	しゃーぷはんかく
$	どるはんかく
%	ぱーせんとはんかく
&	あんどはんかく
'	いんようふはんかく
(	かっこはんかく
)	とじかっこはんかく
*	こめじるしはんかく
+	ぷらすはんかく
,	こんまはんかく
-	まいなすはんかく
.	ぴりおどはんかく

入力文字	音声読み上げ
/	すらっしゅはんかく
:	ころんはんかく
;	せみころんはんかく
<	しょーなりはんかく
=	いこーるはんかく
>	だいなりはんかく
?	ぎもんふはんかく
@	あっとまーくはんかく
[	だいかっこはんかく
¥	えんはんかく
]	とじだいかっこはんかく
^	きゃれっとはんかく
_	あんだーらいんはんかく

入力文字	音声読み上げ
`	ばっくくおーとはんかく
{	ちゅうかっこはんかく
|	たてせんはんかく
}	とじちゅうかっこはんかく
~	おーばーらいんはんかく
｡	くてんはんかく
｢	かぎかっこはんかく
｣	とじかぎかっこはんかく
､	とーてんはんかく
･	なかぐろはんかく
ｰ	ちょーおんはんかく
ﾞ	だくてんはんかく
ﾟ	はんだくてんはんかく

※ 空白は「くうはくはんかく」と読み上げられます。
※ 半角記号の表示には、実際の表示と見えかたが異なるものがあります。

　：半角数字入力モードでは、「#」は「しゃーぷ」、「＊」は「こめじるし」と読み上げられます。

次ページへ

■ かな（特種のみ）

入力文字	音声読み上げ（半角）	音声読み上げ（全角）
ぁ	—	あ こもじ
ぃ	—	い こもじ
ぅ	—	う こもじ
ぇ	—	え こもじ
ぉ	—	お こもじ
っ	—	つ こもじ

入力文字	音声読み上げ（半角）	音声読み上げ（全角）
ゃ	—	や こもじ
ゅ	—	ゆ こもじ
ょ	—	よ こもじ
ゎ	—	わ こもじ
ゐ	—	わぎょうのい
ゑ	—	わぎょうのえ

■ カナ（カタカナ）

入力文字	音声読み上げ（半角）	音声読み上げ（全角）
ァ	あ こもじはんかく	あ こもじぜんかく
ア	あ はんかく	あ ぜんかく
ィ	い こもじはんかく	い こもじぜんかく
イ	い はんかく	い ぜんかく
ゥ	う こもじはんかく	う こもじぜんかく
ウ	う はんかく	う ぜんかく
ヴ	—	う゛ ぜんかく
ェ	え こもじはんかく	え こもじぜんかく
エ	え はんかく	え ぜんかく
ォ	お こもじはんかく	お こもじぜんかく
オ	お はんかく	お ぜんかく
ヵ	—	か こもじぜんかく
カ	か はんかく	か ぜんかく
ガ	—	が ぜんかく
キ	き はんかく	き ぜんかく
ギ	—	ぎ ぜんかく
ク	く はんかく	く ぜんかく
グ	—	ぐ ぜんかく
ヶ	—	け こもじぜんかく
ケ	け はんかく	け ぜんかく
ゲ	—	げ ぜんかく
コ	こ はんかく	こ ぜんかく
ゴ	—	ご ぜんかく

入力文字	音声読み上げ（半角）	音声読み上げ（全角）
サ	さ はんかく	さ ぜんかく
ザ	—	ざ ぜんかく
シ	し はんかく	し ぜんかく
ジ	—	じ ぜんかく
ス	す はんかく	す ぜんかく
ズ	—	ず ぜんかく
セ	せ はんかく	せ ぜんかく
ゼ	—	ぜ ぜんかく
ソ	そ はんかく	そ ぜんかく
ゾ	—	ぞ ぜんかく
タ	た はんかく	た ぜんかく
ダ	—	だ ぜんかく
チ	ち はんかく	ち ぜんかく
ヂ	—	ぢ ぜんかく
ッ	つ こもじはんかく	つ こもじぜんかく
ツ	つ はんかく	つ ぜんかく
ヅ	—	づ ぜんかく
テ	て はんかく	て ぜんかく
デ	—	で ぜんかく
ト	と はんかく	と ぜんかく
ド	—	ど ぜんかく
ナ	な はんかく	な ぜんかく
ニ	に はんかく	に ぜんかく
ヌ	ぬ はんかく	ぬ ぜんかく
ネ	ね はんかく	ね ぜんかく
ノ	の はんかく	の ぜんかく
ハ	は はんかく	は ぜんかく
バ	—	ば ぜんかく

入力文字	音声読み上げ（半角）	音声読み上げ（全角）
パ	—	ぱ ぜんかく
ヒ	ひ はんかく	ひ ぜんかく
ビ	—	び ぜんかく
ピ	—	ぴ ぜんかく
フ	ふ はんかく	ふ ぜんかく
ブ	—	ぶ ぜんかく
プ	—	ぷ ぜんかく
ヘ	へ はんかく	へ ぜんかく
ベ	—	べ ぜんかく
ペ	—	ぺ ぜんかく
ホ	ほ はんかく	ほ ぜんかく
ボ	—	ぼ ぜんかく
ポ	—	ぽ ぜんかく
マ	ま はんかく	ま ぜんかく
ミ	み はんかく	み ぜんかく
ム	む はんかく	む ぜんかく
メ	め はんかく	め ぜんかく
モ	も はんかく	も ぜんかく
ャ	や こもじはんかく	や こもじぜんかく
ヤ	や はんかく	や ぜんかく

入力文字	音声読み上げ（半角）	音声読み上げ（全角）
ュ	ゆ こもじはんかく	ゆ こもじぜんかく
ユ	ゆ はんかく	ゆ ぜんかく
ョ	よ こもじはんかく	よ こもじぜんかく
ヨ	よ はんかく	よ ぜんかく
ラ	ら はんかく	ら ぜんかく
リ	り はんかく	り ぜんかく
ル	る はんかく	る ぜんかく
レ	れ はんかく	れ ぜんかく
ロ	ろ はんかく	ろ ぜんかく
ヮ	—	わ こもじぜんかく
ワ	わ はんかく	わ ぜんかく
ヰ	—	わぎょうのい ぜんかく
ヱ	—	わぎょうのえ ぜんかく
ヲ	を はんかく	を ぜんかく
ン	ん はんかく	ん ぜんかく

■ 英字

入力文字	音声読み上げ（半角）	音声読み上げ（全角）
a	えー	えー ぜんかく
b	びー	びー ぜんかく
c	しー	しー ぜんかく
d	でぃー	でぃー ぜんかく
e	いー	いー ぜんかく
f	えふ	えふ ぜんかく
g	じー	じー ぜんかく
h	えっち	えっち ぜんかく
i	あい	あい ぜんかく
j	じぇー	じぇー ぜんかく
k	けー	けー ぜんかく
l	える	える ぜんかく

入力文字	音声読み上げ（半角）	音声読み上げ（全角）
m	えむ	えむ ぜんかく
n	えぬ	えぬ ぜんかく
o	おー	おー ぜんかく
p	ぴー	ぴー ぜんかく
q	きゅー	きゅー ぜんかく
r	あーる	あーる ぜんかく
s	えす	えす ぜんかく
t	てぃー	てぃー ぜんかく
u	ゆー	ゆー ぜんかく
v	ぶい	ぶい ぜんかく
w	だぶりゅー	だぶりゅー ぜんかく

次ページへ

入力文字	音声読み上げ（半角）	音声読み上げ（全角）
x	えっくす	えっくす ぜんかく
y	わい	わい ぜんかく
z	ぜっと	ぜっと ぜんかく
A	えー おおもじ	えー おおもじぜんかく
B	びー おおもじ	びー おおもじぜんかく
C	しー おおもじ	しー おおもじぜんかく
D	でぃー おおもじ	でぃー おおもじぜんかく
E	いー おおもじ	いー おおもじぜんかく
F	えふ おおもじ	えふ おおもじぜんかく
G	じー おおもじ	じー おおもじぜんかく
H	えっち おおもじ	えっち おおもじぜんかく
I	あい おおもじ	あい おおもじぜんかく
J	じぇー おおもじ	じぇー おおもじぜんかく
K	けー おおもじ	けー おおもじぜんかく
L	える おおもじ	える おおもじぜんかく

入力文字	音声読み上げ（半角）	音声読み上げ（全角）
M	えむ おおもじ	えむ おおもじぜんかく
N	えぬ おおもじ	えぬ おおもじぜんかく
O	おー おおもじ	おー おおもじぜんかく
P	ぴー おおもじ	ぴー おおもじぜんかく
Q	きゅー おおもじ	きゅー おおもじぜんかく
R	あーる おおもじ	あーる おおもじぜんかく
S	えす おおもじ	えす おおもじぜんかく
T	てぃー おおもじ	てぃー おおもじぜんかく
U	ゆー おおもじ	ゆー おおもじぜんかく
V	ぶい おおもじ	ぶい おおもじぜんかく
W	だぶりゅー おおもじ	だぶりゅー おおもじぜんかく
X	えっくす おおもじ	えっくす おおもじぜんかく
Y	わい おおもじ	わい おおもじぜんかく
Z	ぜっと おおもじ	ぜっと おおもじぜんかく

■ 数字

変換候補一覧で数字を選択している場合は、表に記載の音声読み上げの前に「すうじの」と読み上げます。たとえば、「ぜろぜんかく」は「すうじのぜろぜんかく」と読み上げます。

入力文字	音声読み上げ（半角）	音声読み上げ（全角）
0	ぜろ	ぜろ ぜんかく
1	いち	いち ぜんかく
2	に	に ぜんかく
3	さん	さん ぜんかく
4	よん	よん ぜんかく
5	ご	ご ぜんかく

入力文字	音声読み上げ（半角）	音声読み上げ（全角）
6	ろく	ろく ぜんかく
7	なな	なな ぜんかく
8	はち	はち ぜんかく
9	きゅー	きゅー ぜんかく

顔文字入力変換・読み上げ一覧

ひらがな／漢字入力モードで読みを入力して変換してください。**→P438**

音声読み上げの動作を「自動で読み上げ」に設定しているとき（**→P181****）に、顔文字を入力変換して確定した場合の読み上げを記載しています。**

● 変換候補一覧で選択しているときや、カーソルの移動のしかたによって、異なる読み上げを行う場合があります。

読　み	変　換	音声読み上げ
おーい、じゃあ、どーも、よろしく、あいさつ	(^^)/	おーい
おーい、じゃあ、どーも、よろしく、あいさつ	(^-^)/	おーい
おはよう、あいさつ	ヾ(´ω`＝´ω`)ノ	おはよう
ちわっ、あいさつ	(*^-^)ノ	ちわっ
にこっ、あいさつ	(〃⌒ー⌒〃)∫゛	にこっ
ばいばい、あいさつ	(^_^)/~	ばいばい
ばいばい、あいさつ	ヾ(^_^) byebye!!	ばいばい
ばいばい、あいさつ	(^^)/~~~	ばいばい
ばい、あいさつ、かお	(^-^)/~~	ばい
ばいばい、あいさつ、かお	(＾＾)ﾉｼ	ばいばい
やぁ、あいさつ	～('-'*)	やぁ
やあ、あいさつ、かお	(｡･_･｡)ノ	やあ
やあ、あいさつ、かお	(=°ω°)ノ	やあ
あたふた、あせり、かお	(°Д°；≡；°Д°)	あたふた
あたふた、ひえー、あせり、かお	O(><;)(;><)O	ひえー
ぎくっ、あせ、あせあせ、あせり	(^^;;	あせあせ
ぎくっ、あせ、あせあせ、あせり	(^_^;)	あせあせ
ぎくっ、あせ、あせあせ、あせり	^_^;	あせあせ
ぎくっ、あせ、あせり	(^-^;	あせ
ぎくっ、あせ、あせり、かお	(^^;)	あせ
ぎくっ、あせ、えっ、あせり	(°∇°;)	ぎくっ
ぎくっ、あせ、じとっ、あせり	(-_-;)	じとっ
ぎくっ、あせ、ほへー、あせり	(~_~;)	ほへー
ぎくっ、あせあせ、あせり	^^;	あせあせ
じたばた、あせり	((○(>_<)○))	じたばた
にげる、あせり	ε＝┌(・_・)┘	にげる
びくっ、あせり	(*_*;	びくっ
いえい、ぶい、ぴーす、うれしい	v(^o^)	ぴーす
うきうき、うれしい、かお	o(^o^)o	うきうき
うほほ、にこっ、わーい、うれしい、かお	(^o^)	わーい
うれしい	(@^O^@)	うれしい
うれしい	(≧w≦)	うれしい

次ページへ

読　み	変　換	音声読み上げ
うれしい	(≧∀≦)	うれしい
はっと、うれしい	<{:-)	うれしい
きゃー、うれしい	ヽ(≧▽≦)/	うれしい
きゃー、うれしい	ε＝ヾ(*~▽~)ノ	きゃー
きらーん、うれしい	(☆▽☆)	きらーん
ぐー、うれしい	d=(^o^)=b	ぐー
にこっ、うれしい	(=⌒―⌒=)	にこっ
にこっ、うれしい、かお	(*^_^*)	にこっ
にこっ、ぴーす、うれしい、かお	(^-^)v	ぴーす
にこっ、ぽっ、うれしい、かお	(o^_^o)	ぽっ
にこっ、わーい、うれしい、かお	(*⌒▽⌒*)	わーい
ぴーす、うれしい	V(^O^)	ぴーす
やったね、ぴーす、にこっ、ぶい、うれしい	(^^)v	ぴーす
やったね、ぴーす、にこっ、ぶい、うれしい	(^_^)v	ぴーす
わーい、うれしい、かお	ヾ(^▽^)ノ	わーい
わーい、ふっ、うれしい、かお	ヽ(´ー｀)ノ	ふっ
わくわく、うれしい	((o(^-^)o))	わくわく
こら、おこる	Ψ(｀◇´)Ψ	こら
こら、ごるあ、ごるぁ、おこる、かお	ヽ(*｀Д´)ノ	こら
こらっ、おこる	(ノ｀△´)ノ	こらっ
こらっ、ぴくっ、おこる	(-_-#)	ぴくっ
ちゃぶだい、かえれー、おこる、かお	(ノ-"-)ノ~┻━┻	かえれー
ぱんち、おこる、かお	o-_-)=○☆	ぱんち
ふまん、おこる	:-(	ふまん
ぷんぷん、むかっ、おこる	(●｀ε´●)	むかっ
うーん、おどろき	(゜_゜)	うーん
うーん、ほけー、おどろき	(゜_゜	ほけー
うーん、ほけー、おどろき、かお	(゜-゜)	ほけー
えっ、おどろき	(￣◇￣;)	えっ
えっ、おどろき	ヽ(゜□゜;)ノ	えっ
えっ、おどろき	(;゜□゜)	えっ
おおー、びっくり、おどろき	(゜o゜)/	びっくり
がーん、あせ、おどろき	(￣□￣;)!!	あせ
がーん、おどろき	Σ(゜□゜;)	がーん
がくがく、おどろき	((((゜д゜;))))	がくがく
ぎくっ、おどろき	(゜o゜;;	ぎくっ
ぎくっ、おどろき、かお	(--;)	ぎくっ
ぎくっ、ぎょ、おどろき	(゜o゜;	ぎくっ
ぎくっ、ぎょ、ほけー、おどろき	(゜o゜)	ほけー
ぎくっ、てつや、おどろき、かお	(=_=;)	てつや
きらーん、おどろき、かお	(-_☆)	きらーん

読　み	変　換	音声読み上げ
びくっ、ぎょっ、おどろき	(@_@。	びくっ
びっくり、がーん、ぎく、おどろき、かお	Σ(￣□￣)！	がーん
めがてん、おどろき	(·.·;)	めがてん
めがてん、おどろき	(·。·;	めがてん
めがてん、おどろき	(·_·;	めがてん
めがてん、おどろき	(·_·)	めがてん
めがてん、おどろき	(·o·)	めがてん
ぽかーん、おどろき、かお	(°　o°　；)	ぽかーん
めがてん、おどろき、かお	(··?	めがてん
めがてん、おどろき、かお	(··;)	めがてん
がっくし、かなしい、かお	○｜￣｜＿	がっくし
がっくり、いたっ、かなしい、かお	(x_x;)	いたっ
しょぼん、かなしい	(´·ω·`)	しょぼん
なく、かなしい	:<	かなしい
びくっ、かなしい、かお	(+_+)	びくっ
えっ、あせ、ぎもん、かお	σ(^_^；)?	あせ
ぎくっ、あせ、ぎもん	(￥_￥;	ぎくっ
ぎくっ、なぜ、ぎもん	(?_?;	ぎくっ
じー、ぎもん、かお	(;¬_¬)ｼﾞｰ	じー
ばたばた、ぎもん	w=(゜o゜)=w	ばたばた
うふふ、てれる	('∇')	うふふ
こまる、てれ、てれる	(*´　д　`*)	てれ
えへっ、てれる	(*^.^*)	えへっ
てへ、ぽりぽり、てれる、かお	f(^_^)	ぽりぽり
てへっ、てれる	(*'-')	てへっ
てへっ、てれる	(=°　ω°　=)	てへっ
てへっ、てれる	:p	てへっ
てれ、てれる	(〃▽〃)	てれ
にこっ、ぽっ、てれる	(#^.^#)	にこっ
ぽりぽり、てれる、かお	(^^ゞ	ぽりぽり
いたい、なく	(ノ_·。)	なく
いたっ、なく、かお	(>_<。)	いたっ
うるうる、えーん、なく、かお	(T^T)	えーん
えーん、なく	°　·(ノД`)·°　·	えーん
なき、うるうる、えーん、なく	(T-T)	えーん
なき、うるうる、なく	(TOT)	うるうる
くすん、なく、かお	(/_·、)	くすん
ぐすん、なく、かお	(つд`)	ぐすん
しくしく、なく	(;O;)	しくしく
しくしく、なく	(;_;)	しくしく
しくしく、なく、かお	(T_T)	しくしく

次ページへ

読　み	変　換	音声読み上げ
しくしく、なく、かお	(/_;)	しくしく
なき、ぐすん、なく	(；´д⊂)	ぐすん
おっけー、へんじ	('-^*)ok	おっけー
ぐっ、ぐー、へんじ	(o^-')b	ぐー
ぐっ、ぐー、へんじ	(≧ω≦)b	ぐー
はい、へんじ	(・∀・∩)	はい
りょうかい、へんじ、かお	(｀_´)ゞ了解！	りょうかい
おーい、はーい、わらう	(^O^)/	おーい
きたー、にこっ、わらう、かお	(･∀･)	きたー
ちゅっ、にこっ、わらう	(^з^)/ﾁｭｯ	ちゅっ
にこっ、すまいる、わらう	:)	にこっ
にこっ、すまいる、わらう	:-)	にこっ
にこっ、わらう	(^･^)	にこっ
にこっ、わらう、かお	(^-^)	にこっ
ほっぺがおちる、わーい、わらう	)^o^(	わーい
やったね、ぴーす、にこっ、ぶい、わらう	(^O^)v	ぴーす
わーい、ばんざーい、わらう	＼(^o^)／	ばんざーい
わーい、わらう	(^O^)	わーい
あーん	(´□`)	あーん
ありがと、おねがい、ごめん、ぺこり	<(_ _)>	ぺこり
いい	(・∀・)イイ	いい
いか	くコ:彡	いか
いそぐ、にげる	≡≡≡ヘ(*--)ノ	にげる
いたい	(+｡+)	いたい
いっぷく	(-｡-)y-ﾟﾟﾟ	いっぷく
いっぷく、かお	(-.-;)y-~~~	いっぷく
いぬ、かお	U^I^U	いぬ
いひひ	～～(m｀∀´)m	いひひ
ういんく	;)	ういんく
ういんく、かお	(^_-)	ういんく
うーん、かお	(-"-;)	うーん
うたう	(~▽~@)♪♪♪	うたう
うまい、たべる	(￣～￣)	うまい
おねがい	(￣人￣)	おねがい
かんしゃ、ありがとう、ごめん	(^人^)	ごめん
かんぱい、なかま、たっち	(^-^)人(^-^)	なかま
がんばれ、ふぁいと、かお	p(^-^)q	ふぁいと
ぎくっ、あせ	(;ﾟOﾟ)	ぎくっ
きて、かもん、おいで	(屮ﾟ□ﾟ)屮	おいで
くちぶえ	♪～(￣ε￣)	くちぶえ
くま	(^(I)^)	くま

付録／外部機器連携／困ったときには

顔文字入力変換・読み上げ一覧

読　み	変　換	音声読み上げ
げっつ	(σ・∀・)σ	げっつ
こそこそ	(^_^;))))))ｺｿｺｿ…	こそこそ
さかな	＞°))))彡	さかな
じとっ	(-.-)	じとっ
しゃきーん	(｀・ω・´)	しゃきーん
せーふ	⊂(・∀・)⊃	せーふ
たすけて	～～(m´Д｀)m	たすけて
たばこ	(￣。￣)y-～～	たばこ
ためいき	(；-_-)=3	ためいき
ちちち、ちっちっち、かお	(-.-")凸	ちっちっち
ちらっ	[壁]_-)	ちらっ
つんつん	(^▽^)σ)˜O˜)	つんつん
どうぞ	(・∀・)つ	どうぞ
どうぞ、おちゃ	(^-^)_旦～	おちゃ
にやり	(￣ー￣)	にやり
ねこ	(=^_^=)	ねこ
ねてる、ねる、ぐーぐー、かお	(-_-)zzz	ぐーぐー
ねむい	(UoU)	ねむい
ねむい、ねる	(_ _).oO	ねる
はぁ、ためいき	(´へ｀;)	ためいき
ぴんぽーん	!(^^)!	ぴんぽーん
ふっ	(￣ー＋￣)ﾌｯ	ふっ
ぷっ、かお	(*≧m≦*)	ぷっ
ふふん、じまん、ふっ	(´ー`)	ふっ
ぺこり	_(._.)_	ぺこり
ぺこり、かお	m(_ _)m	ぺこり
ほへー	(˜_˜)	ほへー
ほへー	(˜o˜)	ほへー
むしめがね、かお	(p_-)	むしめがね
めもめも、かきかき、かお	φ(._.)ﾒﾓﾒﾓ	めもめも
もしもし	(°∇^)] ﾓｼﾓｼ	もしもし
やれやれ	┓(￣∇￣;)┏	やれやれ
よしよし、おい、かお	ヽ(^^)	よしよし
よしよし、かお	(i_i)＼(^_^)	よしよし
よだれ	(´¬`)	よだれ
りょうかい、おっけー、らじゃ	('◇')ゞ	りょうかい

※「かお」は「かおもじ」と入力しても変換できます。
※顔文字の表示には、実際の表示と見えかたが異なるものがあります。

定型文一覧

■ 挨拶・連絡（29件）

ＯＫです。	ＮＧです。	おはようございます。
こんにちは。	こんばんは。	おやすみなさい。
ご無沙汰しております。	さようなら。	お疲れさま。
ありがとうございました。	ごめんなさい。	いってらっしゃい。
おまかせします。	お待ちしています。	すぐ行きます。
お休みします。	遅れます。	あとで連絡します。
先に行きます。	戻ってきます。	出席します。
欠席します。	再開します。	すぐに戻って下さい。
もう少し待って下さい。	すぐ連絡下さい。	迎えに来て下さい。
先に行って下さい。	今どこにいますか？	

■ ビジネス（16件）

○○の件、よろしくお願い致します。	待ち合わせの変更です。場所は○○です。時間は○○時です。
○○の件、確認しました。	予定変更です。至急電話下さい。
○○時頃まで携帯電話の電源を切ります。	○○時頃出社します。
直行します。	直帰します。
本日の会議は、○○となりました。	本日のご訪問は、○○となりました。
ＦＡＸを確認して下さい。	ご報告致します。
お知らせします。	よろしくお伝えください。
ご伝言をお願い致します。	いつもお世話になっております。

■ 絵文字入り（15件）

【おはよう】おはよう今日も一日頑張りましょう	
【おやすみ】おやすみなさいまた明日ね	
【楽しかったよ】今日はとっても楽しかったよ。ありがとう	
【元気？】お元気ですか？ご無沙汰しております	
【遅れます】ごめんなさい遅れます。あと○○分くらいで着きます。	
【外食して帰る】今日は外で食べて帰りますご飯はいりません。	
【誕生日】HAPPY BIRTHDAY！お誕生日おめでとう	
【アドレス変更】アドレス変更しました。新アドレスは@docomo.ne.jpです。電話帳を変更してください。番号は変わりません。	
【乗車中です】すみません。今、電車に乗っているため電話に出られません。降りたら折り返し連絡します	
【今から帰る】今、終わりましたこれから帰ります	
【洗濯物】雨が降りそうです。洗濯物を取りこんでおいてください	
【今夜の夕食】今から買い物して帰ります今夜の夕食は何がいいですか？	
【ビデオ録画】○○時から○○チャンネルで放送する○○をビデオ録画しておいてください	
【帰ってきなさい】今、どこに居るんですか遅くならないうちに帰ってきなさい	
【お届けもの】今日○○を送っておきました。届いたら連絡ください	

■ 顔文字（15件）

ひらがな／漢字入力モードで読みを入力しても変換できます。

顔文字	読み
(^^)	にこっ、わらう
(^^;	あせあせ
(; ;)	しくしく
(-_-)	かお、じとっ
(^_^)/	おーい、あいさつ
(^_^)V	ぴーす
m(__)m	ぺこり
＼(^_^)／	ばんざーい

顔文字	読み
(*_*)	かお、びくっ、おどろき
(?_?)	かお、なぜ、ぎもん
(`.´)	めがてん
(..)	どれどれ、うーん
(>_<)	かお、あいた、いたい、いてー、ひぇー、いたっ、なく
(@_@)	かお、びくっ、おどろき
o(^-^)o	わくわく

※「かお」は「かおもじ」と入力しても変換できます。

※ 顔文字の表示には、実際の表示と見えかたが異なるものがあります。

次ページへ

■ 文例集（16件）

【寒中見舞い】寒さ厳しき折、お変わりございませんか。御身ご大切になさいますようお祈り申し上げます。
【暑中見舞い】暑中お見舞い申し上げます。時節柄、ご健康には十分ご留意のうえご活躍くださいますよう心から祈念致しております。盛夏
【御礼】時下益々ご盛栄のこととお慶び申し上げます。この度は丁寧なお心遣いをいただき、厚く御礼申し上げます。
【残暑見舞い】残暑お見舞い申し上げます。残暑ことのほか厳しい折柄、皆様のご健康をお祈り申し上げます。盛夏
【結婚祝い】時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。この度はご結婚おめでとうございます。お二人の門出を心より祝福申し上げます。
【出産祝い】時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。この度はご出産おめでとうございます。お子様の壮健なご成長を祈念致します。
【入学祝い】ご入学おめでとうございます。充実した学生生活を送り、さらに大きく飛躍されることをお祈り致します。
【卒業祝い】ご卒業おめでとうございます。新しい人生の門出を心よりお祝い申し上げます。
【就職祝い】ご就職おめでとうございます。健康に留意され、ご活躍されることを心よりお祈り申し上げます。
【病気見舞い】お体の具合はいかがでしょうか。一日も早いご回復を祈念し、心よりお見舞い申し上げます。
【転居案内】転居のご案内を申し上げます。住所、電話番号などは追ってお知らせ致します。取り急ぎご連絡まで。
【詫状】この度は多大なご迷惑をおかけし、誠に申し訳ありません。何卒ご寛容の上、引続きご愛顧賜りますようお願い申し上げます。
【誕生日祝い】心から○○様のお誕生日をお祝い致しますとともに、今後のご健康と御繁栄を祈念致します。
【成功祝い】ご成功の報に接し、心よりお祝い申し上げますとともに、今後の益々のご活躍を祈念致します。
【就任祝い】この度のご就任、心からお喜び申し上げます。今後益々のご健勝とご隆盛をお祈り致します。
【人事異動通知】この度弊社の人事異動により○○へ移動となりました。今後ともご指導ご鞭撻の程、宜しくお願い致します。

■ アドレス・データ形式（9件）

http://www.	@docomo.ne.jp	.com	.ne.jp
.co.jp	.or.jp	.go.jp	.ac.jp
.html			

■ ユーザ作成（最大50件）

登録した定型文が表示されます。

マルチアクセスの組み合わせについて

現在実行中の動作ごとに発生、実行する処理の動作可否を次に示します。

- ｉモード中（ｉモード接続）は、ｉチャネル（情報の受信を除く）での通信を含みます。
- ｉモードメール受信は、メッセージR/F、ｉチャネルの情報の受信を含みます。

○：新たに通信を実行できます。
△：条件により新たに通信を実行できます。
×：新たに通信を実行できません。

現在の通信状態＼実行する通信	電話		ｉモード	ｉモードメール	
	発信	着信	接続	送信	受信
通話中	△※1	△※1、2	×	○※3	○※4
ｉモード中	△※6、7	○	×	○※8	○※4
ｉモードメール送受信中	△※7	○	△※10	△※11	△※11
SMS送受信中	△※7	○	△※10	△※11	△※11
パソコンとつないだパケット通信中	△※7	○	×	×	×
64Kデータ通信中	×	△※2、13	×	×	×

現在の通信状態＼実行する通信	SMS		パソコンとつないだパケット通信		64Kデータ通信	
	送信	受信	発信	着信	発信	着信
通話中	○※3	○※4	○	○	×	△※5
ｉモード中	△※9	○※4	×	×	×	△※5
ｉモードメール送受信中	△※11	△※11	×	×	×	△※5
SMS送受信中	△※11	△※11	○	○	△※12	○
パソコンとつないだパケット通信中	△※9	○	×	×	×	△※5
64Kデータ通信中	×	○※4	×	×	×	△※5

次ページへ

※1 キャッチホンをご利用の場合は、通話中に別の相手に電話をかけたり受けたりできます。
※2 留守番電話サービス、転送でんわサービスをご利用の場合は、各サービスで対応できます。
※3 電話帳、個人情報からメールを作成・送信できます。
※4 着信音は鳴りません。
※5 キャッチホンを開始に設定している場合、または留守番電話サービスや転送でんわサービスをご利用の場合は、着信履歴に不在着信として記録されます。ただし、転送でんわサービスを開始に設定し、呼出時間を「0秒」に設定している場合は、転送でんわサービスで対応できます。
※6 Phone To機能を使用して電話をかけることができます。
※7 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を使用して電話をかけることができます。
※8 Mail To機能、またはサブメニューからｉモードメールを作成・送信できます。
※9 かかってきた電話を受けて通話中のみ、電話帳からSMSを作成・送信できます。
※10 ｉモードの通信が切断されたサイト画面表示中のみ、メール受信中にｉモードに接続できます。
※11 送信どうし、または受信どうしは実行できません。また、送信と受信を同時にできない場合があります。
※12 SMS送信中のみ発信できない場合があります。
※13 キャッチホンを開始に設定している場合、現在の通信を終了して電話を受けるか、着信を拒否するかを選択できます。

FOMA端末から利用できるサービス

こんなサービスが利用できます

FOMA端末から利用できるサービス	電話番号
番号案内サービス（有料：案内料＋通話料） （電話番号の案内を希望されないお客様については案内しておりません）	（局番なし）104
電報の発信（有料：電報料）	（局番なし）115
時報サービス（有料）	（局番なし）117
天気予報（有料）	知りたい地域の市外局番＋177
警察への緊急通報	（局番なし）110
消防・救急への緊急通報	（局番なし）119
海上で事件・事故が起きたときの緊急通報	（局番なし）118
災害用伝言ダイヤル（有料）	（局番なし）171
コレクトコール（有料：案内料＋通話料）	（局番なし）106

お知らせ

- 番号案内（104）をご利用の際には、案内料100円（税込105円）に加えて通話料がかかります。また、目や上肢などの不自由な方には、無料でご案内をしております。詳細は一般電話から116番（NTT営業窓口）までお問い合わせください（2007年7月現在）。
- 本FOMA端末は、「緊急通報位置通知」に対応しております。110番、119番、118番などの緊急通報をおかけになった場合、発信場所の情報（位置情報）が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。
なお、「184」を付加してダイヤルするなど、通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護等の事由から必要であると判断した場合は、お客様の設定によらず、機関側が位置情報と電話番号を取得することがございます。また、「緊急通報位置通知」の導入地域／導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。
- FOMA端末から110番、119番、118番通報の際は、警察、消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、携帯電話からかけていることと、電話番号を伝えてから、明確に現在地を伝えてください。また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- おかけになった地域により、管轄の消防署、警察署に接続されない場合があります。接続されない場合は、お近くの公衆電話または一般電話からおかけください。
- コレクトコール（106）をご利用の際には、電話を受けた方に、通話料と1回の通話ごとの取扱手数料90円（税込94.5円）がかかります（2007年7月現在）。
- 一般電話の転送電話をご利用のお客様で、転送先を携帯電話に指定した場合、一般電話または携帯電話の設定によって携帯電話が通話中、サービスエリア外および電源を切っているときでも、発信者には呼出音が聞こえることがあります。
- 116番（NTT営業窓口）、ダイヤルQ2、伝言ダイヤル、クレジット通話などのサービスはご利用できませんのでご注意ください。ただし、一般電話または公衆電話からFOMA端末へおかけになる際の自動クレジット通話は利用できます。

オプション・関連機器のご紹介

FOMA端末にさまざまな別売りのオプション品を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。なお、地域によってお取り扱いしていない商品もあります。
詳細はドコモショップなどの窓口にお問い合わせください。また、オプション品の詳細は各機器の取扱説明書などをご覧ください。

- FOMA DCアダプタ 01／02
- FOMA ACアダプタ 01／02
- FOMA 乾電池アダプタ 01
- FOMA補助充電アダプタ 01
- 車載ハンズフリーキット 01※1
- FOMA 車載ハンズフリー接続ケーブル 01
- 電池パック F09
- 卓上ホルダ F18
- リアカバー F20
- キャリングケースS 01
- FOMA USB 接続ケーブル
- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01
- 平型スイッチ付イヤホンマイク P01／P02
- 平型ステレオイヤホンセット P01
- イヤホンジャック変換アダプタ P001
- スイッチ付イヤホンマイク P001※2／P002※2
- ステレオイヤホンセット P001※2
- イヤホンターミナル P001※2
- FOMA海外兼用ACアダプタ 01※3
- FOMA室内用補助アンテナ
- 骨伝導レシーバマイク 01
- FOMA室内用補助アンテナ（スタンドタイプ）

※1 F883iをUSB接続／充電するには、FOMA 車載ハンズフリー接続ケーブル 01が必要です。
※2 F883iと接続するには、イヤホンジャック変換アダプタ P001が必要です。
※3 海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。

FOMA Fシリーズデータリンクソフトのご紹介

FOMA Fシリーズデータリンクソフト※には次の4つの機能があります。
これらをまとめて「データリンクソフト」と呼びます。
※ 付属の CD-ROM に収録されている他、ホームページからダウンロードすることもできます。→P493

ソフト名	内　容
データリンクソフト	電話帳やメールなどのデータを、USB接続できるパソコンで編集したり、バックアップしたりできます。
データシンクロソフト	Microsoft® Outlook® とデータの同期ができます。

ソフト名	内　容
SDユーティリティ	microSDメモリーカードのデータをバックアップしたり、ファイルを管理したりできます。 ※ 本端末ではご利用になれません。
Fアルバムソフト	パソコンにアルバムを作成して画像などのデータを管理できます。

● データリンクソフトは、次のOSに対応しています。

・Windows 2000　　・Windows XP

● データリンクソフトを利用する際は、あらかじめ通信設定ファイル（ドライバ）をインストールしてください。インストール方法、ダウンロード方法、転送可能データ、動作環境、操作方法、制限事項などの詳細は、付属のCD-ROM、データリンクソフトのヘルプ、ホームページなどをご覧ください。

お知らせ

● データシンクロソフトで一部同期させられないデータがあります。同期可能なデータについての詳細は、ソフトのヘルプをご覧ください。
● データリンクソフトでの各データの呼びかたと、FOMA端末内での呼びかたが異なるものがあります。
● データリンクソフトのカレンダー表示範囲は、FOMA端末のカレンダー画面の表示範囲と異なります。
● Microsoft® Exchange Serverなどを使用しているときは、Microsoft® Outlook®と同期できません。Microsoft® Exchange Serverなどとの共有を解除してからご使用ください。
● メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されている画像や動画／ｉモーション、メロディは、パソコンへ転送できません。ただし、この端末でファイル制限を「設定する」に設定したデータ、「データ交換」フォルダ内のデータは転送できます。

■データリンクソフトに関するホームページ
http://www.fmworld.net/product/phone/datalink/

■FOMA Fシリーズデータリンクソフトについてのお問い合わせ先
富士通データリンクソフトサポートセンター
0120-176-769
※ 携帯電話、PHSからもご利用になれます。
受付時間：10：00～19：00　（日・祝祭日を除く）
※ ダイヤルの電話番号をよくご確認の上、お間違いのないようおかけください。

● FOMA Fシリーズデータリンクソフトはフリーウェアとして無料配布を行っておりますが、著作権は富士通株式会社に帰属します。使用許諾契約書についてはインストール先のLicense.txtをご覧ください。
● 富士通株式会社は、本ソフトウェアの不稼働、稼働不良を含む法律上の瑕疵担保責任、その他の保証責任を負わないものとします。また、本ソフトウェアの商品性、またはお客様の特定の目的に対する適合性について、いかなる保証も行わないこととします。本ソフトウェアの使用または、本ソフトウェアを使用できないことにより生じた直接的損害、間接的損害、特別な事情から生じた損害、お客様のデータ喪失および逸失利益などについて、いかなる責任も負いません。

FOMA端末と外部機器とのデータ連携

FOMA端末で録音した音声をパソコンなどで再生する

FOMA端末で録音した音声（MP4形式）をメール添付でデータ転送し、パソコンで再生することができます。

●FOMA端末で録音した音声データ→P281

動画再生ソフトのご紹介

パソコンで音声データ（MP4形式）を再生するには、アップルコンピュータ株式会社のQuickTime™ Player（無料）ver.6.4以上（またはver.6.3＋3GPP）が必要です。
QuickTime Playerは、次のホームページからダウンロードしていただけます。
http://www.apple.com/jp/quicktime/download/

- ●ダウンロードするには、インターネットと接続した環境のパソコンが必要です。また、ダウンロードにあたっては別途通信料がかかります。
- ●動作環境、ダウンロード方法、操作方法など詳細は上記ホームページをご覧ください。

故障かな？と思ったら、まずチェック

まず初めに、ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックしていただき、必要な場合にはソフトウェアを更新してください。→P505

■ 電源・充電関連

● FOMA端末の電源が入らない（FOMA端末が使えない）

- 電池パックが正しく取り付けられていますか。→P34
- 電池切れになっていませんか。→P39
- デュアルネットワークサービスでmova端末が有効となっている場合、FOMA端末でのサービスの利用はできません。FOMA端末が有効になっているかご確認ください。詳細は『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

● 充電できない

- 電池パックが正しく取り付けられていますか。→P34
- 充電端子が汚れていませんか。端子部分を乾いた綿棒などで清掃してください。
- ACアダプタのコネクタがFOMA端末の外部接続端子や卓上ホルダの接続端子にしっかりと差し込まれていますか。→P37
- 卓上ホルダにFOMA端末が正しく取り付けられていますか。→P38

● 充電中にランプが点滅する

- 通話中、通信中の場合は、直ちに終了してください。FOMA端末からACアダプタ（卓上ホルダ）、DCアダプタを外してセットし直し、正しい方法でもう一度充電してください。→P35
- 以上の操作を行っても正常に充電できない場合は、ドコモショップなどの窓口にご連絡ください。

● ディスプレイの上下のマークが点滅してピピピというアラームが鳴っている

- 電池が少なくなっています。充電してください。→P35

■ 電話関連

● ディスプレイに「しばらくお待ちください」と表示され、消えない

しばらく
お待ちください

- 音声回線／パケット通信設備が故障、または音声回線ネットワーク／パケット通信ネットワークが非常に混み合っていますので、しばらくたってからおかけ直しください。決定を押すと、「しばらくお待ちください」のメッセージを消すことができます。
- 110番、119番、118番には電話をかけることができます。ただし、状況によりつながらない場合があります。

● ダイヤルボタンを押しても発信できない

- オールロックを設定していませんか。→P155
- セルフモードを設定していませんか。→P156
- ダイヤル発信制限を設定してしていませんか。→P160

● 着信音が鳴らない

- 着信音量を「消音」に設定していませんか。→P70
- 次の機能を設定していませんか。
  - 電話帳指定着信拒否／許可→P161
  - 非通知理由別着信設定→P164
  - 無音着信時間設定→P166
  - 登録外着信拒否→P168
- 公共モードを起動していませんか。→P74
- マナーモードを起動していませんか。→P135
- セルフモードを起動していませんか。→P156
- 留守番電話サービスや転送でんわサービスの呼出時間を「0秒」に設定している場合、着信音は鳴りません。詳細は『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。
- 伝言メモの呼出時間設定を「0秒」に設定していませんか。→P79
- オート着信機能設定の応答時間を「0秒」に設定していませんか。→P416

次ページへ

● 通話中、相手の声が聞こえにくい、相手の声が大きすぎる
- 受話音量の設定を変更していませんか。聞き取りやすい受話音量に調整してください。→P68
- はっきりボイスを設定すると、騒音が多いときに相手の声が強調されて聞き取りやすくなります。→P51
- ゆっくりボイスを設定すると、相手の話す速度が調節されて聞き取りやすくなります。→P51

● 電話がかかってきたとき、電話帳に登録されている名前が表示されない
- 相手の電話番号と電話帳に登録されている電話番号が一致していません。正しい電話番号を電話帳に登録してください（名前の表示について→P87）。
- シークレット属性を設定している相手から電話がかかってきたときは、シークレットモード中のみ電話帳データに登録されている名前が表示されます。→P111
- 個人情報表示制限を設定していませんか。→P158

● 電話をかけたが話中音（プープー音）が鳴ってつながらない
- 市外局番を忘れていませんか。→P50
- 発信音を聞かず、急いで電話番号を入力していませんか。
- 圏外 が表示されていませんか。→P41

● ディスプレイに 圏外 が表示され、話中音（プープー音）が鳴る
- サービスエリア外か、電波の弱い所にいませんか。→P41

● 電話がかかってきたとき、設定した電話着信音と違う着信音が鳴る
- 発信者番号が通知された場合は、優先順位に従って鳴ります。→P129
- 個人情報表示制限を設定していませんか。→P158
- 相手が発信者番号を通知してこなかった場合、電話の着信音は非通知理由別着信設定（→P164）に従います。

● リダイヤル／着信履歴が勝手に削除される
- 履歴表示制限を設定していませんか。→P158
- 個人情報表示制限を設定していませんか。→P158
- ダイヤル発信制限を設定していませんか。→P160

■ 設定・操作関連

● 登録外着信拒否が選択できない
- 個人情報表示制限中（→P158）や無音着信時間設定中（→P166）は、登録外着信拒否（→P168）を設定できません。

● 個人情報表示制限が選択できない
- 登録外着信拒否中（→P168）は、個人情報表示制限（→P158）を設定できません。

● 無音着信時間設定が選択できない
- 登録外着信拒否中（→P168）は、無音着信時間設定（→P166）を設定できません。

● 電話帳指定着信拒否／許可が選択できない
- 個人情報表示制限中（→P158）は、電話帳指定着信拒否／許可（→P161）を設定できません。

● 非通知理由別着信設定が選択できない
- 個人情報表示制限中（→P158）は、非通知理由別着信設定（→P164）を設定できません。

● ボタン確認音が鳴らない
- ボタン確認音を「2 鳴らさない」に設定していませんか。→P132
- マナーモードを起動していませんか。→P135

● FOMA端末の電源を入れると「FOMAカードを挿入してください」とメッセージが表示される
- FOMAカードが正しく取り付けられていないか、破損している可能性があります。FOMAカードが正しく取り付けられているかどうか確認してください。→P31

● ディスプレイに「全ての操作を制限しています」と表示されている
- オールロック中です。解除してください。→P155

● 自動電源ON設定を設定しても、指定した時刻に電源が入らない
- 電池パックが外れてしまった場合など、通常の電源を切る操作や自動電源OFF設定（→P386）以外で電源が切れると、この機能は動作しません。

● 目覚ましや予定の時刻に通知するように設定しても、指定した時刻に電源が入らない
- 電源を切っているときにこれらの機能を動作させるには、通知時刻自動電源ON設定を「1 入れる」に設定してください。→P387

● 通話料金が積算されなくなった
- 通話料金のFOMAカードへの積算が上限(約1677万円)に達した可能性があります。リセットすることにより0円に戻せます。
→P401

● 日付・時刻が消去された
- 日付時刻設定を「2手動で設定する」に設定して日付・時刻を設定したときは、電池パックを取り外したり、電池が切れたまま長い間充電しなかったりすると、日付・時刻が消去される場合があります。もう一度、日付・時刻の設定を行ってください。
→P43

● ディスプレイが暗い
- 照明設定の画面の明るさを「1 暗くする」に設定していませんか。→P141

● 動画／iモーションの再生が途切れる
- 動画／iモーションの再生中にメールを受信したりすると、再生中の音声が途切れたり、画面がスムーズに動作しない場合があります。

■ メール・データ関連

● 静止画や動画が や で表示される
- データが壊れている場合は正しく表示できず、 や で表示されます。

● ダウンロードデータ・メール添付のデータ・メッセージR/Fの表示や再生ができない
- FOMAカード動作制限機能により、別のFOMAカードに差し替えた場合やFOMAカードを取り付けていない場合は、これらの機能は動作しません。→P32

● メール受信時に、設定したメール着信音と違う着信音が鳴る
- メールを受信したときの着信音は、優先順位に従って鳴ります。→P314

■ その他

● ディスプレイに残像が残る
- FOMA端末の電源を切らずに電池パックを取り外すとしばらくの間、ディスプレイから残像が消えないことがあります。電池パックの取り外しは、電源を切ってから行ってください。
- FOMA端末を開いた状態でしばらく同じ画面を表示していると、何か操作して画面が切り替わったときに前の画面表示の残像がディスプレイに残る場合があります。

● ディスプレイに常時点灯する／点灯しないドット(点)がある
- FOMA端末のディスプレイは非常に高度な技術を駆使して作られていますが、一部に常時点灯するドット(点)や点灯しないドット(点)が存在する場合があります。これは液晶ディスプレイの特性であり、FOMA端末の故障ではありません。あらかじめご了承ください。

エラーメッセージ一覧

こんな表示が出たら

FOMA端末に表示される主なエラーメッセージを50音順に示します。

●エラーメッセージ中の「(数字)」または「(xxx)」は、ｉモードセンターより送信されたエラーを区別するためのコードです。

●応答がありませんでした（408）
サイトやインターネットホームページから規定時間内に応答がなく、通信が切断されました。しばらくたってから操作し直してください。

●画像の保存件数がいっぱいです。不要な画像を削除しますか？
最大保存件数を超えたため、画像を保存できません。不要な画像を削除してください。
→P362

●画像の保存領域が○○○Kバイト不足しています。不要な画像を削除しますか？
保存領域が足りないため、画像を保存できません。不要な画像を削除してください。
→P362

●規定のアクセス回数を超えたため参照できません（491）
メール受信時に取得できなかった10000バイトより大きい静止画のダウンロード時に、規定のアクセス回数を超えました。

●圏外です
電波の届かない所かFOMAサービスエリア外にいるため実行できません。

●このカードは認識できません
FOMAカードが正しく取り付けられていないか、FOMA カードに異常があります。FOMAカードを確認してください。→P31

●このサイトとのSSL通信は無効です
サイトの証明書が書き換えられています。接続できません。

●このサイトの安全性が確認できません。接続しますか？
サイトの証明書が、FOMA端末で対応していない証明書です。接続するときは「1接続する」、接続を中止するときは「2接続しない」を押します。

●このサイトは安全でない可能性があります。接続しますか？
サイトの証明書の有効期限前か期限が切れています。接続するときは「1接続する」、接続を中止するときは「2接続しない」を押します。また、日付・時刻を設定していない場合や、間違っている場合にも表示されることがあります。日付・時刻を正しく設定してから接続してください。→P43

●この接続先の安全性が確認できません。接続しますか？
CA証明書が有効期限切れの場合に表示されます。接続するときは「1接続する」、接続を中止するときは「2接続しない」を押します。また、日付・時刻を設定していない場合や、間違っている場合にも表示されることがあります。日付・時刻を正しく設定してから接続してください。→P43

●この接続先は安全でない可能性があります。接続しますか？
サイトの証明書のCN名（サーバ名）が実際のサーバ名と一致していません。接続するときは「1接続する」、接続を中止するときは「2接続しない」を押します。
→P232

●このデータは再生できない可能性があります
動画／ｉモーションがFOMA端末で対応していない形式です。再生できない場合があります。

●このビデオは再生できません
ｉモーションのデータにエラーがあるため再生できません。

●このメロディは再生できません
メロディのデータにエラーがあるため再生できません。

●このｉモーションを再生するためにはｉモーションタイプを変更してください
ｉモーション設定のｉモーションタイプが「標準」のままストリーミングタイプのｉモーションを取得しようとしました。「1変更する」を押し、ｉモーション設定でｉモーションタイプを変更してください。→P253

● サービス未契約です
- ｉモードの契約がされていないため実行できません。ｉモードを利用するには申し込みが必要です。
- ｉモードを途中から契約された場合は、FOMA端末の電源を入れ直してください。→P41

● サービス未提供です
SMSが未提供です。

● 再生可能日前です　再生できません
ｉモーションに設定されている再生期間より前のため再生できません。再生可能日以降に再生してください。→P368

● 最大サイズを超えたので中断しました
- サイトやインターネットホームページのサイズが最大サイズを超えたため取得を中断しました。(決定)を押すと正常に取得した部分までを表示します。
- 10000バイトより大きい静止画のダウンロード時に最大サイズを超えたため取得を中断しました。

● サイトが移動しました（301）
サイトやインターネットホームページが自動的にURL転送を行っているか、URLが変更されています。

● サイトに接続できませんでした（403）
指定のサイトやインターネットホームページに接続を拒否されるなど、何らかの原因でサイトに接続できませんでした。

● 時刻がリセットされたため、このデータを取得できません。時刻を自動設定にして電源を入れ直してください。
日付時刻設定を「2手動で設定する」に設定して日付・時刻を設定したときは、電池パックを取り外したり、電池が切れたまま長い間充電しなかったりすると、日付・時刻が消去される場合があります。日付・時刻の設定を行い、もう一度データを取得し直してください。→P43

● 指定サイトがみつかりません（404）
サイトやインターネットホームページが見つかりませんでした。URLが正しいかどうか確認してください。

● 指定サイトに表示データがありません（204）
指定のサイトにデータがありませんでした。

● 指定したサイトへは接続できませんでした（504）
何らかの原因で、指定のサイトなどに接続できませんでした。もう一度、接続し直してください。

● しばらくお待ちください
音声回線／パケット通信設備が故障、または音声回線ネットワーク／パケット通信ネットワークが非常に混み合っています。しばらくたってから送信し直してください。

● しばらくお待ちください（パケット）
パケット通信設備が故障、またはパケット通信ネットワークが非常に混み合っています。しばらくたってから操作し直してください。

● 受信が中断されました。受信できなかったメッセージがあります
受信中にエラーが発生したため、SMSをすべて受信できませんでした。電波状態のよい所に移動して、SMS問合せを行ってください。→P328

● 既にメッセージをお預かりしています
すでにSMSは送信済みです。

● 接続が中断されました
電波状態のよい所に移動して操作し直してください。それでも同じエラーになる場合は、しばらくたってから操作し直してください。

● 接続できません
ｉモードセンターとの接続に失敗しました。電波状態のよい所に移動して操作し直してください。

● 設定時間内に接続できませんでした
ｉモードセンターが混み合っています。しばらくたってから操作し直してください。

● 送信できませんでした
ｉモードメールまたはSMSの送信に失敗しました。電波状態のよい所で送信し直してください。

● 送信できません。宛先を確認してください（451）
ｉモードメールが送信できません。宛先が正しいかどうか確認してください。

● ダイヤル発信が制限されています
ダイヤル発信制限中は禁止されている操作ができません。→P160

● ダウンロードできませんでした
受信中に通信が中断されました。電波状態のよい所に移動し、しばらくたってから操作し直してください。

次ページへ

● ただいま利用制限中のためしばらくしてからご利用ください

ｉモードパケット定額サービスをご利用の場合に限り、一定時間内に著しく大量なデータ通信があったときに表示されます。一定時間接続できなくなることがありますので、しばらくたってからｉモードをご利用ください。

● 次の宛先にはメール送信できませんでした（561）

次の宛先にｉモードメールを送信できませんでした。
決定を押すと送信に失敗した宛先が表示されます。宛先が正しいかどうか確認の上、電波状態のよい所で送信し直してください。

● データが壊れています。お買い上げ時の状態に戻しますか？

メールのデータにエラーがあります。「1戻す」を押してお買い上げ時の状態に戻します。お買い上げ時の状態に戻さないとメールを起動できません。

● 問合せできませんでした

電波状態のよい所に移動して操作し直してください。それでも同じエラーになる場合は、しばらくたってから操作し直してください。

● 登録中です。しばらくしてからご利用ください（554）

ｉモードへのユーザ登録中です。しばらくたってから操作し直してください。

● 入力データをご確認ください（205）

サイトやインターネットホームページの入力データに誤りがあります。入力データを確認してください。

● 認証タイプに未対応です（401）

認証タイプに未対応のため指定のサイトやインターネットホームページには接続できません。

● 認証を中止しました

認証画面で戻るを押して認証を中止したときに表示されます。

● パスワードをご確認ください（401）

サイトやインターネットホームページの認証画面に入力したユーザ名かパスワードに誤りがあります。もう一度入力し直してください。

● 他の機能が起動中のため起動できません

パターンデータの更新を行う場合は、他の機能をすべて終了してください。

● 保存件数がいっぱいです。不要なビデオを削除しますか？

最大保存件数を超えたため、ビデオを保存できません。不要なビデオを削除してください。→P369

● 保存領域がいっぱいで保存できません

FOMA端末の保存領域が足りないため、SMSを保存できません。SMSをFOMAカードに移動するか、メールやSMSを削除してください。→P331、P340

● 保存領域が○○○Ｋバイト不足しています。不要なビデオを削除しますか？

保存領域が足りないため、ビデオを保存できません。不要なビデオを削除してください。→P369

● 無効なデータを受信しました（xxx）

- 指定のサイトやインターネットホームページがｉモードに対応していません。URLが正しいかどうか確認してください。
- 受信データにエラーがあるため表示できません。

● メッセージがいっぱいです

保存領域が足りないため、メッセージR/Fを受信できません。未読のメッセージR/Fを読むか、保護を解除するか、削除してください。→P240、P242、P243

● メモリ不足です。ｉモードメニュー画面に戻ります

メモリが不足したため処理を中断します。
決定を押すとｉモードメニュー画面に戻ります。

● ユーザ証明書がありません。継続しますか？

ユーザ証明書がダウンロードされていません。接続を継続するときは「1継続する」を、接続を中断するときは「2継続しない」を押します。→P245

● ユーザ証明書の有効期限が切れています。継続しますか？

ユーザ証明書の有効期限が切れています。接続を継続するときは「1継続する」を、接続を中断するときは「2継続しない」を押します。→P245

● FOMAカードがいっぱいです

FOMAカードの保存領域が足りないため、SMSを保存できません。FOMAカード内のSMSを削除するか、FOMA端末に移動してください。→P334、P335

● FOMAカードが異なるためご利用できません
サイトやインターネットホームページからデータをダウンロードしたときや、メールの添付データ、メッセージR/Fを保存したときとは異なるFOMAカードを取り付けています。ダウンロードまたは保存したときと同じFOMAカードを挿入して利用してください。→P32

● FOMAカードが挿入されていないためご利用できません
FOMAカードが取り付けられていません。FOMAカードを取り付けて利用してください。→P31

● FOMAカードを挿入してください
FOMAカードが取り付けられていません。FOMAカードを取り付けて利用してください。→P31

● iモーション再生サイズを超えています
標準タイプのiモーションのデータ取得時、またはデータ取得中の再生時に、サイズが500Kバイトを超えたため取得を中断しました。

● iモーション最大サイズを超えています
ストリーミングタイプのiモーションのデータ取得時に、サイズが2Mバイトを超えたため取得を中断しました。

● iモードセンターが混みあっています。しばらくお待ちください（555）
iモードセンターが混み合っています。しばらくたってから操作し直してください。

● PINロック解除コードがロックされています
ドコモショップ窓口にお問い合わせください。→P147

● SMSセンター設定を確認してください
SMS設定（SMSCの設定）が誤っています。設定を確認してください。→P336

● SSL通信が切断されました
SSL通信中にエラーが発生したか、その他のクライアント認証に関わるサーバ側での認証エラーのためSSL通信が中断しました。

● SSL通信が無効です
SSL通信の認証処理で問題が検出されました。接続は中止されます。

● SSL通信が無効に設定されています
FOMA端末の証明書が無効に設定されています。接続するには設定を変更してください。→P231

● URLが長すぎて登録できません
URLが登録可能な文字数を超えているためブックマークに登録できません。

● "○○○.ne.jp" 宛のメールが混み合っているため、送信することができません（555） Unable to send. "○○○.ne.jp" is not available temporarily.
iモードセンターが混み合っています。しばらくたってから操作し直してください。
※ ドメイン名は送信先により表示が異なります。

保証とアフターサービス

保証について

- FOMA端末をお買い上げいただくと、保証書がついていますので、必ずお受け取りください。記載内容および『販売店名・お買い上げ日』などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申しつけください。無償保証期間は、お買い上げ日から1年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA 端末の故障、修理やその他取り扱いによって電話帳などに登録された内容が変化、消失する場合があります。万一に備え、電話帳などの内容はメモなどに控えをお取りくださるようお願いします。また、FOMA端末の修理などを行った場合、ｉモードでダウンロードした情報は、一部を除き著作権法により修理済みのFOMA端末などに移行を行っておりません。

※パソコンをお持ちの場合は、専用のデータリンクソフトとFOMA USB接続ケーブル（別売）またはFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01（別売）をご利用いただくことにより、電話帳などに登録された内容をパソコンに転送・保管していただくことができます。

アフターサービスについて

◎**調子が悪いときは**

修理を依頼される前に、この取扱説明書の「故障かな？と思ったら、まずチェック」をご覧になってお調べください。→P495

それでも調子がよくないときは、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。

◎**お問い合わせの結果、修理が必要な場合**

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。

◎**保証期間内は**

- 保証書の規定に基づき無償で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良による故障、損傷などは有償修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有償修理となります。

◎ **次の場合は、修理できないことがあります。**

● 水濡れシールが反応している場合、試験の結果、水濡れ・結露・汗などによる腐食が発見された場合、および内部の基板が破損・変形している場合は修理できないことがありますのであらかじめご了承願います。なお、修理を実施できる場合でも保証対象外となりますので有償修理となります。

◎ **保証期間が過ぎた場合は**

● ご要望により有償修理いたします。

◎ **部品の保有期間は**

● FOMA端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後6年間を基本としております。ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。また、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」へお問い合わせください。

◎ **お願い**

● FOMA端末および付属品の改造はおやめください。
- 火災、けが、故障の原因となります。
- FOMA 端末、FOMA カードは、電波の混信やネットワークの故障を防ぐため、法律により技術基準が定められており、技術基準を満たさないFOMA端末、FOMAカードは使用できません。
- 改造（部品の交換、改造、塗装など）が施されたFOMA端末の故障修理は、改造部分を元の状態（ドコモ純正品状態）に戻していただいた場合のみ、故障修理のお取り扱いをさせていただきます。ただし、改造の内容によっては、故障修理をお断りする場合があります。
- 改造が原因による故障、損傷の場合は、保証期間内であっても有償修理となります。

● FOMA端末に貼付されている銘板シールは、はがさないでください。
銘板シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘板シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合など、銘板シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。

● 各種機能の設定や積算通話時間などの情報は、FOMA端末の故障、修理やその他取り扱いによって、クリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、その場合はもう一度設定してくださるようお願いします。

● FOMA端末の受話口部やスピーカーなどに磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど、磁気の影響を受けやすいものを近づけるとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。

● FOMA端末が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、FOMA端末の状態によっては修理できないことがあります。

次ページへ

◆メモリダイヤル（電話帳機能）およびダウンロード情報などについて◆

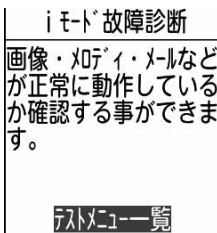
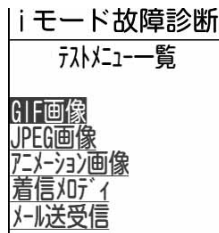
- お客様ご自身でFOMA端末などに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。情報内容の変化、消失に関し、当社は何らの義務を負わないものとし、一切の責任を負いかねます。
- FOMA端末を機種変更や故障修理する際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様のFOMA端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。本FOMA端末はｉモード公式サイトからダウンロードした画像・着信メロディを故障修理時に限り移し替えいたします（一部移し替えできないコンテンツもあります。また、故障の程度によっては移し替えできない場合があります）。

ｉモード故障診断サイトについて

ご利用中のFOMA端末において、メール送受信や画像・メロディのダウンロードなどが正常に動作しているかを、お客様ご自身でご確認いただけます。

ｉﾓｰﾄﾞ故障診断
画像・ﾒﾛﾃﾞｨ・ﾒｰﾙなどが正常に動作しているか確認する事ができます。
ﾃｽﾄﾒﾆｭｰ一覧

<TOP画面>

ｉモード故障診断
ﾃｽﾄﾒﾆｭｰ一覧
GIF画像
JPEG画像
ｱﾆﾒｰｼｮﾝ画像
着信ﾒﾛﾃﾞｨ
ﾒｰﾙ送受信

<テストメニュー一覧画面>

●「ｉモード故障診断サイト」へのアクセス方法

待受画面で決定を1秒以上▶「1 ｉMenuを見る」▶「お知らせ」▶「サービス・機能」▶「ｉモード」▶「ｉモード故障診断」

※アクセス方法は予告なしに変更される場合があります。

- ｉモード故障診断を行う場合のパケット通信料は無料です。
- FOMA端末の機種によりテスト項目は異なります。また、テスト項目は変更になることがあります。
- 各テスト項目で動作を確認する際は、サイト内の注意事項をよくお読みになり、テストを行ってください。
- ｉモード故障診断サイトへの接続およびメール送信テストを行う際に、お客様のFOMA端末固有の情報（機種名やメールアドレスなど）が自動的にサーバ（ｉモード故障診断サーバ）に送信されます。当社は送信された情報をｉモード故障診断以外の目的には利用いたしません。

• ご確認の結果、故障と思われる場合は、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」までお問い合わせください。

ソフトウェア更新

ソフトウェア更新を利用します

FOMA端末のソフトウェアを更新する必要があるかどうかをチェックし、必要な場合にはパケット通信※を使ってソフトウェアの一部をダウンロードし、ソフトウェアを更新する機能です。

ソフトウェア更新が必要な場合は、ドコモのホームページおよびらくらくｉメニューの「お知らせ」でご案内させていただきます。

※ソフトウェア更新を行う場合のパケット通信料はかかりません。

● ソフトウェア更新には、次の2種類の方法があります。

- 即時更新：更新したいときすぐに更新を行います。→P507
- 予約更新：更新する日時を予約すると、予約した日時に自動的にソフトウェアが更新されます。→P509

お知らせ

● 接続先番号（ISP接続通信）を「ｉモード」以外に設定している場合でもソフトウェア更新ができます。→P229

● ソフトウェア更新は、電池をフル充電して、電池残量が十分にある状態（→P39）で実行してください。

● 次の場合はソフトウェア更新を実行できません。

- FOMAカードが取り付けられていないとき
- 電源が入っていないとき
- 日付・時刻を設定していないとき
- 他の機能を使用しているとき
- PIN1コードロック中
- セルフモード中
- パソコンとつないだパケット通信中
- 電池がフル充電されていないとき
- 圏外 が表示されているとき
- 通話中
- PIN1コード入力中
- オールロック中
- 個人情報表示制限中
- 64Kデータ通信中

● ソフトウェア更新（ダウンロード、書き換え）には時間がかかる場合があります。

● PIN1コード使用の設定中（→P149）にソフトウェア更新を実行すると、ソフトウェア書き換え終了後の自動再起動時に、PIN1コード入力画面が表示されます。正しいPIN1コードを入力しないと、電話の発信、着信、各種通信機能の操作ができません。

● ソフトウェア更新中は、電話の発信、着信、各種通信機能およびその他の機能を利用できません。ただし、ダウンロード中は電話の着信のみ受けられます。

● ソフトウェア更新の際には、サーバ（当社のサイト）へSSL通信を行います。証明書表示／使用設定でSSL証明書を有効に設定してください。お買い上げ時は、有効に設定されています。→P231

● ソフトウェア更新は、電波が強く、アンテナマークが３本表示されている状態（→P41）で、移動せずに実行することをおすすめします。

※ソフトウェアダウンロード中に電波状態が悪くなったり、ダウンロードが中止された場合は、もう一度電波状態のよい所でソフトウェア更新を行ってください。

● すでにソフトウェア更新済みの場合は、ソフトウェア更新のチェックを行った際に「更新の必要はありません。このままご利用ください」と表示されます。

● ソフトウェア更新後、表示されていたｉモードセンター蓄積状態表示のマーク（→P23）は消えます。また、メール選択受信設定を「利用する」に設定している場合、ソフトウェア更新中にメールが届くと、ソフトウェア更新後にｉモードセンターにメールがあることを通知する画面（→P295）が表示されないことがあります。

次ページへ

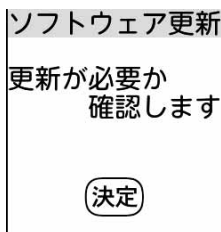
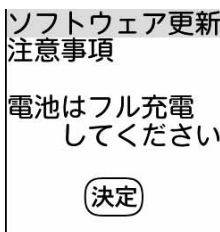
- ソフトウェア更新の際、お客様の携帯電話端末固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的にサーバ（当社が管理するソフトウェア更新用サーバ）に送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。
- ソフトウェア更新中は、電池パックを絶対に外さないでください。更新に失敗します。
- ソフトウェア更新は、FOMA端末に登録された電話帳、画像、ダウンロードデータなどのデータを残したままできますが、お客様のFOMA端末の状態（故障・破損・水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合がありますので、あらかじめご了承ください。必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします。ただし、ダウンロードデータなどバックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承ください。
- ソフトウェア更新に失敗した場合、「書換えに失敗しました」と表示され、一切の操作ができなくなります。その場合には、たいへんお手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただきますようお願い申し上げます。
- ダウンロード中に電話の着信があった場合、着信音に「着モーション」を設定しているときは、動画／ｉモーションは動作せず、着信音はメロディになります。

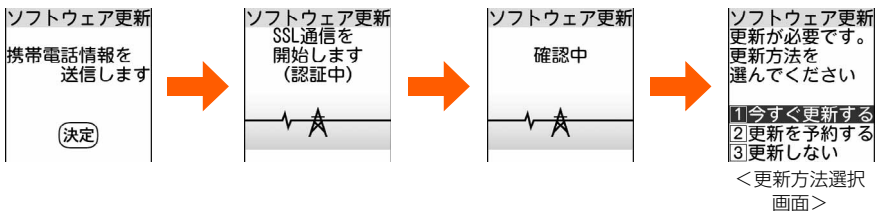
ソフトウェア更新の起動

1 待受画面で(メニュー)▶「9詳細な設定」▶「1ネットワークサービスを使う」▶「8その他のサービスを使う」▶「6ソフトウェアを更新する」を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。
- 入力した端末暗証番号は「*」で表示されます。
- お買い上げ時の端末暗証番号は「0000」に設定されています。

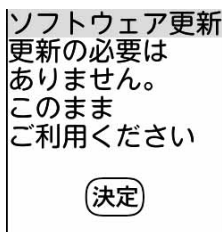
2 4～8桁の端末暗証番号を入力▶(決定)▶注意事項を確認▶(決定)を押す

付録／外部機器連携／困ったときには
ソフトウェア更新

3 決定▶決定を押す

ソフトウェア更新が必要かどうかを確認します。

<更新方法選択画面>

● 更新が必要な場合には「更新が必要です。更新方法を選んでください」と表示されます。「1今すぐ更新する」(→P507)または「2更新を予約する」(→P509)を押してください。

■ 更新が必要ないとき

ソフトウェア更新
更新の必要は
ありません。
このまま
ご利用ください
決定

ソフトウェア更新が必要かどうかをチェックした結果、更新の必要がない場合は左の画面が表示されます。決定を押してFOMA端末をそのままご利用ください。

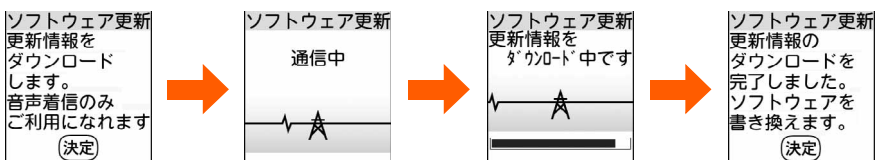
ソフトウェアの即時更新

● サーバが混み合っていて、即時更新ができない場合があります。

1 更新方法選択画面を表示する

● 操作方法→P506

2 「1今すぐ更新する」▶約5秒後に自動的にダウンロードが開始される

決定を押すと、すぐにダウンロードを開始します。ダウンロード中はランプが点滅します。

● ダウンロード中に決定:ダウンロードを中止します。

● ダウンロードを途中で中止したときは、最初からソフトウェア更新をやり直してください。

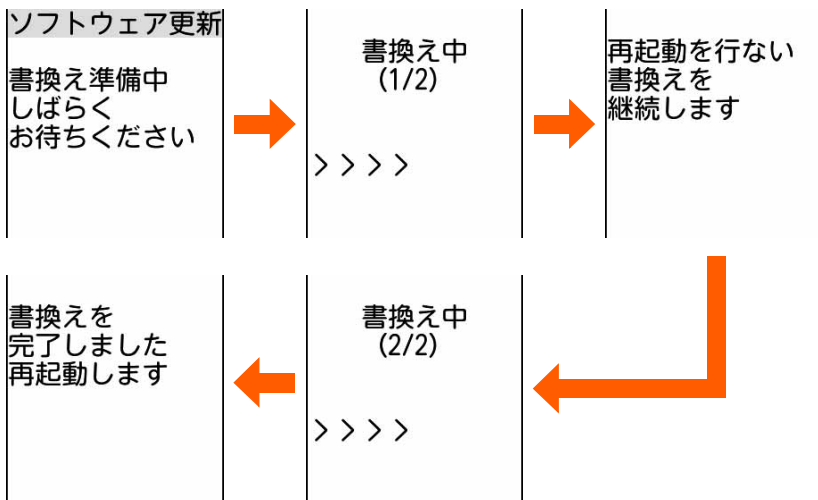
次ページへ

■ サーバが混み合っているとき

ソフトウェア更新
サーバーが
混んでいるため
今すぐ更新できま
せん。
予約しますか？
1更新を予約する
2予約しない

サーバが混み合っていて更新情報をダウンロードできない場合は、左の画面が表示されます。「1更新を予約する」を押して日時の予約をしてください。→P509「ソフトウェアの予約更新」操作2以降

3 ダウンロード終了後、約5秒後に自動的にソフトウェアの書き換えが開始される

決定を押すと、すぐにソフトウェアの書き換えを開始します。書き換え中は、ランプが点滅します。

● ソフトウェアの書き換え中はすべてのボタン操作が無効となり、更新を中止することもできません。

4 書き換え終了後、自動的に再起動する

再起動すると、もう一度サーバと通信を行いますので、しばらくお待ちください。

5 決定を押す

更新が終了して待受画面が表示されます。

ソフトウェアの予約更新

ダウンロードに時間がかかる場合やサーバが混み合っている場合には、あらかじめソフトウェア更新を起動する日時をサーバと通信して設定しておきます。

1 更新方法選択画面を表示する

●操作方法→P506

2 「2更新を予約する」を押す

サーバと通信を行い、予約日時候補を問い合わせます。

予約可能な日時がサーバの時刻で表示されます。

：希望日時の候補が複数ページある場合は、前後のページを表示できます。

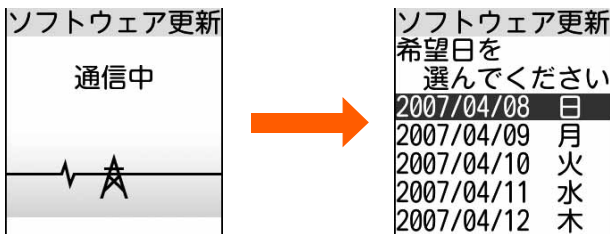
3 希望日時を選択する

■ 表示されている予約候補から選択するとき

希望日時を選択▶決定▶「1予約する」を押す

次ページへ

■ 表示されている予約候補以外から選択するとき

①「その他の日時」を選択▶決定を押す

：希望日の候補が複数ページある場合は、前後のページを表示できます。

②希望日を選択▶決定を押す

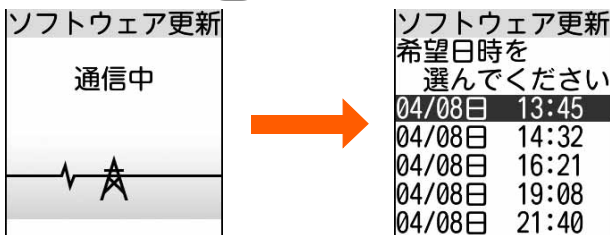
ソフトウェア更新
時間帯を
選んでください
△ 00:00～
○ 02:00～
○ 03:00～
○ 04:00～
△ 06:00～

各時間帯の予約の空き状況が表示されます。

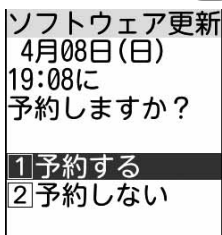
○：空きあり　　　△：空きわずか

：希望時間帯の候補が複数ページある場合は、前後のページを表示できます。

電話帳：時間帯の左に表示されている記号の説明を表示できます。

③希望時間帯を選択▶決定を押す

サーバに接続され、選択した希望日と時間帯に近い予約候補が表示されます。

：希望日時の候補が複数ページある場合は、前後のページを表示できます。

④希望日時を選択▶決定を押す

⑤「1予約する」を押す

サーバと通信を行い、指定した日時に予約した旨のメッセージが表示されます。

4 決定 を押す

予約の設定が完了してメニュー画面に戻ります。

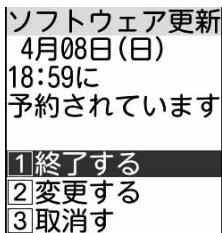
- ━ を押すと待受画面に戻ります。
- 予約中は、待受画面に が表示されます。

予約の確認・変更・取り消しをします

1 待受画面で メニュー ▶「9 詳細な設定」▶「1 ネットワークサービスを使う」▶「8 その他のサービスを使う」▶「6 ソフトウェアを更新する」を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 4～8桁の端末暗証番号を入力 ▶ 決定 を押す

ソフトウェア更新
4月08日(日)
18:59に
予約されています
1 終了する
2 変更する
3 取消す

3 内容を確認する

- 「1 終了する」：確認を終了してメニュー画面に戻ります。

■ 予約を変更するとき

①「2 変更する」を押す

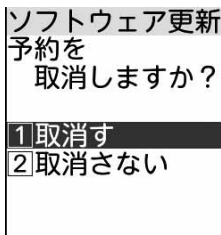
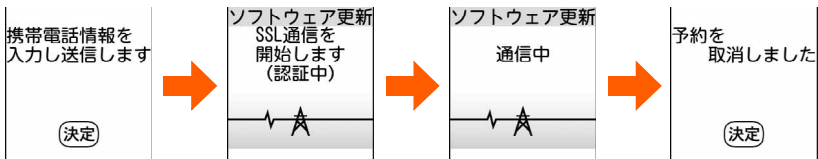
携帯電話情報の送信確認画面が表示されます。

② 決定 を押す

希望日の選択画面が表示されます。

- 以降の操作→P510「■表示されている予約候補以外から選択するとき」操作②以降

■ 予約を取り消すとき

①「3取消す」を押す

②「1取消す」▶決定を押す

③決定を押す

予約が取り消され、メニュー画面に戻ります。

- ━を押すと待受画面に戻ります。

予約の日時になると

予約時刻です。
更新を開始します
決定

- 予約日時になると左の画面が表示され、約5秒後に自動的にソフトウェア更新を開始します（決定を押すと、すぐにソフトウェア更新を開始します）。予約日時前には、電池がフル充電されていることを確認の上、電波の十分届く所でFOMA端末を待受画面にしておいてください。ダウンロードが完了するとソフトウェアの書き換えが行われ、再起動します。
- ソフトウェア更新を中止する場合は━▶「1 終了する」を押します。

おしらせ

- 次の場合は、ソフトウェア更新の予約が解除されることがあります。
  - 電池パックを取り外したり、電池が切れたまま充電しなかった場合
  - データ一括削除を行った場合
- 他の機能を使用していると予約日時になっても起動しないことがありますのでご注意ください。通話中またはメール受信中に予約日時になったときは、通話終了後またはメール受信終了後にソフトウェア更新を開始します。
- 同じ日時に目覚ましなどが設定されていた場合には、目覚ましなどが優先され、ソフトウェア更新が起動しないことがあります。

スキャン機能
障害を引き起こすデータからFOMA端末を守ります

まず初めに、パターンデータの更新を行い、パターンデータを最新にしてください。

サイトからのダウンロードやｉモードメールなど外部からFOMA端末に取り込んだデータやプログラムについて、データを検知して障害を引き起こす可能性を含むデータの削除やアプリケーションの起動を中止します。

- チェックのために使用するパターンデータは、新たな問題が発見された場合に随時バージョンアップされます。自動更新設定を「有効にする」に設定していると、パターンデータがバージョンアップされたときに、自動的にダウンロードと更新が行われます。
- スキャン機能は、ホームページの閲覧やメール受信などの際に携帯電話に何らかの障害を引き起こすデータが侵入することに対して、一定の防衛手段を提供する機能です。各障害に対応したパターンデータが携帯電話にダウンロードされていない場合、または各障害に対応したパターンデータが存在しない場合には、本機能によって障害などの発生を防げませんので、あらかじめご了承ください。
- パターンデータは携帯電話の機種ごとにデータの内容が異なります。また、当社の都合により端末発売開始後3年を経過した機種向けパターンデータの配信は停止する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 個人情報表示制限中は、本機能を使用できません。→P158

パターンデータの更新

パターンデータが更新されたときに、自動的にサーバとの間でやりとりを行い、最新のパターンデータをダウンロードして更新する機能を利用できます。

- 自動更新が完了すると、待受画面にお知らせ情報（→P23）と が表示されます。決定を押してメッセージを確認した後、決定を押してください。
- 自動更新が失敗したときは、待受画面にお知らせ情報（→P23）と が表示されます。決定を押してメッセージを確認した後、手動でパターンデータを更新してください。→P515

パターンデータの自動更新を設定します<自動更新設定>

パターンデータの更新が自動的に行われるように設定します。

1 待受画面で(メニュー)▶「9詳細な設定」▶「1ネットワークサービスを使う」▶「8その他のサービスを使う」▶「5スキャン機能を使う」▶「2パターンデータ自動更新設定を行う」を押す

自動更新設定
パターンデータ
自動更新設定を
行います
有効にしますか？
1有効にする
2無効にする

2 「1有効にする」を押す

自動更新設定
有効にすると
パターンデータ
自動更新時に
携帯電話情報を
送信します
1続ける
2中止する

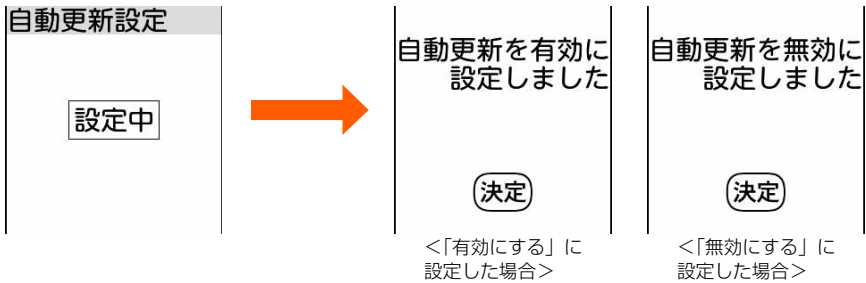
- 「2無効にする」：パターンデータ自動更新設定を無効にします。操作4に進みます。

3 「1続ける」を押す

自動更新設定
自動更新を
有効にするため
通信を行います
通信では携帯電話
情報を送信します
1続ける
2中止する

4 「1続ける」を押す

自動更新を有効／無効に設定した旨のメッセージが表示されます。

<「有効にする」に設定した場合>

<「無効にする」に設定した場合>

5 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

● を押すと待受画面に戻ります。

パターンデータを手動で更新します

自動更新設定を「無効にする」に設定しているときや、待受画面に（自動更新失敗）が表示された場合には、パターンデータを手動で更新してください。

1 待受画面でメニュー▶「9詳細な設定」▶「1ネットワークサービスを使う」▶「8その他のサービスを使う」▶「5スキャン機能を使う」▶「1パターンデータを更新する」を押す

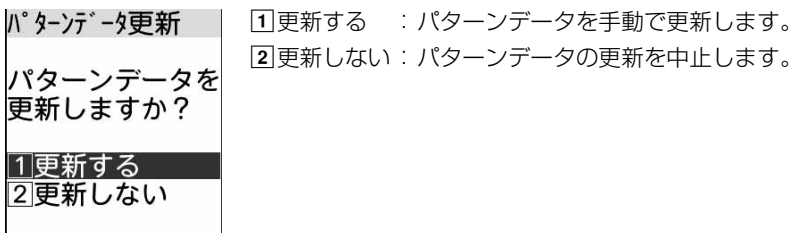
パターンデータ更新

パターンデータを更新しますか？

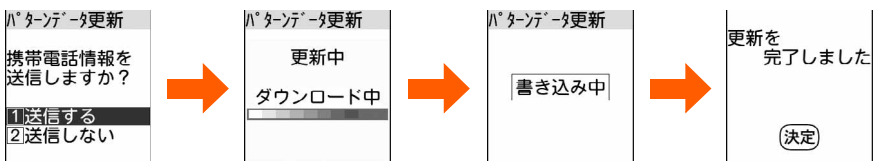
1更新する

2更新しない

1更新する　：パターンデータを手動で更新します。

2更新しない：パターンデータの更新を中止します。

2 「1更新する」▶「1送信する」を押す

パターンデータのダウンロードと更新が開始されます。

次ページへ

3 決定を押す

更新が完了して、メニュー画面に戻ります。

- ●（終話キー）を押すと待受画面に戻ります。
- ●パターンデータ更新が必要ないときは、パターンデータが最新である旨のメッセージが表示されますので、そのままお使いください。

お知らせ

- ●パターンデータ更新の際、お客様の携帯電話端末固有の情報（機種や製造番号など）が自動的にサーバ（当社が管理するスキャン機能用サーバ）に送信されます。当社は送信された情報をスキャン機能以外の目的には利用いたしません。
- ●FOMA端末で正しい日付・時刻が設定されていない場合は、パターンデータの更新はできません。
- ●パターンデータ更新中に電話がかかってきた場合は、更新は中断されます。外部機器を利用してのデータ受信があった場合は、更新は中断されません。
- ●パターンデータ更新中に目覚ましや予定の通知の時刻になると、目覚まし音や音声は鳴りますが、パターンデータの更新は継続されています。

スキャン機能の設定

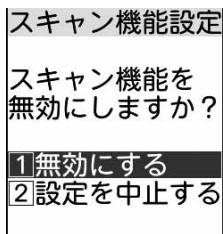
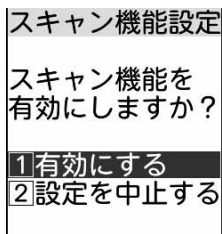
お買い上げ時
有効にする

本機能を「有効にする」に設定すると、データの表示やプログラムの実行の際、自動的にチェックします。

1 待受画面でメニュー▶「9詳細な設定」▶「1ネットワークサービスを使う」▶「8その他のサービスを使う」▶「5スキャン機能を使う」▶「3スキャン機能を設定する」を押す

スキャン機能設定
スキャン機能を
無効にしますか？
1無効にする
2設定を中止する

<「有効にする」に設定している場合>

スキャン機能設定
スキャン機能を
有効にしますか？
1有効にする
2設定を中止する

<「無効にする」に設定している場合>

2 「1有効にする」または「1無効にする」を押す

スキャン機能を有効／無効にした旨のメッセージが表示されます。

- ●本機能を設定すると、障害を引き起こすデータを検出した場合に、5段階の警告レベルで表示されます。→P517

3 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

● ⌒を押すと待受画面に戻ります。

スキャン結果の表示

■ スキャンされた問題要素の表示について

警告メッセージ表示中に「詳細を表示する」を押すと検出された問題要素の名前の一覧が表示されます。ただし、問題要素が6個以上検出された場合は、6個目以降の問題要素名は省略され、検出された問題要素の総数が表示されます。

問題要素一覧
Malicious14.H
Malicious24.H
Malicious13.H
Malicious23.H
Malicious12.H
以下省略します
総数12

■ スキャン結果の表示について

警告レベル／表示メッセージ	対応方法
警告レベル0 問題要素検出 正常に動作できない場合があります 1続ける 2詳細を表示する	1続ける：起動中のアプリケーションの処理を続行します。 2詳細を表示する：検出された問題要素の名前の一覧を表示します。
警告レベル1 問題要素検出 正常に動作できない場合があります 動作を 中止しますか？ 1中止する 2続ける 3詳細を表示する	1中止する：障害を引き起こす可能性のあるアプリケーションの処理を中止します。 2続ける：起動中のアプリケーションの処理を続行します。 3詳細を表示する：検出された問題要素の名前の一覧を表示します。

次ページへ

警告レベル／表示メッセージ	対応方法
警告レベル2 問題要素検出 正常に動作できない場合があるため終了します 1終了する 2詳細を表示する	1終了する：障害を引き起こす可能性のあるアプリケーションの処理を中止します。 2詳細を表示する：検出された問題要素の名前の一覧を表示します。
警告レベル3 問題要素検出 正常に動作できない場合があります データを 削除しますか？ 1削除する 2削除しない 3詳細を表示する	1削除する：障害を引き起こす可能性のあるデータを削除します。 2削除しない：障害を引き起こす可能性のあるアプリケーションの処理を中止します。 3詳細を表示する：検出された問題要素の名前の一覧を表示します。
警告レベル4 問題要素検出 正常に 動作できないため データを 削除します 1削除する 2詳細を表示する	1削除する：障害を引き起こす可能性のあるデータを削除します。 2詳細を表示する：検出された問題要素の名前の一覧を表示します。

パターンデータのバージョン表示

1 **待受画面で(メニュー)▶「9詳細な設定」▶「1ネットワークサービスを使う」▶「8その他のサービスを使う」▶「5スキャン機能を使う」▶「4パターンデータの版数を確認する」を押す**

パターンデータのバージョンが表示されます。

バージョン表示
パターンデータの
版数
1.1
McAfee®
Proven Security™

2 確認が終わったら決定を押す

メニュー画面に戻ります。

● ⌒を押すと待受画面に戻ります。

主な仕様

品名		FOMA F883i
サイズ		高さ102mm×幅51mm×厚さ19.9mm（折り畳み時）
質量		約103g（電池パック装着時）
連続待受時間※1、2、3		静止時 ：約400時間（約560時間） 移動時 ：約280時間（約400時間）
連続通話時間※2、4		約200分
充電時間※5		ACアダプタ ：約130分 DCアダプタ ：約130分
液晶部	方式	ディスプレイ ：TFT262,144色 背面ディスプレイ：STNモノクロ
	サイズ	ディスプレイ ：約2.4inch 背面ディスプレイ：約1.2inch
	画素数	ディスプレイ ：76,800画素（240×320） 背面ディスプレイ：4,096画素（64×64）

※1 連続待受時間とは、電波を正常に受信できる状態での時間の目安です。なお、電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かないか弱い場合など）などにより、待受時間は約半分程度になる場合があります。静止時の連続待受時間とは、FOMA端末を折り畳み、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。移動時の連続待受時間とは、FOMA端末を折り畳み、電波を正常に受信できるエリア内で「静止」「移動」と「圏外」を組み合わせた状態での平均的な利用時間です。

※2 iモード通信を行うと連続待受、連続通話（通信）時間は短くなります。また、通話やiモード通信をしなくてもiモードメールを作成したり音声読み上げ、動画／iモーションの再生、マルチアクセスの実行などによっても連続待受、連続通話時間は短くなります。

※3（ ）内の時間は、歩数計を「利用しない」に設定している状態での目安です。

※4 連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態で通話に使用できる時間の目安です。

※5 充電時間は、FOMA 端末の電源を切って、電池パックが空の状態から充電したときの目安です。FOMA端末の電源を入れて充電した場合、充電時間は長くなります。

F883iの保存・登録・保護件数

種　別		保存・登録件数	保護件数
電話帳		最大500件	—
ブックマーク		最大50件	—
画面メモ※1		最大50件	最大25件
メッセージR※1		最大50件	最大25件
メッセージF※1		最大50件	最大25件
メール	受信メール※2	最大200件	最大100件
	送信メール※2	最大50件	最大25件
	未送信メール※2	最大50件	最大25件
FOMAカードのSMS（ショートメッセージ）※3		最大20件	—
画像※1		最大500件	—
動画／ｉモーション（ビデオ、音声）※1		最大50件	—
メロディ※1		最大30件	—
予定表		最大300件	—

※1 実際に保存・登録できる件数は、データのサイズにより少なくなる場合があります。
※2 ｉモードメールとSMSの合計件数です。
※3 送信SMSと受信SMSの合計件数です。送達通知の件数は保存可能件数の20件には含まれません。

お知らせ

- FOMA端末に保存されているデータは、FOMA端末の故障、修理やその他の取り扱いによっても消失する場合がありますので、重要なデータは控えをとっておくことをおすすめします。万一、保存されている内容や登録した内容が消失した場合、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- パソコンをお持ちの場合は、データリンクソフトとFOMA USB接続ケーブル（別売）を利用して、電話帳やメールなどのデータをパソコンに転送・保存することができます。→P492
- FOMA端末内のデータのファイルサイズの表示は、データを扱う機能によって多少の誤差が生じる場合があります。

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種FOMA F883iの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。
この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体側頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）について、これが2W/kg※の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が示した国際的なガイドラインと同じものとなっています。
すべての機種の携帯電話機は、発売開始前に、電波法に基づき国の技術基準に適合していることの確認を受ける必要があります。この携帯電話機FOMA F883iのSARの値は0.939W/kgです。この値は、財団法人テレコムエンジニアリングセンターによって取得されたものであり、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。
SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、次のホームページをご覧ください。

総務省のホームページ http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm
社団法人電波産業会のホームページ http://www.arib-emf.org/index.html
ドコモのホームページ http://www.nttdocomo.co.jp/product/
富士通のホームページ http://www.fmworld.net/product/phone/sar/

※ 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。

索引／クイックマニュアル

索引

索引の使いかた

機能名やキーワードを列挙した索引には、「50音目次」としての機能もあります。なお、「登録」「削除」などの操作については、まず第一階層（**太字**）の機能名やキーワードで検索したのち、第二階層の索引項目から探してください。

〈例〉歩数の履歴を確認したいとき

歩数計 403
いきいき歩行 403
設定 405
歩数計サービス 409
履歴確認 406
履歴削除 408

ア

カ

サ

タ

次ページへ

ナ

ハ

マ

次ページへ

ヤ

ラ

ワ

英数字・記号

次ページへ

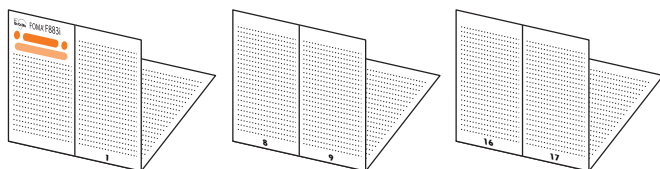
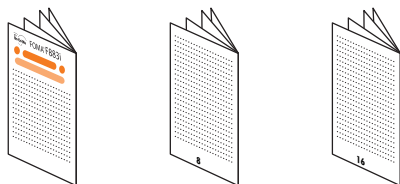
クイックマニュアル

クイックマニュアルの使いかた

クイックマニュアルは、FOMA端末の基本的な画面表示や操作方法について簡潔に説明しています。キリトリ線で切り取り、下記のように折ってご使用ください。また、外出時などには、5枚合わせて携帯してください。

1 キリトリ線から切り離す（5枚）

※切り離しの際には、けがなどにご注意ください。

2 それぞれを横半分に折る

3 それぞれを縦半分に折る

クイックマニュアル記載内容

クイックマニュアル

総合お問い合わせ先〈DoCoMoインフォメーションセンター〉

取扱説明書に不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

ドコモの携帯電話、PHSからの場合（局番なしの）
151（無料）
※一般電話などからはご利用になれません。

一般電話などからの場合
0120-800-000
※携帯電話、PHS からもご利用になれます。

故障お問い合わせ先

故障、異常かなと思われたら、下記までお問い合わせください。

ドコモの携帯電話、PHSからの場合（局番なしの）
113（無料）
※一般電話などからはご利用になれません。

一般電話などからの場合
0120-800-000
※携帯電話、PHS からもご利用になれます。

- ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようおかけください。

電話

電話のかけかた

1. 待受画面で電話番号を入力する
2. [を押す

3. 通話する
4. 通話が終了したら ー を押す

発信者番号を通知する／通知しない

待受画面で電話番号を入力▶メニュー▶「3通知で電話」または「4非通知で電話」を押す

通話を保留する

通話中に決定を押す
- 決定を押すたびに保留／解除されます。

スピーカーホン機能を使用する

通話中に [または 電話帳 を押す
- [または 電話帳 を押すたびに設定／解除されます。

電話の受けかた

1. 電話がかかってくる
2. [を押す
3. 通話する
4. 通話が終了したら ー を押す

キリトリ線

電話帳の登録

- FOMA カードに直接電話帳データを登録することはできません。FOMA カード電話帳に登録するには、FOMA 端末電話帳に登録した電話帳データをコピーしてください。

1. 待受画面でメニュー▶「1電話帳を使う　履歴を見る」▶「4電話帳に登録する」を押す
2. 名前／フリガナ／電話番号／メールアドレス／グループ／電話帳No を登録▶決定を押す
3. 「1登録する」を押す
   - 登録を終了する場合は「2終了する」を押す。
4. 登録先を選択する

キリトリ線

●**ワンタッチダイヤルに登録するとき**

「1ワンタッチダイヤル登録」▶「1ワンタッチダイヤル1」～「3ワンタッチダイヤル3」▶電話番号／メールアドレスの選択▶電話／メールの着信音を設定▶(決定)を押す

●**音声呼出しに登録するとき**

「2音声呼出し登録」▶単語を入力▶(決定)▶(決定)を押す

5. 「3終了する」を押す

電話帳の検索

1. 待受画面で(メニュー)▶「1電話帳を使う　履歴を見る」▶「3電話帳の内容を見る」を押す

●**FOMAカード電話帳を検索するとき**

待受画面で(メニュー)▶「1 電話帳を使う　履歴を見る」▶「3電話帳の内容を見る」▶(電話帳)を押す

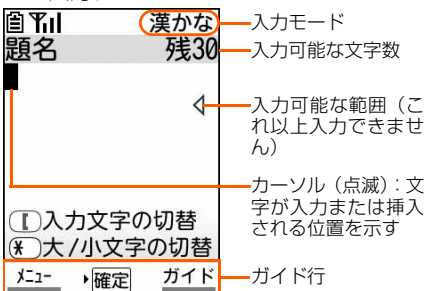
2. 「150音順検索」～「6電話帳No検索」を押す
   - FOMAカード電話帳は、「150音順検索」～「4電話番号検索」を押す
3. 目的の相手を検索して選択する

電話帳の修正

1. 「電話帳の検索」（→P4）の操作1～3を行う
2. (メニュー)▶「4修正する」を押す
3. 必要な項目を修正する
4. 「1上書きする」または「2新規登録する」を押す
   - 以降は「電話帳の登録」の操作3～5と同様に操作します。→P3

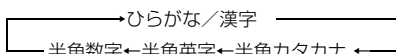
文字の入力

文字入力画面の見かた

〈例〉メール作成時の題名入力画面に文字を入力するとき

入力モードの切り替え

文字入力画面で(［)を複数回押す

- 入力モードの切り替わりかた

→ひらがな／漢字→半角カタカナ→半角英字→半角数字→ひらがな／漢字

文字の入力・変換

〈例〉「企業」と入力するとき

1. ひらがな／漢字入力モードで文字を入力する

「き」→(2)を2回押します。(→)を押して、カーソルを1つ右に移動します。

「ぎ」→(2)を2回押して(＊)を押します。

「ょ」→(8)を3回押して(＊)を押します。

「う」→(1)を3回押します。

- 文字を挿入する場合：
  カーソルを挿入位置に移動▶文字を入力する
- 入力した文字の確定前にできる操作
  (戻る)：入力した文字を取り消します。
  (＊)：複数回押すことで大文字／小文字を切り替えたり、濁点「゛」や半濁点「゜」を付加します。

2. 電話帳を押す
- メール/iモード/電話帳：
  変換候補一覧を表示します。
- 戻る：変換前の状態に戻します。

3. 決定を押す

文字の削除

カーソルが文中にあるとき

戻る：カーソル位置の 1 文字を削除します。

戻るを1秒以上：
カーソル位置から文末までの文字をすべて削除します。

カーソルが文末にあるとき

戻る：カーソル位置の左の 1 文字を削除します。

戻るを1秒以上：
入力した文字をすべて削除します。

絵文字・記号・定型文の入力

絵文字を入力する

1. 文字入力画面で メニュー▶「1 絵文字を入力」を押す
2. 絵文字を選択▶決定を押す
- メニュー／電話帳：ページを切り替えます。

記号を入力する

1. 文字入力画面でメニュー▶「2記号を入力」を押す
2. 記号を選択▶決定を押す
- メニュー／電話帳：ページを切り替えます。

定型文を入力する

1. 文字入力画面で メニュー▶「3 定型文を貼付け」を押す
2. フォルダを選択▶決定▶定型文を選択▶決定▶決定を押す
- ◁▷：ページを切り替えます。

画像の表示／ビデオの再生

画像を表示する

1. 待受画面で メニュー▶「4 画像・音声・ビデオを使う」を押す
2. 「1画像を見る」を押す
3. フォルダを選択▶決定を押す
4. 表示する画像を選択▶決定を押す

- メール/iモード：フォルダ内の他の画像を表示します。

ビデオを再生する

1. 待受画面で メニュー▶「4 画像・音声・ビデオを使う」を押す
2. 「2音声を聞く・ビデオを見る」を押す
3. フォルダを選択▶決定を押す
4. 再生する動画／ｉモーションを選択▶決定を押す

- メール/iモード／＋－：
  再生中の音量を調節します。
- 決定：再生を一時停止／再開します。

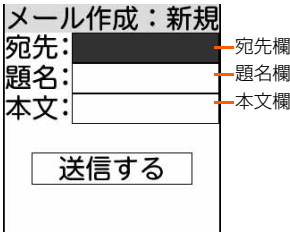
キリトリ線

- メニュー : 再生を停止します。
- 電話帳 : 横再生／通常再生します。
- ◁／▷ : 再生中の巻き戻し／早送りをします。

i モードメール

i モードメールの作成・送信

1. 待受画面で✉を1秒以上押す

メール作成：新規
宛先：（宛先欄）
題名：（題名欄）
本文：（本文欄）
送信する

- 簡単メール作成画面が表示された場合は、電話帳▶「1切替える」を押して通常メール作成画面に切り替えます。

2. 宛先欄を選択▶決定を押す

3. 宛先を入力する
   - 「1電話帳から選ぶ」:
     電話帳から選択します。電話帳を検索（→P4）▶相手を選択▶決定▶メールアドレスを選択▶決定を押します。
   - 「2直接入力する」:
     直接入力します。宛先を入力▶決定を押します。
4. 題名欄を選択▶決定▶題名を入力▶決定を押す
5. 本文欄を選択▶決定▶本文を入力▶決定を押す
6. 「送信する」を選択▶決定を押す
   - メールを保存する:
     メニュー▶「2保存する」を押します。

データの添付

1. 通常メール作成画面（→P12）でメニュー▶「4添付データ」を押す
2. 「1追加する」を押す
   - 添付データを解除する:
     「2解除する」または「3全て解除する」を押します。
3. 「1音声」～「4メロディ」を押す

●音声を添付するとき

「1音声」▶音声を録音して保存する

●画像を添付するとき

「2画像」▶画像を選択する

●ビデオを添付するとき

「3ビデオ」▶動画／ｉモーションを選択する

●メロディを添付するとき

「4メロディ」▶メロディを選択する

i モードメールの受信

1. メールを受信する
   画面表示や着信音などでお知らせします。受信結果が表示されます。
2. 「1メール」を押す
3. フォルダを選択▶決定を押す
4. メールを選択▶決定を押す

i モード問合せ

1. 待受画面で✉▶「6 メールがあるか問合せる」を押す
2. 「1届いているメール・メッセージを受信する」を押す

キリトリ線

その他の主な操作

リダイヤルを表示する

1. 待受画面でを押す

リダイヤルから電話をかける

1. 待受画面でを押す
2. を押して目的の電話番号を表示する
3. を押す

着信履歴を表示する

1. 待受画面でを押す

着信履歴から電話をかける

1. 待受画面でを押す
2. を押して目的の電話番号を表示する
3. を押す

マナーモードを設定／解除する

1. 待受画面で#(改行 マナー)を1秒以上▶決定を押す
   - 解除する：
     マナーモード中に#(改行 マナー)を1秒以上▶決定を押す

公共モード（ドライブモード）を設定／解除する

1. 待受画面で*を1秒以上▶決定を押す
   - 解除する：
     公共モード（ドライブモード）中に*を1秒以上▶決定を押す

公共モード（電源OFF）を設定／解除する

1. 待受画面で*2525 1を押す
   - 解除する：
     公共モード（電源OFF）中に待受画面で*25250を押す

伝言メモを設定／解除する

1. 待受画面でを1秒以上▶決定を押す
   - 解除する：
     伝言メモを設定中にを1秒以上▶決定を押す

伝言メモを再生する

1. 待受画面で▶決定を押す
2. を押して目的の伝言メモを選択▶決定を押す
   伝言メモが再生されます。
3. 「1 削除する」または「2 削除しない」を押す

クイック伝言メモを利用する

1. 着信中にメニュー▶「1 伝言メモ」を押す

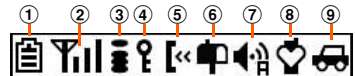
自分の電話番号を確認する

1. 待受画面でメニュー▶「0 自分の電話番号を見る」を押す

キリトリ線

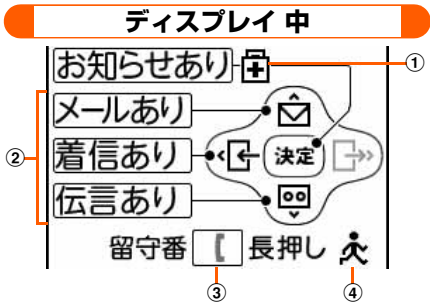
ディスプレイの見かた

ディスプレイ 上

①②③④⑤⑥⑦⑧⑨

① ：電池残量の表示
② ／圏外：受信レベルの表示
SELF：セルフモード中
：パソコンを接続してデータ転送中
③ ：ｉモード中、接続中
：SSLページ表示中
／：
パソコンを接続してパケット通信中／データ送受信中
④ ：シークレットモード中
⑤ ：通話中
64K：64Kデータ通信中
：音声読み上げ可能／音声読み上げ中
⑥ ：ｉモードメール、SMS、メッセージR/Fの受信完了通知

⑦ ：オートスピーカーホン機能の設定中
通信中：ｉモード中
取得中：ｉモーションデータ取得中
漢かな：文字入力モードの表示
⑧ ：マナーモード中
SV：電話着信のバイブレータと着信音量の消音を同時に設定中
V：電話着信のバイブレータを設定中
S：着信音量を消音に設定中
：ｉモードメール、SMSの受信中
⑨ ：公共モード（ドライブモード）中
：FOMAカードを読み込み中
R：メッセージRの受信中
F：メッセージFの受信中

ディスプレイ 中

お知らせあり
メールあり
着信あり
伝言あり
留守番 [長押し

① ：パターンデータの自動更新状態通知
② メール、不在着信、伝言メモの新着あり
③ 留守番[長押し：
留守番電話サービスセンターに伝言メッセージあり
：圏内、歩数計自動送信メールの状態表示
ｉモード 決定 長押し：ｉモードの接続操作の表示
④ ／ ：
歩数計の使用設定中／歩数計の使用と歩数計自動送信メールを設定中

ディスプレイ 下

① （赤）：伝言メモが満杯
：未確認の伝言メモあり
（黒）：伝言メモの設定中
② ：未確認の不在着信情報あり
③ ：未読ｉモードメール、SMS状態表示
④ R：未読メッセージR状態表示
⑤ F：未読メッセージF状態表示
⑥ （赤）：ｉモードセンター蓄積状態表示
⑦ ：ソフトウェア更新の予約中
⑧ ：FOMA USB接続ケーブルでパソコンなどと接続中
⑨ ：個人情報表示制限中
：ダイヤル発信制限中
⑩ ：目覚まし設定中
：通知する予定あり
：目覚まし設定中に通知する予定あり

ネットワークサービス

留守番電話サービス

●サービスを開始するとき

1. 待受画面で（メニュー）▶「9 詳細な設定」▶「1 ネットワークサービスを使う」▶「1 留守番サービスを使う」▶「3 留守番サービスを開始する」を押す
 • 以降、画面の指示に従い操作します。

●サービスを停止するとき

1. 待受画面で（メニュー）▶「9 詳細な設定」▶「1 ネットワークサービスを使う」▶「1 留守番サービスを使う」▶「4 留守番サービスを停止する」を押す
 • 以降、画面の指示に従い操作します。

キリトリ線

キャッチホン

● サービスを開始するとき

1. 待受画面で メニュー ▶「9 詳細な設定」▶「1 ネットワークサービスを使う」▶「2 キャッチホンを使う」▶「1 キャッチホンを開始する」を押す
   - 以降、画面の指示に従い操作します。

● サービスを停止するとき

1. 待受画面で メニュー ▶「9 詳細な設定」▶「1 ネットワークサービスを使う」▶「2 キャッチホンを使う」▶「2 キャッチホンを停止する」を押す
   - 以降、画面の指示に従い操作します。

転送でんわサービス

● サービスを開始するとき

1. 待受画面で メニュー ▶「9 詳細な設定」▶「1 ネットワークサービスを使う」▶「3 転送サービスを使う」▶「1 転送サービスを開始する」を押す
   - 以降、画面の指示に従い操作します。

● サービスを停止するとき

1. 待受画面で メニュー ▶「9 詳細な設定」▶「1 ネットワークサービスを使う」▶「3 転送サービスを使う」▶「2 転送サービスを停止する」を押す
   - 以降、画面の指示に従い操作します。

迷惑電話ストップサービス

1. 待受画面で メニュー ▶「9 詳細な設定」▶「1 ネットワークサービスを使う」▶「4 迷惑電話ストップを使う」▶「1 迷惑電話着信拒否を登録する」または

「2 着信拒否する番号を登録する」▶「1 登録する」を押す
   - 以降、画面の指示に従い操作します。

番号通知お知らせサービス

● サービスを開始するとき

1. 待受画面で メニュー ▶「9 詳細な設定」▶「1 ネットワークサービスを使う」▶「5 番号通知お願いサービスを使う」▶「1 番号通知お願いサービスを開始する」を押す
   - 以降、画面の指示に従い操作します。

● サービスを停止するとき

1. 待受画面で メニュー ▶「9 詳細な設定」▶「1 ネットワークサービスを使う」▶「5 番号通知お願いサービスを使う」▶「2 番号通知お願いサービスを停止する」を押す
   - 以降、画面の指示に従い操作します。

FOMA端末から利用できるサービス

FOMA端末から利用できるサービス	電話番号
番号案内サービス （有料：案内料＋通話料） （電話番号の案内を希望されないお客様については案内しておりません）	（局番なし）104
電報の発信（有料：電報料）	（局番なし）115
時報サービス（有料）	（局番なし）117
天気予報（有料）	知りたい地域の市外局番＋177
警察への緊急通報	（局番なし）110
消防・救急への緊急通報	（局番なし）119
海上で事件・事故が起きたときの緊急通報	（局番なし）118
災害用伝言ダイヤル（有料）	（局番なし）171
コレクトコール （有料：案内料＋通話料）	（局番なし）106

メニュー一覧

各機能の先頭の数字は、ショートカット操作のボタンを示します。

- 1 電話帳を使う　履歴を見る
  - 1 電話してきた相手を見る
  - 2 電話をかけた相手を見る
  - 3 電話帳の内容を見る
  - 4 電話帳に登録する
  - 5 伝言メモを使う
    - 1 伝言メモを再生する
    - 2 伝言メモを設定する
    - 3 伝言メモの応答メッセージを選ぶ
  - 6 電話帳のグループを設定する
    - 1 グループ名を変更する
    - 2 グループ専用の電話着信音を選ぶ
    - 3 グループ専用のメール着信音を選ぶ
  - 7 自分の電話番号を見る
- 2 メールを使う
  - 1 受信したメールを見る
  - 2 メールを作る
  - 3 例文を使ってメールを作る
  - 4 未送信のメールを見る
  - 5 送信したメールを見る

- 2 メールを使う
  - 6 メールがあるか問合せる
    - 1 届いているメール･メッセージを受信する
    - 2 メール選択受信を行う
  - 7 メールアドレスを確認・変更する
  - 8 メールを設定する
    - 1 メールが届いた時の音を選ぶ
    - 2 メールが届いた時の振動を選ぶ
    - 3 メールに付ける署名を登録する
    - 4 例文を編集する
    - 5 メール選択受信を設定する
    - 6 らくらく返信を設定する
    - 7 らくらく返信の本文を編集する
  - 9 SMSを使う
    - 1 SMSを作る
    - 2 届いているSMSを全部受信する
    - 3 SMSを設定する
    - 4 FOMAカードの受信SMSを見る
    - 5 FOMAカードの送信SMSを見る
- 3 ｉモードを使う
  - 1 ｉMenuを見る
  - 2 ブックマークを見る
  - 3 最後に表示したサイトを見る
  - 4 インターネットに接続する
    - 1 URLを入力して接続する
    - 2 サイトの入力履歴から接続する
  - 5 画面メモを見る

- 3 ｉモードを使う
  - 6 メッセージを見る
    - 1 メッセージリクエストを見る
    - 2 メッセージフリーを見る
    - 3 届いているメール･メッセージを受信する
    - 4 メッセージが届いた時の音を選ぶ
    - 5 メッセージが届いた時の振動を選ぶ
  - 7 ｉチャネルを見る
  - 8 ｉチャネルを設定する
    - 1 ｉチャネルテロップの表示を設定する
    - 2 ｉチャネルボタンを設定する
- 4 画像・音声・ビデオを使う
  - 1 画像を見る
  - 2 音声を聞く・ビデオを見る
- 5 目覚まし・予定を登録する
  - 1 目覚ましを使う
  - 2 予定表を使う
  - 3 予定の登録件数を見る
  - 4 通知の時刻に電源を入れる
- 6 電卓を使う
- 7 歩数計を使う
  - 1 歩数計の利用／停止を設定する
  - 2 歩数の履歴を表示する
  - 3 歩数の自動送信メールを設定する
  - 4 歩数の履歴を削除する
  - 5 今日の歩数を削除する

- 8 初めに行う設定
  - 1 発信者番号通知を使う
    - 1 発信者番号通知を設定する
    - 2 発信者番号通知設定を確認する
  - 2 画面の設定を行う
    - 1 待受画面に画像を設定する
    - 2 メニューと配色を設定する
    - 3 画面の明るさを設定する
  - 3 電話を受けた時の音を設定する
    - 1 電話を受けた時の音を選ぶ
    - 2 電話を受けた時の音量を調節する
  - 4 電話を受けた時の振動を選ぶ
  - 5 相手の声の音量を調節する
  - 6 ボタンを押した時の音を設定する
  - 7 音声読み上げを使う
    - 1 音声読み上げを設定する
    - 2 音声読み上げ用の単語を登録する
    - 3 スピーカー／受話口の切替を行う
  - 8 音声呼出しを登録する
    - 1 音声で呼出す電話帳を登録する
    - 2 音声で呼出す機能を登録する
  - 9 時計を設定する
    - 1 日付と時刻を設定する
    - 2 待受画面に時計を表示する

キリトリ線

- 9 詳細な設定
  - 1 ネットワークサービスを使う
    - 1 留守番サービスを使う
      - 1 留守番メッセージを再生する
      - 2 メッセージがあるか問合せる
      - 3 留守番サービスを開始する
      - 4 留守番サービスを停止する
      - 5 留守番サービスの詳細を設定する
      - 6 留守番呼出時間を設定する
      - 7 留守番サービスの設定を確認する
      - 8 着信通知を使う
        - 1 着信通知を開始する
        - 2 着信通知を停止する
        - 3 着信通知の設定を確認する
    - 2 キャッチホンを使う
      - 1 キャッチホンを開始する
      - 2 キャッチホンを停止する
      - 3 キャッチホンの設定を確認する
    - 3 転送サービスを使う
      - 1 転送サービスを開始する
      - 2 転送サービスを停止する
      - 3 転送先を変更する
      - 4 転送先が通話中のときの設定をする
      - 5 転送サービスの設定を確認する

- 9 詳細な設定
  - 1 ネットワークサービスを使う
    - 4 迷惑電話ストップを使う
      - 1 迷惑電話着信拒否を登録する
      - 2 着信拒否する番号を登録する
      - 3 迷惑電話全登録を削除する
      - 4 迷惑電話1登録を削除する
      - 5 拒否登録件数を確認する
    - 5 番号通知お願いサービスを使う
      - 1 番号通知お願いサービスを開始する
      - 2 番号通知お願いサービスを停止する
      - 3 番号通知お願いサービスを確認する
    - 6 通話中着信設定を使う
      - 1 通話中着信設定を開始する
      - 2 通話中着信設定を停止する
      - 3 通話中着信設定を確認する
    - 7 通話中着信動作を選ぶ
    - 8 その他のサービスを使う
      - 1 遠隔操作設定を使う
        - 1 遠隔操作を開始する
        - 2 遠隔操作を停止する
        - 3 遠隔操作の設定を確認する
      - 2 英語ガイダンスを使う
        - 1 ガイダンスを設定する
        - 2 ガイダンスの設定を確認する

- 9 詳細な設定
  - 1 ネットワークサービスを使う
    - 8 その他のサービスを使う
      - 3 デュアルネットワークを使う
        - 1 デュアルネットワークを切替える
        - 2 デュアルネットワークの状態を確認する
      - 4 サービスダイヤルを使う
        - 1 ドコモ総合案内・受付に電話する
        - 2 ドコモ故障問合せ窓口に電話する
        - 3 海外紛失窓口に電話する（有料）
        - 4 海外故障窓口に電話する（有料）
      - 5 スキャン機能を使う
        - 1 パターンデータを更新する
        - 2 パターンデータ自動更新設定を行う
        - 3 スキャン機能を設定する
        - 4 パターンデータの版数を確認する
      - 6 ソフトウェアを更新する
  - 2 入力に関する設定を行う
    - 1 文字の入力方法を設定する
    - 2 よく使う単語を登録する
    - 3 よく使う定型文を登録する
  - 3 電話・電話帳の詳細を設定する
    - 1 電話帳の登録件数を見る
    - 2 着信を拒否する相手を指定する
    - 3 着信を許可する相手を指定する
    - 4 電話帳登録外の着信を拒否する

- 9 詳細な設定
  - 3 電話・電話帳の詳細を設定する
    - 5 発番通知のない着信を設定する
    - 6 イヤホンマイクを設定する
      - 1 イヤホンマイク接続時に自動で着信する
      - 2 イヤホンマイクスイッチの動作を設定する
    - 7 背面の画面表示を設定する
    - 8 オートスピーカーホンを設定する
    - 9 無音着信時間を設定する
    - 0 通話中に自分の番号を表示する
  - 4 音を設定する
    - 1 充電開始と完了時の音を設定する
    - 2 電池残量の警告音を設定する
    - 3 イヤホンマイク利用時の切替を設定する
    - 4 通話状態が悪い時に音で知らせる
    - 5 再接続した時の音を選ぶ
    - 6 保存した曲の詳細を設定する
  - 5 メールの詳細を設定する
    - 1 問合せ内容を選ぶ
    - 2 添付の画像を受信する
    - 3 添付のメロディを受信する
    - 4 添付のメロディを自動演奏する
  - 6 メッセージの詳細を設定する
    - 1 メッセージのメロディを自動演奏する
    - 2 未読メッセージを自動で表示する

キリトリ線

キリトリ線

9 詳細な設定		
	7 ｉモードの詳細を設定する	
		1 問合せ内容を選ぶ
		2 文字の大きさを選ぶ
		3 画像表示・照明を設定する
		4 ｉモーションの再生を設定する
		5 接続までの待ち時間を設定する
		6 接続先番号を設定する
		7 証明書の表示と使用を設定する
		8 ユーザ証明書を操作する
		9 証明書の発行先を変更する
	8 情報の表示やリセットを行う	
		1 通話時間を見る
		2 通話料金を見る
		3 通話時間をリセットする
		4 通話料金をリセットする
		5 電池残量を確認する
		6 設定を初めの状態に戻す
		7 本体内データを全て削除する
	9 操作の制限をする	
		1 全ての操作を制限する
		2 セルフモードを設定する
		3 シークレットモードに設定する
		4 履歴の表示を制限する
		5 個人の情報表示を制限する
		6 暗証番号を変更する

9 詳細な設定		
	9 操作の制限をする	
		7 FOMAカードのPINコードを設定する
		8 ダイヤル入力での発信を制限する
	0 決めた時刻に電源を入／切する	
		1 電源が入る時刻を設定する
		2 電源が切れる時刻を設定する
0 自分の電話番号を見る		

総合お問い合わせ先〈DoCoMoインフォメーションセンター〉

取扱説明書に不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

ドコモの携帯電話、PHSからの場合（局番なしの）
151（無料）
※一般電話などからはご利用になれません。

一般電話などからの場合
0120-800-000
※携帯電話、PHS からもご利用になれます。

故障お問い合わせ先

故障、異常かなと思われたら、下記までお問い合わせください。

ドコモの携帯電話、PHSからの場合（局番なしの）
113（無料）
※一般電話などからはご利用になれません。

一般電話などからの場合
0120-800-000
※携帯電話、PHS からもご利用になれます。

• ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようおかけください。

メモ

F883iに登録した内容は忘れないようにメモしておきましょう。

●ワンタッチダイヤルの①〜③

①	名前： 電話番号： メールアドレス：
②	名前： 電話番号： メールアドレス：
③	名前： 電話番号： メールアドレス：

●ご自分の電話番号

●ご自分のメールアドレス

@docomo.ne.jp

マナーもいっしょに携帯しましょう

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■使用禁止の場所にいる場合

航空機内、病院内では、必ずFOMA端末の電源を切ってください。

※ 医用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではありません。ロビーや待合室などでも、必ず電源を切ってください。

■満員電車の中など、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性がある場合

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器に悪影響を与えるおそれがあります。

こんな場合は公共モードに設定しましょう

■運転中の場合

FOMA端末のご使用は、安全な走行の妨げとなり危険です。

※ 車を安全な所に停車させてからご使用になるか、公共モードをご利用ください。

■劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合

静かにすべき公共の場所でFOMA端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■レストランやホテルのロビーなどの静かな場所で FOMA 端末を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。

■街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、FOMA端末から鳴る音をすべて消す設定など、便利な機能があります。

●公共モード（ドライブモード／電源OFF）

電話をかけてきた相手に運転中もしくは通話を控える必要のあるような所（電車、バス、映画館等）にいるため、電話に出られない旨のガイダンスを流し、通話を切ります。→P74

●伝言メモ

電話に出られない場合に、電話をかけてきた相手の用件を録音します。→P77

●バイブレータ

電話がかかってきたことを、振動でお知らせします。→P131

●マナーモード

キー確認音や着信音などFOMA端末から鳴る音をすべて消します。→P135

マナーもいっしょに携帯しましょう。

◯公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

「ドコモeサイト」では住所変更、料金プラン変更などの各種お手続き、資料請求を承っております。

iモードから　iMenu ⇒ 料金＆お申込・設定 ⇒ 各種手続き（ドコモeサイト）　パケット通信料無料

パソコンから　My DoCoMo（http://www.mydocomo.com/）⇒ 各種手続き（ドコモeサイト）

※ iモードからご利用になる場合、「ネットワーク暗証番号」が必要となります。
※ iモードからご利用になる場合のパケット通信料は無料です。海外からのアクセスの場合は有料となります。
※ パソコンからご利用になる場合、「DoCoMo ID／パスワード」が必要となります。
※「ネットワーク暗証番号」および「DoCoMo ID／パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は、下記総合お問い合わせ先にご相談ください。
※ ご契約内容によりご利用になれない場合があります。
※ システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

総合お問い合わせ先〈DoCoMo インフォメーションセンター〉

■ ドコモの携帯電話、PHSからの場合

（局番なしの）151（無料）

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※携帯電話、PHSからもご利用になれます。

●ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

故障お問い合わせ先

■ ドコモの携帯電話、PHSからの場合

（局番なしの）113（無料）

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※携帯電話、PHSからもご利用になれます。

●ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
●なお、詳しくはFOMA端末などに添付の「全国サービスステーション一覧」でご確認ください。

ドコモ「あんしん」ミッション
みんなが、安心を、携帯できる世の中へ。

販売元　NTT DoCoMo グループ

株式会社NTTドコモ北海道
株式会社NTTドコモ東北
株式会社NTTドコモ
株式会社NTTドコモ東海
株式会社NTTドコモ北陸
株式会社NTTドコモ関西
株式会社NTTドコモ中国
株式会社NTTドコモ四国
株式会社NTTドコモ九州

製造元 富士通株式会社

・「音声読み上げ機能」により、視覚に頼らずにメニュー操作が行えたり、メール・iモードが利用できます。
・「ワンタッチダイヤル機能」により、ボタンひとつで電話がかけられます。

環境保全のため、不要になった電池はNTT DoCoMoまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。

大豆油インキを使用しています。

R20 古紙パルプ配合率20％再生紙を使用

適切に管理された森林の植林木80％利用しています

’07.7（3.1版）
CA92002-5070

FOMA® F883i
データ通信マニュアル

■ データ通信マニュアルについて
本マニュアルでは、FOMA F883iでデータ通信をする際に必要な事項についての説明をはじめ、CD-ROM内の「F883i通信設定ファイル（ドライバ）」「FOMA PC設定ソフト」のインストール方法などを説明しています。

■ Windows XPの操作について
本マニュアルは、Windows XP Service Pack 2 に対応した内容となっております。お使いの環境によっては操作手順や画面が一部異なる場合があります。

'07. 3（1版）
CA92002-5074

データ通信について

別売りのFOMA USB接続ケーブルを使ってパソコンとFOMA端末を接続し、データ通信が利用できます。

利用できる通信形態

利用できる通信形態は、パケット通信、64Kデータ通信、データ転送の3つに分類されます。

● パソコンと接続してパケット通信や64Kデータ通信を行ったり、電話帳などのデータを編集したりするには、付属のCD-ROMからソフトのインストールや各種設定を行う必要があります。

● OSをアップグレードして使用されている場合の動作は保証いたしかねます。

● FOMA端末は、FAX通信やRemote Wakeupには対応しておりません。

● ドコモのPDA、museaやsigmarion Ⅱ、sigmarion Ⅲと接続してデータ通信が行えます。ただし、museaやsigmarion Ⅱをご利用の場合は、これらのアップデートが必要です。アップデートの方法などの詳細は、ドコモのホームページをご覧ください。

パケット通信

送受信したデータ量に応じて課金されるため、メールの送受信など、比較的少ないデータ量を高速でやりとりする場合に適しています。ネットワークに接続していても、データの送受信を行っていないときには通信料がかからないため、ネットワークに接続したまま必要なときにデータを送受信するという使いかたができます。
ドコモのインターネット接続サービスmopera Uやmoperaなど、FOMAのパケット通信に対応したアクセスポイントを利用して、受信最大384kbps、送信最大64kbpsの高速パケット通信ができます。通信環境や混雑状況の影響により通信速度が変化するベストエフォートによる提供です。
画像を含むホームページの閲覧やデータのダウンロードなど、データ量の多い通信を行った場合には通信料が高額になりますのでご注意ください。

64Kデータ通信

データ量に関係なく、ネットワークに接続している時間の長さに応じて課金されるため、マルチメディアコンテンツのダウンロードなど、比較的データ量の多い送受信を行う場合に適しています。
ドコモのインターネット接続サービスmopera Uやmoperaなど、FOMA 64Kデータ通信に対応したアクセスポイント、またはISDN同期64kbpsのアクセスポイントを利用して、64kbpsの安定した通信速度でデータを送受信できます。
長時間通信を行った場合には通信料が高額になりますのでご注意ください。

データ転送

電話帳やメールなどのデータを送受信する、課金が発生しない通信形態です。

ご利用になる前に

動作環境について

データ通信を利用するためのパソコンの動作環境は、次のとおりです。

項　目	必要環境
パソコン本体	USBポート（USB仕様1.1／2.0に準拠）を持つPC/AT互換機
OS（各日本語版）	Windows 2000、XP
必要メモリ※	Windows 2000：64MB以上　Windows XP ：128MB以上
ハードディスク容量※	5MB以上の空き容量

※ FOMA PC設定ソフトの動作環境です。パソコンのシステム構成によっては異なる場合があります。

● 動作環境によってはご使用になれない場合があります。

● 上記の動作環境以外でのご使用について、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

CD-ROMをパソコンにセットすると、次のような警告画面が表示される場合があります。この警告は、Internet Explorerのセキュリティの設定によって表示されますが、使用には問題ありません。［はい］をクリックしてください。
※ 画面はWindows XPを使用した場合の例です。お使いのパソコンの環境により異なる場合があります。

必要な機器について

FOMA端末とパソコン以外に、次の機器が必要です。
- 別売りのFOMA USB接続ケーブルまたはFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01
- 付属のCD-ROM「FOMA® F883i用CD-ROM」

※ USBケーブルは専用のFOMA USB接続ケーブルまたはFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01をお買い求めください。パソコン用のUSBケーブルはコネクタ部の形状が異なるため利用できません。
※ 本マニュアルでは、FOMA USB接続ケーブルでの場合を例に説明しています。

ご利用時の留意事項

インターネットサービスプロバイダの利用料について

パソコンでインターネットを利用する場合、通常ご利用になるインターネットサービスプロバイダ（以降プロバイダ）の利用料が必要です。この利用料は、FOMAサービスの利用料とは別に直接プロバイダにお支払いいただきます。利用料の詳細は、ご利用のプロバイダにお問い合わせください。

- ドコモのインターネット接続サービスmopera Uやmoperaがご利用いただけます。
  mopera Uはお申し込みが必要な有料サービスです。使用した月だけ月額使用料がかかるプランもご利用いただけます。FOMA端末でのインターネット接続には、ブロードバンド接続オプションなどに対応したmopera Uのご利用をおすすめします。
  moperaはお申し込みが不要で、月額使用料はかかりません。今すぐインターネットに接続したい方に便利なサービスです。

接続先（プロバイダなど）について

パケット通信と64Kデータ通信では接続先が異なります。パケット通信を行うときはパケット通信対応の接続先、64Kデータ通信を行うときはFOMA64Kデータ通信、またはISDN同期64kbps対応の接続先をご利用ください。

- PIAFSなどのPHS64K／32Kデータ通信やDoPaのアクセスポイントには接続できません。

ユーザー認証について

接続先によっては、接続時にユーザー認証が必要な場合があります。その場合は、通信ソフトまたはダイヤルアップネットワークでIDとパスワードを入力してください。IDとパスワードはプロバイダまたは社内LANなど接続先のネットワーク管理者から付与されます。詳細はプロバイダまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。

パソコンのブラウザを利用してのアクセス認証について

パソコンのブラウザを利用してのアクセス認証でFirstPass（ユーザ証明書）が必要な場合は、付属のCD-ROMからFirstPass PCソフトをインストールし、設定してください。詳細は付属のCD-ROM内の「FirstPassManual」をご覧ください。

パケット通信および64Kデータ通信の条件

FOMA端末で通信を行うには、次の条件が必要です。
- FOMAサービスエリア内であること
- パケット通信の場合、アクセスポイントがFOMAのパケット通信に対応していること
- 64Kデータ通信の場合、接続先がFOMA64Kデータ通信、またはISDN同期64kbpsに対応していること

※上記の条件が整っていても、基地局が混雑していたり、電波状況が悪かったりするときは通信できない場合があります。

データ通信の準備の流れ

パケット通信および64Kデータ通信を利用する場合の準備について説明します。

通信設定ファイル（ドライバ）について

パソコンに接続してパケット通信または64Kデータ通信を行うには、通信設定ファイルをインストールする必要があります。

FOMA PC設定ソフトについて

付属のCD-ROMからFOMA PC設定ソフトをパソコンにインストールすると、パケット通信または64Kデータ通信を行うために必要なさまざまな設定を、パソコンから簡単な操作で設定できます。

インストール／アンインストール前の注意点

- 通信設定ファイルやFOMA PC設定ソフトのインストール／アンインストールを行う場合は、必ずパソコンの管理者権限を持ったユーザーで行ってください。それ以外のユーザーで行うとエラーになります。パソコンの管理者権限の設定操作については、各パソコンメーカやマイクロソフト社にお問い合わせください。
- 操作を始める前に他のプログラムが稼動中でないことを確認し、稼動中のプログラムがある場合は終了してください。
- パソコンの操作方法、管理者権限の設定などについては、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

■ データ通信の用語集

- **APN（Access Point Name）**
  パケット通信で接続するプロバイダなどを識別する文字列。たとえば、mopera Uは「mopera.net」がAPNとなります。
- **cid（Context Identifier）**
  FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号。FOMA端末では1から10までの10件が使えます。
- **DNS（Domain Name System）**
  ドメインネーム（例：nttdocomo.co.jp）を、コンピュータで使うIPアドレスに変換するシステムのことです。
- **OBEX（Object Exchange）**
  データ通信の国際規格の1つ。OBEXに対応している携帯電話、パソコン、デジタルカメラ、プリンタなどの間で、データの送受信ができます。
- **QoS（Quality of Service）**
  サービスの品質。通信時にユーザーの意図どおりに、回線を利用するための技術。FOMA端末では、接続するときの通信速度などを設定できます。
- **W-TCP**
  FOMAネットワークでパケット通信を行う際に、TCP/IPの伝送能力を最大限に生かすためのTCPパラメータ。FOMA端末の通信性能を最大限に活用するには、この通信設定が必要です。
- **管理者権限**
  OSのシステムなどすべてにアクセスできる権限のこと。1台のパソコンに最低1人は、パソコンの管理者権限を持つユーザーが設定されています。通常、パソコンの管理者権限がないユーザーは、ドライバやソフトなどのインストール／アンインストールができません。

パソコンとFOMA端末を接続する

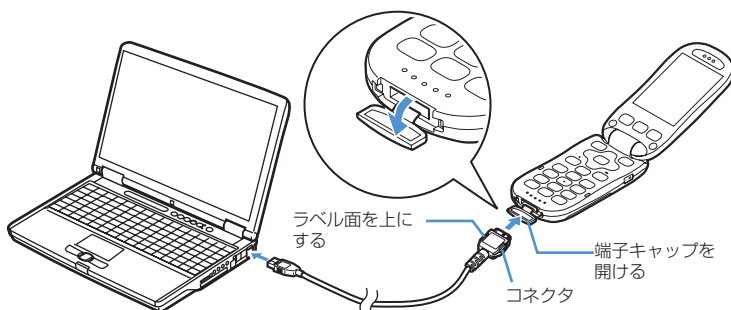
● パソコンとFOMA端末は、電源が入っている状態で接続してください。
● 初めてパソコンに接続する場合は、あらかじめ通信設定ファイル（ドライバ）をインストールしてください。→P6

FOMA USB接続ケーブルで接続する

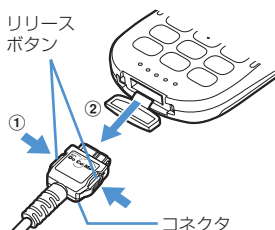
● FOMA USB接続ケーブルは別売りです。

1 **FOMA USB接続ケーブルのコネクタをFOMA端末の外部接続端子に差し込む**

2 **FOMA USB接続ケーブルのパソコン側をパソコンのUSBポートに差し込む**

- 通信設定ファイルのインストール前にパソコンに接続した場合は、FOMA USB接続ケーブルが差し込まれたことを自動的に認識してドライバが要求され、ウィザード画面が表示されます。その場合は、FOMA端末を取り外し、ウィザード画面で［キャンセル］をクリックして終了してください。

- パソコンとFOMA端末が接続されると、FOMA端末の待受画面にが表示されます。

取り外しかた

1 **FOMA USB接続ケーブルのコネクタのリリースボタンを押し（①）、FOMA端末から引き抜く（②）**

2 **パソコンからFOMA USB接続ケーブルを引き抜く**

お知らせ

・FOMA端末からFOMA USB接続ケーブルを抜き差しする際は、コネクタ部分に無理な力がかからないように注意してください。取り外すときは、必ずリリースボタンを押しながら水平に引き抜いてください。無理に引き抜こうとすると故障の原因となります。
・データ通信中にFOMA USB接続ケーブルを外さないでください。データ通信が切断され、誤動作やデータ消失の原因となります。

通信設定ファイル（ドライバ）をインストールする

FOMA端末をパソコンに接続してデータ通信を行うには、通信設定ファイルが必要です。使用するパソコンにFOMA端末を初めて接続する前に、インストールしておきます。

通信設定ファイル（ドライバ）をインストールする

- 操作の前に、必ず「インストール／アンインストール前の注意点」をご覧ください。→P4
- 操作4までFOMA端末を接続しないでください。

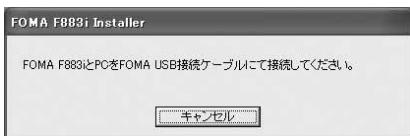
〈例〉Windows XPにインストールするとき

1 CD-ROMをパソコンにセット

- メニューが動作する推奨環境はMicrosoft Internet Explorer6.0以降です。お使いのパソコンが推奨環境を満たさないときや、CD-ROMをセットしてもメニューが表示されない場合は次の手順で操作してください。
  ①［スタート］→「ファイル名を指定して実行」を順にクリック
  ②「名前」に「＜CD-ROMドライブ名＞：¥USBDriver¥F883i_USB_Driver¥F883ist.exe」を入力して［OK］をクリックし、操作3に進む
  ※ CD-ROMドライブ名はお使いのパソコンによって異なります。

2 ［データリンクソフト・各種設定ソフト］→「FOMA通信設定ファイル(USBドライバ)」の［インストール］を順にクリックし、表示されるウィンドウから「F883ist.exe」アイコンをダブルクリック

3 ［インストール開始］をクリック

4 FOMA端末をパソコンに接続する旨のメッセージが表示されたら、FOMA端末をパソコンに接続

- FOMA端末は電源の入った状態で接続してください。

5 インストール中画面の表示後に、[OK] をクリック

お知らせ

- インストールには数分かかる場合があります。
- Windowsを再起動する旨のメッセージが表示された場合は、画面の指示に従い再起動してください。
- データ通信中にインストールを行わないでください。
- デバイスを削除する旨のメッセージが表示された場合は、[はい] を選択すると、インストールを継続します。

通信設定ファイル（ドライバ）を確認する

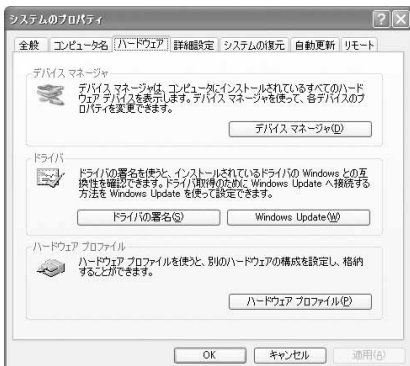
● FOMA端末がパソコンに正しく認識されていない場合、設定および通信はできません。

〈例〉Windows XPで確認するとき

1 [スタート] →「コントロールパネル」→ [パフォーマンスとメンテナンス] アイコン→ [システム] アイコンを順にクリック

■ Windows 2000のとき

[スタート] をクリック→「設定」から「コントロールパネル」をクリック→ [システム] アイコンをダブルクリック

2 [ハードウェア] タブをクリック→ [デバイス マネージャ] をクリック

3 各デバイスの種類をダブルクリック→次のデバイス名が登録されていることを確認

- デバイスの種類とデバイス名は次の通りです。
  - USB（Universal Serial Bus）コントローラ：FOMA F883i
  - ポート（COMとLPT）：FOMA F883i Command Port（COMx）※ FOMA F883i OBEX Port（COMx）※
  - モデム：FOMA F883i

  ※ xはパソコンの環境により、異なった数字が表示されます。

通信設定ファイル（ドライバ）をアンインストールする

- 操作の前に、必ず「インストール／アンインストール前の注意点」をご覧ください。→P4
- 操作の前に、パソコンからFOMA端末を取り外してください。

〈例〉Windows XP でアンインストールするとき

1 ［スタート］→「コントロールパネル」→［プログラムの追加と削除］アイコンを順にクリック

■ Windows 2000のとき

［スタート］をクリック→「設定」から「コントロールパネル」をクリック→［アプリケーションの追加と削除］アイコンをダブルクリック

2 「プログラムの追加と削除」（Windows2000の場合は「アプリケーションの追加と削除」）画面で「FOMA F883i USB」を選択して［変更と削除］をクリック

3 「FOMA F883i Uninstaller」と表示されていることを確認して［はい］をクリック

ドライバのアンインストールを開始します。

4 ドライバのアンインストール中画面の表示後に［OK］をクリック

お知らせ

- 操作2で「FOMA F883i USB」が表示されていないときは、再度「通信設定ファイル（ドライバ）をインストールする」の操作を行ったあとに、アンインストールを行ってください。→P6

FOMA PC設定ソフトを利用して通信する

FOMA PC設定ソフトを利用すると、簡単な操作で通信の設定が行えます。

FOMA PC設定ソフトについて

かんたん設定

ガイドに従い操作することで、FOMAデータ通信用ダイヤルアップの作成を行い、同時にW-TCP設定などを行います。

W-TCPの設定

パケット通信を利用する前に、パソコン内の通信設定を最適化します。通信性能を最大限に活用するには、W-TCP設定による通信設定の最適化が必要です。

接続先（APN）の設定

パケット通信を行う際に必要な接続先（APN）の設定を行います。接続先には通常の電話番号は使用しません。あらかじめ接続先ごとに、FOMA端末にAPNと呼ばれる接続先名を設定し、その登録番号（cid）を接続先電話番号の入力欄に指定して接続します。お買い上げ時、cidの1にはmoperaに接続するためのAPN「mopera.ne.jp」が、3にはmopera Uに接続するためのAPN「mopera.net」が登録されていますが、その他のプロバイダや社内LANに接続する場合はAPN設定が必要です。

FOMA PC設定ソフトをインストールする

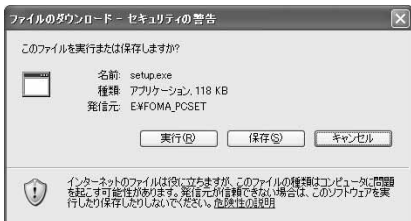
- 旧W-TCP環境設定ソフト、旧FOMAデータ通信設定ソフト、バージョンが3.0.1より前のFOMA PC設定ソフトをインストールされている場合は、あらかじめそれらのソフトをアンインストールしてください。
  FOMA PC設定ソフトのバージョンを確認するには、［スタート］をクリック→「すべてのプログラム」（Windows 2000の場合は「プログラム」）→「FOMA PC設定ソフト」を順に選択して「FOMA PC設定ソフト」をクリック→「メニュー」をクリック→「バージョン情報」をクリックします。
- 操作の前に、必ず「インストール／アンインストール前の注意点」をご覧ください。→P4

〈例〉Windows XPにインストールするとき

1 CD-ROMをパソコンにセット

- メニューが動作する推奨環境はMicrosoft Internet Explorer6.0以降です。お使いのパソコンが推奨環境を満たさないときや、CD-ROMをセットしてもメニューが表示されない場合は次の手順で操作してください。
  ①［スタート］→「ファイル名を指定して実行」を順にクリック
  ②「名前」に「<CD-ROMドライブ名>：¥FOMA_PCSET¥setup.exe」を入力して［OK］をクリックし、操作3に進む
  ※ CD-ROMドライブ名はお使いのパソコンによって異なります。

2 ［データリンクソフト・各種設定ソフト］→「FOMA PC設定ソフト」の［インストール］を順にクリック

- ［インストール］をクリックすると、次のような警告画面が表示される場合があります。この警告は、Internet Explorerのセキュリティの設定によって表示されますが、使用には問題ありません。［実行］または［実行する］をクリックしてください。
  ※ 画面はお使いの環境によって異なる場合があります。

3 「FOMA PC設定ソフト セットアップへようこそ」画面で［次へ］をクリック

4 「使用許諾契約」画面で内容を確認の上、契約内容に同意する場合は［はい］をクリック

- ［いいえ］をクリックすると、インストールを中止します。

5 「セットアップタイプ」画面で「タスクトレイに常駐する」が選択されていることを確認して［次へ］をクリック

セットアップ後、タスクトレイに「W-TCP設定」が常駐します。→P22

- W-TCP通信の最適化の設定、解除を操作する機能です。常駐をおすすめします。
- インストール後に常駐の設定は変更できます。

6 「インストール先の選択」画面でインストール先を確認して［次へ］をクリック

- 変更する場合は［参照］をクリックし、任意のインストール先を指定して［OK］をクリックします。

7 「プログラム フォルダ」のフォルダ名を確認して［次へ］をクリック

- 変更する場合はフォルダ名を入力し、［次へ］をクリックします。

8 ［完了］をクリック

FOMA PC設定ソフトが起動します。このまま各種設定に進みます。

お知らせ

- 旧W-TCP環境設定ソフト、旧FOMAデータ通信設定ソフト、FOMA PC設定ソフトがインストールされている場合は、インストールを中断する旨のメッセージが表示されます。［OK］をクリックし、プログラムの追加と削除またはアプリケーションの追加と削除から、これらのソフトをアンインストールしてください。
- インストールの途中で［キャンセル］や［いいえ］をクリックした場合は、インストールを中断する確認画面が表示されます。インストールを継続する場合は［いいえ］をクリックしてください。中断する場合は［はい］をクリックし、［完了］をクリックしてください。

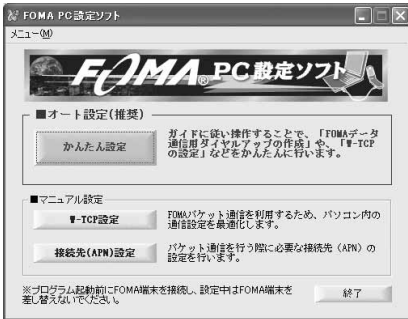
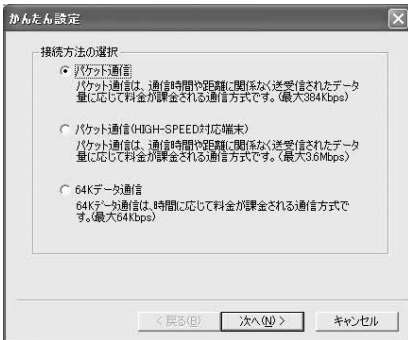
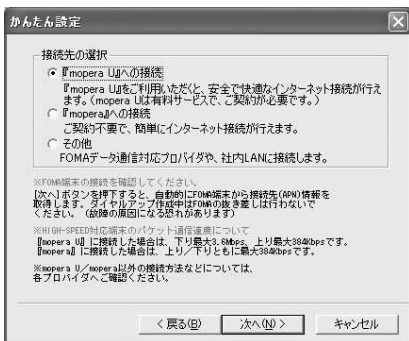
かんたん設定でパケット通信を設定する

FOMA PC設定ソフトのかんたん設定では、表示される内容に従って選択や入力を進めていくと、簡単にFOMA用ダイヤルアップを作成できます。

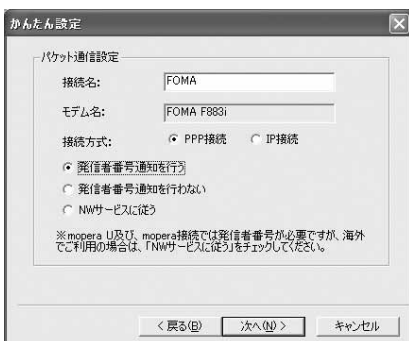
● 操作の前に、必ずパソコンとFOMA端末が正しく接続されていることを確認してください。→P5

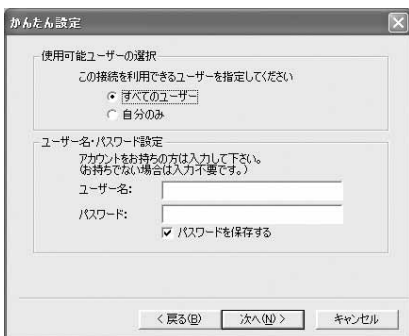
mopera U／moperaを利用する場合

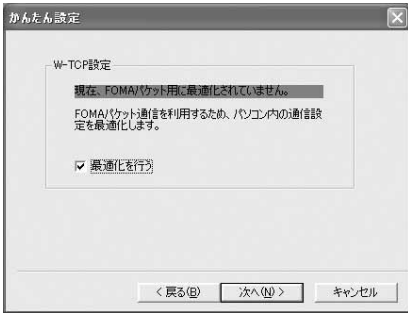
〈例〉Windows XPで設定するとき

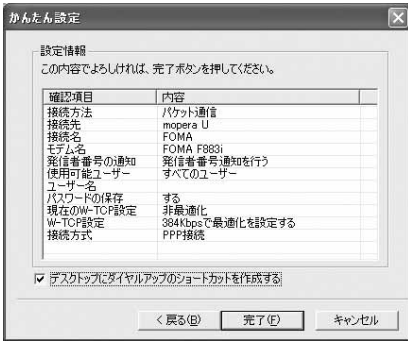
1 ［スタート］をクリック→「すべてのプログラム」（Windows 2000の場合は「プログラム」）→「FOMA PC設定ソフト」を順に選択して「FOMA PC設定ソフト」をクリック→［かんたん設定］をクリック

2 「パケット通信」を選択して［次へ］をクリック

3 「『mopera U』への接続」または「『mopera』への接続」を選択して［次へ］をクリック

- 「『mopera U』への接続」を選択して［次へ］をクリックすると、ご契約の確認メッセージが表示されます。ご契約がお済みの場合、［はい］をクリックします。

4 「FOMA端末設定取得」画面で［OK］をクリック

5 「接続名」に任意の接続名を入力→「PPP接続」を選択→「発信者番号通知を行う」を選択→［次へ］をクリック

- 「接続名」の先頭に．（半角文字）は使用できません。また、次の記号（半角文字）は使用できません。
¥/:＊?!<>｜”
- mopera UはPPP接続、IP接続ともに対応しております。moperaはPPP接続のみに対応しております。ただし、本FOMA端末は、IP接続には対応していません。

6 「使用可能ユーザーの選択」を設定して［次へ］をクリック

- 「ユーザー名」「パスワード」は空欄でもかまいません。

7　「最適化を行う」が選択されていることを確認して［次へ］をクリック

- すでに最適化されている場合、この画面は表示されません。

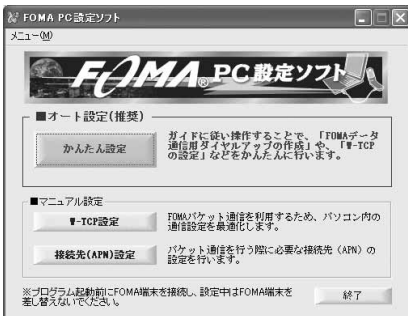
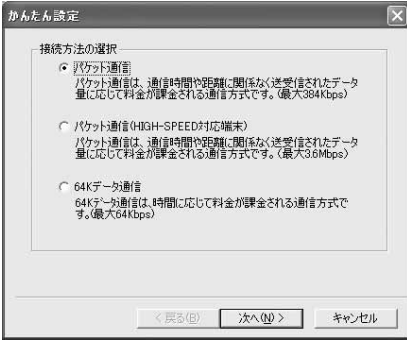
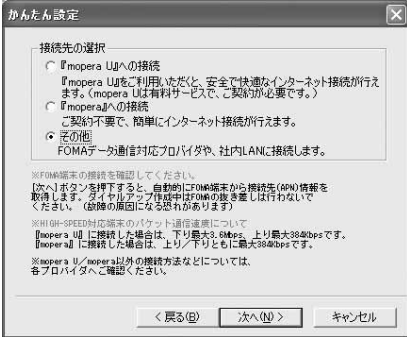
8　「設定情報」を確認して［完了］をクリック

9　［OK］をクリック

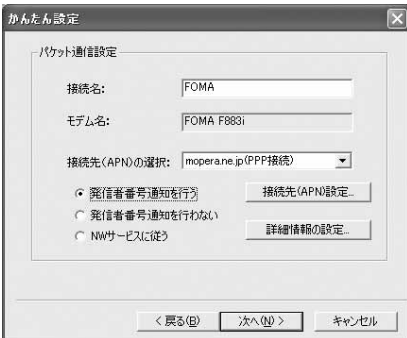
設定した内容によっては、パソコンを再起動する必要があります。再起動する旨のメッセージが表示された場合は［はい］をクリックしてください。

通信を実行する→P21

その他のプロバイダを利用する場合

〈例〉Windows XPで設定するとき

1　［スタート］をクリック→「すべてのプログラム」（Windows 2000の場合は「プログラム」）→「FOMA PC設定ソフト」を順に選択して「FOMA PC設定ソフト」をクリック→［かんたん設定］をクリック

2 「パケット通信」を選択して［次へ］をクリック

3 「その他」を選択して「次へ」をクリック

4 「FOMA端末設定取得」画面で［OK］をクリック

5 「接続名」に任意の接続名を入力→［接続先（APN）設定］をクリック

- 発信者番号通知の設定については、プロバイダなどから提供された各種情報に従ってください。
- 「発信者番号通知を行う」を選択すると、通信実行時に発信者番号を通知します。
- 「接続名」の先頭に．（半角文字）は使用できません。また、次の記号（半角文字）は使用できません。
  ￥/:＊?!<> | ”
- プロバイダなどからIPおよびDNS情報の設定が指示されている場合は、［詳細情報の設定］をクリックし、各種情報を登録してください。

6 ［追加］をクリック

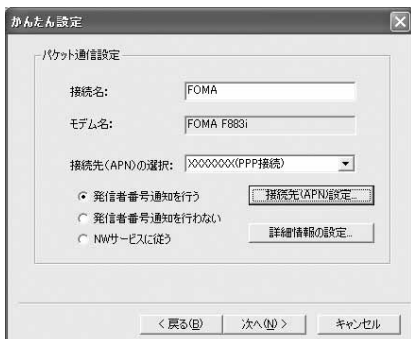
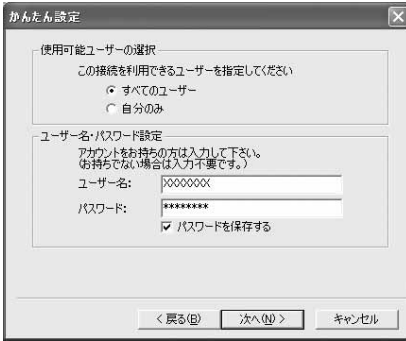
番号（cid）1にはmoperaに接続するためのAPN「mopera.ne.jp」が、3にはmopera Uに接続するためのAPN「mopera.net」が設定されています。番号（cid）2または4～10に接続先（APN）を設定してください。

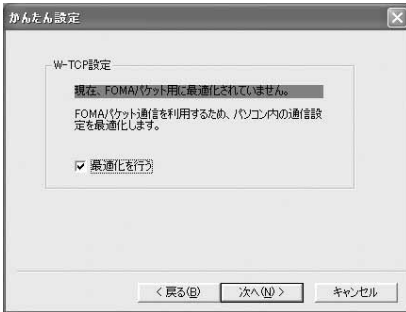
7 「接続先（APN）」にプロバイダなどのFOMAパケット網に対応した接続先（APN）を正しく入力→「PPP接続」を選択→［OK］をクリック

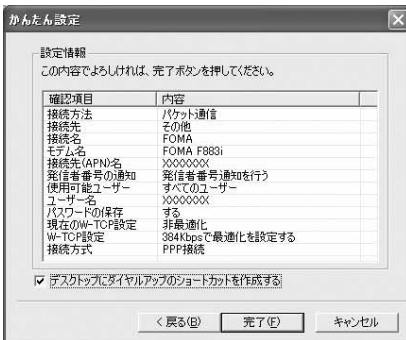
- 「接続先（APN）」には半角文字で、英数字、ハイフン（ - ）、ピリオド（ . ）のみ使用できます。
- 本FOMA端末は、IP接続には対応していません。

8 ［OK］をクリック

9 「接続先（APN）の選択」の接続先名を確認して［次へ］をクリック

「接続先（APN）の選択」には、操作6で設定した「接続先（APN）」と「接続方式」が表示されます。

10 「使用可能ユーザーの選択」を設定→「ユーザー名」を入力→「パスワード」を入力→［次へ］をクリック

- 「ユーザー名」「パスワード」には、プロバイダなどから提供された各種情報を、大文字、小文字などに注意し、正しく入力してください。

11 「最適化を行う」が選択されていることを確認して［次へ］をクリック

- すでに最適化されている場合、この画面は表示されません。

12 「設定情報」を確認して［完了］をクリック

13 ［OK］をクリック

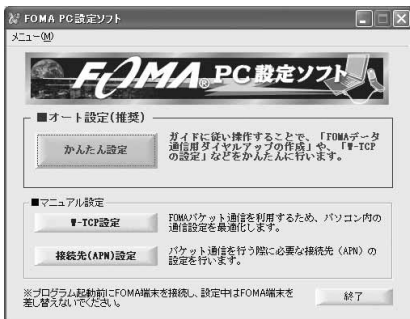
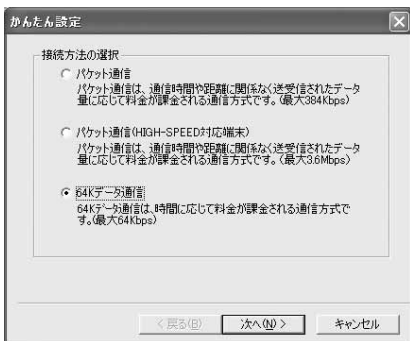
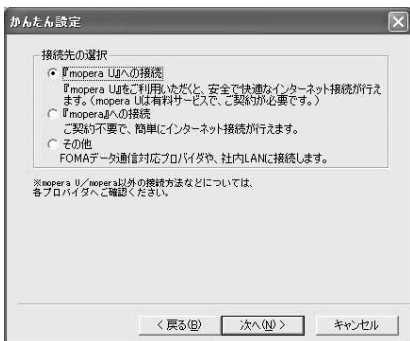
設定した内容によっては、パソコンを再起動する必要があります。再起動する旨のメッセージが表示された場合は［はい］をクリックしてください。

通信を実行する→P21

かんたん設定で64Kデータ通信を設定する

mopera U／moperaを利用する場合

〈例〉Windows XPで設定するとき

1 ［スタート］をクリック→「すべてのプログラム」（Windows 2000の場合は「プログラム」）→「FOMA PC設定ソフト」を順に選択して「FOMA PC設定ソフト」をクリック→［かんたん設定］をクリック

2 「64Kデータ通信」を選択して「次へ」をクリック

3 「『mopera U』への接続」または「『mopera』への接続」を選択して［次へ］をクリック

- 「『mopera U』への接続」を選択して［次へ］をクリックすると、ご契約の確認メッセージが表示されます。ご契約がお済みの場合、［はい］をクリックします。

4 「接続名」に任意の接続名を入力→「モデムの選択」が「FOMA F883i」に設定されていることを確認→「発信者番号通知を行う」を選択→［次へ］をクリック

- 「接続名」の先頭に .（半角文字）は使用できません。また、次の記号（半角文字）は使用できません。
  ¥/:＊?!<> | ”

5 「使用可能ユーザーの選択」を設定して［次へ］をクリック

- 「ユーザー名」「パスワード」は空欄でもかまいません。

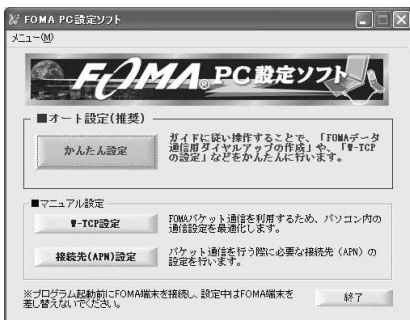
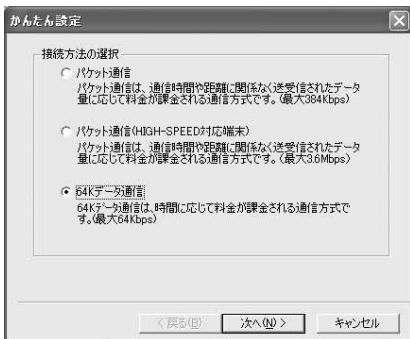
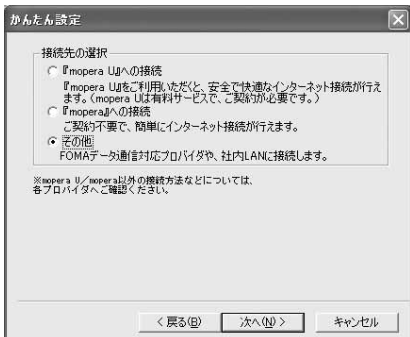
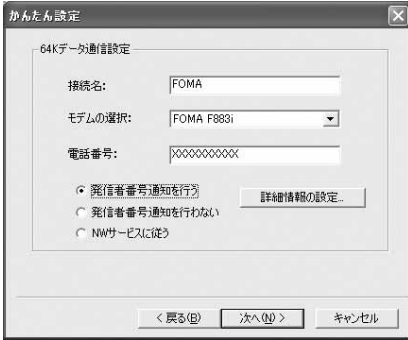
6 「設定情報」を確認して［完了］をクリック

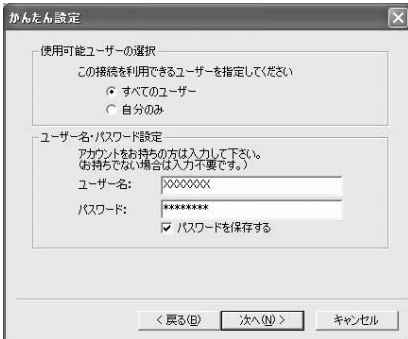
7 ［OK］をクリック

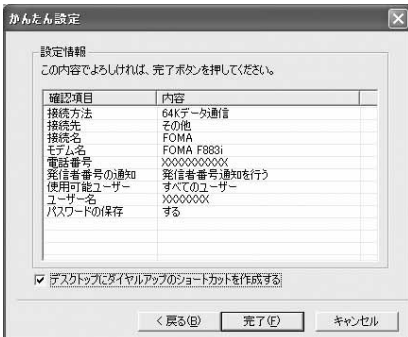
通信を実行する→P21

その他のプロバイダを利用する場合

〈例〉Windows XPで設定するとき

1 ［スタート］をクリック→「すべてのプログラム」（Windows 2000の場合は「プログラム」）→「FOMA PC設定ソフト」を順に選択して「FOMA PC設定ソフト」をクリック→［かんたん設定］をクリック

2 「64Kデータ通信」を選択して「次へ」をクリック

3 「その他」を選択して「次へ」をクリック

4 「接続名」に任意の接続名を入力→「モデムの選択」が「FOMA F883i」に設定されていることを確認→「電話番号」に接続先の電話番号を半角で入力→［次へ］をクリック

- 「接続名」の先頭に .（半角文字）は使用できません。また、次の記号（半角文字）は使用できません。
  ¥/:＊?!<> | ”
- 「電話番号」はプロバイダなどから提供された情報を基に正しく入力してください。次の文字（半角文字）と半角空白が使用できます。
  0123456789ABCDPTWabcdptw!@$-.( )+＊#,&
- 発信者番号通知の設定については、プロバイダなどから提供された各種情報に従ってください。
- 「発信者番号通知を行う」を選択すると、通信実行時に発信者番号を通知します。
- プロバイダなどからIPおよびDNS情報の設定が指示されている場合は、［詳細情報の設定］をクリックし、各種情報を登録してください。

5 「使用可能ユーザーの選択」を設定→「ユーザー名」を入力→「パスワード」を入力→［次へ］をクリック

- 「ユーザー名」「パスワード」には、プロバイダなどから提供された各種情報を、大文字、小文字などに注意し、正しく入力してください。

6 「設定情報」を確認して［完了］をクリック

7 ［OK］をクリック

通信を実行する→P21

通信を実行する

通信の実行や切断について説明します。

〈例〉Windows XPで実行するとき

1 パソコンとFOMA端末を接続

接続方法→P5

2 デスクトップの接続アイコンをダブルクリック

- 設定中に「デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する」を選択しなかった場合や、Windows 2000でFOMA PC設定ソフトを利用せずに通信設定を行った場合は、接続アイコンは作成されません。次のスタートメニューからの接続方法を利用してください。

■ Windows XPのスタートメニューから接続するとき

［スタート］をクリック→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」を順に選択して「ネットワーク接続」をクリック→接続アイコンをダブルクリック

■ Windows 2000のスタートメニューから接続するとき

［スタート］をクリック→「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」を順に選択して「ネットワークとダイヤルアップ接続」をクリック→接続アイコンをダブルクリック

3 「ユーザー名」を入力→「パスワード」を入力→［ダイヤル］をクリック

- mopera Uまたはmoperaを利用する場合、「ユーザー名」「パスワード」は空欄でもかまいません。
- 設定中に「ユーザー名」の入力や「パスワード」の保存をした場合、入力は不要です。
- 接続完了画面が表示された場合は［OK］をクリックしてください。

お知らせ

- FOMA 端末には、パケット通信を実行すると発信中画面が、64K データ通信を実行すると呼出中画面が表示され、接続すると次の画面が表示されます。

パケット通信のとき　　64Kデータ通信のとき

- パソコンに表示される通信速度は、実際の通信速度とは異なる場合があります。
- 通信を実行する場合、アイコン作成時のFOMA端末を接続した場合のみ有効です。

通信を切断する

パソコンのブラウザを終了しただけでは切断されない場合があります。確実に切断するには、次の操作を行ってください。

〈例〉Windows XPで通信を切断するとき

1 タスクトレイの をクリック→［切断］をクリック

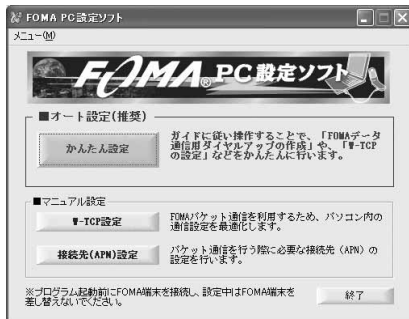
パケット通信の設定を最適化する<W-TCP設定>

W-TCP設定とは、FOMAネットワークでパケット通信を行う際にTCP/IPの伝送能力を最適化するためのTCPパラメータ設定ツールです。FOMA端末の通信性能を最大限に活用するには、この設定が必要です。
W-TCP設定を利用してパソコンのパケット通信の設定をFOMAネットワーク用に最適化する方法と、最適化を解除する方法について説明します。

Windows XPでの最適化の設定と解除

Windows XPの場合は、ダイヤルアップごとに最適化できます。

1 ［スタート］をクリック→「すべてのプログラム」→「FOMA PC設定ソフト」を順に選択して「FOMA PC設定ソフト」をクリック→［W-TCP設定］をクリック

■ タスクトレイからW-TCP設定を起動するとき
タスクトレイの をクリック

2 次の操作を行う

■ システム設定が最適化されていないとき

①「W-TCP設定」画面で［最適化を行う］をクリック

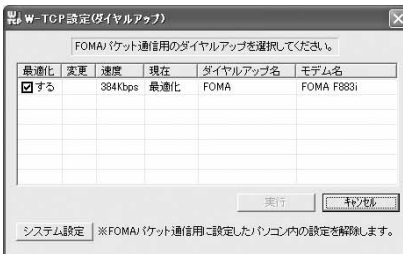
- 通信速度が「384Kbps」に設定されていることを確認します。

②最適化するダイヤルアップを選択して［実行］をクリック

③［OK］をクリック

システム設定、ダイヤルアップ設定それぞれの最適化が実行されます。

■ システム設定が最適化されているとき

内容を変更する場合は設定を行ってください。

■ 最適化を解除するとき

- 64Kデータ通信を行う場合や、FOMA端末以外で通信を行う場合に解除します。

①「W-TCP設定（ダイヤルアップ）」画面で解除するダイヤルアップの「最適化」欄の ☑ をクリック

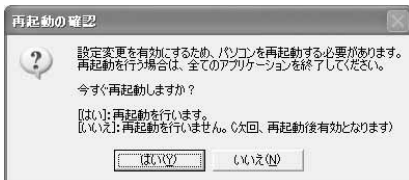
- 「最適化」欄の「する」が非選択（□）になったことを確認します。

②［システム設定］→［はい］→［OK］を順にクリック

③［最適化を解除する］をクリック

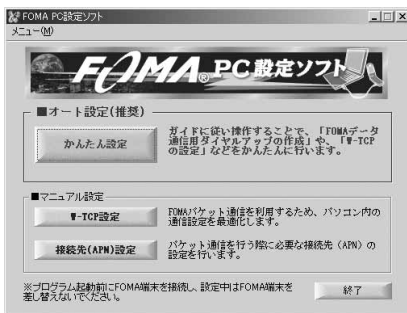
- 通信速度が「384Kbps」に設定されていることを確認します。

④［OK］をクリック

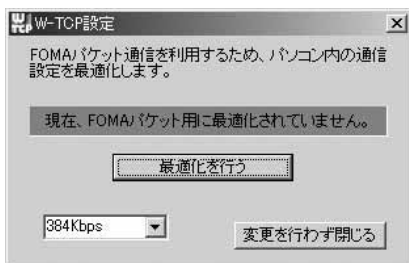
3 画面に従ってパソコンを再起動

Windows 2000での最適化の設定と解除

1 ［スタート］をクリック→「プログラム」→「FOMA PC設定ソフト」を順に選択して「FOMA PC設定ソフト」をクリック→［W-TCP設定］をクリック

■ タスクトレイからW-TCP設定を起動するとき

タスクトレイの をクリック

2 次の操作を行う

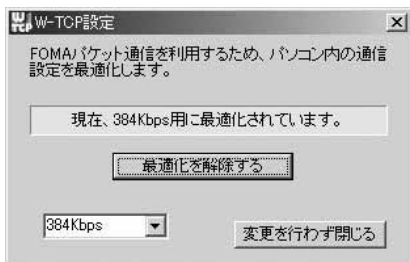
■ システム設定が最適化されていないとき

①［最適化を行う］をクリック

- 通信速度が「384Kbps」に設定されていることを確認します。

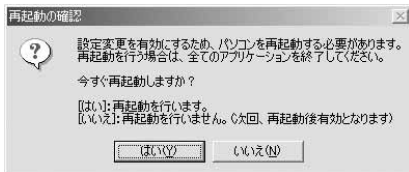
②［OK］をクリック

■ システム設定が最適化されているとき

• 64Kデータ通信を行う場合や、FOMA端末以外で通信を行う場合などに解除します。

① [最適化を解除する] をクリック

• 通信速度が「384Kbps」に設定されていることを確認します。

② [OK] をクリック

3 画面に従ってパソコンを再起動

接続先（APN）を設定する

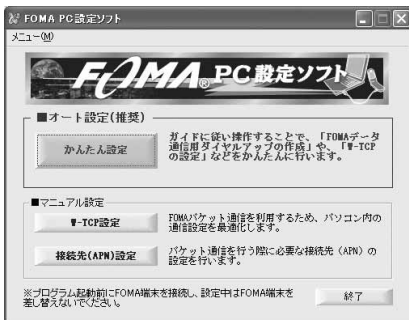
パケット通信を行う場合の接続先（APN）を設定します。

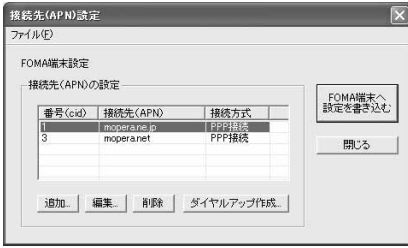
● 操作の前に、必ずパソコンとFOMA端末が正しく接続されていることを確認してください。→P5

● 接続先（APN）は、FOMA端末の登録番号（cid）1～10に設定できます。お買い上げ時、cidの1にはmoperaに接続するためのAPN「mopera.ne.jp」が、3にはmopera Uに接続するためのAPN「mopera.net」が設定されています。その他のプロバイダや社内LANに接続する場合は、cid2または4～10にAPNを設定します。

● 接続先（APN）については、プロバイダまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。

〈例〉Windows XPで設定するとき

1 [スタート] をクリック→「すべてのプログラム」（Windows 2000の場合は「プログラム」）→「FOMA PC設定ソフト」を順に選択して「FOMA PC設定ソフト」をクリック→ [接続先（APN）設定] をクリック

2 「FOMA端末設定取得」画面で [OK] をクリック

3 接続先（APN）の設定を行う

■ 接続先（APN）を追加するとき

［追加］をクリック

■ 登録済みの接続先（APN）を編集・修正するとき

編集・修正する接続先（APN）を選択して［編集］をクリック

■ 登録済みの接続先（APN）を削除するとき

削除する接続先（APN）を選択して［削除］をクリック

- 番号（cid）の1と3に登録されている接続先（APN）は削除できません。［削除］をクリックしてFOMA端末に設定を書き込んだ場合でも、実際には削除されず元の設定に戻ります。

■ ファイルへ保存するとき

「ファイル」をクリック→「名前を付けて保存」または「上書き保存」をクリック

- FOMA端末に登録された接続先（APN）設定のバックアップを取ったり、編集中の接続先（APN）設定を保存するときに利用します。

■ ファイルから読み込むとき

「ファイル」をクリック→「開く」をクリック

- パソコンに保存された接続先（APN）設定を再編集したり、FOMA端末に書き込みをしたりするときに利用します。

■ FOMA端末から接続先（APN）情報を読み込むとき

「ファイル」をクリック→「FOMA端末から設定を取得」をクリック

- FOMA端末に手動でアクセスし、登録された接続先（APN）設定を読み込みます。

■ FOMA端末に接続先（APN）情報を書き込むとき

［FOMA端末へ設定を書き込む］をクリック

- 表示されている接続先（APN）設定がFOMA端末に書き込まれます。
- 上書きの確認画面が表示された場合は［はい］をクリックしてください。

■ ダイヤルアップを作成するとき

①追加、編集した接続先（APN）を選択して［ダイヤルアップ作成］をクリック

「FOMA端末設定書き込み」画面が表示されます。

②［はい］をクリック→［OK］をクリック

「パケット通信用ダイヤルアップの作成」画面が表示されます。

③「接続名」に任意の接続名を入力→［アカウント・パスワードの設定］をクリック

- 「接続名」の先頭に.（半角文字）は使用できません。また、次の記号（半角文字）は使用できません。
  ￥/:＊?!<>｜”
- 発信者番号通知の設定については、プロバイダなどから提供された各種情報に従ってください。
- 「発信者番号通知を行う」を選択すると、通信実行時に発信者番号を通知します。
- mopera Uまたはmoperaを利用する場合、［アカウント・パスワードの設定］はしなくてもかまいません。その場合は操作⑤に進みます。

④「使用可能ユーザーの選択」を設定→「ユーザー名」を入力→「パスワード」を入力→［OK］をクリック

- プロバイダなどからIPおよびDNS情報の設定が指示されている場合は、「パケット通信用ダイヤルアップの作成」画面で［詳細情報の設定］をクリックし、各種情報を登録後、［OK］をクリックしてください。

⑤［OK］をクリック→［OK］をクリック

お知らせ

・追加や編集をするときは「接続方式」を「PPP接続」に設定してください。「IP接続」を選択すると、FOMA端末へ設定を書き込めません。
・接続先（APN）設定はFOMA端末に登録される情報のため、異なるFOMA端末（故障修理により交換された端末など）を接続する場合は、APNを登録し直してください。
・パソコンに登録されている接続先（APN）を継続利用する場合は、同じAPNの登録番号（cid）をFOMA端末に登録してください。

FOMA PC設定ソフトをアンインストールする

● 操作の前に、必ず「インストール／アンインストール前の注意点」をご覧ください。→P4

アンインストールを実行する前に

タスクトレイにが表示されている場合は、を右クリックし、「終了」をクリックして、W-TCP設定の常駐を解除してください。

アンインストールする

〈例〉Windows XPでアンインストールするとき

1 ［スタート］→「コントロールパネル」→［プログラムの追加と削除］アイコンを順にクリック

■ Windows 2000のとき
［スタート］をクリック→「設定」から「コントロールパネル」をクリック→［アプリケーションの追加と削除］アイコンをダブルクリック

2 「NTT DoCoMo FOMA PC設定ソフト」を選択して［削除］をクリック

3 「FOMA PC設定ソフトセットアップ」と表示されていることを確認して［はい］をクリック

FOMA PC設定ソフトのアンインストールを開始します。

■ 最適化されている場合に解除するとき
解除するかどうかの確認画面で［はい］をクリック→「再起動の確認」画面で今すぐ再起動するかどうかを設定→［完了］をクリック
・最適化の解除はパソコンの再起動後に行われます。

4 ［完了］をクリック

FOMA PC設定ソフトを利用しないで通信の設定をする

FOMA PC設定ソフトを使わずに、ダイヤルアップ接続の設定を行う方法について説明します。

ダイヤルアップネットワークの設定の流れ

データ通信の準備の流れ→P3

パケット通信の接続先（APN）を設定する→P28
※ 64Kデータ通信の場合と、パケット通信で接続先がmopera Uまたはmoperaの場合、設定は不要です。

発信者番号の通知／非通知を設定する→P30
※ 必要に応じて設定してください。

ダイヤルアップネットワークの設定をする

ご使用のOS	Windows XP	Windows 2000
接続先の設定	P32	P36
TCP/IP設定	P34	P39

※ 設定内容の詳細については、プロバイダやネットワーク管理者にお問い合わせください。

パケット通信の接続先（APN）を設定する

接続先（APN）と登録番号（cid）について

パケット通信の接続先（APN）は、FOMA端末の登録番号（cid）1～10に設定できます。お買い上げ時、cidの1にはmoperaに接続するためのAPN「mopera.ne.jp」が、3にはmopera Uに接続するためのAPN「mopera.net」が登録されています。その他のプロバイダや社内LANに接続する場合は、cid2または4～10にAPNを登録します。

- 接続先（APN）については、プロバイダまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。
- 接続先の設定は、パケット通信用の電話帳登録として考えられます。接続先の設定項目をFOMA端末の電話帳と比較すると、次のようになります。

接続先の設定項目	FOMA端末の電話帳の登録項目
登録番号（cid）	登録番号（メモリ番号）
APN	相手の電話番号

- 登録したcidはダイヤルアップ接続設定での接続番号となります。

接続先（APN）を設定する

設定するには、ATコマンドを入力するための通信ソフトが必要です。ここではWindows標準添付の「ハイパーターミナル」を使った設定方法を説明します。

〈例〉Windows XPで設定するとき

1 パソコンとFOMA端末を接続

接続方法→P5

2 ［スタート］をクリック→「すべてのプログラム」（Windows 2000の場合は「プログラム」）→「アクセサリ」→「通信」を順に選択して「ハイパーターミナル」をクリック

3 「名前」に接続先名など任意の名前を入力→［OK］をクリック

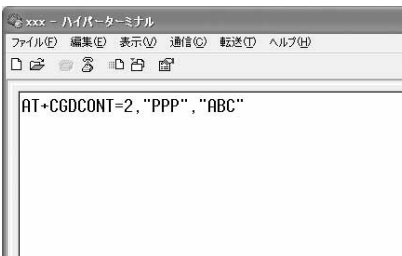
- 「接続名」に次の記号（半角文字）は使用できません。
  ¥/:＊?<>|”

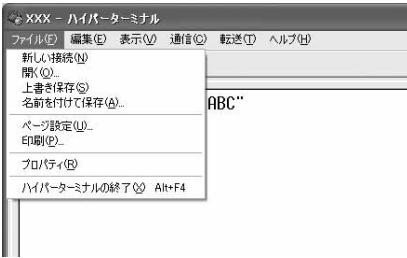
4 「電話番号」に実在しない電話番号（「0」など）を入力→「接続方法」が「FOMA F883i」に設定されていることを確認→［OK］をクリック

- 市外局番はパソコンの環境により異なります。接続先（APN）の設定とは関係ありませんので、変更不要です。

5 「接続」画面で［キャンセル］をクリック

6 接続先（APN）を「AT+CGDCONT=＜cid＞,"PPP","＜APN＞"」の形式で入力→↵

＜cid＞　：2または4～10の範囲で任意の番号
＜APN＞：接続先（APN）

- +CGDCONTコマンド→P48「ATコマンドの補足説明」
- コマンドを入力しても画面に表示されない場合は、ATE1と入力し、↵を押します。

7 「OK」と表示されていることを確認して「ファイル」をクリック→「ハイパーターミナルの終了」をクリック

8 切断の確認で「はい」をクリック→保存の確認で「いいえ」をクリック

発信者番号の通知／非通知を設定する

発信者番号はお客様の大切な情報です。通知する際には十分にご注意ください。

● mopera Uまたはmoperaを利用する場合、「非通知」に設定すると接続できません。

〈例〉Windows XPで設定するとき

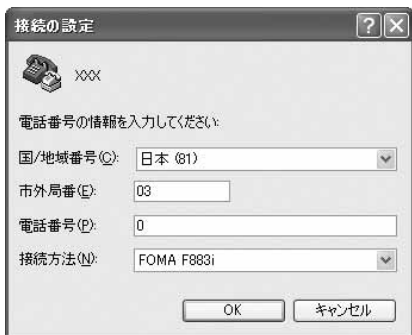
1 パソコンとFOMA端末を接続

接続方法→P5

2 [スタート]をクリック→「すべてのプログラム」(Windows 2000の場合は「プログラム」)→「アクセサリ」→「通信」を順に選択して「ハイパーターミナル」をクリック

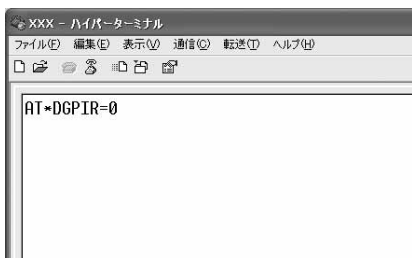
3 「名前」に接続先名など任意の名前を入力→[OK]をクリック

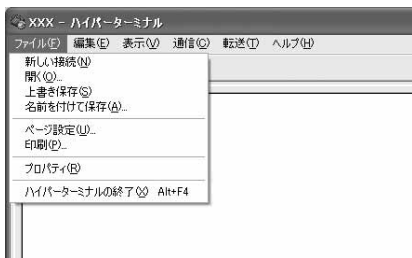
• 「接続名」に次の記号(半角文字)は使用できません。
￥/:＊?<>｜”

4 「電話番号」に実在しない電話番号（「0」など）を入力→「接続方法」が「FOMA F883i」に設定されていることを確認→［OK］をクリック

- 市外局番はパソコンの環境により異なります。接続先（APN）の設定とは関係ありませんので、変更不要です。

5 「接続」画面で［キャンセル］をクリック

6 発信者番号の通知／非通知を「AT＊DGPIR=<n>」の形式で入力→↵

<n>：0～2
0　：そのまま接続（お買い上げ時）
1　：184を付けて接続（非通知）
2　：186を付けて接続（通知）

- コマンドを入力しても画面に表示されない場合は、ATE1と入力し、↵を押します。

7 「OK」と表示されていることを確認して「ファイル」をクリック→「ハイパーターミナルの終了」をクリック

8 切断の確認で「はい」をクリック→保存の確認で「いいえ」をクリック

ダイヤルアップネットワークでの通知／非通知設定について

ダイヤルアップネットワークの設定でも、接続先の番号に186（通知）／184（非通知）を付けられます。

● ＊DGPIRコマンド、ダイヤルアップネットワークの設定の両方で設定を行った場合の発信者番号の通知／非通知は次のとおりです。

＊DGPIRコマンドによる設定 ／ ダイヤルアップネットワークの設定（<cid>=3の場合）	設定なし	非通知	通知
＊99＊＊＊3#	通知	非通知	通知
184＊99＊＊＊3#	非通知		
186＊99＊＊＊3#	通知		

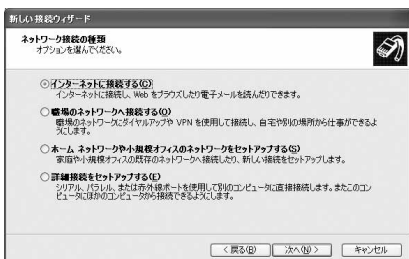
Windows XPでダイヤルアップネットワークを設定する

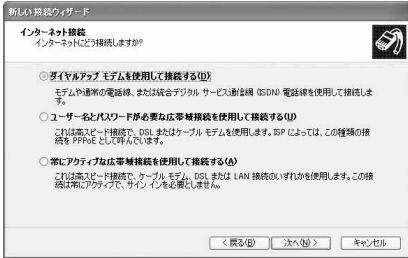
接続先を設定する

1 ［スタート］をクリック→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」を順に選択して「ネットワーク接続」をクリック

2 「ネットワークタスク」の「新しい接続を作成する」をクリック

3 「新しい接続ウィザードの開始」画面で［次へ］をクリック

4 「インターネットに接続する」を選択して［次へ］をクリック

5 「接続を手動でセットアップする」を選択して［次へ］をクリック

6 「ダイヤルアップモデムを使用して接続する」を選択して［次へ］をクリック

7 「モデムーFOMA F883i（COMx）」のみを選択して［次へ］をクリック

- xはパソコンの環境により、異なった数字が表示されます。
- インストールされているモデムが1台の場合、この画面は表示されません。

8 「ISP名」に任意の接続名を入力→［次へ］をクリック

- 「接続名」の先頭に.（半角文字）は使用できません。また、次の記号（半角文字）は使用できません。
  ￥/:＊?<>｜”

9 「電話番号」に接続先の電話番号（パケット通信の場合は「＊99＊＊＊＜cid＞#」）を半角で入力→［次へ］をクリック

＜cid＞：P28「接続先（APN）を設定する」で登録したcid番号

- mopera Uまたはmoperaへ接続する場合は次のように入力します。

接続先	パケット通信	64Kデータ通信
mopera U	＊99＊＊＊3#	＊8701
mopera	＊99＊＊＊1#	＊9601

10 「ユーザー名」を入力→「パスワード」を入力→「パスワードの確認入力」を入力→各項目を画面例のようにすべて選択して［次へ］をクリック

- 接続先がmopera Uまたはmoperaの場合、「ユーザー名」「パスワード」「パスワードの確認入力」は空欄でもかまいません。

11 「新しい接続ウィザードの完了」画面で［完了］をクリック

12 「FOMAへ接続」画面で設定内容を確認して［キャンセル］をクリック

- ここではすぐに接続せずに、設定の確認だけを行います。

TCP/IPプロトコルを設定する

1 作成した接続先アイコンを選択して「ファイル」をクリック→「プロパティ」をクリック

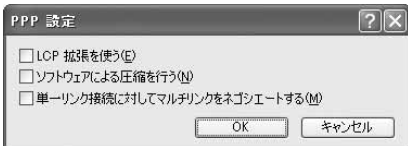
2 ［全般］タブの各項目の設定を確認

- 複数のモデムがインストールされている場合は、「接続方法」の「モデム－FOMA F883i (COMx)」のみを選択します（xはパソコンの環境により、異なった数字が表示されます）。
- 「ダイヤル情報を使う」を非選択（□）にします。

3 ［ネットワーク］タブをクリック→各項目を画面例のように設定

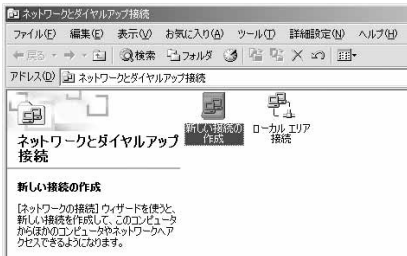
- 「この接続は次の項目を使用します」欄の「QoS パケットスケジューラ」は設定を変更できませんので、そのままにしてください。
- プロバイダなどからIPおよびDNS情報の設定が指示されている場合は、「インターネットプロトコル（TCP/IP）」を選択し［プロパティ］をクリックして、各種情報を設定してください。

4 ［設定］をクリック

5 すべての項目を非選択（□）に設定→［OK］をクリック

6 「FOMAのプロパティ」画面で［OK］をクリック

通信を実行する→P21

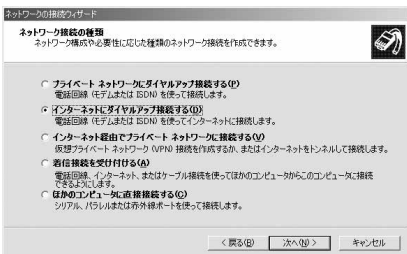
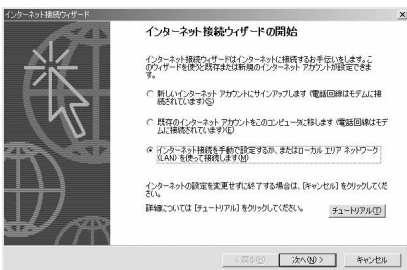
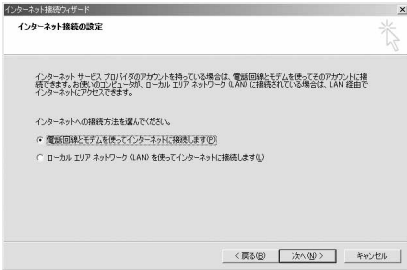
接続先を設定する

1 ［スタート］をクリック→「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」を順に選択して「ネットワークとダイヤルアップ接続」をクリック→［新しい接続の作成］アイコンをダブルクリック

■「所在地情報」画面が表示されたとき

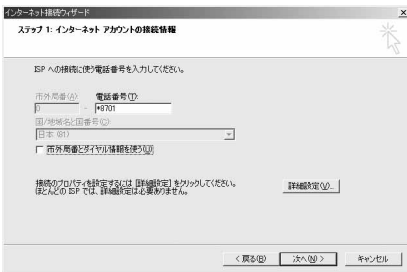
①「市外局番／エリアコード」に市外局番を入力→［OK］をクリック

②「電話とモデムのオプション」画面で［OK］をクリック

2 「ネットワークの接続ウィザードの開始」画面で［次へ］をクリック

3 「インターネットにダイヤルアップ接続する」を選択して［次へ］をクリック

4 「インターネット接続を手動で設定するか、またはローカルエリアネットワーク（LAN）を使って接続します」を選択して［次へ］をクリック

5 「電話回線とモデムを使ってインターネットに接続します」を選択して［次へ］をクリック

6 「インターネットへの接続に使うモデムを選択する」が「FOMA F883i」に設定されていることを確認して［次へ］をクリック

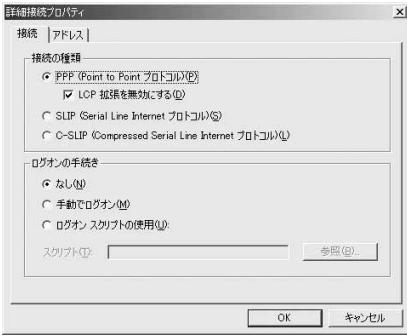
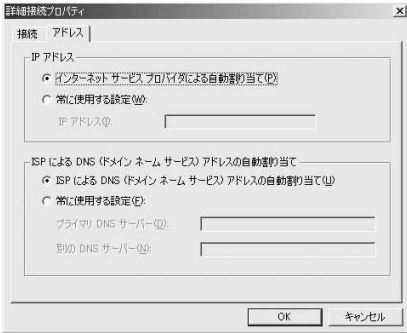
インストールされているモデムが1台の場合、この画面は表示されません。

7 「電話番号」に接続先の電話番号（パケット通信の場合は「＊99＊＊＊＜cid＞#」）を半角で入力→［詳細設定］をクリック

＜cid＞：P28「接続先（APN）を設定する」で登録したcid番号

- mopera Uまたはmoperaへ接続する場合は次のように入力します。

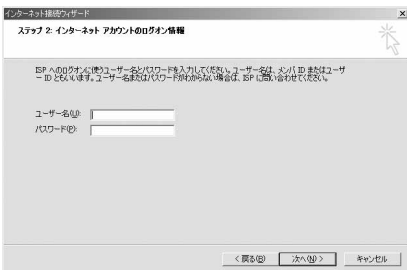
接続先	パケット通信	64Kデータ通信
mopera U	＊99＊＊＊3#	＊8701
mopera	＊99＊＊＊1#	＊9601

- 「市外局番とダイヤル情報を使う」を非選択（□）にします。

8 ［接続］タブの各項目を画面例のように設定

9 ［アドレス］タブをクリック→各項目を設定

- プロバイダなどからIPおよびDNS情報の設定が指示されている場合は、各種情報を設定してください。
- 接続先がmopera Uまたはmoperaの場合は、設定を変更しなくてもかまいません。

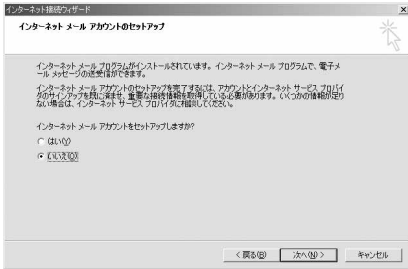
10 ［OK］をクリック

11 ［次へ］をクリック

12 「ユーザー名」を入力→「パスワード」を入力→［次へ］をクリック

- 接続先がmopera Uまたはmoperaの場合、「ユーザー名」「パスワード」は空欄でもかまいません。［次へ］をクリックし、入力されていないことを確認する画面が表示されたら、［はい］をクリックします。

13 「接続名」に任意の接続名を入力→［次へ］をクリック

- 「接続名」の先頭に.(半角文字)は使用できません。

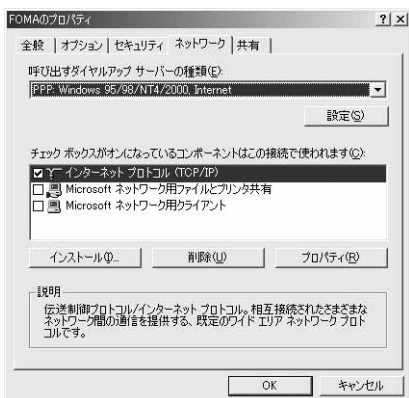
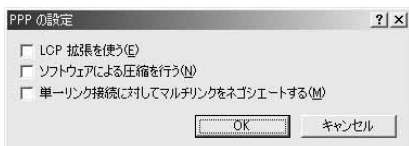
14 「いいえ」を選択して［次へ］をクリック

15 ［完了］をクリック

TCP/IPプロトコルを設定する

1 作成した接続先アイコンを選択して「ファイル」をクリック→「プロパティ」をクリック

2 ［全般］タブの各項目の設定を確認

- 複数のモデムがインストールされている場合は、「接続の方法」の「モデム－FOMA F883i（COMx）」のみを選択します（xはパソコンの環境により、異なった数字が表示されます）。
- モデムを変更した場合は、「電話番号」の各項目が初期化されますので、もう一度接続先電話番号を入力してください。
- 「ダイヤル情報を使う」を非選択（ ）にします。

3 ［ネットワーク］タブをクリック→各項目を画面例のように設定

4 ［設定］をクリック→すべての項目を非選択（ ）に設定→［OK］をクリック

5 ［OK］をクリック

通信を実行する→P21

ATコマンド

ATコマンドとは、パソコンでFOMA端末の各機能を設定するためのコマンド(命令)です。FOMA端末はATコマンドに準拠し、さらに拡張コマンドの一部や独自のATコマンドをサポートしています。

ATコマンドについて

ATコマンドの入力形式

ATコマンドは、コマンドの先頭に必ず「AT」を付けて、半角英数字で入力してください。

〈例〉ATDコマンドでmopera Uに接続するとき

ATコマンドは、コマンドに続くパラメータを含めて、必ず1行で入力します。1行とは最初の文字から ↵ を押した直前までの文字のことで、「AT」を含む最大160文字入力できます。

ATコマンドの入力モード

ATコマンドでFOMA端末を操作する場合は、パソコンをターミナルモードにしてください。ターミナルモードとは、パソコンを1台の通信端末のように動作させるモードです。ターミナルモードにすると、キーボードから入力された文字がそのまま通信ポートに送られ、FOMA端末を操作できます。

● オフラインモード
FOMA端末が待受の状態です。通常ATコマンドでFOMA端末を操作する場合は、この状態で操作します。

● オンラインデータモード
FOMA端末が通信中の状態です。この状態のときにATコマンドを入力すると、送られてきた文字をそのまま通信先に送信して、通信先のモデムを誤動作させる場合がありますので、通信中はATコマンドを入力しないでください。

● オンラインコマンドモード
FOMA端末が通信中の状態でも、ATコマンドでFOMA端末を操作できる状態です。その場合、通信先との接続を維持したままATコマンドを実行し、終了すると再び通信を続けられます。

■ オンラインデータモードとオンラインコマンドモードを切り替えるとき

FOMA端末をオンラインデータモードからオンラインコマンドモードに切り替えるには、次の方法があります。

- +++コマンドまたはS2レジスタに設定したコードを入力します。
- 「AT&D1」に設定されているときに、RS-232C※のER信号をOFFにします。
  ※ USBインタフェースにより、RS-232Cの信号線がエミュレートされていますので、通信アプリケーションによるRS-232Cの信号線制御が有効になります。

また、オンラインコマンドモードからオンラインデータモードに切り替えるには、「ATO ↵」と入力します。

ATコマンド一覧

- FOMA F883i（モデム）で使用できるATコマンドです。
- パソコンや通信ソフトのフォント設定により、「¥」を入力しても「\」と表示される場合があります。
- FOMA端末の電源を切らずに電池パックを取り外した場合、設定値が記録されないことがあります。

上段：コマンド　下段：実行例	説　明
A/ A/ OK	直前に実行したコマンドを再実行します。 直前の応答が「ERROR」の場合は「ERROR」を返します。
AT AT ↵ OK	A/、+++以外のコマンドの先頭に付けて、本一覧のコマンドを使用します。本コマンドのみで使用すると、FOMA端末がATコマンドを使用できる状態のときに「OK」を返します。
ATA RING ATA ↵ CONNECT	パケット着信および64Kデータ通信の着信時に入力すると、着信処理を行います。 パケット着信中には次のコマンドが入力できます。 ATA184：発信者番号通知なし着信動作　　ATA186：発信者番号通知あり着信動作
ATD ATD＊99＊＊＊1# ↵ CONNECT	ATD＊99＊＊＊<cid>#：パケット通信の発信処理を行います。 <cid>または＊＊＊<cid>を省略すると<cid>=1になります。 ATDの後に186または184を挿入し、発信者番号の通知／非通知を指定できます。 ATD［パラメータ］［電話番号］：64Kデータ通信の発信処理を行います。 電話番号に次の文字以外を入力すると発信できません。 0～9、＊、#、A、a、B、b、C、c また、次の文字と空白は入力できますが、ダイヤル時には認識されません。 ,、!、-、@、D、d、P、p、T、t、W、w ATDNまたはATDLでリダイヤル発信ができます。
ATE<n> ※1 ATE1 ↵ OK	パソコンから送信されたコマンドに対して、FOMA端末がエコーを返すかどうかを設定します。 n=0：エコーバックなし　　n=1：エコーバックあり（お買い上げ時） 通常はn=1で使用します。パソコンにエコー機能がある場合、n=0に設定すると文字が二重に表示されなくなります。
ATH ATH ↵ NO CARRIER	通信中に入力すると、回線を切断します。 オンラインコマンドモードで実行してください。→P41
ATI<n> ATI0 ↵ NTT DoCoMo OK	確認コードを表示します。 n=0：「NTT DoCoMo」　　n=1：FOMA端末の機種名を表示 n=2：FOMA端末のバージョンを表示　　n=3：ACMP信号の要素を表示 n=4：FOMA端末で通信可能な機能の詳細を数値で表示
ATO ATO ↵ CONNECT	通信中にオンラインコマンドモードからオンラインデータモードに戻します。
ATQ<n> ※1 ATQ0 ↵ OK	リザルトコードを表示するかどうかを設定します。 n=0：表示（お買い上げ時）　　n=1：表示しない
ATS0=<n> ※1 ATS0=0 ↵ OK	FOMA端末が自動着信するまでの呼出回数を設定します。 n=0：自動着信なし（お買い上げ時）　　n=1～255：指定したリング数で自動着信 ATS0?：現在の設定を表示
ATS2=<n> ATS2=43 ↵ OK	エスケープキャラクタの設定を行います。 n=0～127（お買い上げ時n=43）　　n=127に設定するとエスケープは無効になります。 ATS2?：現在の設定を表示
ATS3=<n> ATS3=13 ↵ OK	コマンド文字列の最後を認識する復帰（CR）キャラクタの設定を行います。エコーバックされたコマンド文字列とリザルトコードの最後に付きます。 n=13（固定値） ATS3?：現在の設定を表示
ATS4=<n> ATS4=10 ↵ OK	改行（LF）キャラクタの設定を行います。英文字でリザルトコードを表示する場合、復帰（CR）キャラクタの後に付きます。 n=10（固定値） ATS4?：現在の設定を表示

上段：コマンド　下段：実行例	説　明
ATS5=<n> ATS5=8 ↵ OK	バックスペース（BS）キャラクタの設定を行います。コマンド入力中にこのキャラクタを検出すると、入力バッファの最後のキャラクタを削除します。 n=8（固定値） ATS5?：現在の設定を表示
ATS6=<n> ATS6=5 ↵ OK	ダイヤルするまでのポーズ時間（秒）を設定できますが、動作しません。 n=：2～10（お買い上げ時n=5） ATS6?：現在の設定を表示
ATS8=<n> ATS8=3 ↵ OK	カンマダイヤルするまでのポーズ時間（秒）を設定できますが、動作しません。 n=0～255（固定値n=3） ATS8?：現在の設定を表示
ATS10=<n> ※1 ATS10=1 ↵ OK	自動切断の遅延時間（1/10秒）を設定できますが、動作しません。 n=1～255（お買い上げ時n=1） ATS10?：現在の設定を表示
ATS30=<n> ATS30=0 ↵ OK	64Kデータ通信時、データの送受信がない場合に切断するまでの時間（分）を設定します。 n=0～255：(お買い上げ時n=0、n=0は不活動タイマOFF） ATS30?：現在の設定を表示
ATS103=<n> ATS103=1 ↵ OK	64Kデータ通信で、着サブアドレスを付けて発信する場合の区切りを設定します。 n=0：＊　　n=1：/（お買い上げ時）　　n=2：￥または\ ATS103?：現在の設定を表示
ATS104=<n> ATS104=1 ↵ OK	64Kデータ通信で、発サブアドレスを付けて発信する場合の区切りを設定します。 n=0：#　　n=1：%（お買い上げ時）　　n=2：& ATS104?：現在の設定を表示
ATV<n> ※1 ATV1 ↵ OK	リザルトコードの表示方法を設定します。 n=0：数字表示　　n=1：英文字表示（お買い上げ時）
ATX<n> ※1 ATX4 ↵ OK	ビジートーン、ダイヤルトーンの検出を行うかどうかと、接続時の「CONNECT」に速度を表示するかどうかを設定します。 ビジートーン検出：接続先が通話中のとき「BUSY」応答を送出 ダイヤルトーン検出：FOMA端末に接続されているかどうかを判定 n=0：ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出なし、速度表示なし n=1：ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出なし、速度表示あり n=2：ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出あり、速度表示あり n=3：ビジートーン検出あり、ダイヤルトーン検出なし、速度表示あり n=4：ビジートーン検出あり、ダイヤルトーン検出あり、速度表示あり（お買い上げ時） n=0に設定すると、AT&EおよびAT￥Vコマンドが無効になります。
ATZ ※3 ATZ ↵ OK（オフライン時）	FOMA端末のATコマンド設定を不揮発メモリの内容にリセットします。 通信中に実行すると、回線を切断（「NO CARRIER」を表示）してからリセットします。
AT%V AT%V ↵ Ver1.00 OK	FOMA端末のバージョンを表示します。
AT&C<n> ※1 AT&C1 ↵ OK	DTEへの回路CD（DCD）信号の動作条件を設定します。 n=0：常にON　　n=1：回線接続状態に従い変化（お買い上げ時） n=0に設定する場合は、接続完了時の「CONNECT」を送出する直前にCD信号をONにします。回路が切断され、「NO CARRIER」を送出する直前にCD信号をOFFにします。
AT&D<n> ※1 AT&D2 ↵ OK	オンラインデータモードのときに、DTEから受け取る回路ER（DTR）信号がONからOFFに変わったときの動作を設定します。 n=0：状態を無視（常にONとみなす） n=1：ONからOFFに変わるとオンラインコマンドモードに移行 n=2：ONからOFFに変わると回線を切断しオフラインモードに移行（お買い上げ時）
AT&E<n> ※1 AT&E1 ↵ OK	接続時の速度表示仕様を設定します。 n=0：無線区間通信速度を表示 n=1：パソコンとFOMA端末間の通信速度を表示（お買い上げ時）
AT&F AT&F ↵ OK（オフライン時）	FOMA端末のATコマンド設定をお買い上げ時の状態に戻します。 通信中に実行すると、回線を切断（「NO CARRIER」を表示）してから戻します。

上段：コマンド　下段：実行例	説　明
AT&S<n> ※1	DTEへ出力するデータセットレディ（DR）信号の制御を設定します。 n=0：常にON（お買い上げ時）　n=1：接続時にON
AT&S0 ↵ OK	
AT&W	現在の設定をFOMA端末に記録します。
AT&W ↵ OK	
AT＊DANTE	FOMA端末の受信レベルを「＊DANTE：<n>」の形式で表示します。 n=0：圏外　n=1：FOMA端末の受信レベルのアンテナが0または1本 n=2：FOMA端末の受信レベルのアンテナが2本 n=3：FOMA端末の受信レベルのアンテナが3本 AT＊DANTE=?：表示可能な値のリストを表示
AT＊DANTE ↵ ＊DANTE：3 OK	
AT＊DGANSM=<n> ※2	パケット着信呼に対する着信拒否／許可を設定します。 n=0：着信拒否設定OFF、着信許可設定OFF（お買い上げ時） n=1：着信拒否設定ON　n=2：着信許可設定ON AT＊DGANSM?：現在の設定を表示　AT＊DGANSM=?：設定可能な値のリストを表示
AT＊DGANSM=0 ↵ OK	
AT＊DGAPL=<n>[,<cid>] ※2	パケット着信呼に対して着信を許可する接続先（APN）を設定します。APNは+CGDCONTコマンドで定義した<cid>を使用します。 n=0：着信許可リストに追加　n=1：着信許可リストから削除 <cid>を+CGDCONTコマンドで定義していない場合でも、リストへ追加または削除します。 <cid>を省略した場合は、すべての<cid>をリストに追加または削除します。 AT＊DGAPL?：現在の設定を表示　AT＊DGAPL=?：設定可能な値のリストを表示
AT＊DGAPL=0,1 ↵ OK	
AT＊DGARL=<n>[,<cid>] ※2	パケット着信呼に対して着信を拒否する接続先（APN）を設定します。APNは+CGDCONTコマンドで定義した<cid>を使用します。 n=0：着信拒否リストに追加　n=1：着信拒否リストから削除 <cid>を+CGDCONTコマンドで定義していない場合でも、リストへ追加または削除します。 <cid>を省略した場合は、すべての<cid>をリストに追加または削除します。 AT＊DGARL?：現在の設定を表示　AT＊DGARL=?：設定可能な値のリストを表示
AT＊DGARL=0,1 ↵ OK	
AT＊DGPIR=<n> ※2	パケット通信確立時に、発信者番号を通知するかどうかを設定します。発信時、着信時に有効です。 n=0：APNにそのまま接続（お買い上げ時）　n=1：APNに184を付けて接続 n=2：APNに186を付けて接続 ダイヤルアップネットワークでも通知／非通知を設定した場合→P32 AT＊DGPIR?：現在の設定を表示　AT＊DGPIR=?：設定可能な値のリストを表示
AT＊DGPIR=0 ↵ OK	
AT＊DRPW	FOMA端末が受信する電波の受信電力指標を「＊DRPW：<n>」の形式で表示します。 AT＊DRPW=?：表示可能な値のリストを表示
AT＊DRPW ↵ ＊DRPW：0 OK	
AT+CAOC	直前通話料金を表示します。
AT+CAOC ↵ +CAOC："000024" OK	
AT+CBC	FOMA端末の電池残量を「+CBC：<bcs>,<bcl>」の形式で表示します。 bcs=0：電池パックから電源の供給あり　bcs=1：電池パックから電源の供給なし bcs=2：電池パックが取り外されている　bcs=3：電源供給エラー bcl=0：電池残量なしまたは電池パックが取り外されている　bcl=1～100：電池残量あり AT+CBC=?：表示可能な値のリストを表示
AT+CBC ↵ +CBC：0,100 OK	
AT+CBST=<n>,1,0 ※1	利用する回線を設定します（ベアラサービスの設定）。 n=116：64000bps（64Kデータ通信、お買い上げ時） AT+CBST?：現在の設定を表示　AT+CBST=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CBST=116,1,0 ↵ OK	
AT+CEER	直前の通信の切断理由を表示します。 切断理由一覧→P47
AT+CEER ↵ +CEER：36 OK	
AT+CGDCONT ※2	パケット通信の接続先（APN）を設定します。→P48 AT+CGDCONT?：現在の設定を表示　AT+CGDCONT=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CGDCONT=2,"ppp","abc" ↵ OK	

上段：コマンド　下段：実行例	説　明
AT+CGEQMIN ※2 AT+CGEQMIN=2 ↵ OK	パケット通信確立時にネットワーク側から通知されるQoS（サービス品質）を許容するかどうかの判定基準を設定します。→P48 AT+CGEQMIN?：現在の設定を表示　AT+CGEQMIN=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CGEQREQ ※2 AT+CGEQREQ=3 ↵ OK	パケット通信の発信時にネットワークへ要求するQoS（サービス品質）を設定します。→P49 AT+CGEQREQ?：現在の設定を表示　AT+CGEQREQ=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CGMR AT+CGMR ↵ 1234567890123456 OK	FOMA端末のバージョンを表示します。
AT+CGREG=<n> ※1 AT+CGREG=0 ↵ OK	ネットワーク登録状態を通知するかどうかを設定します。通知される内容は圏内／圏外です。 n=0：通知なし（お買い上げ時） n=1：圏内から圏外または圏外から圏内へ移動時「+CGREG：<stat>」の形式で通知 stat=0：圏外　stat=1：圏内　stat=4：不明 AT+CGREG?：「+CGREG：<n>,<stat>」の形式で現在の設定と状態を表示 AT+CGREG=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CGSN AT+CGSN ↵ 123456789012345 OK	FOMA端末の製造番号を表示します。
AT+CLIP=<n> ※1 AT+CLIP=0 ↵ OK	64Kデータ通信の着信時に、相手の発信番号をパソコンに表示するかどうかを設定します。 n=0：リザルトを表示しない（お買い上げ時）　n=1：リザルトを表示する AT+CLIP?：「+CLIP：<n>,<m>」の形式で現在の設定と状態を表示 m=0：発信時に相手に番号を通知しないNW設定 m=1：発信時に相手に番号を通知するNW設定　m=2：不明 AT+CLIP=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CLIR=<n> ※2 AT+CLIR=2 ↵ OK	64Kデータ通信の発信時に、電話番号を相手に通知するかどうかを設定します。 n=0：サービスご契約の設定に従う　n=1：通知しない n=2：通知する（お買い上げ時） AT+CLIR?：「+CLIR：<n>,<m>」の形式で現在の設定と状態を表示 m=0：CLIRは未起動（常時通知）　m=1：CLIRは常時起動（常時非通知） m=2：不明　m=3：CLIRテンポラリーモード（非通知デフォルト） m=4：CLIRテンポラリーモード（通知デフォルト） AT+CLIR=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CMEE=<n> ※1 AT+CMEE=0 ↵ OK	FOMA端末のエラーレポートの有無を設定します。 n=0：リザルトコードを使用せずに「ERROR」を表示（お買い上げ時） n=1：リザルトコードを使用し、数字で理由を表示 n=2：リザルトコードを使用し、英文字で理由を表示 n=1またはn=2に設定すると、「+CME ERROR：xxxx」の形式で理由を表示します（xxxxには、数字または英文字が表示されます）。→P47「エラーレポート一覧」 AT+CMEE?：現在の設定を表示　AT+CMEE=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CNUM AT+CNUM ↵ +CNUM：,"09012345678", 129 OK	FOMA端末の自局電話番号を「+CNUM：,<number>,<type>」の形式で表示します。 number：自局電話番号 type=129：国際アクセスコード+を含まない type=145：国際アクセスコード+を含む
AT+COPS=<n>,2,<oper> ※2 AT+COPS=0 ↵ OK	接続する通信事業者の検索方法を設定します。 n=0：オート（お買い上げ時）　n=1：マニュアル　n=3：マッピングしない n=1に設定した場合は、<oper>にPLMN Nunberを16進数で設定します。 AT+COPS?：現在の設定を表示　AT+COPS=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CPAS AT+CPAS ↵ +CPAS：0 OK	FOMA端末が外部機器にATコマンドを送受信できる状態かどうかを「+CPAS：<n>」の形式で表示します。 n=0：可能　n=1：不可能　n=2：状態不明　n=3：可能かつ着信中 n=4：可能かつ通信中 AT+CPAS=?：表示可能な値のリストを表示

上段：コマンド　下段：実行例	説　明
AT+CPIN="<pin>" "<newpin>" AT+CPIN="0000" ↵ OK	PIN1／PIN2コードやPINロック解除コードの入力が必要な場合に、これらを入力します。PINロック解除コードの入力が必要な場合は、<newpin>に新しいPIN1／PIN2コードを入力します。PIN1／PIN2コードの入力が要求されているときに<newpin>を入力しても、PIN1／PIN2コードの変更はできません。 AT+CPIN?：現在の要求されているコードを「+CPIN：<n>」の形式で表示 n=READY：コード入力の要求なし　n=SIM PIN：PIN1コード入力待ち n=SIM PIN2：PIN2コード入力待ち n=SIM PUK：PIN1ロック解除失敗によりPINロック解除コード入力待ち n=SIM PUK2：PIN2ロック解除失敗によりPINロック解除コード入力待ち
AT+CR=<n> ※1 AT+CR=0 ↵ OK	接続時に「CONNECT」が表示される前に、通信の種別を表示するかどうかを設定します。 n=0：表示しない（お買い上げ時）　n=1：「+CR：<serv>」の形式で通信の種別を表示 serv=GPRS：パケット通信　serv=SYNC：64Kデータ通信 AT+CR?：現在の設定を表示　AT+CR=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CRC=<n> ※1 AT+CRC=0 ↵ OK	着信時に+CRINGのリザルトコードを使用するかどうかを設定します。 n=0：使用しない（お買い上げ時） n=1：「+CRING：<type>」のリザルトコードを使用する type=GPRS "PPP",,,"<APN>"：パケット通信　type=SYNC：64Kデータ通信 AT+CRC?：現在の設定を表示　AT+CRC=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CREG=<n> ※1 AT+CREG=0 ↵ OK	ネットワークの圏内／圏外情報を表示するかどうかを設定します。 n=0：通知なし（お買い上げ時） n=1：圏内から圏外または圏外から圏内へ移動時「+CREG：<stat>」の形式で通知 stat=0：圏外　stat=1：圏内　stat=4：不明 AT+CREG?：「+CREG：<n>,<stat>」の形式で現在の設定と状態を表示 AT+CREG=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CUSD=<n>,"<str>" ※1 AT+CUSD=0,"012345678" ↵ OK	ネットワークサービスの追加サービス（USSD登録）の問い合わせや設定を行います。<str>には、ドコモから通知されたサービスコードを入力します。 n=0：中間リザルトを応答しない（お買い上げ時） n=1：中間リザルトを「+CUSD：<m>, "<str>",0」の形式で応答する m=0：情報の要求なし　m=1：情報の要求あり AT+CUSD?：現在の設定を表示　AT+CUSD=?：設定可能な値のリストを表示
AT+FCLASS=<n> ※2 AT+FCLASS=0 ↵ OK	FOMA端末がサポートする通信種別を設定します。 n=0：データのみサポート（お買い上げ時） AT+FCLASS?：現在の設定を表示　AT+FCLASS=?：設定可能な値のリストを表示
AT+GCAP AT+GCAP ↵ +GCAP：+CGSM,+FCLASS,+W OK	FOMA端末でサポートしているATコマンドの範囲を「+GCAP：<n>」の形式で表示します。 n=+CGSM：GSMコマンドをサポート（一部のみサポートの場合を含む） n=+FCLASS：+FCLASSコマンドをサポート　n=+W：+Wコマンドをサポート
AT+GMI AT+GMI ↵ FUJITSU OK	FOMA端末のメーカ名を表示します。
AT+GMM AT+GMM ↵ FOMA F883i OK	FOMA端末の製品名を表示します。
AT+GMR AT+GMR ↵ Ver1.00 OK	FOMA端末のバージョンを表示します。
AT+IFC=<n,m> ※1 AT+IFC=2,2 ↵ OK	パソコンとFOMA端末間のローカルフロー制御方式を設定します。 n：DCE by DTE　m：DTE by DCE 0：フロー制御を行わない　1：XON/XOFFフロー制御を行う 2：RS/CS（RTS/CTS）フロー制御を行う（お買い上げ時） AT+IFC?：現在の設定を表示　AT+IFC=?：設定可能な値のリストを表示
AT+WS46=<n> ※1 AT+WS46=22 ↵ OK	発信時に使用する無線ネットワークを設定します。発信に影響は与えません。 n=22：FOMAネットワーク（固定値） AT+WS46?：現在の設定を表示　AT+WS46=?：設定可能な値のリストを表示

上段：コマンド　下段：実行例	説　明
AT¥S	現在設定されている各コマンドとSレジスタの内容を表示します。
AT¥S ↵ E1 Q0 V1 X4 &C1 &D2 &S0 ・・・（中略）・・・S104=001 OK	
AT¥V<n> ※1	接続時の応答コード仕様を設定します。 n=0：拡張リザルトコードを使用しない（お買い上げ時） n=1：拡張リザルトコードを使用する
AT¥V0 ↵ OK	
+++	通信中に入力すると、オンラインデータモードからオンラインコマンドモードに移行します。 エスケープガード区間は1秒の固定値です。
+++(非表示) OK	

※1 &WコマンドでFOMA端末に記録されます。
※2 &FおよびZコマンドによるリセットは行われません。
※3 &Wコマンドを使用する前にZコマンドを実行すると、最後に記録した状態に戻り、それまでの変更内容は消去されます。

切断理由一覧

■ パケット通信

値	理　由
27	APNが存在しないか、または正しくありません。
30	ネットワークによって切断されました。
33	パケット通信の契約がされていません。
36	正常に切断されました。

■ 64Kデータ通信

値	理　由
1	指定した番号は存在しません。
16	正常に切断されました。
17	相手側が通信中のため、通信ができません。
18	発信しましたが、指定時間内に応答がありません。
19	相手側を呼出しましたが応答がありません。
21	相手側が着信を拒否しました。
63	ネットワークのサービスおよびオプションが有効ではありません。
65	提供されていない処理速度を指定しました。
88	端末属性の異なる端末に発信したか、または着信を受けました。

エラーレポート一覧

数字表示	文字表示	理　由
10	SIM not inserted	FOMAカードがセットされていません。
15	SIM wrong	ドコモ以外のSIM（FOMAカードに相当するICカード）が挿入されています。
16	incorrect password	パスワードが間違っています。
100	unknown	不明なエラーです。

■ コマンド名：+CGDCONT=［パラメータ］

- **概要**
  パケット通信の接続先（APN）を設定します。
- **書式**
  +CGDCONT=［＜cid＞［,"PPP"［,"＜APN＞"]]]
- **パラメータ説明**
  ＜cid＞　：1～10
  ＜APN＞：任意
  ※＜cid＞は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。FOMA端末では「1～10」が登録できます。お買い上げ時、1にはmoperaに接続するためのAPN「mopera.ne.jp」が、3にはmopera Uに接続するためのAPN「mopera.net」が登録されています。
  ＜APN＞は接続先を示す接続ごとの任意の文字列です。
- **実行例**
  「abc」というAPN名を登録する場合のコマンド（＜cid＞=2の場合）
  AT+CGDCONT=2,"PPP","abc" ↵
  OK
- **パラメータを省略した場合の動作**
  AT+CGDCONT=
  すべての＜cid＞をお買い上げ時の状態に戻します。
  AT+CGDCONT=＜cid＞
  指定した＜cid＞をお買い上げ時の状態に戻します。

■ コマンド名：+CGEQMIN=［パラメータ］

- **概要**
  パケット通信確立時にネットワーク側から通知されるQoS（サービス品質）を許容するかどうかの判定基準を設定します。
- **書式**
  AT+CGEQMIN=［＜cid＞［,,＜Maximum bitrate UL＞［,＜Maximum bitrate DL＞]]]
- **パラメータ説明**
  ＜cid＞：1～10
  ＜Maximum bitrate UL＞：なし（お買い上げ時）または64
  ＜Maximum bitrate DL＞：なし（お買い上げ時）または384
  ※＜cid＞は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。FOMA端末では「1～10」が登録できます。お買い上げ時、1にはmoperaに接続するためのAPN「mopera.ne.jp」が、3にはmopera Uに接続するためのAPN「mopera.net」が登録されています。
  ＜Maximum bitrate UL＞および＜Maximum bitrate DL＞では、FOMA端末と基地局間の上りおよび下りの最低通信速度（kbps）を設定します。「なし（お買い上げ時）」に設定した場合は、すべての速度を許容しますが、「64」および「384」を設定した場合、これらの速度以下の接続は許容されないため、パケット通信が接続されない場合がありますのでご注意ください。
- **実行例**
  (1) 上りと下りですべての速度を許容する場合のコマンド（＜cid＞=2の場合）
  AT+CGEQMIN=2 ↵
  OK
  (2) 上り64kbps、下り384kbpsの速度のみ許容する場合のコマンド（＜cid＞=3の場合）
  AT+CGEQMIN=3,,64,384 ↵
  OK
  (3) 上り64kbps、下りすべての速度のみ許容する場合のコマンド（＜cid＞=4の場合）
  AT+CGEQMIN=4,,64 ↵
  OK
  (4) 上りすべての速度、下り384kbpsの速度のみ許容する場合のコマンド（＜cid＞=5の場合）
  AT+CGEQMIN=5,,,384 ↵
  OK

- **パラメータを省略した場合の動作**
  AT+CGEQMIN=
  すべての<cid>をお買い上げ時の状態に戻します。
  AT+CGEQMIN=<cid>
  指定した<cid>をお買い上げ時の状態に戻します。

■ コマンド名：+CGEQREQ=［パラメータ］

- **概要**
  パケット通信の発信時にネットワークへ要求するQoS（サービス品質）を設定します。
- **書式**
  AT+CGEQREQ=［<cid>］
- **パラメータ説明**
  上り64kbps、下り384kbpsの速度で接続を要求するコマンドのみ設定できます。各<cid>にはその内容がお買い上げ時に設定されています。
  <cid>：1〜10
  ※<cid>は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。FOMA端末では「1〜10」が登録できます。お買い上げ時、1にはmoperaに接続するためのAPN「mopera.ne.jp」が、3にはmopera Uに接続するためのAPN「mopera.net」が登録されています。
- **実行例**
  （<cid>=3の場合）
  AT+CGEQREQ=3 ↵
  OK
- **パラメータを省略した場合の動作**
  AT+CGEQREQ=
  すべての<cid>をお買い上げ時の状態に戻します。
  AT+CGEQREQ=<cid>
  指定した<cid>をお買い上げ時の状態に戻します。

リザルトコード

● ATVコマンドがn=1（お買い上げ時）に設定されている場合は英文字、n=0の場合は数字でリザルトコードが表示されます。→P43

■ リザルトコード

数字表示	文字表示	意　味
0	OK	正常に実行しました。
1	CONNECT	相手と接続しました。
2	RING	着信が来ています。
3	NO CARRIER	回線が切断されました。
4	ERROR	コマンドを受け付けられません。
6	NO DIALTONE	ダイヤルトーンの検出ができません。
7	BUSY	話中音の検出中です。
8	NO ANSWER	接続完了タイムアウト。
100	RESTRICTION	ネットワークが規制中です（通信ネットワークが混雑しています。しばらくたってから接続し直してください）。
101	DELAYED	リダイヤル発信規制中です。

■ 拡張リザルトコード

数字表示	文字表示	FOMA端末ーパソコン間の接続速度
5	CONNECT 1200	1200bps
10	CONNECT 2400	2400bps
11	CONNECT 4800	4800bps
13	CONNECT 7200	7200bps
12	CONNECT 9600	9600bps
15	CONNECT 14400	14400bps
16	CONNECT 19200	19200bps
17	CONNECT 38400	38400bps
18	CONNECT 57600	57600bps
19	CONNECT 115200	115200bps
20	CONNECT 230400	230400bps
21	CONNECT 460800	460800bps

※ 従来のRS-232Cで接続するモデムとの互換性を保つため通信速度を表示しますが、FOMA端末－パソコン間はUSBケーブルで接続されているため、実際の接続速度と異なります。

■ 通信プロトコルリザルトコード

数字表示	文字表示	意　味
1	PPPoverUD	64Kデータ通信で接続（BC=UDI、+CBST=116,1,0）
5	PACKET	パケット通信で接続

■ リザルトコード表示例

ATX0が設定されているとき

AT￥Vコマンドの設定に関わらず、接続完了の際に「CONNECT」のみの表示となります。

文字表示例 ：ATD＊99＊＊＊3#
　　　　　　CONNECT
数字表示例 ：ATD＊99＊＊＊3#
　　　　　　1

ATX1が設定されているとき

- ATX1、AT￥V0（お買い上げ時）が設定されている場合
  接続完了のときに、「CONNECT＜FOMA端末－パソコン間の速度＞」の書式で表示します。
  文字表示例 ：ATD＊99＊＊＊3#
  　　　　　　CONNECT 460800
  数字表示例 ：ATD＊99＊＊＊3#
  　　　　　　1 21
- ATX1、AT￥V1が設定されている場合[※1]
  接続完了のときに、次の書式で表示します。
  「CONNECT＜FOMA端末－パソコン間の速度＞＜通信プロトコル＞＜接続先APN＞/＜上り方向（FOMA端末→無線基地局間）の最高速度＞/＜下り方向（FOMA端末←無線基地局間）の最高速度＞」[※2]
  文字表示例 ：ATD＊99＊＊＊3#
  　　　　　　CONNECT 460800 PACKET mopera.net/64/384
  　　　　　　（mopera.netに、上り最大64kbps、下り最大384kbpsで接続したことを表します。）
  数字表示例 ：ATD＊99＊＊＊3#
  　　　　　　1 21 5

※1 ATX1、AT￥V1を同時に設定した場合、ダイヤルアップ接続が正しくできないことがあります。AT￥V0だけでのご利用をおすすめします。
※2 AT￥V1が設定されている場合、＜接続先APN＞以降はパケットで接続している場合のみ表示されます。

FOMA® F883i
区点コード一覧

'07.3（1版）
CA92002-5075

区点コード一覧

※ 区点コード入力の操作については、取扱説明書「文字入力」章の「区点コードで入力します」をご覧ください。

※ 区点コード一覧の表示には、実際の表示と見えかたが異なるものがあります。

区点 1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
010		(スペース)	、	。	，	．	・	：	；	？
011	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ
012	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―
013	‐	／	＼	～	∥	｜	…	‥	‘	’
014	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝
015	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】
016	＋	－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦
017	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
018	＄	¢	£	％	＃	＆	＊	＠	§	☆
019	★	○	●	◎	◇					
020		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒
021	→	←	↑	↓	〓					
022							∈	∋	⊆	⊇
023	⊂	⊃	∪	∩						
024			∧	∨	￢	⇒	⇔	∀	∃	
026	∠	⊥	⌒	∂	∇	≡	≒	≪	≫	√
027	∽	∝	∵	∫	∬					
028			Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶
029					◯					
031							０	１	２	３
032	４	５	６	７	８	９				
033				Ａ	Ｂ	Ｃ	Ｄ	Ｅ	Ｆ	Ｇ
034	Ｈ	Ｉ	Ｊ	Ｋ	Ｌ	Ｍ	Ｎ	Ｏ	Ｐ	Ｑ
035	Ｒ	Ｓ	Ｔ	Ｕ	Ｖ	Ｗ	Ｘ	Ｙ	Ｚ	
036						ａ	ｂ	ｃ	ｄ	ｅ
037	ｆ	ｇ	ｈ	ｉ	ｊ	ｋ	ｌ	ｍ	ｎ	ｏ
038	ｐ	ｑ	ｒ	ｓ	ｔ	ｕ	ｖ	ｗ	ｘ	ｙ
039	ｚ									
040		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ
041	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ
042	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ
043	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で
044	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ
045	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ
046	ぼ	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ
047	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
048	ゐ	ゑ	を	ん						
050		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ
051	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ
052	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ
053	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ
054	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ
055	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ
056	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ
057	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
058	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ			
060		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι
061	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ
062	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω					
063				α	β	γ	δ	ε	ζ	η
064	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
065	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω			
070		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З
071	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
072	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы
073	Ь	Э	Ю	Я						
074										а
075	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й
076	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у
077	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
078	ю	я								
080		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤
081	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳
082	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰

区点 1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
083	┥	┸	╂							
130		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
131	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
132	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ
133	Ⅹ		㍉	㌔	㌢	㍍	㌘	㌧	㌃	㌶
134	㍑	㍗	㌍	㌦	㌣	㌫	㍊	㌻	㎜	㎝
135	㎞	㎎	㎏	㏄	㎡					
136				㍻	〝	〟	№	㏍	℡	㊤
137	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	㍾	㍽	㍼
138	≒	≡	∫	∮	∑	√	⊥	∠	∟	⊿
139	∵	∩	∪							
						あ				
160		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢
161	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
162	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
163	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇
164	鞍	杏								
						い				
164			以	伊	位	依	偉	囲	夷	委
165	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
166	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医
167	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
168	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻
169	引	飲	淫	胤	蔭					
170		院	陰	隠	韻	吋				
						う				
170							右	宇	烏	羽
171	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘
172	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂
173	云	運	雲							
						え				
173				荏	餌	叡	営	嬰	影	映
174	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英
175	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越
176	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨
177	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
178	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩			
						お				
178								於	汚	甥
179	凹	央	奥	往	応					
180		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬
181	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶
182	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音		
						か				
182									下	化
183	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁
184	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
185	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
186	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨
187	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
188	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔
189	恢	懐	戒	拐	改					
190		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥
191	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖
192	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬
193	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓
194	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角
195	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額
196	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝
197	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
198	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌
199	噛	鴨	栢	茅	萱					
200		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊
201	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干
202	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺
203	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看
204	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観
205	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館
206	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫

区点 1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
207	贋	雁	頑	顔	願					
						き				
207						企	伎	危	喜	器
208	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机
209	旗	既	期	棋	棄					
210		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀
211	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
212	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺
213	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
214	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
215	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
216	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
217	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
218	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁
219	禦	魚	亨	享	京					
220		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡
221	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭
222	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興
223	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁
224	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均
225	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
226	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	
						く				
226										九
227	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
228	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
229	串	櫛	釧	屑	屈					
230		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂
231	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍
232	郡									
						け				
232		卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
233	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲
234	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継
235	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚
236	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁
237	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
238	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌
239	建	憲	懸	拳	捲					
240		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県
241	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験
242	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現
243	絃	舷	言	諺	限					
						こ				
243						乎	個	古	呼	固
244	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐
245	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇
246	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後
247	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
248	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功
249	効	勾	厚	口	向					
250		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工
251	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
252	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構
253	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
254	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏
255	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱
256	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫
257	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
258	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑
259	忽	惚	骨	狛	込					
260		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇
261	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	
						さ				
261										些
262	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂
263	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最
264	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済
265	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁
266	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪

区点 1〜3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
267	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
268	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜
269	鮭	笹	匙	冊	刷					
270		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐
271	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山
272	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕
273	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残			
し										
273								仕	仔	伺
274	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿
275	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
276	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸
277	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
278	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児
279	字	寺	慈	持	時					
280		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而
281	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺
282	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉
283	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝
284	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮
285	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺
286	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱
287	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
288	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹
289	綬	需	囚	収	周					
290		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
291	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
292	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十
293	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔
294	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術
295	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
296	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵
297	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
298	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐
299	恕	鋤	除	傷	償					
300		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨
301	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠
302	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶
303	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦
304	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
305	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔
306	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上
307	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
308	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲
309	醸	錠	嘱	埴	飾					
310		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食
311	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審
312	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申
313	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診
314	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬
315	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭		
す										
315									笥	諏
316	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水
317	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
318	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉
319	椙	菅	頗	雀	裾					
320		澄	摺	寸						
せ										
320					世	瀬	畝	是	凄	制
321	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲
322	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製
323	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税
324	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
325	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙
326	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌
327	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
328	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎
329	煽	旋	穿	箭	線					
330		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践
331	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然
332	全	禅	繕	膳	糎					
そ										
332						噌	塑	岨	措	曾
333	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素
334	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢
335	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想

区点 1〜3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
336	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽
337	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
338	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗
339	霜	騒	像	増	憎					
340		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息
341	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続
342	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜
た										
343	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打
344	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐
345	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎
346	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代
347	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
348	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁
349	諾	茸	凧	蛸	只					
350		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿
351	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦
352	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪
353	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断
354	暖	檀	段	男	談					
ち										
354						値	知	地	弛	恥
355	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築
356	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着
357	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
358	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯
359	丁	兆	凋	喋	寵					
360		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑
361	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
362	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗
363	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳			
つ										
363								津	墜	椎
364	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃
365	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷
366	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴				
て										
366							亭	低	停	偵
367	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
368	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
369	艇	訂	諦	蹄	逓					
370		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴
371	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭
372	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼
373	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電		
と										
373									兎	吐
374	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
375	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
376	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套
377	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
378	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等
379	答	筒	糖	統	到					
380		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透
381	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導
382	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠
383	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒
384	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫
385	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁
386	頓	呑	曇	鈍						
な										
386					奈	那	内	乍	凪	薙
387	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
388	軟	難	汝							
に										
388				二	尼	弐	迩	匂	賑	肉
389	虹	廿	日	乳	入					
390		如	尿	韮	任	妊	忍	認		
ぬ										
390									濡	
ね										
390										禰
391	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃
392	粘									
の										
392		乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能
393	脳	膿	農	覗	蚤					

区点 1〜3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
は										
393						巴	把	播	覇	杷
394	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃
395	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配
396	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠
397	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
398	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠
399	爆	縛	莫	駁	麦					
400		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌
401	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰
402	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判
403	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版
404	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩
405	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	
ひ										
405										匪
406	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
407	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
408	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微
409	枇	毘	琵	眉	美					
410		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱
411	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐
412	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表
413	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜
414	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻
415	敏	瓶								
ふ										
415			不	付	埠	夫	婦	富	冨	布
416	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
417	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
418	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗
419	伏	副	復	幅	服					
420		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏
421	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
422	粉	糞	紛	雰	文	聞				
へ										
422							丙	併	兵	塀
423	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁
424	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変
425	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁
426	鞭									
ほ										
426		保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔
427	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
428	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
429	抱	捧	放	方	朋					
430		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬
431	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
432	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
433	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
434	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴
435	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔
436	本	翻	凡	盆						
ま										
436					摩	磨	魔	麻	埋	妹
437	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
438	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭
439	繭	麿	万	慢	満					
440		漫	蔓							
み										
440				味	未	魅	巳	箕	岬	密
441	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	
む										
441										務
442	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	
め										
442										冥
443	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
444	免	棉	綿	緬	面	麺				
も										
444							摸	模	茂	妄
445	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙
446	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶
447	紋	門	匁							
や										
447				也	冶	夜	爺	耶	野	弥
448	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮

区点1~3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
449	鑓									
						ゆ				
449		愉	愈	油	癒					
450		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽
451	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
452	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	
						よ				
452										予
453	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸
454	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用
455	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽
456	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	
						ら				
456										羅
457	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
458	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧		
						り				
458									利	吏
459	履	李	梨	理	璃					
460		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立
461	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
462	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
463	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜
464	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
465	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟
						る				
466	瑠	塁	涙	累	類					
						れ				
466						令	伶	例	冷	励
467	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
468	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐
469	漣	煉	簾	練	聯					
470		蓮	連	錬						
						ろ				
470					呂	魯	櫓	炉	賂	路
471	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏
472	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄
473	肋	録	論							
						わ				
473				倭	和	話	歪	賄	脇	惑
474	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾
475	碗	腕								
480		弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂
481	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞
482	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆
483	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛
484	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰
485	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛
486	俑	俚	俐	俤	俥	倚	倨	倔	倪	倥
487	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆
488	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸
489	傀	傚	傅	傴	傲					
490		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣
491	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚
492	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔
493	兢	竸	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉
494	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪
495	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛
496	几	處	凩	凭	凰	凵	凾	刄	刋	刔
497	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
498	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔
499	劒	剱	劈	劑	辨					
500		辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞
501	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈
502	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳
503	匸	區	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩
504	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮
505	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨
506	叭	叺	吁	吽	呀	听	吭	吼	吮	吶
507	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰
508	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸
509	咥	咬	哄	哈	咨					
510		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏
511	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌
512	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀

区点1~3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
513	咯	喊	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃
514	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔
515	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營
516	嘴	嘶	嘲	嘸	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆
517	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂
518	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮
519	囹	圀	囿	圄	圉					
520		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦
521	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡
522	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆
523	埔	埒	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲
524	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹
525	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑
526	壗	壙	壘	壥	壜	壤	壟	壯	壺	壹
527	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬
528	天	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘
529	奢	奠	奧	奬	奩					
530		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨
531	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚
532	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾
533	嫋	嫂	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻
534	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅
535	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵
536	學	斈	孺	宀	它	宦	宸	寃	寇	寉
537	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
538	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸
539	尹	屁	屆	屎	屓					
540		屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌
541	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾
542	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕
543	崗	嵜	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘
544	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂
545	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍
546	巓	巒	巖	巛	巫	已	巵	帋	帚	帙
547	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔
548	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠
549	廁	廂	廈	廐	廏					
550		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩
551	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝
552	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌
553	彎	弯	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷
554	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘
555	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝
556	悳	忿	怡	恠	怙	怐	怩	怎	怱	怛
557	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟
558	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙
559	悁	悍	惧	悃	悚					
560		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸
561	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕
562	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱
563	愍	愎	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬
564	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫
565	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖
566	憇	憬	憔	憚	憊	憑	憫	憮	懌	懊
567	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦
568	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈
569	戉	戍	戌	戔	戛					
570		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎
571	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒
572	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿
573	拆	擔	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉
574	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾
575	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏
576	掉	掟	掵	捫	捩	掾	揩	揀	揆	揣
577	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
578	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕
579	撓	撥	撩	撈	撼					
580		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧
581	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲
582	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴
583	攵	攷	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘
584	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫
585	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无
586	旡	旱	杲	昊	昃	旻	杳	昵	昶	昴
587	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨
588	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝
589	曁	暹	曉	暾	暼					

区点1~3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
590		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰
591	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿
592	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤
593	枉	杰	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅
594	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝
595	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩
596	桀	桍	栲	桎	梳	栫	桙	档	桷	桿
597	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴
598	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘
599	椢	椦	棡	椌	棍					
600		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥
601	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹
602	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽
603	楙	椰	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐
604	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃
605	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂
606	樛	槿	權	槹	槲	槧	樅	榱	樞	槭
607	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲
608	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐
609	檍	檠	檄	檢	檣					
610		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞
611	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒
612	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃
613	歉	歐	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿
614	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫
615	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟
616	毬	毫	毳	毯	麾	氈	氓	气	氛	氤
617	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
618	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗
619	泅	泝	沮	沱	沾					
620		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫
621	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤
622	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊
623	涵	淇	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒
624	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮
625	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟
626	湃	渺	湎	渤	滿	渝	游	溂	溪	溘
627	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
628	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿
629	滲	漱	滯	漲	滌					
630		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯
631	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦
632	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬
633	濔	濘	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁
634	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾
635	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳
636	炮	烟	烋	烝	烙	焉	烽	焜	焙	煥
637	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
638	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎
639	燠	燬	燧	燵	燼					
640		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰
641	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾
642	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃
643	狆	狄	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏
644	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾
645	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻
646	獺	珈	玳	珎	玻	珀	珥	珮	珞	璢
647	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙
648	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞
649	璧	瓊	瓏	瓔	珱					
650		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸
651	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞
652	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚
653	畩	畤	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴
654	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳
655	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙
656	痣	痞	痾	痿	痼	瘁	痰	痺	痲	痳
657	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
658	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨
659	癩	癪	癧	癬	癰					
660		癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎
661	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂
662	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻
663	眈	眇	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷
664	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹
665	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼
666	瞽	瞻	矇	矍	矗	矚	矜	矣	矮	矼

区点	区点4桁目									
1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
667	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼
668	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔
669	碾	碼	磅	磊	磬					
670		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬
671	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿
672	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉
673	秕	秧	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠
674	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡
675	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘
676	窖	窩	竈	窰	窶	竅	竄	窿	邃	竇
677	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
678	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙
679	笞	笵	笨	笶	筐					
680		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴
681	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜
682	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏
683	箴	篆	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀
684	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪
685	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐
686	籘	籟	籤	籖	籥	籬	籵	粃	粐	粤
687	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
688	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯
689	糲	糴	糶	糺	紆					
690		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿
691	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣
692	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵
693	緇	綽	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰
694	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣
695	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻
696	縵	縹	繃	縷	縲	縺	繧	繝	繖	繞
697	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
698	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖
699	纎	纛	纜	缸	缺					
700		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘
701	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈
702	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹
703	羮	羶	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡
704	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘
705	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘
706	聚	聟	聢	聨	聳	聲	聰	聶	聹	聽
707	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬
708	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱
709	脛	脩	脣	脯	腋					
710		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥
711	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤
712	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀
713	臂	膺	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟
714	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊
715	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘
716	艝	艚	艟	艤	艢	艨	艪	艫	舮	艱
717	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
718	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹
719	苞	茆	苜	茉	苙					
720		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅
721	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖
722	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉
723	莨	菴	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁
724	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆
725	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮
726	蒂	葩	葆	萬	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹
727	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖
728	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔
729	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈					
730		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊
731	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐
732	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹
733	蘊	蘓	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿
734	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪
735	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫
736	蛔	蛞	蛩	蛬	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈
737	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
738	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎
739	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙					
740		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋
741	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻
742	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒
743	蠑	蠖	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻

区点	区点4桁目									
1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
744	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞
745	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢
746	袍	袤	袰	袿	袱	裃	裄	裔	裘	裙
747	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊
748	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶
749	褸	襌	褝	襠	襞					
750		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃
751	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲
752	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸
753	訃	訖	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛
754	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄
755	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂
756	諚	諫	諳	諧	諤	諱	謔	諠	諢	諷
757	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
758	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎
759	證	譖	譛	譚	譫					
760		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒
761	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎
762	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊
763	貍	貎	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲
764	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺
765	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓
766	賍	贔	贖	赧	赭	赱	赳	趁	趙	跂
767	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫
768	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟
769	蹂	踵	踰	踴	蹊					
770		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪
771	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋
772	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆
773	躱	躾	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫
774	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛
775	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉
776	轆	轎	轗	轜	轢	轣	轤	辜	辟	辣
777	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴
778	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋
779	逧	逶	逵	逹	迸					
780		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘
781	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀
782	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈
783	郛	鄂	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣
784	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯
785	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖
786	釟	釡	釛	釼	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬
787	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿
788	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷
789	鋩	錏	鋺	鍄	錮					
790		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠
791	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗
792	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔
793	鐓	鐃	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁
794	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵
795	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊
796	閔	閖	閘	閙	閠	閨	閧	閭	閼	閻
797	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖
798	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌
799	陏	陋	陷	陜	陞					
800		陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗
801	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎
802	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆
803	霈	霓	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰
804	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠
805	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁
806	靺	鞆	鞋	鞏	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳
807	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟
808	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆
809	顏	顋	顫	顯	顰					
810		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃
811	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝
812	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅
813	饐	饋	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭
814	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱
815	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷
816	驅	驂	驀	驃	騾	驕	驍	驛	驗	驟
817	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀
818	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯
819	髫	髮	髴	髱	髷					
820		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧

区点	区点4桁目									
1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
821	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍
822	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟
823	鮠	鮨	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒
824	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕
825	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮
826	鰛	鰥	鰤	鰡	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚
827	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫
828	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒
829	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈					
830		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇
831	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻
832	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭
833	鷯	鷽	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈
834	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪
835	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝
836	黠	黥	黨	黯	黴	黶	黷	黹	黻	黼
837	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒
838	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷
839	齲	齶	龕	龜	龠					
840		堯	槇	遙	瑤	凜	熙			